

別売部品グループ一覧表

本マニュアルにおいて、各部品は下表の通りグループ分けされています。部品番号をご確認願います。

| グループ名 | 内 容 | 部 品 名 | 部品番号 |
|-------|------------|------------------------|--------|
| Aグループ | 冷媒配管用部品 | 延長パイプ | A-1 |
| | | フレキジョイント | A-2 |
| | | デマンドインバータマルチ用異形継手 | A-3 |
| | | 室外ユニット用L字形接続パイプ | A-4 |
| | | 壁掛形左配管接続パイプ | A-5 |
| | | バーナーユニット連結配管 | A-6 |
| | | 床置形接続パイプ | A-7 |
| Bグループ | 補助電気ヒーター | 補助電気ヒーター(PLH-GKD用) | B-1 |
| | | // (PLH-FKD用) | B-2 |
| | | // (PSH-FKD用) | B-3 |
| | | // (PLH-EKD用) | B-4 |
| | | // (PKH-EKD・ELD用) | B-5 |
| | | // (PCH-EKD用) | B-6 |
| | | // (PMH-EKD用) | B-7 |
| | | // (1対1単相インバータ用) | B-8 ※ |
| | | // (PEH-FKD用) | B-9 ※ |
| | | // (PEHA用) | B-10 ※ |
| | | ダクトヒーター(PEH-EKD用) | B-11 |
| Cグループ | 室内ユニット取付部品 | 加湿器(PLH-GKD用) | C-1 |
| | | // (PSH-FKD用) | C-2 |
| | | // (PSH-EKHD用) | C-3 |
| | | // (PCH-EKD用) | C-4 |
| | | // (PMH-EKD用) | C-5 |
| | | 高性能フィルター(PLH-GKD用) | C-6 |
| | | // (PLH-EKD用) | C-7 |
| | | 空気清浄器(PLH-FKD用) | C-8 |
| | | // (PLH-EKD用) | C-9 |
| | | 外気取入用ケースメント(PLH-GKD用) | C-10 |
| | | 外気取入フランジ(PLH-FKD・EKD用) | C-11 |
| | | ドレンアップメカ(PCH-EKD用) | C-12 |
| | | // (PEH-FKD用) | C-13 ※ |

※については追加項目とし
後日発送します。

| グループ名 | 内 容 | 部 品 名 | 部品番号 |
|-------|------------|---------------------------|-------|
| Cグループ | 室内ユニット取付部品 | 左配管用化粧カバー(PCH-EKD用)..... | C-14 |
| | | 高静圧ファンモーター(PEH-EKD用)..... | C-15 |
| | | 前吹出グリル(PMH-EKD用)..... | C-16 |
| | | フレキシブルダクト(PDH-EKD用)..... | C-17 |
| | | 吹出口円形フランジ(PDH-EKD用)..... | C-18 |
| | | 吹出口ユニット(PDH-EKD用)..... | C-19 |
| Dグループ | 室外ユニット取付部品 | ドレンパン(PU(H)用)..... | D-1 ✓ |
| | | ドレンソケット(PU(H)用)..... | D-2 |
| | | エアガイド(PU-EK・PUH用)..... | D-3 |
| | | 防雪ダクト(PU(H)用)..... | D-4 |
| | | // (PUHZ-EK用)..... | D-5 |
| | | 吹出ガイド..... | D-6 |
| | | ファンコントローラ(PU-EGD用)..... | D-7 |
| | | 防雪架台(PUB用)..... | D-8 |
| | | 2段架台(PUB用)..... | D-9 |
| | | 安全ネット..... | D-10※ |
| Eグループ | システム部品 | 集中管理リモコンセット..... | E-1 |
| | | モニターキット..... | E-2 |
| | | 中継ボード..... | E-3 ✓ |
| | | スケジュールタイマー..... | E-4 |
| | | プログラムタイマー..... | E-5 |
| | | 遠方表示用アダプター..... | E-6 |
| | | タイマー接続用アダプター..... | E-7 |
| | | リモートセンサー..... | E-8 |
| | | デジタルワイヤレス..... | E-9 |
| | | コンパクトリモコン..... | E-10 |
| | | リモコン外付キット(PSH-FKD用)..... | E-11 |
| | | 換気用K制御リモコン..... | E-12 |
| | | 換気用K制御キット..... | E-13 |

延長パイプ

形名 PAC-01・03・05・07・10・15FFS
PAC-03・05・07・10・15FF

1 適用機種

| 形名 | 長さ | 適用機種 | 形名 | 長さ | 適用機種 |
|-----------|-----|---------------------------|----------|-----|-----------------------------|
| PAC-01FFS | 1m | 35~80形全機種 (フレアフレア接続機種) | PAC-03FF | 3m | 100~140形全機種 (フレアフレア接続機種) |
| PAC-03FFS | 3m | | PAC-05FF | 5m | |
| PAC-05FFS | 5m | | PAC-07FF | 7m | |
| PAC-07FFS | 7m | | PAC-10FF | 10m | |
| PAC-10FFS | 10m | | PAC-15FF | 15m | |
| PAC-15FFS | 15m | | | | |

2 使用方法

室内ユニットと室外ユニット間を冷媒配管する部品です。長さに合わせてご使用ください。

3 付属部品

この箱の中には次の部品が入っていますのでご確認ください。

PAC-01~15FFS
の場合

| 品番 | 品名 | 個数 | 仕様 | 品番 | 品名 | 個数 | 仕様 |
|----|----------------|----|------------------------------|----|---------------------|----|--------------------|
| ① | 延長配管(太) | 1 | 15.88φ フレアナット ニップル・絶縁パイプ付 | ⑧ | パテ | 1 | 200g |
| ② | 延長配管(細) | 1 | 9.52φ フレアナット ニップル・絶縁パイプ付 | ⑨ | 接続配線 | 1 | 2芯コード(パイプ長 +2m) |
| ③ | スリーブ(壁穴用) | 1 | 外径90mm | ⑩ | 接続配線 | 1 | 単芯コード(パイプ長 +2m) |
| ④ | 絶縁パイプ | 1 | 600mm | ⑪ | ビニールテープ (非粘着配管用) | 1 | 1mの場合 |
| ⑤ | ビニールパイプ | 1 | | | | 2 | 3m " |
| ⑥ | フランジ | 1 | | | | 3 | 5m " |
| ⑦ | 絶縁パイプ(φ15.88用) | 1 | 10m、15mの場合 | | | 4 | 7m " |
| | | | | | | 5 | 10m " |
| | | | | | | 7 | 15m " |
| | | | | | | 7 | 15m " |

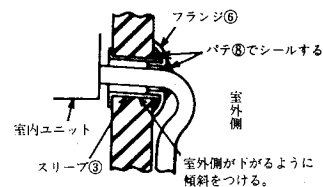
PAC-03~15FF
の場合

| 品番 | 品名 | 個数 | 仕様 | 品番 | 品名 | 個数 | 仕様 |
|----|----------|----|---------------------------------|----|---------------------|----|-----------|
| ⑪ | 延長パイプ(太) | 1 | 19.05φフレアナット付 | ⑮ | ニップル(細) | 1 | 1/2F×1/2F |
| ⑫ | 延長パイプ(細) | 1 | 12.70φフレアナット付 | ⑯ | 接続配線 | 1 | 2芯コード |
| ⑬ | 絶縁パイプ(太) | 1 | 外径45φ | ⑰ | 接続配線 | 1 | 単芯コード |
| ⑭ | 絶縁パイプ(細) | 1 | 外径38φ | ⑱ | ビニールテープ (非粘着配管用) | 2 | 3mの場合 |
| ⑮ | 絶縁パイプ(太) | 1 | 外径50φ-425mm | | | 4 | 5m " |
| | | | | | | 5 | 7m " |
| | | | | | | 7 | 10m " |
| | | | (⑮の絶縁パイプは太い延長パイプのフレキシ部分の断熱材です。) | 10 | 15m " | | |
| ⑯ | ビニールテープ | 1 | 3m・5mの場合 | ⑳ | スリーブ(壁穴用) | 1 | 外径90mm |
| | | 2 | 7m・10mの場合 | ㉑ | フランジ | 1 | |
| | | 3 | 15mの場合 | ㉒ | パテ | 1 | 200g |
| ㉓ | ニップル(太) | 1 | 3/4F×3/4F | | | | |

4 取付要領

壁貫通スリーブの取り付け

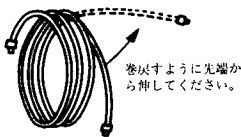
- 壁穴位置を決めます……室内側ユニットの据付説明書をよくお読みになって決めてください。
- 壁に右図のように室外側が下がり気味となるように、穴をあけてください……ホールコアドリル径95~100mm(スリーブ③の外径は90mmとなっています)。
- スリーブ③を右図のように差込み、室外側にフランジ⑥を差込み、壁とフランジの隙間をパテ⑧で塞いでください。



冷媒配管の準備

1. 延長パイプの伸長

ループしてある冷媒配管を巻き戻す要領で、ゆっくりと先端から少しづつ伸してください。急激に伸ばしたり引張ったりしますと、冷媒配管を傷める結果となりますので、絶対に避けてください。



2. 接続方向の確認

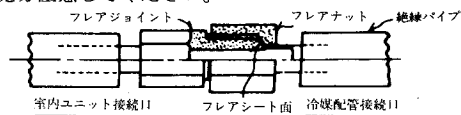
この延長パイプの室内側は容易に接続作業ができるように、室内側がフレキシブルチューブとなっていますので、方向を間違えないように、あらかじめお確かめください。



3. 延長パイプの曲げ

所定のコースに沿って、延長パイプを曲げ両端を室内ユニット、室外ユニットの接続口に合せてください。

(1)この曲げ作業にて、延長パイプを折ったり、つぶしたりしないように、充分注意してください。



- 配管を曲げる場合、急に曲げますと、配管が折れたり、つぶれたりしますので、できるだけ大きな曲げ半径で曲げてください。
- 小さな半径で曲げるときは、パイプベンダを使用してください。



(2)フレキシブルチューブの曲げ方

- 曲げ角度は90°以上にならないようにしてください。
- 曲げ箇所はできるかぎり配管の中央部で、また大きな曲げ半径で曲げてください。
- 折り曲げは3回以上くりかえさないでください。

ユニットへの接続

- 1.室内ユニット、室外ユニットの接続位置、並びに、パネル取り外し方法は、室内ユニットに添付してある据付説明書をご覧ください。
- 2.室内ユニットと冷媒配管のフレア接続を行ないます。
 - 太いパイプのメクラ栓を室内ユニットと冷媒配管の接続口より取り外して、接続フレアシート面に冷凍機油を塗布して、すばやく、接続してください。
 - メクラ栓を外したら、5分以内に接続を完了してください。外したまま長時間放置しますと、空気が混入し、エアコンの故障の原因となります。
 - 太いパイプの接続が終るまで、細いパイプのメクラ栓は、取り外さないでください。

エアパーズの作業方法

延長パイプの接続が長時間かかって、延長パイプに空気が混入したと思われる場合は、エアパーズを行なってください。

(5分以上かかった場合)

- エアパーズは、室外ユニットのストップバルブのサービスポートより行います。
- サービスポートのキャップを取り外し、太い方のストップバルブのサービスポートにお手持ちの冷媒ボンベ(R-22)をチャージホースにて接続します。

ガス洩れチェック

★配管接続作業完了後、ストップバルブを全開にして、冷媒回路を形成します。(まだ運転はしない。)その後、ガス検知器でフレア接続部からガス洩れがないことをご確認ください。ガス検知器がない場合は、セッケン水を接続部に塗ってガス洩れがないことをご確認ください。(セッケン水付着部はボロ布等でよくふきとってください。)

接続部の防露・断熱

1.接続部の防露・断熱

- 冷媒配管接続後は、結露、水洩れ対策として、必ず室内側付属品の断熱材を室内側フレア接続部が露出しないように取り付けてください。

冷媒量の調整

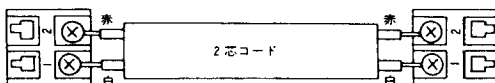
- 1.延長パイプ長さが下記の場合には、冷媒量の調整を行ってください。追加冷媒量は、機種によって異なりますので、この延長パイプを接続する室外ユニットのサービスパネルに貼ってある追加冷媒量を参照ください。

冷房専用機……15m以上 } 追加冷媒必要
冷暖兼用機……7m以上 }

- 冷媒(R-22)のボンベとチャージホースとはかりをご用意ください。
 - 冷媒チャージは必ず、計量して行なってください。
- 2.冷媒チャージは室外ユニットにある低圧側チャージプラグより行ないます。
 - 冷媒ボンベをはかりの上に乗せて、チャージホースを冷媒ボンベに接続してください。
 - チャージプラグ(チェックジョイント)のキャップをスパナで取り外して、チャージホースを仮りに接続し、冷媒ボンベのバルブを少し開けて、チャージプラグ(チェックジョイント)の部分より、ホース内の空気を放出し、一旦、冷媒ボンベのバルブを閉じ、チャージプラグ(チェックジョイント)とチャージホースを本締めしてください。

制御配線の接続

●冷媒配管の長さに合わせた接続配線が付属されています。下図のように制御配線が2本の場合は、2芯コード1本、制御配線が3本の場合は、2芯コード1本と単芯コードを併用して室内・室外ユニットの端子盤にそれぞれ両端を接続してください。詳しくは、室内ユニットに添付されている据付説明書をご覧ください。

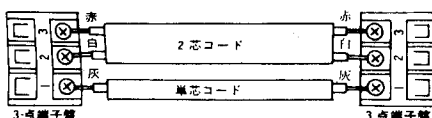


i) (極性有の機種の場合) 冷専機種

この場合は極性がありますので、端子番号とコードの色を合せて、室内・室外が同じ端子番号となるように接続してください。

ii) (極性無の機種の場合) 3マイコン機種

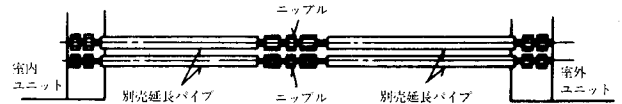
極性がないので、端子番号(1、2)を自由に接続してください。



(3点端子盤使用機種の場合)

この場合は極性がありますので、端子番号とコードの色を合せて、室内・室外が同じ端子番号となるように接続してください。

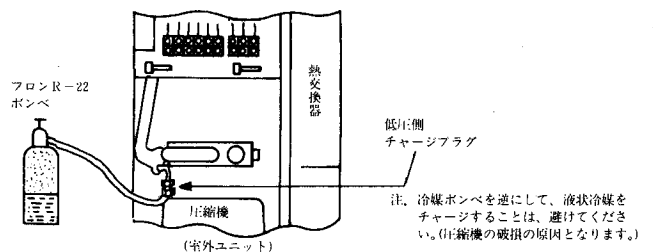
- 細いパイプは、太いパイプの接続と同一要領で実施してください。
 - 太いパイプ・細いパイプ共、ダブルスパナにて、本締めしてください。
 - 締付トルクは、目安として15.88φ-800kgcm、9.52φ-325kgcm、19.05φ-900kgcm、12.7φ-550kgcmです。
- 3.室外ユニットと延長パイプのフレア接続を行ないます。要領は、室内ユニットの接続と同じです。(2.項と同じ)
 - 4.本延長パイプを2本以上つなげる場合には、付属のニップルをご使用ください。



- 太い方のストップバルブの、接続口より冷媒ガスを放出しますので、フレアナットをゆるめてください。
- 10秒間放出後、冷媒ボンベのバルブを閉じて、放出側のゆるめたフレアナットを、完全に締め付けてください。
- チャージホースを取り外し、サービスポートのキャップを元の位置に取付けて完全に締め付けてください。
- ストップバルブの操作の詳細は、室外ユニットのパネルの説明書をご覧ください。

- 配音をまとめて、ビニールテープ①で巻くときれいに仕上がります。図のように、テープの巾の約1/2を重ねて巻いてください。

- エアコン本体を運転して、圧縮機を運転してください。これから冷媒チャージです。
- 冷媒ボンベのバルブを除々に開いて規定の冷媒をチャージします。
- チャージ完了後、冷媒ボンベのバルブを閉じて、チャージホースを取り外してください。
- 作業完了後、取り外したキャップは、必ず、元のように取り付けて充分締め付けてください。



フレキシジョイント

形名 PAC-492・493FJ

1 適用機種

| | |
|-----------|-----------|
| PAC-492FJ | PAC-493FJ |
| 35～80形 | 100～140形 |

2 使用方法

市販銅管を利用して配管する際、ガス管(太い方)[PAC-492FJ]、ガス・液管共[PAC-493FJ]配管曲げ作業をやりやすくする部品です。

3 付属部品

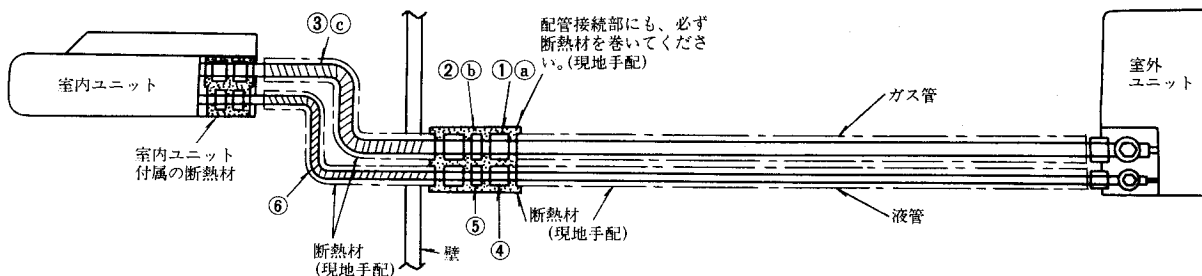
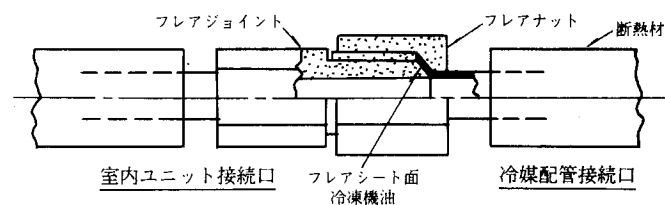
| PAC-492FJ | | | | PAC-493FJ | | | |
|-----------|------------|----|-------------------|-----------|------------|----|-------------------|
| 品番 | 品名 | 個数 | 仕様 | 品番 | 品名 | 個数 | 仕様 |
| ① | フレアナット | 1 | 5/8 | ① | フレアナット | 1 | 3/4 |
| ② | ニップル | 1 | 5/8×5/8 | ② | ニップル | 1 | 3/4×3/4 |
| ③ | フレキシブルチューブ | 1 | 両端フレアナット5/8付 40cm | ③ | フレキシブルチューブ | 1 | 両端フレアナット3/4付 60cm |
| | | | | ④ | フレアナット | 1 | 1/2 |
| | | | | ⑤ | ニップル | 1 | 1/2×1/2 |
| | | | | ⑥ | フレキシブルチューブ | 1 | 両端フレアナット1/2付 60cm |

4 取付要領

- ①このフレキシジョイントは、室内側に使用してください。
- ②室内ユニットの配管接続部位置、パネルの取り外し方法、配管接続方法は、室内ユニットに添付の据付説明書をご覧ください。
- ③製作される延長パイプは、両端を、φ19.05は3/4Fに、φ15.88は5/8F、φ12.7は1/2Fに、フレア加工してください。この際、本フレアジョイント付属のフレアナット①、②、④、室内・室外ユニット添付のフレアナットをご利用ください。



- ④延長パイプと本フレキシジョイントの接続は、付属のニップル②、⑤、⑥を介して接続してください。
- ⑤室内ユニット接続部と延長パイプ接続部のフレア接続部は、右図のように、シート面に冷凍機油(室内ユニット付属)を塗布してください。
- ⑥冷媒配管全体の接続完了後は、必ずせっけん水、リークディテクター等にて洩れがないことを、確認してください。また内部に入った空気を出すため、エアパージ、真空引を行ってください。
- ⑦フレキシジョイント、延長パイプ、配管接続部は、必ず確実な断熱を行ってください。
- ⑧冷媒配管内には、ゴミ、水分等が入らないように工事してください。
- ⑨冷媒配管長さにより、冷媒(R-22)を追加チャージしてください。(追加冷媒量は、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。)

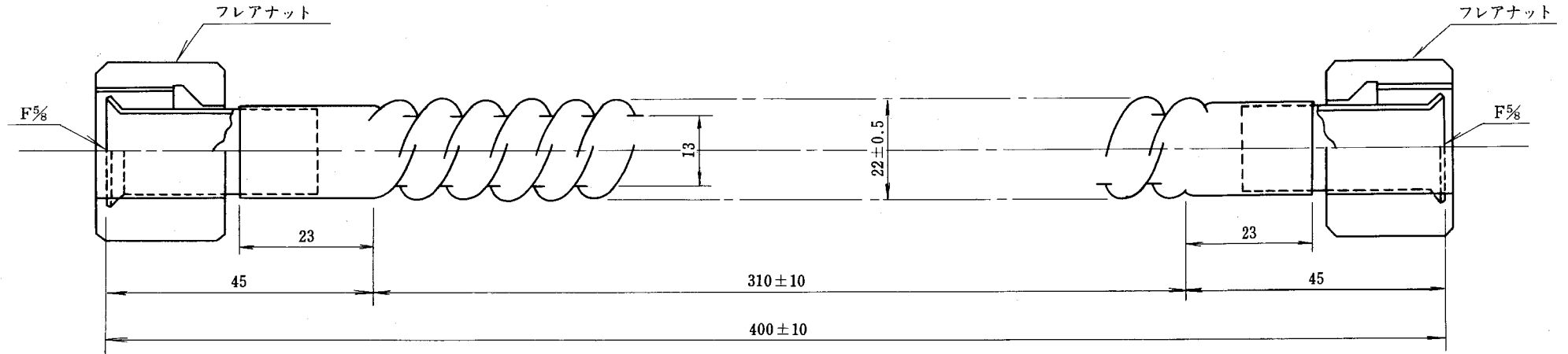


フレキシブルチューブの曲げ方法

- 曲げ角度は90°以上にならないようにしてください。
- 曲げ箇所は、できるかぎり配管の中央部で、また大きな曲げ半径で曲げてください。
- 折り曲げは3回以上くりかえさないでください。

三菱電機パッケージエアコン用フレキシジョイント外形図

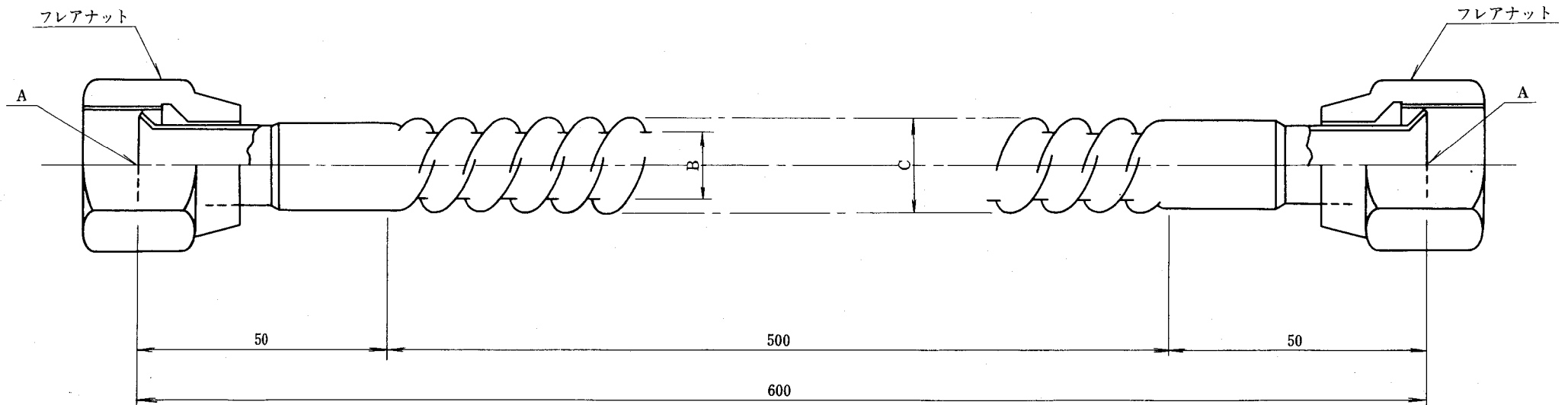
形名PAC-492FJ 適用機種35～80形



三菱電機パッケージエアコン用フレキシジョイント外形図

形名PAC-493FJ 適用機種100～140形

| | A | B | C |
|------|-------|----|----|
| 液管用 | 1/2 F | 11 | 17 |
| ガス管用 | 3/4 F | 15 | 23 |



※上記フレキパイプが液管用、ガス管用計2本入っています。

デマンドインバーターマルチ用 異径継手

形名 PAC-621JP・622JP
623JP・624JP

1 適用機種

PUHMZ-105A₃K形、PUHMZ-80(S)A₃K形

2 使用方法

冷媒配管径と室外機・室内機の配管接続口の径が合わない場合に使用して下さい。

3 異径継手選定方法

(1) 配管サイズの選定

■冷媒配管の径は室内機能力の大小によって異なります。室内・室外機の接続配管の径は、下記の表にあわせてください。

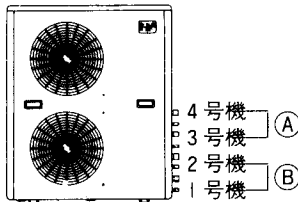
■冷媒配管径と室外機・室内機の配管接続口の径が合わない場合は別売の異径継手をご使用ください。

室内機配管サイズと使用配管サイズ 液/ガス

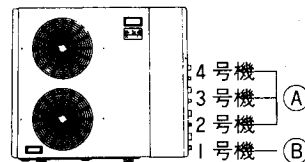
| | 本体配管サイズ | 現地施工配管サイズ |
|--|------------|------------|
| PLH-25MKZD形 PEH-25MKZD形 MFH-251・351BXS形 PTH-25AKZD形 | 6.35/12.7 | 6.35/12.7 |
| PLH-35MKZD形 PEH-35MKZD形 | 9.52/12.7 | 9.52/12.7 |
| PLH-45MKZD形 PEH-45MKZD形 Mr. SLIM35~71形 全機種 | 9.52/15.88 | 9.52/15.88 |

(2) 異径継手の選定

PUHMZ-105A₃K形



PUHMZ-80(S)A₃K形



| | |
|---|--------------------------------|
| ① | 液管φ6.35 1/4F ガス管φ12.7 1/2F |
| ② | 液管φ9.52 3/8F ガス管φ15.88 5/8F |

(※3室マルチの場合は、
4号機がありません。)

上図のように、室外機の配管接続口は、①② 2種類のサイズとなっておりますので、下記の表1に従って、①及び②の接続口に、どの室内機を接続するかを確認してください。

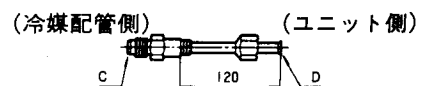
不要と記されている組み合わせの場合は、そのまま接続できますが、その他の場合は、表に記入されている形名の「別売異径継手」が必要となります。(異径継手の形状は表2の下に示します。)

<表1>

| 室外機接続口 | 室内機形名 | | |
|----------------|------------------------|---|--------------------------|
| | | PLH-25MKZD PEH-25MKZD PKH-25CKZD MFH-251・351BXS形 PTH-25AKZD | PLH-35MKZD PEH-35MKZD |
| ①の接続口に 継ぐ場合 | 不 要 | PAC-622JP (室外機側に使用) | PAC-624JP (室外機側に使用) |
| ②の接続口に 継ぐ場合 | PAC-621JP (室外機側に使用) | PAC-623JP (室外機側に使用) | 不 要 |

<表2>

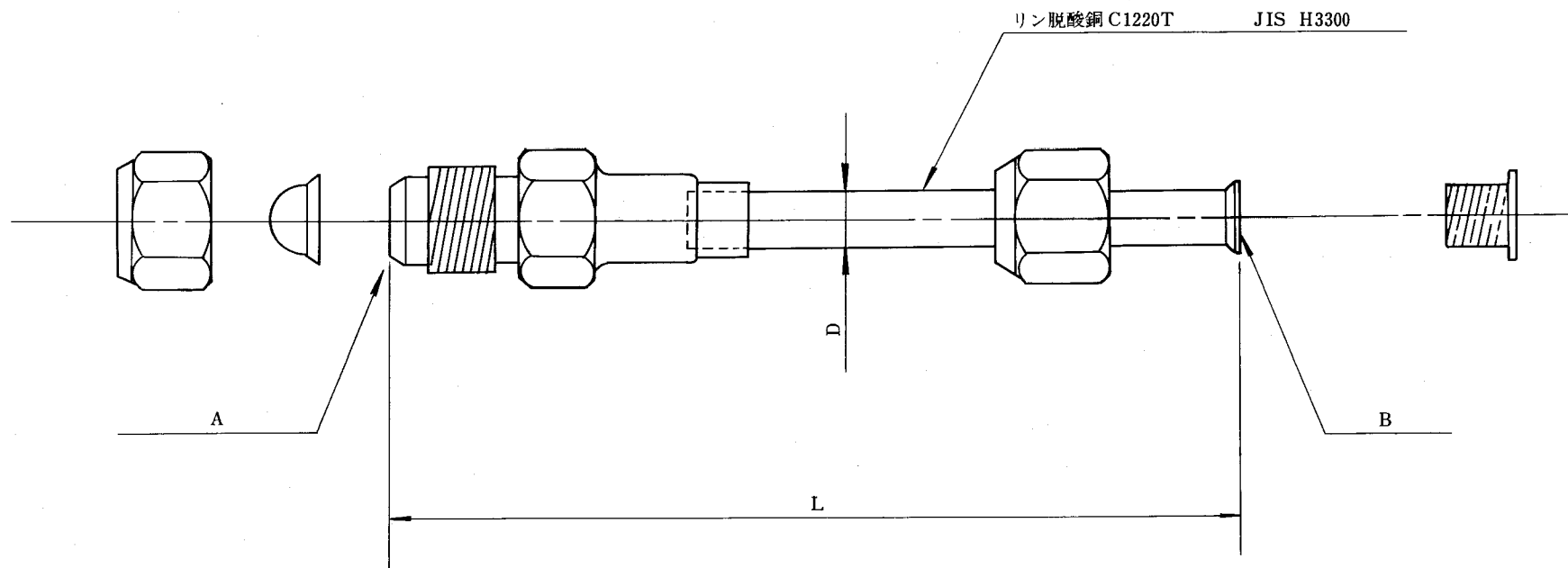
| | 液 管 | | ガ ス 管 | |
|-----------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|
| | C | D | C | D |
| PAC-621JP | φ 6.35mm 1/4F | φ 9.52mm 3/8F | φ 12.7mm 1/2F | φ 15.88mm 5/8F |
| PAC-622JP | φ 9.52mm 3/8F | φ 6.35mm 1/4F | — | — |
| PAC-623JP | — | — | φ 12.7mm 1/2F | φ 15.88mm 5/8F |
| PAC-624JP | φ 9.52mm 3/8F | φ 6.35mm 1/4F | φ 15.88mm 5/8F | φ 12.7mm 1/2F |



三菱電機デマンドインバーターマルチ用異径継手外形図

形名PAC-620~624JP 適用機種PUHMZ-80(S)A₃K形、PUHMZ-105A₃K形

別売異径継手



| 型名 | A | B | L | D |
|-----------|------|------|-----|---------|
| PAC-621JP | 1/4F | 3/8F | 136 | φ 9.52 |
| | 1/2F | 5/8F | 149 | φ 15.88 |
| PAC-622JP | 3/8F | 1/4F | 146 | φ 6.35 |
| PAC-623JP | 1/2F | 5/8F | 149 | φ 15.88 |
| PAC-624JP | 3/8F | 1/4F | 146 | φ 6.35 |
| | 5/8F | 1/2F | 152 | φ 12.7 |

室外ユニット用L字形接続パイプ 形名 PAC-SA32・33・39PI

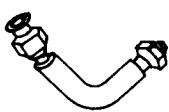


1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|---------------------|
| PAC-SA32PI | PU(H)-35~80EKD・EGD |
| PAC-SA33PI | PU(H)-90・100EKD・EGD |
| PAC-SA39PI | PU(H)112~140EKD・EGD |

2 使用方法

この接続パイプは、室外ユニット機械室内での現地配管曲げが行えない場合にご使用ください。前・後・右取出配管の場合、本品を室外ボールバルブに接続いただき、本品と現地配管を接続します。

3 付属部品

| 形名 | 部品 | ①液管(細) | ②ガス管(太) | ③冷凍機油 |
|------------|--|-------------|---|--|
| PAC-SA32PI |  | $\phi 9.52$ |  |  |
| PAC-SA33PI | | $\phi 12.7$ | | |
| PAC-SA39PI | | | $\phi 19.05$ | |

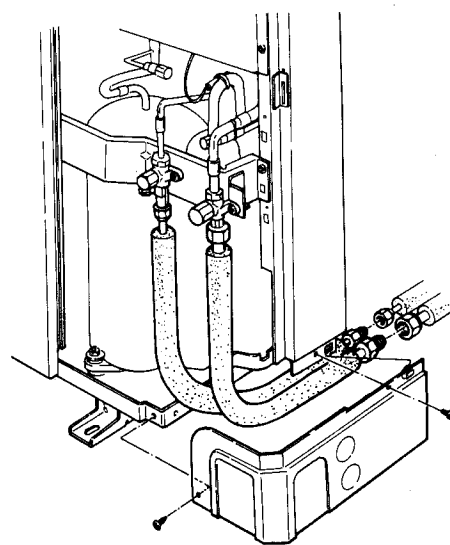
4 取付要領

- サービスパネル、配管カバーを取外してください。
(詳細は、室外ユニット据付説明書参照)
- ボールバルブの液管側に接続パイプ(細)、ガス管側に接続パイプ(太)の各々フレア加工側を接続します。
- PAC-SA32PIは、フレア加工の長さを56~80タイプに合わせてあります。

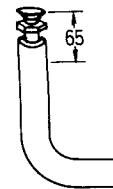
ご注意

1. パイプの切断及びフレア加工を行う際、パイプ内部に切粉などが入らないように充分注意してください。
2. フレア接続を行う前に、ボールバルブ及び接続パイプのフレアシート面に付属の冷凍機油を薄く塗布してください。

- 希望の配管取出方向にL字形接続パイプのフレアジョイント側を向け、現地配管のフレアナットを締付けてください。
- 配管接続後、必ずリークディテクター、または石けん水でガス洩れのないことをチェックしてください。



50タイプ以下にご使用になる場合は、パイプのフレア側及びパイプカバーを65mm切断し、パイプの切断面をフレア加工してください。



壁掛形左配管接続パイプ 形名 PAC-SA42・43PI

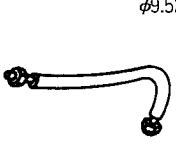


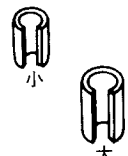
1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|---------------------|
| PAC-SA42PI | PK(H)-35~71EKD, ELD |
| PAC-SA43PI | PK(H)-90EKD, ELD |

2 使用方法

この接続パイプは、壁掛形において左配管接続を行う場合にご利用ください。

3 付属部品

| ①液管(細) | ②ガス管(太) | ③冷凍機油 | ④パイプカバー |
|---|---|--|---|
|  $\phi 9.52(\phi 12.7)$ ※ |  $\phi 9.52(\phi 12.7)$ ※ |  |  |

※()内の数字はPAC-SA43PIの場合

4 取付要領

ご注意

- パイプの切断及びフレア加工を行なう場合、切粉などが入らないように十分注意してください。

1. 現地配管との接続

- フレアシート面に冷凍機油③を薄く塗布してください。現地配管と接続パイプを接続し、パイプカバー④でジョイント部図1の通りに断熱してください。
- パイプカバー④は太い方がガス管側、細い方が液管側です。
- パイプカバー取手時隙間がないようにしっかりテープで固定してください。

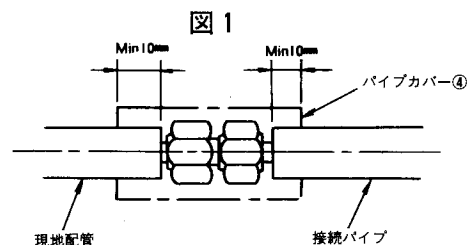
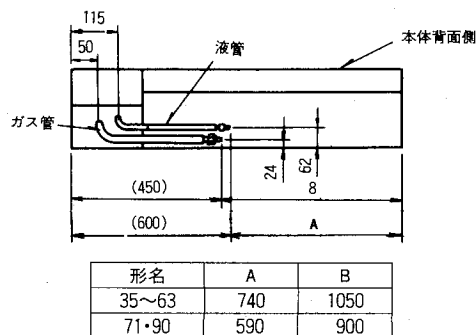


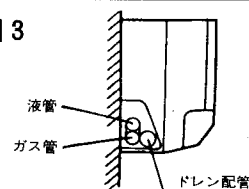
図2 冷媒配管位置



ご注意

- 冷媒配管、ドレン配管との位置関係が右図のように配置されると次の作業が容易にできます。
※ドレン配管は持上りのない様にしてください。

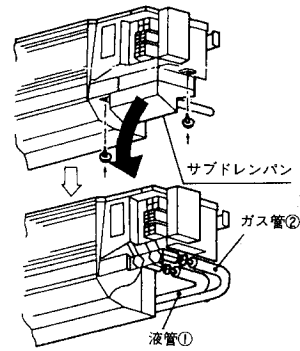
図3



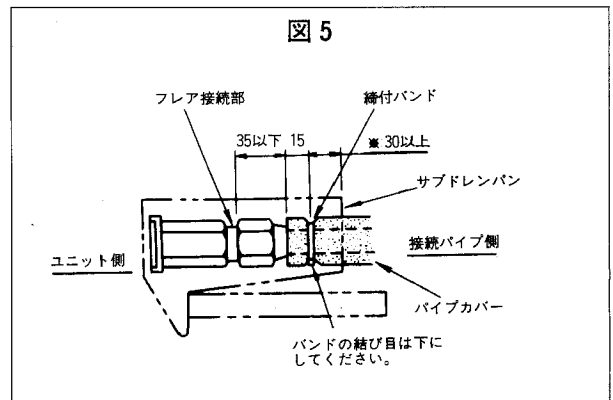
2. 配管接続作業

- サブドレンパンを外した状態で液管①、ガス管②の順に本体ユニットと図4に示すように接続し、更に図5に示す通り露付き防止バンド液管、ガス管に施してください。
- 配管接続完了後、パイプカバーの図5の位置に締付バンドを締付けてください。その時結び目は下にして、余分なバンドはカットしてください。(冷媒配管2本)
- (注1) パイプカバーの締付バンドの位置が、サブドレンパンの端面より※30以上中に入っていることを確認してください。
- (注2) 配管はサブドレンパンの中で下り勾配(現地側下り)にならない様に注意し、水平以上を確保してください。

図4



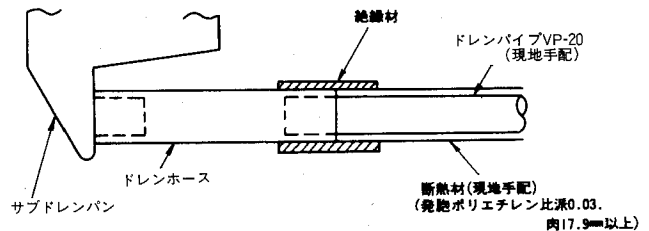
フレアナット締付前にパイプ継手シート面に③冷凍機油を薄く塗布してください。



3. ドレン配管

- 2)の作業終了後サブドレンパンのドレンホースと現地手配のドレンパイプVP-20とを図6に示す仕様で接続してください。
- ドレン配管は露タレ、逆勾配に注意して図6のように確実に行ってください。
- サブドレンパンのドレンホースとドレンパイプは、塩ビ用接着剤(現地手配)を用い水洩れのないようしっかり固定してください。
- ドレンホースと現地側ドレン配管の接続部に露タレのないように絶縁材を巻付けてください。
- (注) ドレン配管は、サブドレンパン出口の高さにより絶対に高くならないようにし、室外側(排水側)が下がり勾配(1/100以上)になるようにしてください。

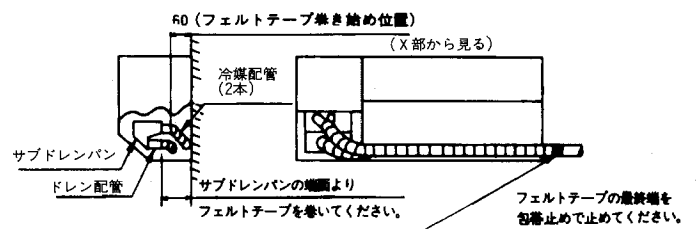
図6



4. 配管のまとめ

- 冷媒配管・ドレン配管がユニット内を通る部分には、露タレ防止の為、断熱材の上からフェルトテープで図7のようにテーピングしてください。
- (注1) フェルトテープの重ね幅は、テープの幅1/2以下。
- (注2) ドレン配管と冷媒配管は別々にフェルトテープを巻いてください。又、冷媒配管は液間、ガス管共に巻いてください。
- 配管後、確実に排水するか又、接続部から水洩れのないことを確認してください。

図7



バーナーユニット連結配管 形名 PAC-SB37・38PI

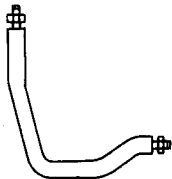
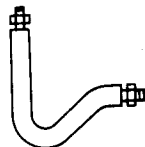

1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|----------------------|
| PAC-SB37PI | PUB-95EK+PUH-71EKD |
| PAC-SB38PI | PUB-165EK+PUH-125EKD |

2 使用方法

通常の配管ではバーナーユニットと室外ユニットの接続がしにくいため、その接続を簡単にする配管です。

3 付属部品

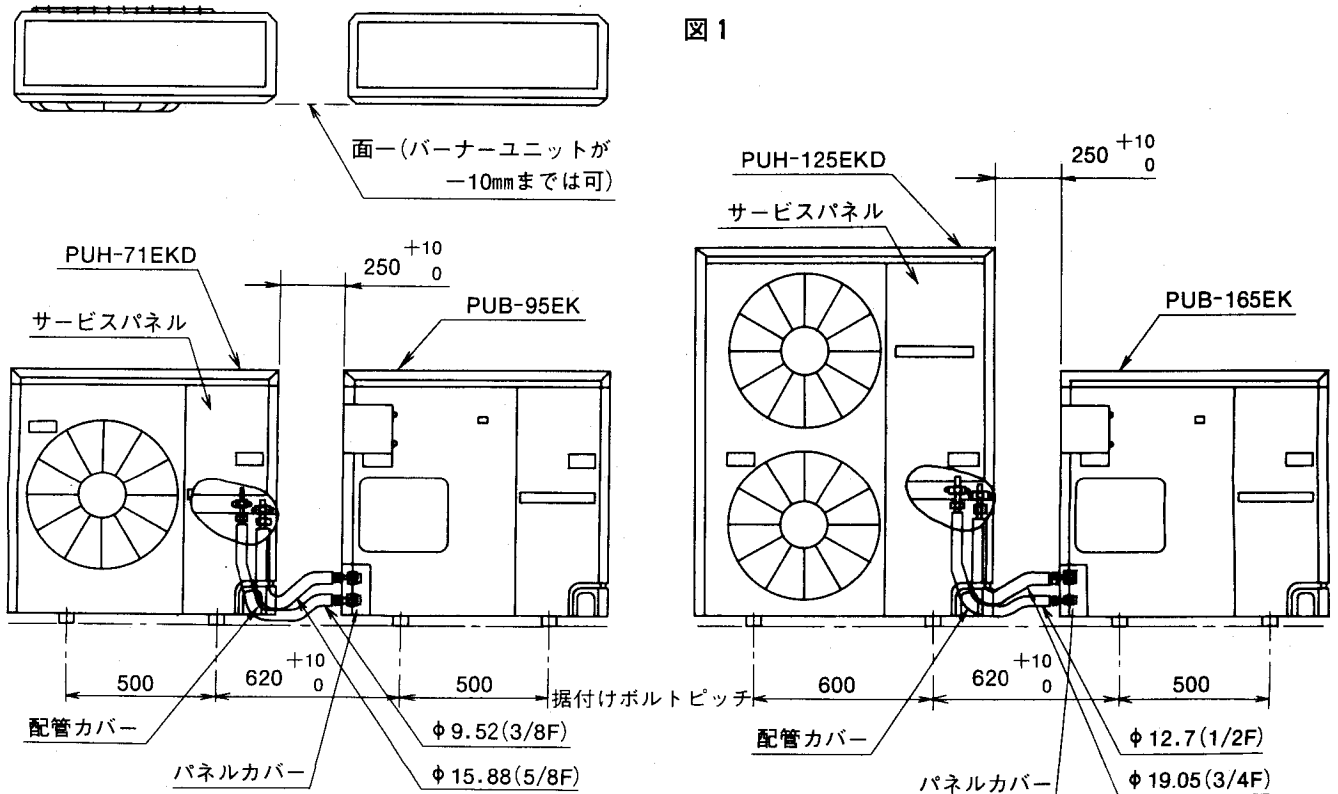
| 連結配管(液側) | 連結配管(ガス側) | 冷凍機油 |
|---|---|--|
|  <p>1本</p> <p>SB37PI : φ9.52(3/8F) SB38PI : φ12.7(1/2F)</p> |  <p>1本</p> <p>SB37PI : φ15.88(5/8F) SB38PI : φ19.05(3/4F)</p> |  <p>冷凍機油</p> |

4 取付要領

1. バーナーユニット・室外ユニット据付け説明図

バーナーユニットと室外ユニットの前面は、面一としてください。

各々のユニットの据付け詳細については、技術資料、据付説明書を参照ください。



2. バーナーユニットを室外ユニットの据付け条件

バーナーユニットと室外ユニットは図1のように据付けてください。ユニット間の距離は $250\text{mm} \pm \frac{10}{0}\text{mm}$ としてください。この寸法より広い(又は狭い)状態で据付けますと、配管を接続するときに配管やフレア加工部に無理な力が加わり、配管折れやフレア加工部の変形、キズ、キレツなどを生じ、ガスモレを起こす原因となります。

3. 連結配管の接続

配管の接続が完了するまでストップバルブは全閉のままとしておいてください。

(1)準備

- ①バーナーユニットのパネルカバーを室外ユニットのサービスパネルを各々取りはずしてください。
- ②室外ユニットの配管カバーを取りはずし、配管右取出し側のノックアウト部をニッパなどを使ってきれいに切り取ってください。

(2)配管の接続

- ①バーナーユニットと室外ユニットのストップバルブに取付けてあるフレアナットを取りはずしてください。
- ②ストップバルブおよび連結配管のフレアシート面に付属の冷凍機油を薄く塗布してください。
- ③まず、ガス側(太い)配管から接続し、次に液側(細い)配管を接続してください。フレアナットは手で十分に締め込み、最後にスパナで締め込みます。この場合ストップバルブに無理な力が加わらないように必ずダブルスパナで締め込んでください。締め付け力の目安を表に示しますので参考にしてください。

| | | | | |
|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 配管外径(mm) | $\phi 9.52$ | $\phi 12.7$ | $\phi 15.88$ | $\phi 19.05$ |
| 締め付け力(kg・cm) | 350~420 | 500~575 | 750~800 | 1000~1400 |

現地でトルクレンチを持っていない場合は次の方法を目安にしてください。

フレアナットをスパナで締め付けていくと締め付けトルクが急に増すときがありますのでそこで一度とめて、それから更に次の表の角度だけ回転させます。

| | | | | |
|----------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 配管外径(mm) | $\phi 9.52$ | $\phi 12.7$ | $\phi 15.88$ | $\phi 19.05$ |
| 締め付け角度 | $60^{\circ} \sim 90^{\circ}$ | $30^{\circ} \sim 60^{\circ}$ | $30^{\circ} \sim 60^{\circ}$ | $20^{\circ} \sim 35^{\circ}$ |

- ④フレア接続が完了したら、配管の真空引きまたはエアパージを行なってください。

(ガス側、液側とも同じ要領で行ってください。)

真空引きは、バーナーユニットのストップバルブにあるサービスポート口に真空ポンプを接続して行ってください。エアパージの場合は室外ユニット側のフレアナットをゆるめてバーナーユニット側のストップバルブのサービスポート口からお手持ちの冷媒(R-22)で行ってください。(バーナーユニットおよび室外ユニットに封入してある冷媒では絶対に行わないでください。)エアパージが終了したらフレアナットを元のように締め込んでください。真空引きまたはエアパージが終了したらサービスポートのキャップを元のように取付けてください。取付が不十分ですとガスモレの原因となりますので確実に取付けてください。

- ⑤接続部からガスモレがないか、リークディテクタまたは石けん水で確認してください。(お手持ちの冷媒で圧力をかけてください。)
- ⑥全ての作業が終了したら、バーナーユニット、室外ユニットとも、ストップバルブを全開にしてください。ストップバルブの取扱い方はバーナーユニットおよび室外ユニットのサービスパネルに貼付してあります。バルブが完全に開いていないと故障の原因となります。
これでバーナーユニットと室外ユニットは連結されました。

(3)カバー、サービスパネルの取付け

準備のときに取りはずしたカバー、サービスパネルを取付けてください。室外ユニットの配管カバーを取付けるときパイプカバーにキズをつけないように注意してください。

床置形接続パイプ

形名 PAC-SA40・41PI

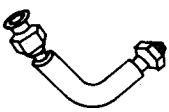



1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|----------------------------|
| PAC-SA40PI | PS(H)(Z)-45~80EKH(D)・EGD |
| PAC-SA41PI | PS(H)(Z)-100~140EKH(D)・EGD |

2 使用方法

この接続パイプは、床置形スリムエアコンユニット室内での現地配管曲げが行えない場合にご使用ください。左、右、後取出配管の場合、本品をフレアジョイントに接続いただき、本品と現地配管を接続します。

3 付属部品

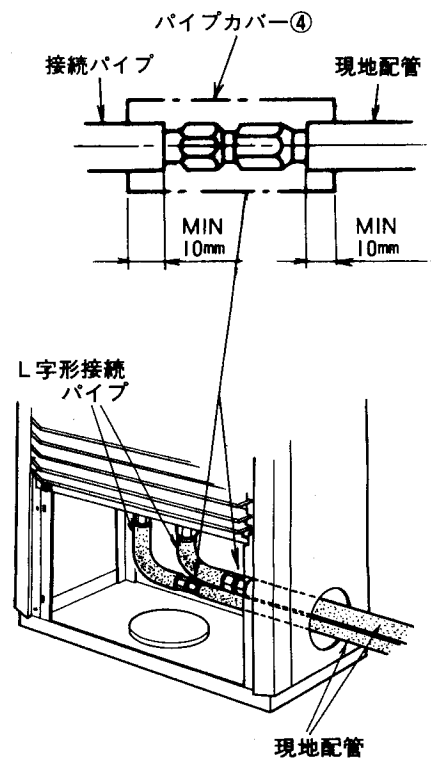
| 形名 | 部品 | ①液管(細) | ②ガス管(太) | ③冷凍機油 | ④パイプカバー |
|------------|--|--------|---|---|--|
| PAC-SA40PI |  | φ9.52 |  |  |  細 |
| PAC-SA41PI | | φ12.7 | | | |

4 取付要領

ご注意

1. パイプの切断及びフレア加工を行なう場合、切粉などが入らないように充分注意してください。(現地配管)
2. フレア接続を行なう前に、フレアジョイント及び接続パイプのフレアシート面に付属の冷凍機油③を薄く塗布してください。

- (1) サービスパネル、電気品箱を取外してください。(詳細は室内ユニット据付説明書参照)
- (2) 希望の配管取出方向にL字形接続パイプのフレアジョイント側を向け現地配管のフレアナットを締付けてください。
- (3) 締付け後、パイプカバー④でジョイント部を右上図仕様の通りに断熱してください。
パイプカバー④は、太い方がガス管側、細い方が液管側です。
パイプカバー取付時、隙間がないようにしっかりテープで固定してください。
- (4) 本体ユニットフレアジョイントの液管側に接続パイプ①(細)ガス管側に接続パイプ②(太)の各フレア加工側を接続します。



(例)右配管の場合
(前パネルをはずした状態)

配管接続後、必ずリークディテクター、又は石鹼水でガス洩れのな
いことをチェックしてください。

三菱電機パッケージエアコン用別売部品

補助電気ヒーター (PLH-GKD用)

形名 PAC-SB39~45EH

1 適用機種

| 形名 | 仕様 | 適用機種 | 形名 | 仕様 | 適用機種 |
|------------|---------|---------------|------------|---------|----------------|
| PAC-SB39EH | 単相1.4kW | PLH-35・40SGKD | PAC-SB43EH | 三相2.1kW | PLH-56~90GKD |
| PAC-SB40EH | 三相1.4kW | PLH-35・40GKD | PAC-SB44EH | 三相2.6kW | PLH-100GKD |
| PAC-SB41EH | 単相1.6kW | PLH-45・50SGKD | PAC-SB45EH | 三相3.0kW | PLH-112~140GKD |
| PAC-SB42EH | 三相1.6kW | PLH-45・50GKD | | | |

2 使用方法

ヒーターレス機種で暖房能力を上げたい場合、室内ユニットに組込んで使用します。

3 付属部品

| PAC-SB39~44EHの場合 | | PAC-SB45EHの場合 | |
|---|-------------------------------|-------------------------|------------|
| ①ヒーター本体 (コネクタ1ヶ付) 1個 | ①ヒーター本体(ラベル付) (コネクタ2ヶ付) 1個 | ②ヒーター本体 (コネクタ1ヶ付) 1個 | |
| ③タッピンネジ 4×10 PAC-SB39~44EH---2本 PAC-SB45EH----4本 | ④リレー(リード線含む) 1個 | ⑤タッピンネジ 3×8 2本 | ⑥ラベル 1枚 |

4 取付要領

1. ヒーター組込み


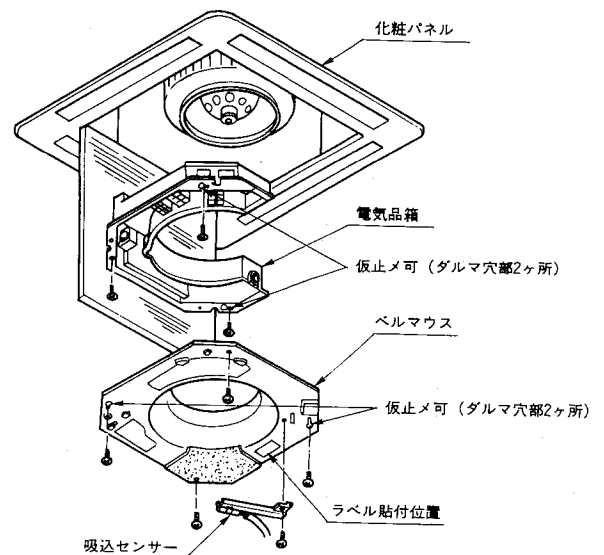
- (1)化粧パネルの吸込グリルを開けて、ロングライフフィルターを取外してください。
- (2)吸込みセンサーを取外します。
- (3)ベルマウスを取外します。( 参照)
取付ネジ(4本)を取外しベルマウスを取外してください。(この時2ヶ所は仮止めできるようになっております。)
- (4)電気品箱を取外します。取付ネジ(3本)を取外し電気品箱を取り外してください。
<PAC-SB44EHの場合不要>
(この時2ヶ所は仮止めできるようになっています。)

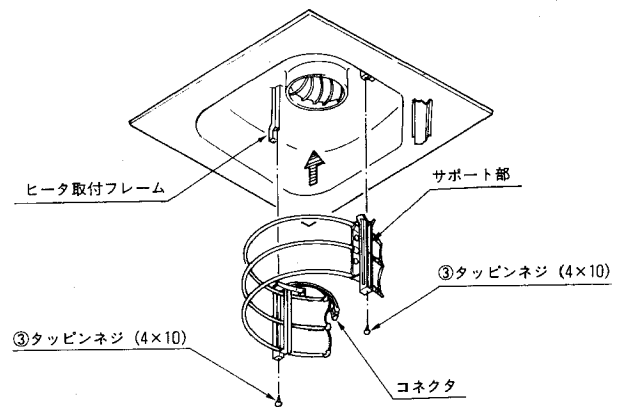
図1 ユニット分解



(5) 図2のように、ヒーター本体①、②のサポート部を空調機本体のヒーター取付フレームにスライドさせ、付属のタッピンネジ③(4×10)で固定してください。

(注)この時ヒーターの向きを 図3 図4 図5のように合わせてください。

図2 ヒーター組込み



2. 配線接続

(1)ヒーター本体のリード線を 図3 図4 図5 に従い配線し、コードクランプでしっかり固定してください。

図3 PAC-SB39~43EHの配線

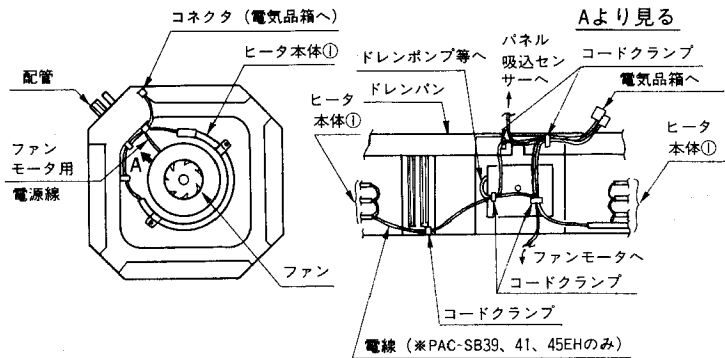
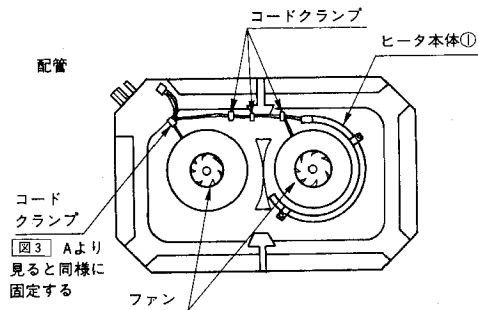
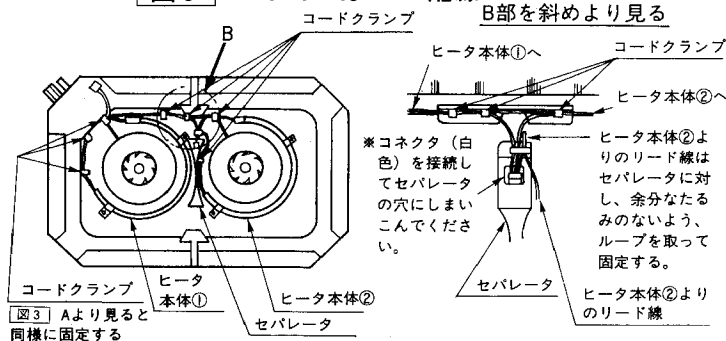


図5 PAC-SB44EHの配線



※PAC-SB44EHのヒーター本体①は反配管側のファンの廻りに取り付けます。位置の間違いないようにご注意ください。

図5 PAC-SB45EHの配線



(注)ヒーター本体のリード線がファンやヒーター及び熱交換器に触れないようにコードクランプでしっかり固定してください。

クランプヶ所数

- PAC-SB39・41EH …… 4ヶ所
- PAC-SB40・42・43EH …… 2ヶ所
- PAC-SB44EH …… 5ヶ所
- PAC-SB45EH …… 9ヶ所

(2)電気品箱を元通り取りつけてください。

図6 電気品箱内の納まり

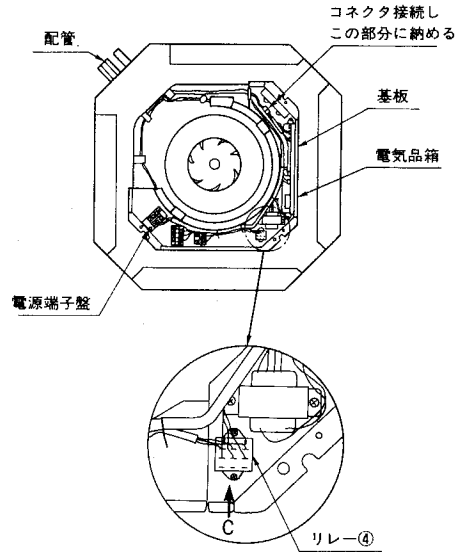
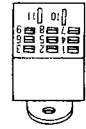


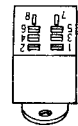
図7 C部斜め上より見る

リレー④は、取付方向がありますので図示のように取付けてください。

(A) 3相の場合



(B) 単相の場合



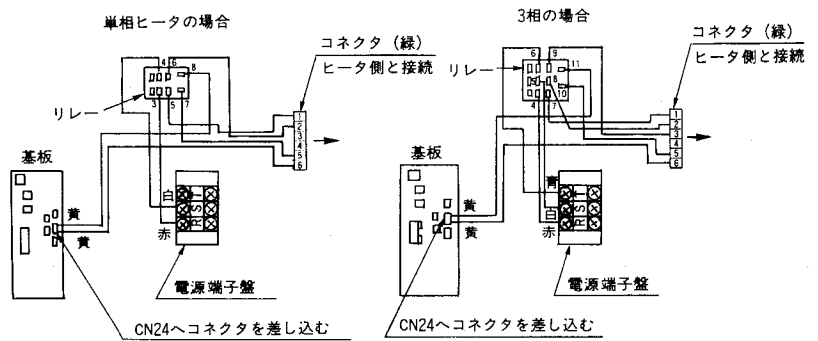
(3) 図6・図7を参考に電気品箱内にリレー④をタッピンネジ⑤(3×8)で固定してください。この時リレー④の取付け方向が有りますので注意してください。

(4) PAC-SB45EHはヒーター本体①のコネクタ(緑)に貼られているラベルを取除いてください。

(5) 図8・図9に従いリレー④のリード線を基板並びに電源端子盤に接続してください。

(6) ヒーター本体①からのリード線のコネクタ(緑)と、リレー④からのリード線のコネクタ(緑)を接続し、電気品箱内に納めてください。この時、リード線を固定するために、従来から有るリード線を束ねているファスナーを外し、いっしょに束ねてください。

図8 配線図



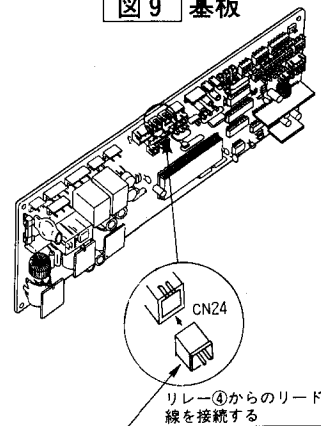
3. 再組立

(1) 以上のように電気ヒーター本体の取付及び電気配線の接続が確実にこなわれていることを確認したら、取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けます。

(2) 付属のラベル(電気ヒーター現地組込済)⑥をベルマウスの見やすいところに貼付けてください。

(図1 参照)

図9 基板



ご注意

- ユニット本体の元電源が、OFFであることを確認してください。
- 電気ヒーター取付の為、多くのネジを外します。紛失しないようにしてください。また、再組立の際は、取外した時と同じネジを使用してください。
- ヒーター本体は機種により使用数が異なります。

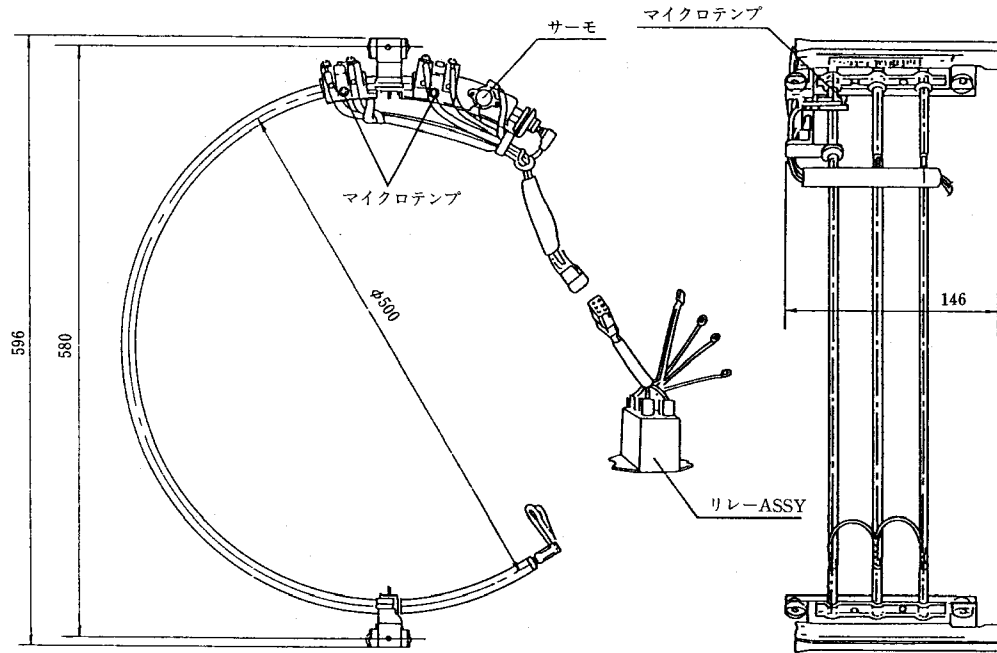
〔 PAC-SB39EH~SB44EHの場合 1 個使い〔ヒーター本体①〕 〕

〔 PAC-SB45EHの場合 異部品の 2 個使い〔ヒーター本体①、②〕 〕

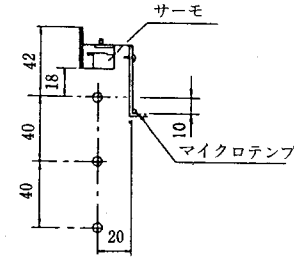
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SB39EH

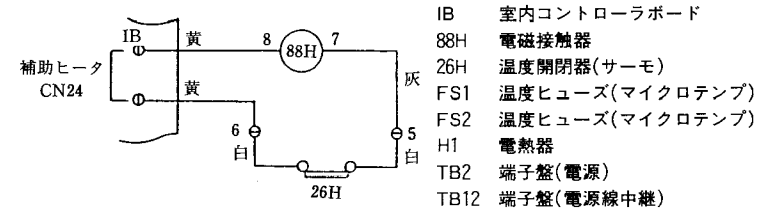
適用機種 PLH-35・40SGKD(单相)



サーモ・マイクロテンプ取付詳細図

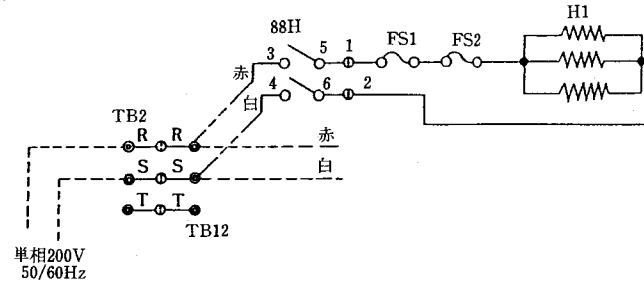


ヒータ電気配線図



仕様

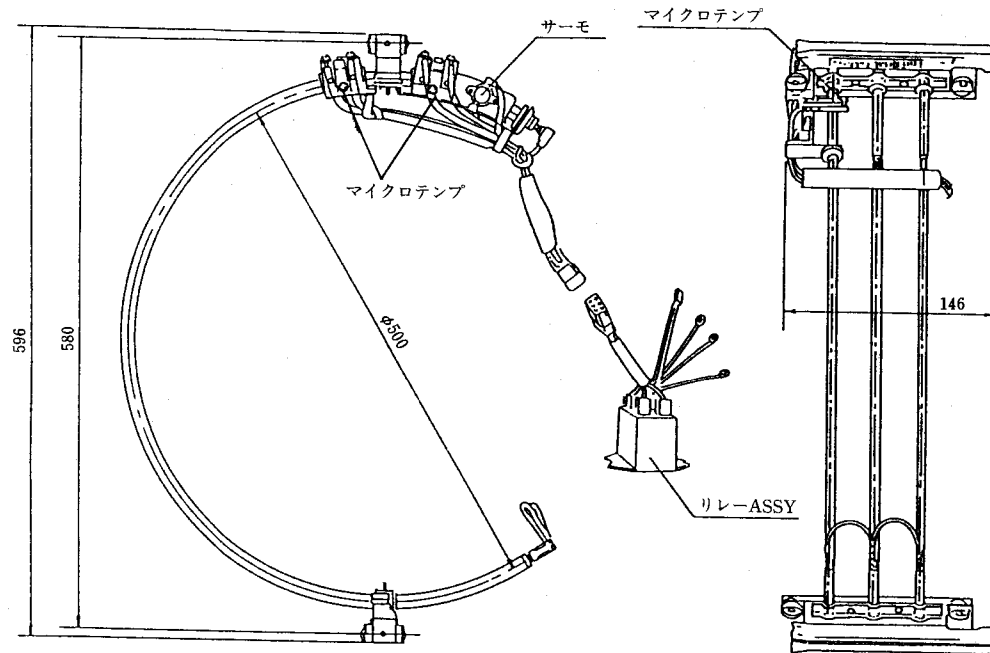
| | |
|---------|------------------------|
| 形名 | PAC-SB39EH |
| 定格電源 | 单相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 7A |
| 定格容量 | 1.4kW |
| マイクロテンプ | (FS1)91℃10A(FS2)76℃10A |
| サーモ | 42±3℃OFF 32±5℃ON |
| 適用機種 | PLH-35・40SGKD |



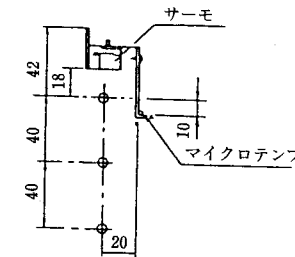
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SB40EH

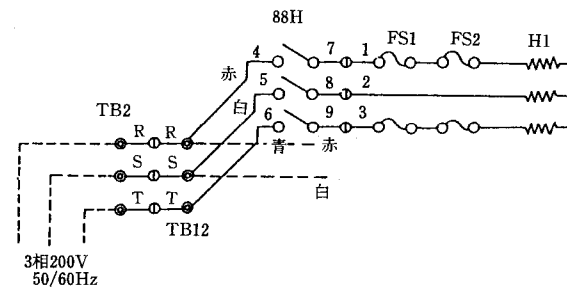
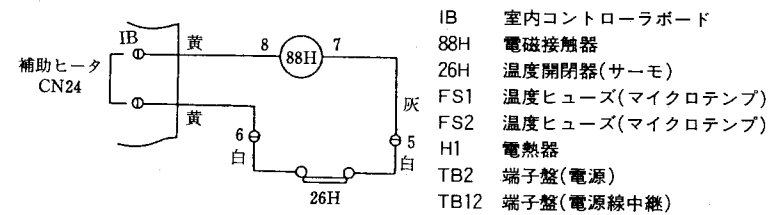
適用機種 PLH-35・40GKD(三相)



サーモ・マイクロテンプ取付詳細図



ヒータ電気配線図



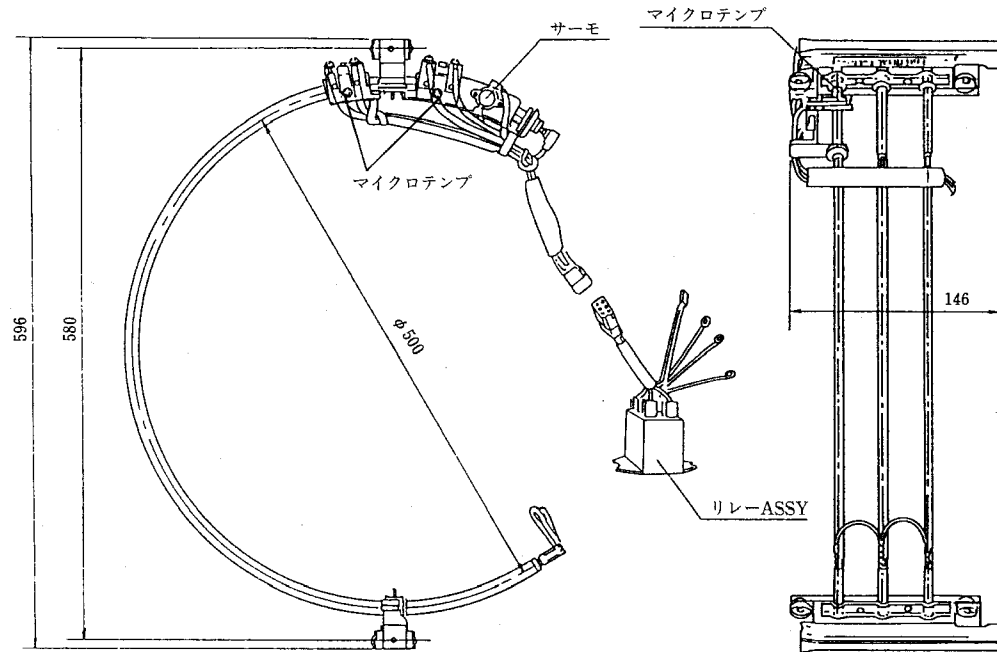
仕様

| | |
|---------|------------------------|
| 形名 | PAC-SB40EH |
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 4A |
| 定格容量 | 1.4kW |
| マイクロテンプ | (FS1)91℃10A(FS2)76℃10A |
| サーモ | 42±3℃OFF 32±5℃ON |
| 適用機種 | PLH-35・40GKD |

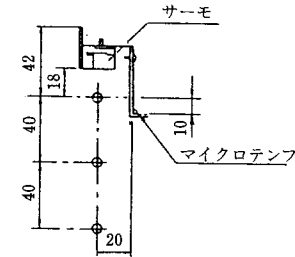
三菱電機パッケージエアコン用補助電機ヒーター外形図

形名 PAC-SB41EH

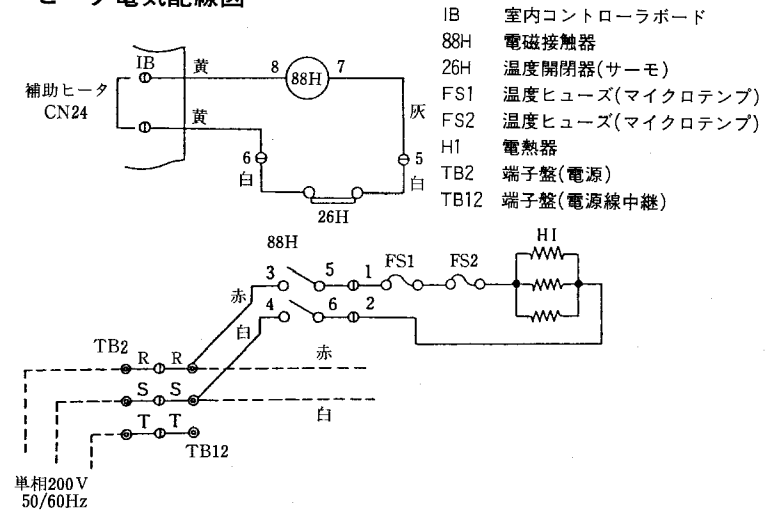
適用機種 PLH-45・50SGKD(单相)



サーモ・マイクロテンプ取付詳細図



ヒータ電気配線図



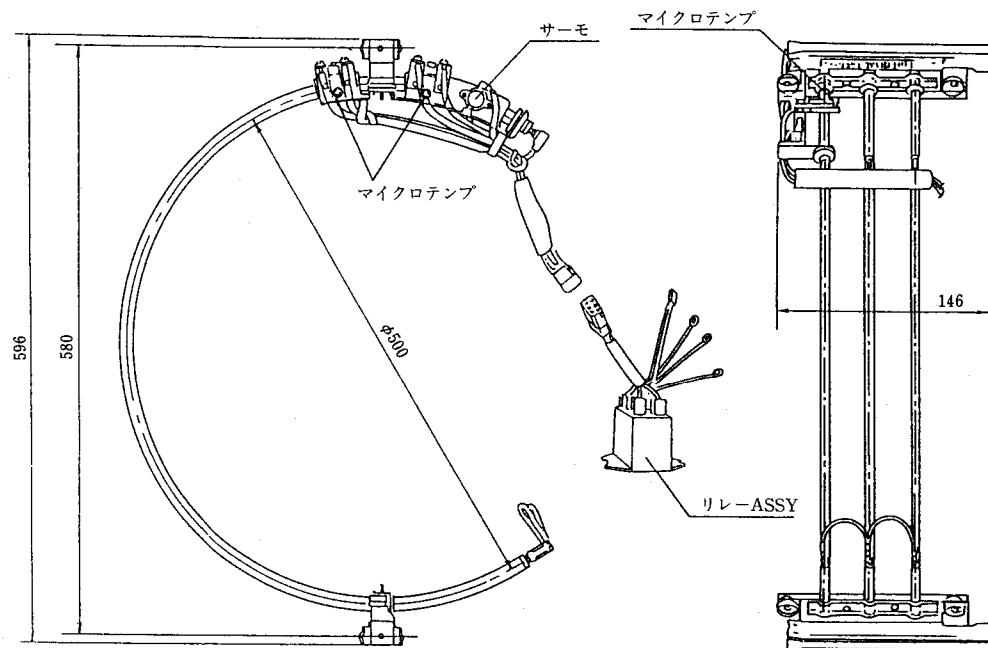
仕様

| | |
|---------|-----------------------------|
| 形名 | PAC-SB41EH |
| 定格電源 | 单相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 8A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| マイクロテンプ | (FS1)91°C 10A (FS2)76°C 10A |
| サーモ | 42±3°C OFF 32±5°C ON |
| 適用機種 | PLH-45・50SGKD |

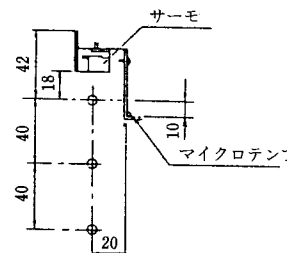
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SB42EH

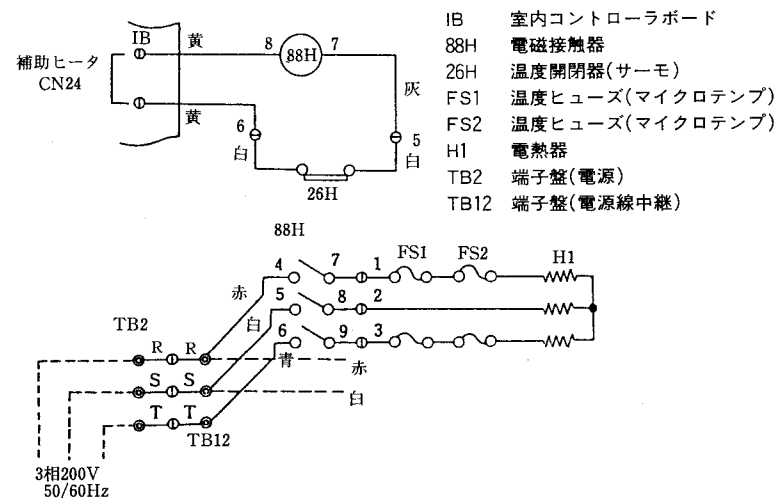
適用機種 PLH-45・50GKD(三相)



サーモ・マイクロテンプ取付詳細図



ヒータ電気配線図



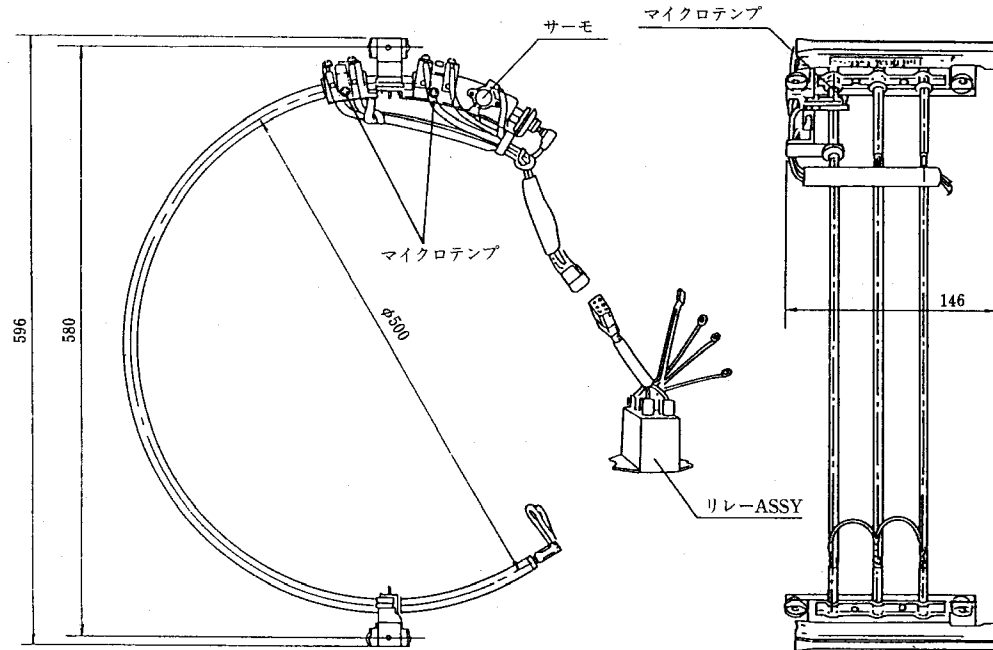
仕様

| | |
|---------|------------------------|
| 形名 | PAC-SB42EH |
| 定格電圧 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 4.6A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| マイクロテンプ | (FS1)91℃10A(FS2)76℃10A |
| サーモ | 42±3℃OFF 32±5℃ON |
| 適用機種 | PLH-45・50GKD |

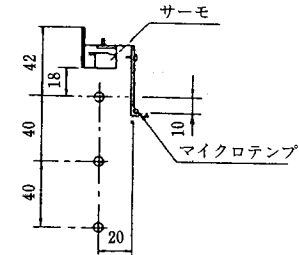
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SB43EH

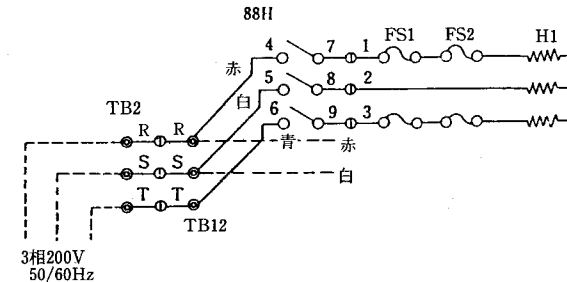
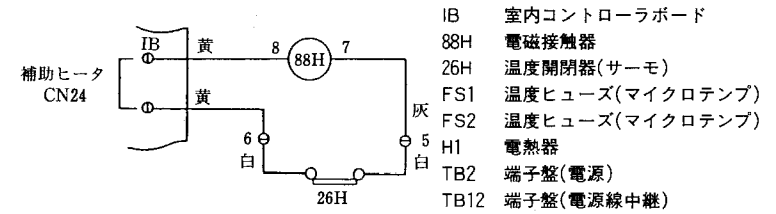
適用機種 PLH-56~90GKD



サーモ・マイクロテンプ取付詳細図



ヒータ電気配線図



仕様

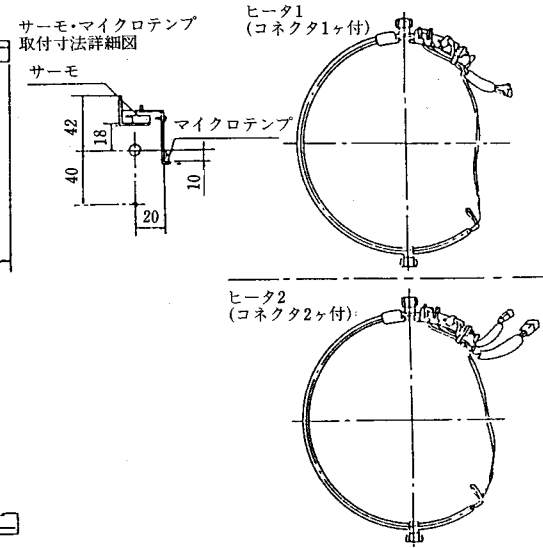
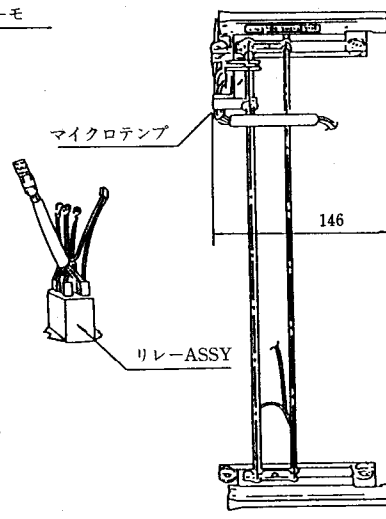
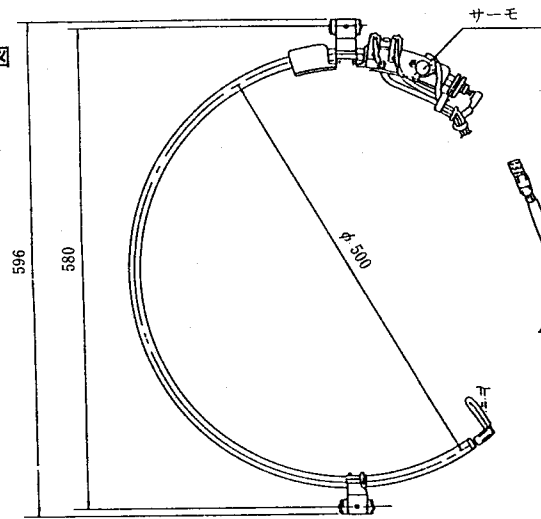
| | |
|---------|------------------------|
| 形名 | PAC-SB43EH |
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 6.1A |
| 定格容量 | 2.1kW |
| マイクロテンプ | (FS1)91℃10A(FS2)76℃10A |
| サーモ | 42±3℃OFF 32±5℃ON |
| 適用機種 | PLH-56~90GKD |

三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

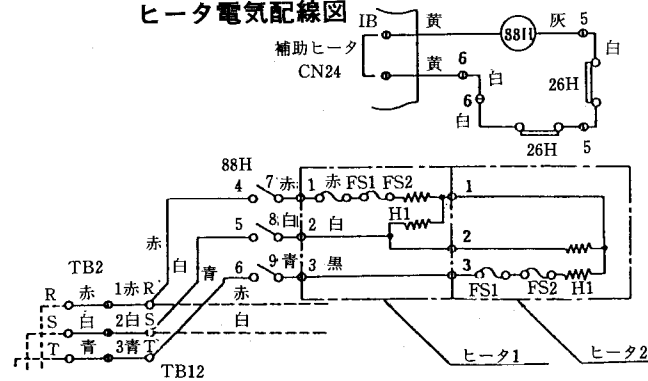
形名 PAC-SB44EH

適用機種 PLH-100GKD

ヒータ1
ヒータ2
外形寸法図



ヒータ電気配線図



- IB 室内コントローラボード
- 88H 電磁接触器
- 26H 温度開閉器(サーモ)
- FS1 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- FS2 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- H1 電熱器
- TB2 端子盤(電源)
- TB12 端子盤(電源線中継)

仕様

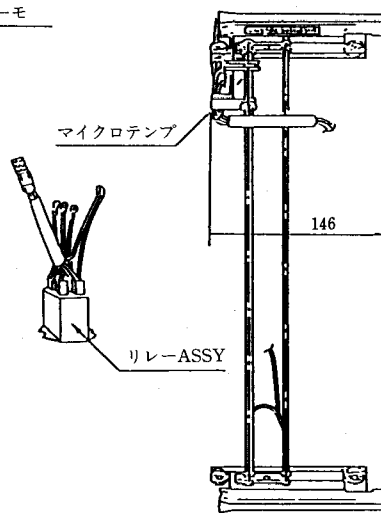
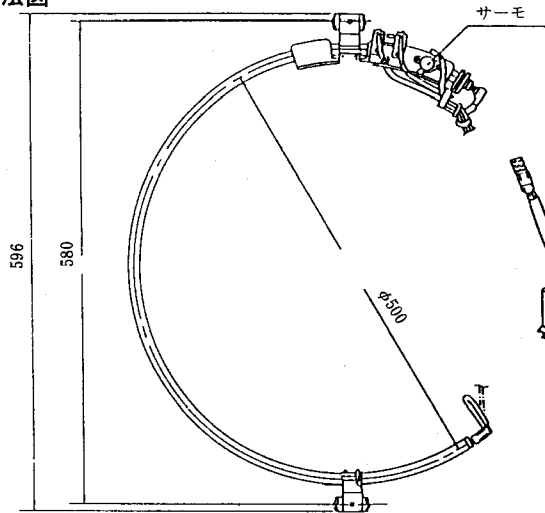
| | |
|---------|-----------------------------|
| 形名 | PAC-SB44EH |
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 7.5A |
| 定格容量 | 2.6kW |
| マイクロテンプ | (FS1)91°C 10A (FS2)76°C 10A |
| サーモ | 42±3°C OFF 32±5°C ON |
| 適用機種 | PLH-100GKD |

三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

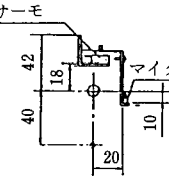
形名 PAC-SB45EH

適用機種 PLH-112~140GKD

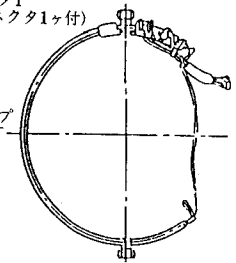
ヒータ1
ヒータ2
外形寸法図



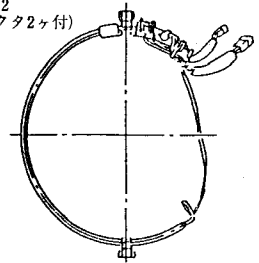
サーモ・マイクロテンプ
取付寸法詳細図



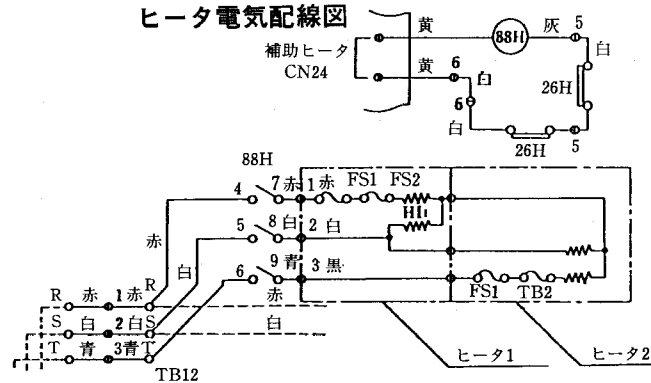
ヒータ1
(コネクタ1ヶ付)



ヒータ2
(コネクタ2ヶ付)



ヒータ電気配線図



- IB 室内コントローラボード
- 88H 電磁接触器
- 26H 温度開閉器(サーモ)
- FS1 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- FS2 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- H1 電熱器
- TB2 端子盤(電源)
- TB12 端子盤(電源線中継)

仕様

| | |
|---------|------------------------|
| 形名 | PAC-SB45EH |
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 8.7A |
| 定格容量 | 3.0kW |
| マイクロテンプ | (FS1)91℃10A(FS2)76℃10A |
| サーモ | 42±3℃OFF 32±5℃ON |
| 適用機種 | PLH-112~140GKD |

補助電気ヒーター

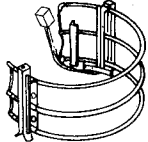
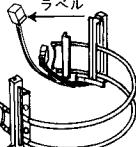
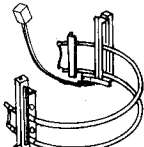

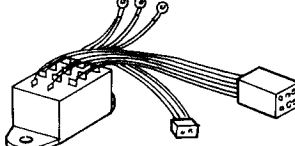
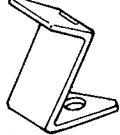

形名 PAC-SA04~10EH

1 適用機種 (PLH-FKD用)

| 形名 | 仕様 | 適用機種 | 形名 | 仕様 | 適用機種 |
|------------|----------|-------------------|------------|----------|---------------------|
| PAC-SA04EH | 単相 1.4kW | PLH-45・50SFKD | PAC-SA08EH | 三相 2.1kW | PLH(Y)-56~80FK(D) |
| PAC-SA05EH | 三相 1.4kW | PLH(Y)-35・40FK(D) | PAC-SA09EH | 三相 2.6kW | PLH(Y)-90・100FK(D) |
| PAC-SA06EH | 単相 1.6kW | PLH-45・50SFKD | PAC-SA10EH | 三相 3.0kW | PLH(Y)-112~140FK(D) |
| PAC-SA07EH | 三相 1.6kW | PLH(Y)-45・50FK(D) | | | |

※PLHZ形にも適用出来ます。尚PLHZ-56FK形のヒーターについてはPAC-SA07EHをご使用ください。

2 付属部品

| PAC-SA04~08EHの場合 | | PAC-SA09・10EHの場合 | |
|---|--|--|---|
| ① ヒーター本体  (コネクタ1ヶ付) SET | ① ヒーター本体(ラベル付)  (コネクタ2ヶ付) SET | ② ヒーター本体  (コネクタ1ヶ付) SET | |
| ③ タッピングネジ 4×8  PAC-SA04~08EH—3本 PAC-SA09・10EH—5本 | ④ リレー(リード線含む)  SET | ⑤ プレート  ケ | ⑥ ラベル  枚 |

3 取付要領

ヒーター組込み準備

1. **図1**のように化粧パネルの吸込グリルを開けて、ロングライフフィルターを取外してください。
2. 吸込みセンサーを取外します。
3. ベルマウスを取外します。(**図2** 参照) 取付ネジ(4本)を取外しベルマウスを取外してください。(この時2ヶ所は仮止めできるようになっております。)

図1 ヒーター組込み準備

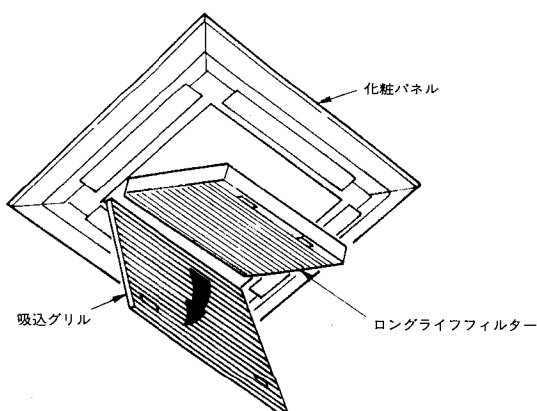
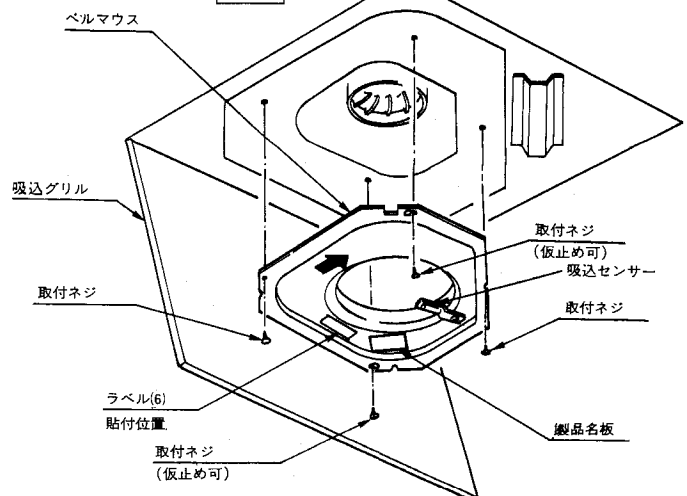


図2



ヒーター組込み

1. 図3のように、ヒーター本体①、②のサポート部を空調機本体のヒーター取付フレームにスライドさせ、付属のタッピンネジ③(4×8)で固定してください。

(注1) この時ヒーターの向きを図4 図5のように合わせてください。

(注2) ヒーターのリード線を電気品箱まで配線してください。

2. 図4 図5のようにヒーターのリード線を配線し、クランプでしっかり止めてください。

図3 ヒーター組込み

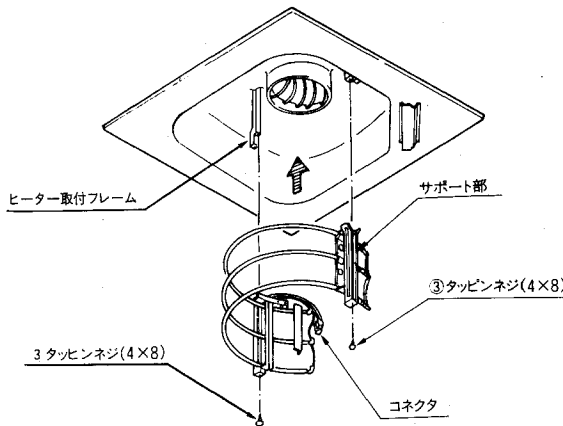


図4 PAC-SA04~08EHの配線

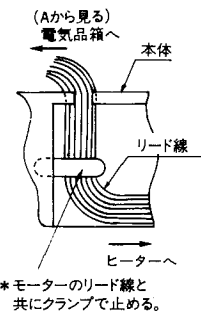
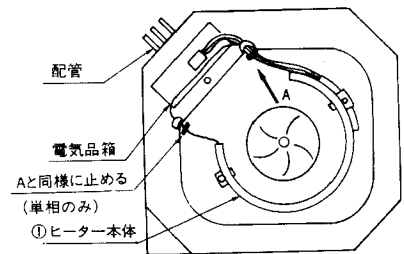
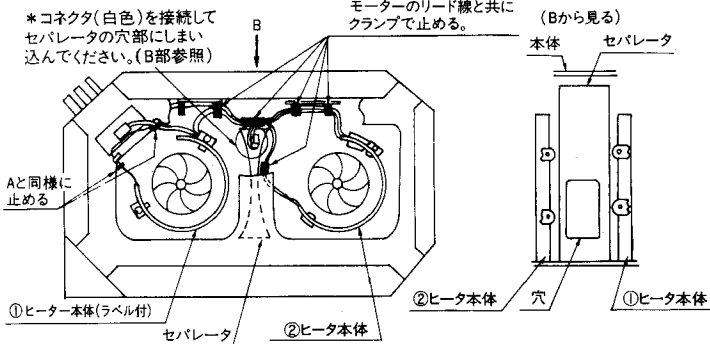


図5 PAC-SA09・10EHの配線



(注1) ヒーターのリード線がファンやヒーター及び熱交換器に触れないようにクランプでしっかり止めてください。

(注2) PAC-SA09EH・10EHのヒーター本体①のラベルは取付時、取除いてください。

配線接続

1. 図6のように、電気品箱のふたの取付ネジ(1本)⑦を取外し、ふたをスライドさせ、取外してください。

2. 図7のように、電気品箱よりリード線の束を取り出し、取付ネジ(2本)⑧を取外し、電気品箱を下方に引き出してください。次に電気品箱のカバー取付ネジ(2本)⑨を取外してください。

図6 電気品箱のふた取り外し

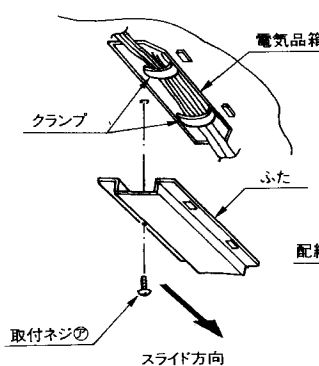
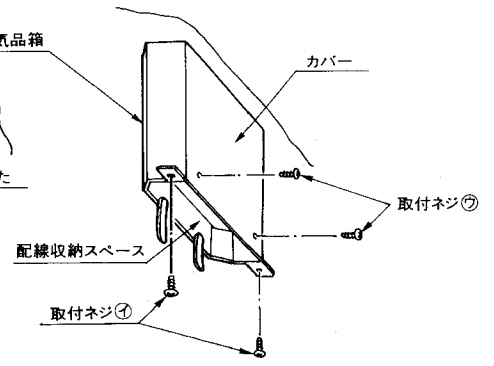
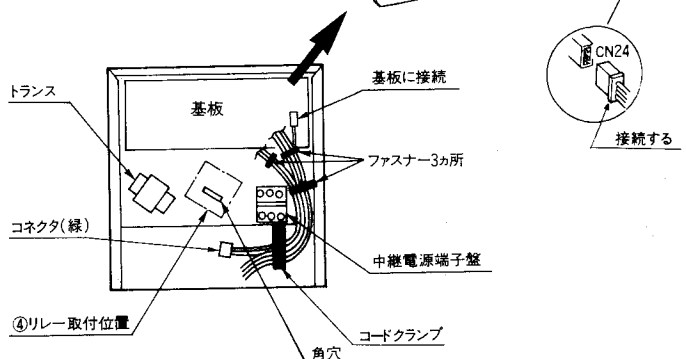


図7 電気品箱引き出し及びカバー取り外し



3. 図10のように、付属のリレー④を付属のプレート⑤及び付属のタッピンネジ(4×8)③で固定してください。そのとき、リレー④の取付け方向が有りますので注意してください。

図8 電気品箱内配置図



4. 図8・図9のように、付属のリレー④のリード線を電気品箱内の端子に接続してください。

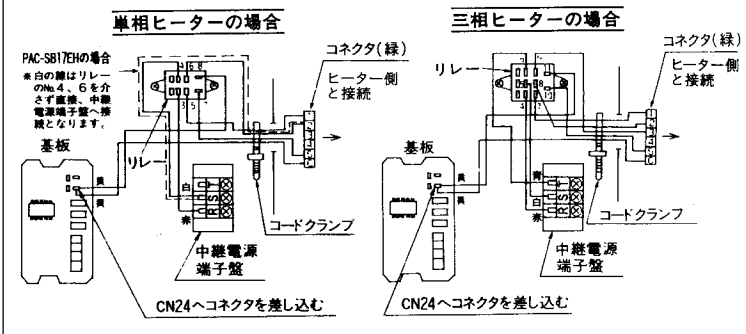
5. 電気品箱内のリード線を束ねているファスナー(3本)及びコードクランプ(1本)を取り外し、リレー④からのリード線と共に止め直してください。(図8参照)

6. 電気品箱にカバーをネジ止めし、ユニット本体内に納めて、電気品箱を本体にネジ止めしてください。

7. ヒーター本体①・②からのリード線とリレー④からのリード線をコネクタ(緑色)接続し、電気品箱配線収納スペース内に納めてください。

図9 配線図

●下図に従い配線をしてください。

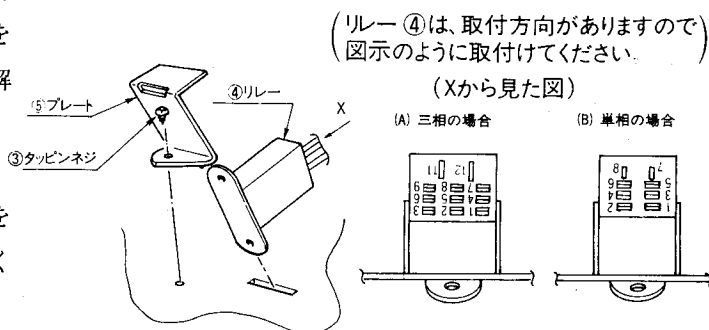


再組立

1. 以上のように電気ヒーター本体の取付及び電気配線の接続が確実にこなされていることを確認しましたら、取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けます。

2. 付属のラベル(電気ヒーター現地組込済)⑥を製品名板近くの見やすいところに貼付してください。(図2参照)

図10 リレー④組込み



電気ヒーターの組込みはユニットを据付ける前に行なっていただく方が容易にできます。

ご注意

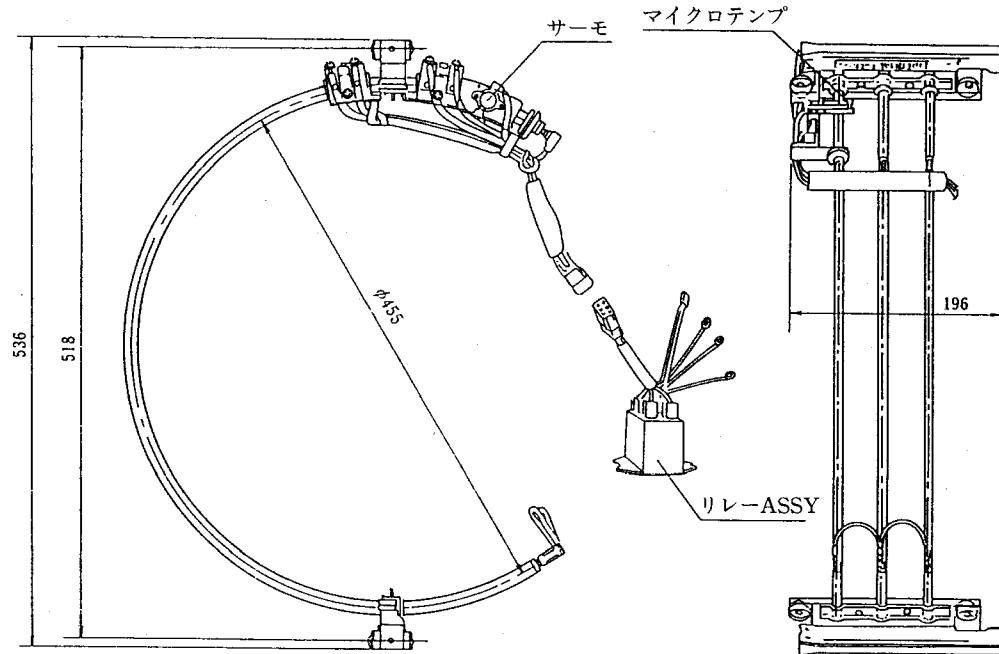
- ユニット本体の元電源が、OFFであることを確認してください。
- 電気ヒーター取付の為、多くのネジを外します。紛失しないようにしてください。また、再組立の際は、取外した時と同じネジを使用してください。
- ヒーター本体は機種により使用数が異なります。

〔 PAC-SA04EH~SA08EHの場合1set使い(ヒーター本体①)
PAC-SA09EH・SA10EHの場合異部品の2set使い(ヒーター本体①、②) 〕

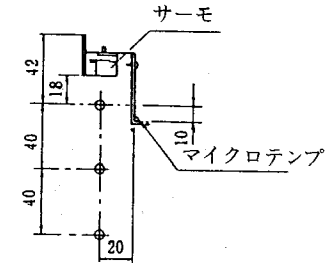
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SA04EH

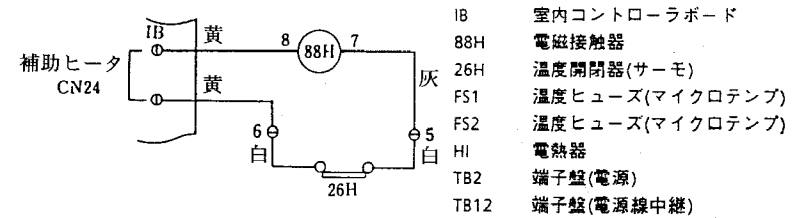
適用機種 PLH-35・40SFKD(单相)



サーモ・マイクロテンプ取付詳細図



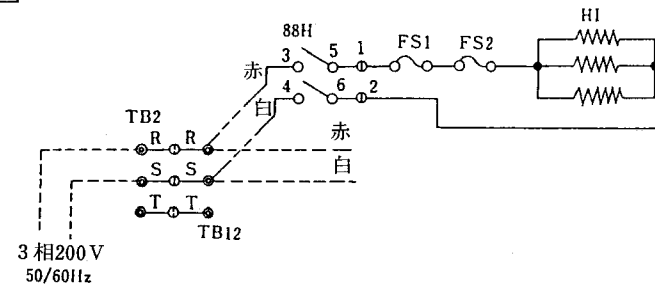
ヒータ電気配線図



- IB 室内コントローラボード
- 88H 電磁接触器
- 26H 温度開閉器(サーモ)
- FS1 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- FS2 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- HI 電熱器
- TB2 端子盤(電源)
- TB12 端子盤(電源線中継)

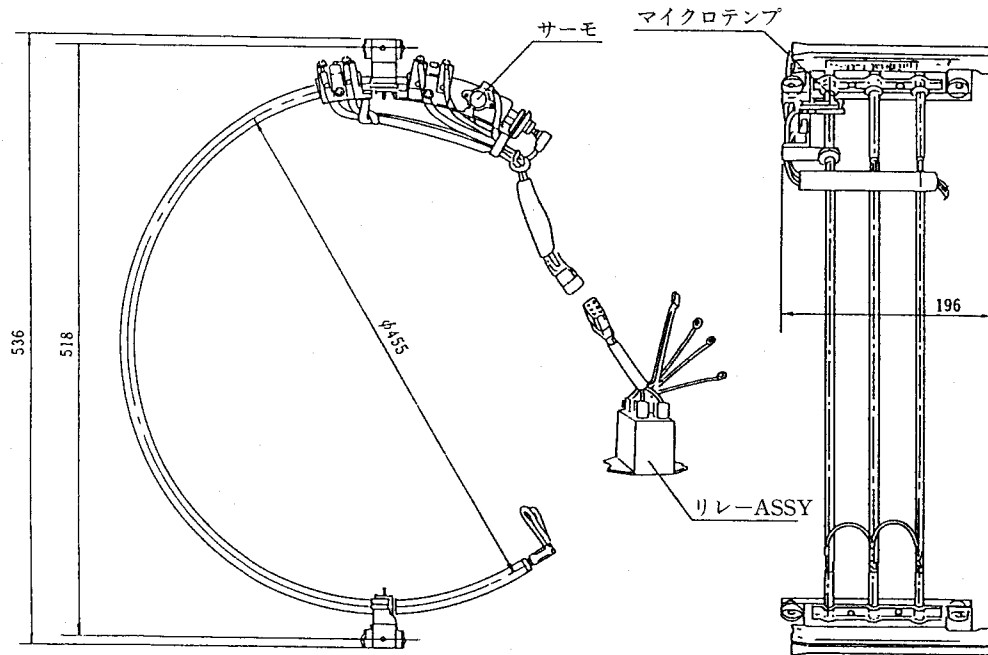
仕様

| | |
|---------|--------------------------|
| 形名 | PAC-SA04EH |
| 定格電源 | 单相 200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 7 A |
| 定格容量 | 1.4 KW |
| マイクロテンプ | 82°C 10A |
| サーモ | 42 ± 3°C OFF 32 ± 5°C ON |
| 適用機種 | PLH-35・40SFKD |

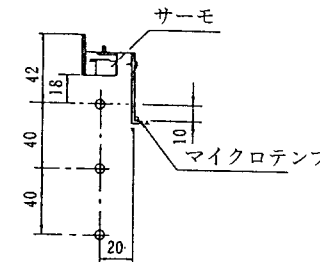


三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

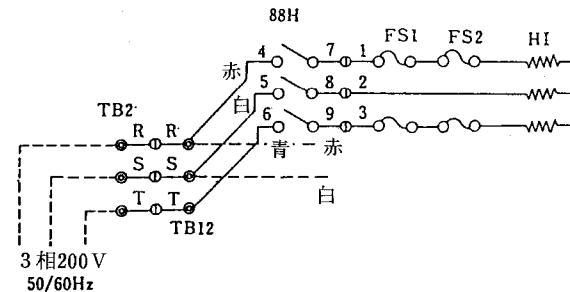
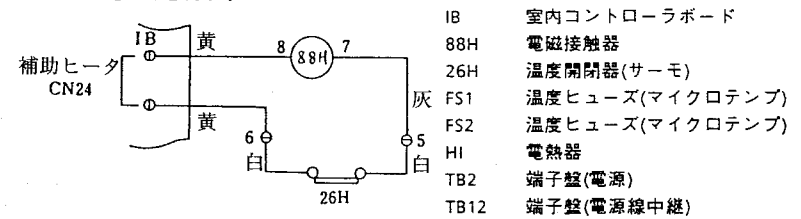
形名 PAC-SA05EH 適用機種 適用機種 PLH-35・40FKD・PLHY-32・40FK(三相)



サーモ・マイクロテンプ取付詳細図



ヒータ電気配線図



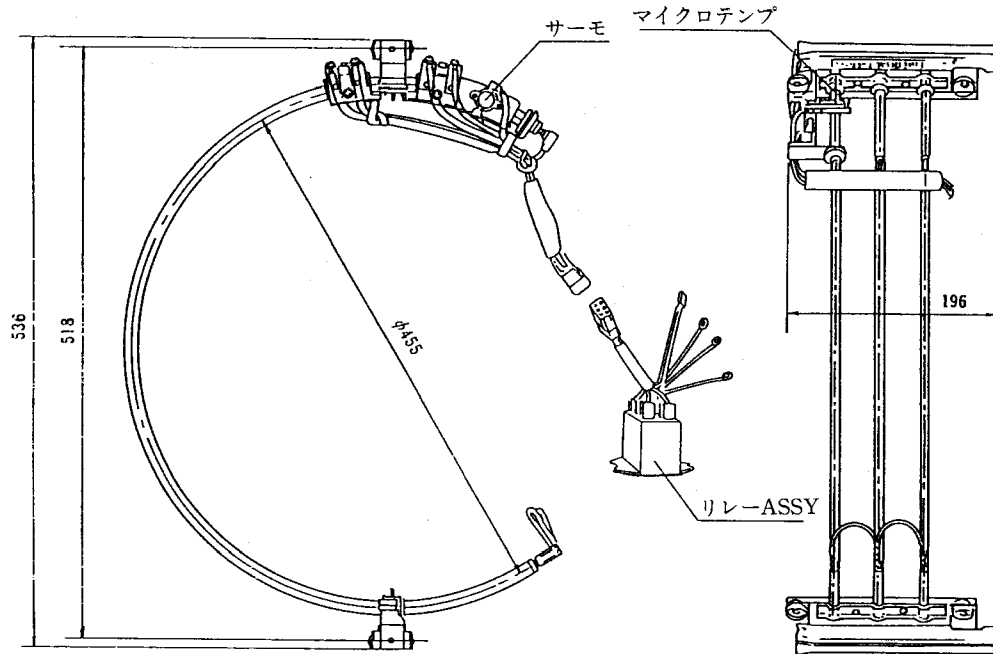
仕様

| | |
|---------|----------------------|
| 形名 | PAC-SA05EH |
| 定格電源 | 3相 200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 4 A |
| 定格容量 | 1.4 KW |
| マイクロテンプ | 82°C 10A |
| サーモ | 42±3°C OFF 32±5°C ON |
| 適用機種 | PLH(Y)-32~40FK(D) |

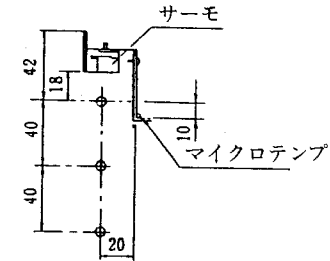
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SA06EH

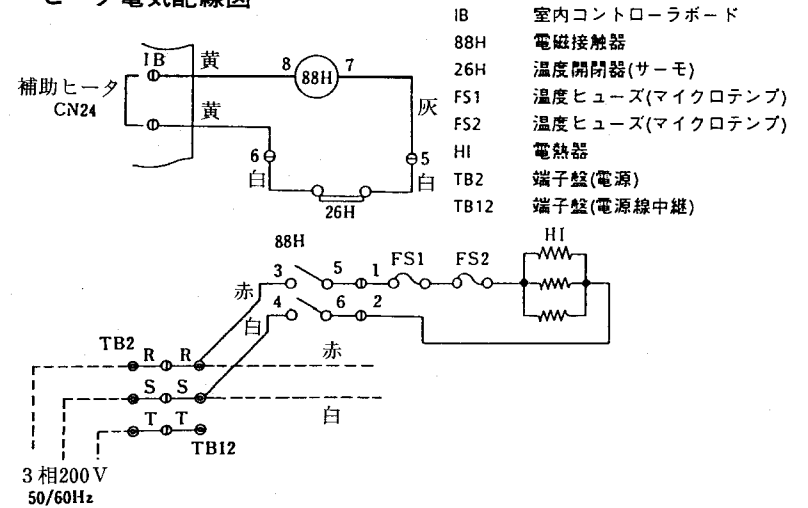
適用機種 PLH-45・50SFKD(单相)



サーモ・マイクロテンプ取付詳細図



ヒータ電気配線図

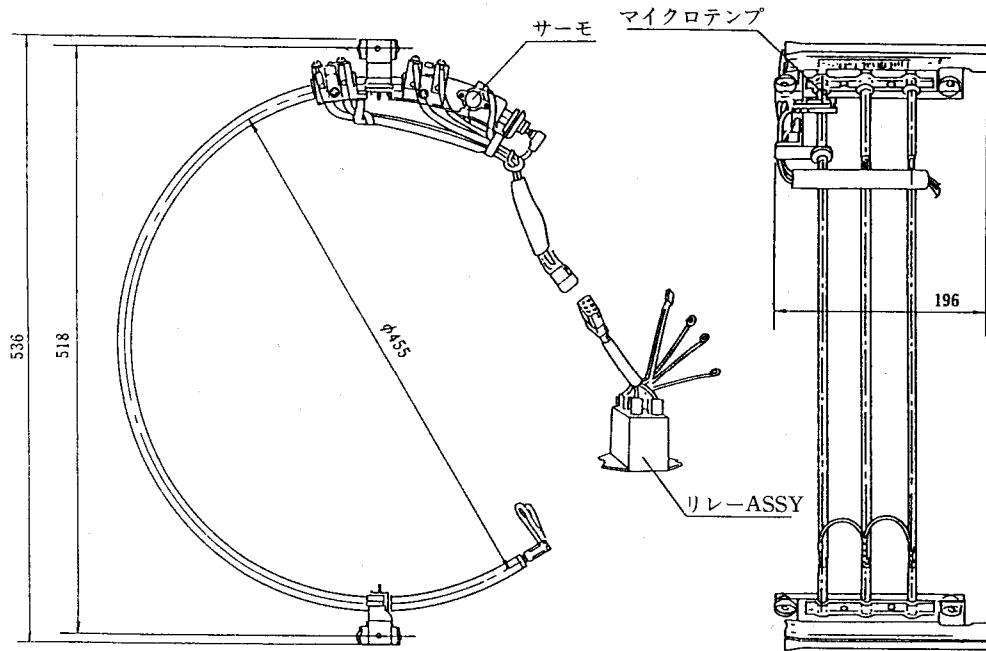


仕様

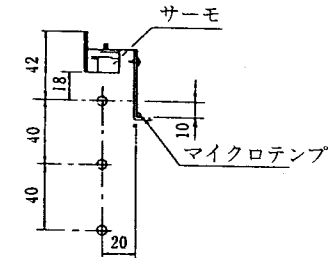
| | |
|---------|--------------------------|
| 形名 | PAC-SA06EH |
| 定格電源 | 単相 200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 8 A |
| 定格容量 | 1.6 KW |
| マイクロテンプ | 82°C 10A |
| サーモ | 42 ± 3°C OFF 32 ± 5°C ON |
| 適用機種 | PLH-45・50SFKD |

三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

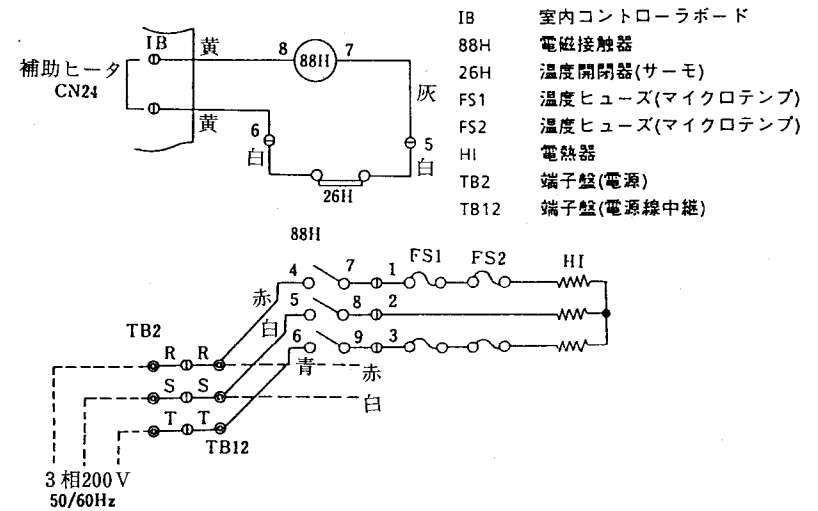
形名 PAC-SA07EH 適用機種 PLH-45・50FKD PLHY-50FK(三相)



サーモ・マイクロテンプ取付詳細図



ヒータ電気配線図

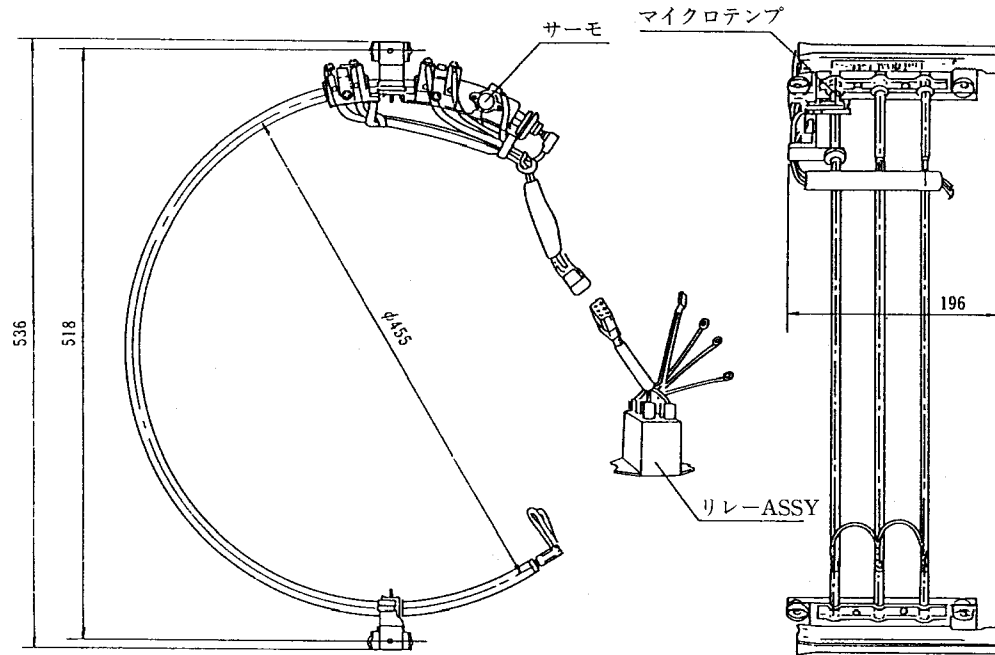


仕様

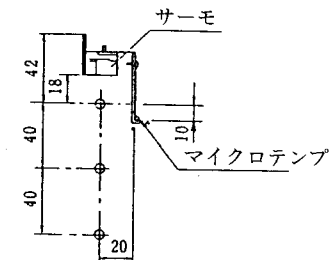
| | |
|---------|----------------------|
| 形名 | PAC-SA07EH |
| 定格電源 | 3相 200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 4.6 A |
| 定格容量 | 1.6 KW |
| マイクロテンプ | 82°C 10A |
| サーモ | 42±3°C OFF 32±5°C ON |
| 適用機種 | PLH(Y)-45・50FK(D) |

三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

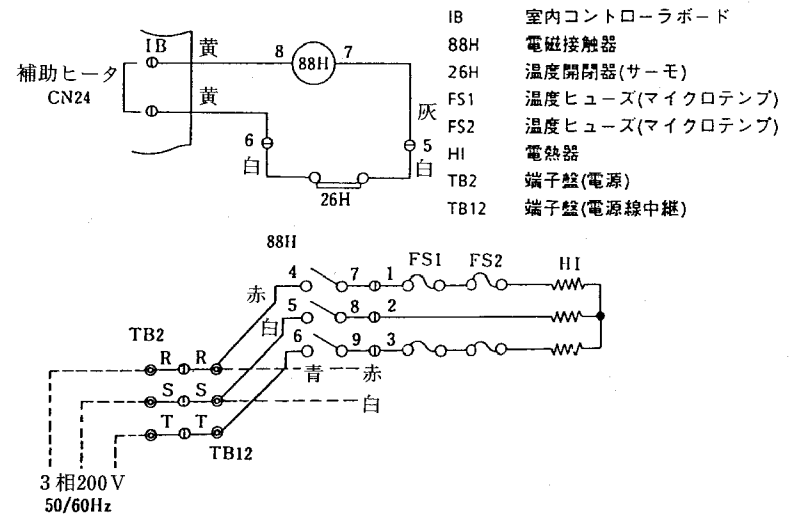
形名 PAC-SA08EH 適用機種 PLH-56~80FKD、PLHY-63・71FK



サーモ・マイクロテンプ詳細図



ヒータ電気配線図



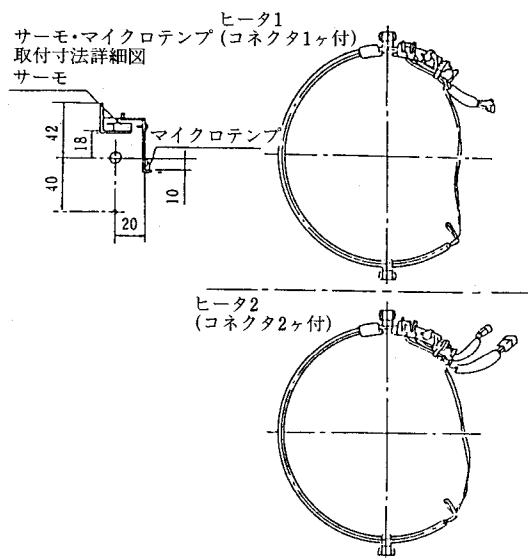
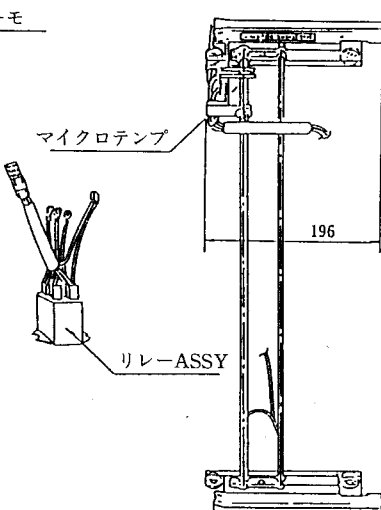
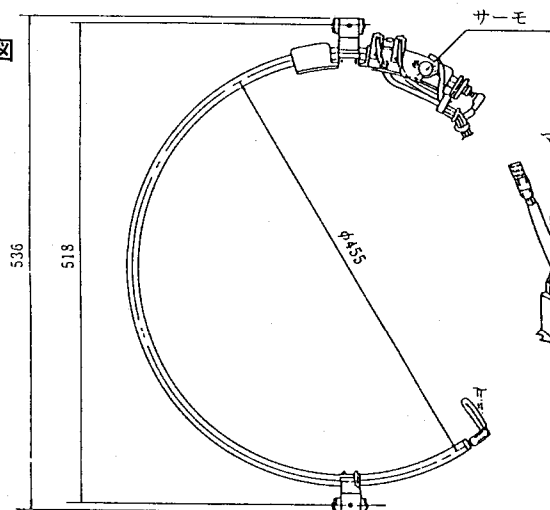
仕様

| | |
|---------|----------------------|
| 形名 | PAC-SA08EH |
| 定格電源 | 3相 200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 6.1 A |
| 定格容量 | 2.1 KW |
| マイクロテンプ | 82°C 10A |
| サーモ | 42±3°C OFF 32±5°C ON |
| 適用機種 | PLH(Y)-56~80FK(D) |

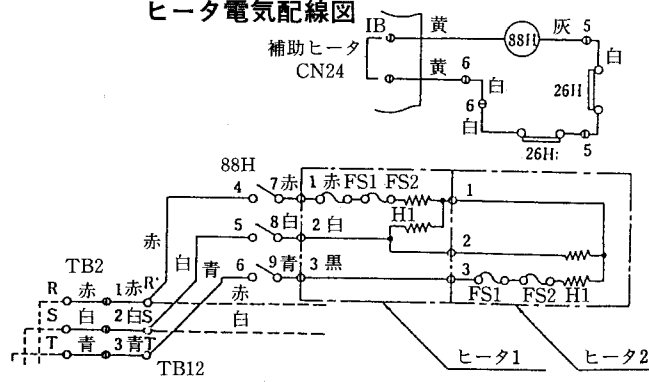
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SA09EH 適用機種 PLH-90・100FKD、PLHY-100FK

ヒータ1
ヒータ2
外形寸法図



ヒータ電気配線図



- IB 室内コントローラボード
- 88H 電磁接触器
- 26H 温度開閉器(サーモ)
- FS1 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- FS2 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- H1 電熱器
- TB2 端子盤(電源)
- TB12 端子盤(電源線中継)

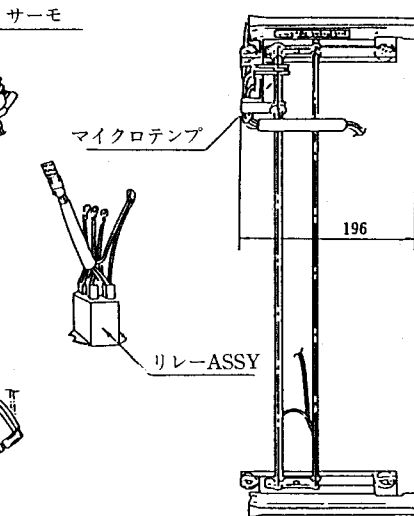
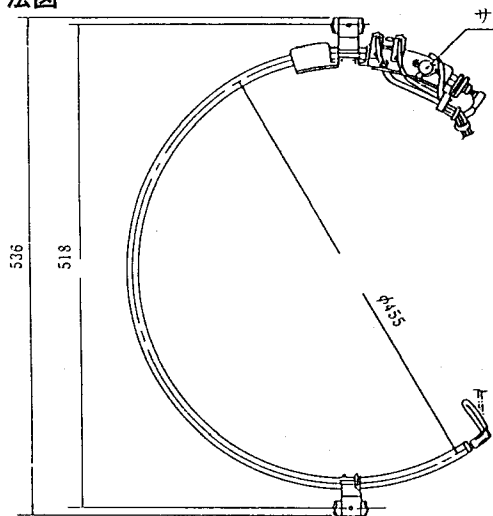
仕様

| | |
|--------------|----------------------|
| 形名 | PAC-SA09EH |
| 定格電源 | 3相 200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 7.5 A |
| 定格容量 | 2.6 KW |
| マイクロテンプ(FS1) | 82°C 10A |
| マイクロテンプ(FS2) | 70°C 10A |
| サーモ | 42±3°C OFF 32±5°C ON |
| 適用機種 | PLH(Y)-90・100FK(D) |

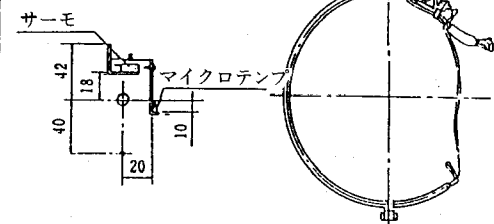
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SA10EH 適用機種 PLH-112~140FKD・PLHY-125FK

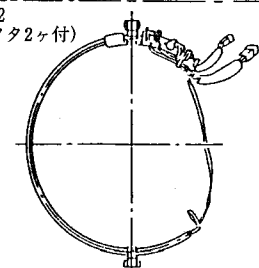
ヒータ1
ヒータ2
外形寸法図



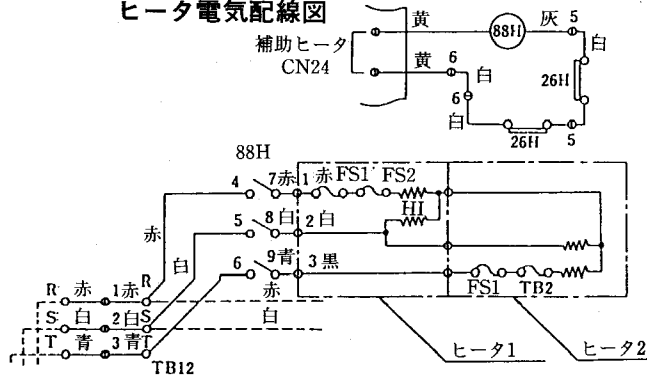
サーモ・マイクロテンプ ヒータ1
取付寸法詳細図



ヒータ2
(コネクタ2ヶ付)



ヒータ電気配線図



- IB 室内コントローラボード
- 88H 電磁接触器
- 26H 温度開閉器(サーモ)
- FS1 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- FS2 温度ヒューズ(マイクロテンプ)
- HI 電熱器
- TB2 端子盤(電源)
- TB12 端子盤(電源線中継)

仕様

| | |
|--------------|----------------------|
| 形名 | PAC-SA10EH |
| 定格電源 | 3相 200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 8.7 A |
| 定格容量 | 3.0 KW |
| マイクロテンプ(FS1) | 82°C 10A |
| マイクロテンプ(FS2) | 70°C 10A |
| サーモ | 42±3°C OFF 32±5°C ON |
| 適用機種 | PLH(Y)-112~140FK(D) |

補助電気ヒーター (PSH-FKD用)

形名 PAC-SB23~26EH

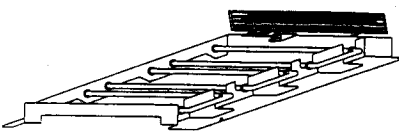
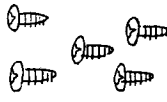
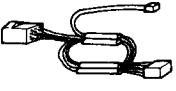

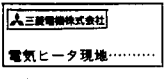
1 適用機種

| 形名 | 仕様 | 適用機種 |
|------------|----------|----------------|
| PAC-SB23EH | 単相 2.1kW | PSH-45・50SFKD |
| PAC-SB24EH | 三相 2.1kW | PSH-45~80FKD |
| PAC-SB25EH | 三相 2.7kW | PSH-100FKD |
| PAC-SB26EH | 三相 3.0kW | PSH-125・140FKD |

2 使用方法

ヒーターレス機種で、暖房能力をアップしたい時に室内ユニットに組込んでご使用ください。

3 付属部品

| ①電気ヒーター本体 | | ②タッピンネジ | |
|--|--|--|--|
|  <p>1 SET</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ● 4×10 電気ヒーター本体取付用…4本 ● 3×8 リレー固定用……………2本 (単相仕様の場合のみ) ● 4×10 リレー取付金具用……………1本 (三相仕様の場合のみ)  <p>6本(単相) 5本(三相)</p> | |
| ③リレー-ASSY | | ④リレー取付金具 | |
|  <p>三相用リレー-ASSY 1 SET</p> | |  <p>三相仕様の場合のみ 1個</p> | |
| | | ⑤ラベル | |
| | |  <p>1枚</p> | |

4 取付要領

1. ヒーター組込準備

(1) サービスパネル

サービスパネル上部のタッピンネジ2本を外してからサービスパネルの両端を持ち、下方にスライドし取外してください。

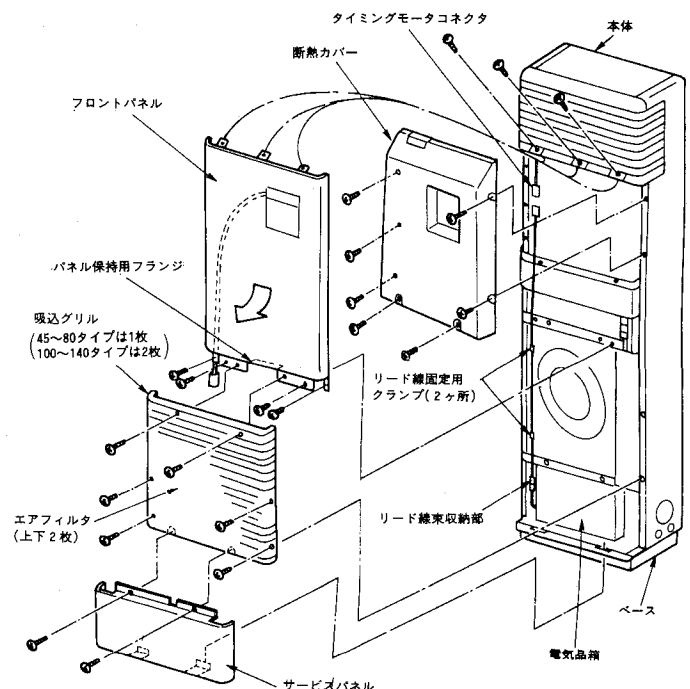
(2) 吸込グリルの取外し

上側エアフィルター (1枚) を引出し吸込グリル固定用タッピンネジを外し、吸込グリルを取外してください。

● 45~80タイプ……………タッピンネジ6本
(吸込グリル1枚)

● 100~140タイプ……………タッピンネジ11本
(吸込グリル2枚)

図1



(3)フロントパネルの取外し

パネル裏側には、コントローラ用リード線が固定されていますので下記要領にて取外してください。

- 電気品箱左横に収納されたリード線束の黒色コネクタ、青色コネクタの接続を外す。
- リード線固定用クランプ(2ヶ所)より、黒色コネクタ、青色コネクタの付いたリード線を取外す。
- フロントパネル上部3本、下部4本のタッピンネジを外しフロントパネルの両端を保持しながら手前に引いて、フロントパネルを取外してください。

※フロントパネル下部にフロントパネルを保持するためのフランジが設けてありますが、仮固定ですのでフロントパネルの落下には十分注意して、取付け、取外しを行なってください。

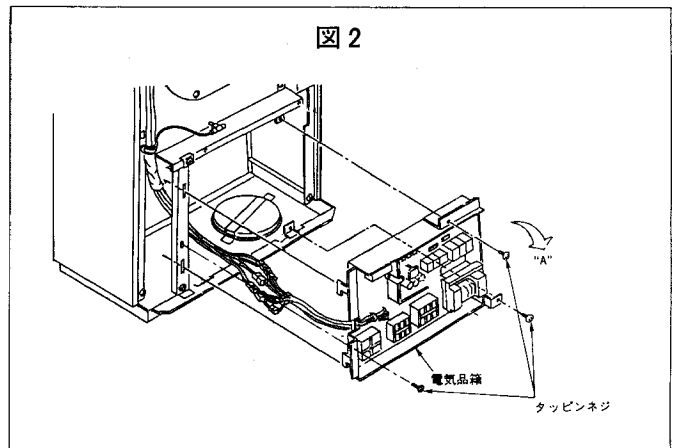
(4)断熱カバーの取外し

- タイミングモーターリード線のコネクタ(白)を外します。
- タッピンネジ7本を外し、断熱カバー本体を取外してください。

2. リレー-ASSY組込

(1)電気品箱の取外し

図2位置のタッピンネジ3本を外し電気品箱を“A”方向に半回転させてから下部をもち上げユニット本体から取外してください。



(2)リレー-ASSY取付け

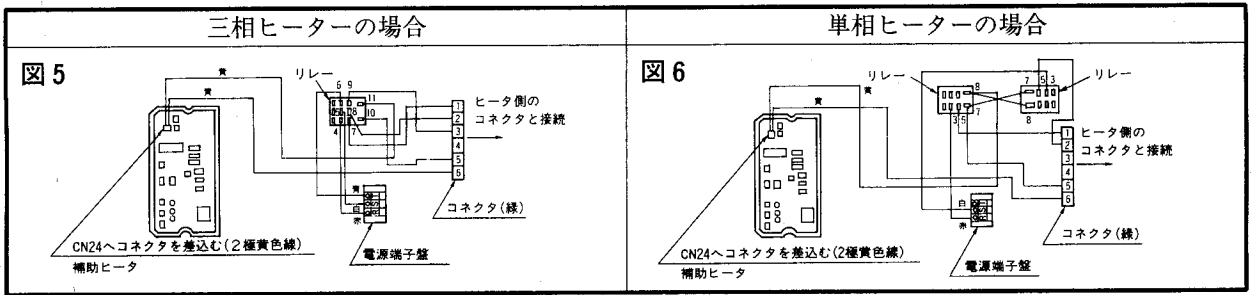
| 三相タイプの取付け | 単相タイプの取付け |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">図3</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図3に示す3ヶ所のファスナーを取り外す。 ●リレー-ASSY③のリレー“凸”部と電気品箱の角穴部を合わせ位置決めした後リレー-取付金具④タッピンネジ②1本(4×10)でリレーを固定します。尚、固定方向はリレー-端子部にリード線が接続されてない箇所を上向きに固定願います。 ●リレー-ASSY③の6極側リード線をUカット部を介して外に出した後ファスナー3本にて既設リード線と固定してください。 | <p style="text-align: center;">図4</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図4に示す3ヶ所のファスナーを取外す。 ●リレー-ASSY③のリレー“凸”部を電気品箱凹部の角穴にはめ位置決めした後タッピンネジ②2本(3×8)で2つのリレーを固定する。(図4参照) ●リレー-ASSY③の6極側リード線をUカット部を介して電気品箱より出しファスナー3本で既設リード線と固定する。尚、6極側リード線は必ず“×”位置のファスナーにて固定してください。 |

(注1) 上図※ヶ所は発熱する為リード線は接触させないでください。

(注2) 電気品箱内のリード線がサービスパネルに接触しないようにリード線を固定してください。

(3)配線接続

下図に従いコネクタ(2極、黄色線) ヒータ電源線(白、赤(青))を接続してください。



3. 電気ヒーター本体組込

- (1)電気ヒーター本体①の角穴部左右2ヵ所を本体ユニットの爪部左右2ヵ所に合わせた後、電気ヒーター本体①を下方にスライドさせ位置決めを行ってください。
- (2)付属のタッピンネジ②4本で電気ヒーター本体①を固定してください。
- (3)ヒーター用コネクタ(緑色)、リレー用コネクタ(緑色)を接続してください。
- (4)リード線をドレンパンサポート左端の凹部にセットしクランプAにて配管センサーリード線と一緒に固定してください。

(注) ヒーター素線と熱交換器右側にある配管(又は黒色の防音パッチ)と出来るだけ離してください。(ヒーター素線を左へ押してください)

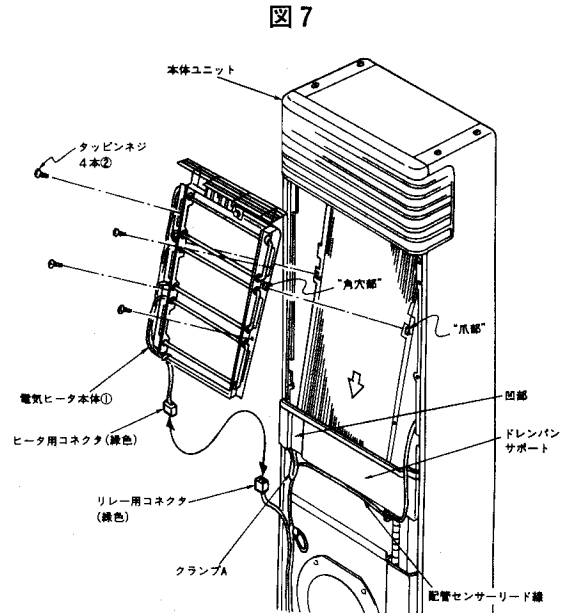


図 7

4. 最終組立

- (1)断熱カバーを取付けてください。
- (2)タイミングモータのコネクタを接続してください。
- (3)フロントパネルを取付けてください。
- (4)フロントパネルに固定されたコントローラ用リード線を元通りに接続し、ヒーター用リード線と共に、クランプ(2ヶ所)にて固定します。
- (5)ヒーターリレー用コネクタを切欠部により“D”方向に押し込みフロントパネル裏側に位置するようにしてください。

5. 再組立

- 以上のように電気ヒーター本体の取付及び電気配線の接続が確実にされていることを確認しましたら、取外した各々の部品(吸込グリルとサービスパネル)を分解時の逆手順で取付けてください。
- 付属のラベル(電気ヒーター現地組込済)⑤を製品名板の近傍に貼付けてください。

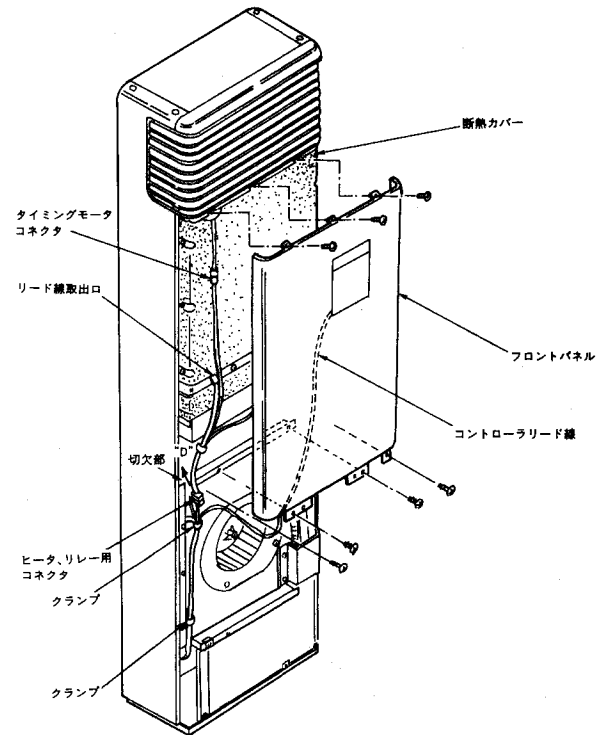


図 8

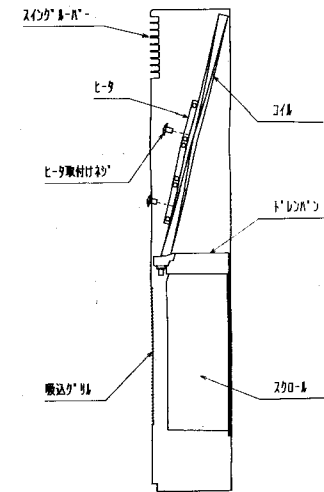
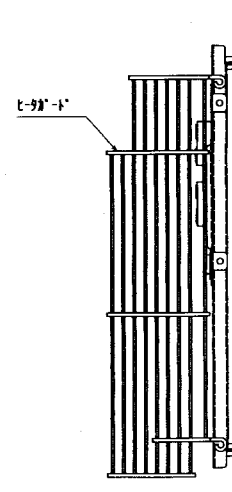
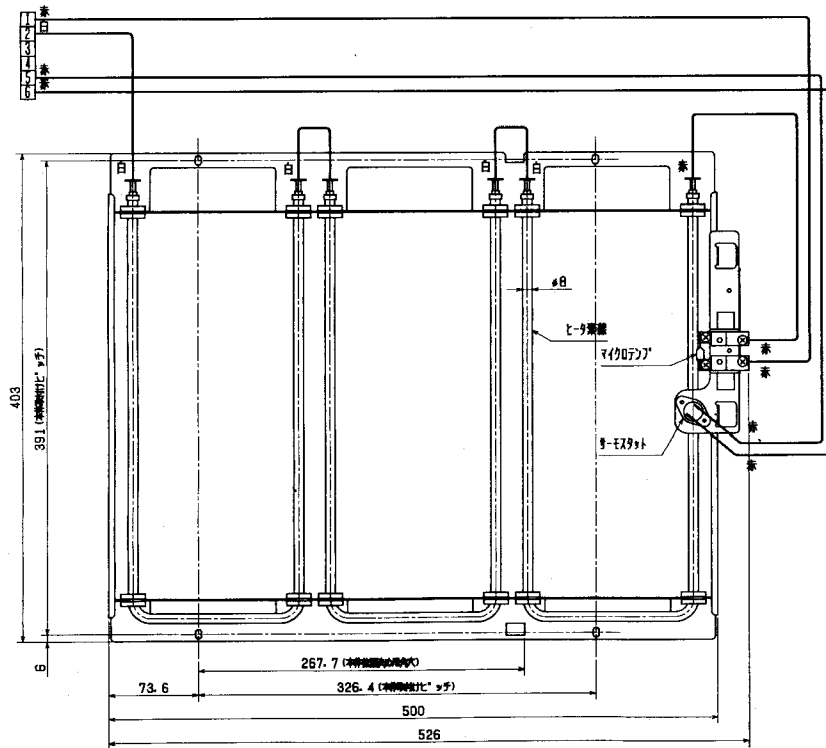
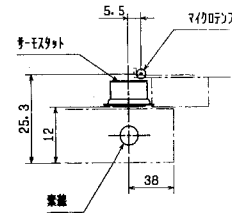
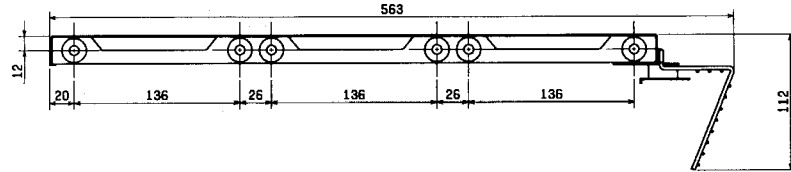
ご注意

- 別売ヒーター組込時は室外ユニットの電気仕様に合わせてください。
- ユニット本体の元電源がOFFであることを確認してください。
- 電気ヒーター取付の為多くのネジを外します。紛失しないようにしてください。また再組立の際は必ず取外した時と同じネジを使用してください。
- 各部品の取付時ゆるみがないように取付けてください。

三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SB23EH

適用機種 PSH-45・50SFKD(单相)

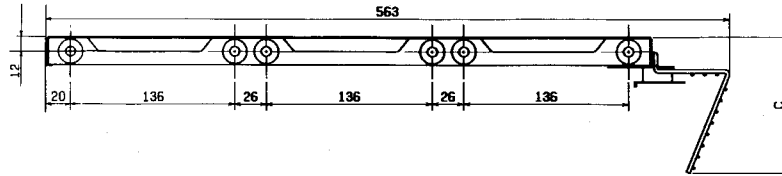


ニット断面図

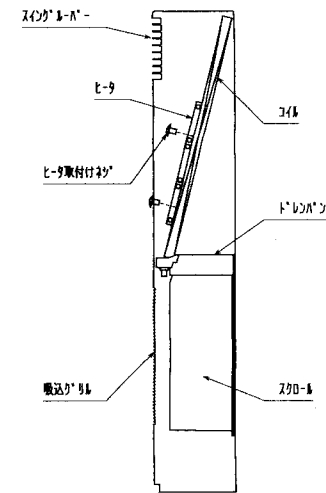
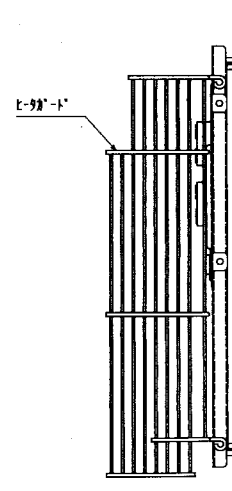
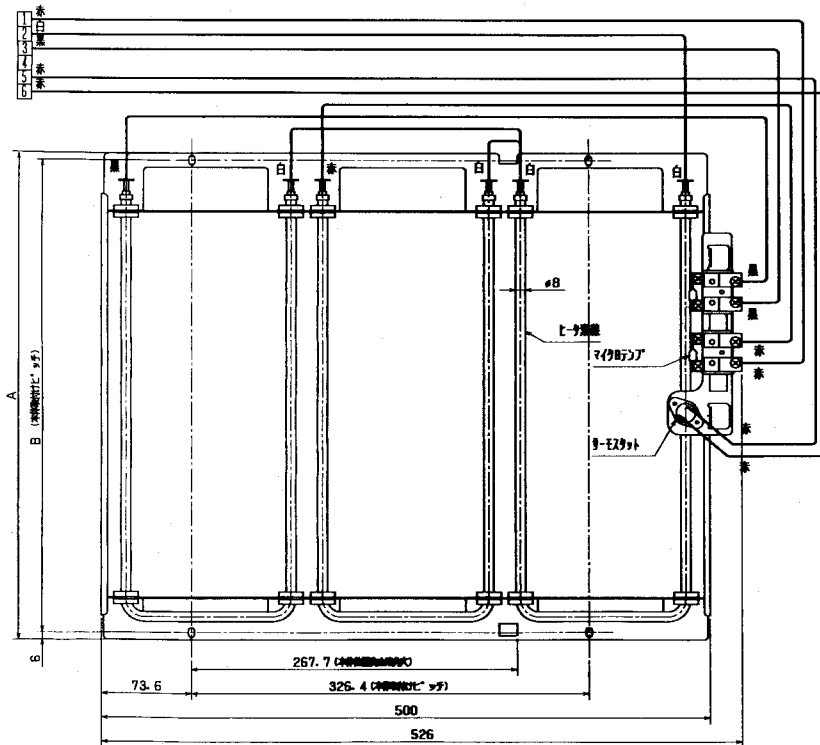
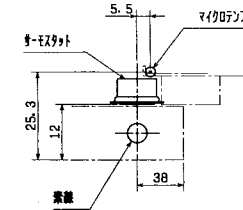
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-SB24~26EH

適用機種 PSH-45~140FKD(三相)



| | A | B | C |
|------------|-----|-----|-----|
| PAC-SB24EH | 403 | 391 | 112 |
| PAC-SB25EH | 553 | 541 | 139 |
| PAC-SB26EH | | | |



ユニット断面図

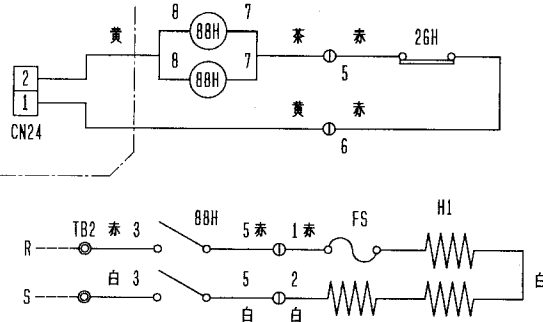
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター配線図

形名 PAC-SB23~26EH

適用機種 PSH-(S)FKD

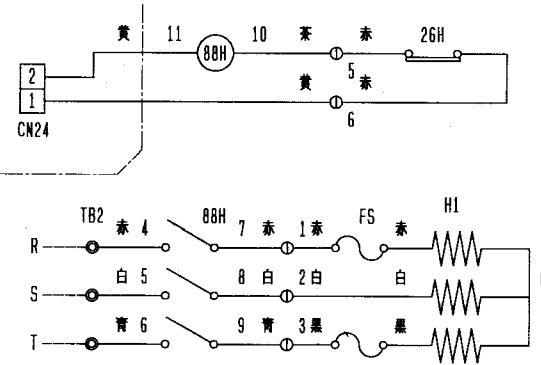
PAC-SB23EH

| | |
|----------|----------------|
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 10.5A |
| 定格容量 | 2.1kW |
| 温度ヒューズ | 109℃ 15A |
| 過熱防止ヒューズ | 80±4℃ OFF |



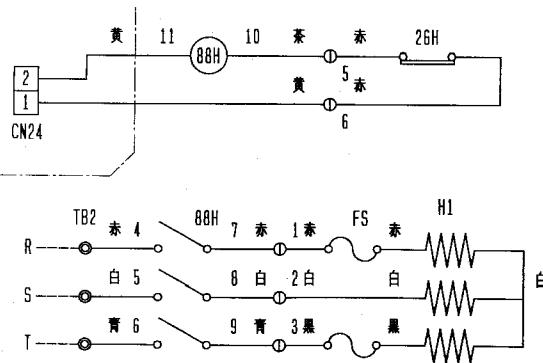
PAC-SB25EH

| | |
|----------|----------------|
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 13.5A |
| 定格容量 | 2.7kW |
| 温度ヒューズ | 109℃ 10A |
| 過熱防止ヒューズ | 80±4℃ OFF |



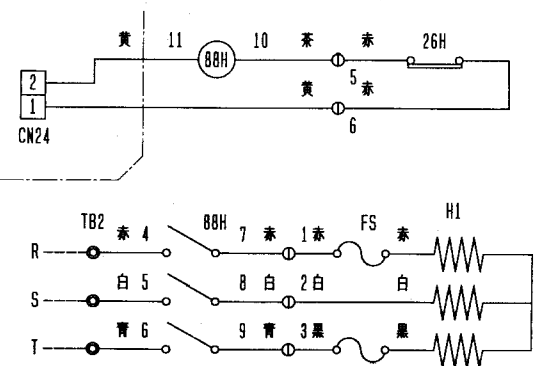
PAC-SB24EH

| | |
|----------|----------------|
| 定格電源 | 三相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 10.5A |
| 定格容量 | 2.1kW |
| 温度ヒューズ | 109℃ 10A |
| 過熱防止ヒューズ | 80±4℃ OFF |



PAC-SB26EH

| | |
|----------|----------------|
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 15A |
| 定格容量 | 3.0kW |
| 温度ヒューズ | 109℃ 10A |
| 過熱防止ヒューズ | 80±4℃ OFF |



| 記号 | 名称 |
|------|---------------|
| TB2 | 端子盤 (電源) |
| CN24 | コネクタ (補助ヒューズ) |
| 8BH | 電線保護装置 (電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度制御器 (過熱防止) |

補助電気ヒーター(PLH-EKD形用)

形名 PAC-116・118・119・120
125・139・129・133EH

1 適用機種

| 形名 | PAC-116EH | PAC-118EH | PAC-119EH | PAC-120EH | PAC-125EH | PAC-139EH | PAC-129EH | PAC-133EH |
|------|-------------------|-----------------------|-------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|------------------------|-------------------------|
| 適用機種 | PLH -35・40SEKD | PLH(Y) -25~40EK(D) | PLH -45・50SEKD | PLH(Y) -45・50EK(D) | PLH(Y) -56~71EK(D) | PLH(Y) -80EK(D) | PLH(Y) -90~100EK(D) | PLH(Y) -112~140EK(D) |

2 使用方法

ヒーターレス機種で、暖房能力をアップしたい時に室内ユニットに組込んでご使用下さい。

3 付属部品

| 番号 | 品名 | 仕様及び個数 | | | | | | | |
|----|--------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| | | PAC-116EH | PAC-118EH | PAC-119EH | PAC-120EH | PAC-125EH | PAC-139EH | PAC-129EH | PAC-133EH |
| ① | 電気ヒーター | (単相200V 1.4kW)×1 | (三相200V 1.4kW)×1 | (単相200V 1.6kW)×1 | (三相200V 1.6kW)×1 | (三相200V 2.1kW)×1 | (三相200V 2.7kW)×1 | (三相200V 2.7kW)×1 | (三相200V 3.0kW)×1 |
| ② | ヒーター本体取付用ネジ | タップインネジ 4×10 4コ | | | | | | | |
| ③ | リレー(リード線含) | (LY-2F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-2F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | | | | |
| ④ | リレー取付用ネジ | タップインネジ 3×8 2コ | | | | | | | |
| ⑤ | ファスナー(配線縛り用) | 2コ | | | | | | | |
| ⑥ | ラベル | 「電気ヒーター現地組込済」 1コ | | | | | | | |

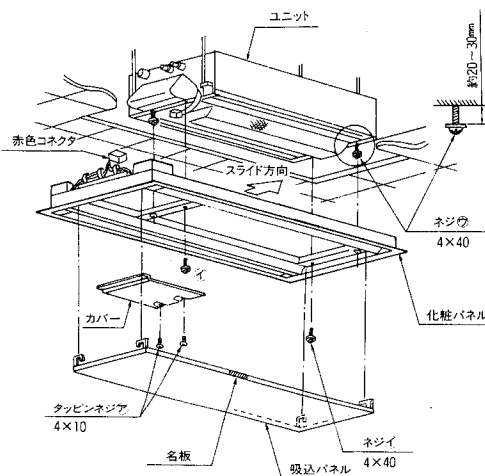
4 取付要領

化粧パネル取外し

ヒータ組込み準備

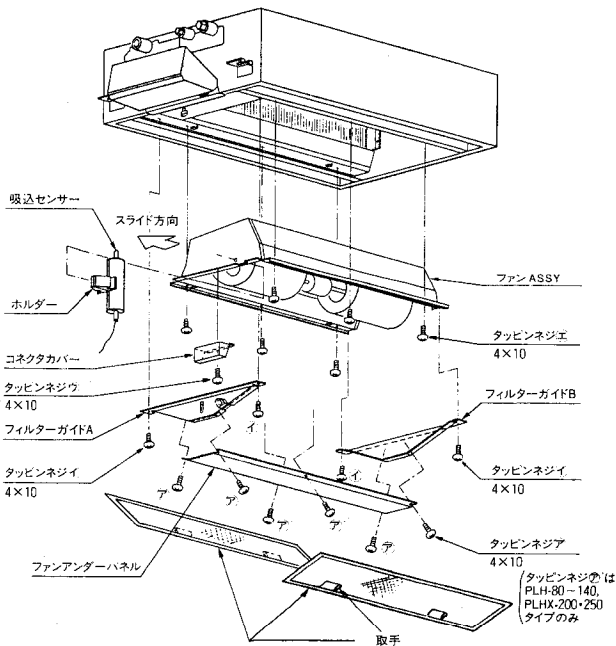
次の手順で下図に基づき化粧パネルをユニットから取外してください。

- 1) 吸込パネルをその側面に貼付してあります名板の説明に従って取外します。
- 2) タップインネジ②(2本)を外しカバーを取外します。
- 3) 化粧パネルからユニットに接続されている赤色コネクタ(オートパン作動用)を分離します。
- 4) ネジ③を外し、残りの反対側のネジ④を約20~30mm程緩め、化粧パネルを矢印(□)の方向にスライドさせればユニットから取外することができます。



次の手順で、下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータ組込みの準備を行なってください。

- 1) フィルターの取手部を掴んで、フィルターを一旦上に押し上げてから下に引き下げてフィルターを外します。
- 2) タップインネジ⑤を外して、ファンアンダーパネルを取外します。
⑤本数：PLH-35~71, タイプは4本
PLH-80~140, タイプは6本
- 3) ユニット両サイドにありますフィルターガイドA, Bを各々タップインネジ⑥(2本)を外して取外します。
- 4) コネクタカバーをファンASSYからタップインネジ⑦(1本)を外して取外します。その後、コネクタカバーに収納されていたファンモータ用の白色コネクタを分離してください。
- 5) 吸込センサーとそのホルダーをファンASSYの側面パネルから取外します。
注) ホルダーは紛失しないように保管してください。
- 6) タップインネジ⑧(6本)を外して、ファンASSYを矢印(□)の方向にスライドさせてユニットから外せば、ヒータ組込準備は完了します。
注) ファンASSYは非常に重いので取外しの際は、2人で慎重に行なってください。

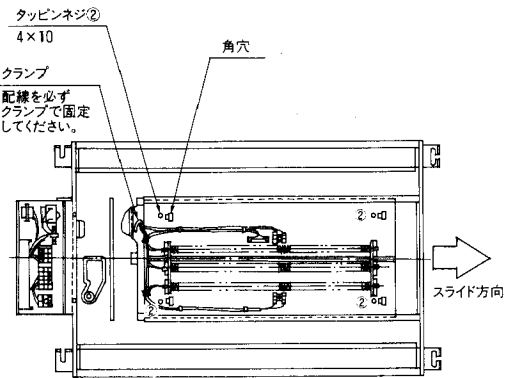
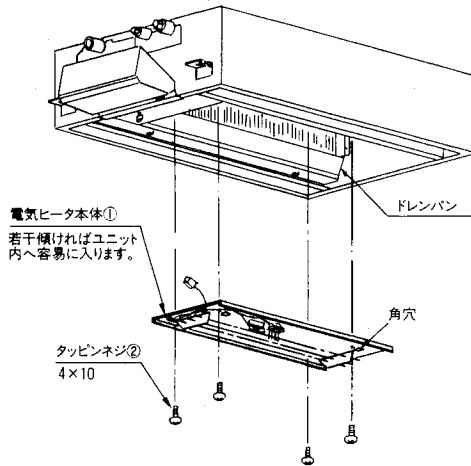


ヒータ組込み

配線接続

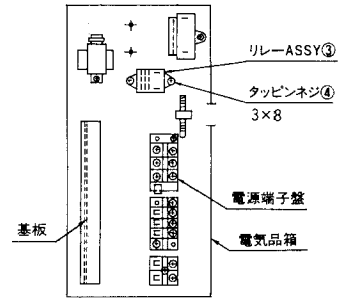
次の手順で電気ヒータ本体をユニット内へ組込んでください。

- 1) 電気ヒータ本体①でユニットのドレンパンを傷つけないようにしてユニット内部へ入れます。
- 2) 電気ヒータ本体①の各コーナー付近に角穴が4ヶ所孔いています。ユニットの天井面から仮固定用の引掛けがありますので、電気ヒータ本体①を矢印(□)の方向にスライドさせて、角穴を引掛けます。
- 3) 付属のタッピンネジ②(4本)で電気ヒータ本体①をユニットに固定します。
- 4) 電気ヒータ①の配線をユニット内側のセパレーターにあります配線固定用クランプで固定します。



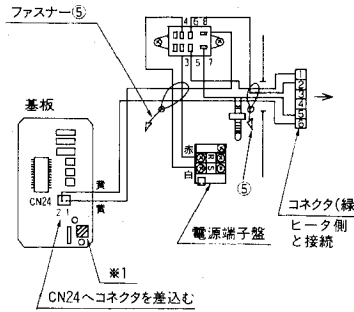
● リレーASSY③の取付け

- 1) ユニットの電気品箱のフタをタッピンネジ1本を外して開けてください。
- 2) リレーASSY③を所定の位置にタッピンネジ④(2本)で固定してください。

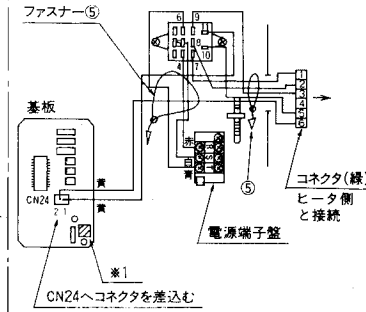


● 下図に従い配線接続をしてください。

単相ヒータの場合

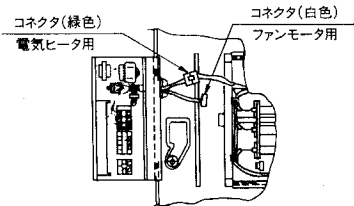


3相ヒータの場合



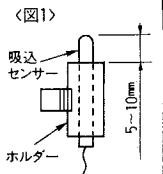
注) ※1の銀色のカバーは発熱するためリード線を接触させないでください。

- 1) 電気品箱内の配線接続が完了しましたら、付属のファスナー⑤(2本)で配線を固定します。
- 2) コネクタ(緑色)を電気品箱とユニットの側面パネルのリード線貫通用穴から貫通させて電気ヒータ本体①側のコネクタ(緑色)と接続してください。



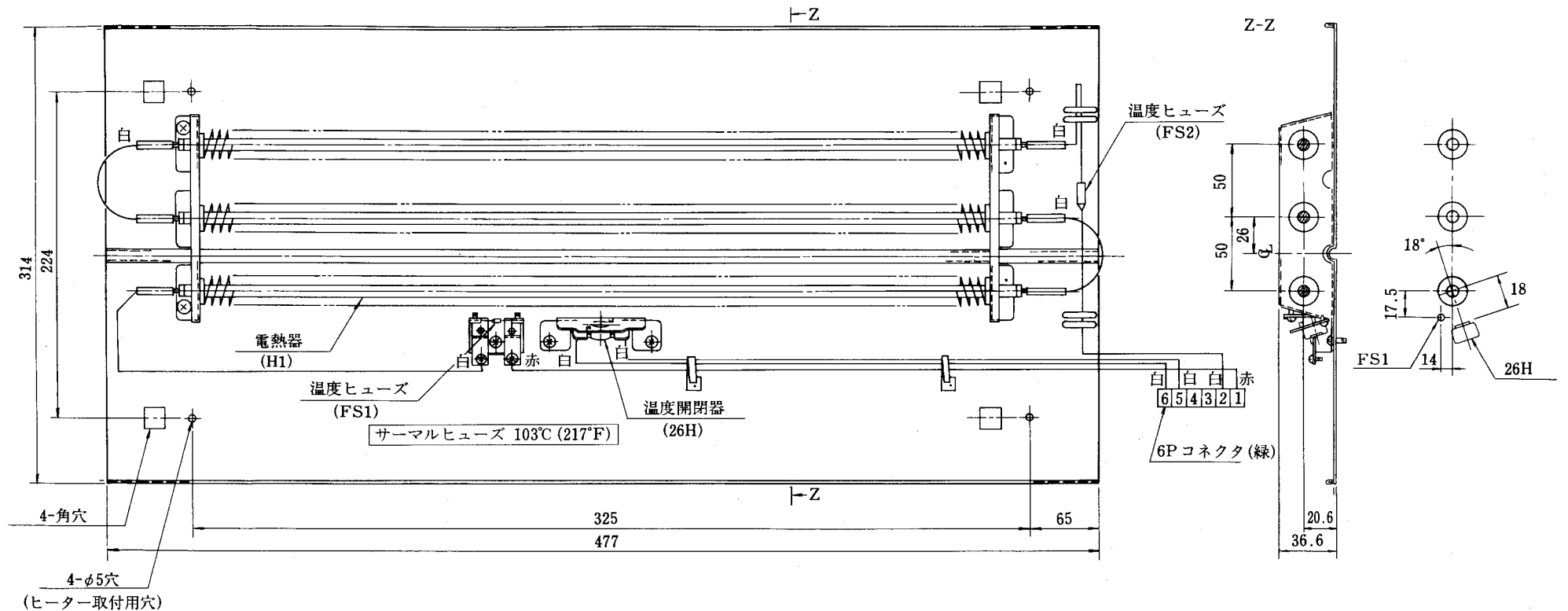
再組立

- 以上のように電気ヒータ本体の取付け及び電気配線の接続が確実にこなされていることを確認しましたら、取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けます。ただし、吸込センサーの取付けは<図1>に従い注意して取付けてください。
- 電気ヒータ用コネクタ(緑色)とファンモータ用コネクタ(白色)は必ずコネクタカバーに収納してください。
- 付属のラベル(電気ヒータ現地組込済)⑥を電気品箱のフタの見やすいところに貼付してください。



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名PAC-116EH 適用機種PLH-35・40SEKD(単相)



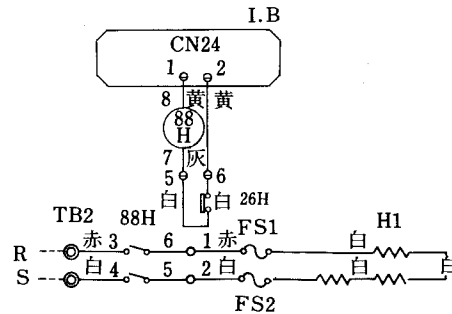
仕様

| | |
|---------|----------------------------------|
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 7 A |
| 定格容量 | 1.4kW |
| 過熱防止サーモ | 50±5°C OFF, 35±5°C ON |
| 温度ヒューズ | FS1 103°C, 10A FS2 109°C, 10A |

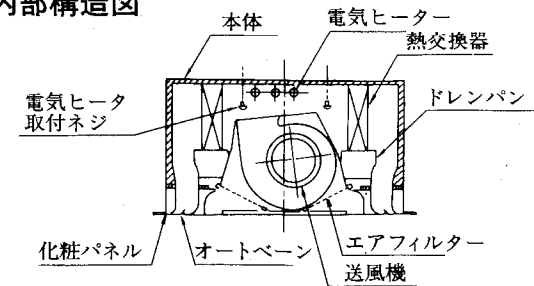
電気配線図

| 記号 | 名称 |
|------|--------------|
| I.B | 室内コントローラーボード |
| CN24 | コネクタ<補助ヒータ> |
| FS2 | 温度ヒューズ |
| 88H | 電磁接触器<電熱器> |
| 26H | 温度開閉器<過熱防止> |
| FS1 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| TB2 | 端子盤<電源> |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。

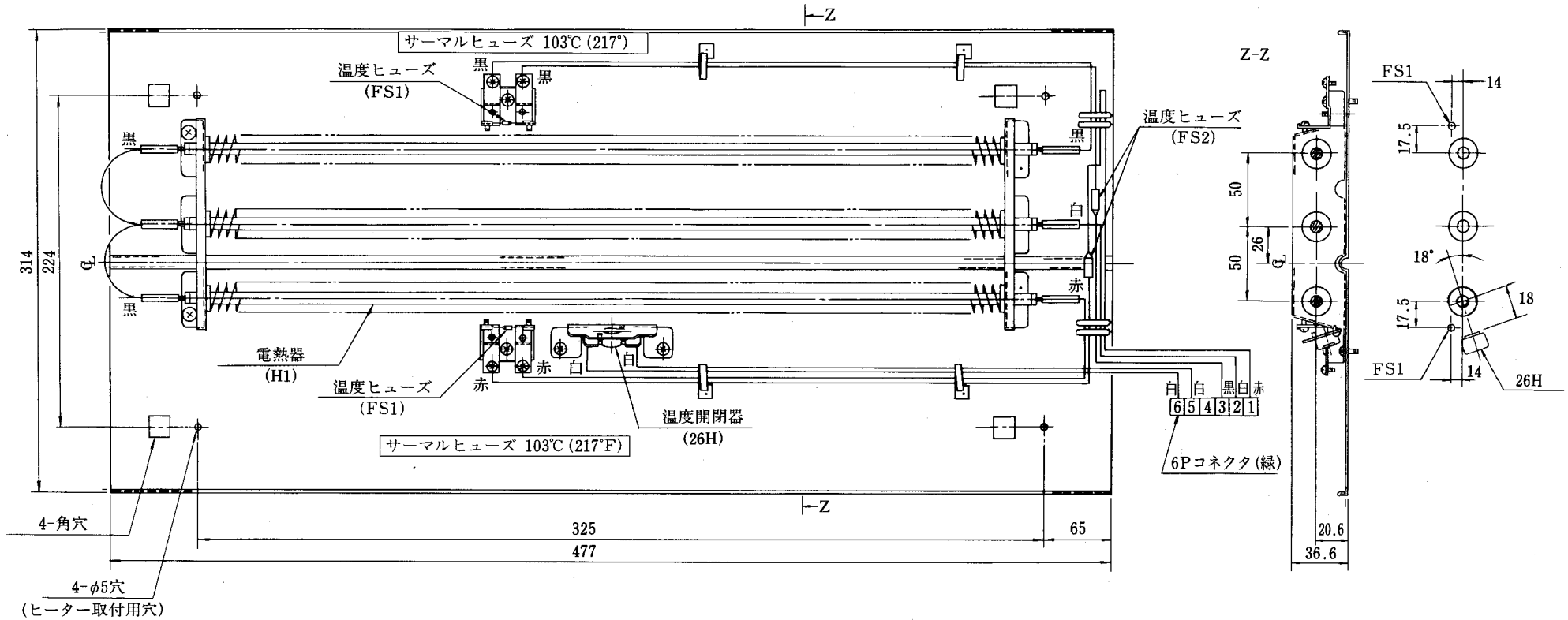


内部構造図



三菱電気パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-118EH 適用機種 PLH-35・40EKD, PLHY-25~40EK (三相)



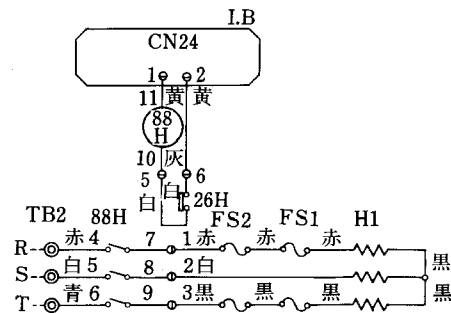
仕様

| | | |
|---------|-----------------------|------------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz | |
| 定格電流 | 4.0A | |
| 定格容量 | 1.4kW | |
| 過熱防止サーモ | 50±5°C OFF, 35±5°C ON | |
| 温度ヒューズ | FS1 | 103°C, 10A |
| | FS2 | 109°C, 10A |

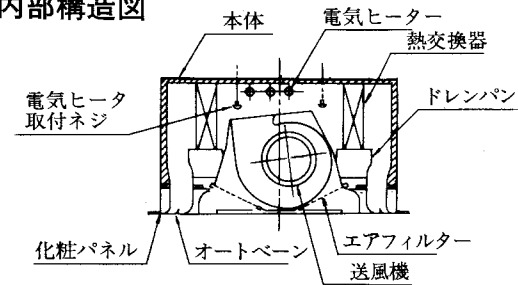
電気配線図

| 記号 | 名称 |
|------|--------------|
| I.B | 室内コントローラーボード |
| CN24 | コネクタ<補助ヒータ> |
| FS2 | 温度ヒューズ |
| 88H | 電磁接触器<電熱器> |
| 26H | 温度開閉器<過熱防止> |
| FS1 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| TB2 | 端子盤<電源> |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。

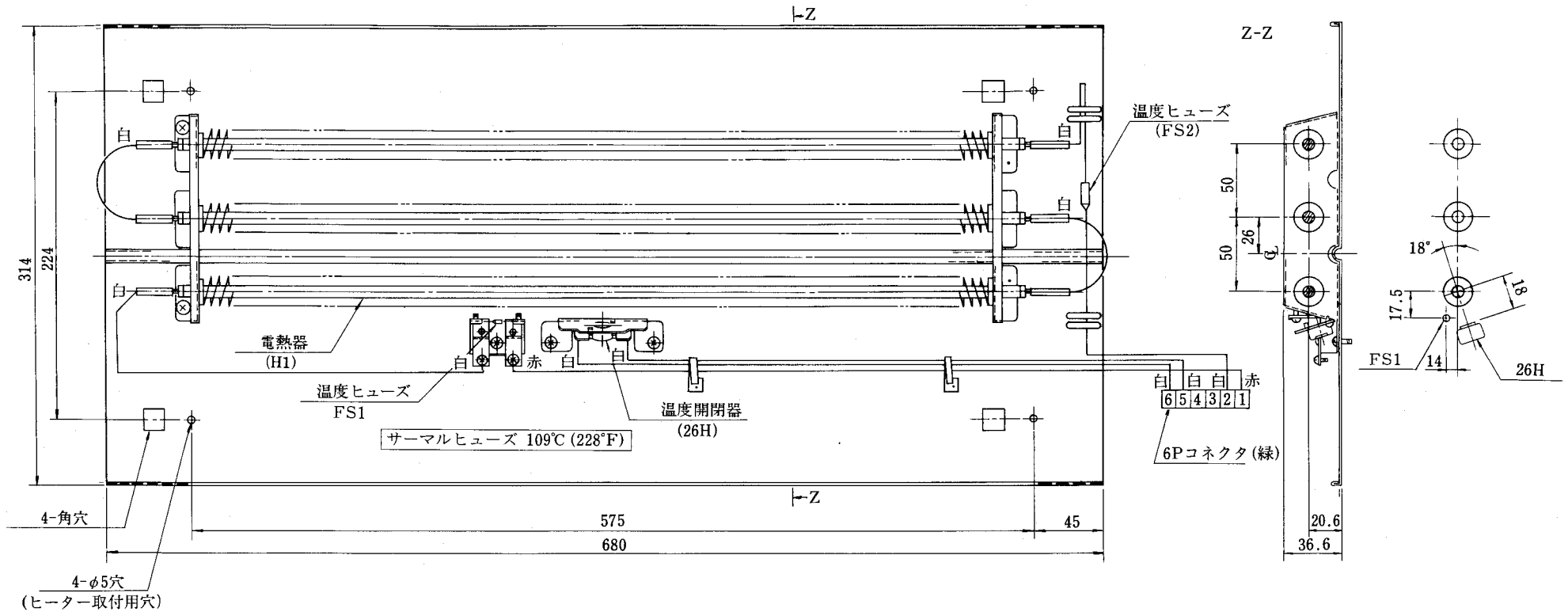


内部構造図



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名PAC-119EH 適用機種PLH-45・50SEKD(単相)



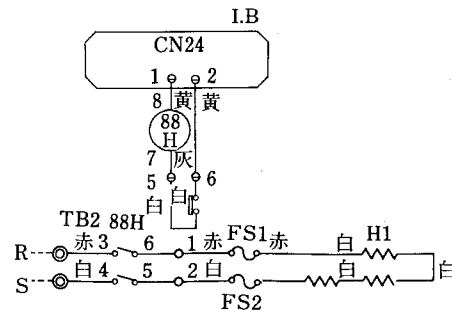
仕様

| | |
|---------|-----------------------|
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 8 A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| 過熱防止サーモ | 50±5°C OFF, 35±5°C ON |
| 温度ヒューズ | FS1 109°C, 10 A |
| | FS2 109°C, 10 A |

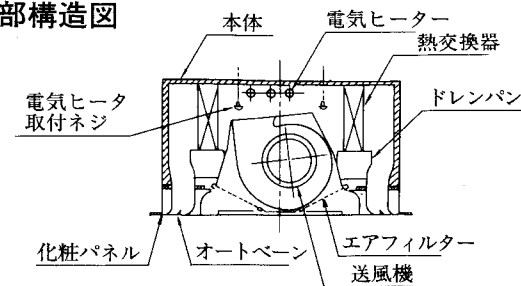
電気配線図

| 記号 | 名称 |
|------|--------------|
| I.B | 室内コントローラーボード |
| CN24 | コネクタ<補助ヒータ> |
| FS2 | 温度ヒューズ |
| 88H | 電磁接触器<電熱器> |
| 26H | 温度開閉器<過熱防止> |
| FS1 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| TB2 | 端子盤<電源> |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。

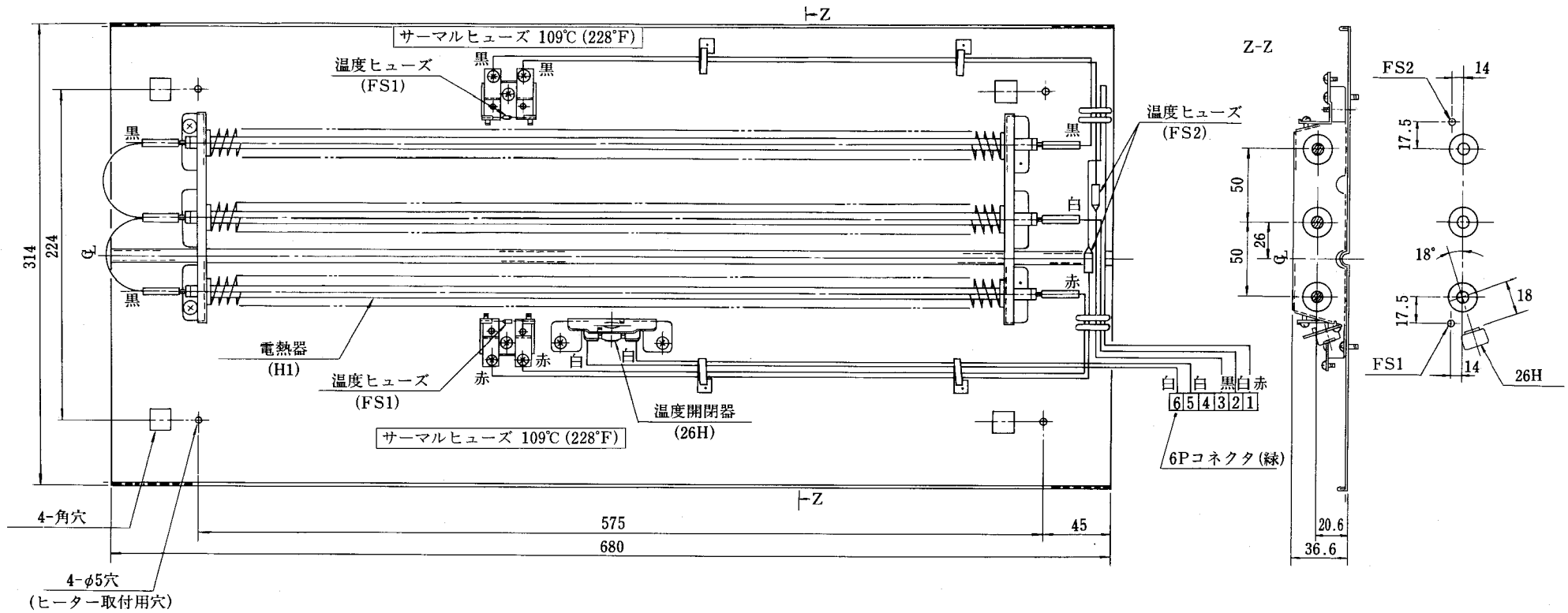


内部構造図



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-120EH 適用機種 PLH-45・50EKD, PLHY-50EK (三相)

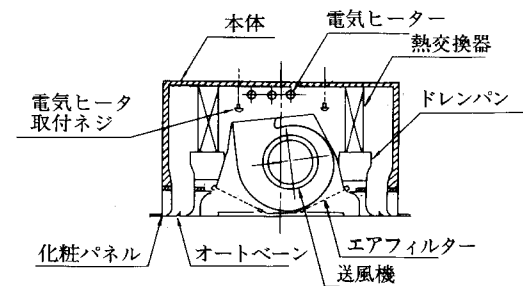
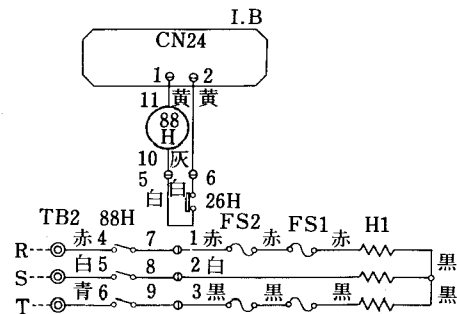


仕様

| | |
|---------|-----------------------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 4.6A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| 過熱防止サーモ | 50±5°C OFF, 35±5°C ON |
| 温度ヒューズ | FS1 109°C, 10A |
| | FS2 109°C, 10A |

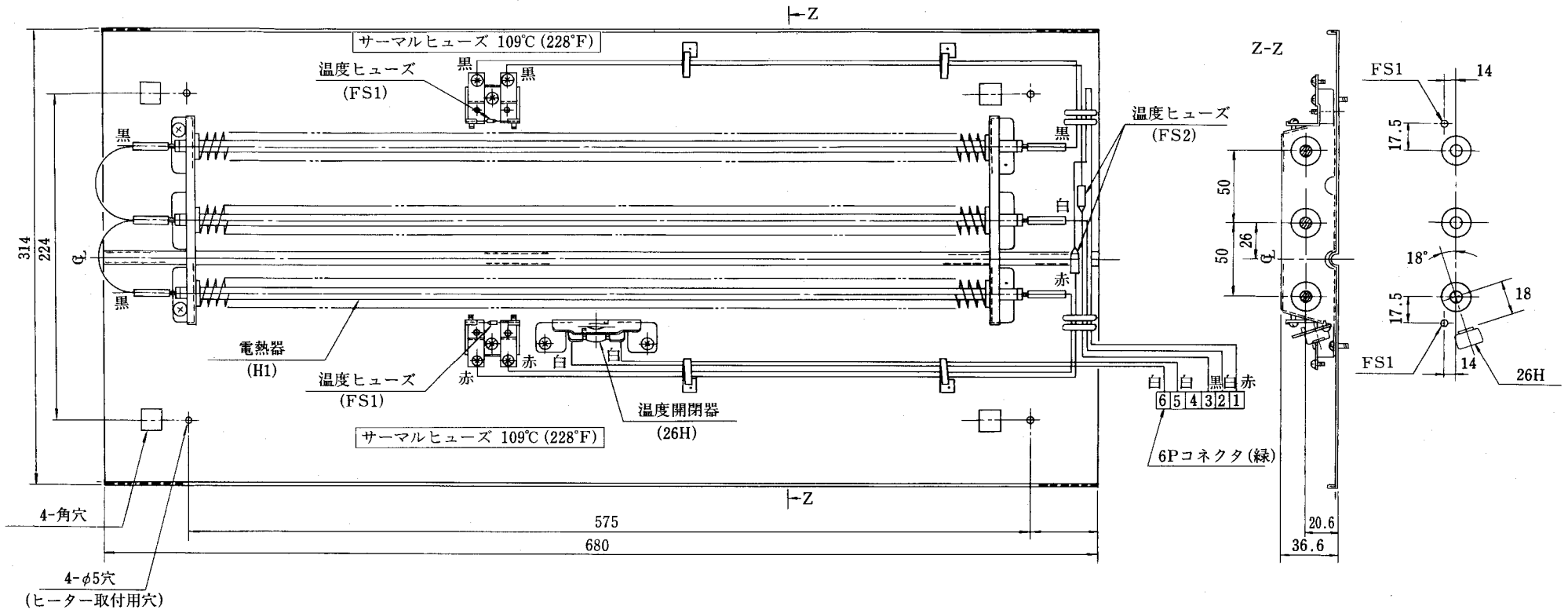
| 記号 | 名称 |
|------|--------------|
| I.B | 室内コントローラーボード |
| CN24 | コネクタ<補助ヒータ> |
| FS2 | 温度ヒューズ |
| 88H | 電磁接触器<電熱器> |
| 26H | 温度開閉器<過熱防止> |
| FS1 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| TB2 | 端子盤<電源> |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名PAC-125EH 適用機種PLH-56・63・71EKD,PLHY-63・71EK



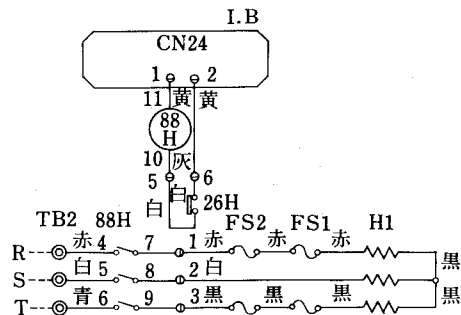
仕様

| | |
|---------|-----------------------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 6.1A |
| 定格容量 | 2.1kW |
| 過熱防止サーモ | 50±5°C OFF, 35±5°C ON |
| 温度ヒューズ | FS1 109°C, 10A |
| | FS2 109°C, 10A |

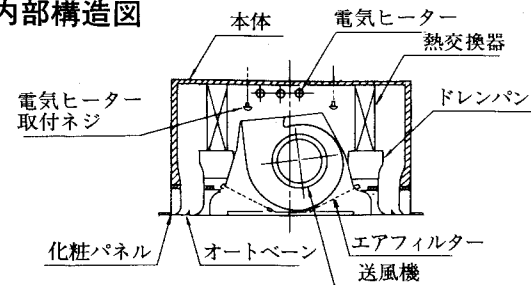
電気配線図

| 記号 | 名称 |
|------|--------------|
| I.B | 室内コントローラーボード |
| CN24 | コネクタ<補助ヒーター> |
| FS2 | 温度ヒューズ |
| 88H | 電磁接触器<電熱器> |
| 26H | 温度開閉器<過熱防止> |
| FS1 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| TB2 | 端子盤<電源> |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。



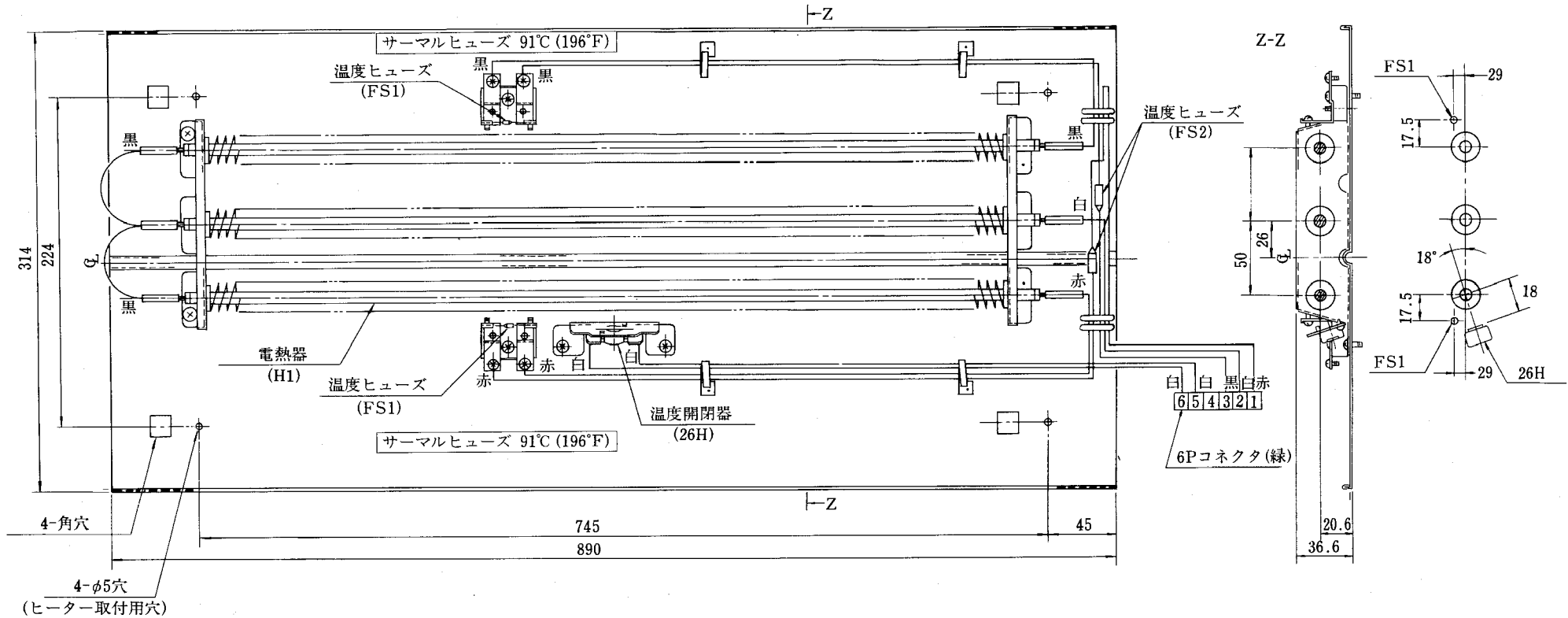
内部構造図



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-139EH

適用機種 PLH-80EKD, PLHY-80EK



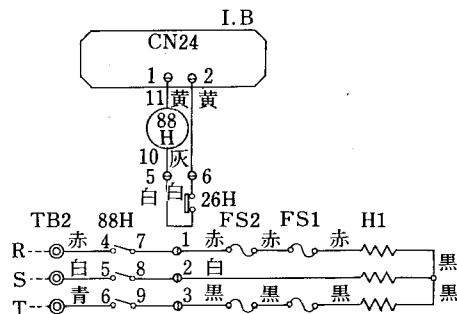
仕様

| | | |
|---------|-----------------------|-----------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz | |
| 定格電流 | 7.8A | |
| 定格容量 | 2.7kW | |
| 過熱防止サーモ | 60±5°C OFF, 45±5°C ON | |
| 温度ヒューズ | FS1 | 91°C, 10A |
| | FS2 | 91°C, 10A |

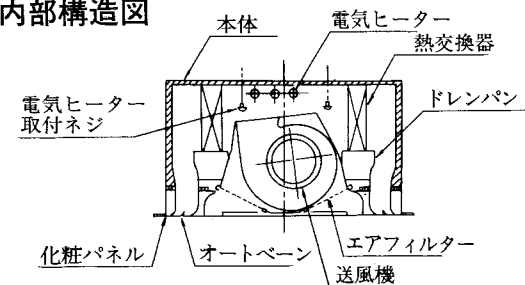
電気配線図

| 記号 | 名称 |
|------|--------------|
| I.B | 室内コントローラーボード |
| CN24 | コネクタ<補助ヒーター> |
| FS2 | 温度ヒューズ |
| 88H | 電磁接触器<電熱器> |
| 26H | 温度開閉器<過熱防止> |
| FS1 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| TB2 | 端子盤<電源> |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。

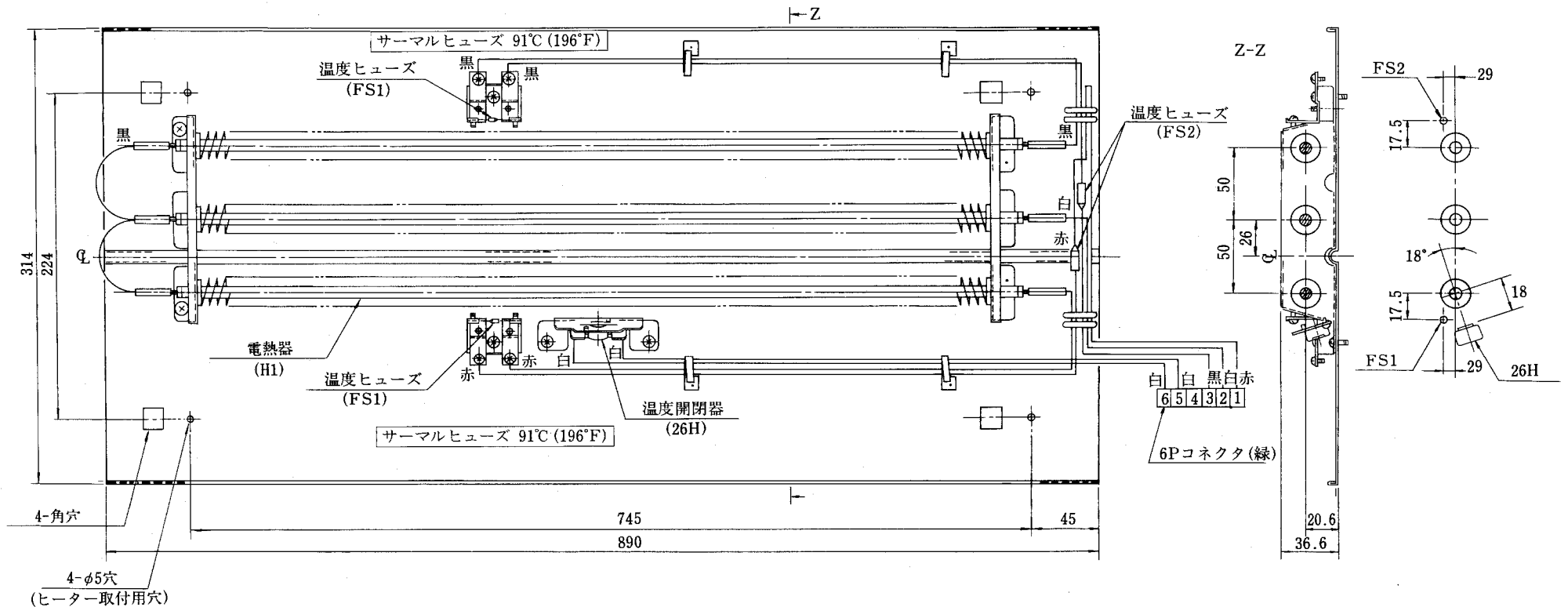


内部構造図



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-129EH 適用機種 PLH-90・100EKD, PLHY-100EK



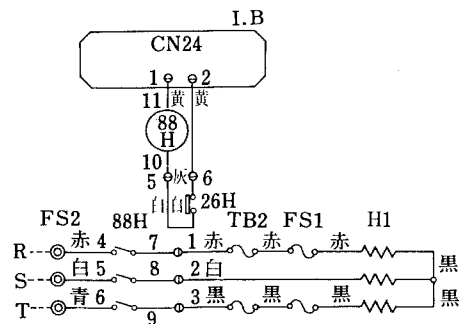
仕様

| | |
|---------|-----------------------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 7.8A |
| 定格容量 | 2.7kW |
| 過熱防止サーモ | 60±5°C OFF, 45±5°C ON |
| 温度ヒューズ | FS1 91°C, 10A |
| | FS2 91°C, 10A |

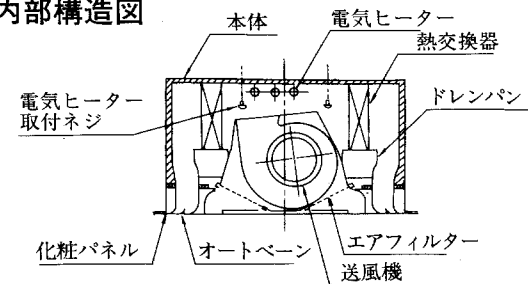
電気配線図

| 記号 | 名称 |
|------|--------------|
| I.B | 室内コントローラーボード |
| CN24 | コネクタ<補助ヒータ> |
| FS2 | 温度ヒューズ |
| 88H | 電磁接触器<電熱器> |
| 26H | 温度開閉器<過熱防止> |
| FS1 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| TB2 | 端子盤<電源> |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。



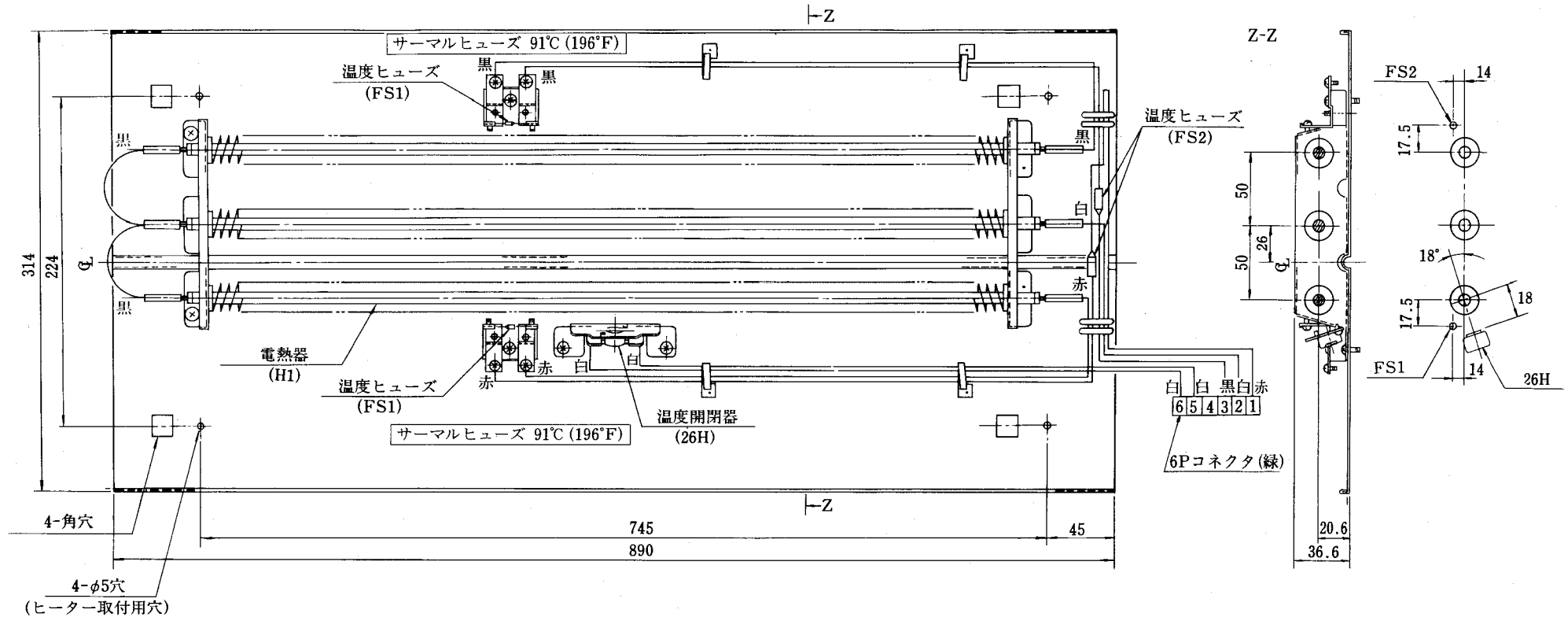
内部構造図



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-133EH

適用機種 PLH-112・125・140EKD, PLHY-125EK



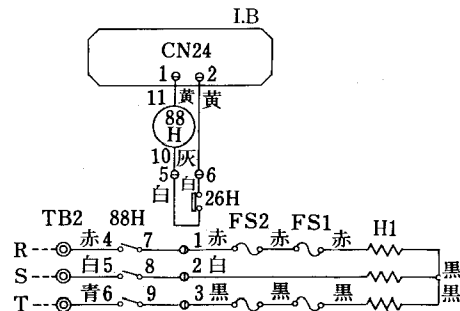
仕様

| | | |
|---------|-----------------------|-----------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz | |
| 定格電流 | 8.7A | |
| 定格容量 | 3.0kW | |
| 過熱防止サーモ | 50±5°C OFF, 35±5°C ON | |
| 温度ヒューズ | FS1 | 91°C, 10A |
| | FS2 | 91°C, 10A |

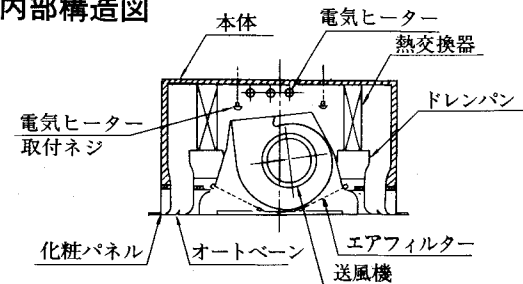
電気配線図

| 記号 | 名称 |
|------|--------------|
| I.B | 室内コントローラーボード |
| CN24 | コネクタ<補助ヒータ> |
| FS2 | 温度ヒューズ |
| 88H | 電磁接触器<電熱器> |
| 26H | 温度開閉器<過熱防止> |
| FS1 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| TB2 | 端子盤<電源> |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。



内部構造図



補助電気ヒーター(PKH-EKD・ELD形用) 形名 PAC-173・174・182・183・184 EH

1 適用機種

| | | | | | |
|------|--------------------|------------------|------------------|---------------|---------------|
| 形名 | PAC-173EH | PAC-174EH | PAC-182EH | PAC-183EH | PAC-184EH |
| 適用機種 | PKH-35~50SEKD・SELD | PKH-35~50EKD・ELD | PKH-56・63EKD・ELD | PKH-71EKD・ELD | PKH-90EKD・ELD |

※PKHZ形にも適用できます。尚、PKHZ-63EK形はPAC-174EHを、PKHZ-63SEK形はPAC-173EHをご使用ください。

2 使用方法

ヒーターレス機種で、暖房能力を上げたい場合、室内ユニットに組込んで使用します。

3 付属部品

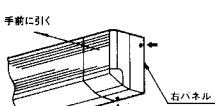
| 品名 | 個数 | 仕 様 | | | | |
|---------|----|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|
| | | PAC-173EH | PAC-174EH | PAC-182EH | PAC-183EH | PAC-184EH |
| 電気ヒーター | 1 | 単相200V 1.6kW | 三相200V 1.6kW | 三相200V 2.01kW | 三相200V 2.1kW | 三相200V 2.4kW |
| リレーアッシー | 1 | LY-2F DC12V | LY-3F DC12V | LY-3F DC12V | LY-3F DC12V | LY-3F DC12V |
| ネジ | 2 | 3×8 | 3×8 | 3×8 | 3×8 | 3×8 |
| ネジ | 2 | タッピンネジ 4×10 | タッピンネジ 4×10 | タッピンネジ 4×10 | タッピンネジ 4×10 | タッピンネジ 4×10 |
| ファスナー | 3 | | | | | |
| ラベル | 1 | | | | | |

4 取付要領

ヒーター取付準備

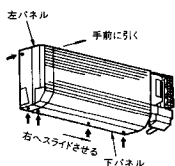
次の手順で、下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータ組込みの準備を行なってください。

1) 右パネルを取外します。



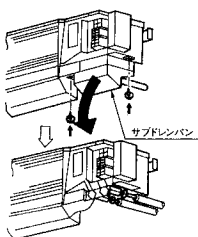
- 印のネジ2本を外し、図に示す方向に右パネルを引いて外してください。
- 注) 右パネルと本体はコネクタで接続されていますので、右パネルをむりやり外さないでください。(PKH-ELDタイプのみ)

2) 左・下パネルを取外します。



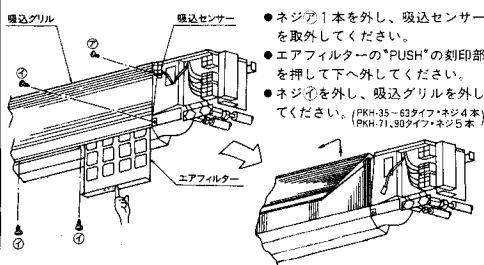
- 印のネジ5本を外し、図に示すようにして左パネルと下パネルを外してください。
- また、ユニット据付済の場合は、下パネルを外す時に壁面に傷を付けないよう注意してください。

3) サブドレンパンを取外します。



- 印のネジ2本を外し、手前斜め下へ引き出せば取外せます。

4) エアフィルターおよび吸込グリルを取外します。



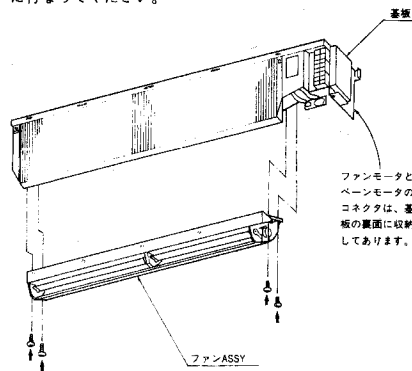
- ネジ①1本を外し、吸込センサーを取外してください。
- エアフィルターの「PUSH」の刻印部を押し下へ外してください。
- ネジ②を外し、吸込グリルを外してください。(PKH-35~63タイプ・ネジ4本) (PKH-71,90タイプ・ネジ5本)

吸込グリルは上部が引掛け式になっておりますので、上へ持ち上げながら、手前へ外してください。

5) ファンASSYを取外します。

- 1) ファンモータ用の白色コネクタ(9P)とベーンモータ用の白色コネクタ(4P)を分離してください。電気品箱を開いて行ないますと、作業が容易になります。(配線接続 1)項参照)
- 2) 印のネジ4本を外し、ファンASSYを取外してください。

注) ファンASSYは非常に重いため取外しの際は、2人以上で慎重に行なってください。



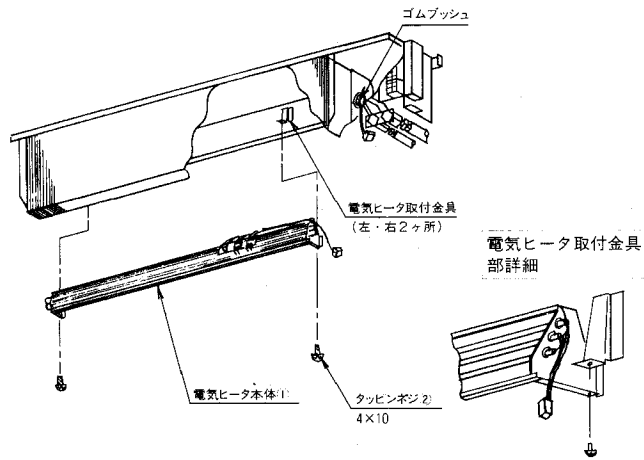
ご 注 意

- ユニット本体のメイン電源スイッチがOFFであることを確認してください。
- 電気ヒーター取付のため、多くのネジを外します。紛失しないようにしてください。
- 1人では作業が大変です。2人で実施してください。

ヒータ組込み

次の手順で電気ヒータ本体をユニット内へ組込んでください。

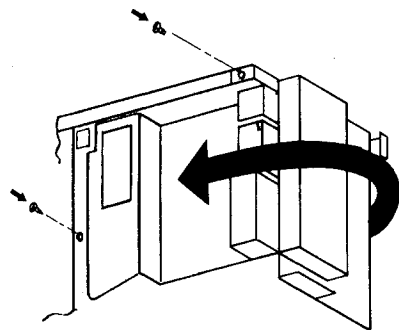
- 1) 電気ヒータ本体①を下図のようにユニット内部の電気ヒータ取付用金具にはめ込んでください。
- 2) 電気ヒータ取付金具に電気ヒータ本体①を完全にはめ込みましたら付属のタッピンネジ②(2本)で固定してください。
- 3) 電気ヒータ本体①の配線をユニット本体のゴムブッシュから引出してください。



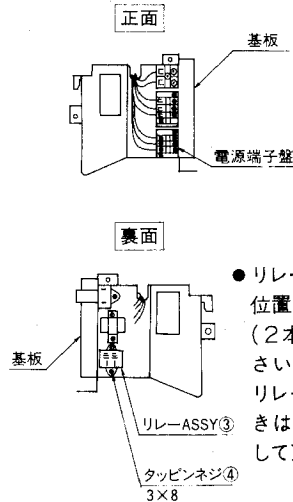
配線接続

1) 電気品箱を開きます。

- ↑印のネジ2本を外し、電気品箱を回転させてください。



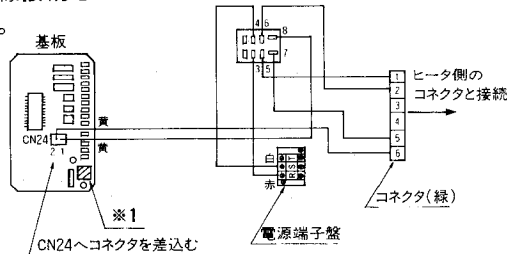
2) リレー-ASSY③の取付け



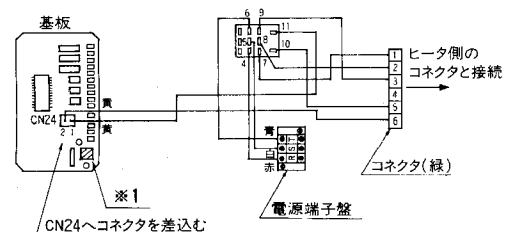
- リレー-ASSY③を図示の位置にタッピンネジ④(2本)で固定してください。リレー-ASSY③の取付向きはコイル側を下側にして取付けてください。

3) 下図に従い配線接続をしてください。

単相ヒータの場合



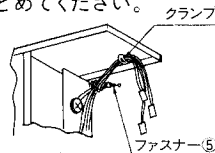
3相ヒータの場合



注) ※1のカバーは発熱するためリード線を接触させないでください。

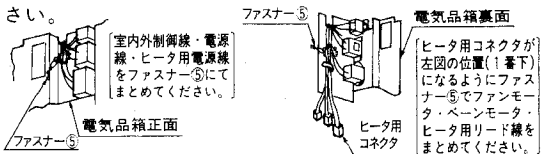
- 電気品箱内の配線が完了したら、ファンASSYを取付けてください。
- 付属のファスナー⑤(3本)で配線を固定してください。

① ファンモータ・ベーンモータのリード線とゴムブッシュから出たヒータ用リード線をファスナー⑤で一束にまとめてください。



※クランプは、ファンモータ・ベーンモータ・ヒータ用のリード線が緩みがないように固定してください。

② 下図の位置にファスナー⑤でリード線をまとめてください。



注) 余分なファスナーは、露タレの原因となるのでカットしてください。

再組立

- 以上のように電気ヒータ本体の取付及び電気配線の接続が確実にこなわれていることを確認しましたら、取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。

- 付属のラベル(電気ヒータ現地組込済)⑥を製品名板の近傍に貼付けてください。製品名板は、右パネルに貼付けてあります。

三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-173EH

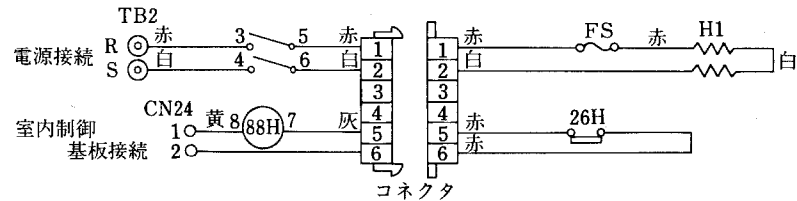
適用機種 PKH-35 ~ 50SEKD・ELD (単相)

| | |
|---------|-----------------------|
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 8.0A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| 温度ヒューズ | 119°C 10A |
| 過熱防止サーモ | 80±4°C OFF, 60±5°C ON |

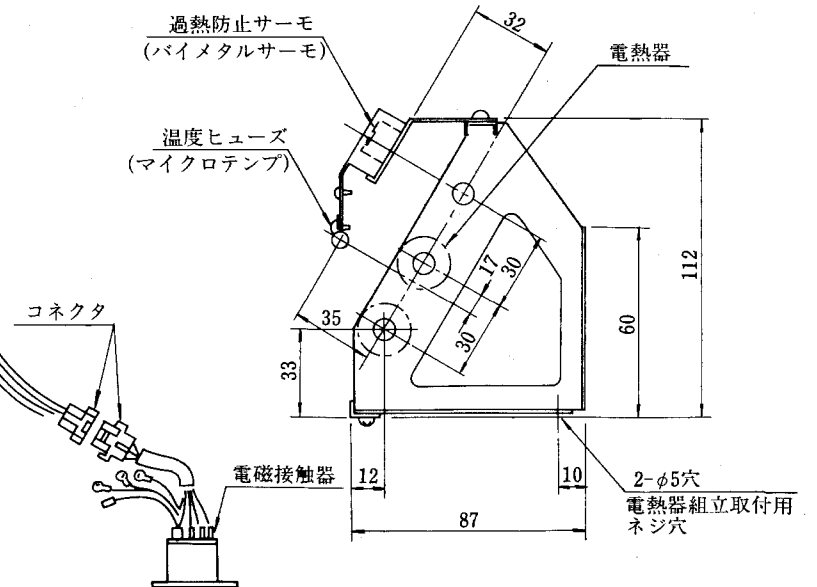
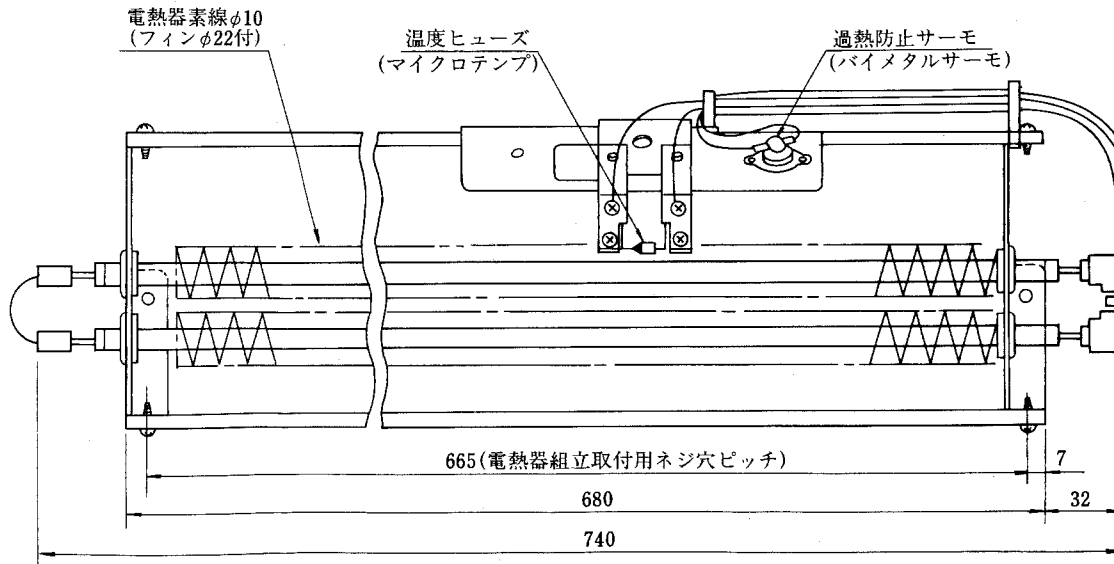
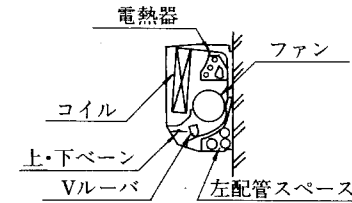
| | |
|------|----------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁接触器(電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度開閉器(過熱防止サーモ) |

図中、○は端子盤、⊖はコネクタを示す。

電気回路図



ユニット断面図



三菱電気パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

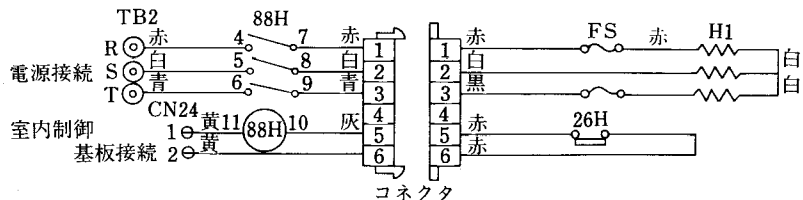
形名PAC-174EH 適用機種PKH-35～50EKD・ELD(三相)

| | |
|---------|-----------------------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 4.6A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| 温度ヒューズ | 103°C 10A |
| 過熱防止サーモ | 80±4°C OFF, 60±5°C ON |

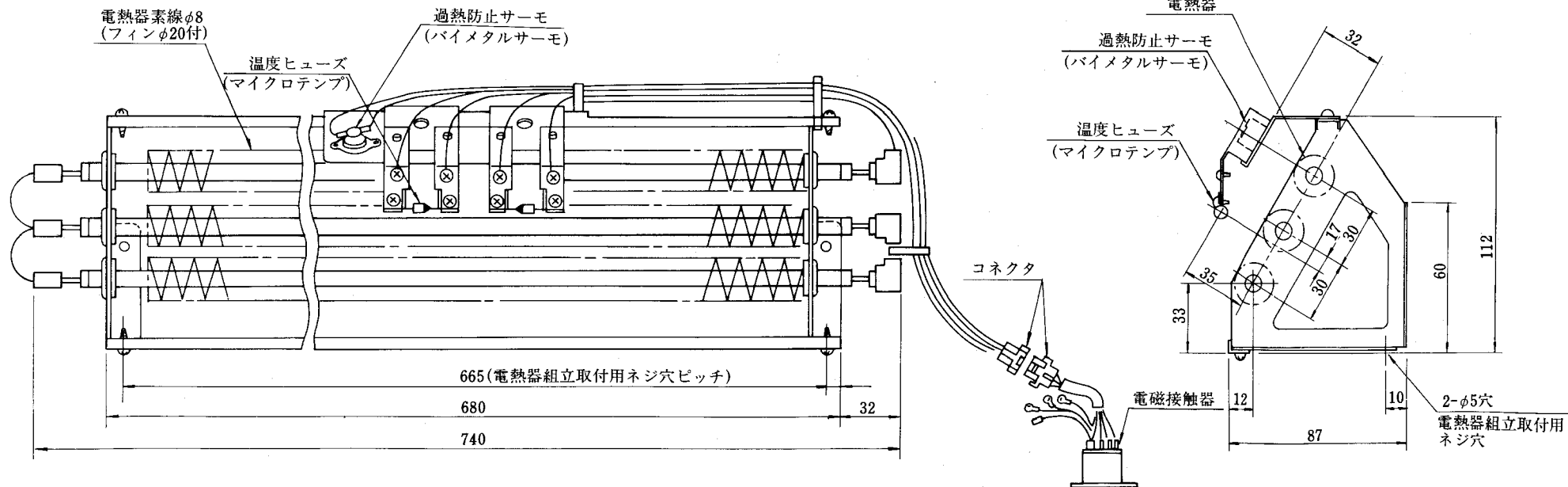
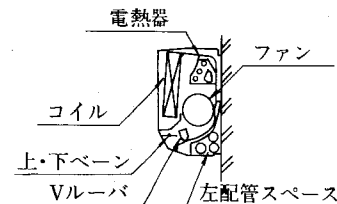
| | |
|------|-------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁接触器(電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度開閉器(過熱防止) |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。

電気回路図



ユニット断面図



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-182EH

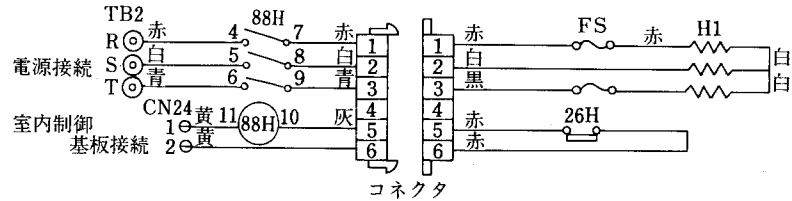
適用機種 PKH-56・63EKD・ELD

| | |
|---------|-----------------------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 5.8A |
| 定格容量 | 2.01kW |
| 温度ヒューズ | 119°C 10A |
| 過熱防止サーモ | 80±4°C OFF, 60±5°C ON |

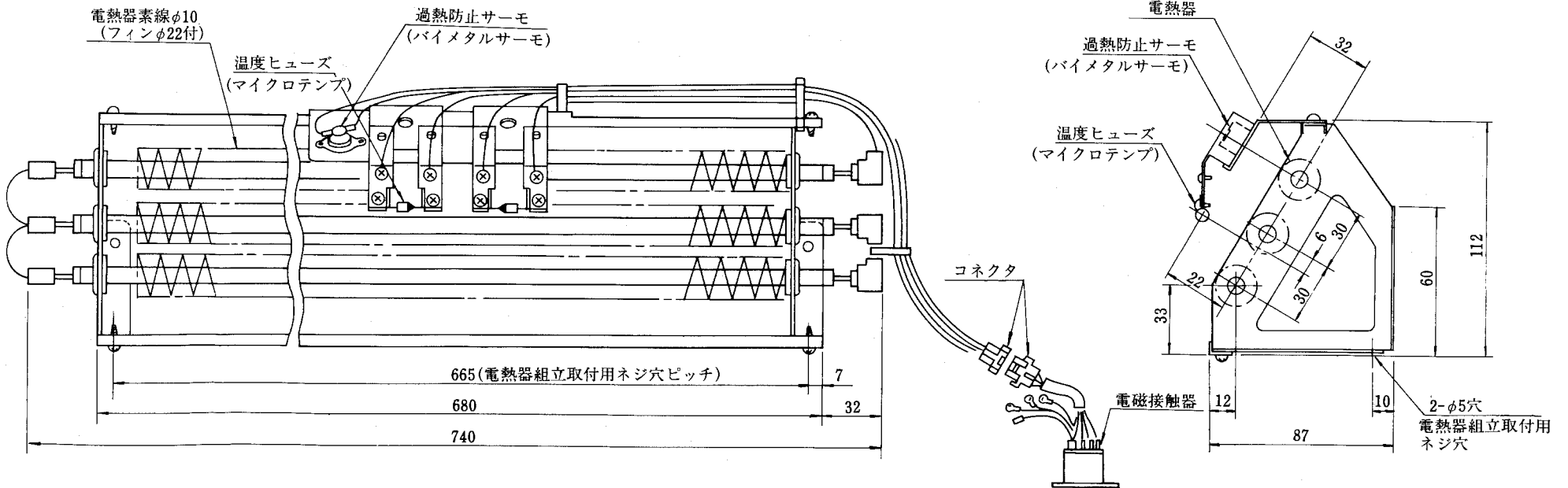
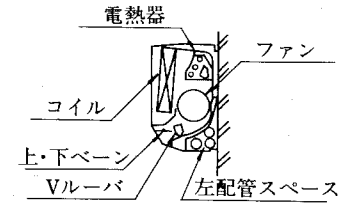
| | |
|------|-------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁接触器(電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度開閉器(過熱防止) |

図中、○は端子盤、⊗はコネクタを示す。

電気回路図



ユニット断面図



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-183EH

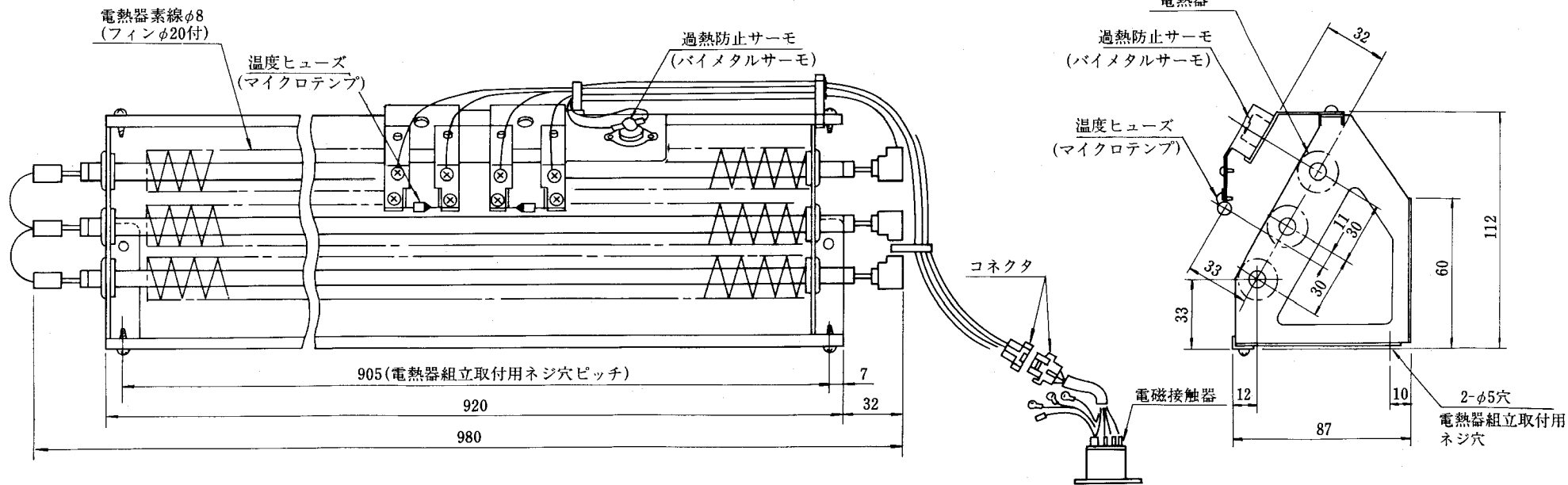
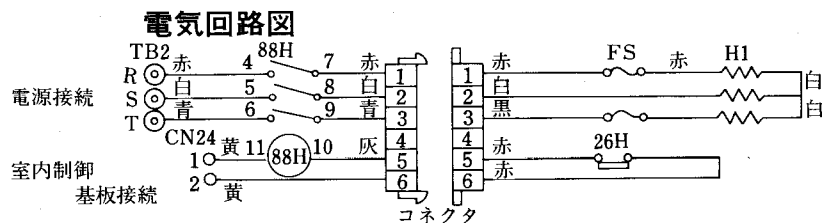
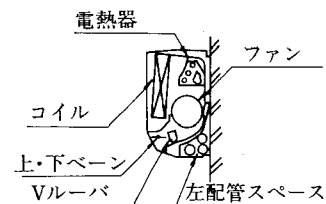
適用機種 PKH-71EKD・ELD

| | |
|---------|-----------------------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 6.1A |
| 定格容量 | 2.1kW |
| 温度ヒューズ | 119°C 10A |
| 過熱防止サーモ | 80±4°C OFF, 60±5°C ON |

| | |
|------|----------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁接触器(電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度開閉器(過熱防止サーモ) |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。

ユニット断面図



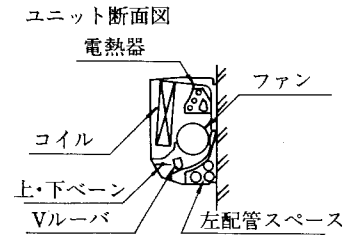
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名PAC-184EH 適用機種PKH-90EKD・ELD

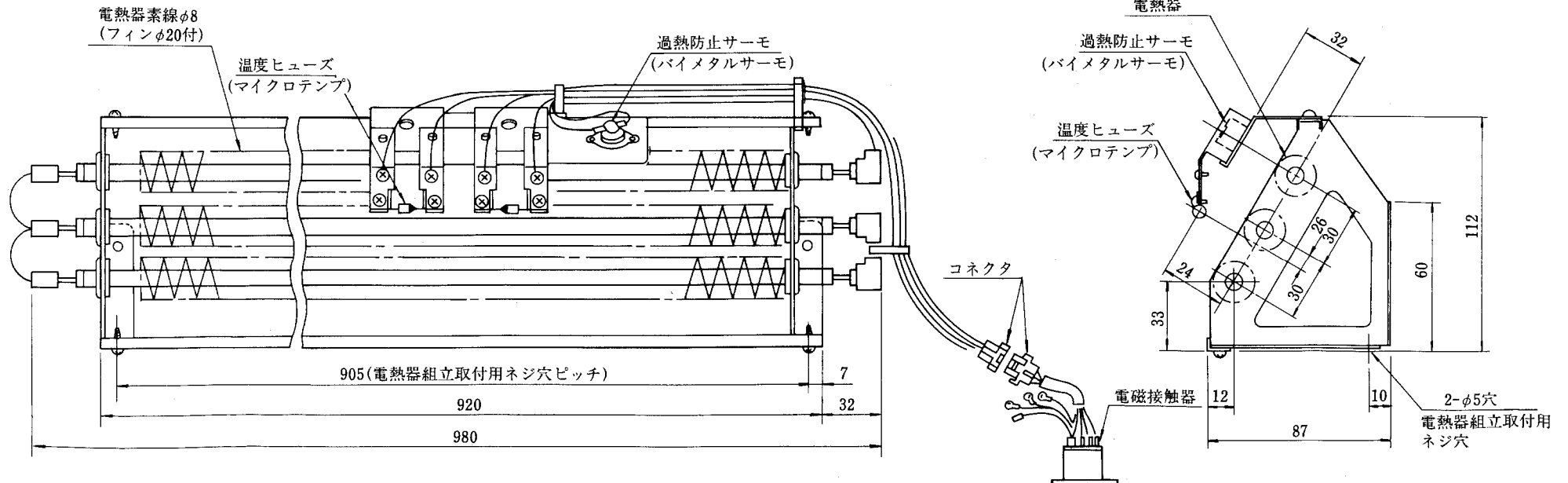
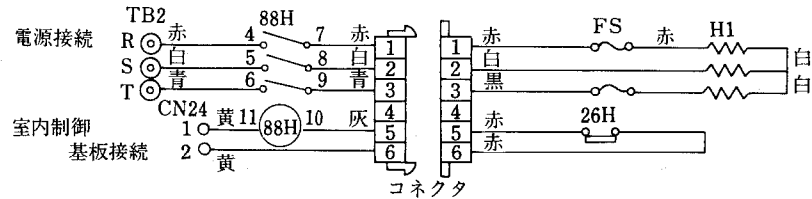
| | |
|---------|-----------------------|
| 定格電源 | 3相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 6.9A |
| 定格容量 | 2.4kW |
| 温度ヒューズ | 119°C 10A |
| 過熱防止サーモ | 80±4°C OFF, 60±5°C ON |

| | |
|------|----------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁接触器(電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度開閉器(過熱防止サーモ) |

図中、◎は端子盤、○はコネクタを示す。



電気回路図



補助電気ヒーター(PKH-100EKD形用) 形名 PAC-189EH

1 適用機種

| | |
|------|------------|
| 形名 | PAC-189EH |
| 適用機種 | PKH-100EKD |

2 使用方法

ヒーターレス機種で、暖房能力を上げたい場合、室内ユニットに組込んで使用します。

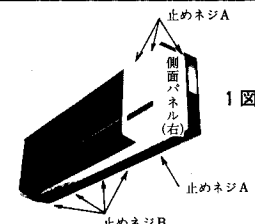
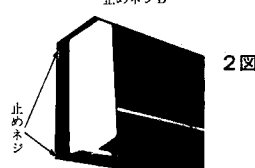
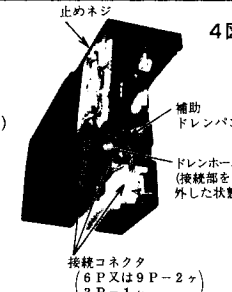
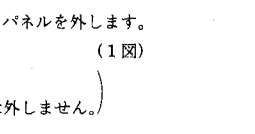
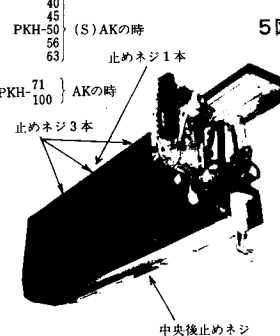
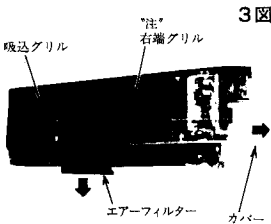
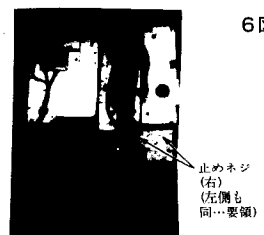
3 付属部品

| 品名 | 個数 | 仕様 |
|---------|----|--------------|
| | | PAC-189EH |
| 電気ヒーター | 1 | 三相200V 2.4kW |
| リレーアッシー | 1 | LY-3F DC12V |
| リレー取付板 | 1 | |
| ネジ | 3 | B4×10 |
| チューブ | 1 | |

4 取付要領

ご 注 意

- ユニット本体のメイン電源スイッチが、OFFであることを確認してください。
- 電気ヒーター取付の為、多くのネジを外します。紛失しないようにしてください。
- 1人では作業が大変です。2人で実施してください。

| | | |
|------------------------------------|--|--|
| <p>(1)側面パネル(右)の外し方 (左)の外し方</p> | <p>1.側面パネル(右)の止めネジA、4本を外しパネルを外します。(1図) (パネルを外す際、下へ引下げます)</p> <p>2.側面パネル(左)の止めネジ2本を外しパネルを外します。(2図) (パネルを外す際、下へ引下げます)</p> <p>側面パネル(白又はブラウン)とその後方の板金部品は一体を外</p>   | <p>(4)補助ドレンパン、接続配線の外し方</p> <p>1.補助ドレンパンの止めネジ1本を外し補助ドレンパンを外します。(4図)</p> <p>2.各部の接続配線を外します。(4図) (コネクタ 6P又は9P...1ヶを外す。)</p> <p>3.電気品箱上部の止めネジ1本を外し、電気品箱が前後に移動出来る状態にしておきます。(4図)</p> <p>4.ドレン接続部を外します。(4図)</p>  |
| <p>(2)下パネルの外し方</p> | <p>1.下パネル後の止めネジB 4本を外しパネルを外します。(1図) (黒色の横に長い板金部品です。白色く又はブラウンの板金部品は外しません。)</p>  | <p>(5)送風機組立(各部品セット)の外し方</p> <p>ドレンパン、ガイドベーン、シングルルーバ、ラインフローファンが、セットになっています。</p> <p>送風機組立を外す際、重量がありますので、必ず2人以上で合図をしながら実施願います。</p>  |
| <p>(3)カバー、吸込グリルの外し方</p> | <p>1.エアフィルターを外します。(下へ引下げる)</p> <p>2.カバーを右か左(どちらでも可)へ引き抜きます。 (吸込グリル下の横に長い白く又はブラウンの部品です。)</p> <p>3.吸込グリル4枚(又は3枚)各上部2ヶ所(嵌込み部)をやや下へ押しながらグリルを外します。</p> <p>注: 右端のグリルには、サーミスタと点検表示灯が取付けてありますので注意して外してください。サーミスタと点検表示灯を外します。</p>  | <p>1.ドレンパン吊具のネジ3本(又は1本)を外します。(5図)</p> <p>2.送風機組立(右)の止めネジ2本を外します。 送風機組立(左)の止めネジ2本を外します。(6図)</p> <p>3.中央後の止めネジ1本を外します。(5図)</p>  |

補助電気ヒーター(PCH-EKD形用)

形名 PAC-175・176・177EH
178・179・180EH

1 適用機種

| 形名 | PAC-175EH | PAC-176EH | PAC-177EH | PAC-180EH | PAC-178EH | PAC-179EH |
|------|-------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|------------------------|-------------------------|
| 適用機種 | PCH-35 ~50SEKD | PCH(Y)-35 ~50EK(D) | PCH(Y)-56 ~71EK(D) | PCH(Y)- 80EK(D) | PCH(Y)-90 ・100EK(D) | PCH(Y)-112 ~140EK(D) |

※PCHZ形にも適用できます。
但し、PCHZ-56~71SEK形についてはPAC-SB15EH・PCHZ-80EK形についてはPAC-177EHをご使用ください。

2 使用方法

ヒーターレス機種で、暖房能力をアップしたい時に室内ユニットに組込んでご使用下さい。

3 付属部品

| 番号 | 品名 | 仕様及び個数 | | | | | |
|----|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | | PAC-175EH | PAC-176EH | PAC-177EH | PAC-180EH | PAC-178EH | PAC-179EH |
| ① | 電気ヒーター | (単相200V 1.6kW)×1 | (三相200V 1.6kW)×1 | (三相200V 2.1kW)×1 | (三相200V 2.7kW)×1 | (三相200V 2.7kW)×1 | (三相200V 3.0kW)×1 |
| ② | リレー組立 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 |
| ③ | ヒーター組込済ラベル | 1コ | 1コ | 1コ | 1コ | 1コ | 1コ |
| ④ | リレー取付用ネジ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ |
| ⑤ | ヒーター取付用ネジ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 3コ |

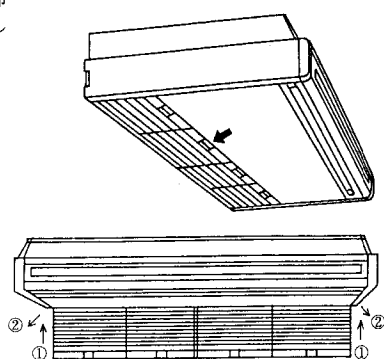
4 取付要領

ご注意

- ユニット本体の元電源がOFFであることを確認してください。
- 電気ヒーター取付の為に取り外したネジを紛失しないように注意してください。

(1) 吸込グリルの取り外し方

- 吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと吸込グリルが開きます。
- 吸込グリルを持ち上げ(矢印①)、手前に引張って(矢印②)吸込グリルを外してください。



(2) サイドパネル(右)の取り外し方

- サイドパネル(右)の止めネジ(白ネジ)1本を外しサイドパネルを前に引いて取り外します。(左側も同様に行なってください。)

止めネジ(白ネジ)2本を外します

(3) 下パネルの取り外し方

- 下パネルの止めネジ7本(8本)を外し、下パネルを取り外します。(側板部各2本、後部3本、PCH-112~140は後部4本)

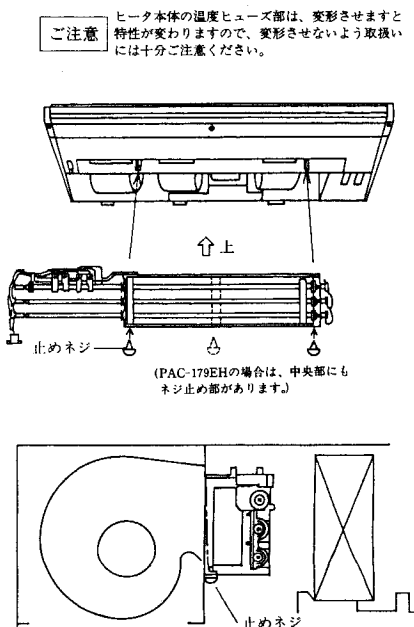
止めネジ<7本(8本)>

止めネジ7本(8本)を外します

(4) 電気ヒーターの組込み

- 電気ヒーターを組み込みます。仕切板の熱交換器側に、ヒーター取付金具がありますので、これにヒーター支持部を合わせ、手ごたえがあるまで押し込んでください。その後、ヒーター取付金具とヒーター本体を付属のタッピングネジ(4×10)で左右各々締付けてください。
(PAC-179EHの場合には、中央部にもネジ止め部があります。)

ご注意 ヒータ本体の温度ヒューズ部は、変形させますと特性が変わりますので、変形させないよう取扱いは十分ご注意ください。

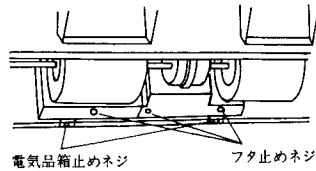


止めネジ

(PAC-179EHの場合は、中央部にもネジ止め部があります。)

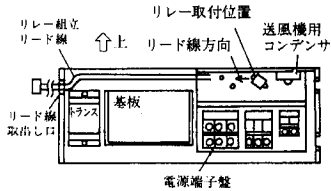
(5) 電気配線

1. 電気品箱の止めネジ2本を外し、電気品箱を降してください。このとき、電気品箱左右の横面に形状の引掛け部品が付いているので、これを後パネルの丸穴に引掛け、固定してください。電気品箱のフタは2枚あります。まず向って右側のフタの止めネジ2本を外し、次に向って左側のフタの止めネジ1本を外し、フタを2枚とも外します。

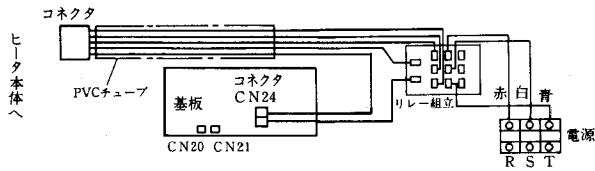


止めネジ5本を外します。

2. 付属のリレー組立を電気品箱内部の右上部、送風電動機用コンデンサの直左部に付属のタッピングネジ(3×8)2本で取付けます。このとき、リレーは、制御線側(リード線の束ね方向)を左側としてください。

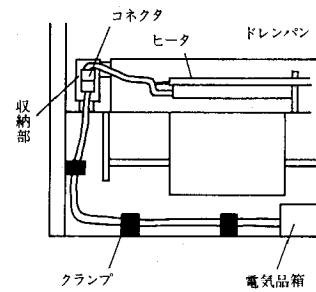


3. 電源・制御線を下図のように配線してください。



4. 電気品箱左側のゴムブッシュより、リレー組立からのコネクタ付リード線を出し、電気品箱のフタをします。リード線保護用PVCチューブは赤色コネクタ側に寄せておいてください。吸込センサ(CN20)、配管センサ(CN21)等、コネクタの抜けがないことを確認のうえ、左側のフタから取付けてください。フタを2枚とも取付けたら、電気品箱をもとの位置に取付けます。

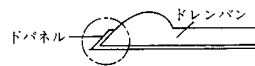
5. コネクタ付リード線を室内ユニット内部の天井面および側面に設けられているクランプで固定し、電気ヒータ本体からのコネクタと接続します。接続部は、右図のように、ドレンパン左下面のコネクタ収納部へ納めてください。



6. 以上が済みましたら、付属のヒータ組込済ラベルを電気品箱フタの表側の見やすい所へ貼ってください。

(6) ユニットの再組立

- 取外し時と逆の手順<(3)-(1)>で組立ててください。
(下パネル取付けの際、下吹出口部がドレンパン先端部に固定されていることを確認してください。)

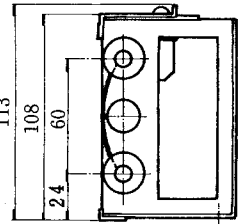
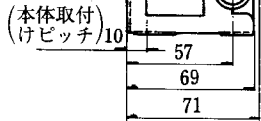
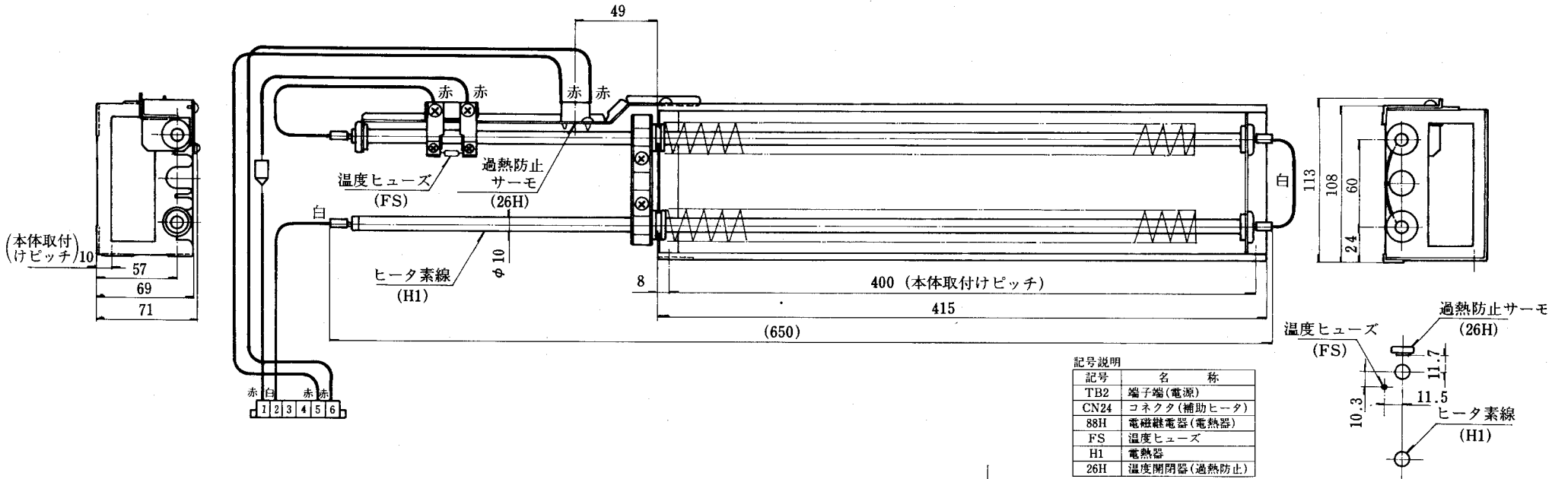


三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

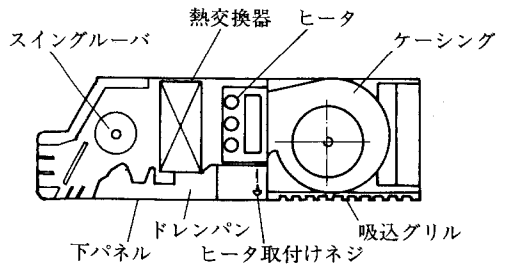
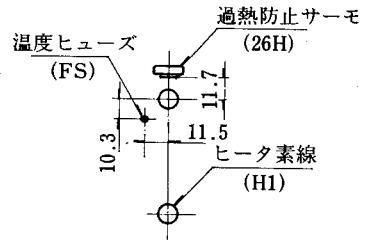
形名 PAC-175EH 適用機種 PCH-35～50SEKD (単相)

仕様

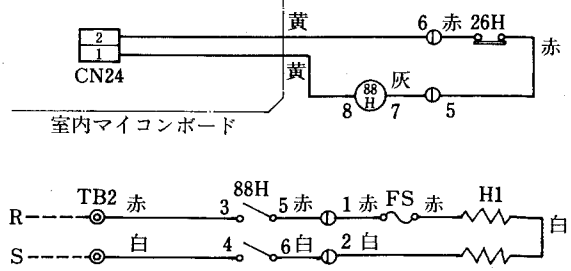
| | |
|---------|----------------|
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 8.0A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| 温度ヒューズ | 91℃ 10A |
| 過熱防止サーモ | 42±3℃ OFF |



| 記号 | 名称 |
|------|-------------|
| TB2 | 端子端(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁継電器(電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度開閉器(過熱防止) |



ユニット断面図



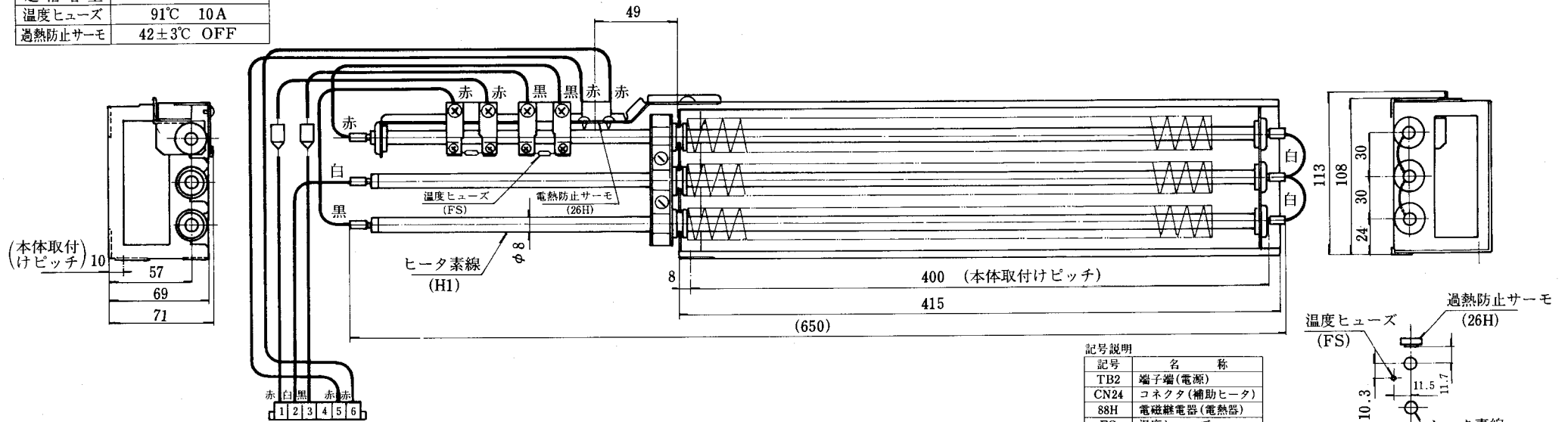
電気回路図

三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-176EH 適用機種 PCH-35~50EKD, PCHY-40・50EK

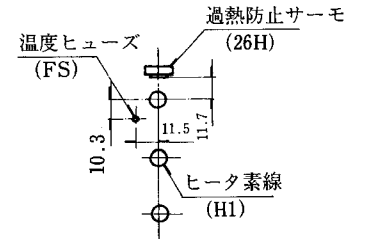
仕様

| | |
|---------|----------------|
| 定格電源 | 三相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 4.6A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| 温度ヒューズ | 91°C 10A |
| 過熱防止サーモ | 42±3°C OFF |

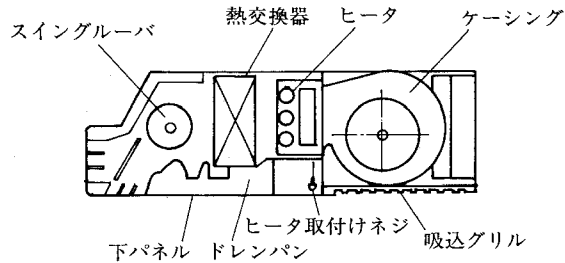


記号説明

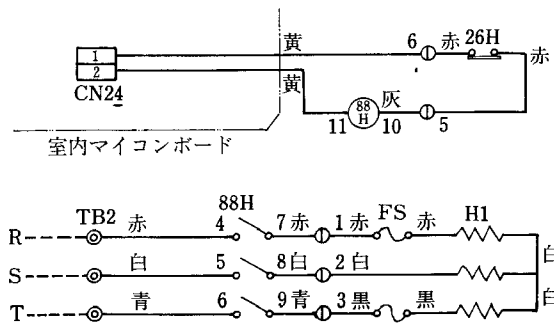
| 記号 | 名称 |
|------|-------------|
| TB2 | 端子端(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁継電器(電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度閉閉器(過熱防止) |



保护装置位置



ユニット断面図



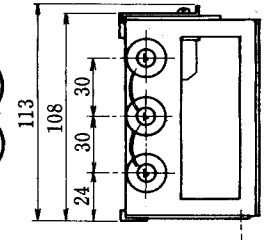
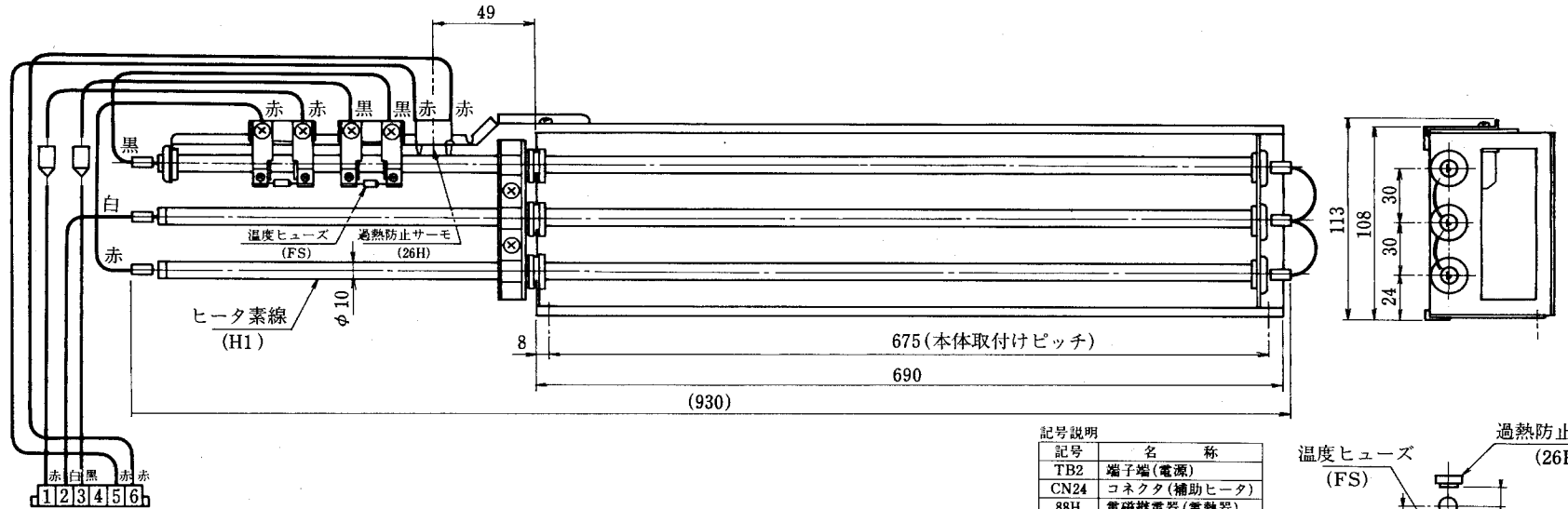
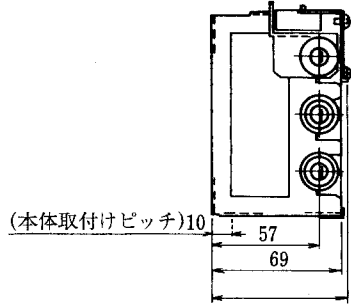
電気回路図

三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

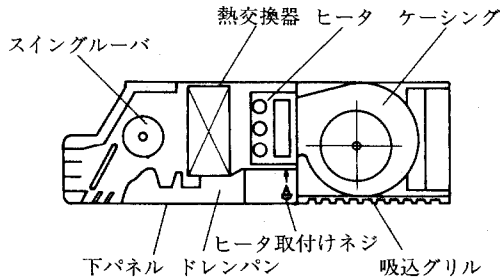
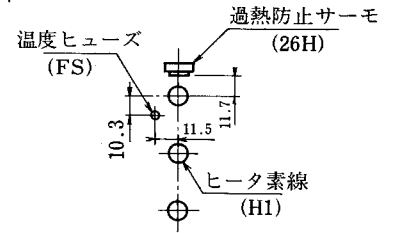
形名 PAC-177EH 適用機種 PCH-56~71EKD, PCHY-63EK

仕様

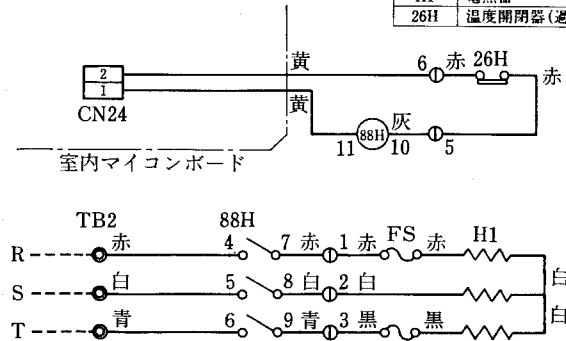
| | |
|---------|----------------|
| 定格電源 | 三相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 6.1A |
| 定格容量 | 2.1kW |
| 温度ヒューズ | 91℃ 10A |
| 過熱防止サーモ | 42±3℃ OFF |



| 記号 | 名称 |
|------|--------------|
| TB2 | 端子端 (電源) |
| CN24 | コネクタ (補助ヒータ) |
| 88H | 電磁継電器 (電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度閉閉器 (過熱防止) |



ユニット断面図



電気回路図

保護装置位置

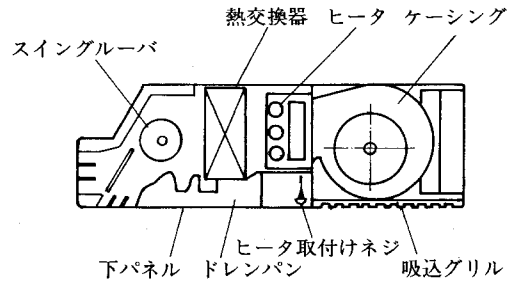
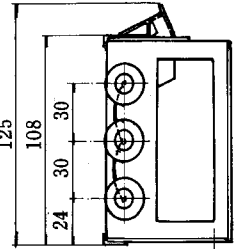
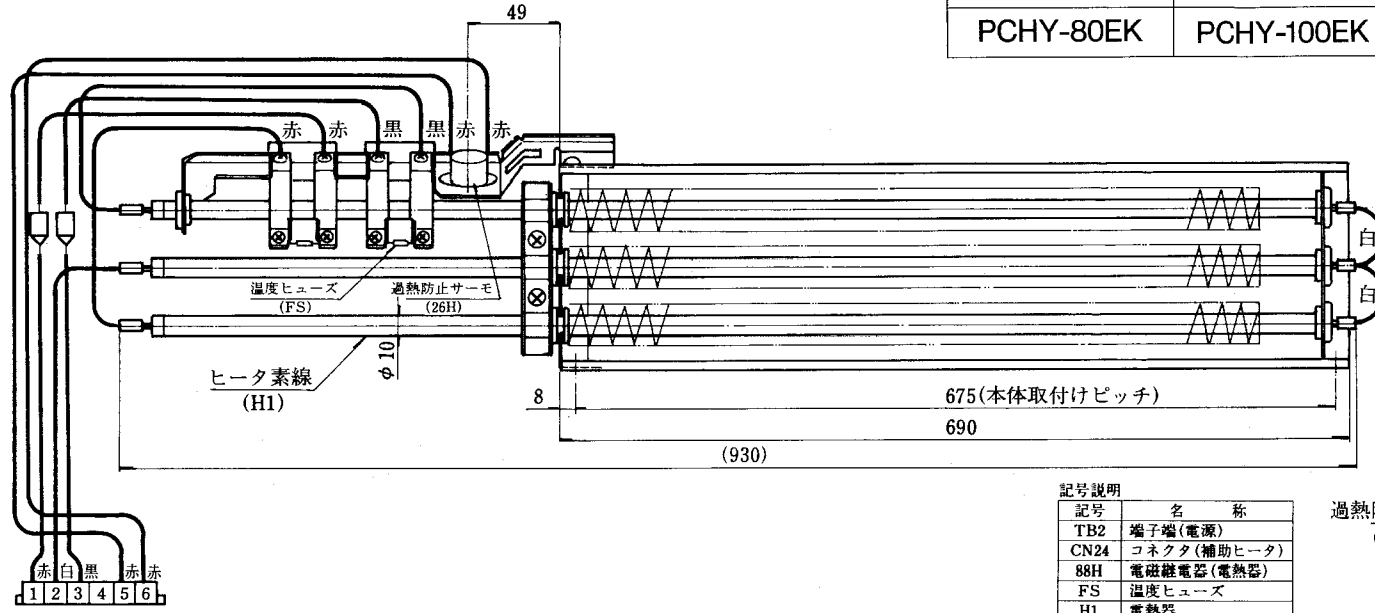
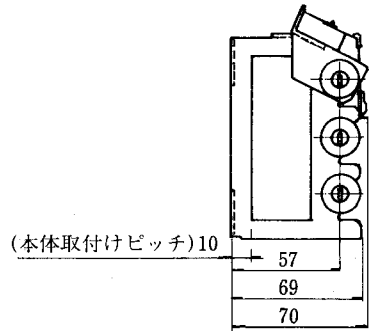
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-178・180EH 適用機種

| | |
|-----------|--------------|
| PAC-180EH | PAC-178EH |
| PCH-80EKD | PCH-90・100EK |
| PCHY-80EK | PCHY-100EK |

仕様

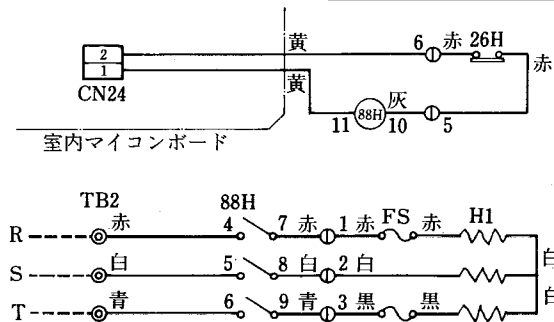
| | |
|---------|----------------|
| 定格電源 | 三相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 7.8A |
| 定格容量 | 2.7kW |
| 温度ヒューズ | 91°C 10A |
| 過熱防止サーモ | 42±3°C OFF |



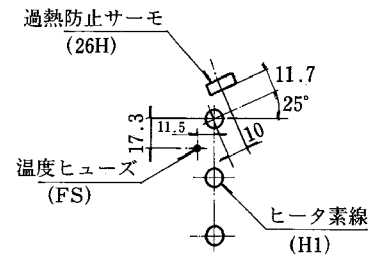
ユニット断面図

記号説明

| 記号 | 名称 |
|------|-------------|
| TB2 | 端子端(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁継電器(電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度閉閉器(過熱防止) |



電気回路図



保護装置位置

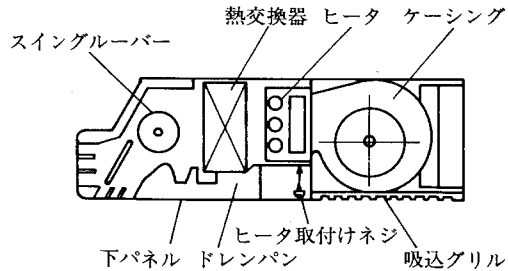
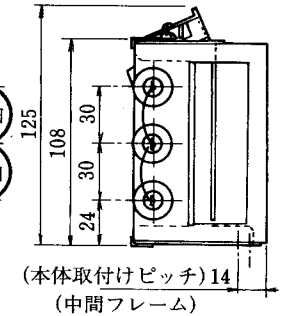
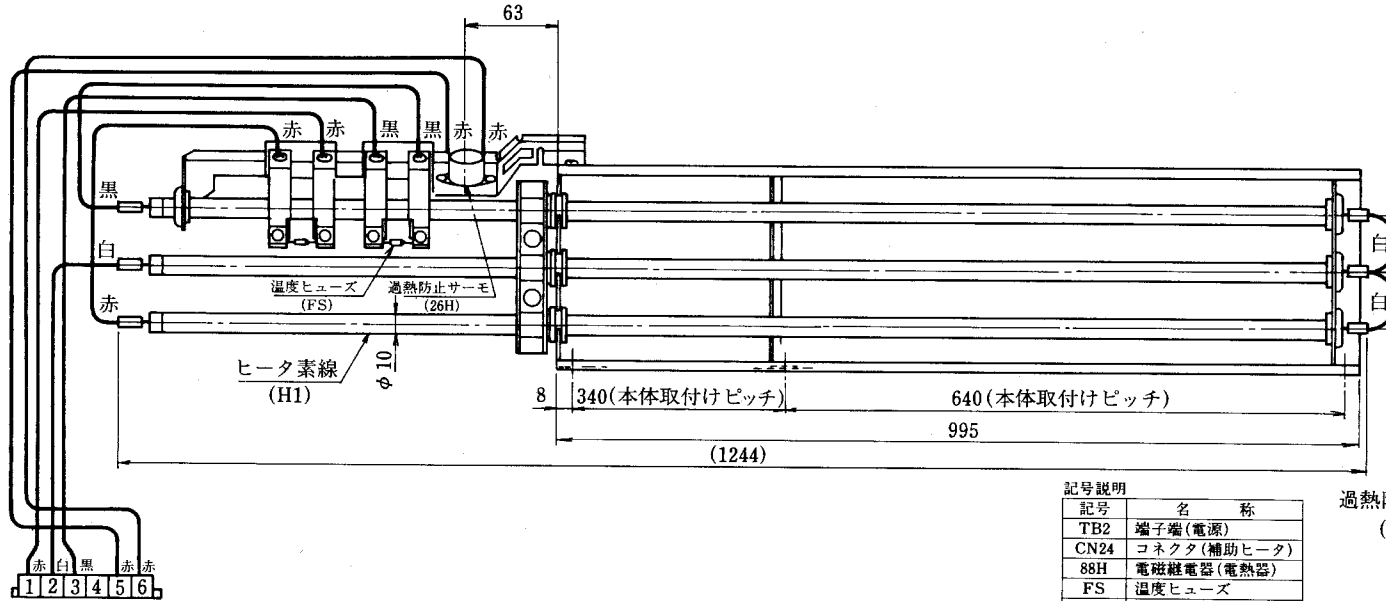
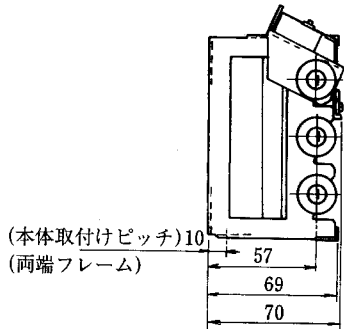
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-179EH

適用機種 PCH-112~140EKD, PCHY-125EK

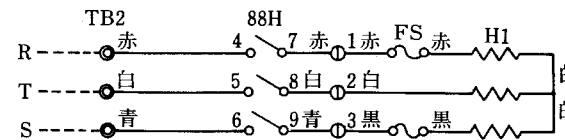
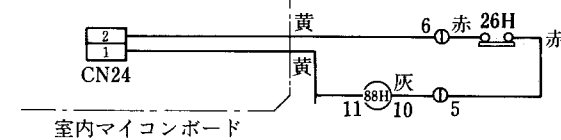
仕様

| | |
|---------|----------------|
| 定格電源 | 三相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 8.7A |
| 定格容量 | 3.0kW |
| 温度ヒューズ | 91°C 10A |
| 過熱防止サーモ | 42±3°C OFF |

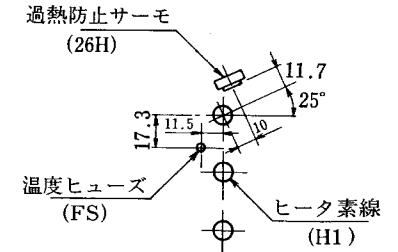


ユニット断面図

| 記号 | 名称 |
|------|-------------|
| TB2 | 端子端(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁継電器(電熱器) |
| FS | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度閉閉器(過熱防止) |



電気回路図



保护装置位置

補助電気ヒーター(PMH-EKD形用)

形名 PAC-195・196・197EH
190・198・199EH

1 適用機種

| 形名 | PAC-195EH | PAC-196EH | PAC-197EH | PAC-190EH | PAC-198EH | PAC-199EH |
|------|---------------|--------------|--------------|-----------|------------|----------------|
| 適用機種 | PMH-45・50SEKD | PMH-45・50EKD | PMH-56~71EKD | PMH-80EKD | PMH-100EKD | PMH-125・140EKD |

2 使用方法

ヒーターレス機種で、暖房能力をアップしたい時に室内ユニットに組込んでご使用下さい。

3 付属部品

| 番号 | 品名 | 仕様及び個数 | | | | | |
|----|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | | PAC-195EH | PAC-196EH | PAC-197EH | PAC-190EH | PAC-198EH | PAC-199EH |
| ① | 電気ヒーター | (単相200V 1.6kW)×1 | (三相200V 1.6kW)×1 | (三相200V 2.1kW)×1 | (三相200V 2.1kW)×1 | (三相200V 2.7kW)×1 | (三相200V 3.0kW)×1 |
| ② | リレー組立 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 | (LY-3F DC12V)×1 |
| ③ | ヒーター組込済ラベル | 1コ | 1コ | 1コ | 1コ | 1コ | 1コ |
| ④ | リレー取付用ネジ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ | ST 3×8 2コ |
| ⑤ | ヒーター取付用ネジ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 2コ | ST 4×10 3コ |

4 取付要領

ご注意

- ユニット本体の元電源がOFFであることを確認してください。
- 電気ヒーター取付の為に取り外したネジを紛失しないように注意してください。

(1) 化粧パネルの外し方

1. 吸込グリルの取外し

- 吸込グリルのつまみを矢印⑦の方向へ引くと吸込グリルが開きます。(図1)
- 吸込グリルを矢印⑧の方向に持ち上げ矢印⑨の方向に引張り取外して下さい。(図2)

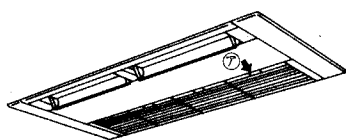


図1

2. サイドカバーの取外し

- サイドカバー①のブッシュ②4コを外します。(配外したブッシュ②を紛失しないように注意して下さい。)(図2)
- タッピンネジ4本を外し、サイドカバー①を矢印④、⑤の方向にスライドさせて取外して下さい。

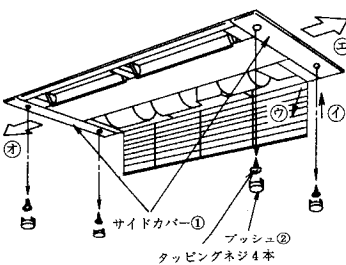


図2

3. 化粧パネルの取外し

- 吹出口中央部のカバー③を取外します。カバー③は引掛式となっていますので、下方に引けばはずれます。(図3)
- 本体後方のサポートのタッピンネジ1本を外し、サポート④を取外して下さい。(図3)
- 化粧パネル中央部の仮固定用座付ビス④2本を図4に従ってセットして下さい。(化粧パネル中央部の仮固定用座付ビス④は外さないで下さい。)
- 化粧パネル固定用座付ビス⑤4本を外して下さい。(図3)

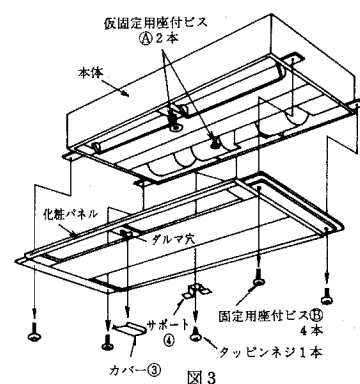


図3

化粧パネルは、仮固定されていますので、化粧パネル全体を持ち上げ、仮固定用座付ビス④が化粧パネルのダルマ穴の大きさになるまで前にスライドして取外して下さい。

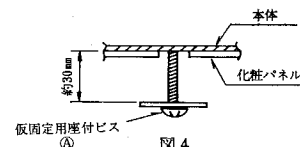


図4

(2) 本体カバーの外し方

1. 本体カバーの取付タッピン
 ネジ(PMH-45・50EKD…6本、
 PMH-56～71EKD…7本、
 PMH-80～100EKD…6本、
 PMH-125・140EKD…7本)
 を外し、カバー⑤を取外し
 て下さい。(図5)

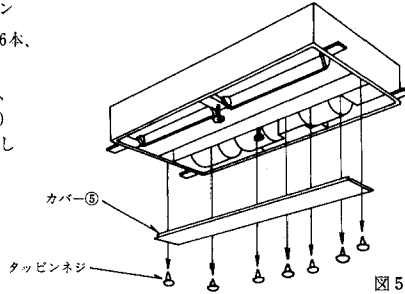


図5

(3) 電気ヒータの組み込み

1. 電気ヒータを組み込みます。
 仕切板の熱交換器側に、ヒ
 ータ取付金具がありますの
 で、これにヒータ支持部を
 合わせ、手ごたえがあるま
 で押し込んで下さい。
 この後、ヒータ取付金具と
 ヒータ本体を付属品のヒータ
 取付用タッピンネジ(4
 ×10)で左右各々締付けて
 下さい。(図6)
 (PAC-199EHの場合には、
 中央部にもネジ止め部があ
 ります。)

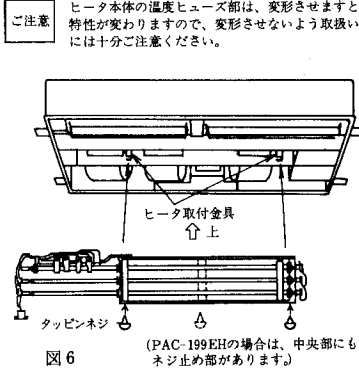


図6

(4) 電気配線

1. 電気品箱の取付ネジ(タッピンネジ2本)
 を外し、既設のSリングを使ってユニ
 ットに吊り下げて下さい。(図7)
 2. 電気品箱のフタA(小ネジ2本)とフタ
 B(小ネジ1本)を取外して下さい。(図7)
 3. 付属のヒータ組込済ラベルを電気品箱表
 面の見やすい所に貼付して下さい。(図7)
 4. 付属のリレー組立を電気品箱内部の右上
 部、コンデンサ(送風機用電動機)の直左
 部に付属のリレー取付用タッピンネジ
 (3×8)2本で取付け下図に従って配線
 します。このときリレーは制御線側(リ
 ード線の東ね方向)を左側として下さい。
 (図8)

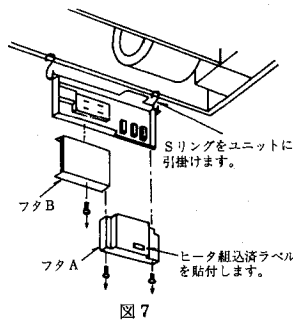


図7

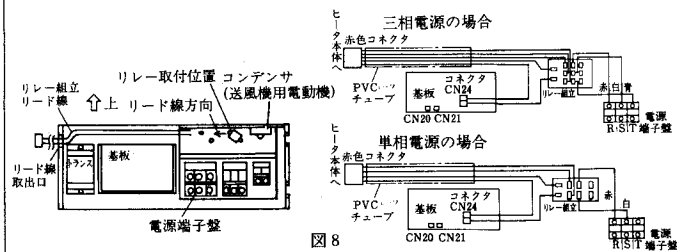


図8

5. 電気品箱左側のゴムブッシュより、リレー組立のコネクタ付リード線を取り出します。
 (リード線保護用PVCチューブは赤色コネクタ側に寄せておいて下さい。)
 リード線取出し後、他のコネクタ等の抜けがないことを確認のうえフタBから取付
 けます。フタB、フタAを取付けたら電気品箱をもとの位置に取付けます。
 (図8)

6. リレー組立のコネクタ付リード線を室内ユニ
 ット内部の後面に設けられているクランプで
 固定し、電気ヒータ本体からのコネクタと接
 続します。接続部は、図9のようにドレンパ
 ン左下面のコネクタ収納部へ納めてください。
 (図9)

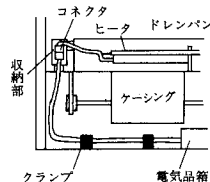


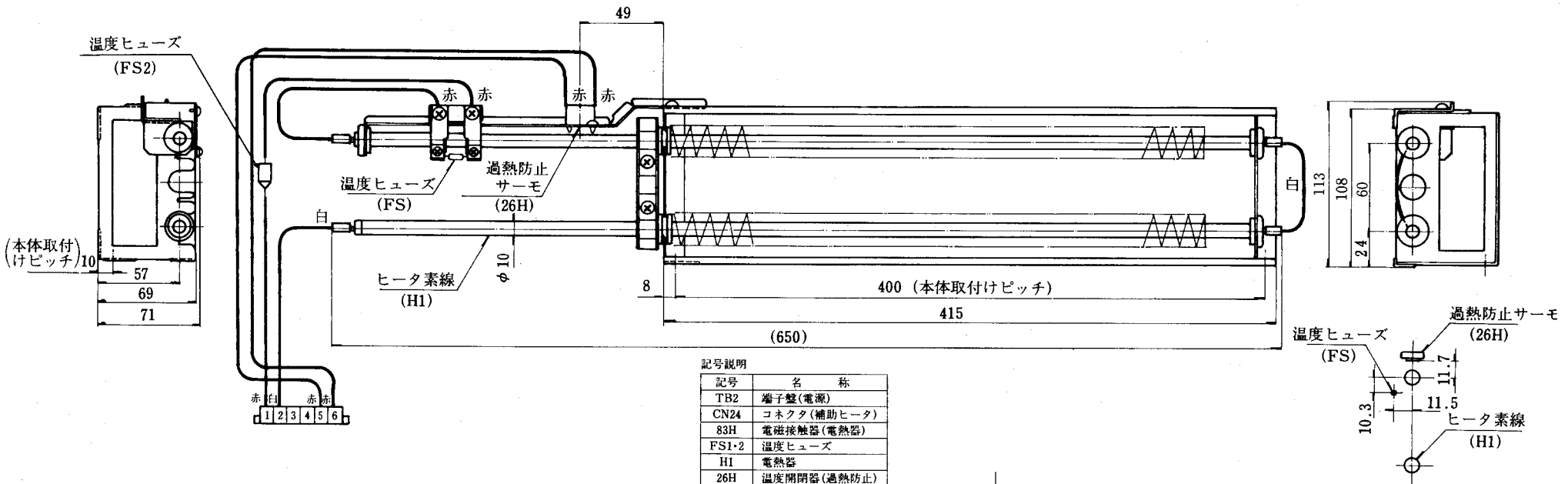
図9

(5) ユニットの再組立

取外し時と逆の手順(2)→(1)で組立てて下さい。

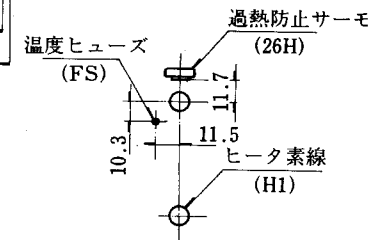
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-195EH 適用機種 PMH-45・50SEKD(单相)

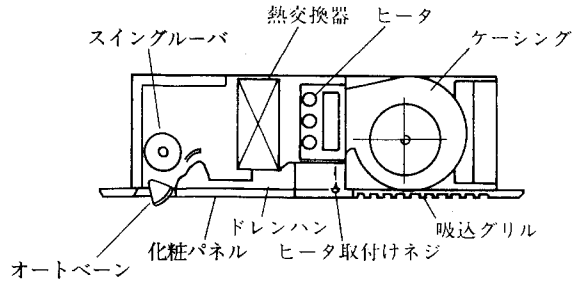


記号説明

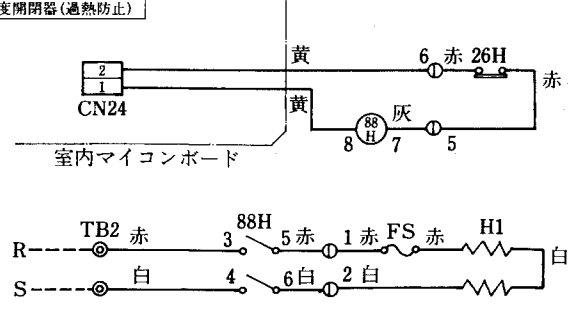
| 記号 | 名称 |
|-------|-------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁接触器(電熱器) |
| FS1・2 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度開閉器(過熱防止) |



保护装置位置



ユニット断面図



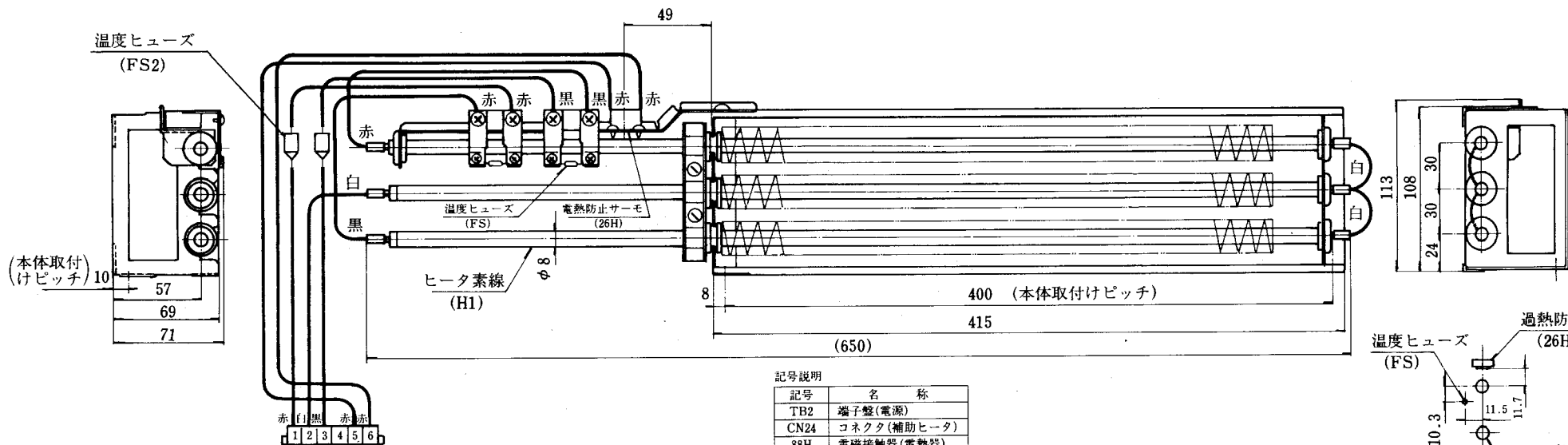
電気回路図

仕様

| | |
|---------|--------------------------------|
| 定格電源 | 单相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 8.0A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| 温度ヒューズ | FS1 103°C 10A FS2 103°C 10A |
| 過熱防止サーモ | 42±3°C OFF |

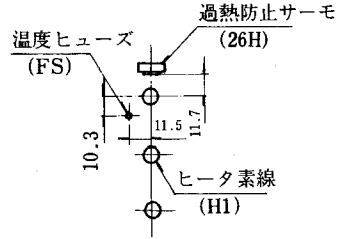
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-196EH 適用機種 PMH-45・50EKD(三相)

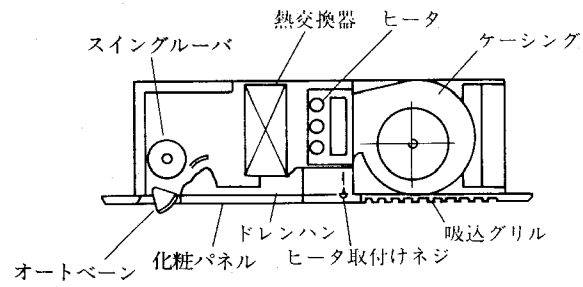


記号説明

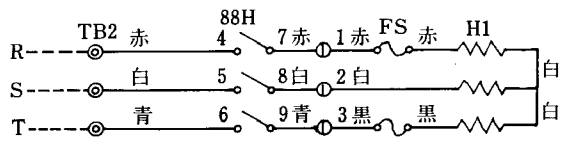
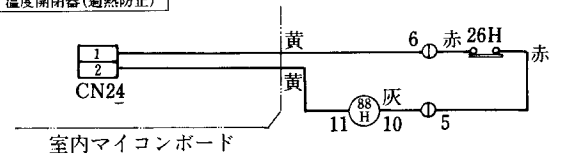
| 記号 | 名称 |
|-------|-------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁接触器(電熱器) |
| FS1・2 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度開閉器(過熱防止) |



保护装置位置



ユニット断面図



電気回路図

仕様

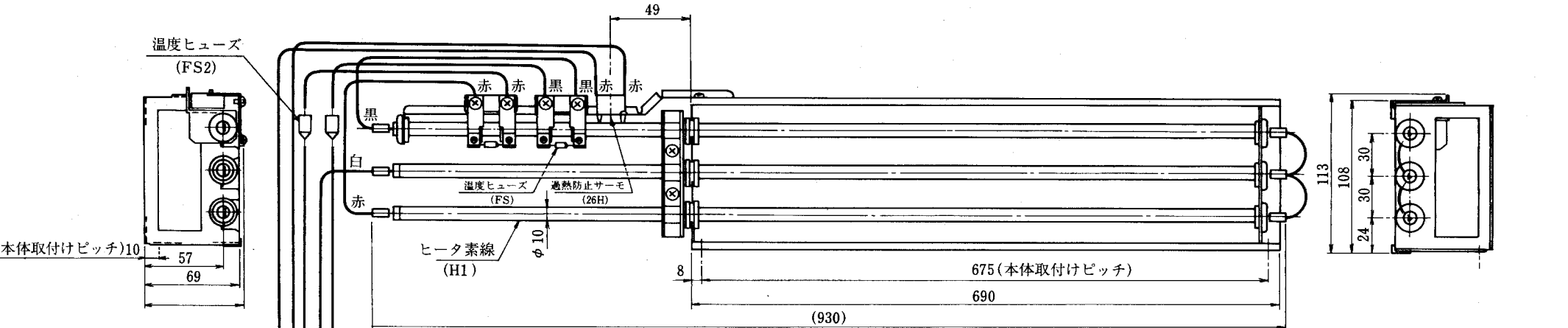
| | |
|---------|----------------|
| 定格電源 | 三相200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 4.6A |
| 定格容量 | 1.6kW |
| 温度ヒューズ | FS1 103℃ 10A |
| | FS2 103℃ 10A |
| 過熱防止サーモ | 42±3℃ OFF |

三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-197EH
PAC-190EH

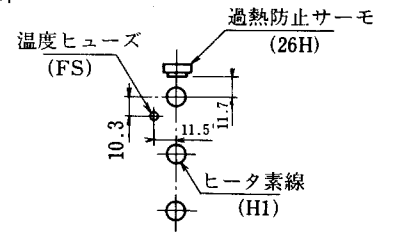
適用機種

| | |
|-----------|--------------|
| PAC-197EH | PMH-56~71EKD |
| PAC-190EH | PMH-80EKD |

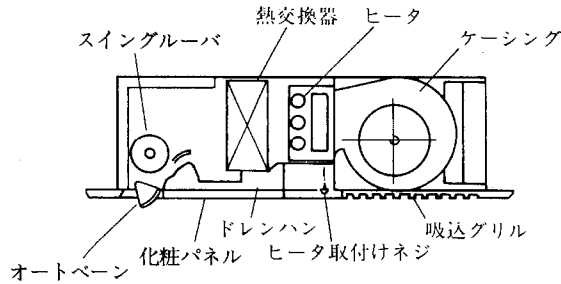


記号説明

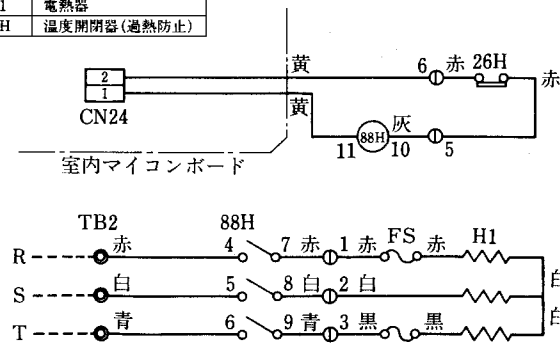
| 記号 | 名称 |
|-------|-------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |
| 88H | 電磁接触器(電熱器) |
| FS1・2 | 温度ヒューズ |
| H1 | 電熱器 |
| 26H | 温度閉閉器(過熱防止) |



保护装置位置



ユニット断面図



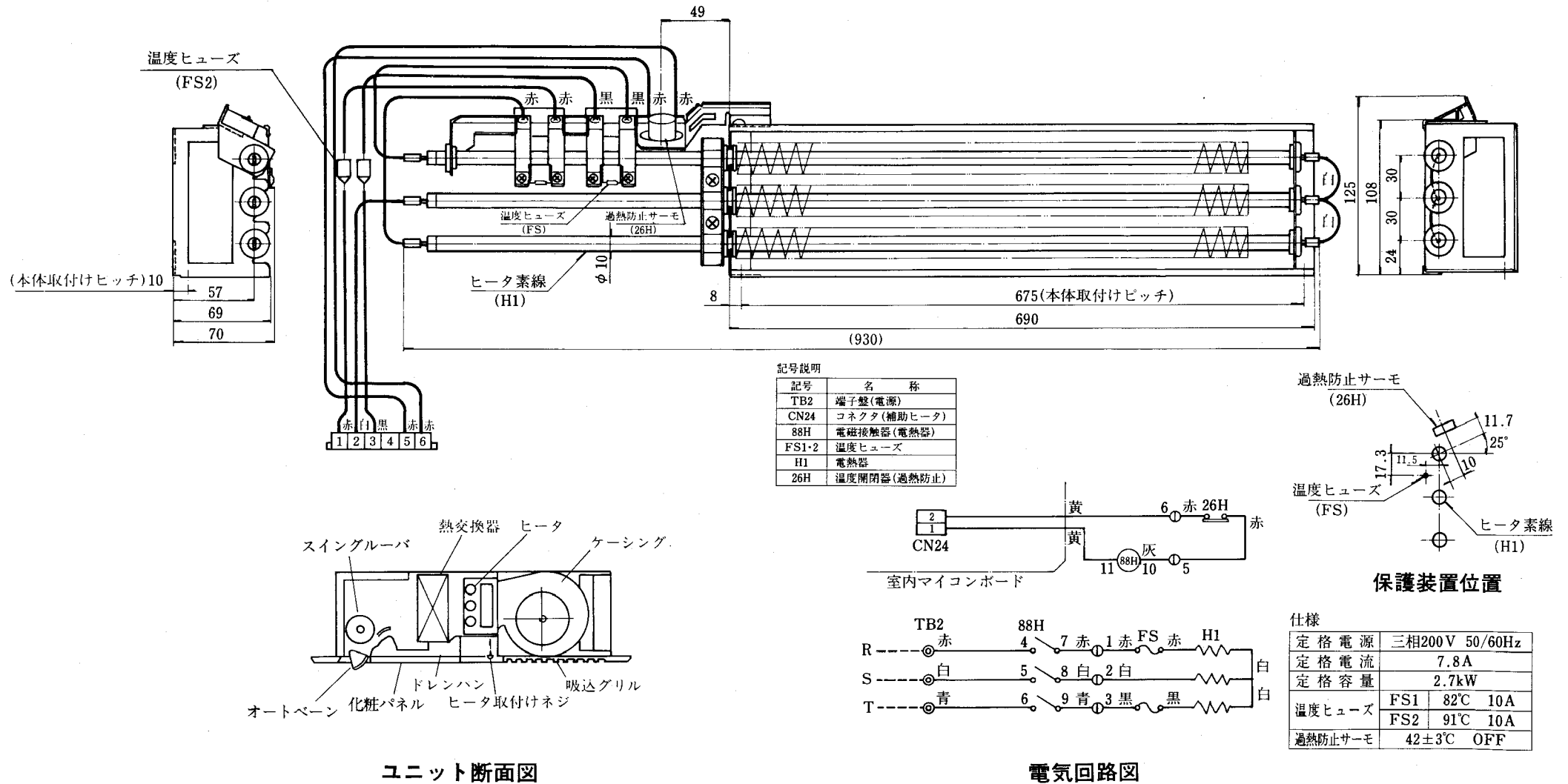
電気回路図

仕様

| | | |
|---------|----------------|----------|
| 定格電源 | 三相200V 50/60Hz | |
| 定格電流 | 6.1A | |
| 定格容量 | 2.1kW | |
| 過熱防止サーモ | 42±3°C OFF | |
| 温度ヒューズ | PAC-197EH | 91°C 10A |
| | PAC-190EH | 91°C 10A |
| | PAC-190EH | 91°C 10A |

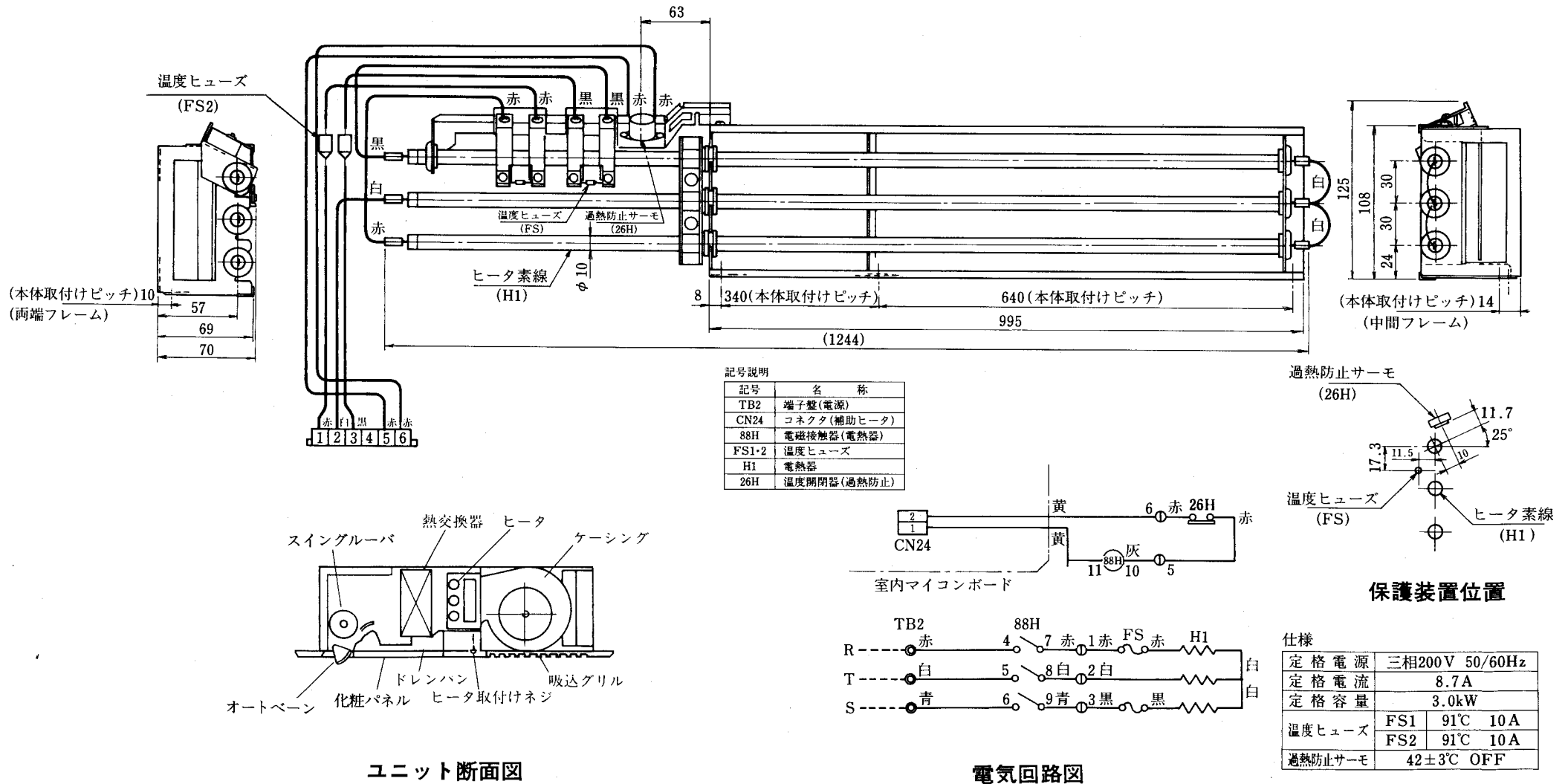
三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-198EH 適用機種 PMH-100EKD



三菱電機パッケージエアコン用補助電気ヒーター外形図

形名 PAC-199EH 適用機種 PMH-125・140EKD



ダクトヒーター(PEH-EKD形用)

形名 PAC-103・105・106EH

1 適用機種

| | | | |
|------|--------------|----------------|------------|
| 形名 | PAC-103EH | PAC-105EH | PAC-106EH |
| 適用機種 | PEH-56~71EKD | PEH-100・125EKD | PEH-140EKD |

2 使用方法

ヒーターレス機種で、暖房能力をアップしたい時に、室内ユニットに組込んでご使用下さい。

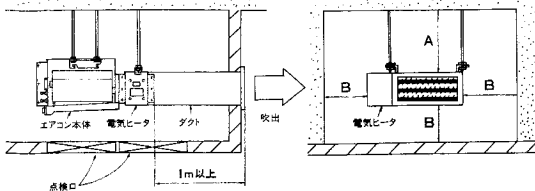
3 付属部品

| 番号 | 品名 | 仕様及び個数 | | |
|----|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | | PAC-103EH | PAC-105EH | PAC-106EH |
| ① | 電気ヒーター | (三相200V 2.1kW) × 1 | (三相200V 2.7kW) × 1 | (三相200V 3.1kW) × 1 |
| ② | ツッピンネジ | ST 4 × 10 12コ | ST 4 × 10 24コ | ST 4 × 10 36コ |
| ③ | 断熱材 | 4コ | 4コ | 4コ |
| ④ | 断熱材 | 4コ | 4コ | 4コ |
| ⑤ | ラベル(電気ヒーター現地組込済) | 1コ | 1コ | 1コ |
| ⑥ | アルミテープ | 1コ | 1コ | 1コ |

4 取付要領

1. 据付、サービススペースの確保(周囲に必要な空間距離)

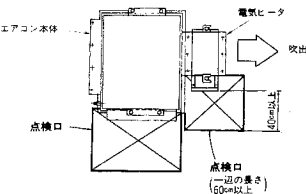
●電気ヒーター及びエアコン本体と建造物の距離を確保してください。



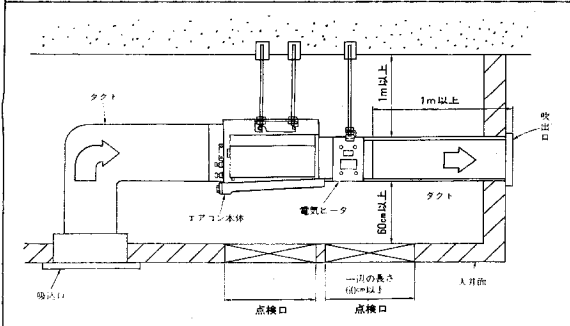
※表中の寸法は東京消防庁の場合です。各地域により異なる場合がありますので所轄の消防署にお問い合わせください。

| 建造物 | 可燃性材料 | 防火構造又は全周防火の可燃材料 | 耐火構造 |
|-----|--------|-----------------|--------|
| A | 1m以上 | 80cm以上 | 45cm以上 |
| B | 60cm以上 | 30cm以上 | |

●電気ヒーター及びエアコン本体の電気品箱の下部に点検口(一边の長さ60cm以上)を設けてください。(下図は電気ヒーター及びエアコン本体を上面より見た図を示します。)

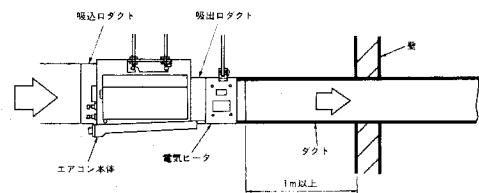


2. 据付工事例(東京消防庁の場合を示します。)



3. 電気ヒーター取付位置

- 電気ヒーターは、エアコン本体の吹出ダクトに取り付けてください。
- 吸込ダクトへの取り付けはしないでください。
- エアコン本体の吹出口より離れた位置には取り付けしないでください。
- 防火区画等の壁を貫通する部分及び、貫通部より1m未満の位置には設置しないでください。



- 可燃物が落下し、又は接触する恐れのない位置に取り付けてください。
- 可燃性ガス又は蒸気が発生し又は、滞留する恐れのない位置に取り付けてください。
- ※その他の取付位置の注意についてはエアコン本体の「据付場所の選定」の項を参照してください。

(注)天理形に電気ヒーターで取付ける場合、各地域ごとで設置基準が異なりますので、必ず事前に所轄の消防署へご相談ください。

4. 取付寸法 (電気ヒータをエアコン本体に取り付けた状態を示します。)

| | |
|--|---|
| <p>PAC-103EH (PEH-56・63・71EKD用)</p> | <p>PAC-105EH (PEH-100・125EKD用)</p> |
| <p>PAC-106EH (PEH-140EKD用)</p> | <p>電気ヒータ吊り金具の寸法</p> <p>*左図は電気ヒータの電気品箱側の吊り金具を示します。対面側も同様の寸法となっています。</p> |

5. 取付方法

- 電気ヒータをエアコン本体の吹出ダクトに接続してください (付属のタッピンネジ² (12本、24本、36本) を使用してください。)
- 電気ヒータとの接続部分に断熱材⁽⁴⁾、⁽⁵⁾を貼り付けてください。

*断熱材を貼り付ける時、板金(ダクト部分)と断熱材の間に隙間があると、露付、露タレの原因となりますので、板金と断熱材は隙間のないように貼り付けてください。(接着剤は現地手配)

吊りボルトの固定方法

露付、露タレの原因となります。

- 断熱材の突き合わせ部分及び板金(ダクト)接続部分に付属のアルミテープ⁽⁶⁾を貼り付けてください。
- *断熱材の突き合わせ部分及びアルミテープの貼り付け部分は隙間の無いように充分注意してください。隙間があると露付、露タレの原因となります。

隙間のないこと。

6. 現地側工事について

- 吊りボルト等ユニットを固定する部品は地震、その他の振動又は衝撃に対して容易に転倒、キレツ、又は破壊しないような構造としてください。
- ダクト及び吹出口(吹出グリル)は不燃材料を使用してください。また、ダクト部分等は充分な断熱、防露、防音等の対策を行ってください。

7. 電気配線

- 「電気設備に関する技術基準を定める通商産業省令」、「内線規程」および事前に各電力会社の指導に従ってください。
- 配線は図のように行ない、ネジのゆるみのないように接続してください。
- ユニットの外部では、制御回路の電線と電源配線が直接接触しないように施設してください。
- 電気ヒータ及びエアコン本体の電気品箱のカバーを取り外し次のように結線してください。

電気ヒータの電気品箱カバーの取り外し方法

●M4ネジ4本を外しカバーを外します。

結線

この配線は電気ヒータ①に施設されています。

現地工事にて3相200V 50/60Hzの電源を接続してください。

電気ヒータ①に既設されているリード線の端にあるコネクタをエアコン本体の電気品箱内にある基板の「CN24」ホジョヒーター用コネクタを接続してください。

現地配線をクランプする。

- 電源は原則としてエアコン本体とは別電源とし、電気ヒータ専用の回路としてください。(エアコン本体より電源配線(渡り線)を行う場合は、エアコン本体の開閉器、過電流保護器等の容量を変更する必要があります。)
- 電気配線図は電気ヒータの電気品箱に貼り付けてありますので参照してください。

電源配線仕様(電気ヒータ専用回路の場合)

| 項目 | 電線太さ(直径) | こう長 | 開閉器容量 | 過電流保護器容量 | 漏電遮断器容量 |
|-----------|----------|-----|-------|----------|-------------------|
| PAC-103EH | 1.6mm | 18m | 30A | 15A | 15A(30mA0.1sec以下) |
| PAC-105EH | 1.6mm | 14m | 30A | 15A | 15A(30mA0.1sec以下) |
| PAC-106EH | 1.6mm | 11m | 30A | 15A | 15A(30mA0.1sec以下) |

- 電源は3相200Vです。
- 上表のこう長は、電圧降下1%時の最大こう長を示す。

ラベルの貼り付け

- 上記の全てを完了しましたら付属のラベル③「電気ヒータ現地組込済」をエアコン本体の製品名板の近くに貼り付けてください。

その他

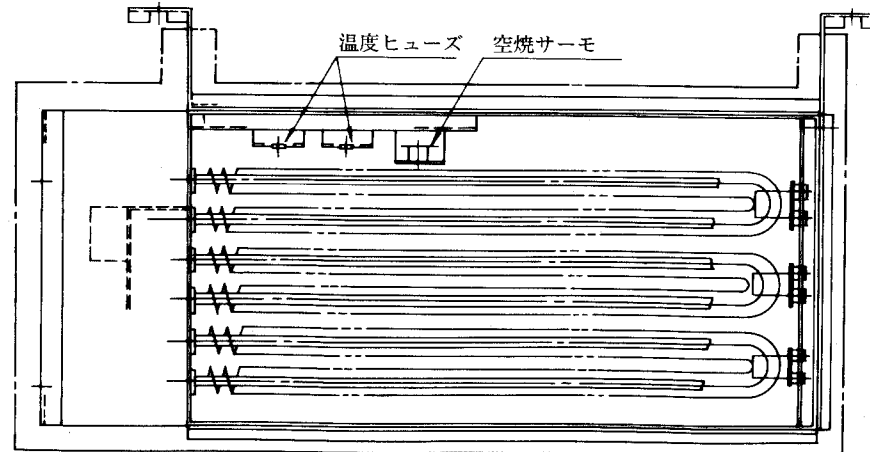
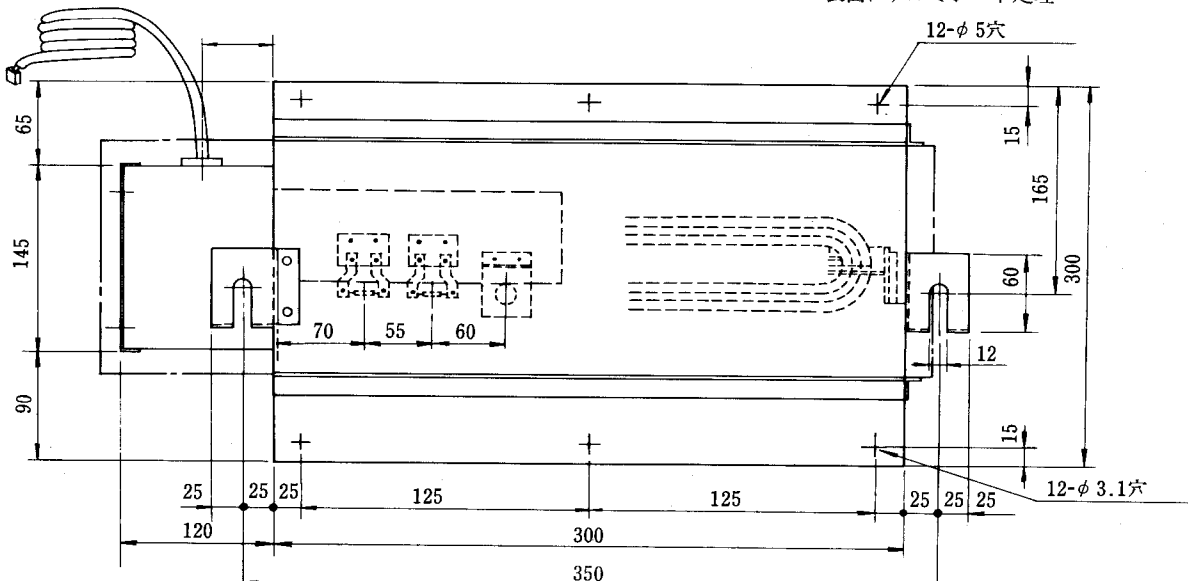
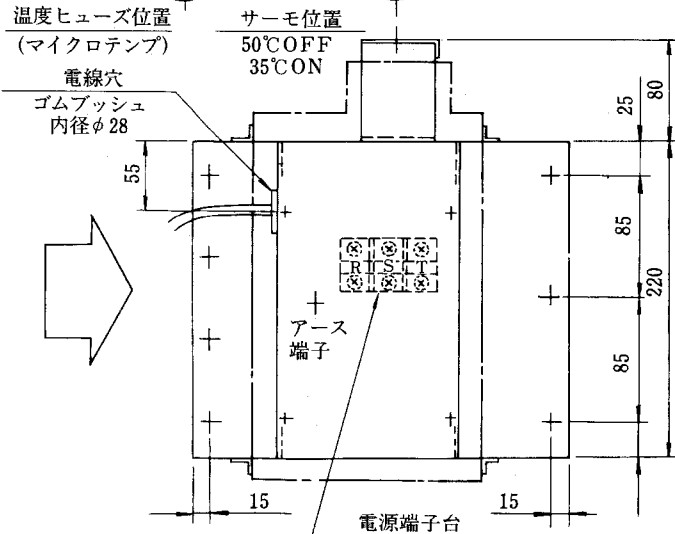
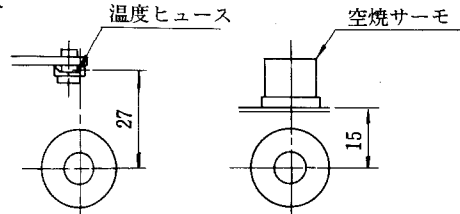
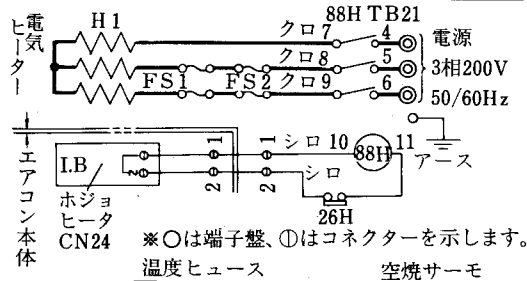
- 電気ヒータ及びエアコン本体の周囲は常に整理及び清掃してください。
- 電気ヒータ及びエアコン本体とその付属設備は火災予防上有効に保持してください。尚、点検及び整備は熟練者により行ってください。

三菱電機パッケージエアコン用ダクトヒーター外形図

形名 PAC-103EH 適用機種 PEH-56・63・71EKD

電気ヒータ電気配線図

| | | | |
|-----|------------------|------|-------------|
| 88H | 電磁接触器(電熱器) | 26H | 温度開閉器(過熱防止) |
| H1 | 電熱器 | TB21 | 端子盤(電源) |
| FS1 | 温度ヒューズ(115°C10A) | LB | 室内コントローラボード |
| FS2 | 温度ヒューズ(115°C10A) | CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |



注1: 本図外周の-----はグラスウールを示す
厚さ20mm、48kg/m³(JIS -A8505相当品)
表面にアルミシート処理

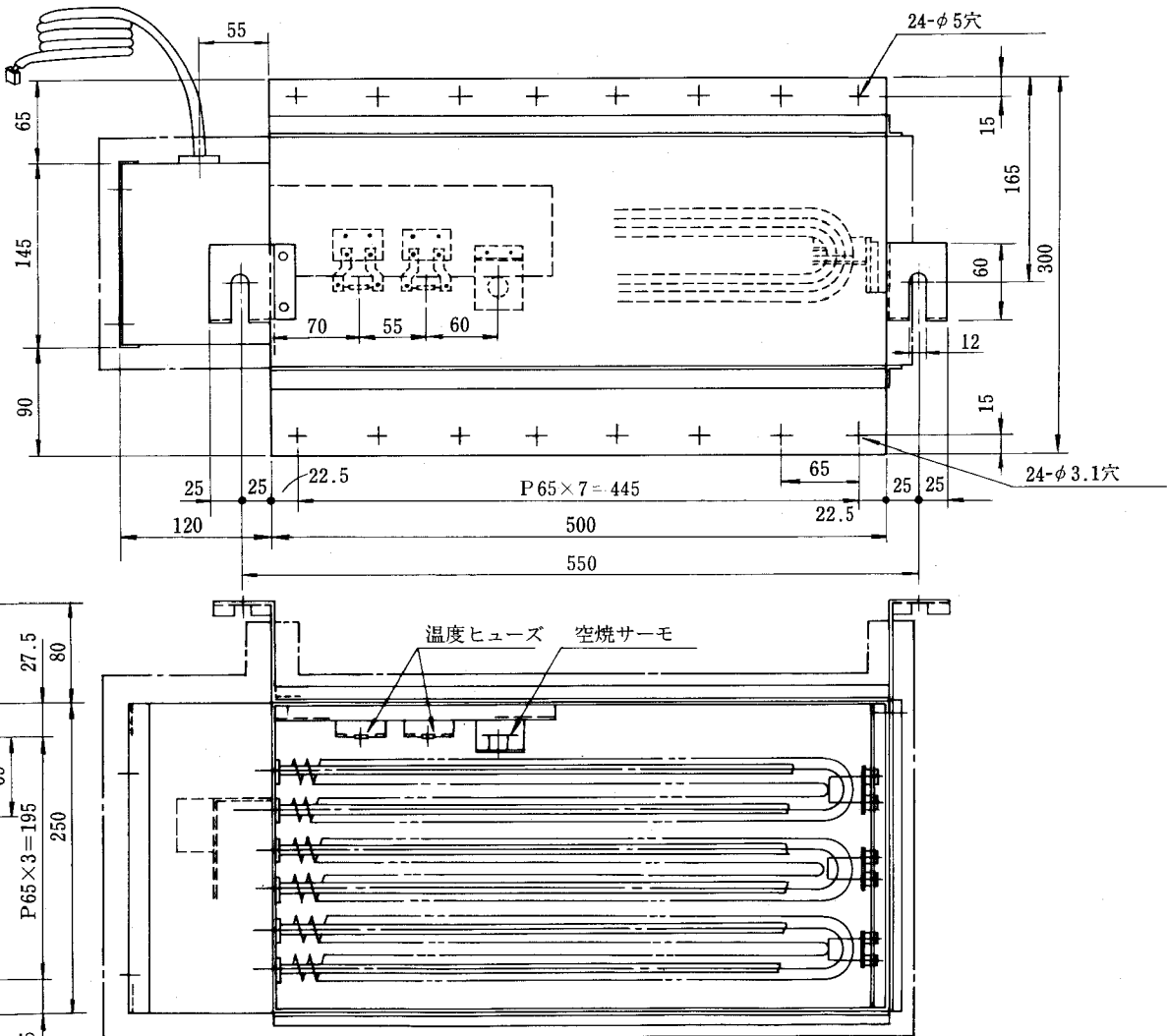
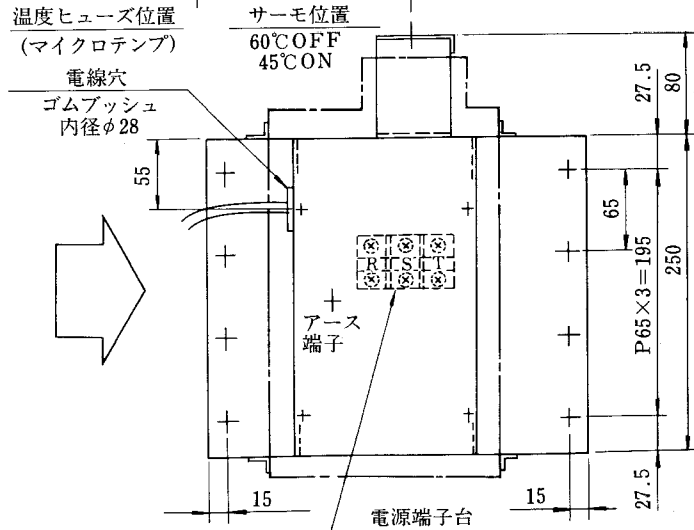
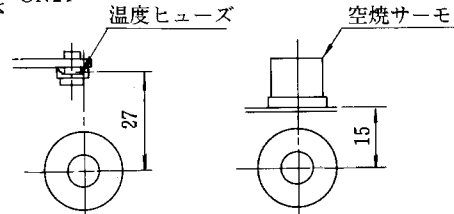
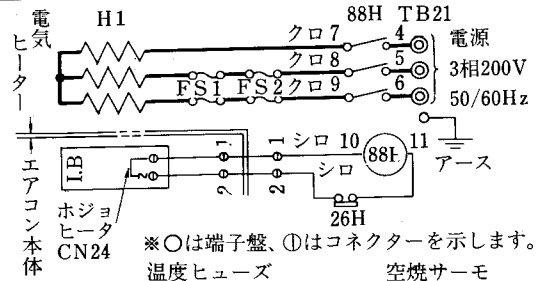
三菱電機パッケージエアコン用ダクトヒーター外形図

形名 PAC-105EH 適用機種 PEH-100・125EKD

注1：本図外周の---はガラスウールを示す
 厚さ20mm、48kg/m³(JIS-A8505相当品)
 表面にアルミシート処理

電気ヒータ電気配線図

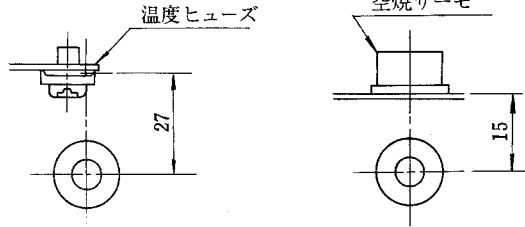
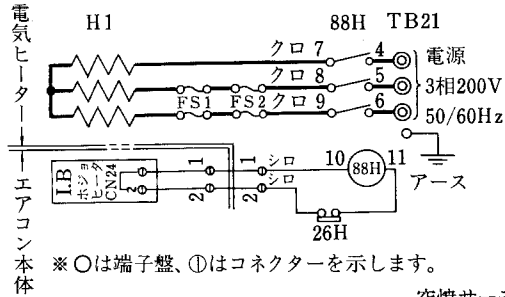
| | | | |
|-----|------------------|------|-------------|
| 88H | 電磁接触器(電熱器) | 26H | 温度開閉器(過熱防止) |
| H1 | 電熱器 | TB21 | 端子子盤(電源) |
| FS1 | 温度ヒューズ(115°C10A) | LB | 室内コントローラボード |
| FS2 | 温度ヒューズ(115°C10A) | CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |



三菱電機パッケージエアコン用ダクトヒーター外形図

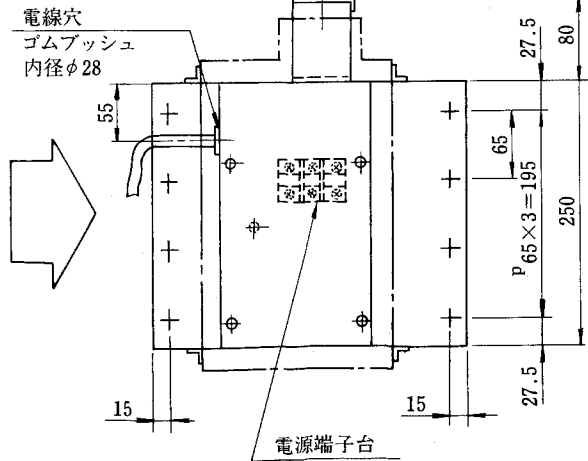
電気ヒータ電気配線図

| | | | |
|------|------------------|------|-------------|
| 88H | 電磁接触器(電熱器) | 26H | 温度開閉器(過熱防止) |
| H1 | 電熱器 | TB21 | 端子子盤(電源) |
| FS 1 | 温度ヒューズ(115°C10A) | LB | 室内コントローラボード |
| FS 2 | 温度ヒューズ(115°C10A) | CN24 | コネクタ(補助ヒータ) |



温度ヒューズ位置
(マイクロテンプ)

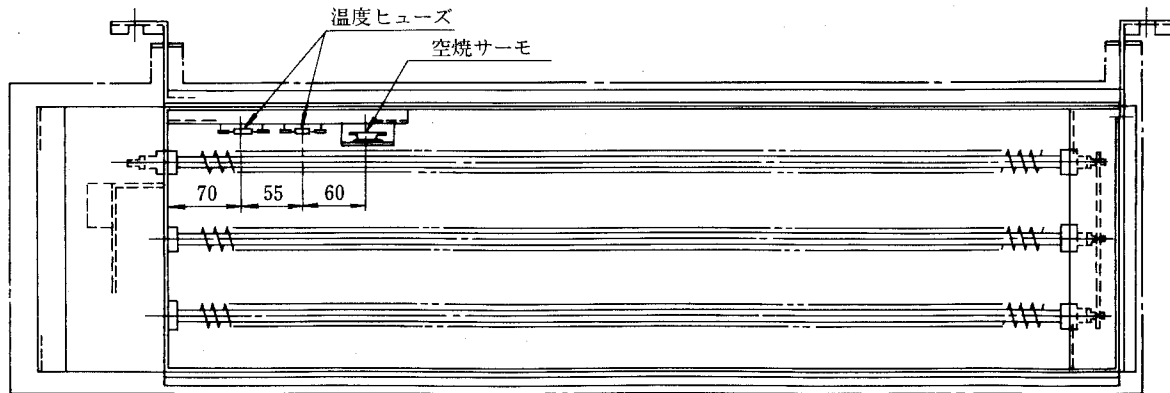
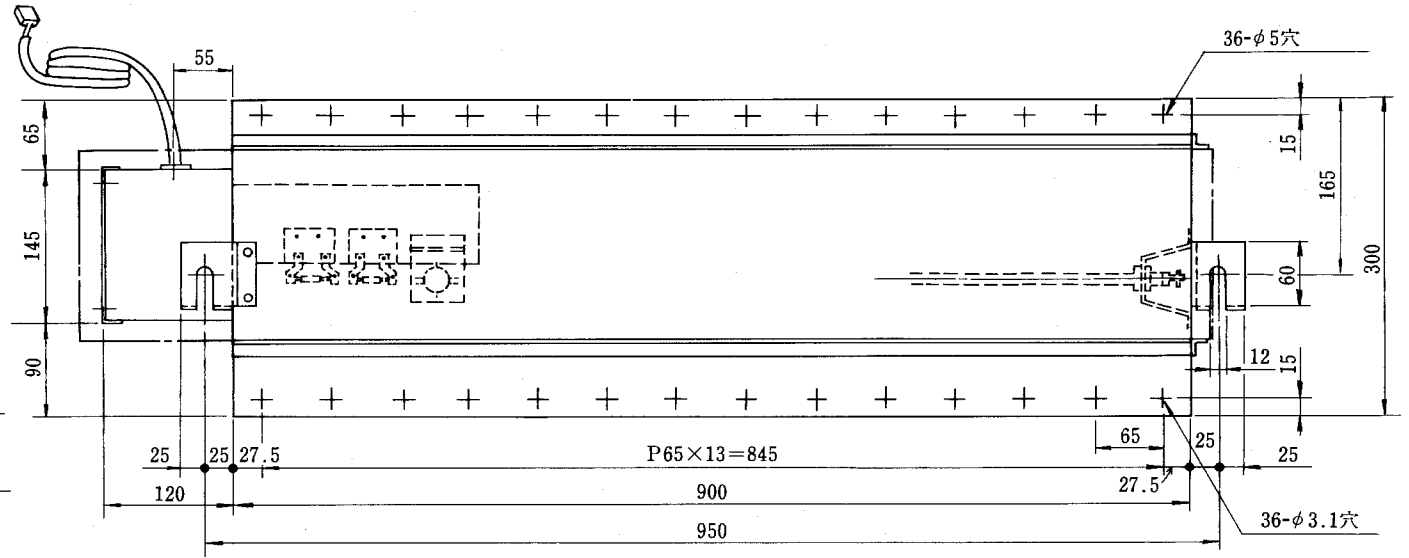
サーモ位置
60°C OFF 45°C ON



形名 PAC-106EH

適用機種 PEH-140EKD

注1: 本図外周の---はグラスウールを示す
厚さ20mm、48kg/m³(JIS-A8505相当品)
表面にアルミシート処理



加湿器 (PLH-GKD・FKD・EKD用)

形名 PAC-SA03HU

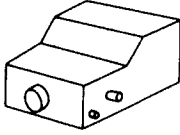

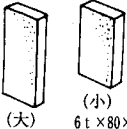

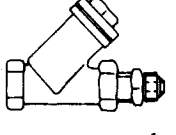



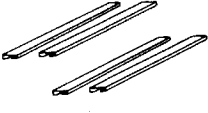
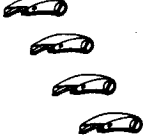
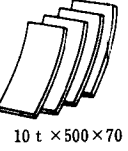

1 適用機種

PLH-GKD・FKD・EKD PLHY-FK・EK

2 使用方法

自然蒸発式の加湿器です。メンテナンス性を良くするため、加湿器ユニットを別に吊り込み、ダクトで室内ユニットに加湿された空気を送り込みます。

3 付属部品

| | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| ①加湿器本体  | ②タッピンネジ 4×10  6ヶ | ③配管用断熱材  (大) 3t×120×250 (小) 6t×80×220 各1枚 | ④バンド  2本 | ⑤ストレーナ  1ヶ | ⑥ダクトフランジ  2ヶ |
| ⑦ダクトフランジ用断熱材  2ヶ | ⑧フレックス・ダクト  2ヶ | ⑨ステンレスバンド  4ヶ | ⑩バンド締付金具  4ヶ | ⑪ダクト用断熱材  10t×500×70 4ヶ | ⑫ダクトフランジ用断熱材  3t×314×60 2ヶ |

4 取付要領

注意事項

- (1)加湿器の組込みは、天井材を張る前に必ず行なってください。
- (2)供給水質…市水、上水またはこれと同等以上の水をご使用ください。
- (3)供給水温度…5℃～40℃
- (4)供給水圧力…電磁弁(現地手配)の入口圧力が1kg/cm²になるように必ず減圧弁を設けてください。

《推奨減圧弁》

| メーカー | 形名 |
|-------|------------|
| 三菱電機 | GT-7 |
| ヨシタケ | GD-53 |
| サギノミヤ | CRV-2006GL |

- (5)減圧弁の付近に必ず付属のストレーナを接続してください。
- (6)止水用バルブ…シーズンオフ、または緊急時等のために加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
- (7)加湿器の長寿命化のため、軟水器または純水器の使用を推奨します。
- (8)本体吊り下げ時は必ず水準器にて水平となるように調整してください。
(両端の高低差が10mm以上の場合、ドレンパンよりオーバーフローします。)
- (9)加湿器のドレン配管と、室内ユニットのドレン配管は必ず別配管としてください。

加湿器取付

1. 取付スペース

図1 PLH-EKD配置図
(上から見る)

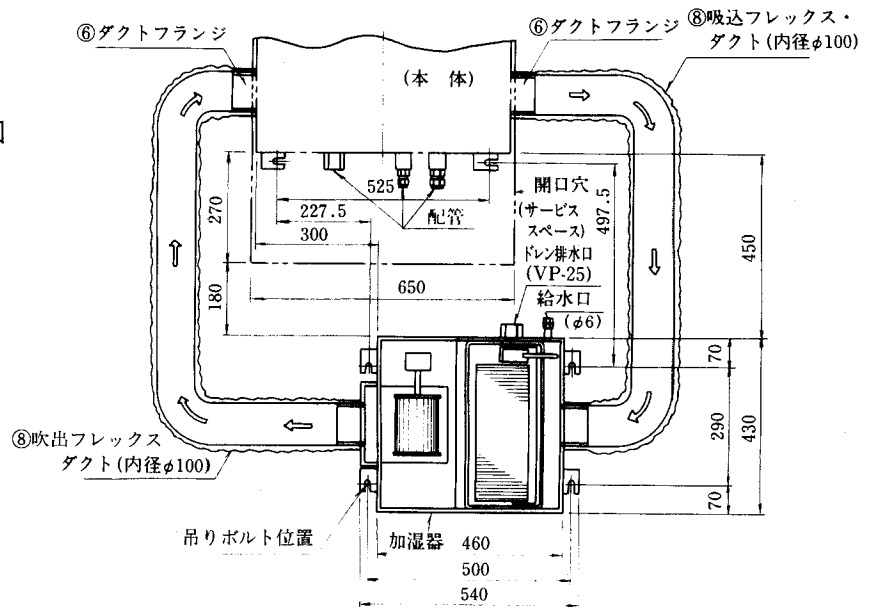
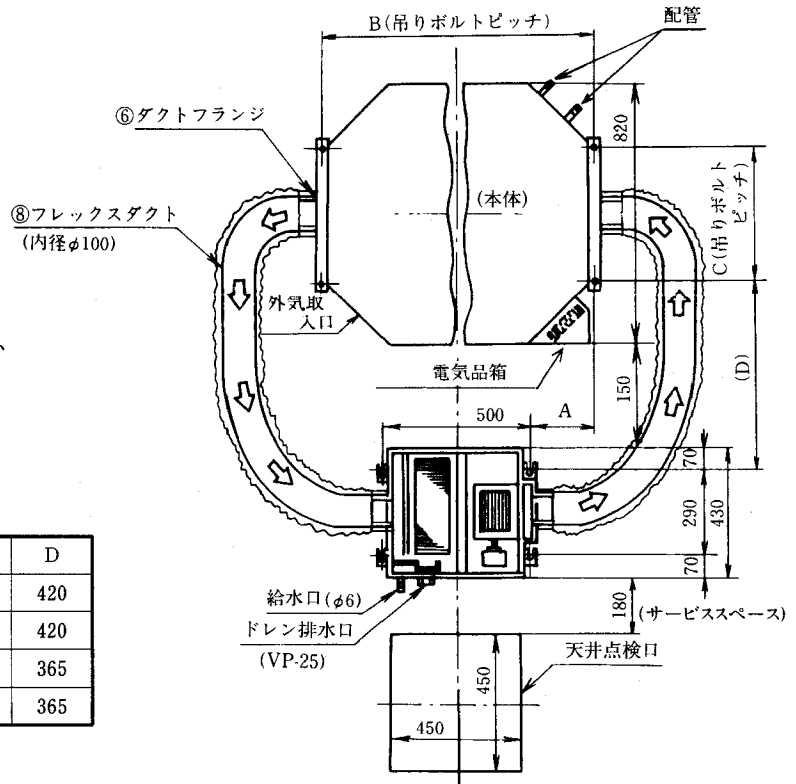


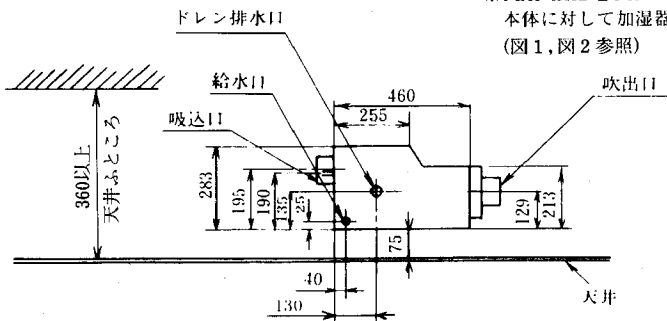
図2 PLH-FKD
PLH-GKD配置図
(上から見る)

※電気品箱並び吊りボルト足形状は、FKDとGKDは異なります。本図はFKDのものを示しています。詳細は本体の据付説明書を御参照ください。



| 機種 | A | B | C | D |
|--------------------|-----|------|-----|-----|
| PLH(Y)-32~80FK(D) | 185 | 870 | 420 | 420 |
| PLH(Y)-90~140FK(D) | 445 | 1390 | 420 | 420 |
| PLH-35~90GKD | 140 | 785 | 530 | 365 |
| PLH-100~140GKD | 400 | 1305 | 530 | 365 |

図3

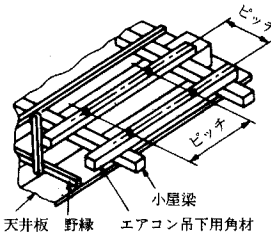
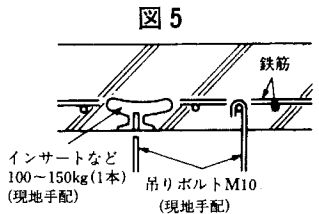


※PLH-EKDとFKD・GKDは、ユニット本体に対して加湿器の向きが逆です。(図1、図2参照)

取付準備

2. 吊りボルトの設置

- 吊りボルトの位置は1項取付スペースを参照してください。
- 天井の処理…建物の構造により異なりますので、くわしくは、建築、内装業者とご相談ください。

| 木造の場合 | 鉄筋の場合 |
|--|---|
| <p>●小屋梁<平屋建>または二階梁<二階建>を強度メンバーとしてください。</p> <p>●エアコン吊下用角材は梁間が90cm以下の時は6cm角以上180cm以下の時は9cm角以上のじょうぶな角材を用いてください。</p> | <p>●図3の方法で吊りボルトを固定するか、またはアングル・角材などを利用して吊りボルトを取付けてください。</p> |
| <p>図4</p>  | <p>図5</p>  |

- 吊りボルトの長さ及びナット位置は、図4のようにしてください。

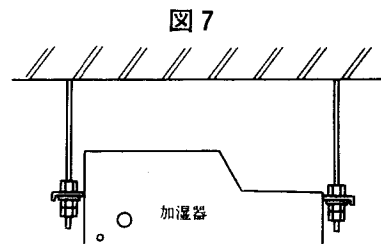
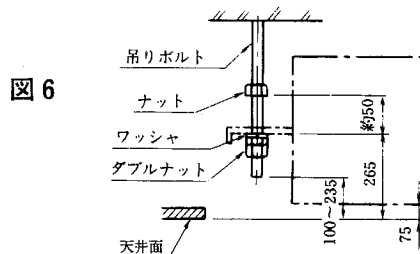
<現地手配部品>

- 吊りボルト (M10)..... 4本
- ナット (M10)..... 12個
- ワッシャー (M10)..... 4個

加湿器取付

3. 加湿器取付

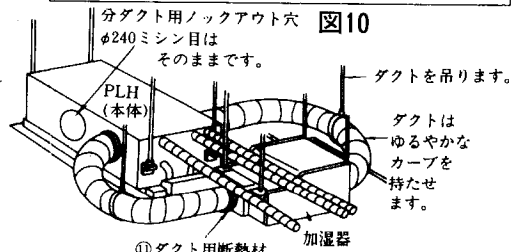
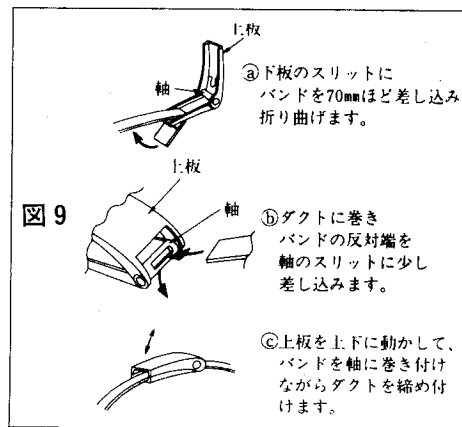
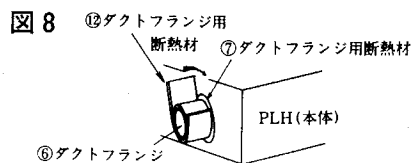
- ダブルナットの上のワッシャーに加湿器を乗せて上側のナットで締め付けます。
- ※水準器等で加湿器が水平に付いているかを確認してください。
(両端で10mm以上の高低差があるとドレンがオーバーフローします。)



ダクト取付

4. ダクト取付

- PLH (本体) の取付用ノックアウト穴をあけます。
 - PLH (本体) の両側面の断熱剤にφ140のミシン目がありますのでφ140の部分をはがしてください。
 - はがした部分にφ100のノックアウト穴がありますのでφ100の穴をあけます。
- ダクトフランジ⑥を上記ノックアウト部にタッピングネジ②を使って固定します。
- ダクトフランジ⑥を固定したタッピングネジの上からダクトフランジ用断熱材⑦を貼り付けフランジ部に⑩を巻き付けるように貼ります。(スキマが出ないように貼ってください。)
- フレックス・ダクト⑧を加湿器のダクトフランジとPLH (本体) に取り付けたダクトフランジに継なぎ、ステンレスバンド⑨とバンド締付金具⑩にて締め付けます。〔図9〕参照
- バンド締付金具⑩にダクト用断熱材⑪を巻き付けるように貼ります。
注：フレックス・ダクト⑧はゆるやかなカーブを持たせ、また垂れ下がらないように上から紐で吊る等の処置を施してください。



配管工事

5. 配管方向

- 加湿器の給水配管・ドレン配管はサービス・メンテナンスをやり安くする為図のようにPLH(本体)から見て左方向に出してください。
- PLH(本体)の配管は加湿器の上方を通してください。

6. 給水配管工事

- 配管材は現地手配になりますので鋼管外形φ6またはφ6.35をご用意ください。
- 加湿器への接続は1/4Fフレア接続です。
- 加湿器と給水管の接続は、ダブルスパナでしっかり締付けてください。
- 付属の配管用断熱材③とバンド④を使って配管接続部の断熱を行なってください。それ以降につきましては現地手配にて露タレ等ないよう十分な断熱を行なってください。
- 付属のストレーナ⑤を加湿器と減圧弁(現地手配)との間に必ず設置してください。
- ストレーナ⑤は出口側のみ1/4Fフレア接続となっています。
- 入口側の接続には現地配管に合った異径ニップルを現地手配にてお願いします。
- ストレーナはサービスできる所へ設置してください。
- 現地の配管部分には、十分な断熱を行なってください。

図11

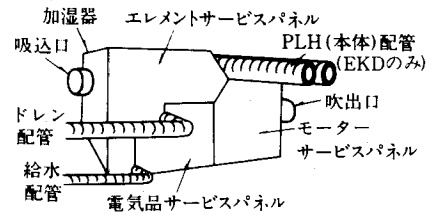


図12

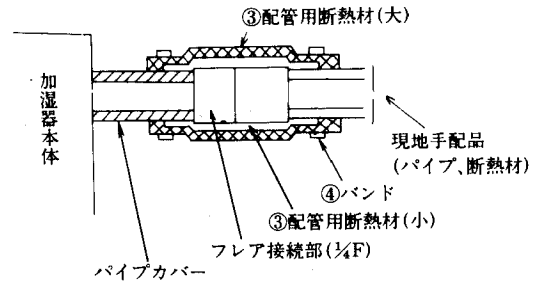
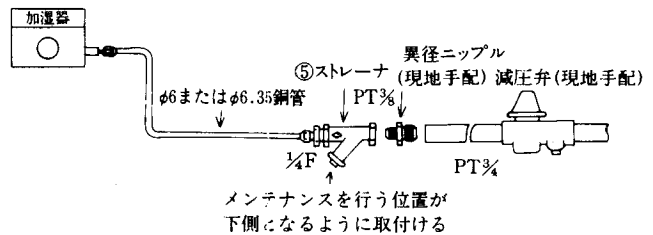


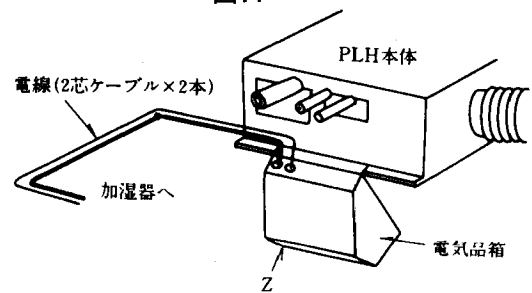
図13



7. ドレン配管工事

- ドレン配管サイズはVP-25です。
- ドレン配管は下り勾配(1/100以上)となるようにしてください。
- ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。
- 配管後、排水が確実に行われていることと、接続部からの水洩れのないことを確認してください。
- 屋内を通るドレン配管は、必ず市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03肉厚9mm以上)を巻いてください。
- ユニットのドレン配管とは別配管としてください。
- ドレン配管を上から吊って固定等する場合は、本体より1m以上離れた位置で固定してください。(エレメントサービス時にドレンパンを15mm程、下にさげるための余裕を持たせます。)

図14



配線接続

8. PLH本体の電機品箱吊り下げ

- PLH(本体)の電機品箱の吊りヒモを外して下にさげてください。
- 電機品箱のフタを取外してください。
- 電機品箱の裏側から電線を通し接続します。

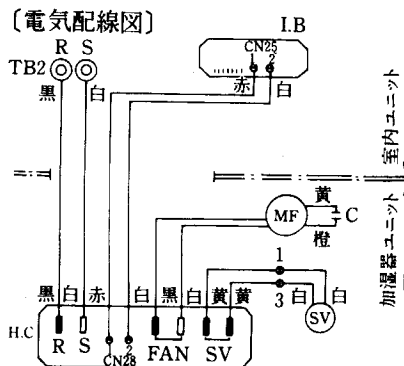
注：電機品箱を下にさげないで配線しますとサービス時において電機品箱が下にさがらないことがあります。作業完了後は再びPLH(本体)よりヒモで吊っておきます。

9. 配線接続

- 電機配線図に基づいて配線接続をしてください。
(室内ユニット側のみ)

| | 記号 | 名 称 |
|-------------|------|----------------|
| 本 体 | TB2 | 端子板<電源> |
| | IB | 室内コントローラボード |
| | CN25 | コネクタ<加湿器> |
| 加 湿 器 | H.C | 加湿コントローラボード |
| | CN28 | コネクタ |
| | S.V | 電磁弁<給水> |
| | MF | 送風機用電動機 |
| | C | コンデンサ<送風機用電動機> |

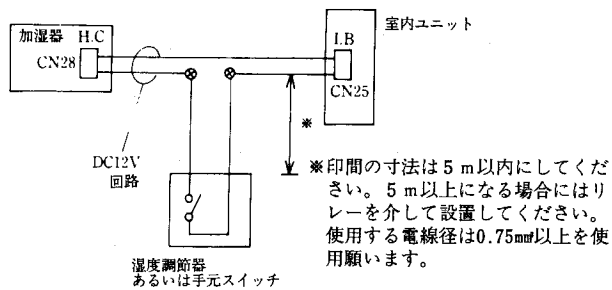
図15



《湿度調節器あるいは手元スイッチを使用する場合の配線変更(現地手配)》

(図14) においてコネクタCN25とCN28に接続している線管に直列に入れます。

図16



試 運 転

10. 試運転

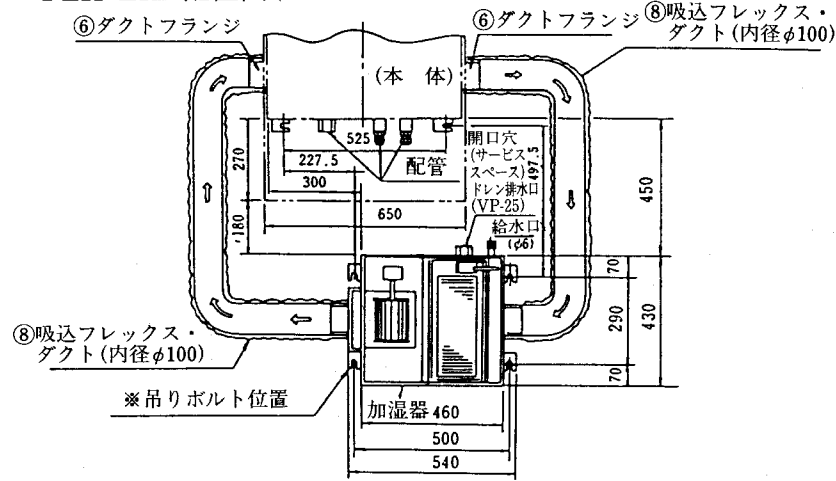
ユニット側の据付説明書に従って試運転(暖房)を行ない、水洩れ等のないことを確認してください。

三菱電機パッケージエアコン用加湿器取付要領図

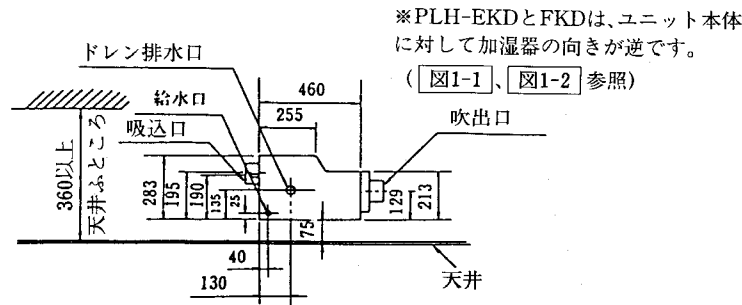
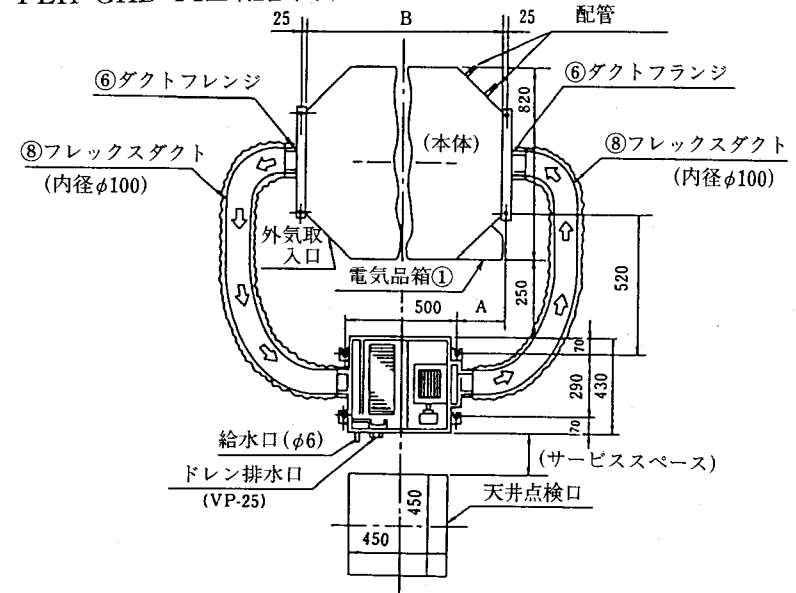
形名 PAC-SA03HU

適用機種 PLH-GKD・FKD・EKD PLHY-FK・EK

PLH-EKD配置図(上から見る)



PLH-GKD・FKD配置図(上から見る)

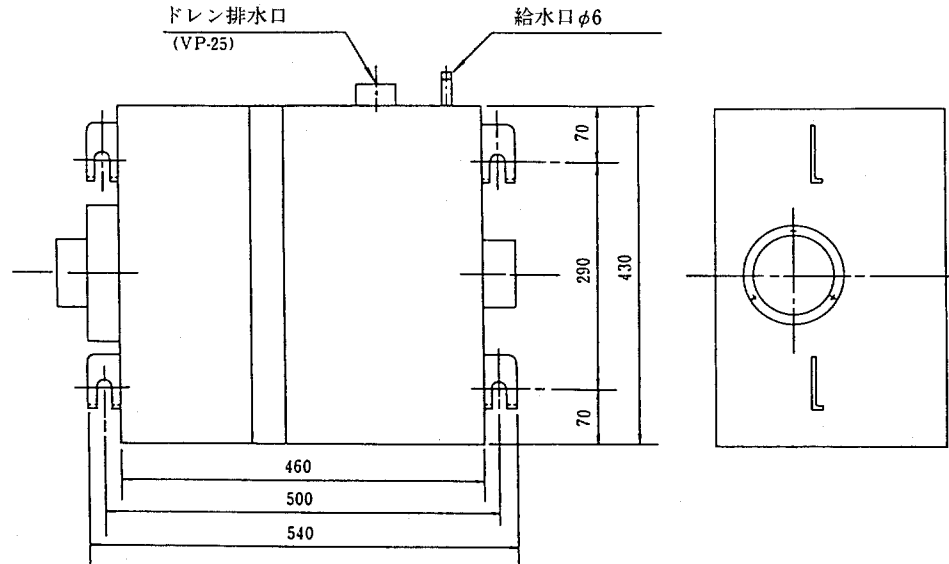


| 機種 | A | B | C | D |
|--------------------|-----|------|-----|-----|
| PLH(Y)-32~80FK(D) | 185 | 870 | 420 | 420 |
| PLH(Y)-90~140FK(D) | 445 | 1390 | 420 | 420 |
| PLH-35~90GKD | 140 | 785 | 530 | 365 |
| PLH-100~140GKD | 400 | 1305 | 530 | 365 |

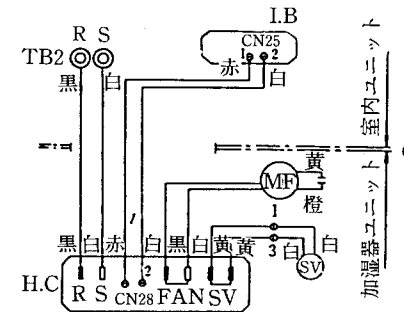
※電気品箱並び吊りボルト足形状は、FKDとGKDは異なります。本図はFKDのものを示しています。詳細は本体の据付説明書を御参照ください。

三菱電機パッケージエアコン用加湿器外形図

形名 PAC-SA03HU 適用機種 PLH-GKD・FKD・EKD PLHY-FK・EK



〔電気配線図〕



| | 記号 | 名称 |
|-----|------|----------------|
| 本体 | TB2 | 端子盤<電源> |
| | I.B | 室内コントローラボード |
| | CN25 | コネクタ<加湿器> |
| 加湿器 | H.C. | 加湿コントローラボード |
| | CN28 | コネクタ |
| | SV | 電磁弁<給水> |
| | MF | 送風機用電動機 |
| | C | コンデンサ<送風機用電動機> |

ペーパーパン加湿器

形名 PAC-SB27・28VP

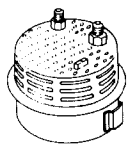
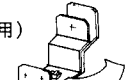
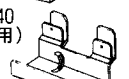

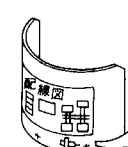


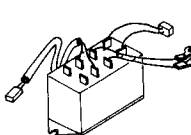
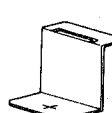
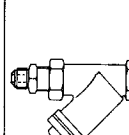

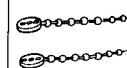

1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|-------------------|
| PAC-SB27VP | PSH-45~80FK(H)D |
| PAC-SB28VP | PSH-100~140FK(H)D |

2 使用方法

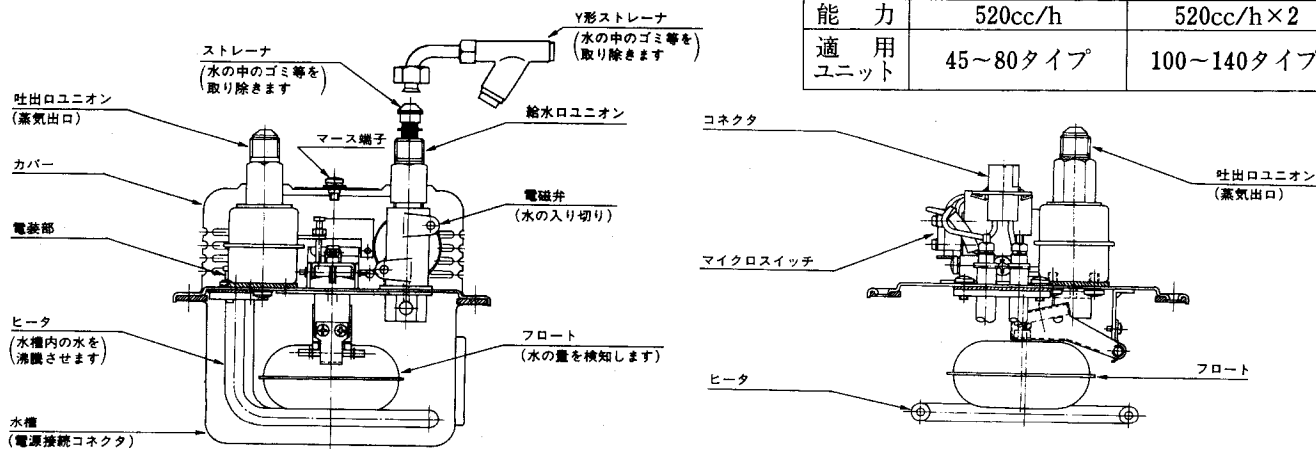
ペーパーパン式の加湿器です。室内ユニット内部に組込み、給水配管してください。内蔵ヒーターで水を加熱し、蒸気を発生させ加湿することにより、マイルドな暖房運転が可能になります。

3 付属部品

| | | | | | | |
|---|---|--|--|--|---|--|
| ①加湿器本体  (100~140タイプは2個使用) | ②加湿器取付金具 (45~80タイプ用)  (100~140タイプ用)  | ③タッピンネジ  ③黒* タッピンネジ4×10 ●40~80タイプ 4本 ●100~140タイプ 5本 | ④保護カバー  (100~140タイプはカバー、ヒューズ各々2個使用) | ⑤予備ヒューズ  予備ヒューズ (マイクロテンプ) 139℃ 10A | ⑥取扱説明書  | |
| ビニール袋の中に入っている部品 | | | | | | |
| ⑦リレーASSY  DC12V | ⑧リレー取付金具  | ⑨ストレーナ  | ⑩給水パイプ (45~80タイプ用) ⑩給水パイプ×1本 (100~140タイプ用) ⑩給水パイプ×1本 ⑪吐出パイプ×1本 ⑪吐出パイプ×2本 (短) ⑪吐出パイプ×2本 (長) | ⑫パイプカバー  45~80タイプ 長さ=470×1本 長さ=1000×1本 100~140タイプ 長さ=470×2本 長さ=1000×1本 長さ=1170×1本 | ⑬ファスナー  3本 | ⑭ラベル  (加湿器現地組込済) 三菱電機株式会社 専用 |

4 取付要領

図1 各部のなまえとはたらき



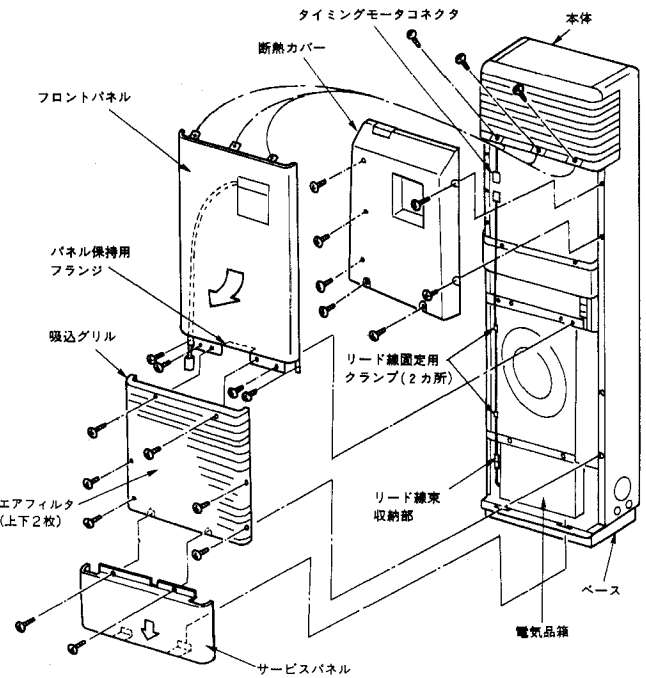
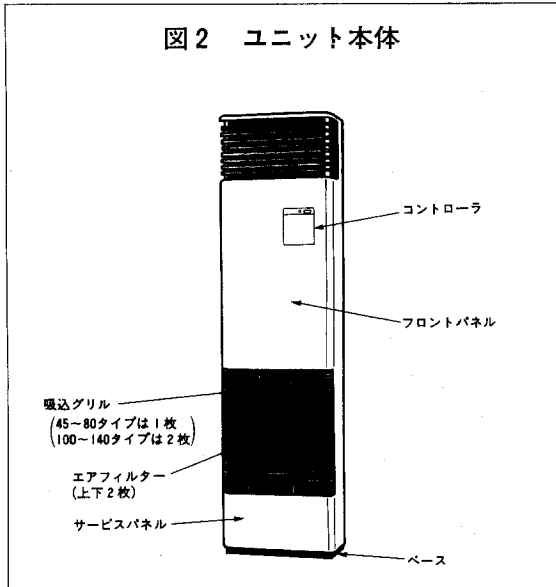
《仕様表》

| 名称 | 加湿器 | |
|--------|------------------------|----------------------------|
| 形名 | PAC-SB27VP | PAC-SB28VP |
| 形式 | KRII-40P-M 1ヶ | KRII-40P-M 2ヶ |
| 定格能力 | 単相200V 400W 520cc/h | 単相200V 400W×2 520cc/h×2 |
| 適用ユニット | 45~80タイプ | 100~140タイプ |

*上図はカバー及び水槽を外した状態を示します。

1. ユニット本体の準備

図3



(1)吸込グリル及び各パネルを取外してください。

①サービスパネルの取外し

サービスパネル上部のタッピンネジ2本を外してから、サービスパネルの両端を持ち下方にスライドし取外してください。

②吸込グリルの取外し

上側のエアフィルター(1枚)を引出し吸込グリル固定用タッピンネジを外し吸込グリルを取外してください。

45~80タイプ……………タッピンネジ6本(吸込グリル1枚)

100~140タイプ……………タッピンネジ11本(吸込グリル2枚)

③フロントパネルの取外し

フロントパネル裏側にはコントローラ用リード線が固定されていますので下記要領にて取外してください。

- 電気品箱横に収納されたリード線の束の黒色コネクタ、青色コネクタの接続を外す。
- リード線固定用クランプ(2カ所)より黒色コネクタ、青色コネクタの付いたリード線を取外す。
- フロントパネル上部3本、下部4本のタッピンネジを外しフロントパネル両端を保持しながら手前に引いてフロントパネルを取外してください。

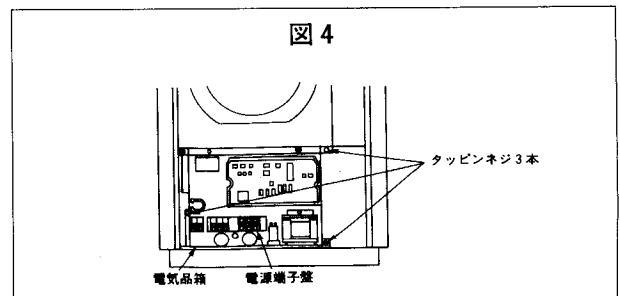
※パネル下部にフロントパネルを保持する為のフランジが設けてありますが、仮固定ですのでフロントパネルの落下には十分注意して、取付け、取外しを行なってください。

④断熱カバーの取外し

- タイミングモータリード線のコネクタを外します。
- タッピンネジ7本を外し、カバー本体を取外してください。

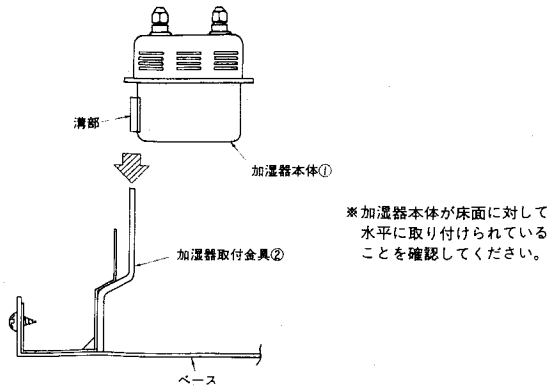
2. 取り付け

- (1)電気品箱の止めネジ3本を取り外し電気品箱(右側)を手前に半回転させてください。



- (2)加湿器取付金具②をタッピンネジ③2本にてユニット本体のベースに取付けます。
- (3)加湿器取付金具②に加湿器本体①を取付けてください。

- 加湿器本体①の溝部を加湿器取付金具②の図示の部分に差し込んでください。



3. 配管工事

給水パイプ⑩と吐出パイプ⑪(蒸気パイプ)を取り付けます。

- フレアナット部の締付けは必ずダブルスパナにて行い、加湿器本体①、ストレーナ⑨等に無理な力を加えないように注意して行ってください。
- フレア接続部は水モレのないように確実に締付けてください。
- 給水パイプ⑩の取り付けは現地工事側より行い、加湿器本体①への接続が最後となるようにしてください。(配管内の切クズやゴミを流し出す必要があります。)

《現地側配管工事》

ユニット本体の外側は現地工事にてお願いします。

- ストレーナ⑨の取り付け位置、取り付け方法については現地工事にてお願いします。
- ストレーナ⑨の現地取り付け側(ガス管側)はPT3/8(メス)となっています。

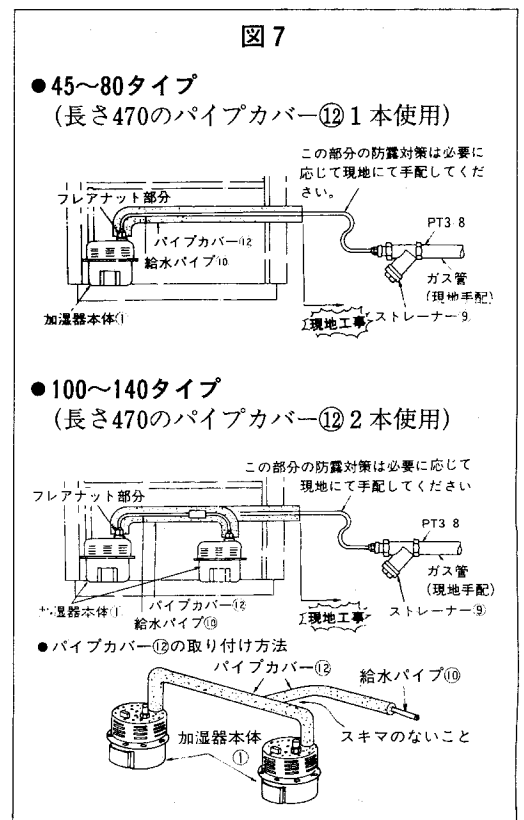
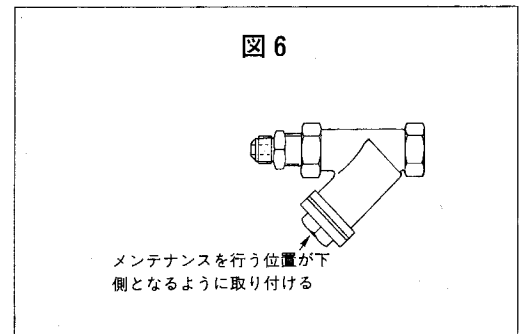
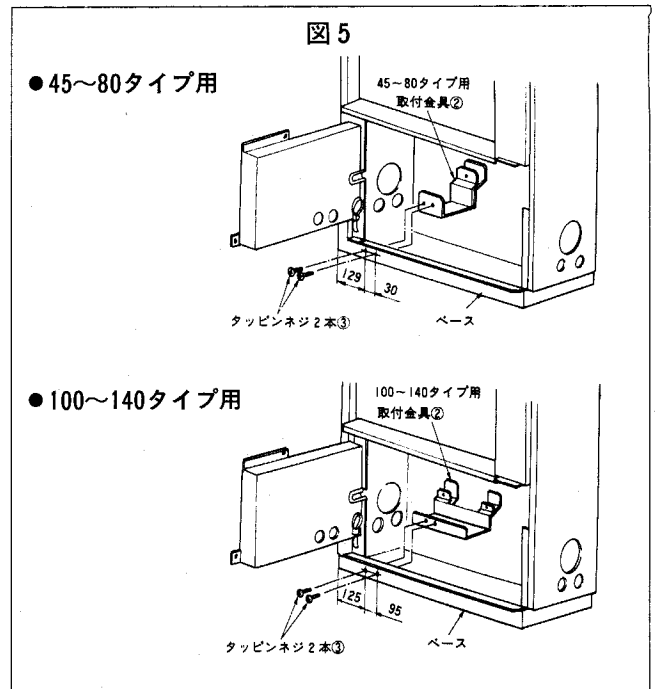
※ストレーナ⑨はメンテナンスを行う必要がありますので、できる限りメンテナンスしやすい位置に取り付けてください。

- ストレーナ⑨は右図の向きに取り付けてください。
- ※現地工事側の配管工事完了後、配管内のクズやゴミ等を完全に流し出してください。

(1)給水パイプ⑩を取り付けてください。

※下図仕様に従い、各々のタイプについて取り付け願います。

- 加湿器本体①の上部「給水口」表示の接続口に給水パイプ⑩を接続してください。
- 加湿器本体①に接続した給水パイプ⑩をパイプカバー⑫で被ってください。この時、加湿器本体①との接続部(フレアナット部分)もパイプカバー⑫で被うようにしてください。



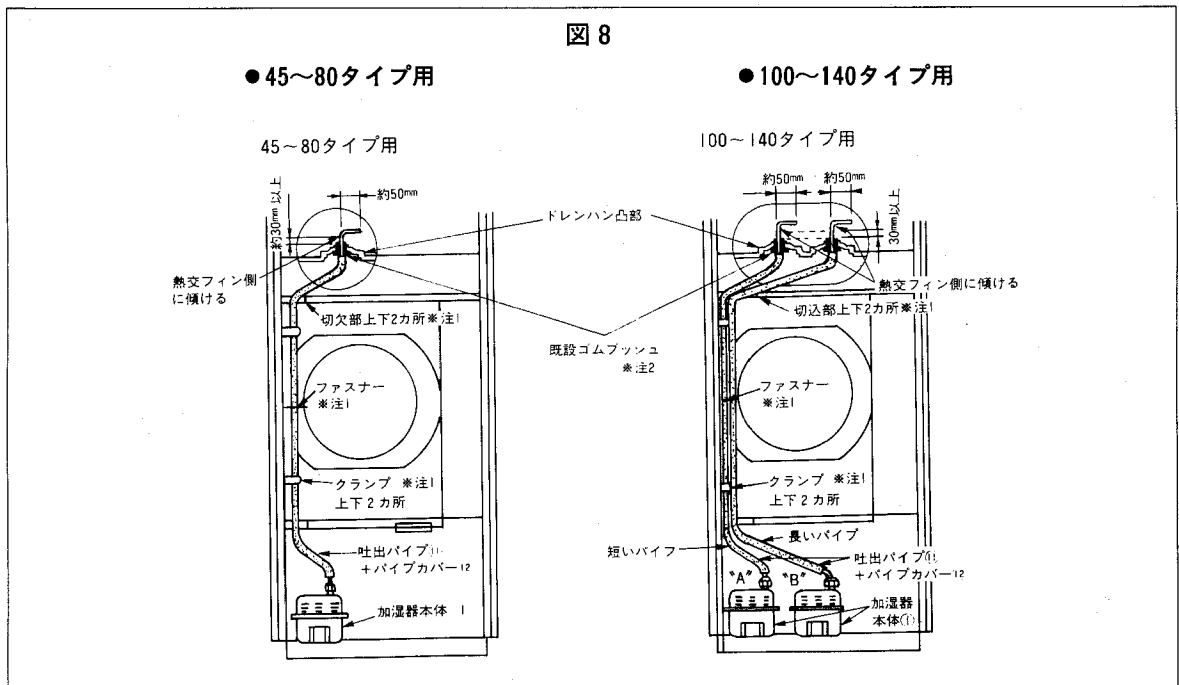
(2)吐出パイプ⑪を取り付けてください。

①取付け前に次の作業を行ってください。

- 吐出パイプに、パイプカバー⑫を通した後に、取付作業を行ってください。(40~80タイプ1本、100~140タイプ2本使用)

②取り付け

- 加湿器本体①の上部「蒸気出口」表示の接続口に吐出パイプ⑪を接続してください。
- 吐出パイプ⑪及びパイプカバー⑫は配管途中にタワミやトラップ等を設けない状態とし適切な長さに切断し、下図を参照して取付けてください。
- パイプカバー⑫は、ゴムブッシュとの間隔を極力無くした状態にしてください。
- 吐出パイプ⑪のユニットへの取付けは、ユニット本体のドレンパン凸部にある既設のゴムブッシュの穴に差込んでください。尚、差込後図示方向にパイプを50mm位曲げてください。



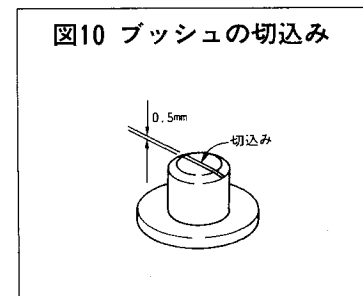
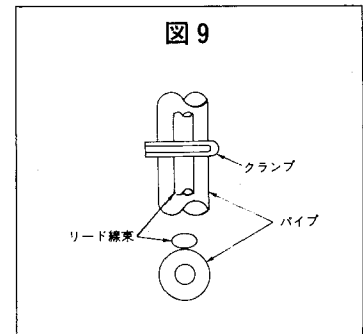
(注1) 既設リード線束 (タイミングモーターリード線、コントローラ用リード線) とパイプ (吐出パイプ⑪+パイプカバー⑫) との位置固定は次の要領にて行ってください。

パイプの上 (100~140タイプは短いパイプ) にリード線束を重ねて2カ所のクランプ位置にて固定してください。

- クランプの中間位の位置にファスナー⑬でパイプとリード線束をクランプ固定と同じ要領で固定してください。
- パイプは必ず上下2カ所の切欠部に納まる位置で固定してください。

(注2) (ゴムブッシュの切込み)

吐出パイプ⑪をゴムブッシュに、差込む前に右図仕様にて、ゴムブッシュに切込み0.5mm位を1カ所追加してください。



4. 配線の接続

配線（現地配線を含む）は加湿器本体①及び吐出パイプ⑪に接触しないように注意してください。

（運転時、加湿器本体①及び吐出パイプ⑪は高温となります）

(1)リレーASSY⑦を電気品箱に取り付けてください。

(2)配線を接続してください。

（電気配線図は保護カバー④に貼り付けてあります）

図11

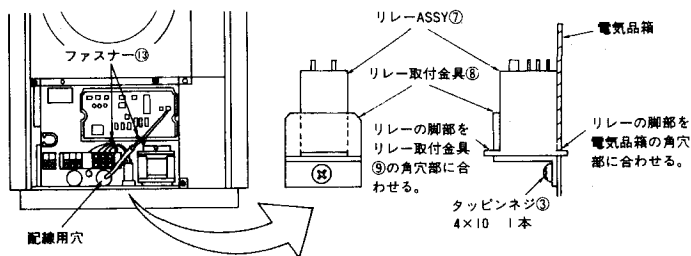
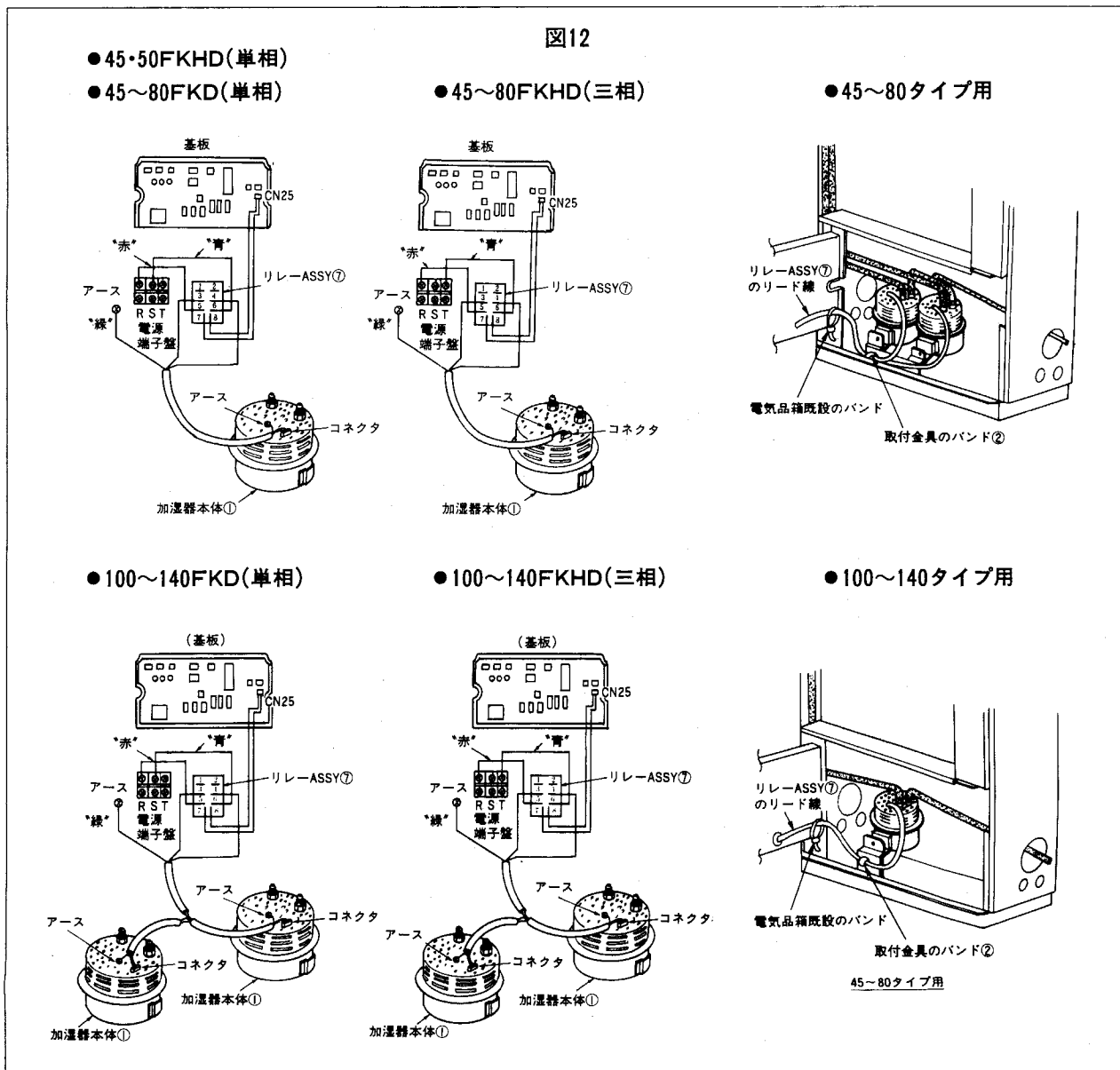


図12



●配線接続後、電気品箱内の配線はファスナー⑬2本を使用して他のリード線と一緒に束ねてください。（図11を参照してください。）

●電気品箱より加湿器本体①への配線は電気品箱裏面の既設のバンド及び加湿器取付金具②の既設のバンドを使用して固定してください。

5. 保護カバーの取り付け

保護カバー④を加湿器取付金具②の穴位置に合わせタッピンネジ③にて固定してください。

- 保護カバー④の取り付け方法は加湿器取付金具②の形状により次のようになります。

6. ラベルの貼り付け

以上の全ての作業が完了後、サービスパネルの意匠面にラベル⑭(加湿器現地組込済)を貼り付けてください。

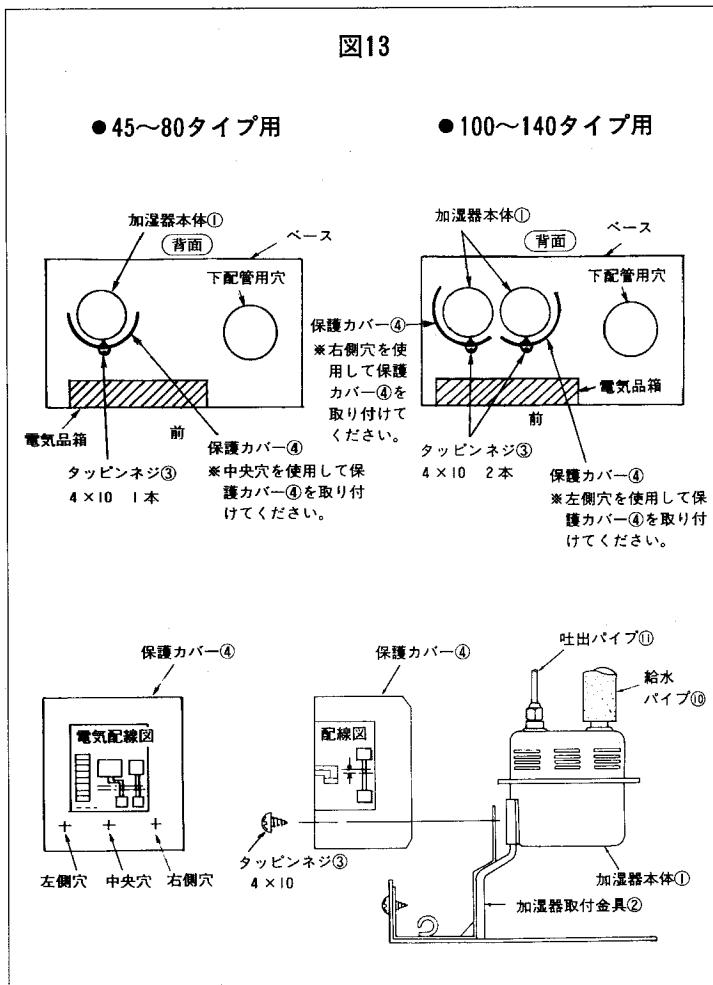
7. 試運転

- ユニット本体の据付説明書「試運転」の項に従い、試運転を行なってください。

試運転は暖房モードにて行い、加湿器が作動していることを確認してください。

- ※試運転時は必ずサービスパネルを取り付けて電気品箱が露出しない状態にて行なってください。

試運転完了後取り外した部品を元通りに取り付けてください。



ご注意

- 本品は単相200V、三相200Vのどちらにも使用できます。
- ユニット本体の元電源スイッチがOFFであることを確認してください。
- 供給水質…市水、上水またはこれと同等以上の水をご使用ください。
- 供給水温度…90℃以下
- 加湿器本体の給水口圧力は0.2~5 kg/cm²となるようにしてください。

《推奨減圧弁》

| メーカー | 形名 |
|-------|------------|
| ヨシタケ | GD-53 |
| サギノミヤ | CRV-2006GL |
| ベ ン | RD-25S |

- ※加湿機本体の給水口圧力が5 kg/cm²以上となる場合には必ず減圧弁を設けてください。

(現地手配)

- 止水用バルブ……シーズンオフ、メンテナンス、緊急時の為に、ストレーナ(付属⑨)の上流に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
- この加湿器のみでは加湿量の調整はできません。

《推奨ヒューミディスタット》

| メーカー | 形名 | 湿度調整範囲 |
|------|-------------|--------|
| ランコ | HS J13 | 20~80% |
| 山武 | HS H46K1002 | 10~60% |

- ※加湿量の調整を必要とする場合には市販のヒューミディスタットをご使用ください。

(現地手配)

- ※本製品は左配管時での取付はできませんのであらかじめ御了承願います。
- ※本製品取付前は必ず転倒防止措置を施してください。(据付説明書参照)

三菱電機パッケージエアコン用ベーパーパン加湿器外形図

形名 PAC-SB27・28VP

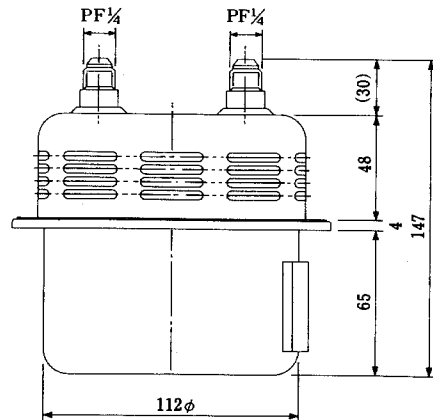
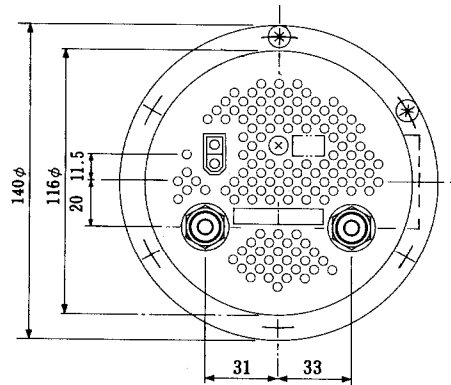
適用機種 45～140FK(H)D

仕様

| | |
|-------|------------------|
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz |
| 定格容量 | 0.4kW(0.8kW) |
| 標準加湿量 | 0.52ℓ/h(1.04ℓ/h) |

()内は、PAC-SB27VPの数値

*PAC-SB28VPは、2コ組

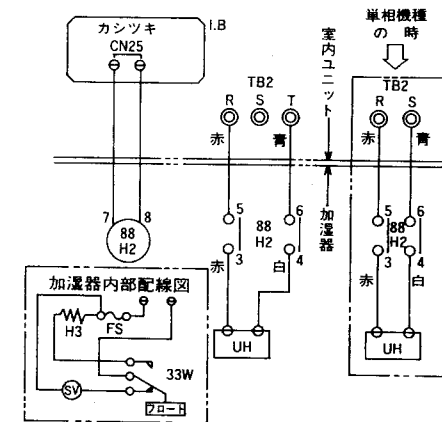


電気配線図

PAC-SB27VP

| 記号 | 名称 |
|------|-------------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| LB | 室内コントローラボード |
| CN25 | コネクタ(加湿器) |
| 88H2 | 補助継電器(加湿器) |
| UH | 加湿器 |
| FS | 温度ヒューズ(139°C 10A) |
| H3 | 電熱器(加湿器) |
| 33W | スイッチ(フロート) |
| SV | 電磁弁 |

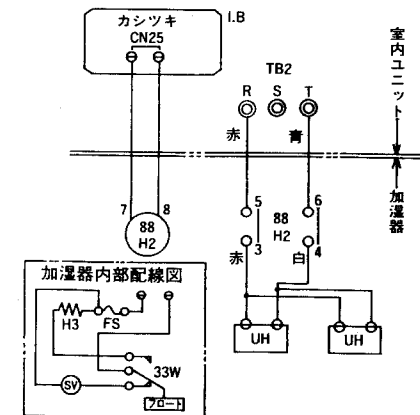
○…………コネクタ
◎…………端子盤を示す



PAC-SB28VP

| 記号 | 名称 |
|------|-------------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| LB | 室内コントローラボード |
| CN25 | コネクタ(加湿器) |
| 88H2 | 補助継電器(加湿器) |
| UH | 加湿器 |
| FS | 温度ヒューズ(139°C 10A) |
| H3 | 電熱器(加湿器) |
| 33W | スイッチ(フロート) |
| SV | 電磁弁 |

○…………コネクタ
◎…………端子盤を示す



ベーパーパン加湿器 (PSH-EKHD用) 形名 PAC-213・216VP

1 適用機種

| | | |
|------|-----------------------|----------------------|
| 形名 | PAC-213VP | PAC-216VP |
| 適用機種 | PSH(Z)-45~80(S)EKH(D) | PSH(Z)-100~140EKH(D) |

2 使用方法

ベーパーパン式の加湿器です。室内ユニット内部に組み込み、給水配管してください。内蔵ヒーターで水を加熱し、蒸気を発生させ、加湿することにより、マイルドな暖房運転が可能になります。

床置タイプPSH-EKHD形用別売「ベーパーパン加湿器」仕様

| | | |
|-------------|-----------------------|----------------------|
| 形名 | PAC-213VP | PAC-216VP |
| 適用機種 | PSH(Z)-45~80(S)EKH(D) | PSH(Z)-100~140EKH(D) |
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz | |
| 定格容量 | 0.4KW | 0.8KW |
| 加湿方式 | ベーパーパン式 | |
| 標準加湿量 (ℓ/h) | 0.52 | 1.04 |

3 付属部品

●PAC-213VP

| 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 |
|----|---------------|----|----|------------------|----|----|--------|----|
| ① | 加湿器本体 | 1 | ⑥ | 取扱説明書 | 1 | ⑪ | 吐出パイプ | 1 |
| ② | 加湿器取付金具 | 1 | ⑦ | リレー組立LY-2F DC12V | 1 | ⑫ | パイプカバー | 1 |
| ③ | タッピンネジ4×10 | 4 | ⑧ | リレー取付金具 | 1 | ⑬ | ファスナー | 2 |
| ④ | 保護カバー | 1 | ⑨ | ストレーナ | 1 | ⑭ | ラベル | 1 |
| ⑤ | 予備ヒューズ139℃10A | 1 | ⑩ | 給水パイプ | 1 | | | |

●PAC-216VP

| 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 |
|----|------------|----|----|------------------|----|----|--------|----|
| ① | 加湿器本体 | 2 | ⑥ | 予備ヒューズ139℃10A | 2 | ⑪ | 給水パイプ | 1 |
| ② | 加湿器取付金具(小) | 1 | ⑦ | 取扱説明書 | 1 | ⑫ | 吐出パイプ | 2 |
| ③ | タッピンネジ4×10 | 6 | ⑧ | リレー組立LY-2F DC12V | 1 | ⑬ | パイプカバー | 2 |
| ④ | 加湿器取付金具(大) | 1 | ⑨ | リレー取付金具 | 1 | ⑭ | ファスナー | 2 |
| ⑤ | 保護カバー | 2 | ⑩ | ストレーナ | 1 | ⑮ | ラベル | 1 |

4 取付方法

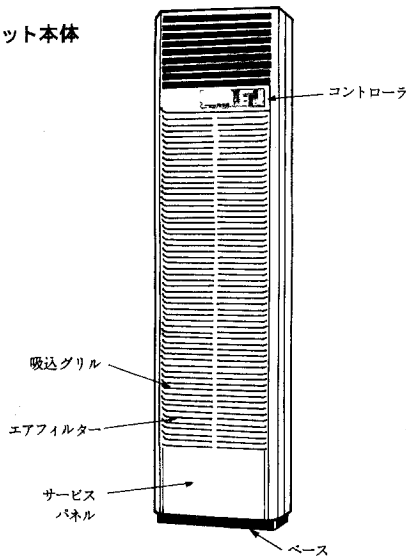
次ページ以降の手順に従って取付を行ってください。

PAC-213VPの組込方法

ユニット本体の準備

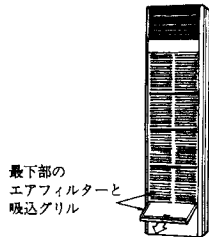
次ページへ
続く

ユニット本体



1 エアフィルターと吸込グリルを取り外してください。

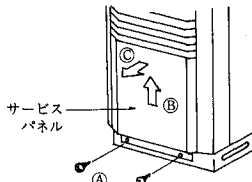
エアフィルターと吸込グリルは最下部のみ取り外してください。



- エアフィルターの着脱のしかた
- 吸込グリルの一部がエアフィルターの取手(「フィルター」と表示)になっております。その取手を図のように矢印の方向に引けば簡単にはずれます。
- エアフィルターをセットする場合は確実に奥まで押し込んでください。

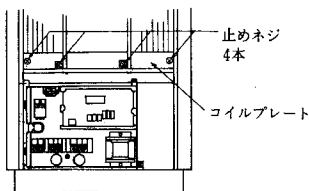
- 吸込グリルの着脱のしかた
- 吸込グリルを左図のように、たわませながら上部(爪部)をキャビネットの角穴から外し手前に引いてください。(爪部が角穴にかかった状態で手前に無理に引きますと爪が折れる場合があります。)

2 サービスパネルを取り外してください。



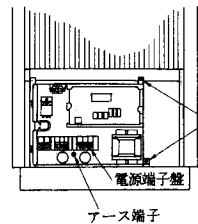
- ④ 止めネジ 2 本を外してください。
- ⑤ 上方へ持ち上げてください。
- ⑥ 手前へ引いてください。

3 コイルプレートを取り外してください。



- 止めネジ 4 本を取り外し、コイルプレートを取り外してください。

4 電気品箱の止めネジ 2 本を取り外し電気品箱を手前に引き出してください。



- この部分の止めネジ 2 本を外して電気品箱を手前に引き出してください。

お願い

- ユニット本体の元電源スイッチがOFFであることを確認してください。
- 供給水質……市水、上水またはこれと同等以上の水をご使用ください。
- 供給水温度……90℃以下
- 加湿器本体の給水口圧力は0.2～5 kg/cm²となるようにしてください。
- ※加湿器本体の給水口圧力が5 kg/cm²以上となる場合には必ず減圧弁を設けてください。(現地手配)

推奨減圧弁

| メーカー | 形名 |
|-------|------------|
| ヨシタケ | CD-53 |
| サギノミヤ | CRV-2006GL |
| ベーン | RD-25S |

- 止水用バルブ……シーズンオフ、メンテナンス、緊急時の為に、ストレーナ(付属⑨)の上流に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
- この加湿器のみでは加湿量の調整はできません。加湿量の調整を必要とする場合には市販のヒューミディスタットをご使用ください。(現地手配)

推奨ヒューミディスタット

| メーカー | 形名 | 温度調整範囲 |
|------|-------------|--------|
| ランコ | HS J13 | 20～80% |
| 山武 | HS H46K1002 | |

PAC-213VPの組込方法

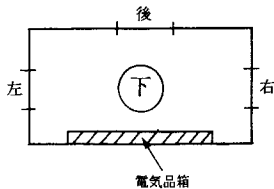
取り付け

配管工事

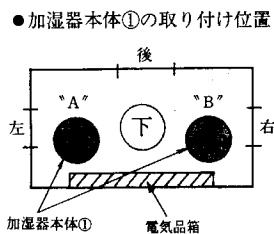
次ページへ
続く

1 ユニット本体の配管取り出し方向により加湿器本体①を取り付ける位置及び方法は次のようになります。

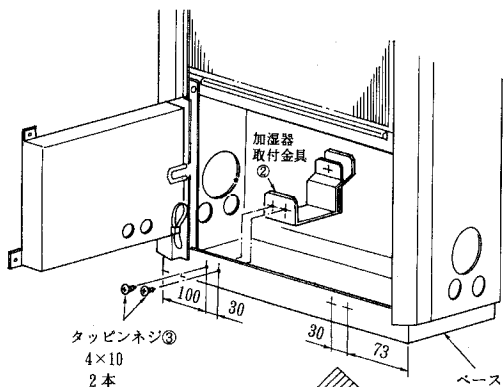
- ユニット本体の配管取り出し位置
(下図はユニット本体の機械室平面図を示します。)



| ユニット本体の配管取り出し位置 | 加湿器本体①の取り付け位置 |
|-----------------|---------------|
| 左 | B |
| 右 | A |
| 下 | B |
| 後 | B |



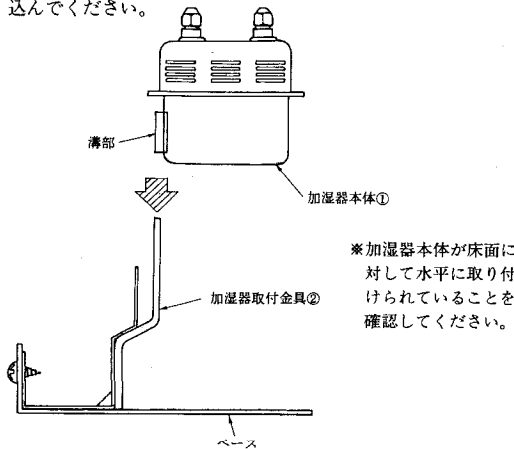
2 加湿器取付金具②をユニット本体のベースにタッピンネジ③2本にて取り付けます。



①項の「B」位置への取り付けはこの部分の穴を使用してください。

3 加湿器取付金具②に加湿器本体①を取り付けてください。

加湿器本体①の溝部を加湿器取付金具②の図示の部分に差し込んでください。



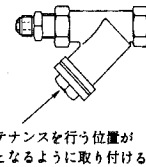
給水パイプ⑩と吐出パイプ⑪(蒸気パイプ)を取り付けます。

- フレアナット部の締付けは必ずダブルスバナにて行い、加湿器本体①、ストレーナ⑨等に無理な力を加えないように注意してやってください。
- フレア接続部は水モレのないように確実に締付けてください。

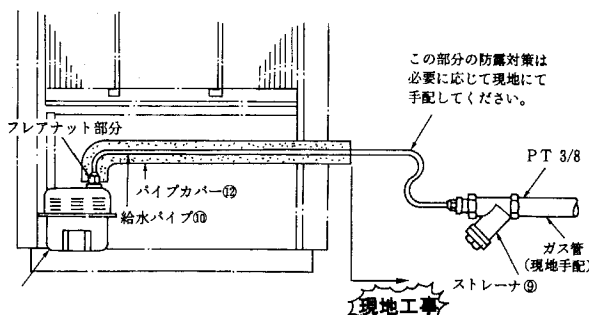
1 給水パイプ⑩を取り付けてください。

- 給水パイプ⑩の取り付けは現地工事側より行い、加湿器本体①への接続が最後となるようにしてください。(配管内の切ズやゴミを流し出す必要があります。)

- 現地側配管工事
ユニット本体の外側は現地工事にてお願いします。
- ストレーナ⑨の取り付け位置、取り付け方法については現地工事にてお願いします。
- ストレーナ⑨の現地取り付け側(ガス管側)はPT 3/8(メス)となっています。
- ※ストレーナ⑨はメンテナンスを行う必要がありますので、できる限りメンテナンスしやすい位置に取り付けてください。
- ストレーナ⑨は右図の向きに取り付けてください。

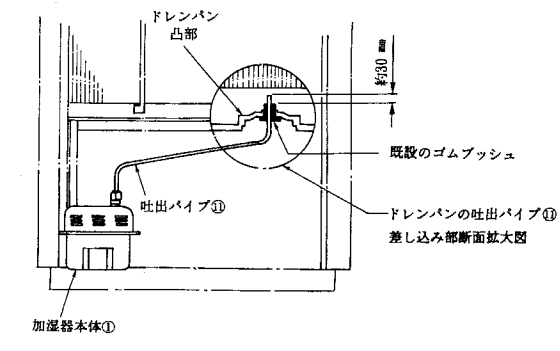


- ※現地工事側の配管工事完了後、配管内のクズや、ゴミ等を完全に流し出してください。
- 加湿器本体①の上部「給水口」表示の接続口に給水パイプ⑩を接続してください。
- 加湿器本体①に接続した給水パイプ⑩をパイプカバー⑫で被ってください。この時、加湿器本体①との接続部(フレアナット部分)もパイプカバー⑫で被うようにしてください。
- ※下図は、右配管の場合を示しますが、その他の場合についても下図と同様に作業を行なってください。



2 吐出パイプ⑪を取り付けてください。

- 加湿器本体①の上部「蒸気出口」表示の接続口に吐出パイプ⑪を接続してください。
- 吐出パイプ⑪は配管途中にタワミやトラップ等を設けない状態とし適切な長さに切断して使用して下さい。

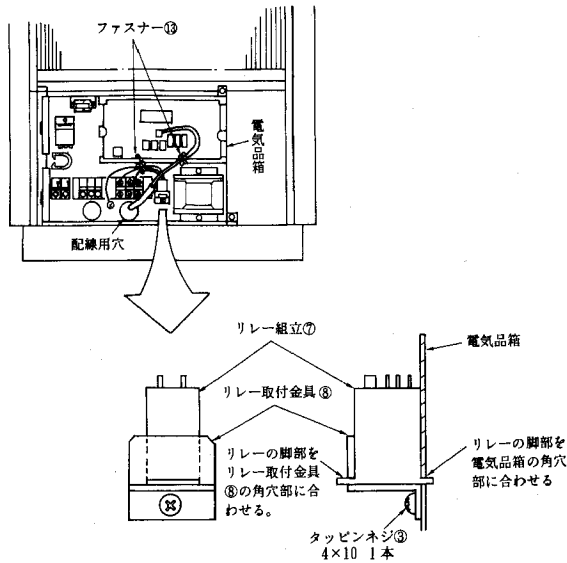


PAC-213VPの組込方法

配線の接続

配線(現地配線を含む)は加湿器本体①及び吐出パイプ⑩に接触しないように注意してください。
(運転時、加湿器本体①及び吐出パイプ⑩は高温となります。)

1 リレー組立⑦を電気品箱に取り付けてください。

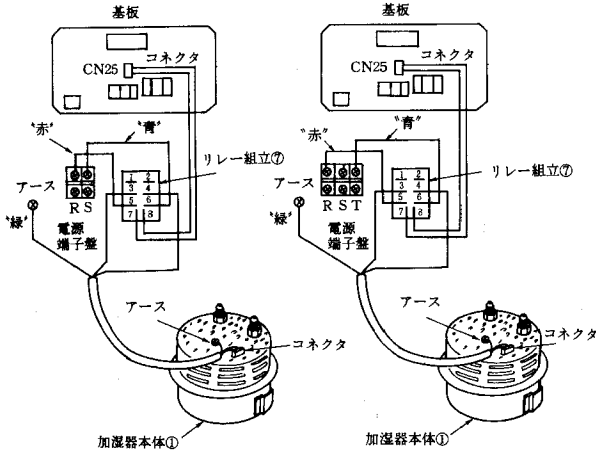


2 配線を接続してください。

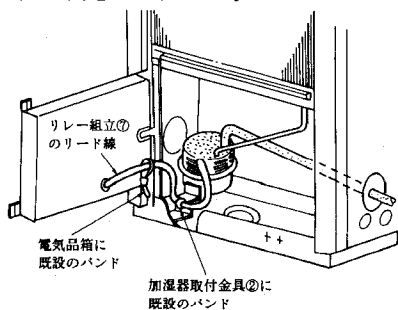
(電気配線図は保護カバー④に貼り付けてあります。)

PSH-45.50SEKHDの時(単相)

PSH-45~80EKHDの時(3相)

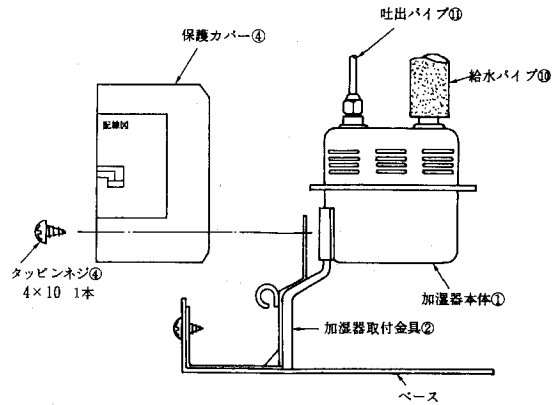


- 配線接続後、電気品箱内の配線はファスナー⑬2本を使用して他のリード線と一緒に束ねてください。
(①項の図を参照してください)
- 電気品箱より加湿器本体①への配線は電気品箱裏面の既設のバンド及び加湿器取付金具②の既設のバンドを使用して固定してください。



保護カバーの取り付け

保護カバー④を加湿器取付金具②の穴位置に合わせタップネジ⑭にて固定してください。



ラベルの貼り付け

以上の全ての作業が完了後、サービスパネルの意匠面にラベル⑭(加湿器現地組込済)を貼り付けてください。

試運転

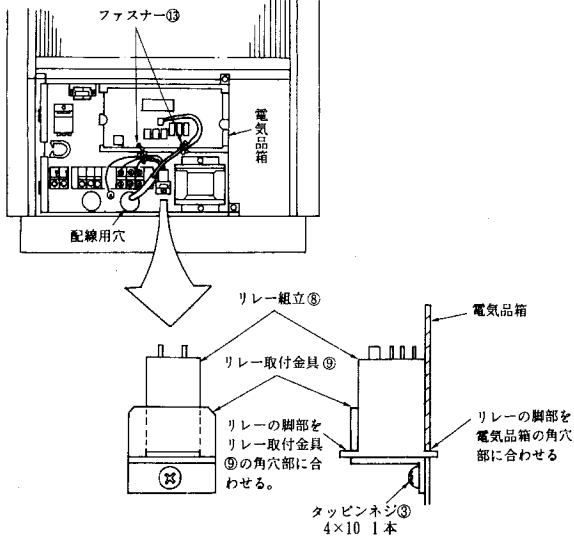
- ユニット本体の据付説明書「試運転」の項に従い、運転を行なってください。
試運転は暖房モードにて行い、加湿器が作動していることを確認してください。
- 確認方法
最下部のエアフィルターと吸込グリル及びコイルプレートを取り外し、吐出パイプの先端より蒸気の出ていることを確認してください。
※試運転時は必ずサービスパネルを取り付けて電気品箱が露出しない状態にて行なってください。
試運転完了後取り外した部品を元通りに取り付けてください。

PAC-216VPの組込方法

配線の接続

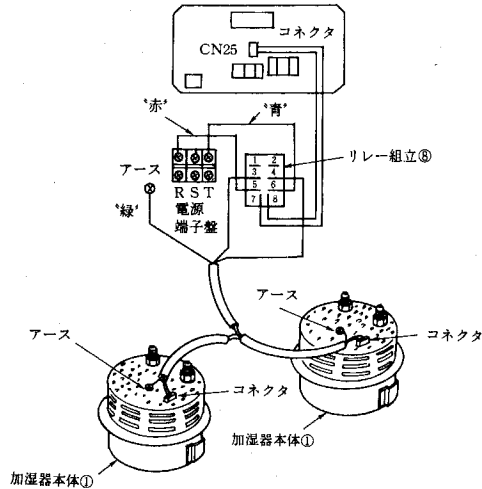
配線(現地配線を含む)は加湿器本体①及び吐出パイプ⑫に接触しないように注意してください。
(運転時、加湿器本体①及び吐出パイプ⑫は高温となります。)

1 リレー組立⑧を電気品箱に取り付けてください。

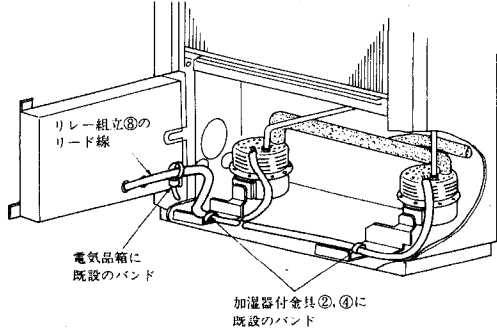


2 配線を接続してください。

(電気配線図は保護カバー⑤に貼り付けてあります。)



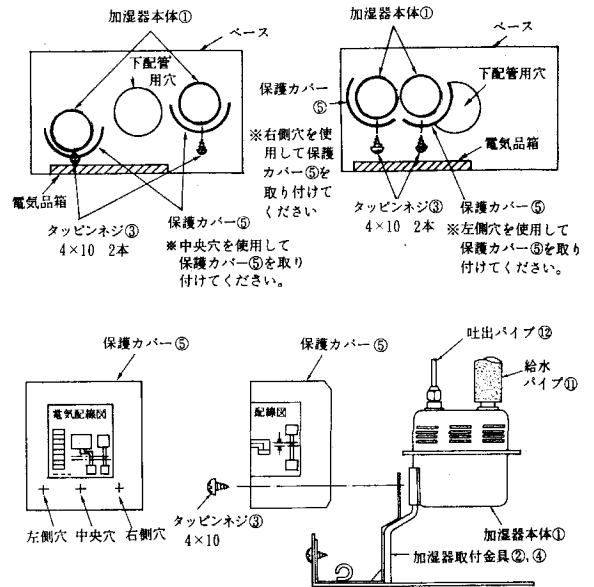
- 配線接続後、電気品箱内の配線はファスナー⑭2本を使用して他のリード線と一緒に束ねてください。(①項の図を参照)
- 電気品箱より加湿器本体①への配線は電気品箱裏面に既設のバンド及び加湿器取付金具②、④の既設のバンドを使用して固定してください。



保護カバーの取り付け

保護カバー⑤2個をタップピンネジ⑬2本を使用して加湿器取付金具②、④に取り付けてください。

- 保護カバー⑤の取り付け方法は加湿器取付金具②、④の位置により次のようになります。
- 取り付けの①項“A”の場合
- 取り付けの①項“B”、“C”の場合
下図は“B”の図を示しますが“C”の場合も同様に行なってください。



ラベルの貼り付け

以上の全ての作業が完了後、サービスパネルの意匠面にラベル⑮(加湿器現地組込済)を貼り付けてください。

試運転

- ユニット本体の据付説明書「試運転」の項に従い、試運転を行なってください。
試運転は暖房モードにて行い、加湿器が作動していることを確認してください。
- 確認方法
最下部のエアフィルターと吸込グリル及びコイルプレートを取り出し、吐出パイプの先端より蒸気の出ていることを確認してください。
※試運転時は必ずサービスパネルを取り付けて電気品箱が露出しない状態に行なってください。
試運転完了後取り外した部品を元通りに取り付けてください。

PAC-216VPの組込方法

前ページより

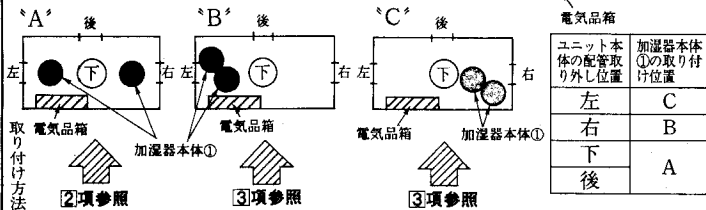
加湿器取付金具の準備

配管工事

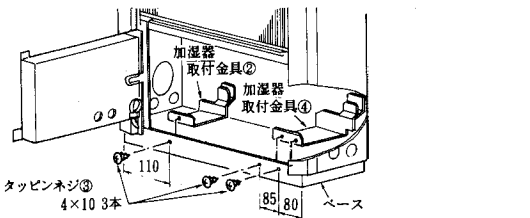
次ページへ
続く

1 ユニット本体の配管取り出し方向により加湿器本体①を取り付ける位置及び方法は次のようになります。

- ユニットの配管取り出し位置 (右図)
(本項の図はユニット本体の機械室平面図を示します。)
- 加湿器本体①の取り付け位置

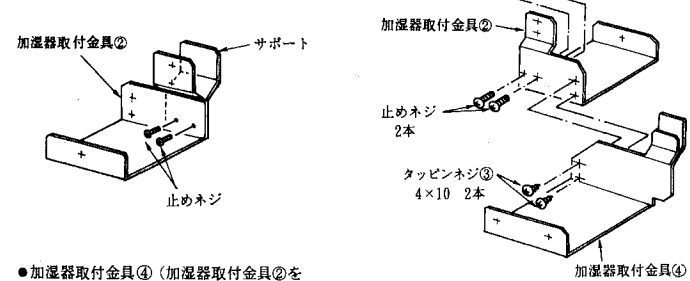


2 加湿器取付金具②、④をタッピンネジ③3本にてユニット本体のベースに取り付けます。



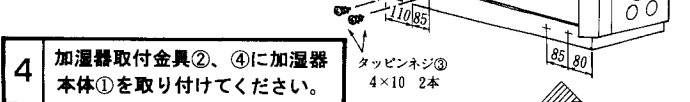
3 加湿器取付金具②のサポートを組換え、加湿器取付金具④にタッピンネジ③2本にて取り付けした後、タッピンネジ③2本にてユニット本体のベースに取り付けます。

- 加湿器取付金具②のサポートを組換える。
止めネジ2本を取り外してサポートを取り外してください。
- サポートを下図のように組換えた加湿器取付金具②を加湿器取付金具④にタッピンネジ③2本にて取り付けてください。



- 加湿器取付金具④(加湿器取付金具②を取り付けたもの)をユニット本体のベースにタッピンネジ③2本にて取り付けください。

4 加湿器取付金具②、④に加湿器本体①を取り付けてください。



①項の“C”位置への取り付けはこの部分の穴を利用してください。

- 加湿器本体の溝部を加湿器取付金具②、④の図示の部分に差し込んでください。

※加湿器本体①が床面に対して水平に取り付けられていることを確認してください。

給水パイプ⑩と吐出パイプ⑪(蒸気パイプ)を取り付けます。

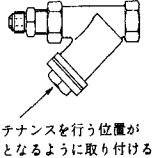
- フレアナット部の締付けは必ずダブルスパナにて行い、加湿器本体④、ストレーナ⑭等に無理な力を加えないように注意してください。
- フレア接続部は水モレのないように確実に締付けてください。

1 給水パイプ⑩を取り付けてください。

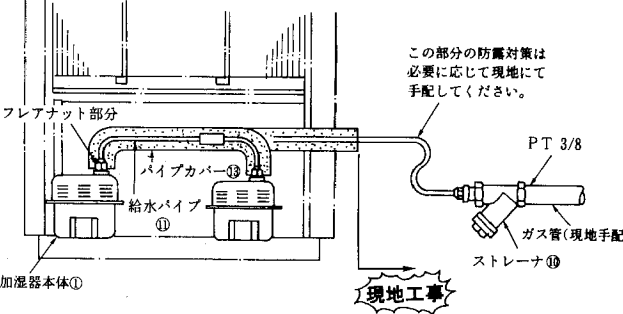
- 給水パイプ⑩の取り付けは現地工事側より行い、加湿器本体④への接続が最後となるようにしてください。
(配管内の切欠やゴミを流し出す必要があります)

●現地側配管工事
ユニット本体の外側は現地工事にてお願いします。

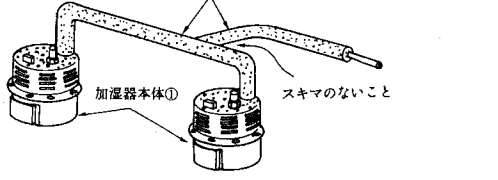
- ストレーナ⑭の取り付け位置、取り付け方法については現地工事にてお願いします。
- ストレーナ⑭の現地取り付け側(ガス側)はPT 3/8(メス)となっています。
- ※ストレーナ⑭はメンテナンスを行う必要がありますので、できる限りメンテナンスしやすい位置に取り付けてください。
- ストレーナ⑭は右図の向きに取り付けてください。



- ※現地工事側の配管工事完了後、配管内のクズや、ゴミ等を完全に流し出してください。
- 加湿器本体④の上部「給水口」表示の接続口に給水パイプ⑩を接続してください。
- 加湿器本体④に接続した給水パイプ⑩をパイプカバー⑬で被ってください。この時、加湿器本体④との接続部(フレアナット部分)もパイプカバー⑬で被うようにしてください。
- ※下図は、後、下配管の場合を示しますが、その他の場合についても下図と同様に作業を行ってください。



●パイプカバー⑬の取り付け方法

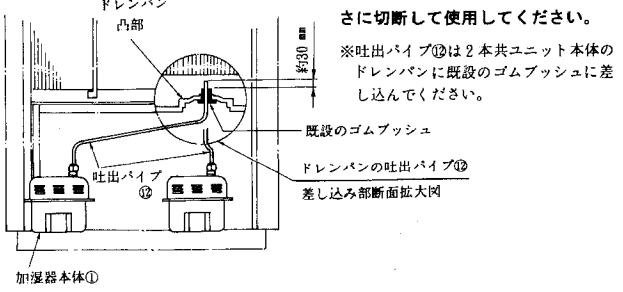


2 吐出パイプ⑫(蒸気パイプ)を取り付けてください。

- 加湿器本体④の上部「蒸気出口」表示の接続口に吐出パイプ⑫を接続してください。
- 吐出パイプ⑫のユニット本体への取り付けはユニット本体のドレンパン凸部にある既設のゴムブッシュの穴に差し込んでください。(2本共)。
- 吐出パイプ⑫は、長、短の2本があります。加湿器本体④の取り付け位置により使い分けてください。

●吐出パイプ⑫は配管途中にタワミやトラップを設けない状態とし、適切な長さにて切断して使用してください。

※吐出パイプ⑫は2本共ユニット本体のドレンパンに既設のゴムブッシュに差し込んでください。



PAC-216VPの組込方法

ユニット本体の準備

次ページへ
続く

ユニット本体

1 **エアフィルターと吸込グリルを取り外してください。**

エアフィルターと吸込グリルは最下部のみ取り外してください。

■エアフィルターの着脱のしかた

- 吸込グリルの一部がエアフィルターの取手(「フィルター」と表示)になっております。その取手を図のように矢印の方向に引けば簡単にはずれます。
- エアフィルターをセットする場合は確実に奥まで押し込んでください。

■吸込グリルの着脱のしかた

吸込グリルを左図のように、たわませながら上部(爪部)をキャビネットの角穴から外し手前に引いてください。(爪部が角穴にかかった状態で手前に無理に引きますと爪が折れる場合があります。)

最下部のエアフィルターと吸込グリル

角穴

爪

2 **サービスパネルを取り外してください。**

サービスパネル

- ① 止めネジ2本を外してください。
- ② 上方へ持ち上げてください。
- ③ 手前へ引いてください。

3 **コイルプレートを取り外してください。**

止めネジ4本

コイルプレート

- 止めネジ4本を取り外し、コイルプレートを取り外してください。

4 **電気品箱の止めネジ2本を取り外し電気品箱を手前に引き出してください。**

電源端子盤

アース端子

この部分の止めネジ2本を外して電気品箱を手前に引き出してください。

お願い

- ユニット本体の元電源スイッチがOFFであることを確認してください。
 - 供給水質……市水、上水またはこれと同等以上の水をご使用ください。
 - 供給水温度……90℃以下
 - 加湿器本体の給水口圧力は0.2～5 kg/cm²となるようにしてください。
- ※加湿器本体の給水口圧力が5 kg/cm²以上となる場合には必ず減圧弁を設けてください。(現地手配)

推奨減圧弁

| メーカー | 形名 |
|-------|------------|
| ヨシタケ | GD-53 |
| サギノミヤ | CRV-2006GL |
| ベ ン | RD-25S |

- 止水用バルブ……シーズンオフ、メンテナンス、緊急時の為に、ストレーナ(付属⑩)の上流に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
- この加湿器のみでは加湿量の調整はできません。
加湿量の調整を必要とする場合には市販のヒューミディスタットをご使用ください。(現地手配)

推奨ヒューミディスタット

| メーカー | 形名 | 温度調整範囲 |
|------|-------------|--------|
| ランコ | HS J13 | 20～80% |
| 山 武 | HS H46K1002 | 10～60% |

三菱電機パッケージエアコン用ベーパーパン加湿器外形図

形名 PAC-213VP・216VP

適用機種

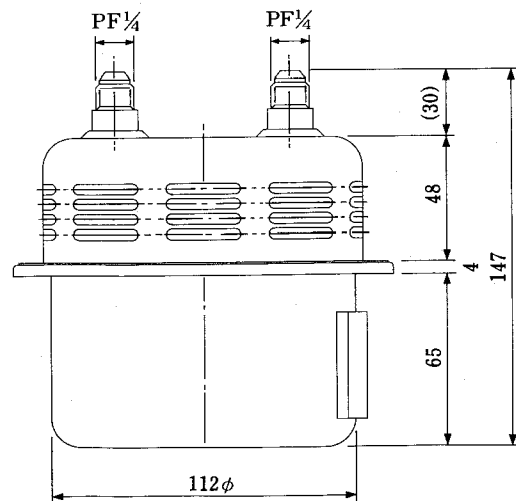
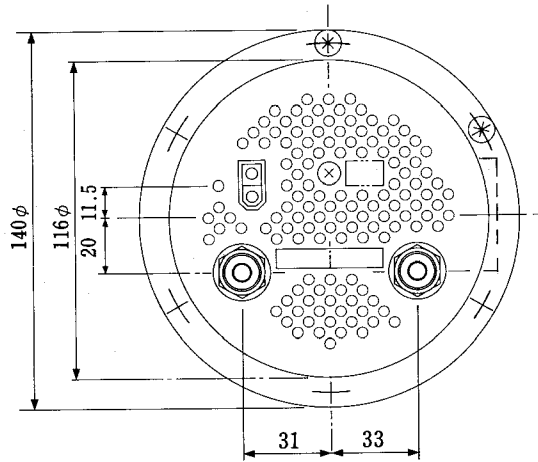
| | |
|-------|-----------------------|
| 213VP | PSH(Z)-45~80(S)EKH(D) |
| 216VP | PSH(Z)-100~140EKH(D) |

仕様

| | |
|-------|-------------------|
| 定格電源 | 単相200V 50/60Hz |
| 定格容量 | 0.4kW (0.8kW) |
| 標準加湿量 | 0.52ℓ/h (1.04ℓ/h) |

()内は、PAC-216VPの数値

※PAC-216VPは、2コ組

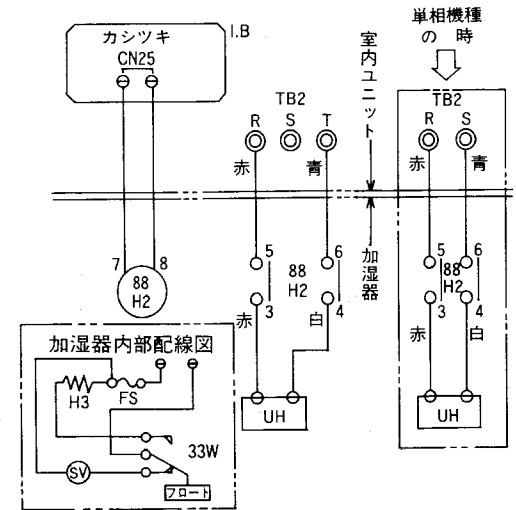


電気配線図

PAC-213VP

| 記号 | 名称 |
|------|-------------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| I.B | 室内コントローラボード |
| CN25 | コネクタ(加湿器) |
| 88H2 | 補助継電器(加湿器) |
| UH | 加湿器 |
| FS | 温度ヒューズ(139°C 10A) |
| H3 | 電熱器(加湿器) |
| 33W | スイッチ(フロート) |
| SV | 電磁弁 |

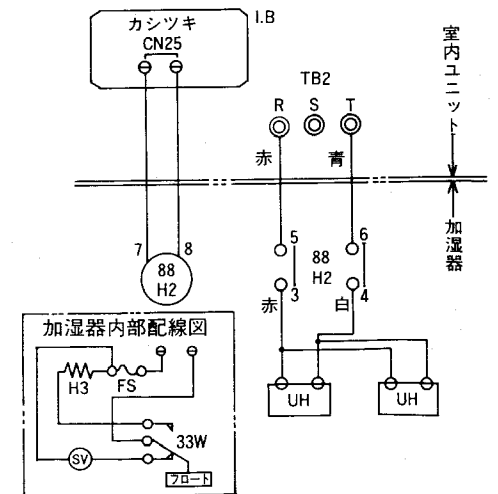
○…………コネクタ
◎…………端子盤を示す



PAC-216VP

| 記号 | 名称 |
|------|-------------------|
| TB2 | 端子盤(電源) |
| I.B | 室内コントローラボード |
| CN25 | コネクタ(加湿器) |
| 88H2 | 補助継電器(加湿器) |
| UH | 加湿器 |
| FS | 温度ヒューズ(139°C 10A) |
| H3 | 電熱器(加湿器) |
| 33W | スイッチ(フロート) |
| SV | 電磁弁 |

○…………コネクタ
◎…………端子盤を示す



加湿器(PCH-EKD形用)

形名 PAC-265・266・267HU

1 適用機種

| 形名 | PAC-265HU | PAC-266HU | PAC-267HU |
|------|-------------------------|-----------------------|------------------------|
| 適用機種 | PCH(Y)-35~50(S)EK(H)(D) | PCH(Y)-56~100EK(H)(D) | PCH(Y)-112~140EK(H)(D) |

※PCHZ形にも適用できます。

2 使用方法

自然蒸発式の加湿器です。室内ユニットに組み込み給水配管することにより、加湿をしながらマイルドな暖房運転が可能になります。

天吊コーナertypePCH-EKD形用別売「加湿器」仕様

| 形名 | PAC-265HU | PAC-266HU | PAC-267HU |
|-------------|-------------------------|-----------------------|------------------------|
| 適用機種 | PCH(Y)-35~50(S)EK(H)(D) | PCH(Y)-56~100EK(H)(D) | PCH(Y)-112~140EK(H)(D) |
| 加湿方式 | 自然蒸発式 | | |
| 標準加湿量 (ℓ/h) | 0.7 | 1.0 | 1.5 |
| 加湿エレメント | ポリオレフィン樹脂-AQ | | |
| | 色 グレー | | |
| | エレメント外形寸法(mm) 158×28×2t | | |
| | エレメント枚数(枚) | 58 | 87 |
| 水位制御 | フロートスイッチ | | |
| 給水制御 | 電磁弁 | | |
| 外形寸法 (mm) | 167×597×46.5 | 167×877×46.5 | 224×1,168×46.5 |

お願い

- 加湿器の組み込みはユニットを吊り下げる前に行なっていただく方が容易にできます。〔組み込みは下面(吸込側)より行ないます〕
- 供給水質……市水、上水またはこれと同等以上の水をご使用ください。
- 供給水温度……5℃～40℃
- 供給水圧力……電磁弁の入口圧力が0.5～1 kg/cm²になる様に必ず減圧弁を設けてください。(現地手配)

推奨減圧弁

| メーカー | 形名 |
|-------|-----------|
| ヨシタケ | GD-53 |
| サギノミヤ | CRV-1506G |
| ベン | RD-25S |

- 止水用バルブ……シーズンオフ、または緊急時等の為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
- 配管材……電磁弁入口側の配管材、断熱材は現地手配になります。
- 断熱材……(配管材は銅管外形φ6又はφ6.35をご用意ください)
現地側配管材の取出しは、ユニットの冷媒、ドレン配管用ノックアウト(右、後、上)より行なってください。

3 付属部品

この箱の中には、次の部品が入っていますので、ご確認ください。

| 番号 | 品名 | 個数 | 番号 | 品名 | 個数 | 番号 | 品名 | 個数 |
|----|----------------------|------|----|-----------|----|-------------------|----------|----|
| ① | 加湿器本体 | 1セット | ⑦ | バンド | 5本 | 以下の部品はPAC-266HUのみ | | |
| ② | 給水パイプ | 1セット | ⑧ | ファスナー | 3本 | ⑬ | フレームA | 1コ |
| ③ | 電磁弁 | 1セット | ⑨ | パイプカバー | 1本 | ⑭ | フレームB | 1コ |
| ④ | リレーアッシー(LY-3F DC12V) | 1セット | ⑩ | STネジ 4×6 | 2本 | ⑮ | フレームC | 1コ |
| ⑤ | 断熱材 | 2枚 | ⑪ | STネジ 4×10 | 2本 | ⑯ | STネジ 4×6 | 6本 |
| ⑥ | 配線名板 | 1枚 | ⑫ | STネジ 3×8 | 2本 | | | |

4 取付要領

次ページ以降の手順に従って行なってください。

- ②項の「お願い」事項は必ず守ってください。

ユニットの準備

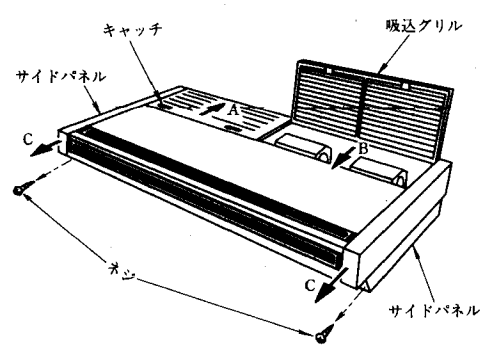
加湿器の準備

1 吸込グリルの取外し

- キャッチを矢印Aの方へ引き、吸込グリルを開きます。
次に矢印Bの方へスライドさせて取外してください。

2 サイドパネルの取外し

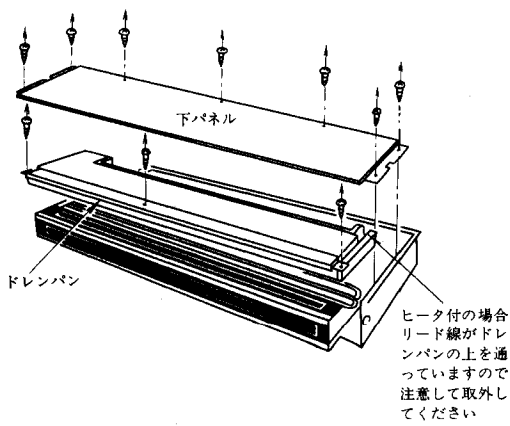
- 左右各1本のネジ(白)を取外し、サイドパネルを矢印Cの方へスライドさせて取外してください。



3 下パネルとドレンパンの取外し

- 各取付けネジを外し、下パネル、ドレンパンを取外してください。
- 下パネル

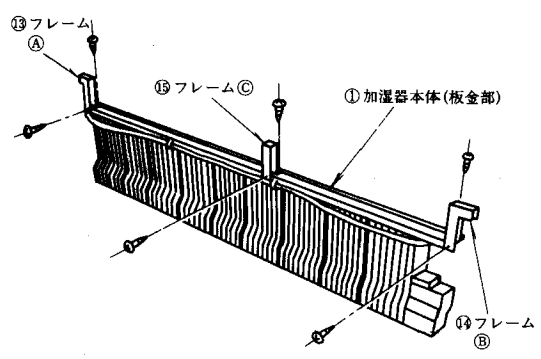
| | |
|-------------------------------|----|
| PCH(Y)-35~50(S)EK(H)(D) | 6本 |
| PCH(Y)-56~100EK(H)(D) | 7本 |
| PCH(Y)-112~140EK(H)(D) | 8本 |
- ドレンパン.....3本



PCH-80~100EKDに組込む場合

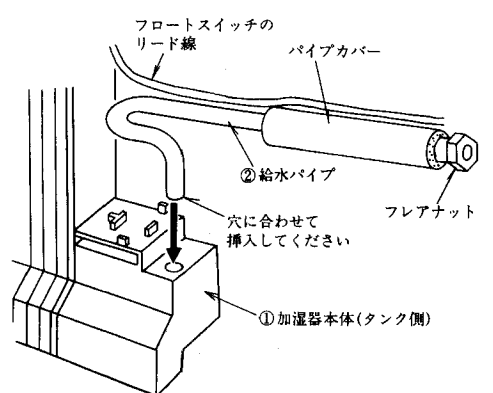
1 追加付属部品の取付け

- 加湿器本体①の板金部に追加付属部品⑬~⑮をS Tネジ⑯(6本)を使って取付けてください。

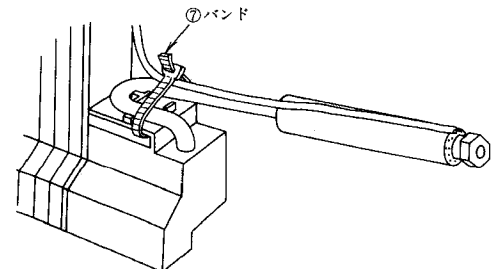


1 給水パイプの取付け

- 給水パイプ②のパイプカバーをフレアナット側に突当ててください。
- 加湿器本体①のタンク側に給水パイプ②を図のように取付け、バンド⑦(1本)でしっかり固定してください。その時加湿器本体①に取付けてあるフロートスイッチのリード線も共締めしてください。



- バンドの結び目はパイプの上部にくるようにしてください。
- 余ったバンドは切り取ってください。



前ページより

組込み

ユニットの据付

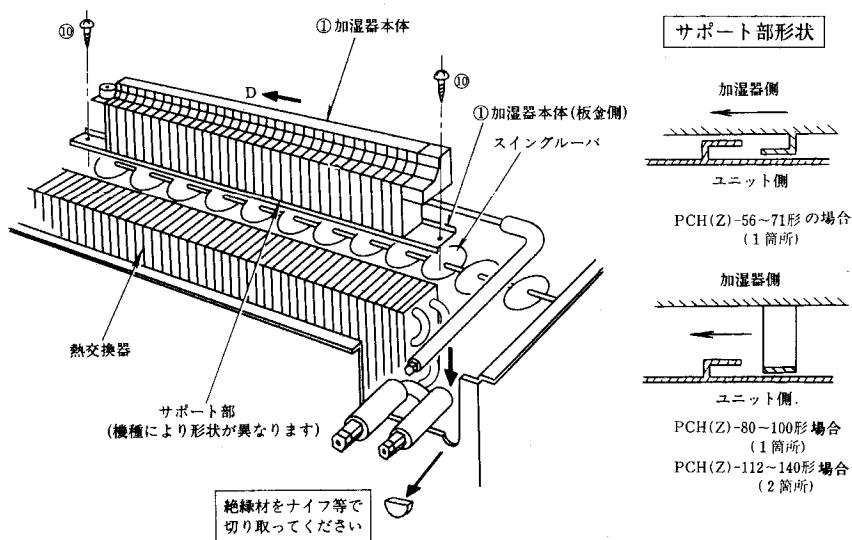
次ページへ続く

1 ユニットに給水パイプの出口を設けます

- 図のようにユニット配管側の絶縁材をナイフ等を使って板金形状に沿って切り取ってください。

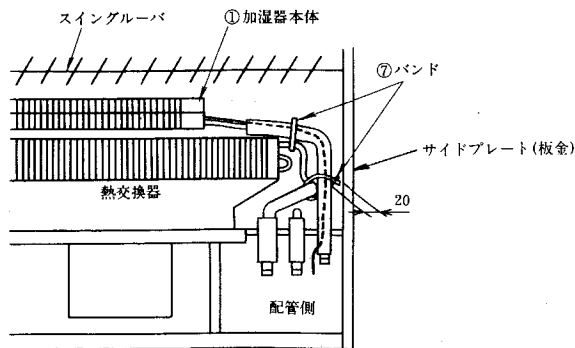
2 加湿器本体のユニットへの組込み

- 加湿器本体①は板金側を下にしてユニットの熱交換器とシングルルーバの間に取付けます。その時 PAC-266HU, 267HU の場合は矢印Dの方へスライドさせて取付けますので、板金側の中央サポート部がユニット側に挿入されたことを確認してからSTネジ⑩(2本)を使って取付けてください。



3 給水パイプの固定と位置決め

- 加湿器の給水パイプ②の下側にフロートスイッチのリード線を沿わせバンド⑦(2本)を使って図のように熱交換器のパイプにしっかり固定してください。その時給水パイプ②とサイドプレート(板金)の隙間は内寸で20mmになるようにしてください。(締付後余ったバンドは切り取ってください)
- 給水パイプ②の配管側は1項で切り取った絶縁材のU溝にしっかり挿入してください。



4 ユニットの据付

- ドレンパンと下パネルを外した時と逆の順序で取付けてください。
- ユニットの据付説明書に従ってユニットを据付けて冷媒、ドレン配管まで行なってください。

配管工事

配線接続

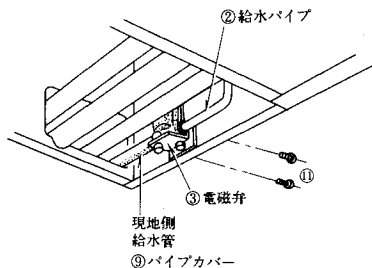
試運転

1 電磁弁の取付け

- 電磁弁③を向きに注意して図のようにSTネジ⑪(2本)を使って取付けてください。
- 電磁弁③と給水パイプ②を接続してダブルスパナでしっかり締付けてください。

2 現地側給水配管工事

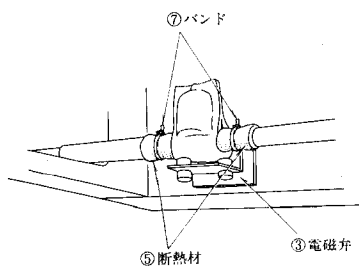
- 配管材は現地手配になりますので銅管外径φ6をご用意ください。
- 電磁弁③への接続は1/4フレア接続です。
- 電磁弁③と給水管の接続はダブルスパナでしっかり締付けてください。
- 付属のパイプカバー⑨を使ってユニット側の断熱を行なってください。それ以降につきましては現地手配にて露タレ等ないよう十分な断熱を行なってください。



注：上記(お願い)の5・6項にありますように現地手配にて必ず減圧弁ならびに止水用バルブを設けてください。

3 配管接続部の断熱

- 付属の断熱材⑤(2枚)を使って各配管接続部を隙間のないよう巻付け指圧後バンド⑦(2本)で締付けてください。(余ったバンドは切り取ってください)

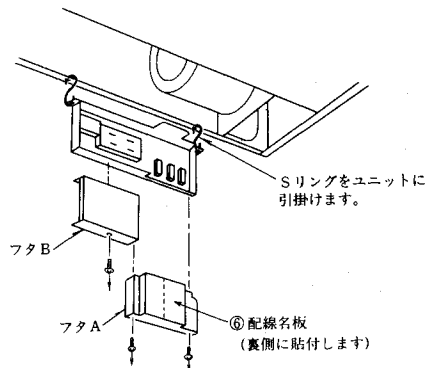


1 電気品箱の吊り下げ

- 電気品箱の取付けネジ(STネジ2本)を外し、概設のSリングを使ってユニットに吊り下げてください。
- 電気品箱のフタA(PTネジ2本)とフタB(PTネジ1本)を取外してください。

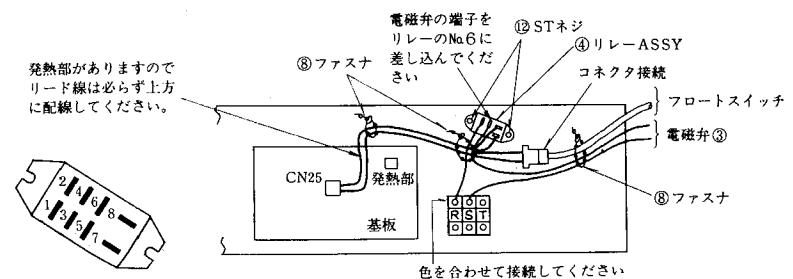
2 配線名板の貼付

- 付属の配線名板⑥を図のようにフタAの裏側に縦長にして貼付してください。



3 リレーASSYの取付け及び配線接続

- フロートスイッチのリード線及び電磁弁③のリード線を概設のリード線に沿わせて電気品箱内に引き込んでください。
- リレーASSY④を電源端子盤の上方にある取付穴にSTネジ⑫(2本)を使って図のように取付けてください。
- 電磁弁③のリード線、横形ファストン端子をリレーASSY④のNo.6に差し込みます。もう片方の丸形端子を電源端子盤" S " (白) に取付けてください。
- リレーASSY④のNo.4から出ているリード線(赤)を電源端子盤" R " (赤) に取付けます。次にNo.7から出ているコネクタを基板内中央にありますCN25に差し込みNo.8から出ているコネクタをフロートスイッチのコネクタと接続してください。(詳細は配線名板⑥を参照してください)
- 配管接続後ファスナ⑧(3本)を使って図のように他のリード線と一緒に束ねてください。



リレーASSY④の端子番号配置図

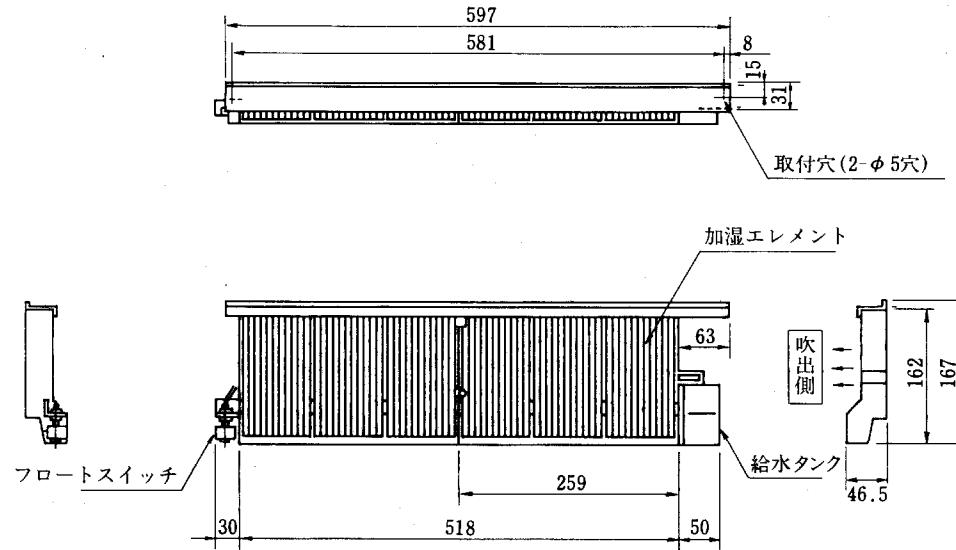
4 ユニット側の電気配線をユニット側の据付説明書に従って行なってください。

試 運 転

ユニット側の据付説明書に従って試運転(暖房)を行ない、水洩れ等のないことを確認してください。

三菱電機パッケージエアコン用加湿器外形図

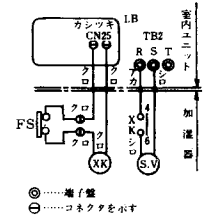
形名 PAC-265HU PCH-35~50(S)EK(H)D, PCHY-40・50EK



加湿器電気配線図

PAC-265~267HU

| 記号 | 名称 |
|-------|-------------|
| TB 2 | 端子盤<電源> |
| I. B | 室内コントローラボード |
| CN 25 | コネクタ<加湿器> |
| S. V | 電磁弁<給水> |
| F. S | フロートスイッチ |
| X K | 補助継電器<加湿器> |



お願い

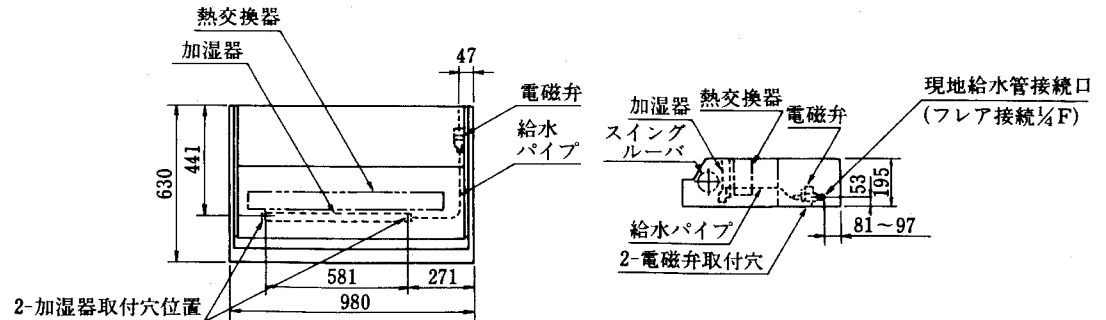
- 加湿器の組み込みはユニットを吊り下げる前に行なっていただく方が容易にできます。
〔組み込みは下面(吸込側)より行ないます〕
- 別売ドレンアップメカとの併用はできません。
- 供給水質……市水、上水またはこれと同等以上の水をご使用ください。
- 供給水温度……5℃~40℃
- 供給水圧力……電磁弁の入口圧力が0.5~1kg/cm²になる様に必ず減圧弁を設けてください。(現地手配)

推奨減圧弁

| メーカー | 形名 |
|-------|-----------|
| ヨシタケ | GD-53 |
| サキノミヤ | CRV-1506G |
| ベ | RD-25S |

- 止水用バルブ……シーズンオフ、または緊急時等の為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
- 配管材 ……電磁弁入口側の配管材、断熱材は現地手配になります。
(配管材は鋼管外形φ6又はφ6.35をご用意ください)
- 現地側配管材の取出しは、ユニットの冷媒、ドレン配管用ノックアウト(右、後、上)より行なってください。

ユニット組み込み配置図

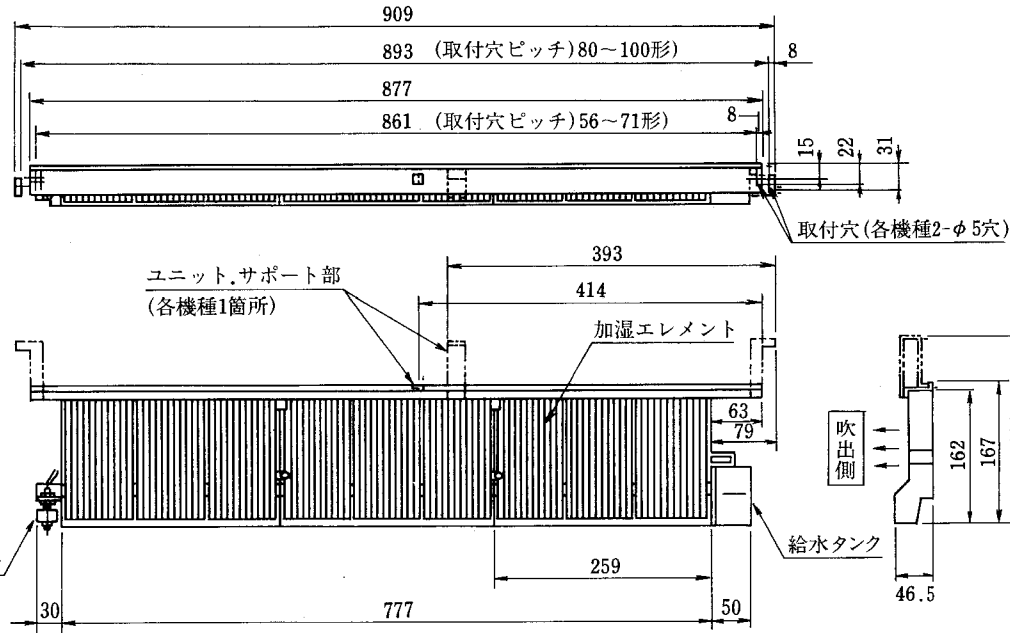


平面図(天井面カラ見ル)

右側面図

三菱電機パッケージエアコン用加湿器外形図

形名 PAC-266HU PCH-56~100EK(H)D, PCHY-63~100EK

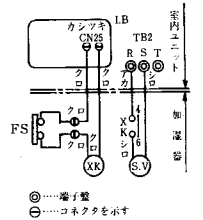


注1. 図中2点鎖線はPCH-80・100EKDに組込む場合を示します。
(部品は付属されておりますが現地取付になります)

加湿器電気配線図

PAC-265~267HU

| 記号 | 名称 |
|--------|-------------|
| T B 2 | 端子盤 <電源> |
| I. B | 室内コントローラボード |
| C N 25 | コネクタ <加湿器> |
| S. V | 電磁弁 <給水> |
| F. S | フロートスイッチ |
| X K | 補助継電器 <加湿器> |



お願い

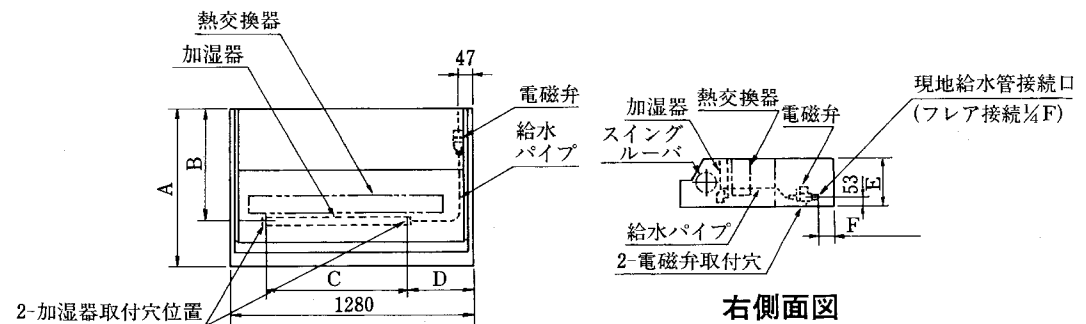
- 加湿器の組込みはユニットを吊り下げる前に行なっていただく方が容易にできます。
〔組込みは下面(吸込側)より行ないます〕
- 別売ドレンアップメカとの併用はできません。
- 供給水質……市水、上水またはこれと同等以上の水をご使用ください。
- 供給水温度……5℃~40℃
- 供給水圧力……電磁弁の入口圧力が0.5~1kg/cm²になる様に必ず減圧弁を設けてください。(現地手配)

推奨減圧弁

| メーカー | 形名 |
|-------|-----------|
| ヨシタケ | GD-53 |
| サキノミヤ | CRV-1506G |
| ベ ン | RD-25S |

- 止水用バルブ……シーズンオフ、または緊急時等の為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
- 配管材 ……電磁弁入口側の配管材、断熱材は現地手配になります。
(配管材は鋼管外形φ6又はφ6.35をご用意ください)
- 現地側配管材の取出しは、ユニットの冷媒、ドレン配管用ノックアウト(右、後、上)より行なってください。

ユニット組込み配置図

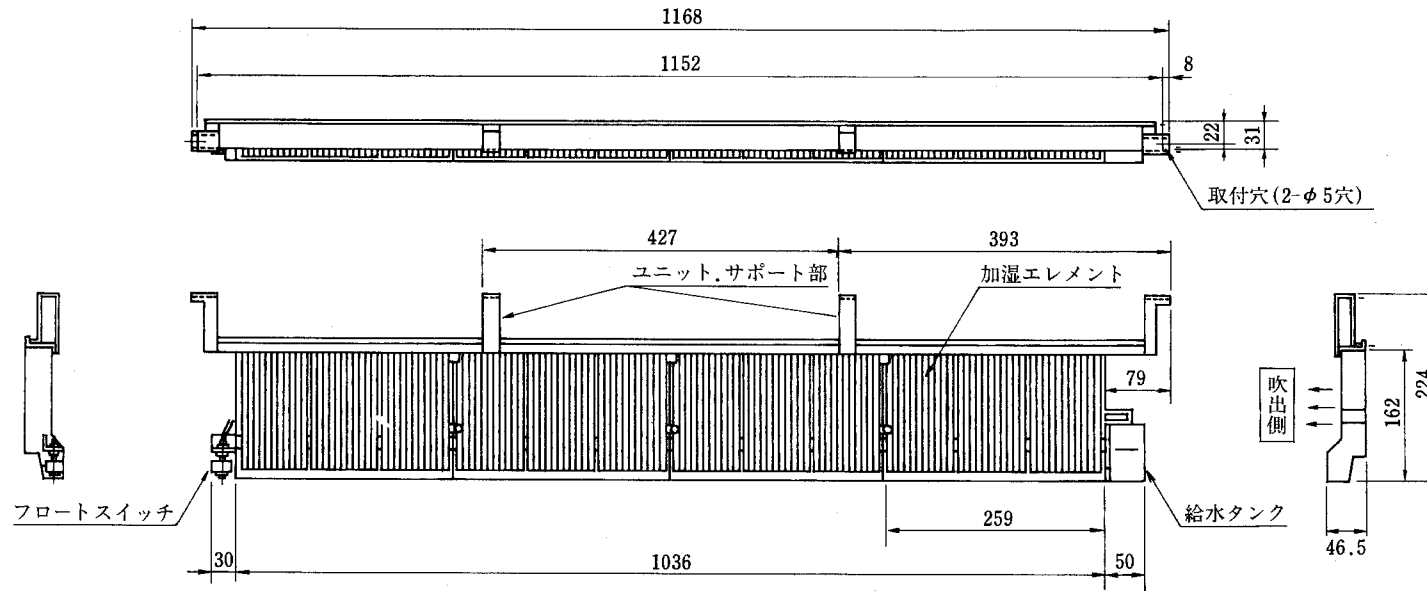


平面図 (天井面カラ見ル)

| 適用機種 | A | B | C | D | E | F |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|---------|
| PCH(Y)-56~71 EK(H)D | 630 | 441 | 861 | 271 | 195 | 81~97 |
| PCH(Y)-80~100 EK(H)D | 680 | 478 | 893 | 255 | 256 | 111~127 |

三菱電機パッケージエアコン用加湿器外形図

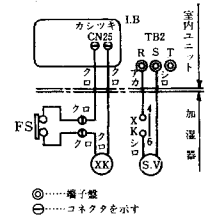
形名 PAC-267HU PCH-112~140EK(H)D, PCHY-125EK



加湿器電気配線図

PAC-265~267HU

| 記号 | 名称 |
|------|-------------|
| TB2 | 端子盤<電源> |
| I.B | 室内コントローラボード |
| CN25 | コネクタ<加湿器> |
| S.V | 電磁弁<給水> |
| F.S | フロートスイッチ |
| X.K | 補助継電器<加湿器> |



お願い

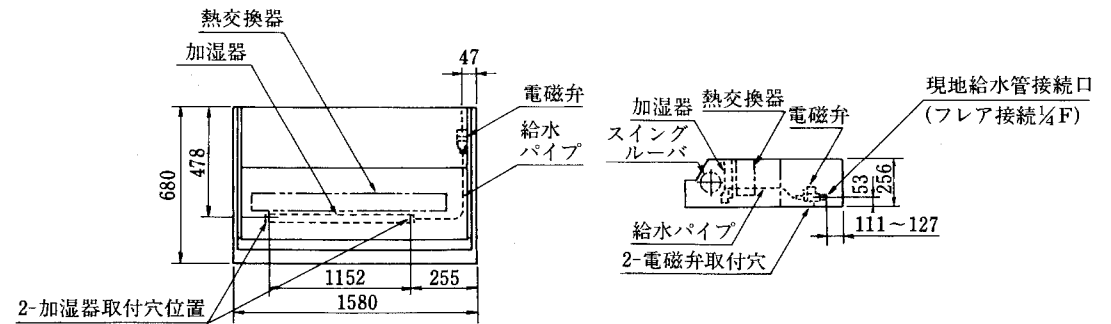
- 加湿器の組込みはユニットを吊り下げる前に行なっていただく方が容易にできます。
〔組込みは下面(吸込側)より行ないます〕
- 別売ドレンアップメカとの併用はできません。
- 供給水質……市水、上水またはこれと同等以上の水をご使用ください。
- 供給水温度……5℃~40℃
- 供給水圧力……電磁弁の入口圧力が0.5~1kg/cm²になる様に必ず減圧弁を設けてください。(現地手配)

推奨減圧弁

| メーカー | 形名 |
|-------|-----------|
| ヨシタケ | GD-53 |
| サキノミヤ | CRV-1506G |
| ベ | RD-25S |

- 止水用バルブ……シーズンオフ、または緊急時等の為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
- 配管材……電磁弁入口側の配管材、断熱材は現地手配になります。
(配管材は鋼管外形φ6又はφ6.35をご用意ください)
- 現地側配管材の取出しは、ユニットの冷媒、ドレン配管用ノックアウト(右、後、上)より行なってください。

ユニット組み配置図



平面図 (天井面カラ見ル)

右側面図

加湿器(PMH-EKD形用)

形名 PAC-251HU

1 適用機種

PMH-EK(H)D形用

2 使用方法

自然蒸発式の加湿器です。室内ユニットの上部に取りつけ、給排水配管を施行することにより、マイルドな加湿暖房が可能になります。

PMH-EK(H)D用別売「加湿器」仕様

| | | |
|--------------|-------------------|-------------------------------|
| 形名 | PAC-251HU | |
| 適用機種 | PMH-EK(H)D形 | |
| 電源 | 単相200V 50/60Hz | |
| 加湿方式 | 自然蒸発式 | |
| 標準加湿量 (ℓ/h) | 0.8~1.2 | |
| 加湿エレメント | 材質 | ポリオレフィン樹脂-AQ |
| | 色 | グレー |
| | エレメント外形寸法(mm) | 115×68×2 t |
| | エレメント枚数(枚) | 120 |
| 水位制御 | タイマースイッチ | |
| 給水制御 | 電磁弁 | |
| 送風機 | 形式 × 個数 | シロココファン × 1 |
| | 標準風量 (m³/min) | 1.8(Lo)、2.5(Mi)、3.0(Hi) |
| | 標準電機出力(kW)50/60Hz | 22/18(Lo)、27/23(Mi)、30/27(Hi) |
| 給水配管寸法 (φmm) | 6又は6.35(現地手配) | |
| 排水配管寸法 | VP-25(現地手配) | |

- 加湿器の組込みは、ユニットを吊り込む前に行ってください。吊込後は取付できません。
- 別売加湿ユニットは高さ10cmありますので、天井ふところ高さは10cm余分に必要です。ただし、ユニットの上部に取付けますので、室内ユニットの取付金具、配管等の天井面からの位置は変わりません。

※Lo、Mi、Hiはタブの切替えを示します。

3 付属部品

| 品番 | 品名 | 個数 |
|----|--------------|---------|
| ① | 加湿器本体 | 1 |
| ② | タッピンネジ(4×10) | 4 |
| ③ | 断熱材 | 2(大小各1) |
| ④ | バンド | 2 |
| ⑤ | ストレーナ | 1 |

4 取付要領

お願い

1. 加湿器の組込みは、室内ユニットを吊り下げる前に必ず行なってください。
2. 供給水質……市水、上水またはこれと同等以上の水をご使用ください。
3. 供給水温度……5℃~40℃
4. 供給水圧力……電磁弁の入口圧力が0.5~1kg/cm²になる様に必ず減圧弁を設けてください。(現地手配)

推奨減圧弁

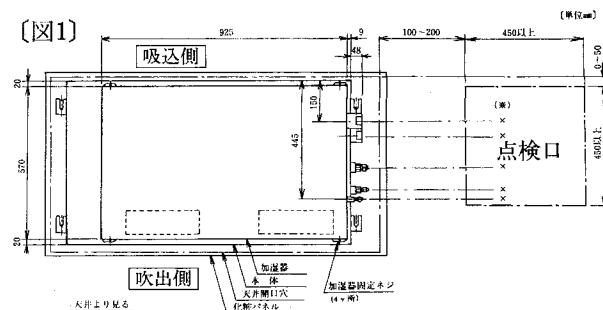
| メーカー | 形名 |
|-------|------------|
| ヨシタケ | GD-53 |
| サギノミヤ | CRV-2006GL |
| ベン | RD-25S |

5. 減圧弁の付近に必ず付属のストレーナを接続してください。
6. 止水用バルブ……シーズンオフ、または緊急時等の為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
7. 加湿器の長寿命化の為、軟水器または純水器の使用を推奨します。
8. 本体吊り下げ時は必ず水準器にて水平となるように調整してください。
9. 加湿器のドレン配管と、室内ユニットのドレン配管は別配管としてください。
10. 加湿器内のファンモータ及び加湿素子のサービス・メンテナンスは加湿器上面から30cm以上のスペースと天井内に人間が入るスペースがない場合はユニットを降して行なうことになります。

取付は次ページ以降の手順に従ってください。

- 取付作業・点検サービス作業が容易に行える様にユニット本体用天井開口穴と別に点検口を必ず設けてください。(下図参照)

〔図1〕



- ※加湿器の給水配管・ドレン配管、ユニットのドレン配管、冷媒配管は点検口の上を通らないように施工してください。加湿器内の電磁弁及び加湿コントローラボードのサービス・メンテナンスがやりやすくなります。

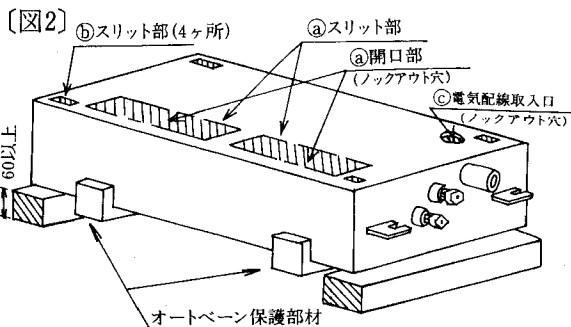
ユニットの準備

加湿器の準備

次ページへ
続く

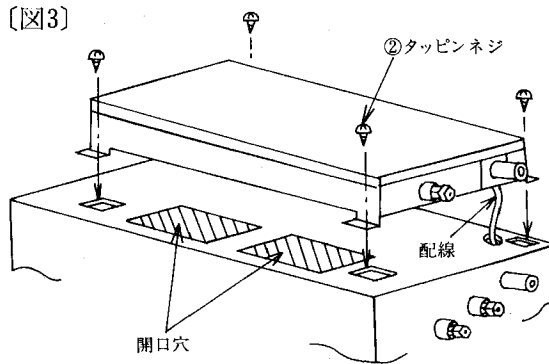
1 ユニットの準備

- 加湿器を取付ける際、ユニットの準備として下記作業が必要ですので必ず行ってください。
- 注) ユニットのオートベーンを損傷させないためにオートベーンに荷重がかからないようにユニットを置いてください。またオートベーン保護部材はユニットを据付けるまで取外さないでください。
- a) ユニットの天井面側のノックアウト穴開口
 - 1) ユニット天井面側の断熱材のスリット部をカッターナイフ等で切取ってください。
 - 2) ノックアウト部を開けてください。
 - 3) ユニット内部の断熱材をノックアウト穴に沿ってカッターナイフ等で切取ってください。
- b) 加湿器取付用凹部確保
 - 1) ユニット天井面側の各コーナーにあります断熱材のスリット部をカッターナイフ等で切取って、加湿器取付用のための凹部を確保してください。
- c) 電気配線取入口(ノックアウト穴)の開口
 - 1) ユニット天井面側の断熱材のスリット部をカッターナイフ等で切取ってください。
 - 2) ノックアウト部を開けてください。
- 注) ノックアウト部を開ける途中で内部の断熱材がはがれた場合は、開口後、修復してください。



2 加湿器取付

- ユニットの準備が完了しましたら次の手順で加湿器を取付けてください。また加湿器の方向は[図3]のようになるように注意してください。
- 1) 加湿器の底部から出ている配線をユニットの天井面にあります電気配線取入口を貫通させてください。
- 2) 加湿器を付属のタッピンネジ②(4本)でユニットの天井面に固定してください。



3 ユニット据付

- 上記の作業が完了しましたらユニットを据付けます。ユニットの据付方法についてはユニット付属の据付説明書により行ってください。

前ページより

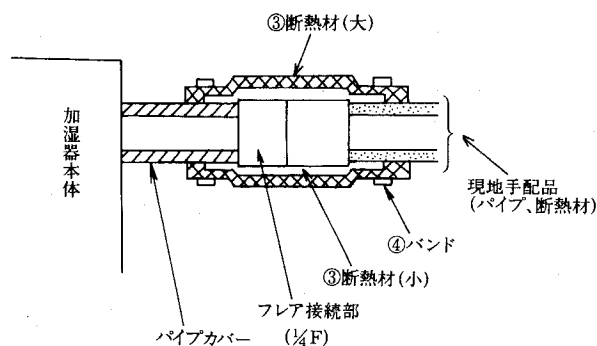
配管工事

次ページへ
続く

4 給水配管工事

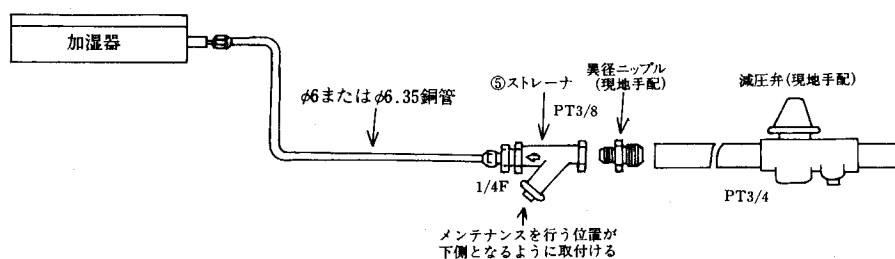
- 配管材は現地手配になりますので銅管外径φ6またはφ6.35をご用意ください。
- 加湿器への接続は1/4Fフレア接続です。
- 加湿器と給水管の接続はダブルスパナでしっかり締付けてください。
- 付属の断熱材③とバンド④を使って配管接続部の断熱を行なってください。それ以降につきましては現地手配にて露タレ等ないよう十分な断熱を行なってください。

〔図4〕



- 付属のストレーナ⑤を加湿器と減圧弁(現地手配)との間に必ず設置してください。
- ストレーナ⑤は出口側のみ1/4Fフレア接続となっています。
- 入口側の接続には現地配管に合った異径ニップルを現地手配にてお願いします。
- ストレーナはサービスできる所へ設置して下さい。
- 現地の配管部分には、十分な断熱を行って下さい。

〔図5〕



5 ドレン配管工事

- ドレン配管サイズはVP-25です。
- ドレン配管は下り勾配(‰以上)となるようにしてください。
- ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。
- 配管後、排水が確実に行われていることと、接続部からの水洩れのないことを確認してください。
- 屋内を通るドレン配管は、必ず市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03、肉厚9mm以上)を巻いてください。
- ユニットのドレン配管とは別配管としてください。

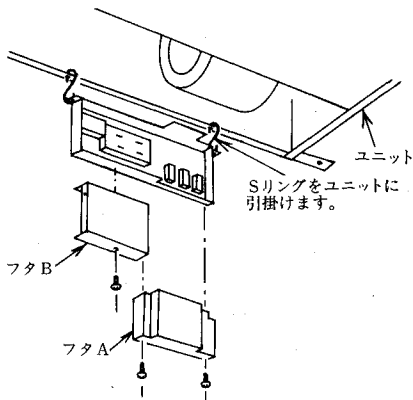
前ページより

配線接続

6 電気品箱吊下げ

- 電気品箱の取付けネジ(2本)を外し、既設のSリングを使ってユニットに吊り下げてください。
- 電気品箱のフタA(ネジ2本)とフタB(ネジ1本)を取外してください。

〔図6〕



7 配線接続

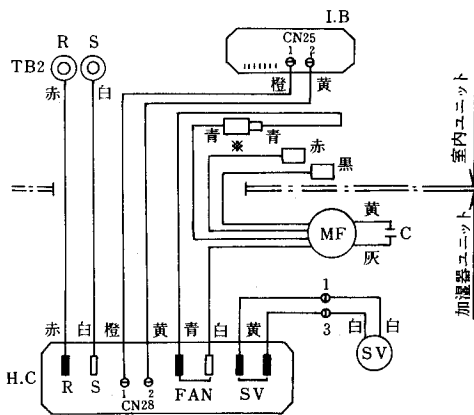
- 電気配線図に基づいて配線接続をしてください。(室内ユニット側のみ)
- この加湿器は室内ユニットの大きさによって送風機用電動機(加湿器)のノッチ切換が必要となります。図中の※部の差込みタブを室内ユニットの形名に合わせて差換えてください。ただし工場出荷時はPMH-56~100タイプに合せてあります。

〔電気配線図〕

| 記号 | 名称 |
|------|----------------|
| TB2 | 端子盤<電源> |
| I.B | 室内コントローラボード |
| CN25 | コネクタ<加湿器> |
| H.C | 加湿コントローラボード |
| CN28 | コネクタ |
| SV | 電磁弁<給水> |
| MF | 送風機用電動機 |
| C | コンデンサ<送風機用電動機> |

※部切換

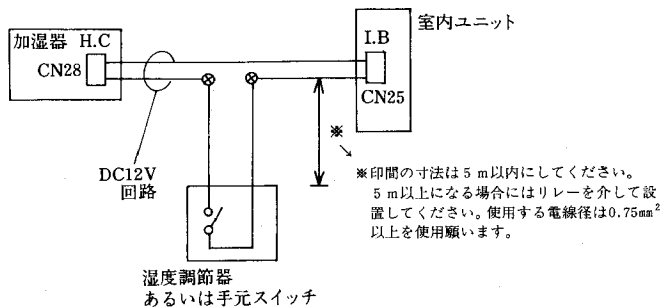
| | |
|-------------|-------|
| PMH-50以下 | 黒(Lo) |
| PMH-56~100 | 青(Mi) |
| PMH-112~140 | 赤(Hi) |



湿度調節器あるいは手元スイッチを使用する場合の配線変更(現地手配)

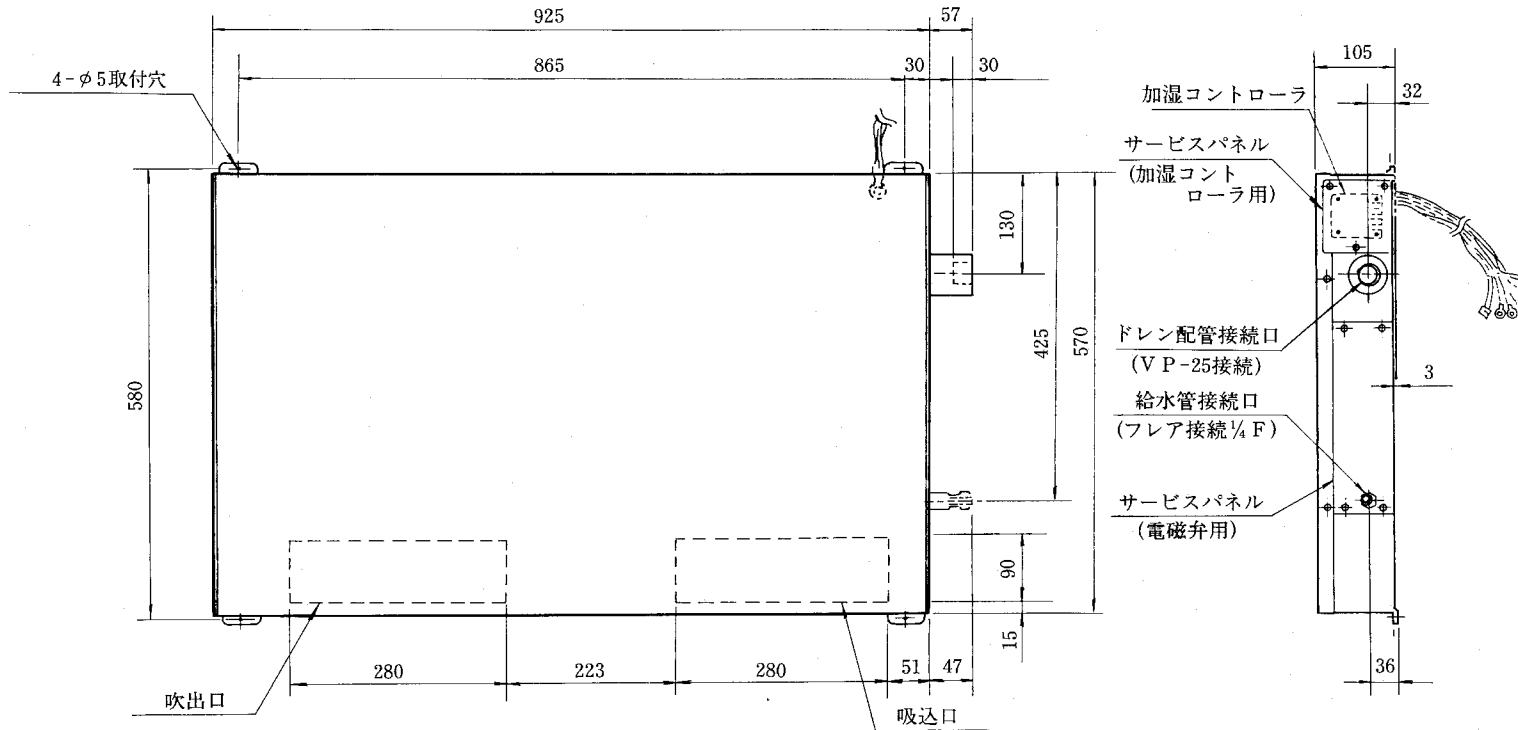
〔図7〕においてコネクタCN25とCN28に接続している線間に直列に入れます。

〔図7〕

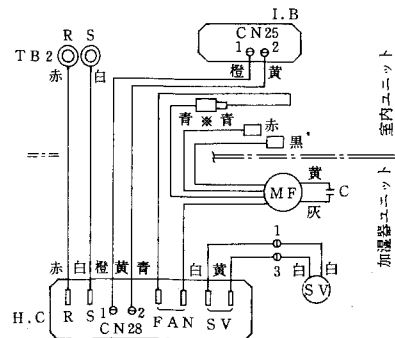


三菱電機パッケージエアコン用加湿器外形図

形名PAC-25IHU 適用機種PMH-EK(H)D形全機種



電気配線図



| | 記号 | 名称 |
|-----|------|----------------|
| 本体 | TB2 | 端子盤<電源> |
| | I.B | 室内コントローラボード |
| 加湿器 | CN25 | コネクタ<加湿器> |
| | H.C | 加湿コントローラボード |
| | CN28 | コネクタ |
| | SV | 電磁弁<給水> |
| | MF | 送風機用電動機 |
| | C | コンデンサ<送風機用電動機> |

※部切換 (注2)

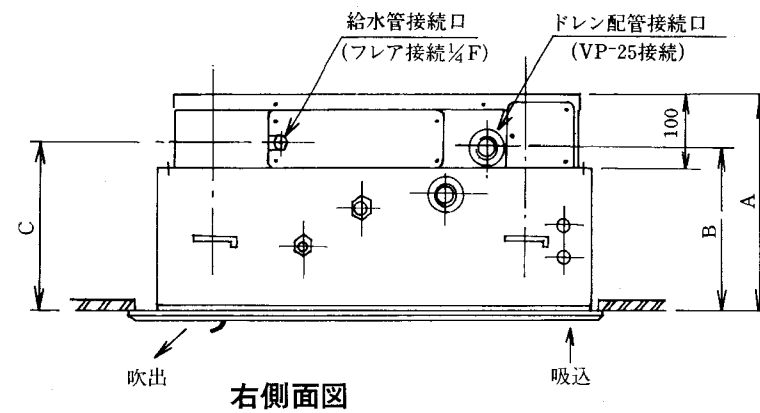
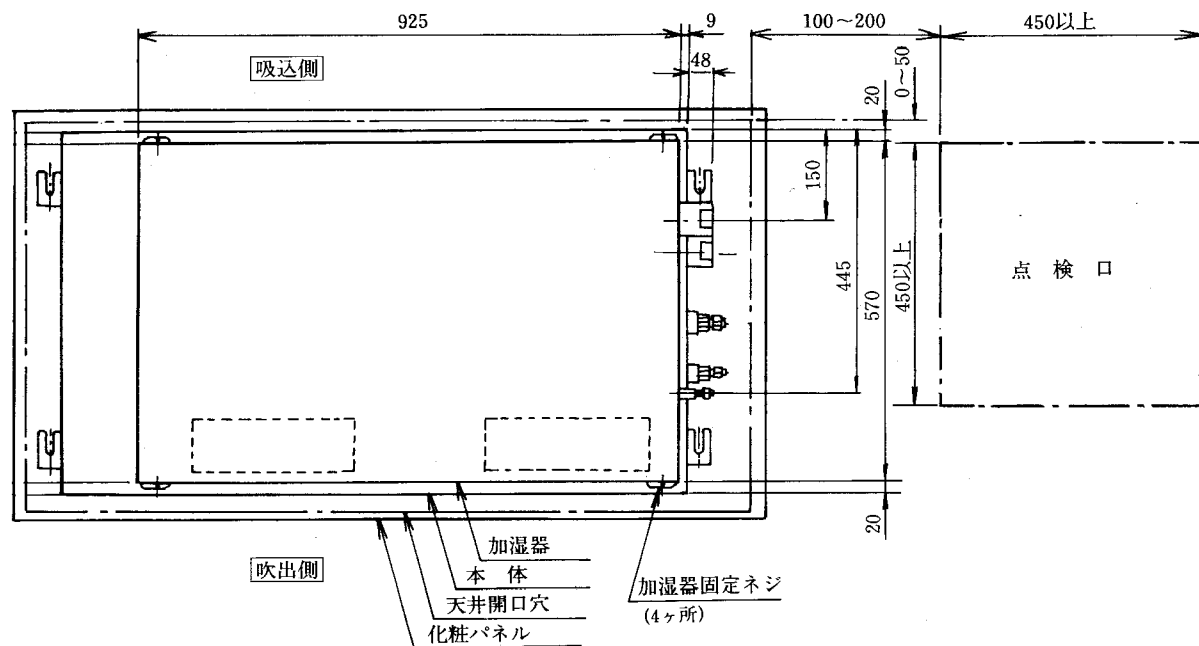
| | |
|-------------|--------|
| PMH-50以下 | 黒 (Lo) |
| PMH-56~100 | 青 (Mi) |
| PMH-112~140 | 赤 (Hi) |

注1. 図中、◎は端子盤、①はコネクタ、□は差込みタブを示します。
 注2. この加湿器は、室内ユニットにより送風機用電動機のノッチ切換が必要となります。図中の※部の差込みタブを室内ユニットに合わせて差換えてください。ただし、工場出荷時は、PMH-56~100タイプに合わせてあります。

- 供給水質……市水・上水またはこれと同等以上のもの。
- 供給水温度……5℃~40℃
- 供給水圧力……電磁弁の入口圧力が0.5~1kg/cm²になる様に必ず減圧弁を設けること。(現地手配)
 推奨減圧弁：ヨシタケ……GD53
 サギノミヤ……CRV-1506G
 ベン……RD-25S
- 止水用バルブ……シーズンオフ、または緊急時等の為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けること。(現地手配)
- 配管材・断熱材……給水配管接続口までの配管材、断熱材は現地手配になります。(配管材は銅管材は銅管外径φ6又はφ6.35をご用意ください。)(ドレン配管は硬質塩ビ管VP25をご使用ください。)

三菱電機パッケージエアコン用加湿器本体取付図

形名PAC-25IHU 適用機種PMH-EK(H)D形全機種



| | A | B | C |
|------------------|-----|-----|-----|
| PMH-45~71EK(H)D | 298 | 225 | 229 |
| PMH-80~140EK(H)D | 359 | 286 | 290 |

注意 加湿器を取付ける時には必ず、上記点検口を設置してください。

高性能フィルター (PLH-GKD用)

形名 PAC-SB48・49AF
PAC-SB52・53KF

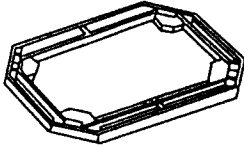

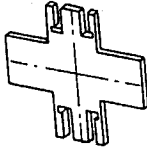
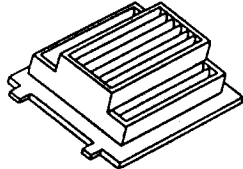
1 適用機種

| | 形名 | 適用機種 |
|--------------------|------------|----------------|
| 高性能フィルター ケースメント | PAC-SB48AF | PLH-35~90GKD |
| | PAC-SB49AF | PLH-100~140GKD |
| 高性能フィルター エレメント | PAC-SB52KF | PLH-35~90GKD |
| | PAC-SB53KF | PLH-100~140GKD |

2 使用方法

この高性能フィルターは、空気中に浮遊しているチリ・ホコリ・タバコの煙等微細な粒子をフィルターをろ過させる事により、効果的に取除きます。

3 付属部品

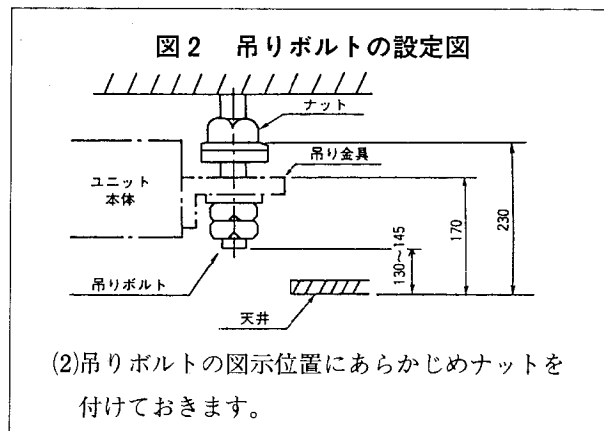
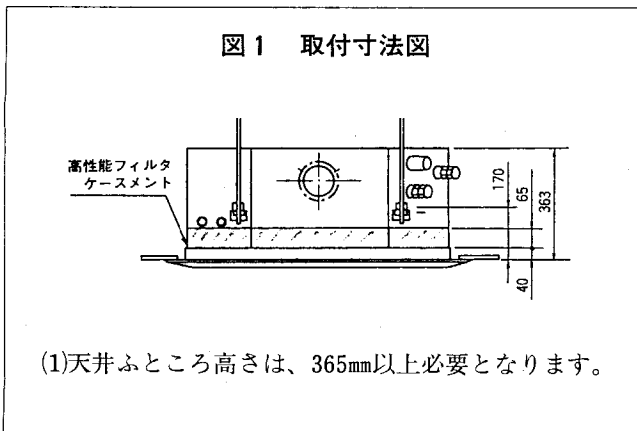
| 高性能フィルターケースメント | | | 高性能フィルターエレメント |
|---|--|--|---|
| ①高性能フィルターケースメント | ②座付ネジ | ③据付用ゲージ | ①フィルターエレメント |
|  1個 | M5×0.7×12  PAC-SB48AF…4個 PAC-SB49AF…6個 |  (4分割にして使用) 1枚 |  PAC-SB52KF…1個 PAC-SB53KF…2個 |

4 メンテナンス

- 空気中の汚れは集塵部に付着し、滞積していきますので定期的にフィルターエレメントを交換してください。
- 交換目安……一般事務所 2,500時間 (年1回位)
- フィルター交換要領は別売のフィルターエレメントをユニットの下方より簡単に交換出来ます。

5 取付要領

1. 高性能フィルターケースメント据付寸法



2. 高性能フィルタケースメント取付け

あらかじめユニット本体の電源配線カバーを取りはずしておいてください。

(1)ケースメント①をユニット本体に座付ネジ②(M5×0.7×12)にて図のように固定してください。

※ケースメント①は室内ユニット据付後はユニット本体に仮止めでできませんので取付時ご注意ください。

3. ユニットの据付け

(1)ユニット本体側の据付説明書を参照しながら、ユニットを据付けてください。この際、この高性能フィルタケースメントに付属されている据付用ゲージ③をご利用ください。詳細な使用方法は室内ユニットの据付説明書及び据付用ゲージ③に記載してあります。

(2)据付後、ユニット本体の電源配線カバーの下にあるケースメントの取付板を取りはずして電源線の配線を行なってください。

配線終了後、ユニット本体の電源配線カバー、ケースメントの取付板の順に取付けてください。

4. 化粧パネル取付け

(1)化粧パネルの据付説明書を参照しながら化粧パネルを取付けてください。

5. 高性能フィルタエレメント取付け

(1)化粧パネル標準取付のロングライフフィルタを外してください。

(2)ロングライフフィルタの装着と同様に別売フィルタエレメントを取付けてください。

※エアコン試運転は標準取付のロングライフフィルタを使い、ユニット据付時のゴミやホコリを取り除き、試運転終了後に高性能フィルタエレメントと交換してください。フィルタの寿命に影響します。

①化粧パネルのグリルヒンジ側の穴にフィルタエレメントのツメを引掛ける。

②フィルタエレメントをツメ部を支点に回転させ化粧パネル内に納め、キャッチにて固定する。

③グリルを閉める。

図3 高性能フィルタケースメント取付図

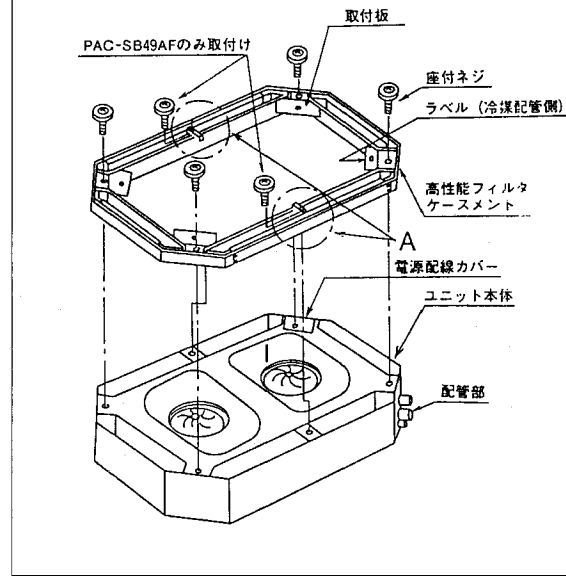


図4 A部詳細図(PAC-SB49AFのみ)

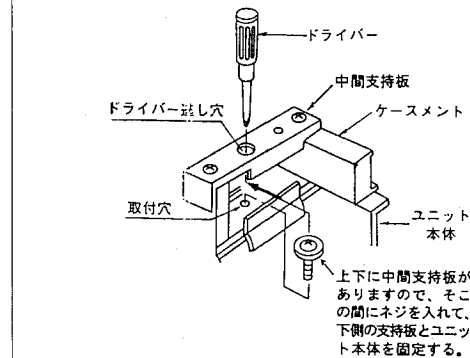
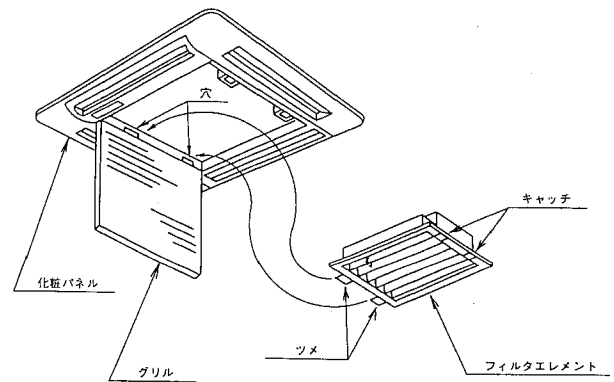


図5 フィルタエレメント取付け



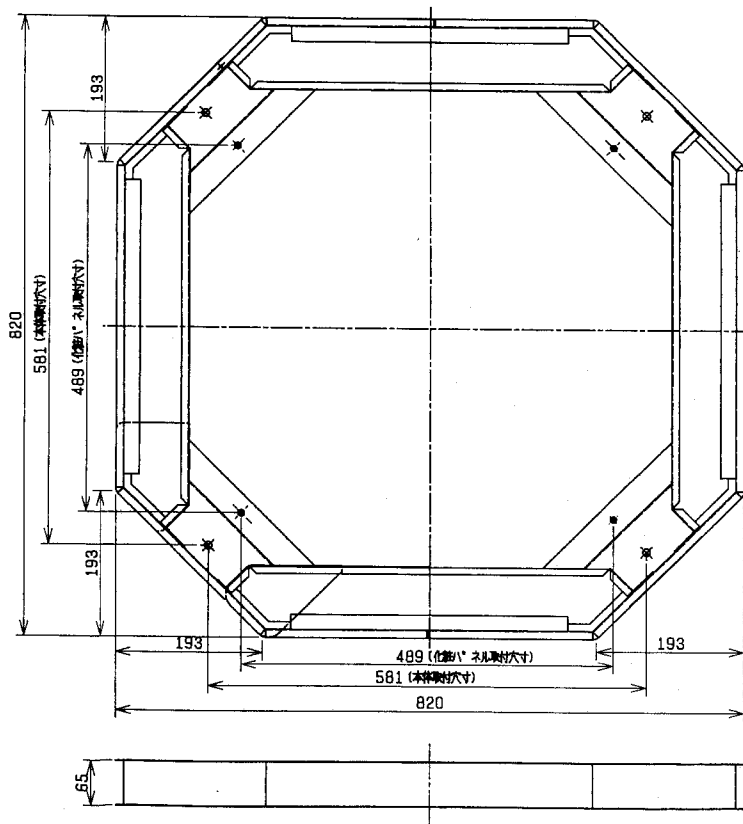
ご注意

1. 高性能フィルタご使用時は、別売高性能フィルタケースメントと別売フィルタエレメントがセットが必要です。
2. フィルタエレメントは洗浄再生できません。使い捨てです。
3. 据付場所において、油の飛沫や蒸気の多い所はさけてください。
4. 高性能フィルタケースメントの取付けは、室内ユニットを吊り下げる前に行なっていただく方が容易にできます。また室内ユニット据付後、高性能フィルタケースメントを取付ける場合は必ず元電源を切ってから行なってください。
5. 高性能フィルタケースメント取付後の室内ユニット及び化粧パネルの取付手順は各々の説明書をご参照ください。
6. この説明書は吊り下げ前の表現になっていますのでご注意ください。

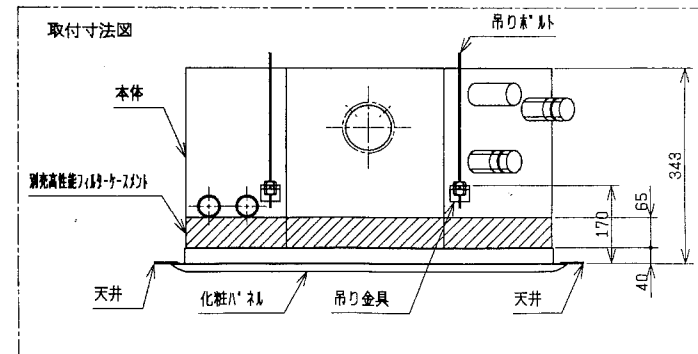
三菱電機パッケージエアコン用高性能フィルタケースメント外形図

形名 PAC-SB48AF

適用機種 PLH-35~90GKD



注1, 別売高性能フィルタ-取付時は天井ふところ高さが、360以上必要となります。

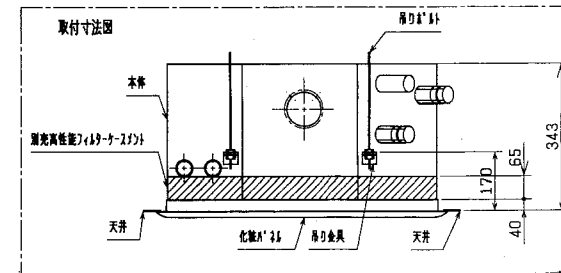
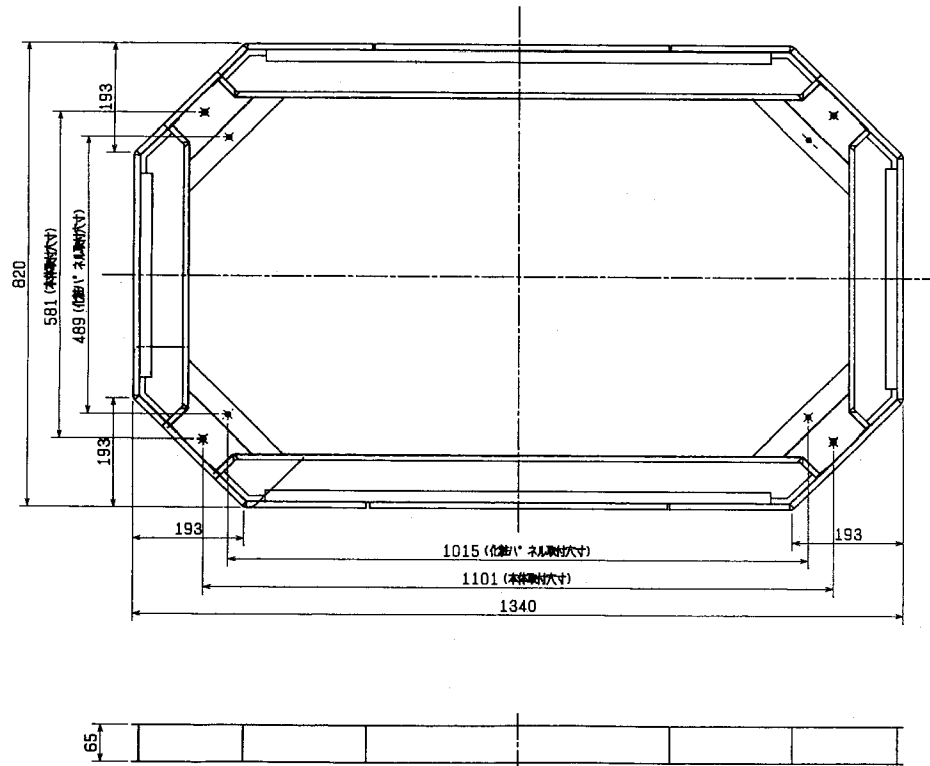


三菱電機パッケージエアコン用高性能フィルタケースメント外形図

形名 PAC-SB49AF

適用機種 PLH-100~140GKD

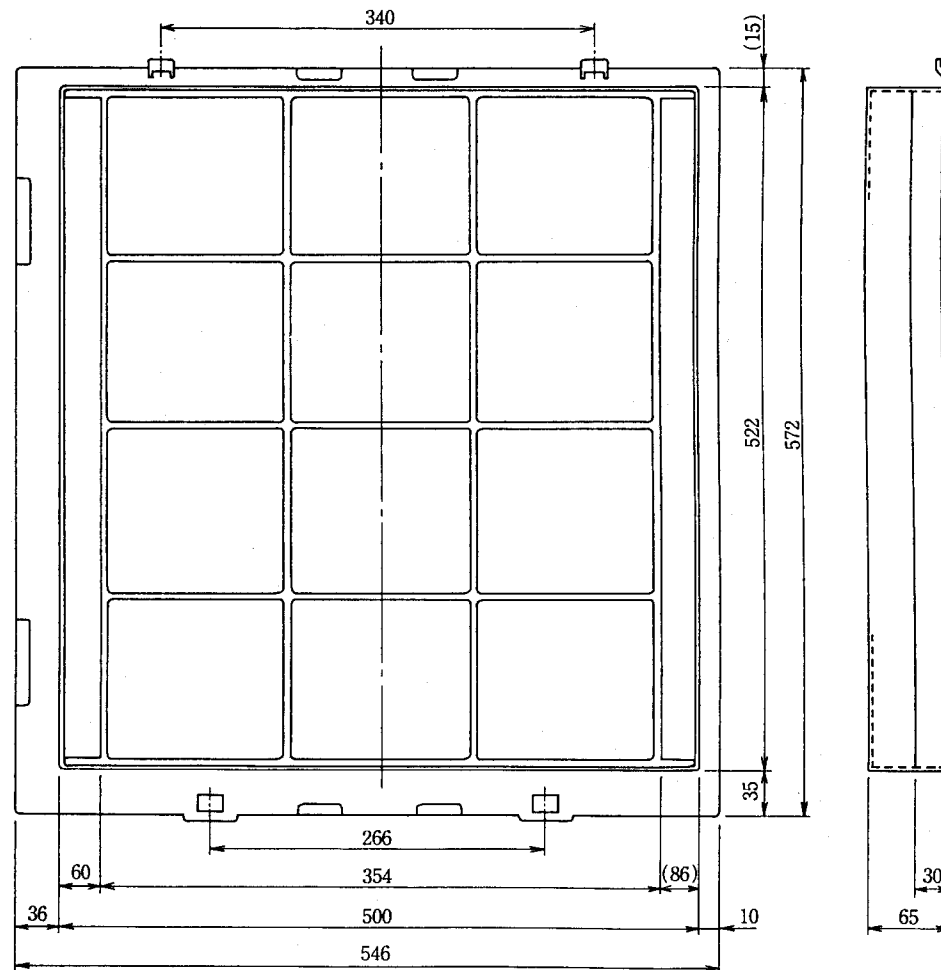
注1, 別売高性能フィルタ-取付時は天井ふところ高さが、
360以上必要となります。



三菱電機パッケージエアコン用高性能フィルタエレメント外形図

形名 PAC-SB52KF

適用機種 PLH-35~90GKD

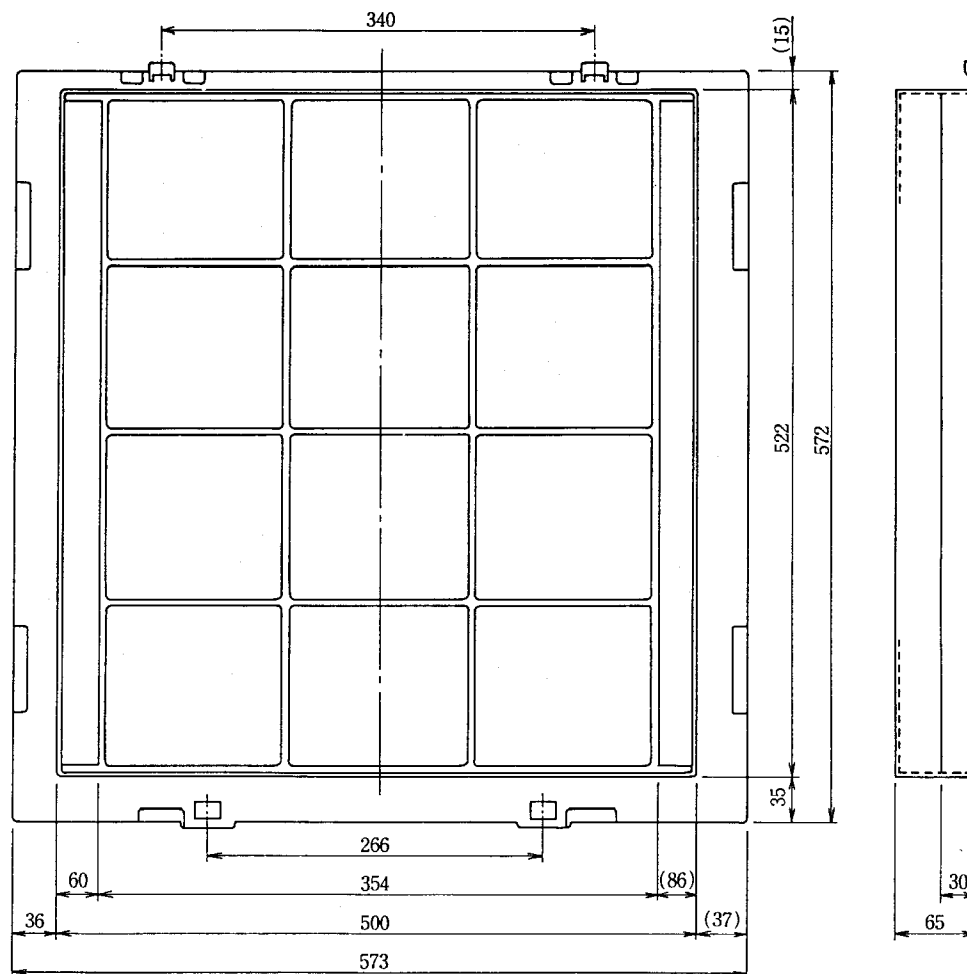


三菱電機パッケージエアコン用高性能フィルタエレメント外形図

形名 PAC-SB53KF

適用機種 PLH-100~140GKD

※100~140形は左図の
フィルタエレメント
2個使いとなります。
(PAC-SB53KFに2
個入っています)



高性能フィルター(PLH-EKD用)

形名 PAC-^{937・938}_{939・940}AF

1 適用機種

| 形名 | PAC-937AF | PAC-938AF | PAC-939AF | PAC-940AF |
|------|-------------------------|---|-----------------------|------------------------|
| 適用機種 | PLH(Y)-25~40(S)EK(H)(D) | PLH(Y)-45・50(S)EK(H)(D) PLH(Y)-56~71EK(H)(D) | PLH(Y)-80~100EK(H)(D) | PLH(Y)-112~140EK(H)(D) |

2 使用方法

この高性能フィルターは空気中に浮遊しているホコリを取り除き、オフィスの空気をクリーンに保ちたい時にご使用ください。

3 付属部品

| 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 |
|----|-------------|----|----|--------------|----|
| ① | アタッチメント | 2 | ⑤ | *タッピンネジ 4×16 | 4 |
| ② | 小ネジ M4×10 | 4 | ⑥ | フック (長) | 1 |
| ③ | 高性能フィルター | 1 | ⑦ | ゲージ | 1 |
| ④ | 座付小ネジ M4×20 | 4 | | | |

*PAC-937AFには入っていません。

4 メンテナンス

- 空気中の汚れは集じん部に付着し、滞積していきますので定期的にフィルター(沪材)を交換してください。
- 交換日やす……一般事務所 3,000時間(年1回位)
- フィルター交換要領は空気清浄器と同様に別売のフィルターをユニットの下方より簡単に交換できます。

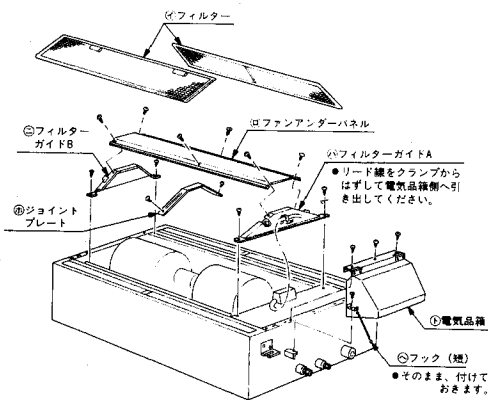
交換用フィルター

| 形名 | PAC-835KF | PAC-836KF | PAC-837KF | PAC-838KF |
|------|-------------------------|---|-----------------------|------------------------|
| 適用機種 | PLH(Y)-25~40(S)EK(H)(D) | PLH(Y)-45・50(S)EK(H)(D) PLH(Y)-56~71EK(H)(D) | PLH(Y)-80~100EK(H)(D) | PLH(Y)-112~140EK(H)(D) |

5 取付要領

1. 取付準備

- 高性能フィルターを取付ける前に、室内ユニットから部品を右図に基づきそれぞれ取外してください。また、赤色で表示された部品は不要となります。
- ①フィルター
- ②ファンアンダーパネル(タッピンネジ4本または6本)
 - PLH-35~71タイプはタッピンネジ4本
 - PLH-80~140タイプはタッピンネジ6本
- ③フィルターガイドA(タッピンネジ2本)
- ④フィルターガイドB(タッピンネジ2本)
- ⑤ジョイントプレート(タッピンネジ2本)
 - PLH-80~140タイプのみ
- フック(短)は、サービス・メンテナンスの際必要となります。電気品箱にそのまま引っ掛けておきます。
- ⑥電気品箱(タッピンネジ4本のうち1本は不要)

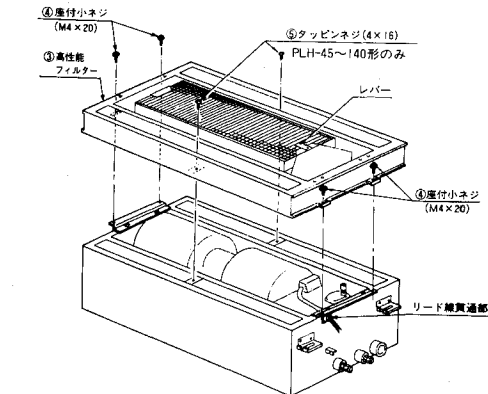


2. 高性能フィルター取付

高性能フィルター取付

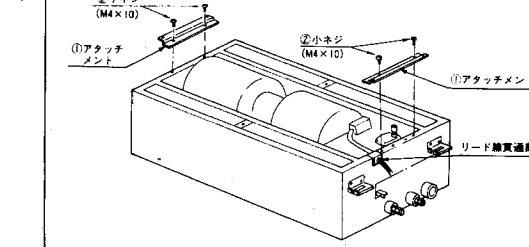
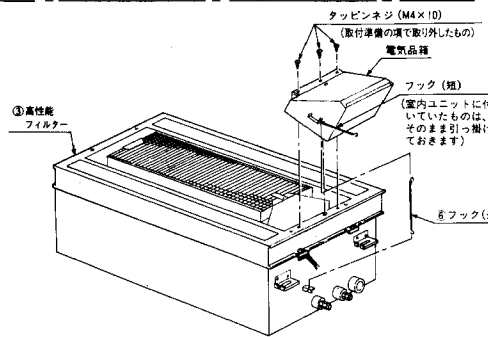
(取付方向: レバーの有る方を、電気品箱側に付けてください。)

1. 高性能フィルター③を、室内ユニットに取り付けたアタッチメント①に、座付小ネジ(M4×20)④を4本使って締め付け固定します。
※この時、室内ユニットと高性能フィルター③の取り付け面にスキマがないように位置を合わせて行ってください。
2. 室内ユニットと高性能フィルター③を吹出口中央部でタッピンネジ(4×16)⑤を使って締め付け固定します(2ヶ所)・PLH-35,40は不要です。
※PLH-45~140までのユニットは、必ずネジ締めをしてください。
(室内ユニットと高性能フィルターのスキマを無くす為です。)



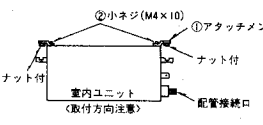
電気品箱取付

1. 取付準備の項で取り外した電気品箱を高性能フィルター③にタッピンネジ(4×10)を3本使って締め付け固定します。(タッピンネジ(4×10)は"取付準備"の時に取り外したものを再使用します。)
2. フック(長)⑥を電気品箱と室内ユニットの図の位置に引っ掛けます。
※元より室内ユニットに付いていたフック(短)は、サービス時に必要となりますので、そのまま電気品箱側に引っ掛けておきます。



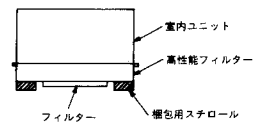
アタッチメント取付

アタッチメント①を室内ユニットの左右に小ネジ(M4×10)②をそれぞれ2本ずつ使って締め付け固定します。



3. ユニット据付

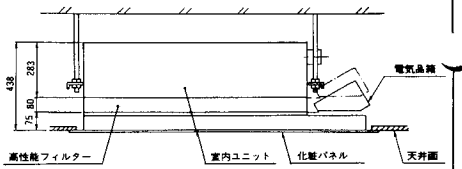
- ユニットをひっくり返すときには電気品箱はヒンジにより回転しますので充分注意して行ってください。
- 開梱時に高性能フィルター③の上にテープにて固定されているスチロール材は、据付前にユニットを逆にした時の台となりますので、据付が完了するまで取り外さないでください。(フィルターの保護のため)



- 室内ユニットの据付説明書を参照しながら、ユニットを据付けてください。この際付属されているゲージ⑦をご利用ください。詳細な使用方法は室内ユニットの据付説明書及びゲージに記載されています。
- ユニットを据付けましたら、梱包用スチロールをはずしてください。

4. 化粧パネル取付

取付図



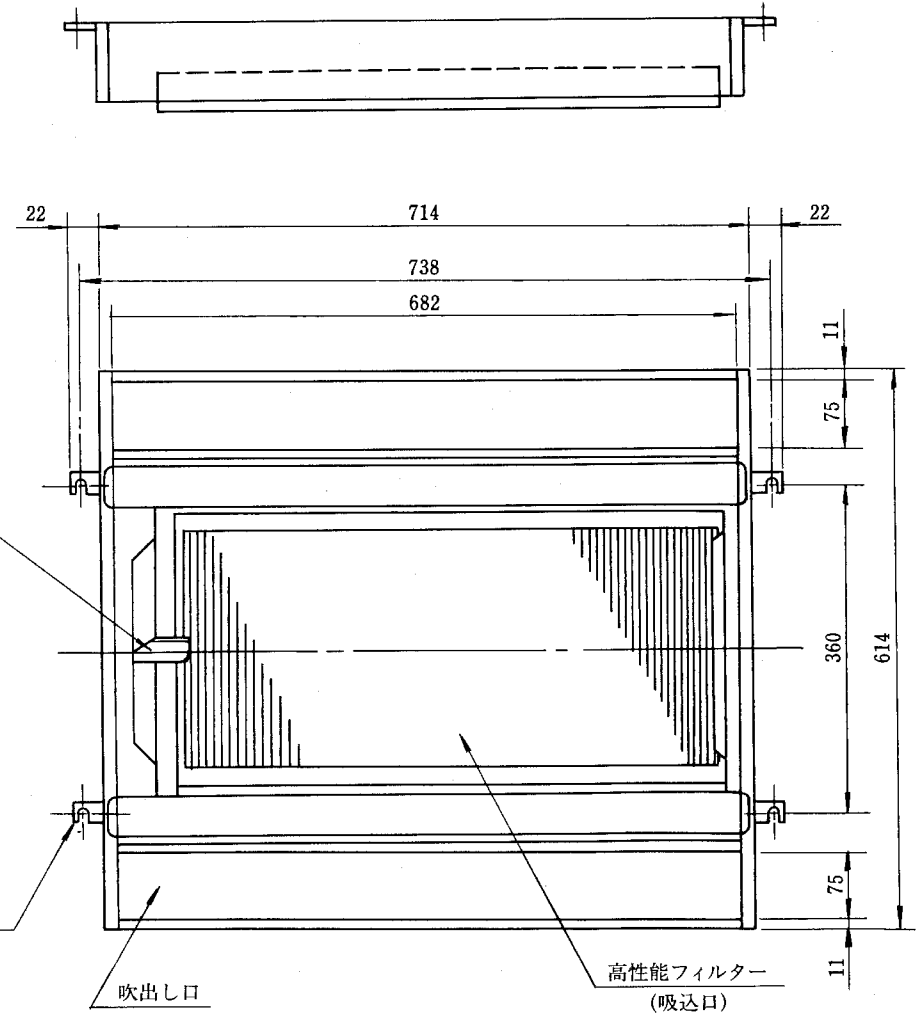
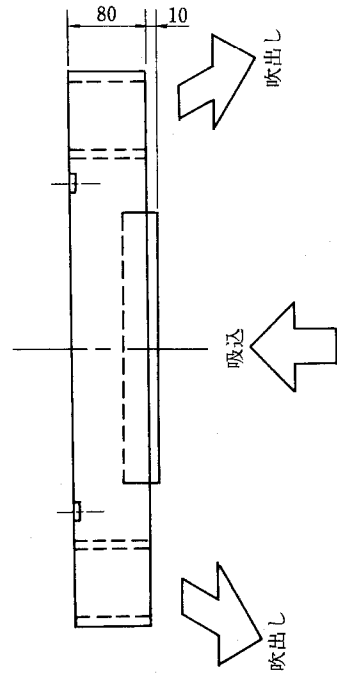
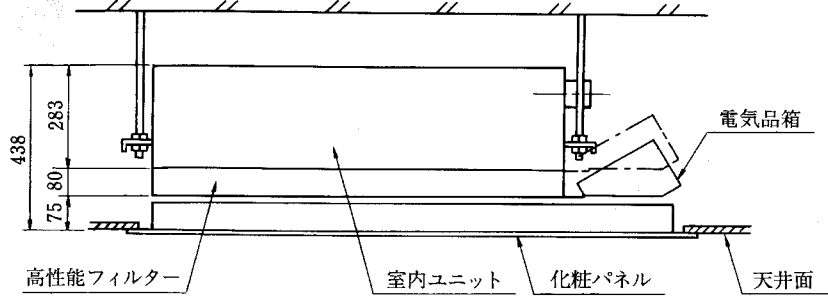
- 化粧パネルの取り付けは、化粧パネルに付属されている取付要領書を参照してください。

三菱電機パッケージエアコン用高性能フィルター外形図

形名PAC-937AF 適用機種PLH-35・40(S)EK(H)D, PLHY-25～40EK

本体取付図

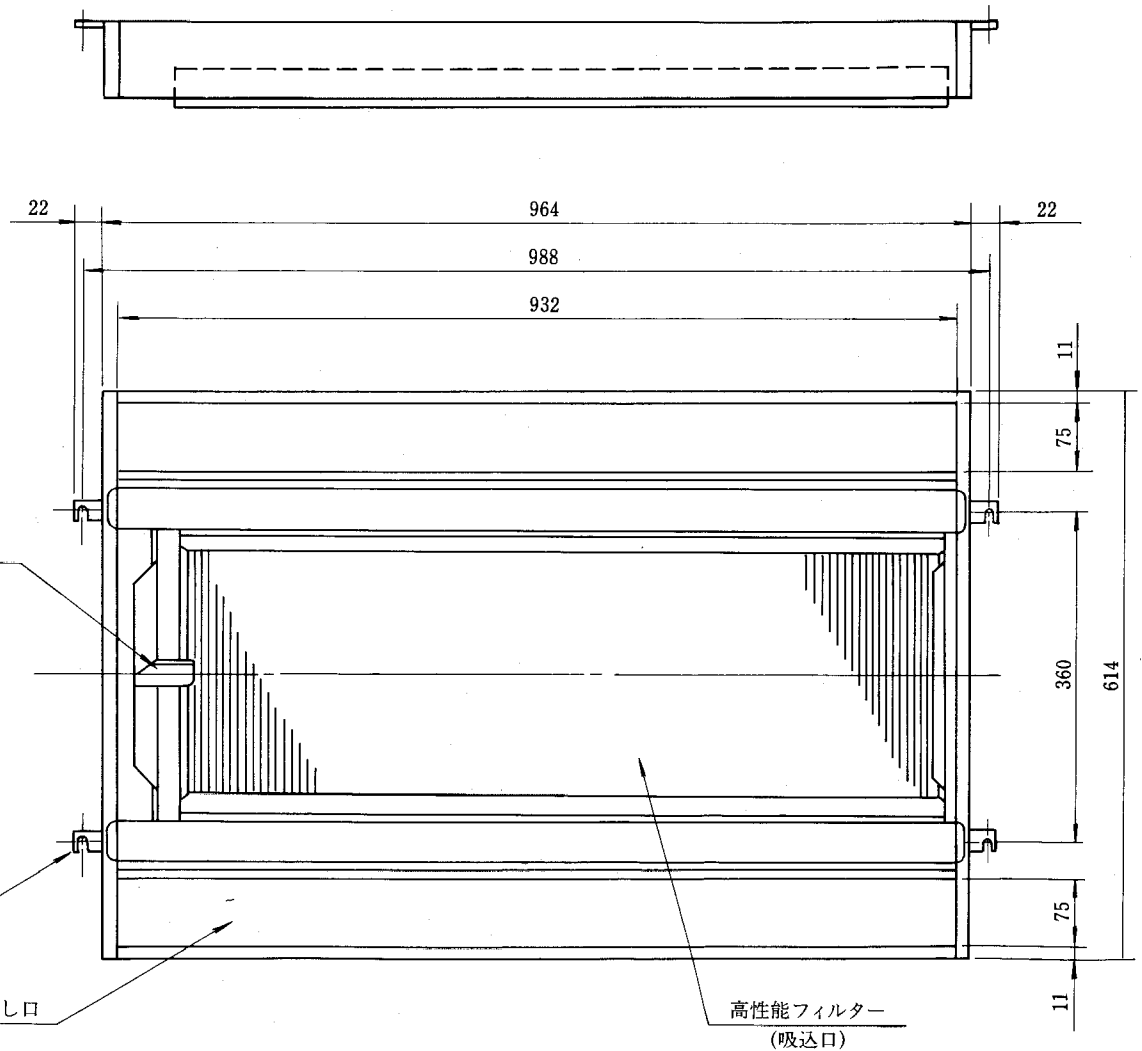
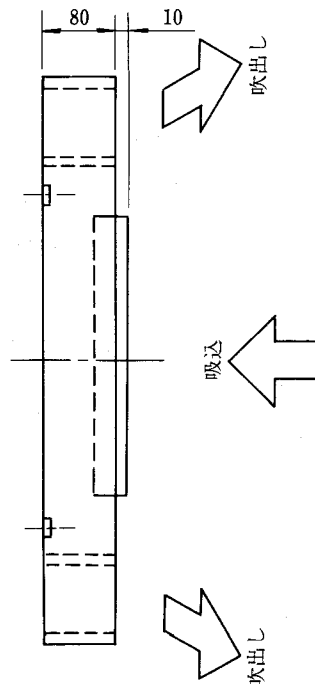
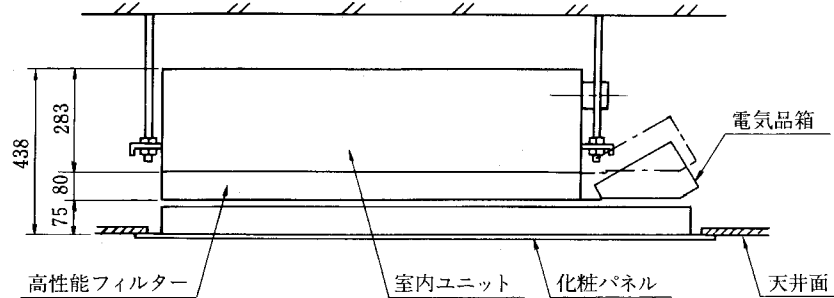
- 天井ふところ高さは440mm以上必要となります。
- 電気品箱は、室内ユニットから高性能フィルターに取付けとなります。



三菱電機パッケージエアコン用高性能フィルター外形図

本体取付図 形名PAC-938AF 適用機種PLH-45・50(S)EK(H)D・56～71EK(H)D, PLHY-50～71EK

- 天井ふところ高さは440mm以上必要となります。
- 電気品箱は、室内ユニットから高性能フィルターに取付けとなります。

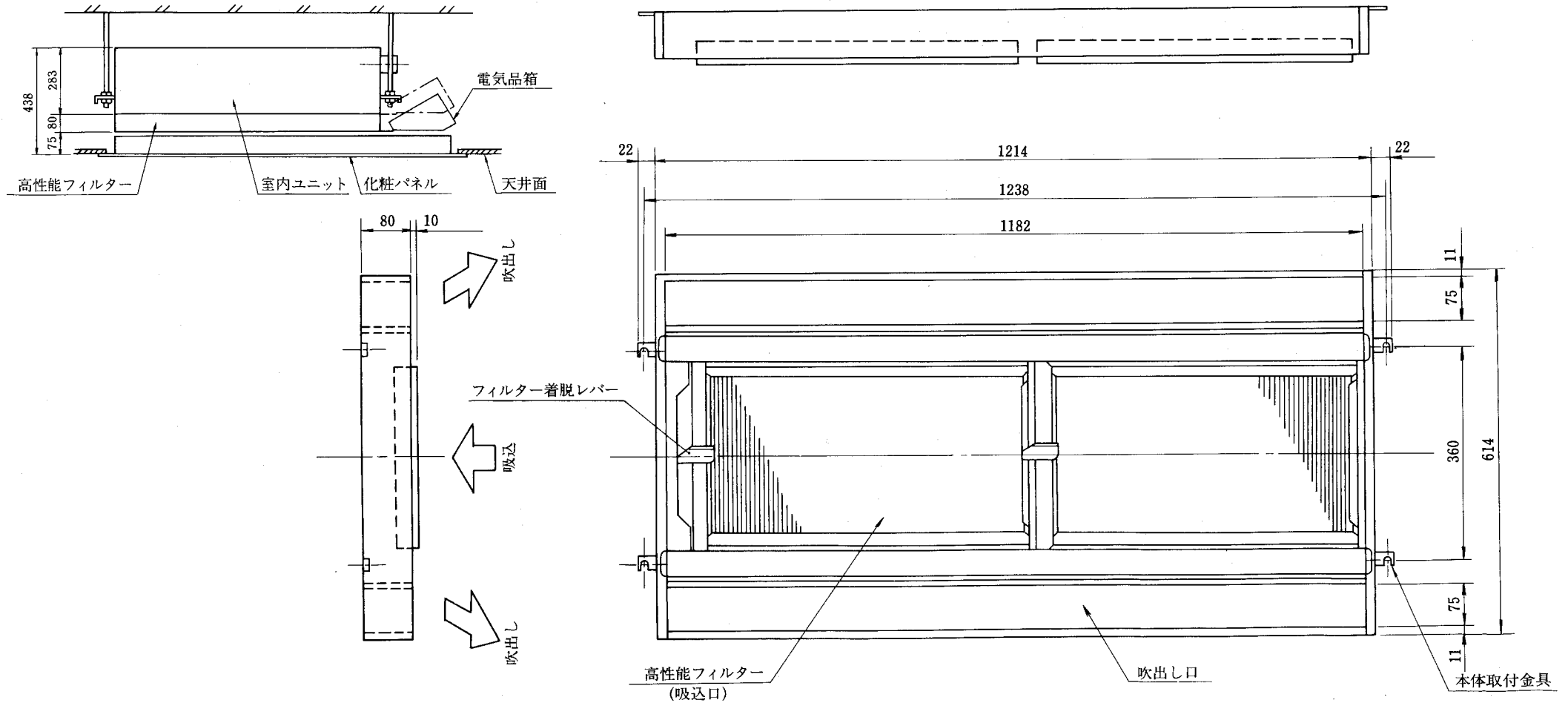


三菱電機パッケージエアコン用高性能フィルター外形図

形名PAC-939AF 適用機種PLH-80~100EK(H)D, PLHY-80~100EK

本体取付図

- 天井ふところ高さは440mm以上必要となります。
- 電気品箱は、室内ユニットから高性能フィルターに取付けとなります。



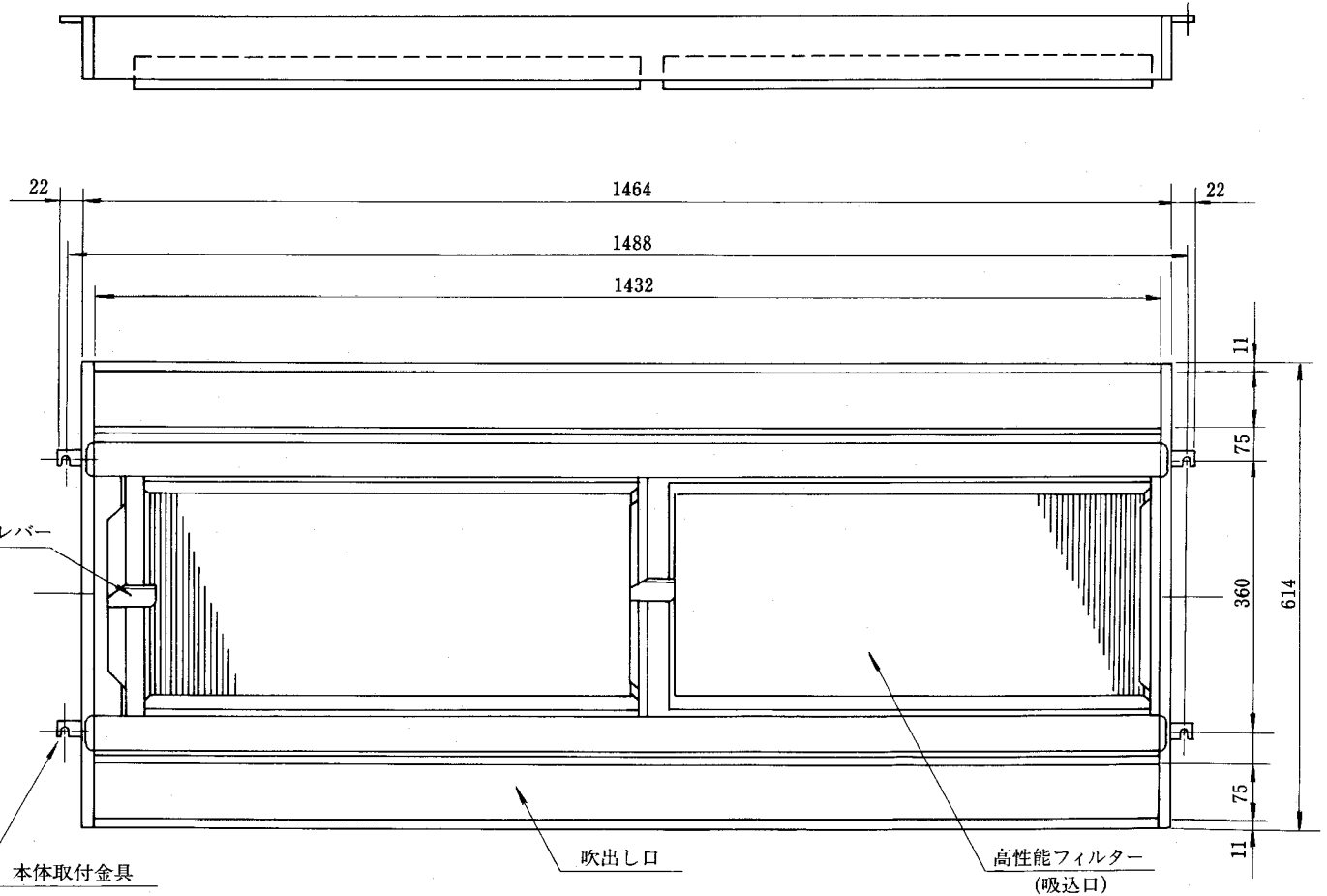
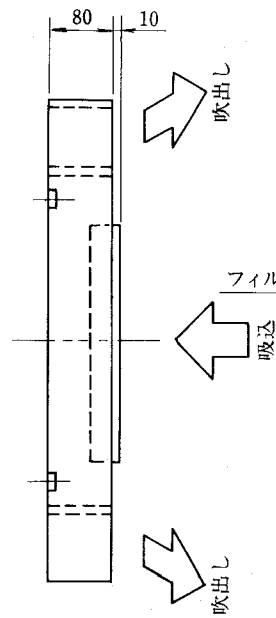
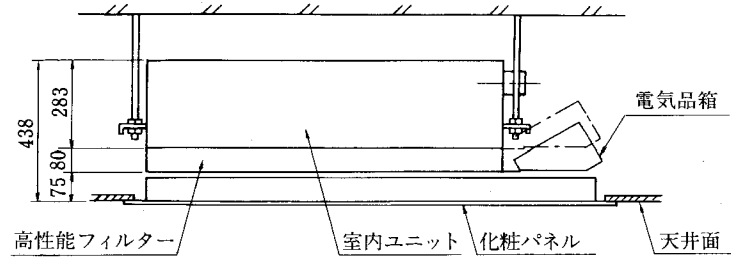
三菱電機パッケージエアコン用高性能フィルター外形図

形名PAC-940AF

適用機種PLH-112~140EK(H)D, PLHY-125EK

本体取付図

- 天井ふところ高さは440mm以上必要となります。
- 電気品箱は、室内ユニットから高性能フィルターに取付けとなります。



空気清浄器 (PLH-FKD用)

形名 PAC-SA01・02AC

1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|-----------------------|
| PAC-SA01AC | PLH(Y)-32~80FK(H)(D) |
| PAC-SA02AC | PLH(Y)-90~140FK(H)(D) |

※PLHZ形にも使用できます。

※PAC-SA01ACとPAC-SA02ACは集じんエレメントの数が異なります。

[PAC-SA01AC…集じんエレメント1個(集じんフィルター2枚)

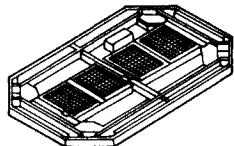
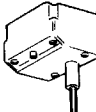


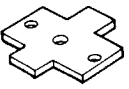

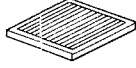





PAC-SA02AC…集じんエレメント2個(集じんフィルター4枚)

| | |
|--------------------|-----------|
| 交換用集じんエレメント(フィルター) | PAC-898SF |
|--------------------|-----------|

2 使用方法

カセット形パッケージエアコンPLH-FKD形に取付け、空調運転と連動して空気中に浮遊しているホコリや細菌、タバコの煙など微細な粒子を電気的に取ります。

3 付属部品

| ①集じんユニット | ②連動スイッチ | ③ワッシャ | ④小ネジ | ⑤プレート | | |
|--|---|---|--|--|--|---|
|  ISET |  PAC-SA01AC-1ヶ PAC-SA02AC-2ヶ |  PAC-SA01AC-4ヶ PAC-SA02AC-6ヶ | 4×12  PAC-SA01AC-4本 PAC-SA02AC-6本 |  PAC-SA01AC-1ヶ PAC-SA02AC-2ヶ | | |
| ⑥ターミナル | ⑦集じんフィルター | ⑧タッピンネジ | ⑨ゲージ | ⑩座付ネジ(段付) | ⑪座付ネジ | ⑫運転表示ランプ |
|  2ヶ |  PAC-SA01AC-2枚 PAC-SA02AC-4枚 | 4×10  PAC-SA01AC-3本 PAC-SA02AC-6本 |  1枚 | M4×0.7×30  4本 | M4×0.7×20  PAC-SA02ACのみ 2本 |  ISET |

4 取付要領

1. 空気清浄器取付寸法図

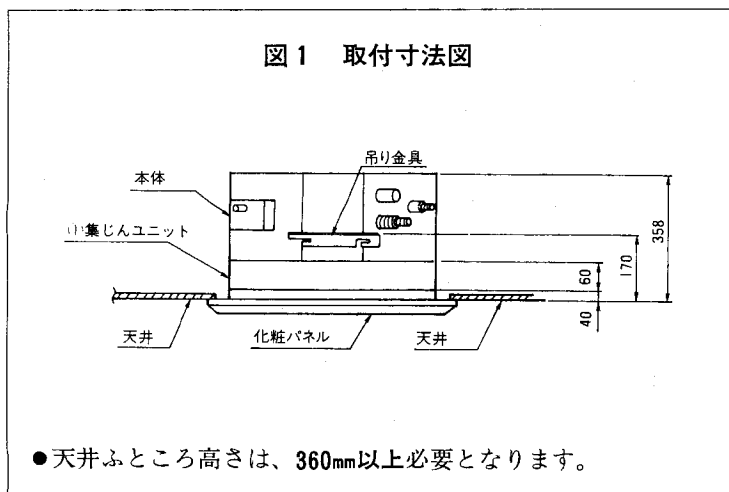
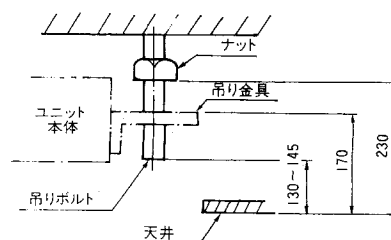


図2 吊りボルトの設定



- 吊りボルトの図示位置にあらかじめナットを付けておきます。

2. 集じんユニット取付

(1)集じんユニット①を本体にワッシャ③を介し小ネジ④(4×12)にて図3のように固定してください。

(注1) 取付け前に必ず、梱包材を取外してください。

- (PAC-SA01AC…板金(ラベル付) 2枚)
- (PAC-SA02AC…板金(ラベル付) 4枚)
- (クッション材(ラベル付) 4ヶ)

(注2) 集じんユニット①の4コーナー取付足のうち、1ヶ所に「冷媒配管側」と明記したラベルがありますので、本体の配管部と合わせてラベルの見える向きで取付けてください。

(注3) 連動スイッチを先に取付けますと、ユニットをひっくり返すときに破損する恐れがありますので、ユニット据付後に取付けるようにしてください。

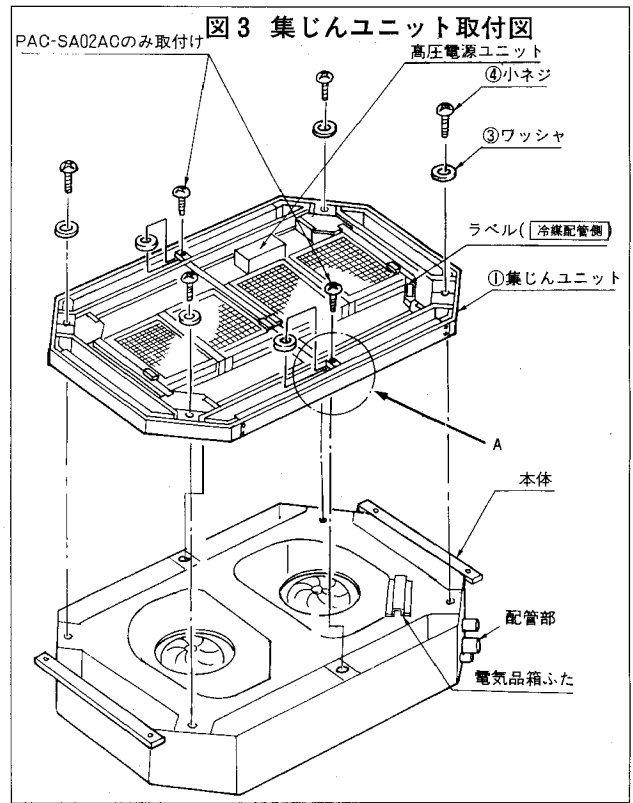


図3 集じんユニット取付図

3. 配線接続

(1)図4のように、集じんエレメントの両側にある開閉つまみを内側に押し、そのまま手前に引き、集じんエレメントを開けて図5のように集じんエレメントを取外してください。(電気品箱側のみ)

図4 集じんエレメントの開け方

図5 集じんエレメントの外し方

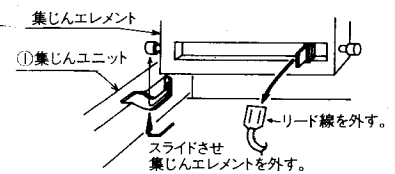
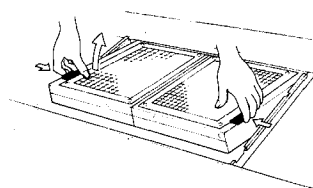
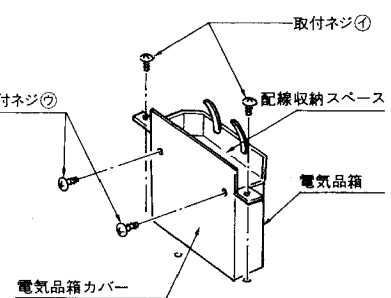
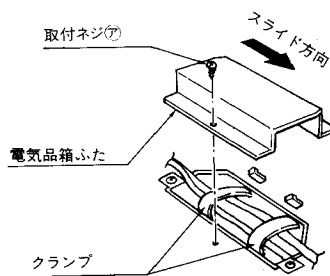


図6 電気品箱のふた取り外し

図7 電気品箱引き出し及びカバー取り外し

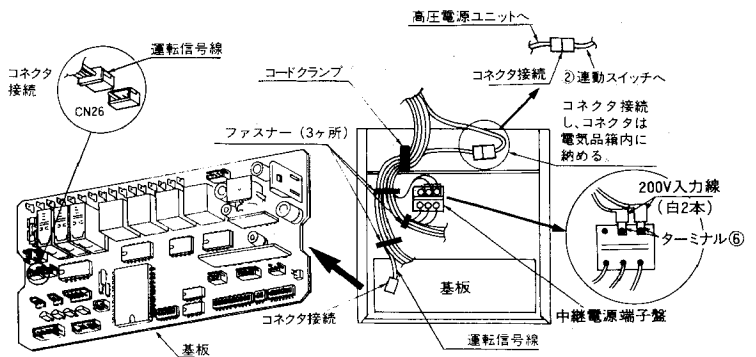
(2)図6のように、電気品箱のふたの取付ネジ⑦(1本)を取外し、ふたをスライドさせ、取外してください。



(3)図7のように、電気品箱を固定している取付ネジ①(2本)とクランプを外して、電気品箱を引き出し、電気品箱のカバーの取付ネジ②(2本)を取外してください。

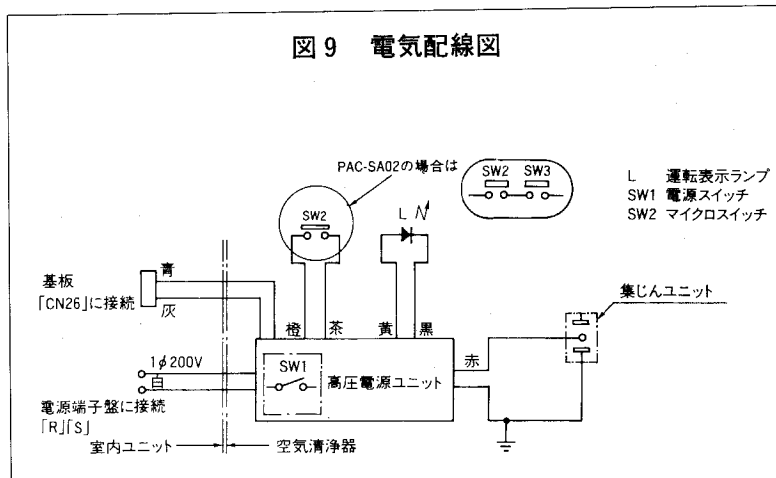
図8 電気品箱内配置図

(4)ターミナル⑥を、中継電源端子盤の「R」「S」相に共締めし、200V入力線(白2本)を接続してください。



(5)基板のCN26に運転信号線(青、灰)を確実に接続してください。(図8参照)

(6)本体電気品箱のクランプ(1ヵ所)、ファスナー(3ヵ所)を外して200V入力線、運転信号線を他のリード線と共に固定し、リード線が確実に接続されていることを確認したら、電気品箱を元通りに取付けてください。但しこの時、連動スイッチからのリード線(茶、橙)を、コネクタ接続し、配線を電気品箱配線収納スペースに納めてクランプで固定してください。



4. 連動スイッチ取付

- (1)図10のように連動スイッチ②へプレート⑤をタッピンネジ⑧(4×10)1本で取付けてください。
- (2)図11のようにタッピンネジ⑧(4×10)2本で集じんユニット①に固定してください。
- (3)図11のように連動スイッチのコネクタを集じんユニット①内の接続線のコネクタと接続してください。

図10 連動スイッチ取付図(1)

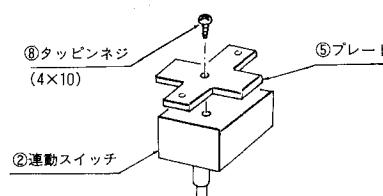
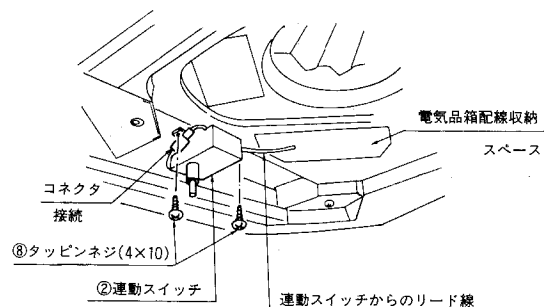


図11 連動スイッチ取付図(2)



5. 集じんフィルター取付

- (1)集じんエレメントを4-(1)項の逆順序で取付けて、集じんエレメントは開いた状態にしてください。
- (2)片手で集じんエレメントの枠をしっかりと保持し、もう一方の手でフィルターケースを引下げて集じんフィルターケースを取外してください。
- (3)フィルター押えの格子の、幅の広がった部分をつかみ、手前にたわませながらフィルター押えを上方に開いてください。
- (4)ポリ袋より集じんフィルター⑦を取出し、フィルターケースに白色の面を上(フィルター押え側)にしてセットしてください。
- (5)集じんフィルター⑦を、セットしたフィルターケースを取外したときと逆の手順で装着してください。

図12

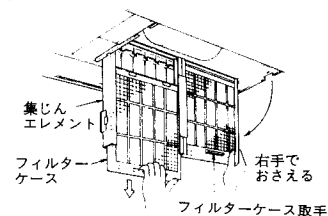
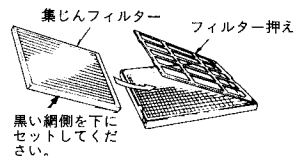


図13



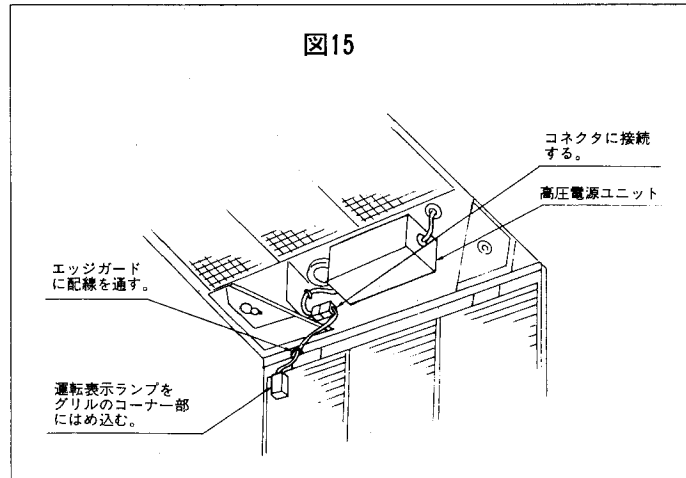
図14



6. 化粧パネルの取付

(注)化粧パネル取付けの際使用するネジは、本付属の座付ネジ⑩・⑪をご使用し、化粧パネルに付属されているネジはご使用しないでください。

- (1)化粧パネルのコーナー部に、座付ネジ⑩を使用し、PAC-SA02ACの場合のみ、中央部に、座付ネジ⑪を使用し化粧パネルを化粧パネルの据付説明書を参照しながら取付けてください。
- (2)化粧パネルのグリルをあげ、ロングライフフィルターを外してください。
- (3)図9のように付属の運転表示ランプ⑫を取付けてください。
- (4)ロングライフフィルターを取付け、グリルを閉めてください。
- (5)以上で空気清浄器と化粧パネルの取付けが終了します。



空気清浄器 (PLH-EKD用)

形名 PAC-286・287・288・289 AC

1 適用機種

| 形名 | PAC-286AC | PAC-287AC | PAC-288AC | PAC-289AC |
|------|-----------------------|---|---------------------|----------------------|
| 適用機種 | PLH(Y)-25~40(S)EK(H)D | PLH(Y)-45・50(S)EK(H)D PLH(Y)-56~71EK(H)D | PLH(Y)-80~100EK(H)D | PLH(Y)-112~140EK(H)D |

2 使用方法

カセット形パッケージエアコンPLH-EKD形に取付け、空調運転と連動して空気中に浮遊しているホコリや細菌、タバコの煙など微細な粒子を電気的に除去します。

3 付属部品

| 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 |
|----|---------------------|----|----|-------------|----|----|-------------------------------|----|
| ① | アタッチメント | 2 | ⑧ | クラン プ | 1 | | PAC-286AC…2枚、PAC-287AC…3枚 | |
| ② | 小ネジ M4×10 | 4 | ⑨ | ゲージ | 1 | | PAC-288AC…4枚、PAC-289AC…5枚 | |
| ③ | 集じんユニットアッセイ | 1 | ⑩ | プレフィルター取付金具 | 1 | ⑮ | プレフィルター | |
| ④ | 座付小ネジ M4×20 | 4 | ⑪ | タッピンネジ 4×10 | 13 | | PAC-286・287AC…1枚、288・289AC…2枚 | |
| ⑤ | タッピンネジ4×16、286ACには無 | 2 | ⑫ | 連動スイッチ | 1 | ⑯ | スイッチプレート | 2 |
| ⑥ | フック (長) | 1 | ⑬ | スイッチ取付金具 | 1 | | | |
| ⑦ | ターミナル | 2 | ⑭ | 集じんフィルター | | | | |

4 メンテナンス

- 空気中の汚れは集じん部に付着し、滞積していきますので定期的にフィルター(濾材)を交換してください。
- 交換目やす…一般使用環境(例えば一般事務所)においては、6~12ヶ月を目安に、パチンコ・マーチャン等空気の汚れが激しいところでは、集じんフィルター近くに貼ってあるラベルの色と集じんフィルターの色を比較して交換して頂きます。
- フィルターの交換は、ユニットの下方より簡単に行なえます。
- 交換フィルターの形名はPAC-898SF、必要枚数は右表によります。

| 空気清浄器形名 | PAC-286AC | PAC-287AC | PAC-288AC | PAC-289AC |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 交換フィルター枚数 | 2 | 3 | 4 | 5 |

5 取付方法

- お願い**
1. 空気清浄器の組込みは、ユニットを吊り下げる前に行なっていただく方が容易にできます。また本説明書は、吊り下げ前の表現になっておりますのでご注意ください。
 2. 空気清浄器取付後のPLH本体及び化粧パネルの取付手順は、PLH側の据付説明書をご参照ください。

1. 取付準備

● 空気清浄器を取付ける前に、室内ユニットから部品を下図に基づきそれぞれ取外してください。また、赤色で表示された部品は不要となります。

① フィルター
② ファンアンダーパネル (タッピンネジ4本または6本)
● PLH-35~71タイプはタッピンネジ4本
● PLH-80~140タイプはタッピンネジ6本
③ フィルターガイドA (タッピンネジ2本)
④ フィルターガイドB (タッピンネジ2本)
⑤ ホイールプレート (タッピンネジ2本)
● PLH-80~140タイプのみ
⑥ フック (短)、サービス・メンテナンスの際必要となります。
電気品箱にそのまま引っ掛けておきます。
⑦ 電気品箱 (タッピンネジ4本のうち1本は不要)

2. 集じんユニット取付

アタッチメント取付
アタッチメント①を室内ユニットの左右の小ネジ(M4×10)②をそれぞれ2本ずつ使って締め付け固定します。

集じんユニット取付
集じんユニット③から出ている電線を室内ユニットのリード線貫通部に通しながら行ないます。
1. 集じんユニット③を、室内ユニットに取り付けたアタッチメント①に座付小ネジ(M4×20)④を4本使って締め付け固定します。
※この時、室内ユニットと集じんユニット③の取り付け面にスキマがないように位置を合わせて行なってください。
2. 室内ユニットと集じんユニット③を吹出口中央部でタッピンネジ(4×16)⑤を使って締め付け固定します。(2ヶ所)…PLH-35, 40は不要です。
※PLH-45~140までのユニットは必ずネジ締めをしてください。(室内ユニットと集じんユニット③のスキマを無くす為です。)

電気品箱取付
1. 取付準備の項で取り外した電気品箱を集じんユニット③にタッピンネジ(4×10)を3本使って締め付け固定します。(タッピンネジ(4×10)は「取付準備」の時に取り外したものを再使用します。)
2. フック⑥(長)を電気品箱と室内ユニットの図の位置に引っ掛けます。
※元より室内ユニットに付いていたフック(短)は、サービス時に必要となりますので、そのまま電気品箱側に引っ掛けておきます。

3. 配線接続

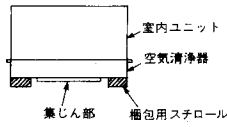
(1) 本体の電気品箱のフタを外してください。(タッピンネジ1本)
(2) 集じんユニット側面より出ている200V入力線(白2本)と運転信号線(青、灰)を電気品箱側面にある配線入口より電気品箱内へ通してください。
(3) 電気品箱内の電源端子盤の「R」「S」相にターミナル⑦(2ヶ)を共締めし、そのターミナル⑦に200V入力線(白2本)を確実に接続してください。
(4) マイコンボードのCN26に運転信号線(青、灰)を確実に接続してください。
(5) 配線をたるみのないようにクランプ⑧にて固定してください。(電気品箱内)
(6) 電気品箱のフタを元通りに取付けてください。

電気配線図

4. ユニットの据付

●ユニットをひっくり返すときには電気品箱はヒンジにより回転しますので充分注意して行ってください。

●開梱時に集じんユニット③の上にテープにて固定されているスチロール材は、据付前にユニットを逆さにした時の台となりますので、据付が完了するまで取り外さないでください。(集じん部の保護のため)

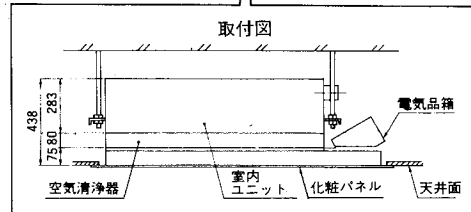


●室内ユニットの据付説明書を参照しながら、ユニットを据付けてください。

この際付属されているゲージ⑨をご利用ください。

詳細な使用方法は室内ユニットの据付説明書及びゲージに記載されております。

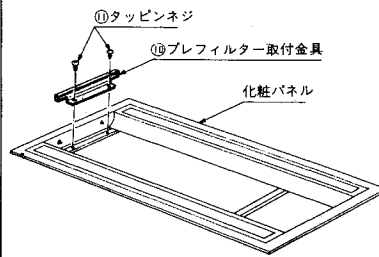
●ユニットを据付けましたら、梱包用スチロールをはずしてください。



5. 化粧パネル取付

プレフィルター取付金具の取付

化粧パネル端部のフレームに設けてある取付穴(2ヶ所)を使用し、プレフィルター取付金具⑩をタッピンネジ⑪(2本)で化粧パネルに取付けてください。



化粧パネル取付

化粧パネルの取付要領説明書を参照しながら、取り付けてください。

※吸込パネル(開閉パネル)は

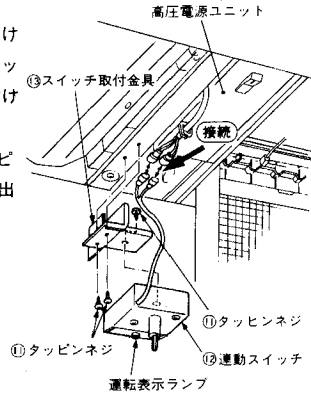
9. 吸込パネルの取付 項により、最後に取り付けとなります。

6. 連動スイッチ取付

(1) 連動スイッチ⑫にタッピンネジ⑪(1本)を使用しスイッチ取付金具⑬を取付けてください。

(2) 化粧パネルの電気品箱側のフレームに設けてある取付穴(2ヶ所)を使用し、連動スイッチ⑫をタッピンネジ⑪(2本)により取付けてください。

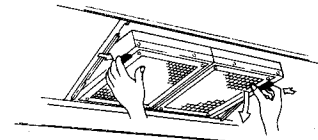
(3) 連動スイッチ⑫から出ている2ピンと3ピンのハウジングを高圧電源ユニットから出ているハウジングと接続してください。



7. 集じんフィルター取付

(1) 集じんエレメントの両側にある開閉つまみを内側に押し、そのまま下に引下げ集じんエレメントを回転させます。

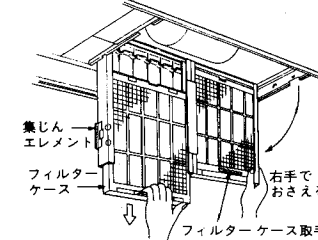
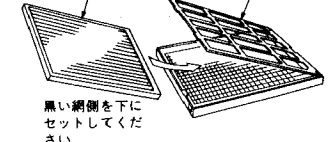
(3) フィルター押えの格子の幅の広がった部分をつかみ、手前にたわませながらフィルター押えを上方に開いてください。



(2) 片手で集じんエレメントの枠をしっかり保持し、もう一方の手でフィルターケースを引下げて集じんフィルターケースを取外してください。

(4) ポリ袋より集じんフィルター⑭を取出し、フィルターケースに白色の面を上(フィルター押え側)にしてセットしてください。

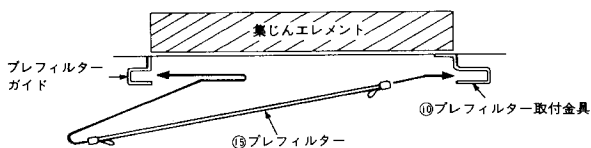
⑭集じんフィルター (Filter) フィルター押え (Filter Holder)



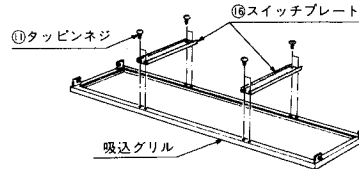
(5) 集じんフィルター⑭をセットしたフィルターケースを取外したときと逆の手順で装着してください。

8. プレフィルター取付

●プレフィルター取付金具⑩にプレフィルター⑮の一端を奥まで差込み、その状態でプレフィルター⑮のもう片方をスライドさせながらプレフィルターガイドに差し込んでください。

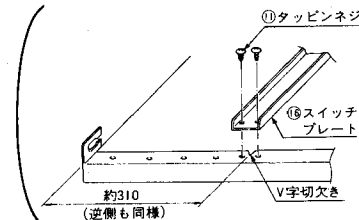


9. 吸込パネル取付



スイッチプレートの取付

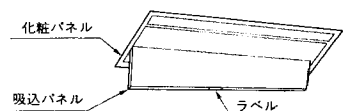
●吸込グリル裏面の側端部に設けてあります取付穴(8ヶ所)を使用しスイッチプレート⑯をそれぞれタッピンネジ⑪(8本)で取付けてください。



※天井材はめ込み式の化粧パネルご使用の場合、吸込パネル裏面のV字切欠きがスイッチプレート⑯の中央にくるようにし、タッピンネジ⑪(8本)にて取付けてください。

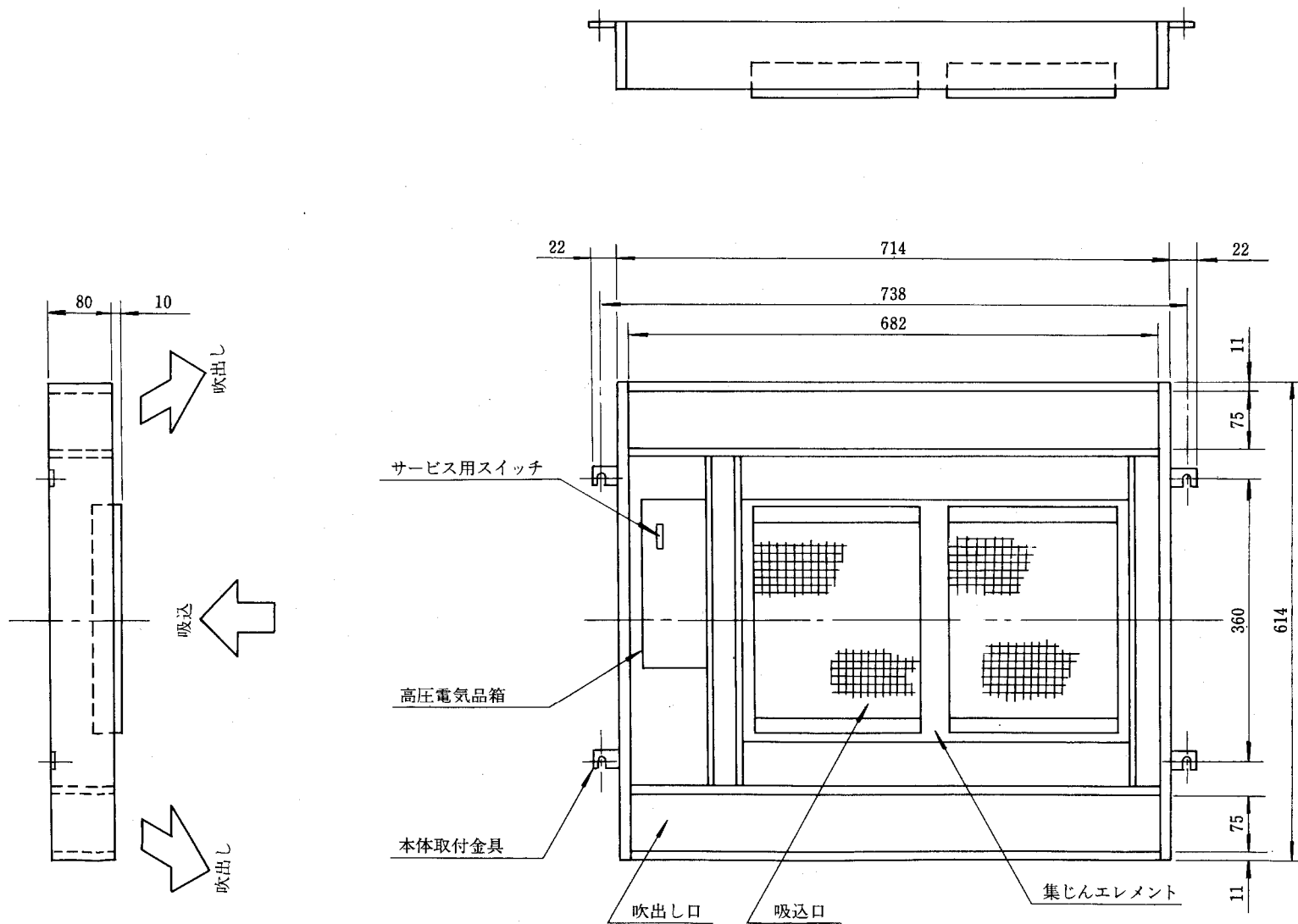
吸込パネルの取付

●最後に吸込パネルを化粧パネルに取り付けます。(着脱方法は吸込パネルに貼られているラベルを参照してください)



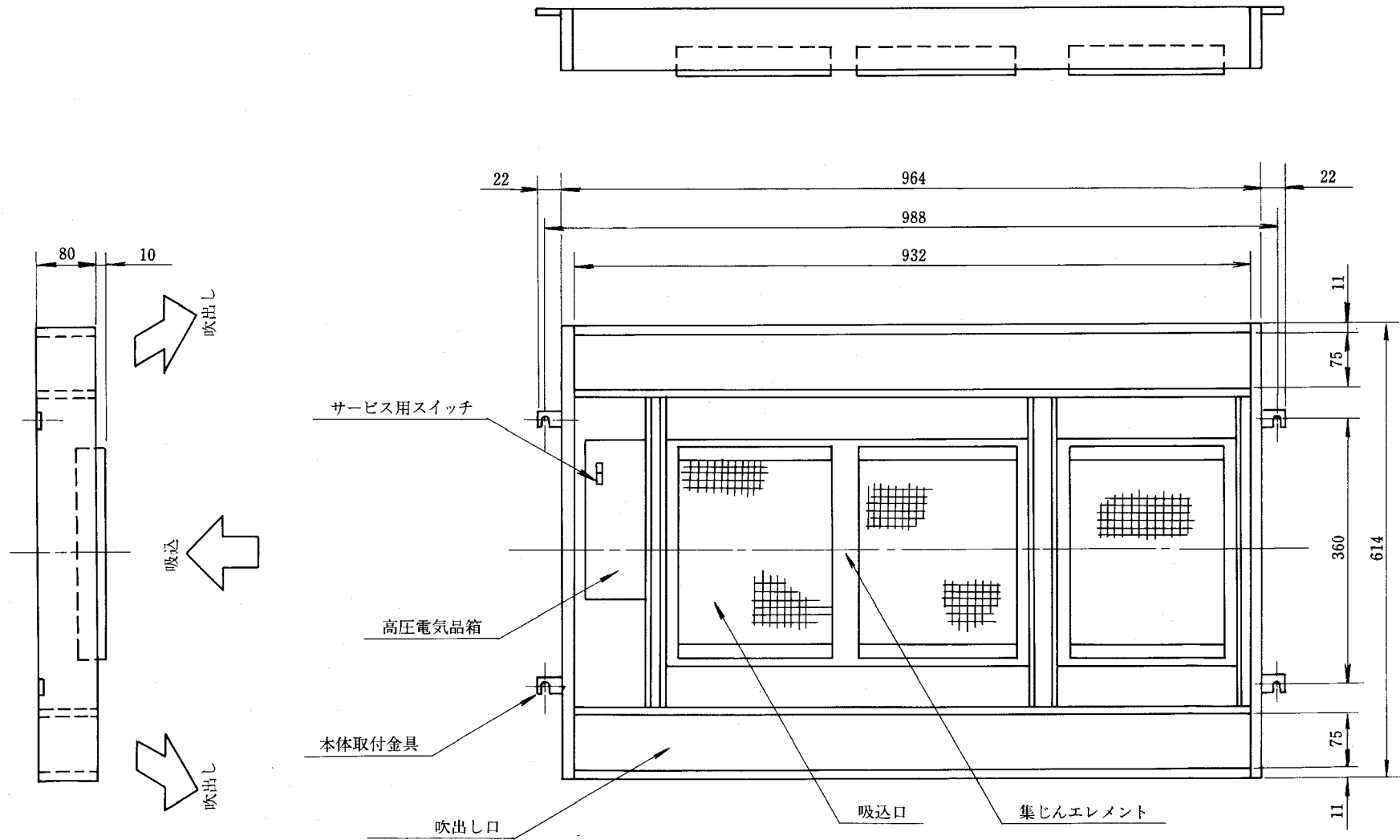
三菱電機パッケージエアコン用空気清浄器外形図

形名PAC-286AC 適用機種PLH-35・40(S)EK(H)D, PLHY-25~40EK



三菱電気パッケージエアコン用空気清浄器外形図

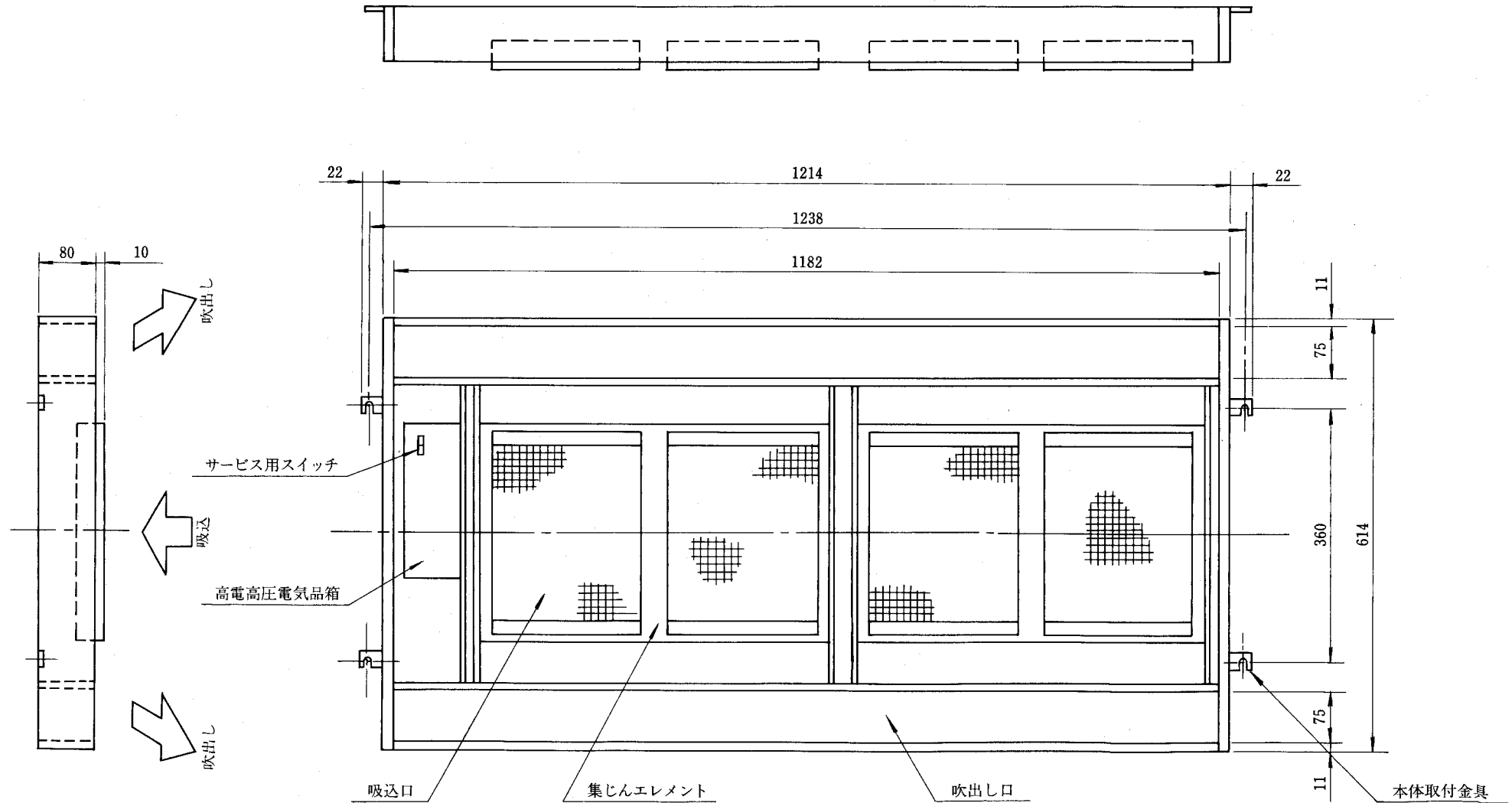
形名PAC-287AC 適用機種PLH-45・50(S)EK(H)D・56～71EK(H)D, PLHY-50～71EK



三菱電機パッケージエアコン用空気清浄器外形図

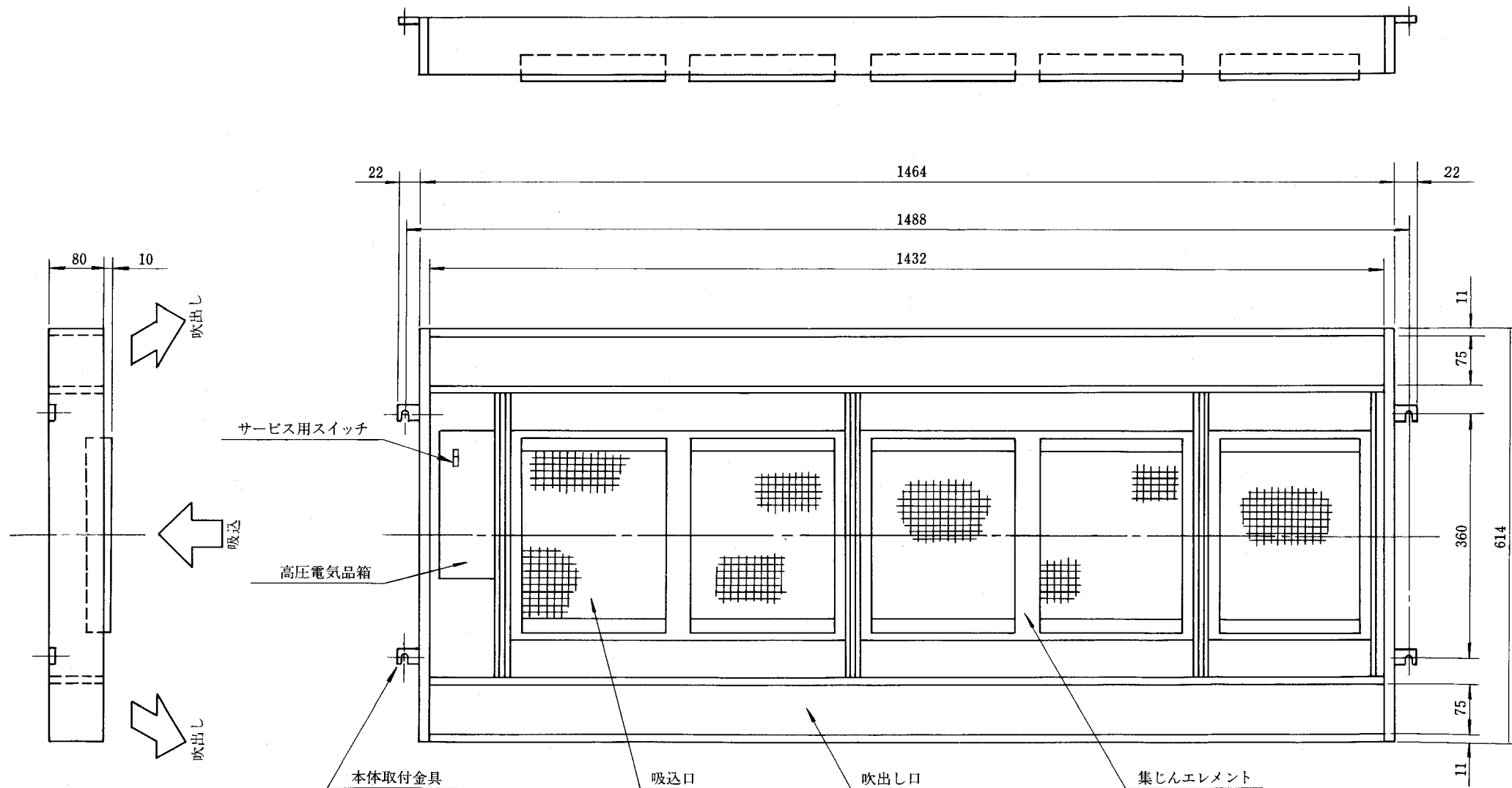
形名PAC-288AC

適用機種PLH-80~100EK(H)D, PLHY-80~100EK



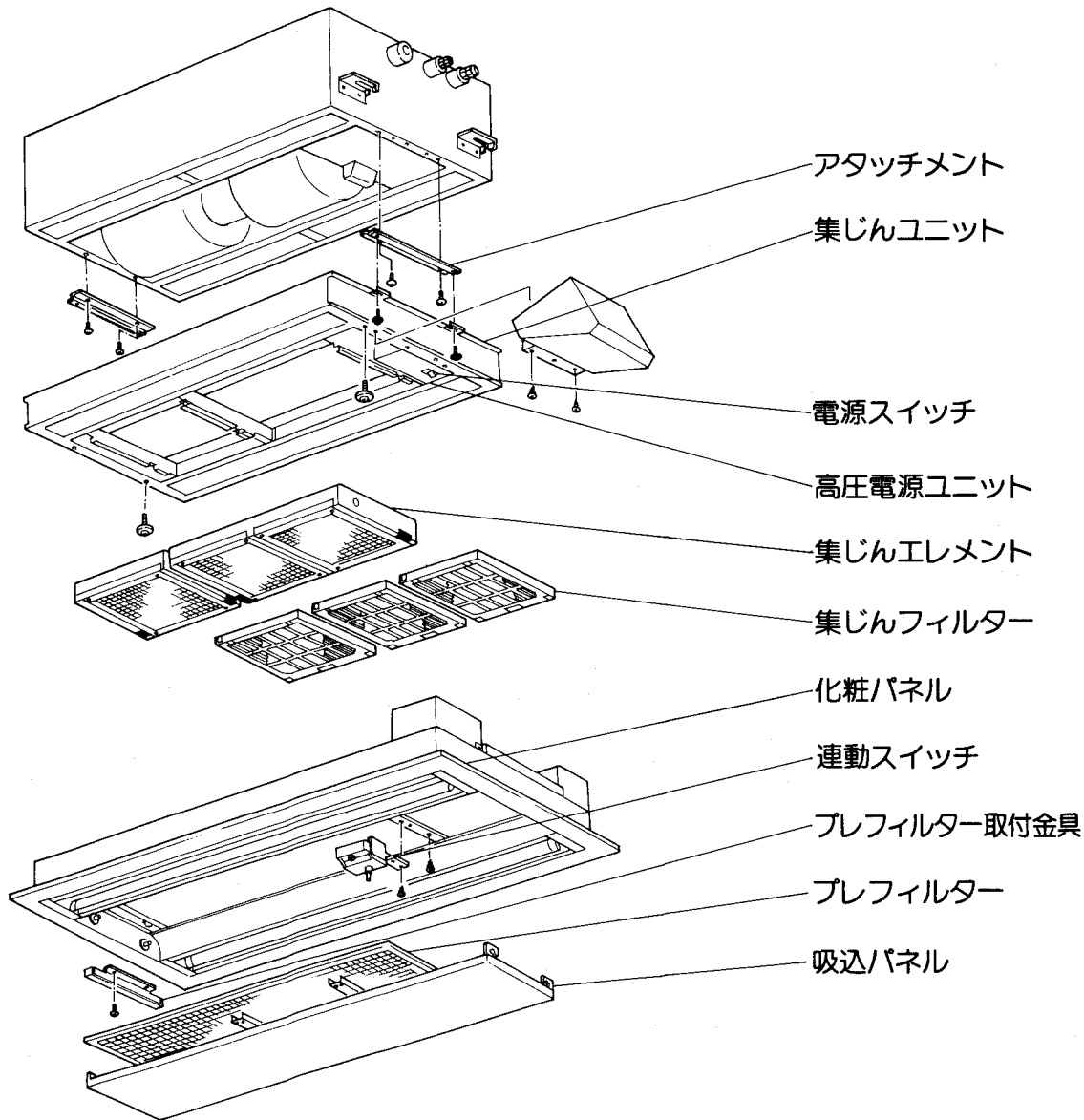
三菱電機パッケージエアコン用空気清浄器外形図

形名PAC-289AC 適用機種PLH-112~140EK(H)D, PLHY-125EK

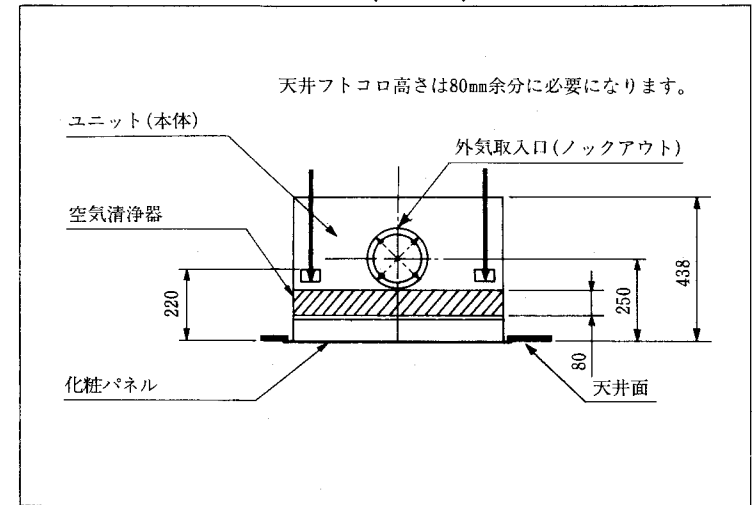


三菱電機パッケージエアコン用空気清浄器取付図・電気配線図

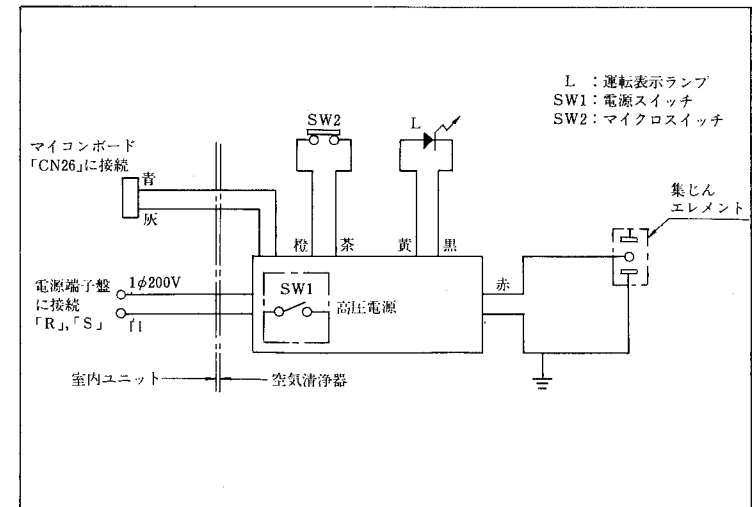
形名PAC-286・287・288・289AC



■別売空気清浄器取付寸法図(側面図)



■電気配線図



外気取入用ケースメント (PLH-GKD用)

形名 PAC-SB50・51AM

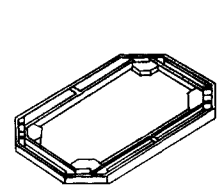

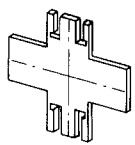
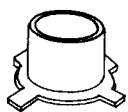
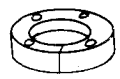

1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|----------------|
| PAC-SB50AM | PLH-35~90GKD |
| PAC-SB51AM | PLH-100~140GKD |

2 使用方法

外部より、室内へ新鮮な空気を取込む際に、室内ユニットに取付けて使用します。

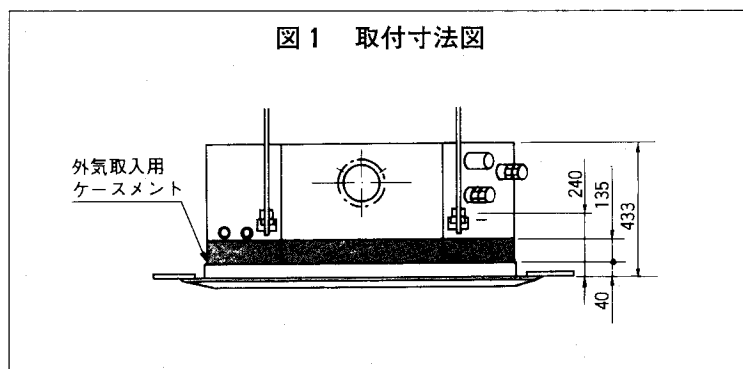
3 付属部品

| ①外気取入用ケースメント | ②座付ネジ | ③据付用ゲージ | ④ダクトフランジ | ⑤断熱材 | ⑥タッピンネジ |
|--|---|--|---|--|--|
|  1個 | M5×0.7×12  PAC-SB50AM...4個 PAC-SB51AM...6個 |  (4分割にして使用) 1枚 |  PAC-SB50AM...1個 PAC-SB51AM...2個 |  PAC-SB50AM...1枚 PAC-SB51AM...2枚 | 4×10  PAC-SB50AM...4本 PAC-SB51AM...8本 |

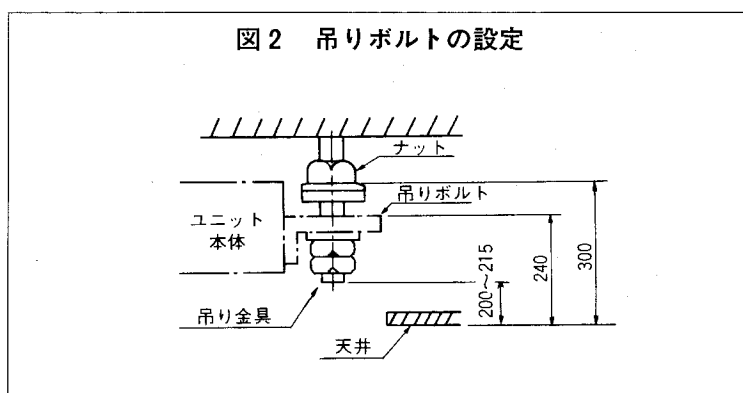
4 取付要領

1. 外気取入用ケースメント据付寸法

- (1)天井ふところ高さは、435mm以上必要となります。



- (2)吊りボルトの図示位置にあらかじめナットを付けておきます。



2. ダクトフランジ取付

- (1)ダクトフランジ④を外気取入用ケースメント①のどの位置に取付けるか決めてください。
- ①外気取入用ケースメントの上下方向にご注意ください。
- ②ダクトフランジの取付可能箇所は
 PAC-SB50AMは…1ヶ所
 PAC-SB51AMは…2ヶ所
 となっております。
- (2)外気取入用ケースメントのノックアウト穴をあけてください。
- (3)ダクトフランジ④を外気取入用ケースメント①にタッピンネジ⑥にて固定し、上から断熱材⑤をすきまがあかないように貼付けてください。
 この時ネジ頭と断熱材⑤の逃し穴を合わせてください。

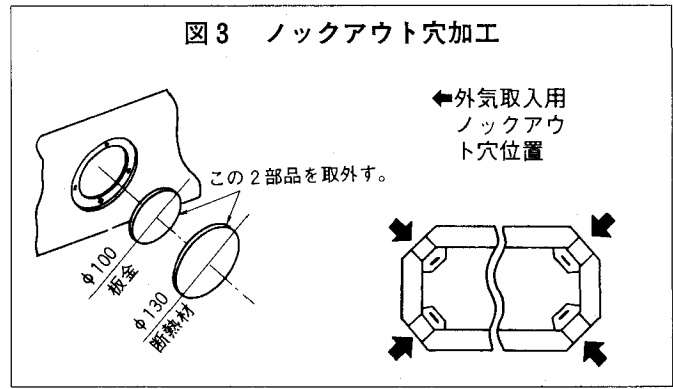


図3 ノックアウト穴加工

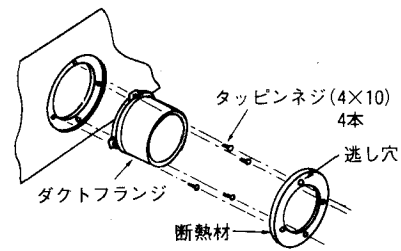


図4 ダクトフランジ取付図

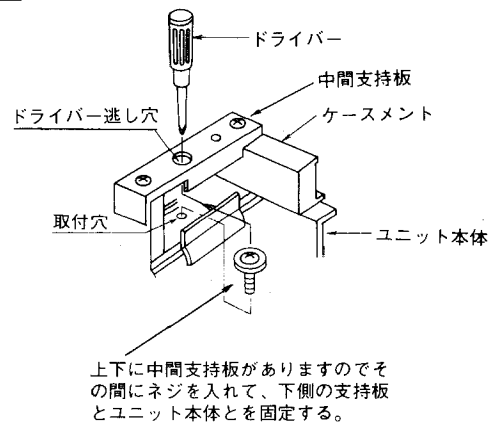
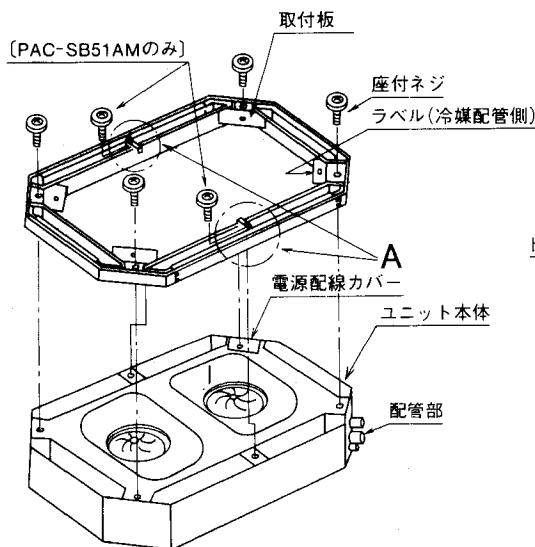
3. ケースメント取付け

あらかじめユニット本体の電源配線カバーを取りはずしておいてください。

- (1)ケースメント①をユニット本体に座付ネジ②(M5×0.7×12)にて図のように固定してください。
 ※ケースメント①は室内ユニット据付後は、ユニット本体に仮止めできませんので取付時ご注意ください。

図5 外気取入用ケースメント取付図

図6 A部詳細図(PAC-SB51AMのみ)



4. ユニットの据付け

(1)ユニット本体側の据付説明書を参照しながら、ユニットを据付けてください。この際、この外気取入用ケースメントに付属されている据付用ゲージ③をご利用ください。

詳細な使用法は室内ユニットの据付け説明書及び据付用ゲージ③に記載してあります。

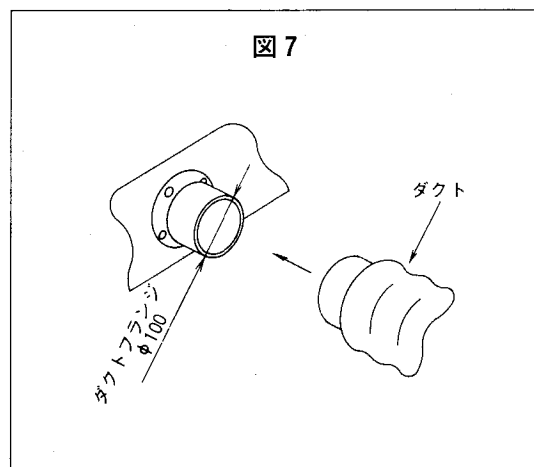
(2)据付後、ユニット本体の電源配線カバーの下にあるケースメントの取付板を取りはずして電源線の配線を行なってください。

配線終了後、ユニット本体の電源配線カバー、ケースメントの取付板の順に取付けてください。

(3)ダクト工事を行なってください。(現地手配)

※外気取付用ケースメントのダクトフランジの外径は100mmとなっています。

※高温多湿条件での天井裏の場合、ダクト外壁に結露する恐れがありますので、ダクトに断熱材を巻いてください。



5. 化粧パネル取付け

(1)化粧パネルの据付説明書を参照しながら化粧パネルを取付けてください。

6. 高性能フィルタエレメント取付け

※この外気取入用ケースメントを取付けることにより、高性能フィルタエレメント(別売)をご使用になれます。

(1)化粧パネル標準取付のロングライフフィルタを外してください。

(2)ロングライフフィルタ装着と同様に高性能フィルタエレメントを取付けてください。

尚、高性能フィルタエレメントの形名と適用機種は下表のとおりです。

| 形名 | 適用機種 〈カセット形4方向吹出しGKDシリーズ〉 |
|------------|------------------------------|
| PAC-SB52KF | 35~90形 |
| PAC-SB53KF | 100~140形 |

※取付詳細は高性能フィルタエレメントの取付説明書をご参照ください。

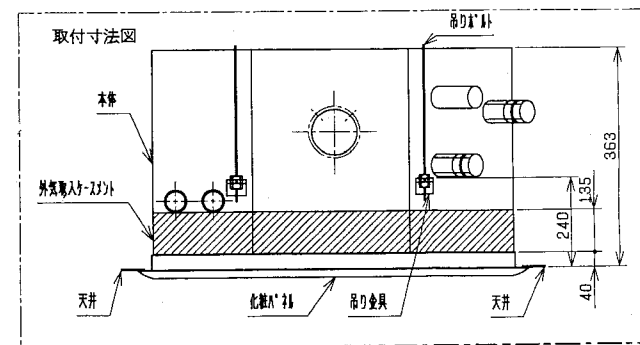
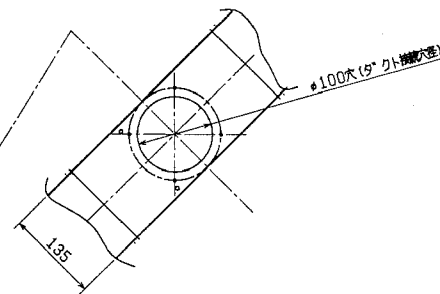
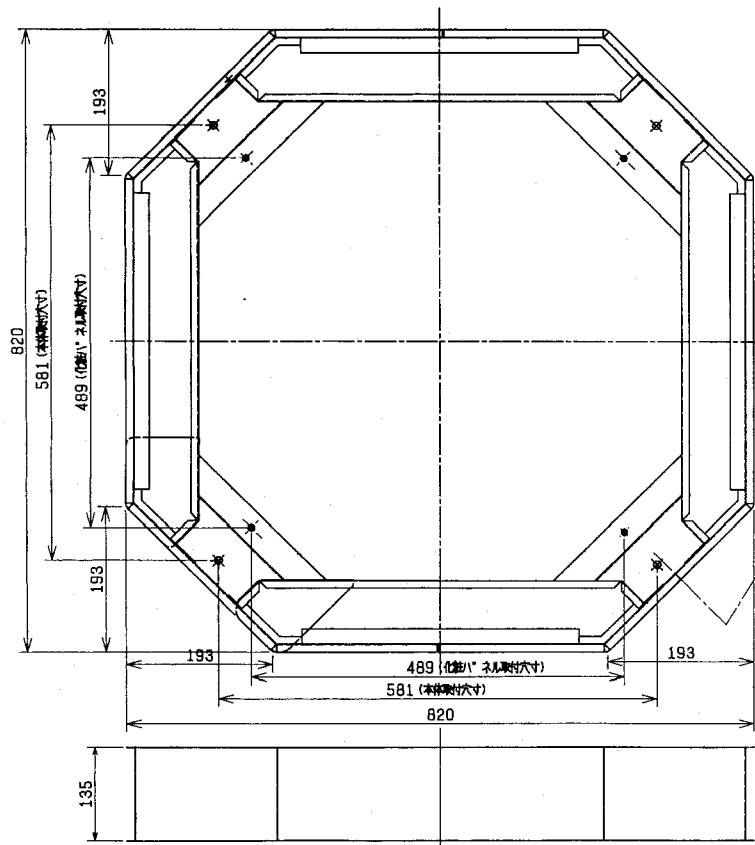
ご注意

- 据付場所において、油の飛沫や蒸気の多い所はさけてください。
- 外気取入用ケースメントの取付けは、室内ユニットを吊り下げる前に行なっていただく方が容易にできます。
また室内ユニット据付後、外気取入用ケースメントを取付ける場合は必ず元電源を切ってから行ってください。
- 外気取入用ケースメント取付後の室内ユニット及び化粧パネルの取付手順は各々の説明書をご参照ください。
- この説明書は室内ユニット吊り下げ前の表現になっていますのでご注意ください。

三菱電機パッケージエアコン用外気取入用ケースメント外形図

形名 PAC-SB50AM

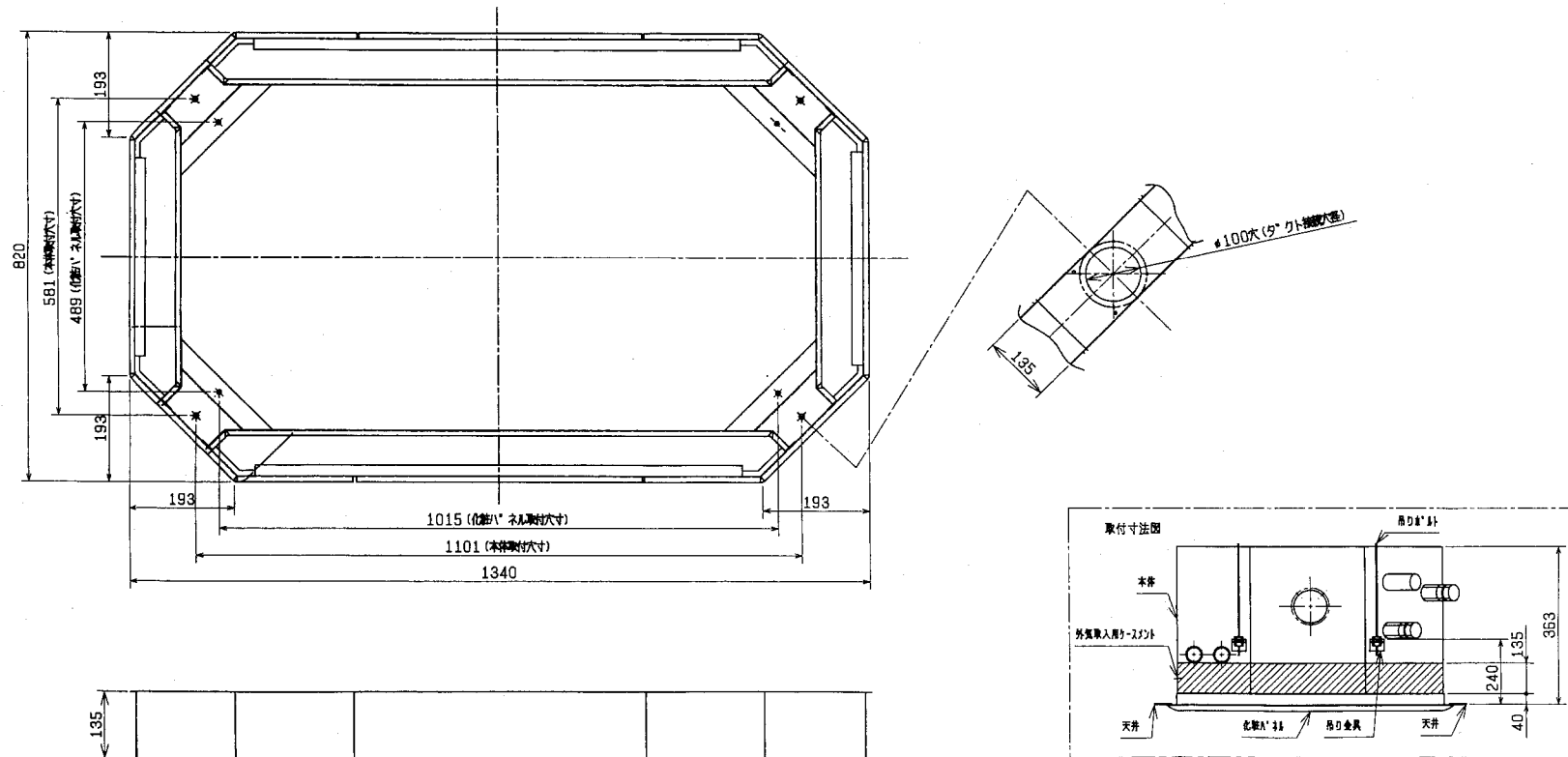
適用機種 PLH-35~90GKD



三菱電機パッケージエアコン用外気取入用ケースメント外形図

形名 PAC-SB51AM

適用機種 PLH-100~140GKD



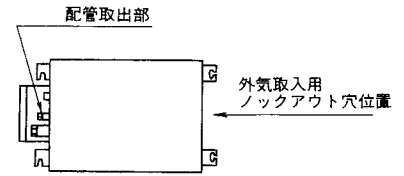
外気取入ダクトフランジ 形名 PAC-SA110F

(PLH-FKD, EKD用)

1 適用機種

PLH(Y)-32~140(S) FK(H)(D)
PLH(Y)-25~140(S) EK(H)(D)

図1 PLH-35~140EKDの穴位置



2 付属部品

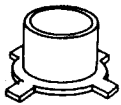
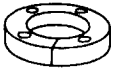

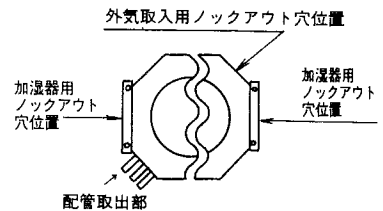
| ①ダクトフランジ | ②断熱材 | ③タッピンネジ |
|--|--|--|
|  1ヶ |  1枚 |  (4×10) 4本 |

図2 PLH-35~140FKDの穴位置



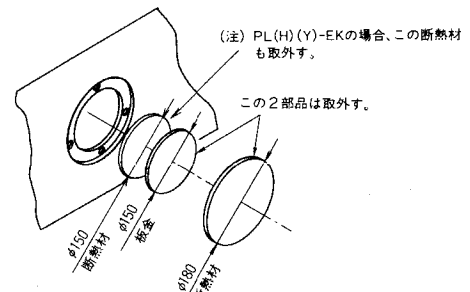
3 取付要領

(図1・図2参照)

1. PLH(本体)のダクト取付用ノックアウト穴をあけます。

- (1)ユニット本体配管取出部の反対側の断熱材にφ180のミシン目がありますので、φ180の部分の断熱材をはがしてください。
- (2)はがした部分の板金にφ150のノックアウト穴がありますので、これを取外してください。
(図3参照)
- (注) PLH-EKDの場合は、板金の内側にも断熱材がありますので必ず取外してください。

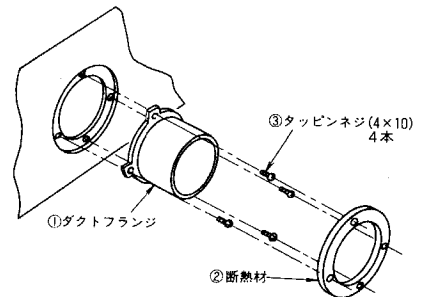
図3 ノックアウト穴加工



2. ダクトフランジの取付け (図4参照)

- (1)ダクトフランジ①を、タッピンネジ(4×10)③にて固定します。
- (2)ダクトフランジ①を固定した上から断熱材②をすきまがあかないように、貼付けてください。
この時、ネジ頭と断熱材の逃し穴を合わせてください。

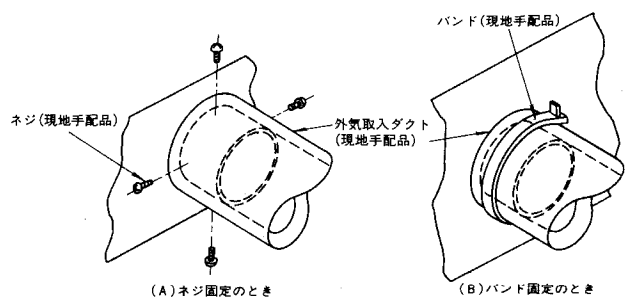
図4 ダクトフランジ取付図



3. 外気取入ダクトの取付方法 (図5参照)

- (1)ダクトフランジ①に、外気取入ダクト内径φ150(現地手配)を、ネジ、または、バンドで固定して接続してください。
- (注1) ネジ取付のときは、ダクトフランジ①にネジ取付用の下穴加工を施してください。
- (注2) ダクトフランジ①と外気取入ダクト(現地手配品)を先に取付けて組込むことは、できません。

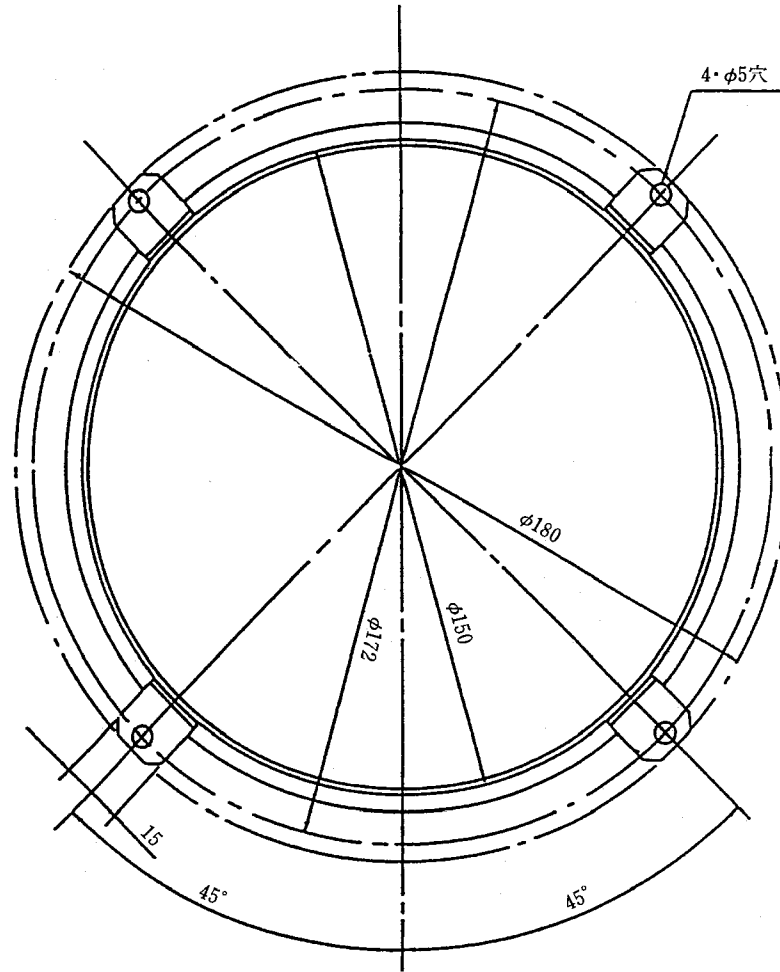
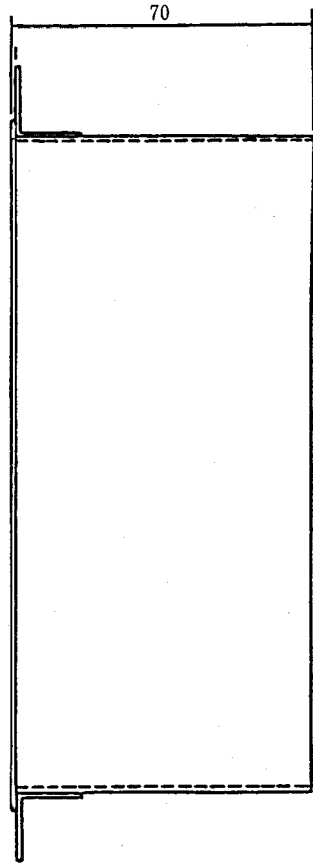
図5 外気取入ダクトの取付図



三菱電機パッケージエアコン用外気取入ダクトフランジ外形図

形名 PAC-SA110F

適用機種 PLH-FKD, EKD, PLHY-FK・EK



ドレンアップメカ (PCH-EKD用)

形名 PAC-200・208DM

1 適用機種

| | | |
|------|-------------------------|-----------------------|
| 形名 | PAC-200DM | PAC-208DM |
| 適用機種 | PCH(Y)-35~71(S)EK(H)(D) | PCH(Y)-80~140EK(H)(D) |

※PCHZ形にも適用できます。

2 使用方法

PCH-EKD形で、ドレンを後抜きでなく天井内で処理したい場合お使いください。ドレンベッドは50cmまで確保できます。
PCH-EKD形以外の機種にはご使用できませんのでご注意ください。

3 付属部品

| 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 |
|----|-------------|----|----|-----------|----|
| ① | ドレンアップメカ | 1 | ⑥ | 配線名板 | 1 |
| ② | アタッチメント | 1 | ⑦ | ファスナー | 2 |
| ③ | ドレンホース | 1 | ⑧ | ネジ (4×10) | 6 |
| ④ | パイプカバー | 1 | ⑨ | ネジ (4×16) | 4 |
| ⑤ | 化粧カバー (側面用) | 1 | ⑩ | 白ネジ | 3 |

4 取付方法

このドレンアップメカは天吊コーナータイプ(PCH-EKDタイプ)の右側面、或いは背面に取付けることが可能ですが、背面取付の場合、化粧パネルは別売となっておりますので下表により専用の化粧カバー(PAC-〇〇〇KC)をご用意ください。

また、別売加湿器との併用はできません。これは、別売加湿器の電磁弁が故障したときにドレンのオーバーフローの恐れがあるからです。

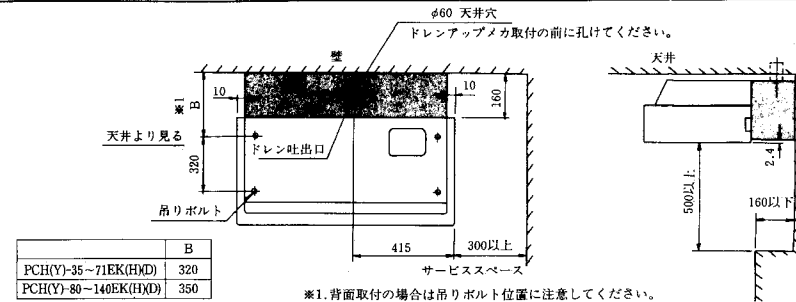
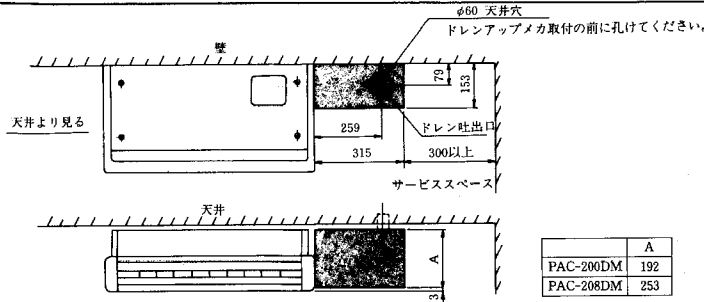
| | | | | |
|------------|-------------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|
| 機種名 | PCH(Y)-35~50(S)EK(H)(D) | PCH(Y)-56~71EK(H)(D) | PCH(Y)-80~100EK(H)(D) | PCH(Y)-112~140EK(H)(D) |
| 背面取付用化粧カバー | PAC-986KC | PAC-987KC | PAC-988KC | PAC-989KC |

※次ページへ

側面取付の場合

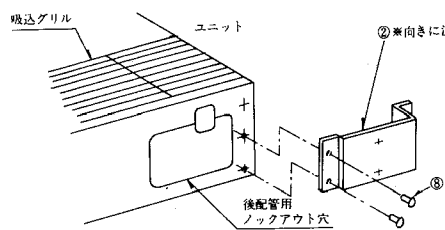
背面取付の場合

1. 外形寸法・周囲必要空間

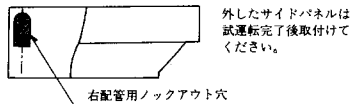


2. アタッチメントの取付

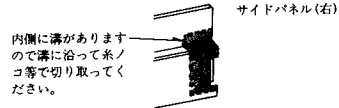
1) アタッチメント②を下図のようにネジ⑧2本でユニットに固定してください。



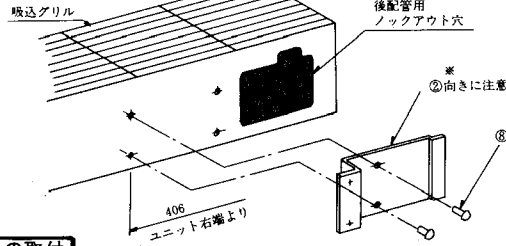
2) 右配管用ノックアウト穴を孔けてください。



3) サイドパネル(右)に配管取し用の切欠きを設けてください。



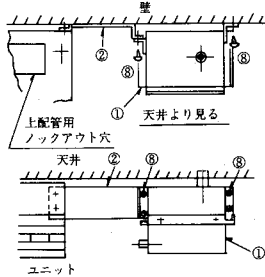
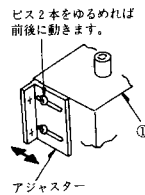
1) アタッチメント②を下図のようにネジ⑧2本でユニットに固定してください。



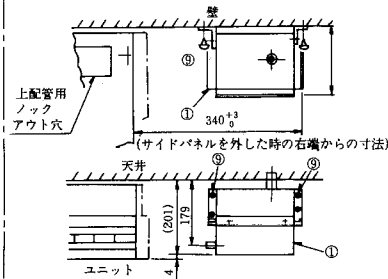
2) 後配管用ノックアウト穴を孔けてください。

3. ドレンアップメカの取付

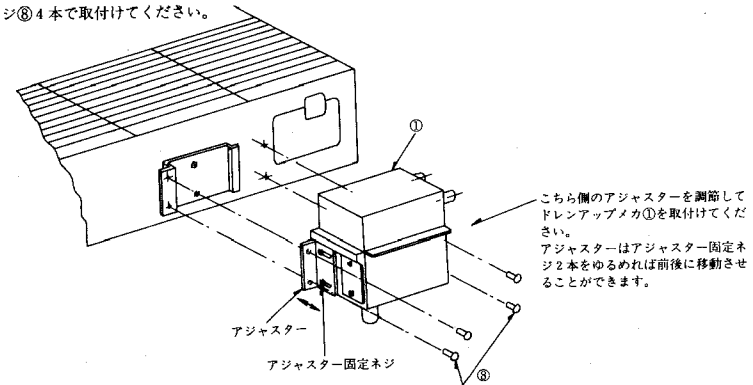
1) ユニット据付後にドレンアップメカ①を下図のようにネジ⑧4本で取付けます。
※ドレンアップメカの両脇にアジャスターがありますので下図の要領で適当に調節してください。ドレンアップメカ①取付後はアジャスターも固定してください。



※既にユニットが据付けられている場合はドレンアップメカ①をネジ⑧4本で直接壁に取付けてください。これはアタッチメント②がユニットに取付けられないためです。



3) ドレンアップメカ①をネジ⑧4本で取付けてください。



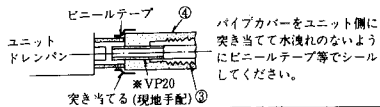
ドレン配管

●右図のようにドレン配管を行ってください。
●パイプの接続部は必ず塩ビ用接着剤(現地手配)を塗布してください。

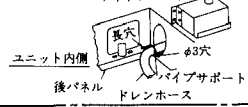
1) 予めドレンホース③にVP20(現地手配)をはめ込み、パイプカバ④を巻き付けておきます。

※VP20は次の長さに切っておいてください。
・PAC-200DM...120mm
・PAC-208DM...150mm

2) ユニット側との接続部は下図のように行ってください。



3) パイプサポート(ユニットに付属)を後パネルの長穴とサイドプレートのφ3穴に差し込んでドレンホースが逆勾配とならないようにしてください。

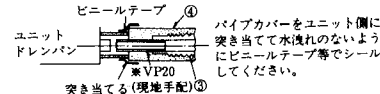


●右図のようにドレン配管を行ってください。
●パイプの接続部は必ず塩ビ用接着剤(現地手配)を塗布してください。

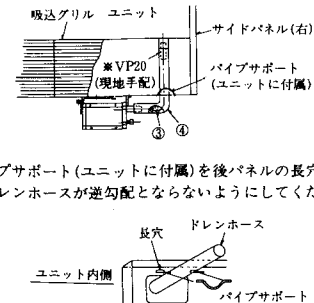
1) 予めドレンホース③にVP20(現地手配)をはめ込み、パイプカバ④を巻き付けておきます。

※VP20は次の長さに切っておいてください。
・PAC-200DM...100mm
・PAC-208DM...130mm

2) ユニット側との接続部は下図のように行ってください。



3) パイプサポート(ユニットに付属)を後パネルの長穴に差し込んでドレンホースが逆勾配とならないようにしてください。

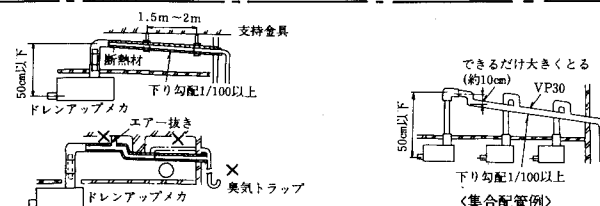


ユニットを据付ける前に

ユニットを据付ける前に

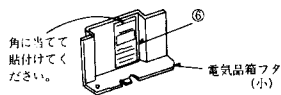
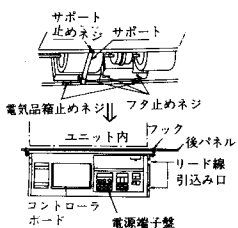
- ドレン配管は室外側（排水側）が下り勾配（1/100）となるようにし、途中にトラップや山越えを作らないようにしてください。
- ドレン配管の横引きは20m以下にしてください。また、ドレン配管が長い場合には途中に、支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。エア抜き管は絶対につけないでください。ドレンが吹出る場合があります。
- ドレン配管は硬質塩ビパイプ一般管V P 25（外径φ32）を使用し接続部は必ず塩ビ接着剤にて漏れないように行なってください。
- ドレンパイプには必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重0.03、肉厚9mm以上）を巻いてください。

- ドレン配管の排水口部の臭気トラップは必要ありません。
- 集合配管の場合右図のように、本体のドレン出口部より約10cm低い位置に集合配管がくるようにし、かつ集合配管はV P 30程度のもので下り勾配1/100以上になるように施工してください。
- ドレン配管の出口高さは、本体出口高さより、50cmまで高くさせることができますので、天井内に障害物等がある場合にエルボ等を用いて施工してください。この場合、立ち上がるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなりオーバーフローの恐れがありますので、右図の寸法内で処理願います。
- ドレン配管の出口は臭気の発生する恐れのない場所に施工してください。

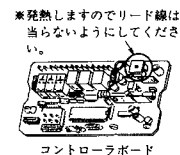
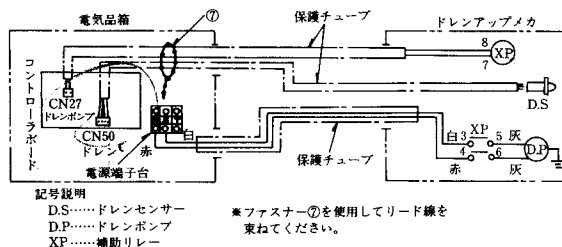


4. 電気配線

- 1) ユニットの吸込グリルを外します。
- 2) サポート1本を外します。
- 3) 電気品箱を右図のようにユニットから降ろしてください。このとき電気品箱の両脇にS形状のフックがついていますので後パネルの丸穴に引っ掛けてください。
- 4) 電気品箱のフタ2枚を外します。電源端子台側のフタの内側に配線名板⑥を貼付けます。



- 5) 電気配線をしてください。電気品箱内のコントローラボードにコネクタ接続をしてください。ただし、コントローラボードのCN50には短絡コネクタ（不要になります）がついていますので取外してください。



＊ファスナー⑦を使用してリード線を束ねてください。

- 6) 配線作業が完了しましたら、電気品箱、サポートなどを元通りに取付けてください。

5. 試運転

- ドレンアップメカの取付及びドレン配管施工完了後、排水が確実に行なわれていることと、接続部からの水洩れのないことを確認してください。

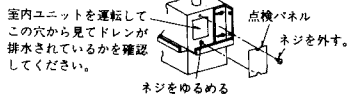
- 1) ユニットの右側面より注水（約1,000cc）してください。

点検パネルを外しこの穴より注水



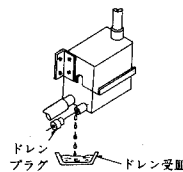
- 2) ドレンアップメカの点検パネルを右図のように外し、ユニットを試運転してドレンアップメカが作動するか確認してください。

- a) 試運転スイッチで確認する場合
 - 1) 元電源を入れてください。
 - 2) リモコンの「**試運転**」スイッチを2度押してください。
 - 3) リモコンの「**捨房**」を押してください。
 - 4) ドレンアップメカが作動し、ドレンを排水します。



- 3) 確認後、試運転を解除してください。リモコンの「**運転/停止**」を押せば解除されます。
 - 4) 元電源を切ってください。
- b) 強制運転で確認する場合
 - 1) ユニットのコントローラボードのディップスイッチ「DIP SW3」の①②③をON側に、④をOFF側にしてください。
 - 2) 電源を入れますとドレンアップメカが作動しドレンを排水します。
 - 3) 確認後、ディップスイッチ「DIP SW3」は必ず①②③④をOFF側にしてください。
 - 4) 元電源を切ってください。

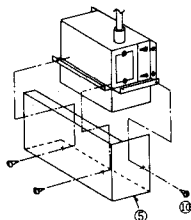
- 3) 確認後点検パネル等を元通りに取付けてください。
＊暖房シーズンにドレンアップメカを取付けた場合は必ずドレン抜きを行ってください。ドレン抜きはドレンアップメカのドレンプラグを外せば行えます。そのときドレンの受皿を用意してください。ドレン抜きが完了しましたらドレンプラグを元通りにはめ込んでください。



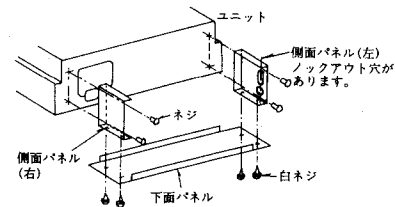
- 4) 側面取付の場合は化粧カバーを取付ける前にサイドパネル(右)を元通りに取付けてください。

6. 化粧カバー取付

- 1) 化粧カバー⑤を白ネジ3本で右図のように取付けてください。



- この化粧カバー（側面、下面）は別売となっております。
- 1) 右図のように側面パネルをユニットの背面にネジ4本で取付けてください。
 - 2) 次に下面パネルを白ネジ4本で取付ければ完了です。

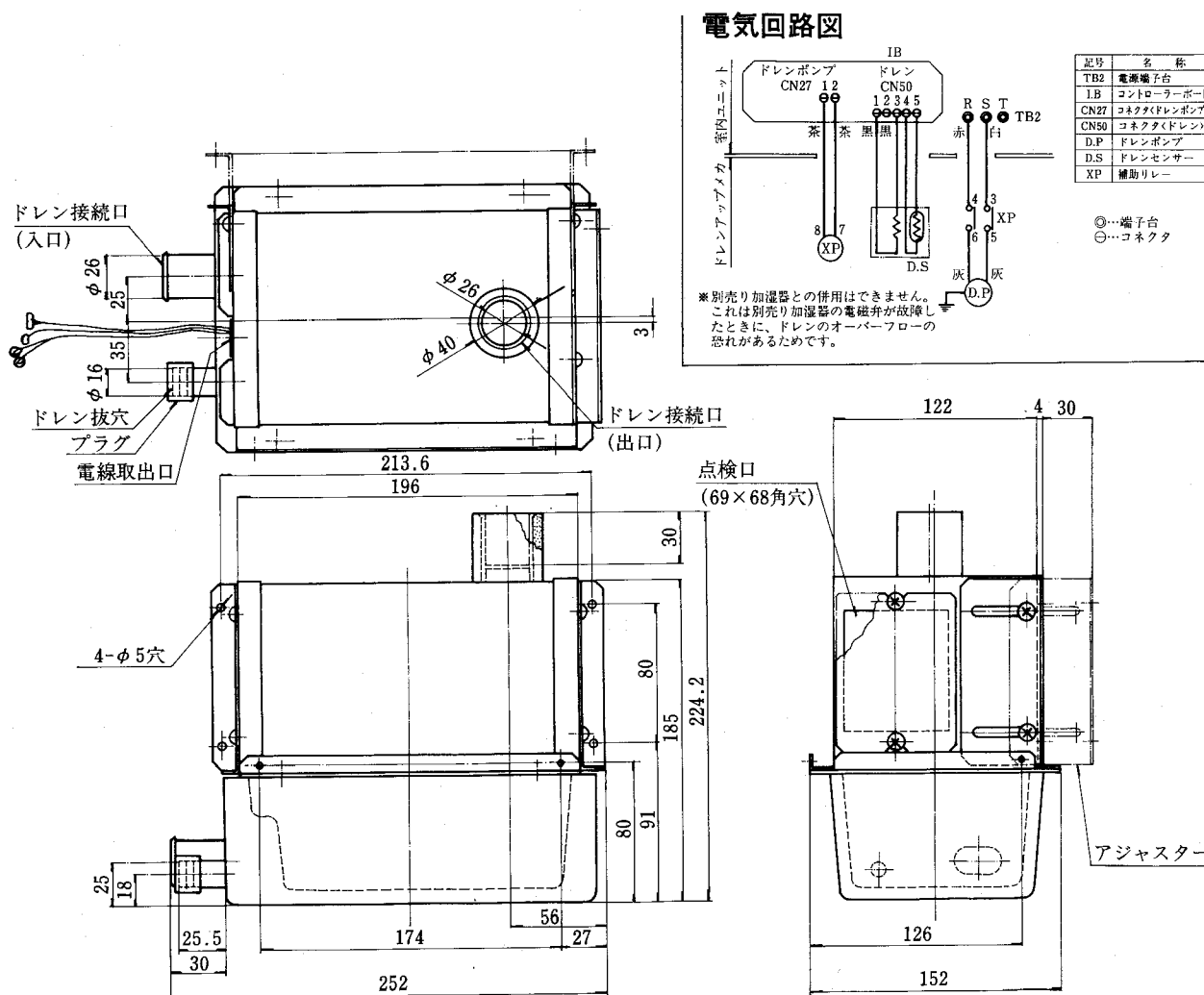
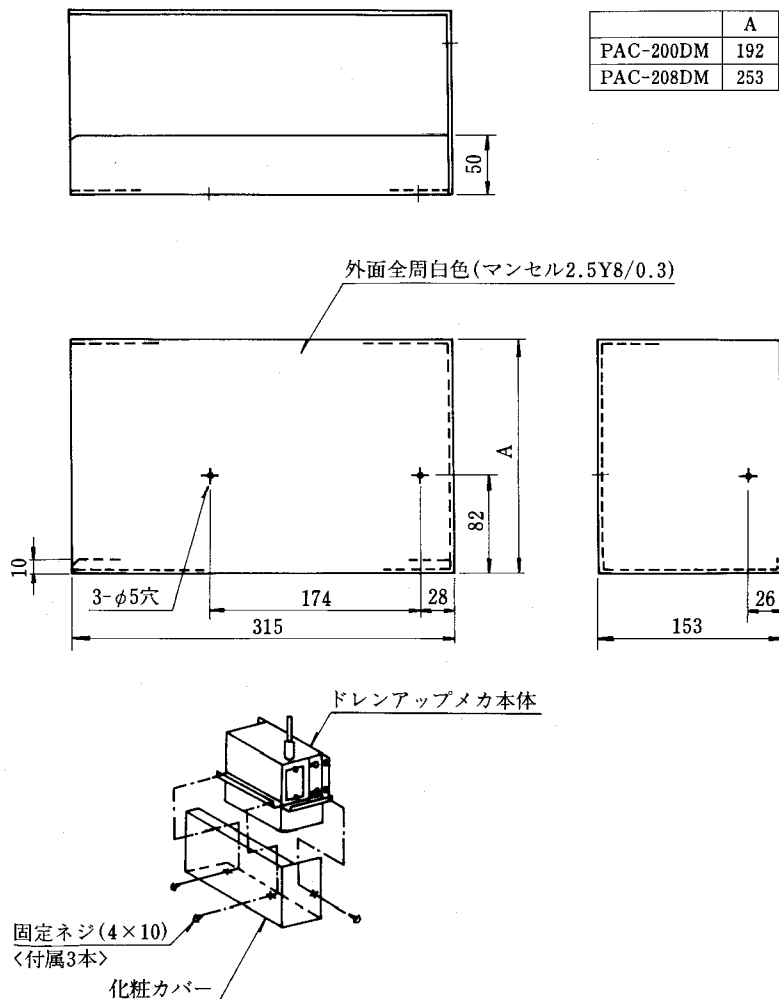


三菱電機パッケージエアコン用ドレンアップメカ外形図

形名 PAC-200DM・208DM 適用機種

| | PAC-200DM | PAC-208DM |
|--|--------------------|------------------|
| | PCH-35~71(S)EK(H)D | PCH-80~140EK(H)D |
| | PCHY-40~71EK | PCHY-80~125EK |

側面取付化粧カバー(付属)

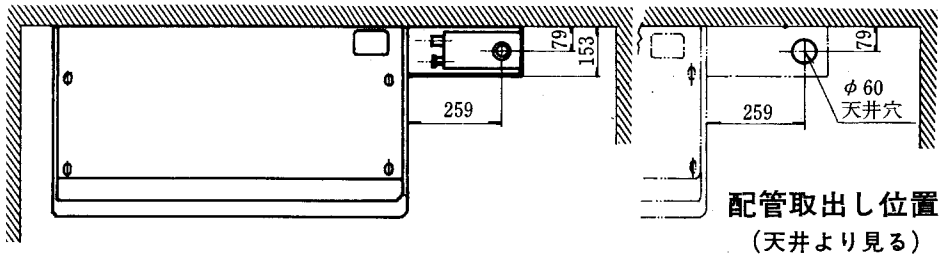


三菱電機パッケージエアコン用ドレンアップメカ本体取付図

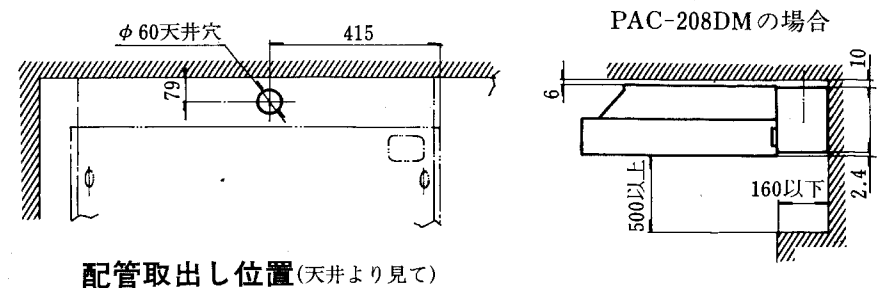
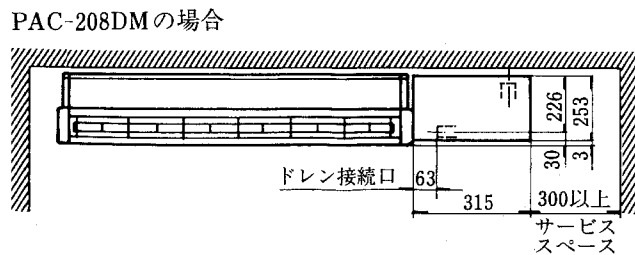
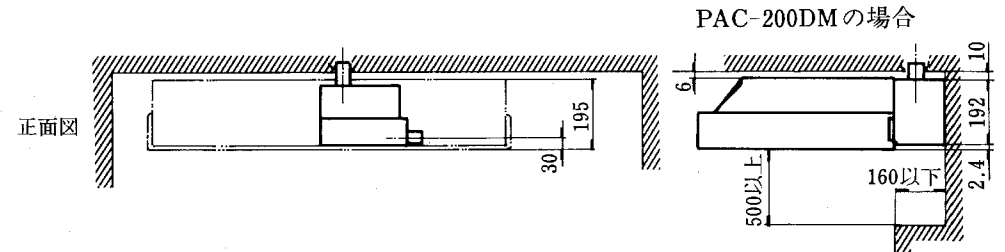
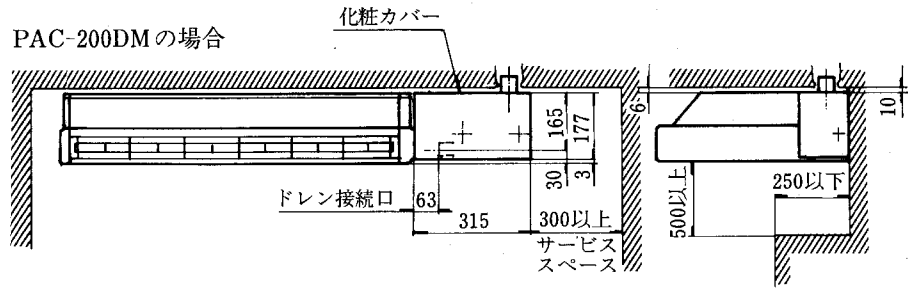
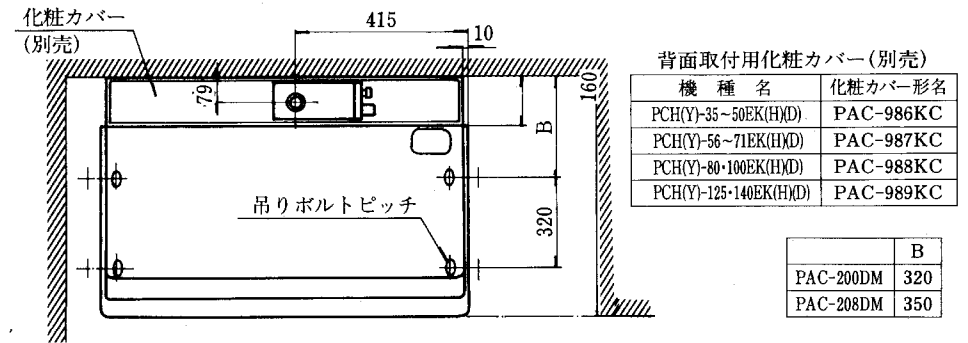
形名 PAC-200DM・208DM 適用機種

| PAC-200DM | PAC-208DM |
|----------------------------------|------------------------------------|
| PCH-35~71EK(H/D) PCHY-40~71EK | PCH-80~140EK(H/D) PCHY-80~125EK |

側面取付時の取付図



背面取付時の取付図



左配管用化粧カバー (PCH-EKD用)

形名 PAC-986・987・988・989KC

1 適用機種

| 形名 | PAC-986KC | PAC-987KC | PAC-988KC | PAC-989KC |
|------|-------------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|
| 適用機種 | PCH(Y)-35~50(S)EK(H)(D) | PCH(Y)-56~71EK(H)(D) | PCH(Y)-80~100EK(H)(D) | PCH(Y)-112~140EK(H)(D) |

※PCHZ形にも適用できます。

2 使用方法

この化粧カバーは、別売ドレンアップメカをユニットの背面に取付けた時に取付けてください。
また、ドレン及び冷媒配管をユニットの左側に出したい時に、化粧カバーとしてもご使用できます。

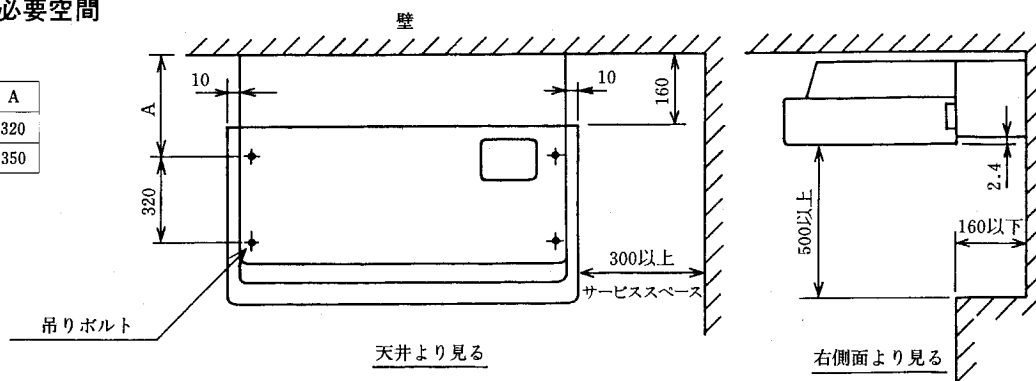
3 付属部品

| 品番 | 品名 | 個数 |
|----|------------------|----|
| ① | 右側面パネル | 1 |
| ② | 左側面パネル(ノックアウト穴付) | 1 |
| ③ | 下面パネル | 1 |
| ④ | ネジ | 4 |
| ⑤ | 白ネジ | 4 |

4 取付方法

外形寸法・周囲必要空間

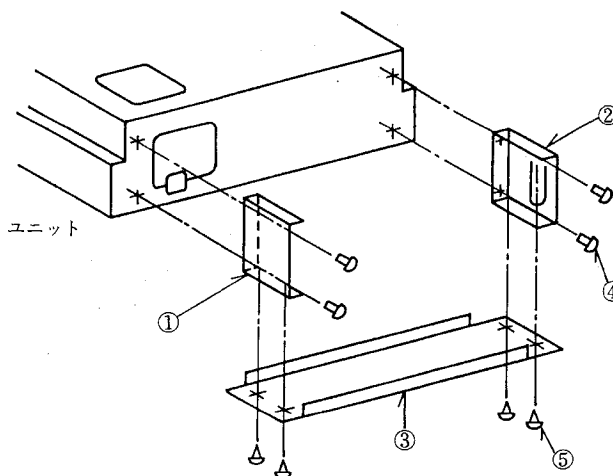
| | A |
|-----------------------|-----|
| PCH(Y)-35~71EK(H)(D) | 320 |
| PCH(Y)-80~140EK(H)(D) | 350 |



※吊りボルト位置が上図のようになりますので注意してください。

取付方法

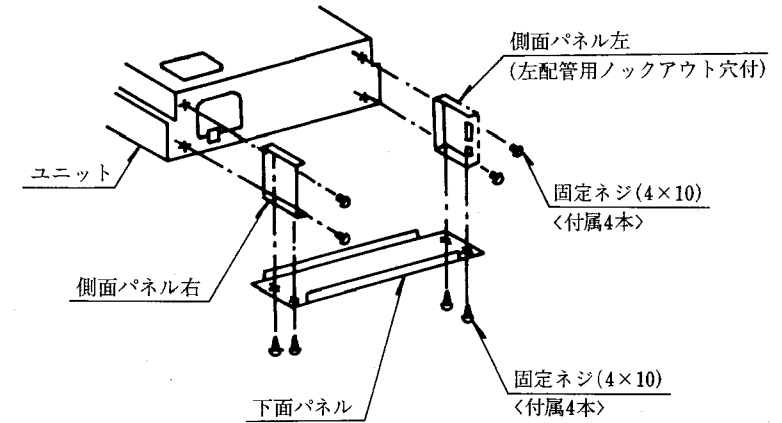
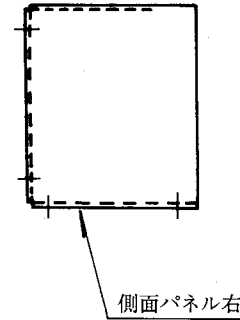
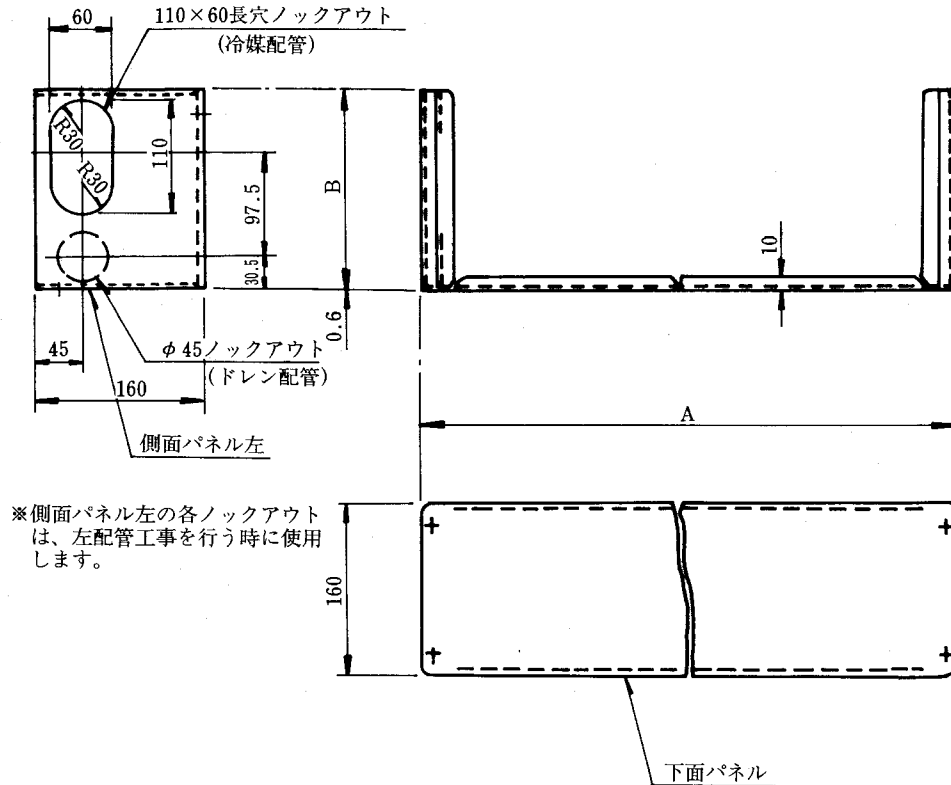
1. 右側面パネル①と左側面パネル②をネジ④4本でユニットに取付けてください。
ただし、左配管を施工する場合は予め、左側面パネルのノックアウト穴を孔けておいてください。
2. 下面パネル③を白ネジ⑤4本で取付けてください。
以上の作業で、化粧カバーの取付けは完了です。



三菱電機パッケージエアコン用左配管用化粧カバー外形図

形名 PAC-986・987・988・989KC 適用機種

| PAC-986KC | PAC-987KC | PAC-988KC | PAC-989KC |
|------------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|
| PCH-35~50 (S)EK(H)D | PCH-56~71 EK(H)D | PCH-80~100 EK(H)D | PCH-112~140 EK(H)D |
| PCHY-40・50EK | PCHY-63・71EK | PCHY-80~100EK | PCHY-125EK |



色調：外面全周白色(マンセル2.5Y8/0.3)

| | A | B |
|-----------|------|-----|
| PAC-986KC | 1000 | 192 |
| PAC-987KC | 1300 | 192 |
| PAC-988KC | 1300 | 253 |
| PAC-989KC | 1600 | 253 |

高静圧用ファンモーター

(PEH-EKD用)

形名 PAC-912・913・914FM

1 適用機種

| | | | |
|------|-------------------|------------------|------------|
| 形名 | PAC-912FM | PAC-913FM | PAC-914FM |
| 適用機種 | PE(H)-56・63・71EKD | PE(H)-100・125EKD | PEH-140EKD |

2 使用方法

この別売高静圧ファンモーターは、長尺ダクトやフィルターなどによりダクト系の抵抗が増大し、静圧損失が大きくなって所定の風量が標準モーターでは得られない場合にご利用いただく別売部品です。

別売高静圧用ファンモーター仕様

〔 〕内は標準モーターの場合

50Hz/60Hz

| | 標準機外静圧 (mmAq) | 標準風量 (m^3/min) | 電動機出力 (kw) | 使用可能風量範囲 (m^3/min) | 騒音値 (dB) | ファン形式×個数 |
|--------------------------------|------------------|------------------------------|----------------|---|------------------------------|-----------|
| PAC-912FM (PE(H)-56・63・71用) | 15/15 〔6/7〕 | 24-21/26-22 〔24-21/26-22〕 | 0.26 〔0.17〕 | 56形 $\frac{22-12/24-14}{21-12/20.5-13}$ 63・71形 $\frac{27-16/28-18}{26-15/28-18}$ | 55-52/55-52 〔51-48/53-49〕 | シロココファン×1 |
| PAC-913FM (PE(H)-100・125用) | 15/15 〔6/7〕 | 32-26/34-28 〔32-26/34-28〕 | 0.28 〔0.24〕 | 35.5~21/35.5~24 〔35~21/37~24〕 | 57-54/58-54 〔54-49/55-50〕 | シロココファン×1 |
| PAC-914FM (PEH-140用) | 15/15 〔10/10〕 | 38-30/38-32 〔38-33/38-30〕 | 0.3 〔0.25〕 | 39.5~24/38.5~26 〔42~24/43~26〕 | 56-52/56-53 〔55-50/55-48〕 | シロココファン×2 |

3 付属部品

| 品名 | 品名 | 仕様及び個数 | | |
|----|-------------|------------------|-------------------|-------------------|
| | | PAC-912FM | PAC-913FM | PAC-914FM |
| ① | 高静圧用ファンモーター | 0.26kw×1 | 0.28kw×1 | 0.3kw×1 |
| ② | コンデンサ組立 | 350V 8 μ F×1 | 350V 12 μ F×1 | 350V 12 μ F×1 |
| ③ | 配線変更名板 | 1 | 1 | 1 |
| ④ | 仕様変更名板 | 1 | 1 | 1 |
| ⑤ | ファンモーター取付足 | 1 | 1 | なし |
| ⑥ | ファンモーター取付台 | なし | 1 | なし |

4 取付要領

ご注意

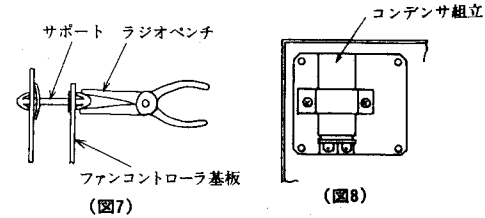
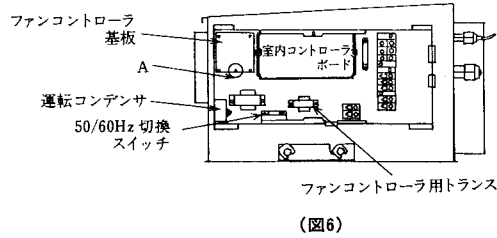
- ユニット本体を据付ける前にファンモーターの交換作業を行ってください。
- ファンモーター交換の為、種類の異った、多くのネジをはずします。
紛失しないようにしてください。
- 本体への組込は現地工事です。
(詳細は取付説明書をご覧ください。)
- 本体を天井に吊込んだ後の作業はできません。
必ず本体吊込み前にモーター交換をしてください。
- 標準品より騒音値が大きくなります。現地の状況に応じ消音対策を必要とする場合もあります。

次の手順にて、分解および再組立を行なってください。

| | | |
|---------------------------------------|--|-------------------------|
| <p>(1) 電気品ボックスのカバー、ドレンパンをはずす。</p> | <p>1. 電気品ボックスのカバーの止めネジ(2本)をはずし、カバーをはずします。 2. ドレンパンの止めネジ(ステンレスネジ)をはずし、ドレンパンをはずします。 (PE(H)-63~125EKD形...2本) (PEH-140EKD形...3本)</p> | <p>(図1)</p> |
| <p>(2) 送風機組立をはずす。</p> | <p>1. 電気品ボックスの下側にある、ファンモータ用のリード線の、コネクタをはずします。 2. キャビネットの前パネル(吹出口部)の止めネジをはずし、送風機組立を引き出します。 (PE(H)-63,71EKD形...8本) (PE(H)-100~140EKD形...10本)</p> | <p>(図2)</p> |
| <p>(3) シロッコファンをはずす。</p> | <p>1. 送風機組立部のベルマウスの止めネジ(4本)をはずし、ベルマウスをはずします。 PEH-140EKD形は、左右両方のベルマウスをはずします。 2. シロッコファンのセットネジをスパナ(10mm)にてゆるめ、シロッコファンを引き抜きはずします。 PEH-140EKD形は、左右両方のシロッコファンをはずします。 3. PEH-140EKD形のみ 左右いずれかのケーシングの止めネジ(6本)をはずし、ケーシングをはずします。</p> | <p>(図3)</p> |
| <p>(4) ファンモータを交換する。</p> | <p>1. ファンモータのアース線の止めネジ(1本)をはずし、アース線をはずします。(図4) 2. ファンモータを固定している止めネジ(2本)をはずし、ファンモータをはずします。(図4) 3. PE(H)-63,71EKD形のみ ファンモータ取付足の止めネジ(4本)をはずし、ファンモータ取付足を交換します。(図4) 4. PE(H)-100,125EKD形のみ ファンモータ取付足の止めネジ(4本)、ファンモータ取付足の止めネジ(6本)をはずし、ファンモータ取付足、ファンモータ取付台をそれぞれ交換します。(図4) 5. ファンモータ(ラバーマウント付)を交換します。 押え金具は流用します。 ファンモータはリード線が図5の方向になるように取り付けます。 ファンモータ本体に回転方向の印がありますので図5と同じ回転方向になるように取付けます。 ファンモータ本体の突起部がファンモータ取付足に当たらないように取付けます。(図5)</p> | <p>(図4)</p> <p>(図5)</p> |

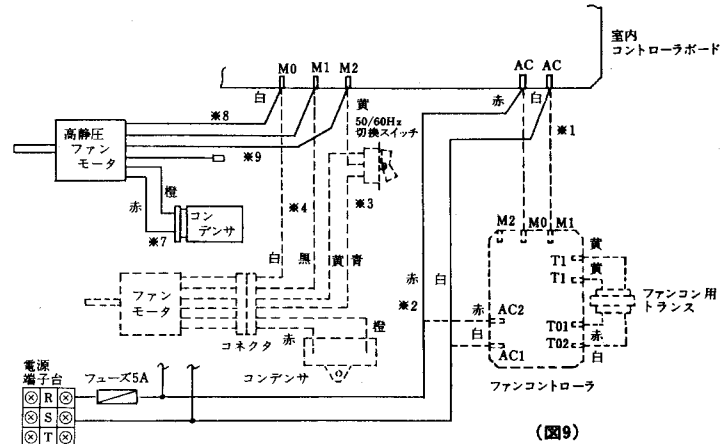
(5) 電気配線を変更する。

1. ファンコントローラ基板から、室内コントローラボードのAC端子に入る、白色、赤色リード線をそれぞれ取りはずします。(図9)
2. 電源端子台からファンコントローラ基板のAC1,2端子に入る白色、赤色リード線ははずし、室内コントローラボードのAC端子にそれぞれ接続変更をします。(図9)
3. 50/60Hz切換スイッチから室内コントローラボードのM2端子に入る黄色リード線を取りはずします。(図9)
4. ファンモーター用リード線のコネクタから室内コントローラボードのM0端子に入る白色リード線と、M1端子に入る黒リード線を取りはずします。(図9)
5. 電気品ボックス内の部品のファンコントローラ基板、運転コンデンサ、50/60Hz切換スイッチ、ファンコントローラ用トランスを接続されたリード線ごと、それぞれ取りはずします。(図6) ファンコントローラ基板は図7のようにラジオペンチにてサポートの頭をはさみ基板をはずします。



(図6 "A"部以外のサポート4ヶはそのまま残します。)

6. ファンコントローラ基板を取付けていた、サポートを流用して、(図6. "A"部のサポートは取りはずしてください) 図8のようにコンデンサ組立を取付けます。
7. 高静圧ファンモーターからの赤色、橙色リード線を、コンデンサ組立の端子にそれぞれ接続します。(極性はありませんのでどちらに接続してもかまいません。)(図9)
8. 高静圧ファンモーターからの白色リード線を室内コントローラボードのM0端子に接続します。(図9)
9. 高静圧ファンモーターから室内コントローラボード

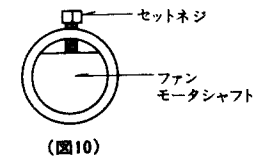


| 電源周波数 | 室内コントローラボード端子 | | 接続しないリード線 |
|--------|---------------|--------|-----------|
| | M1 | M2 | |
| 50Hz地域 | 青色リード線 | 黄色リード線 | 黒色リード線 |
| 60Hz地域 | 黒色リード線 | 青色リード線 | 黄色リード線 |

のM1、M2端子に接続されるリード線は、ご使用になる地域の電源の周波数により異なりますので、右記表により接続してください。(表1) 接続しないリード線の端末処理は、電気絶縁ビニールテープを巻き付けて、絶縁処理してください。

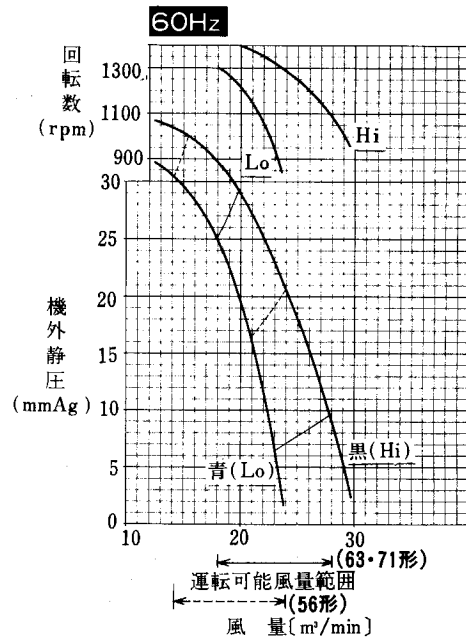
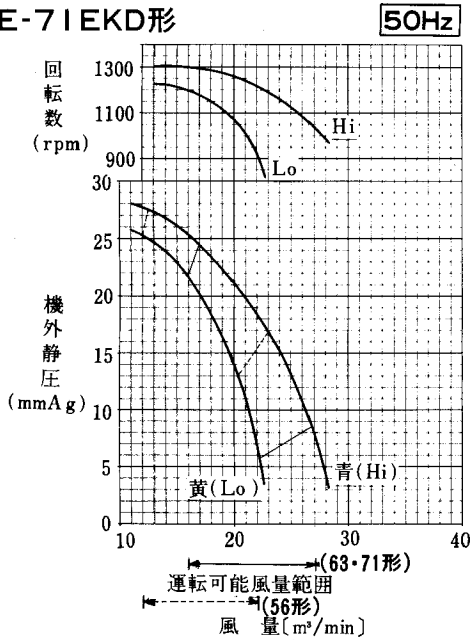
(6) ユニートを再組立します。

1. 分解時の逆手順です。止めネジ、セットネジは元通りしっかりと締め付けてください。
2. シロッコファンには、回転方向の印が有りますので図5の回転方向と同じになるように取付けてください。
PEH-140EKD形のシロッコファンは、右用、左用がありますので注意してください。
3. シロッコファンは、ケーシングとの両側の隙間を均等にあげて固定してください。セットネジはファンモーターシャフトのDカット部に締め付けます。(図10)
4. 組立後、手でシロッコファンを回して見て、シロッコファンがスムーズに回ることを確認してください。
5. 配線変更名板は、標準配線名板の近くに、標準仕様変更名板は、製品名板の近くにそれぞれ貼ってください。
6. 以上の作業が終了しましたら、ネジの締め付け等の組立チェックを行ってから、試運転を行い異常の無いことを確認してください。

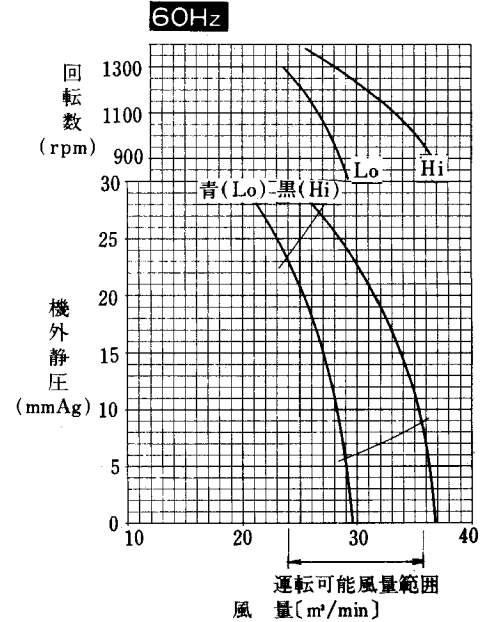
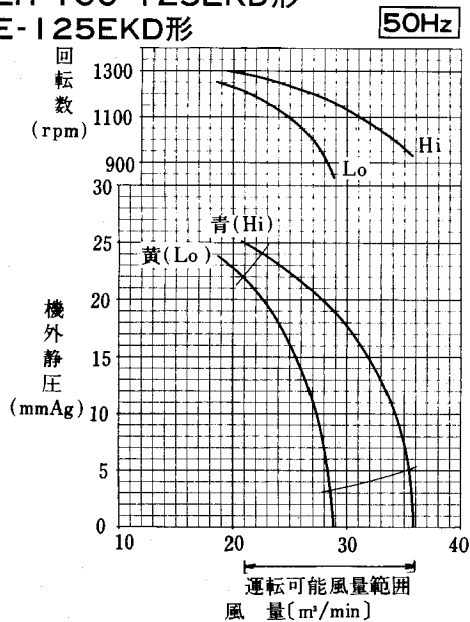


PE<H>形用高静圧ファンモーター送風機(別売)特性線図

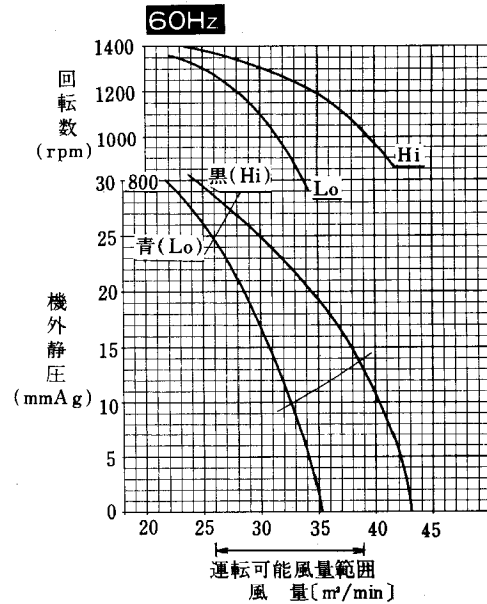
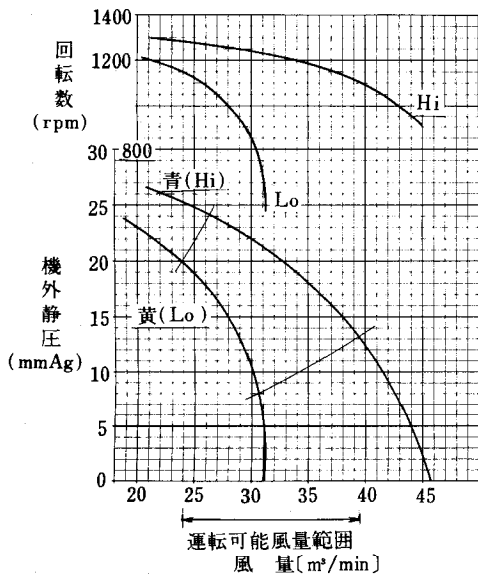
PEH-56・63・71EKD形
PE-71EKD形



PEH-100・125EKD形
PE-125EKD形



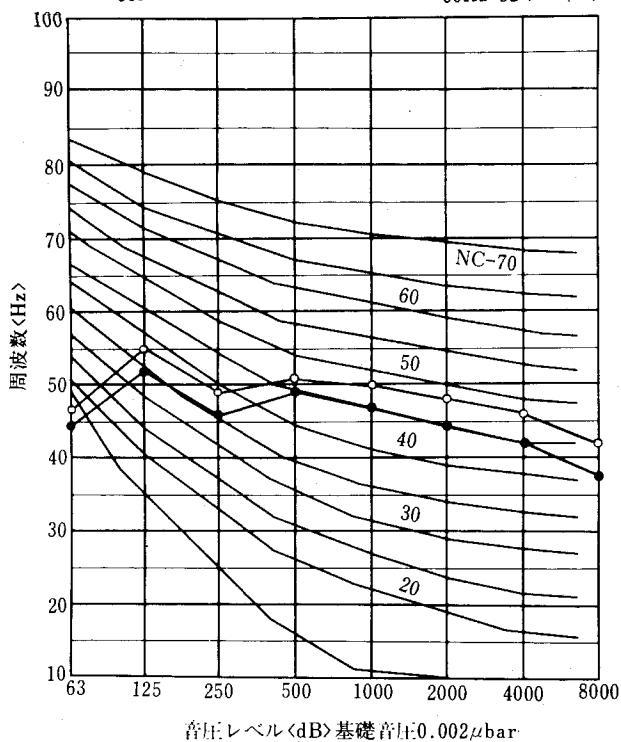
PEH-140EKD形



室内ユニット騒音特性(高静圧ファンモーター組込時)

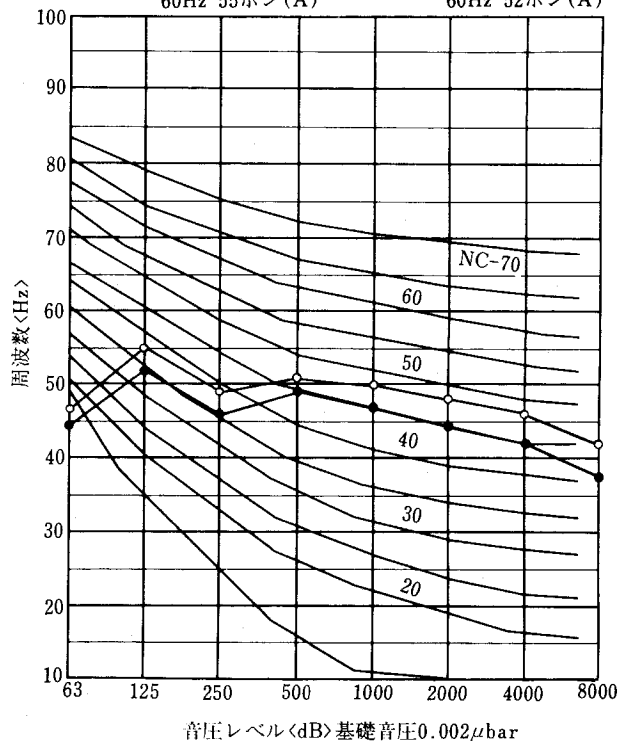
PEH-56EKD形

強 ○ 50Hz 55ホン(A)
60Hz 55ホン(A) 弱 ● 50Hz 52ホン(A)
60Hz 52ホン(A)



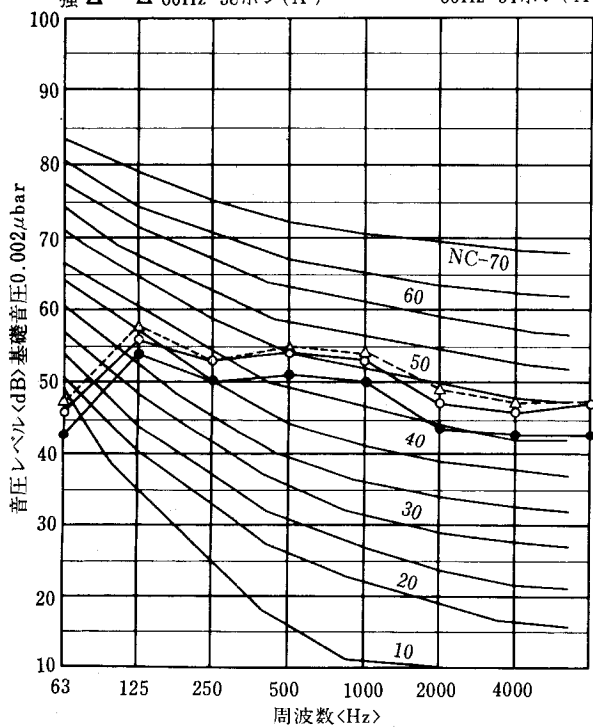
PEH-63EKD形、PE<H>-71EKD形

強 ○ 50Hz 55ホン(A)
60Hz 55ホン(A) 弱 ● 50Hz 52ホン(A)
60Hz 52ホン(A)



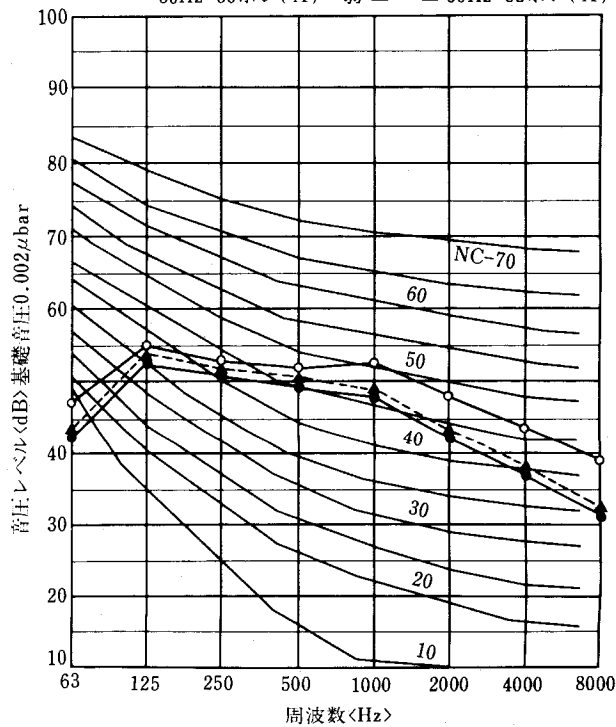
PE<H>-100・125EKD形

強 ○ 50Hz 57ホン(A)
60Hz 58ホン(A) 弱 ● 50Hz 54ホン(A)
60Hz 54ホン(A)



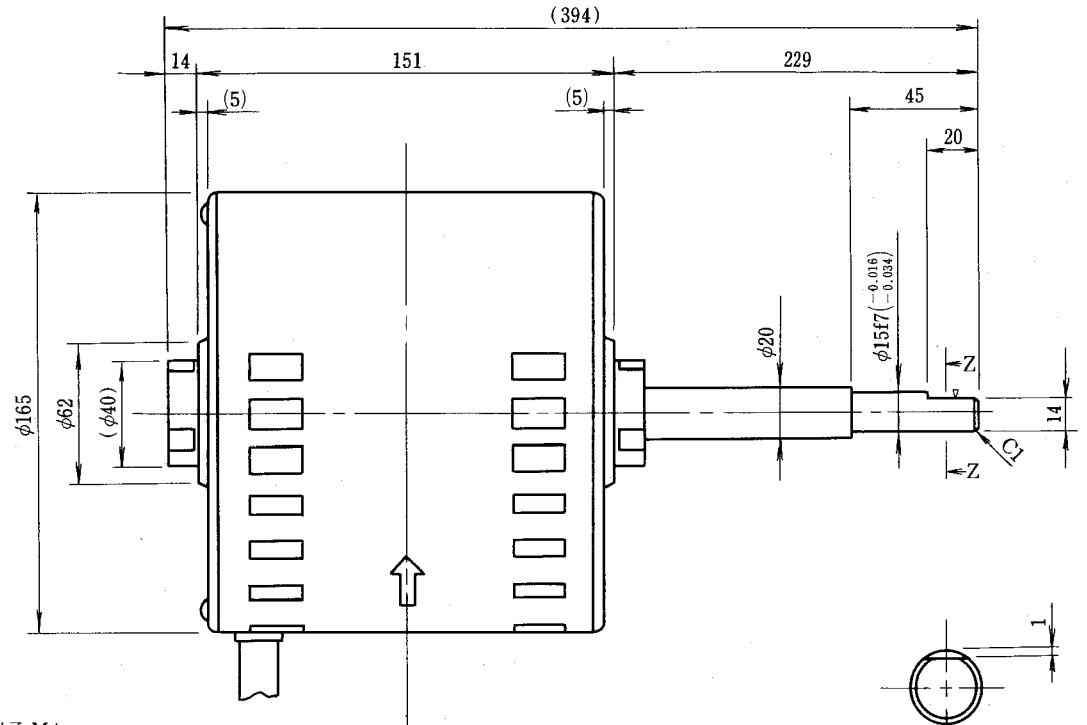
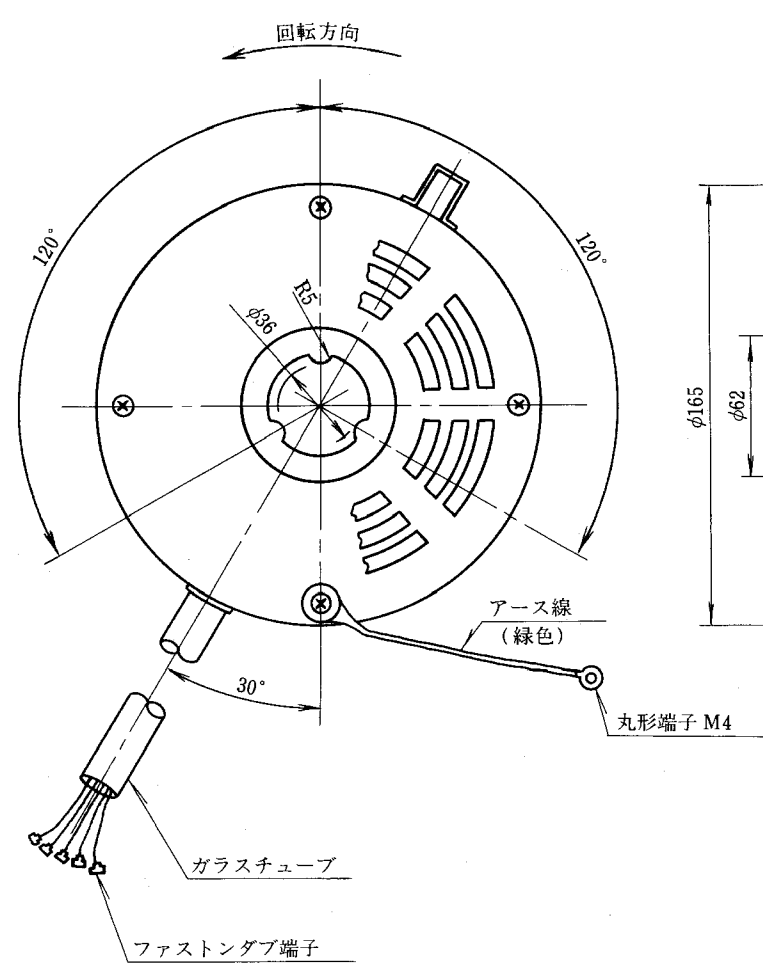
PEH-140EKD形

強 ○ 50Hz 56ホン(A)
60Hz 56ホン(A) 弱 ● 50Hz 52ホン(A)
60Hz 53ホン(A)

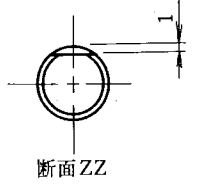
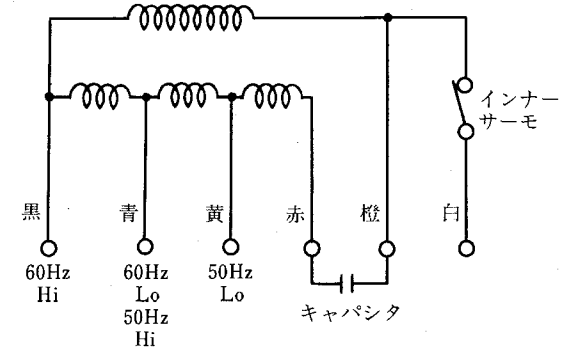


三菱電機パッケージエアコン用高静圧ファンモーター外形図

形名 PAC-912FM 適用機種 PE(H)-56・63・71EKD



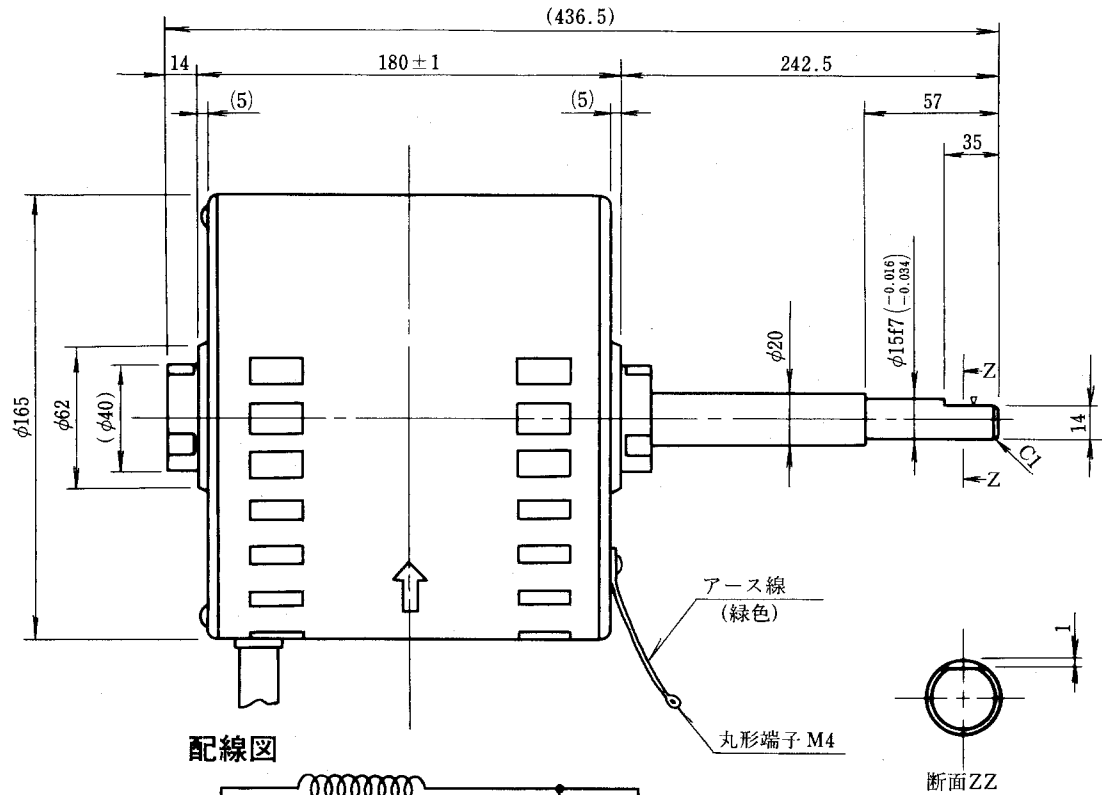
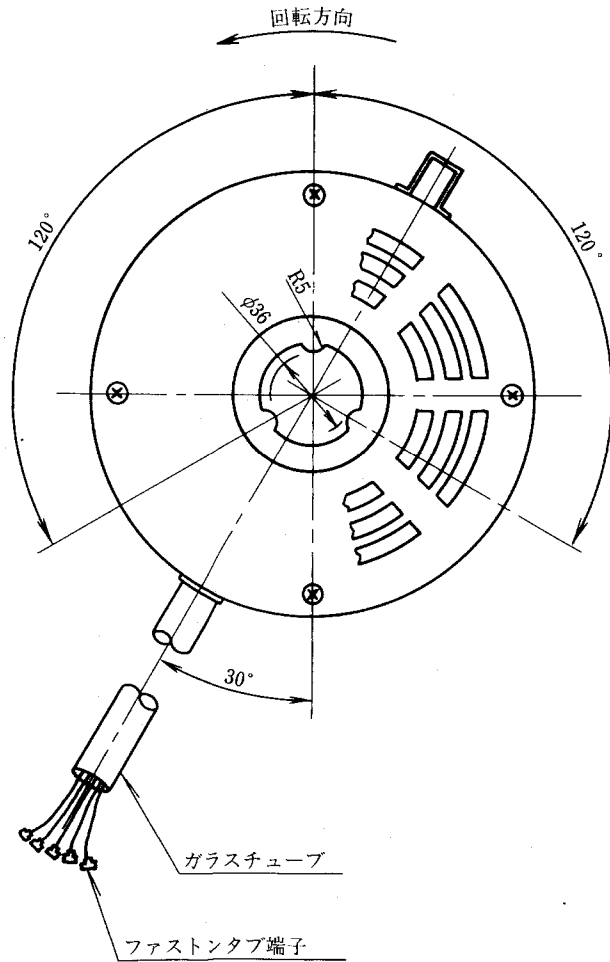
配線図



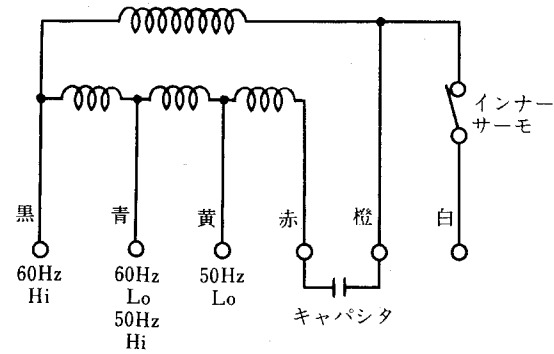
室内マイコンボードへ

三菱電機パッケージエアコン用高静圧ファンモーター外形図

形名 PAC-913FM 適用機種 PE(H)-100・125EKD



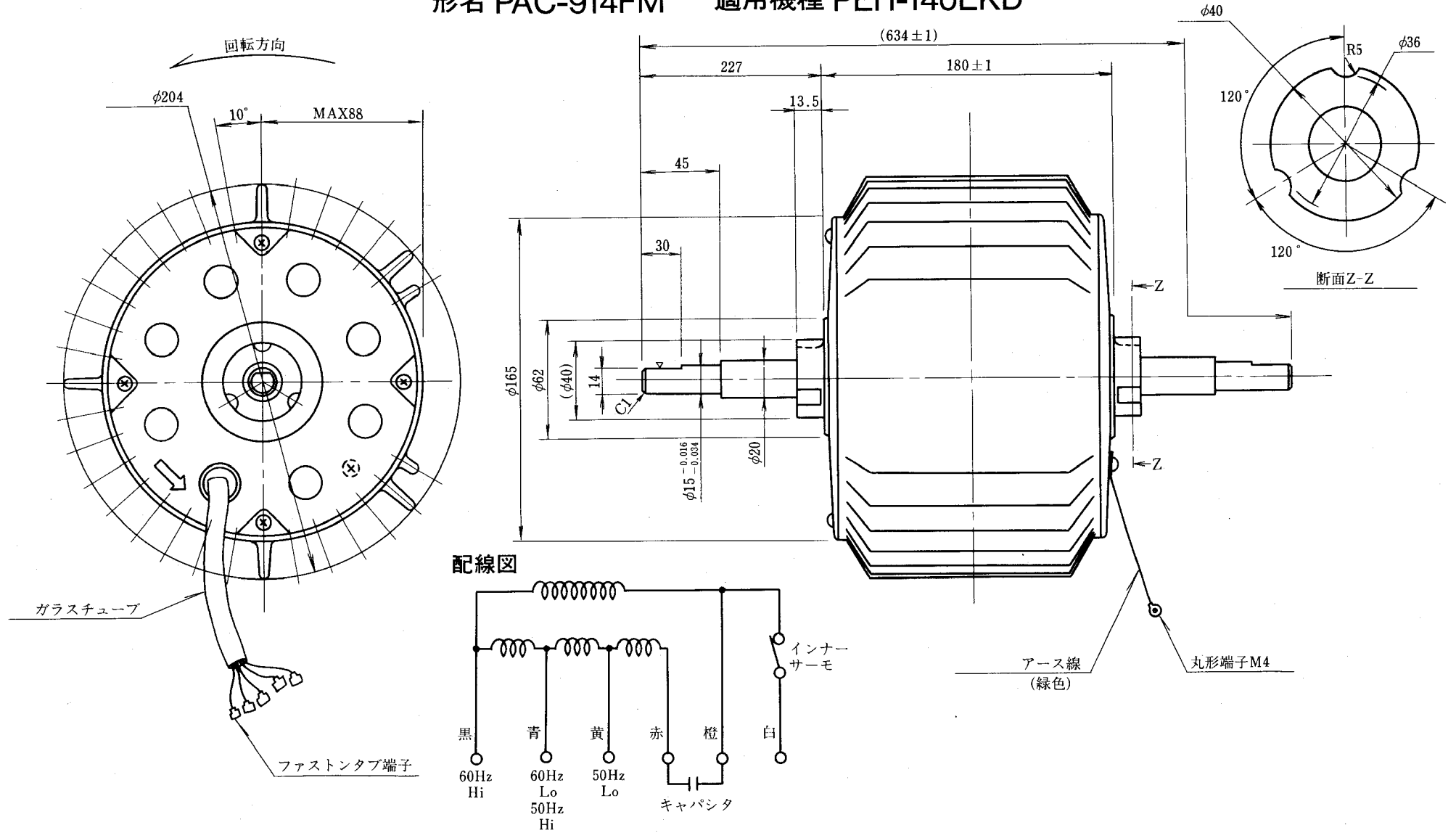
配線図



室内マイコンボードへ

三菱電機パッケージエアコン用高静圧ファンモーター外形図

形名 PAC-914FM 適用機種 PEH-140EKD



室内マイコンボードへ

前吹出しグリル(PMH-EKD形用)

形名 PAC-377GS
378GS
379GS

1 適用機種

| 形名 | PAC-377GS | PAC-378GS | PAC-379GS |
|------|--------------------|------------------|-------------------|
| 適用機種 | PMH-45・50(S)EK(H)D | PMH-56~100EK(H)D | PMH-125・140EK(H)D |

2 使用方法

下がり天井に据付けて、前吹出しをしたい場合、専用化粧パネルとセットで使用します。

3 付属部品

| 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 |
|----|-------------|----|----|----------------|--|
| ㊦ | 前吹出しグリル | 1 | ㊤ | グリル固定ネジ(M4×30) | 4 |
| ㊧ | 断熱材(厚さ2mm) | 1 | ㊦ | グリル固定ネジ(M4×60) | 4 |
| ㊨ | 断熱材(厚さ10mm) | 1 | ㊧ | グリル固定ネジ(4×10) | 8……PAC-377GS 12……PAC-378GS 14……PAC-379GS |

4 取付方法

ご注意 この前吹出しグリルを使用する場合は、本体の化粧パネルは吹出し口のない前吹出し専用ホワイト化粧パネルと組合せ下さい。必ず、下表の専用化粧パネル(PMP-○○○ASW)をご用意ください。

| 形名 | PMP-050ASW | PMP-100ASW | PMP-140ASW |
|------|--------------------|------------------|-------------------|
| 適用機種 | PMH-45・50(S)EK(H)D | PMH-56~100EK(H)D | PMH-125・140EK(H)D |

※前吹出し専用ホワイト化粧パネルには次の部品が付属しています。

| 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 |
|----|------------|----|----|---------------------------|----|
| ㊩ | 化粧パネル | 1 | ㊰ | パネル固定ネジ(化粧パネル仮固定用(H4×40)) | 2 |
| ㊪ | ゲージ | 1 | ㊱ | パネル固定ネジ(化粧パネル固定用(M4×20)) | 4 |
| ㊫ | サポート | 1 | ㊲ | パネル固定ネジ(サポート固定用(4×10)) | 1 |
| ㊬ | 断熱材(厚さ5mm) | 1 | ㊳ | パネル固定ネジ(サイドパネル固定用(4×10)) | 4 |
| ㊭ | ブッシュ | 4 | | | |

※次ページへ

1 本体の準備

※ 前吹き出しグリル及び前吹き出し専用化粧パネルの取付の際、本体の準備として下記作業が必要です。本体を据付ける前にならず行なってください。

(a) 部品の取外し(図1)

- 1) 本体のオートベーン保護材(発泡スチロール)2ヶを取外してください。
 - 2) 本体右端部にあるカバー(小)固定用タッピンネジ2本を外しカバー(小)①を取外してください。
 - 3) ドレンパン②の内部に収納されているコネクタ③を引出し、接続を外してください。
 - 4) モータボックス固定用タッピンネジ2本を外し、モータボックス④側のオートベーン(右側)⑤を保持しながらモータボックス④を矢印⑥の方向にスライドさせ、オートベーン(右側)⑤を取外してください。
 - 5) モータボックス④及びベーンクランク⑥を取外してください。
 - 6) 本体中央部のベーンサポート固定用タッピンネジ1本を外しベーンサポート⑦、ジョイント⑧、オートベーン(左側)⑤を取外してください。
 - 7) ルーバーサポート固定用タッピンネジ2本を外し、シングルルーバー⑨、ルーバーサポート⑩を取外してください。
 - 8) 上記部品を取外したことを確認後、付属の断熱材(厚さ10mm)を断熱材取付詳細に従って取付け、カバー(小)①、ベーンサポート⑦だけをもとの位置に固定してください。
- ※ 本体からのコネクタはかならずもとの位置に納めてください。

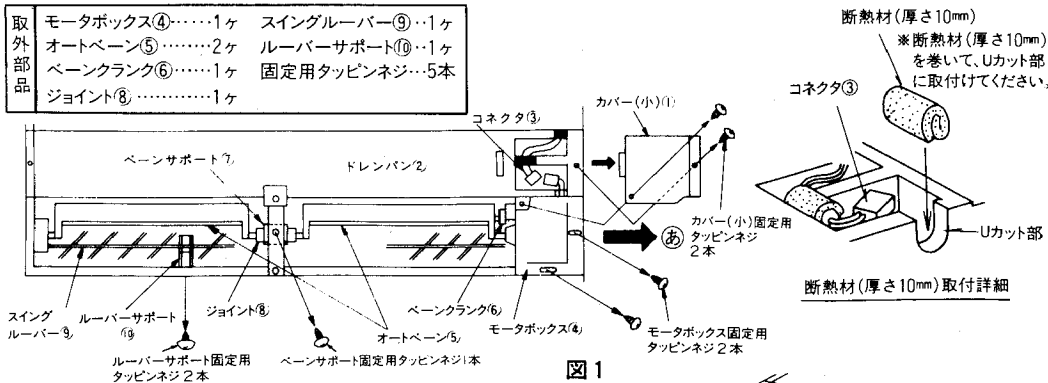


図1

(b) 本体前吹き出し穴(ロックアウト穴)の開口(図2)

- 1) 本体前面部の断熱材のスリット部(斜線部)をカッターナイフ等で切取ってください。
 - 2) ロックアウト部を開けてください。
 - 3) 本体内部の断熱材をロックアウト穴に沿ってカッターナイフ等で切取って開口してください。
 - 4) ルーバーサポートの取付ネジ穴の所に付属の断熱材を貼付してください。
- ※ ロックアウト部を開ける途中で内部の断熱材がはがれた場合は開口後、修復してください。(金属部が露出していると露付の原因になります)

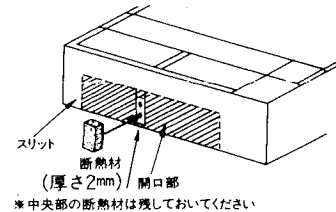
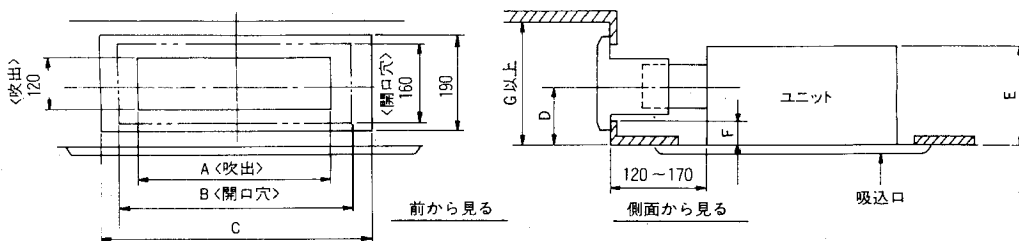


図2

2 下がり天井の施工または開口 (図3)

- 1) 前吹き出しグリル取付穴を図3に従って施工または開口してください。
- ※ 前吹き出しグリル取付穴のセンタは、本体据付穴のセンタと同じです。
- (施工または開口の際、下記寸法はかならず守ってください)



| 機種 | 項目 | A | B | C | D | E | F | G以上 |
|--------------------|----|-------|-------|-------|-----|-----|----|-----|
| PMH-45.50(S)EK(H)D | | 620 | 660 | 690 | 118 | 198 | 38 | 223 |
| PMH-56.63.71EK(H)D | | 920 | 960 | 990 | 118 | 198 | 38 | 223 |
| PMH-80.100EK(H)D | | 920 | 960 | 990 | 179 | 259 | 99 | 284 |
| PMH-125.140EK(H)D | | 1,220 | 1,260 | 1,290 | 179 | 259 | 99 | 284 |

図3

注) G寸法は廻し縁を含まない寸法です。

※ 前吹き出しグリルは、本体と下がり天井壁面との間120mm~170mm(図3参照)の50mmの範囲で調整が可能です。本体の据付状態に合わせてグリル固定ネジ(M4×30またはM4×60)4本で下がり天井壁面とグリルの接触面との隙間がないように調整し、しっかりと固定してください。(隙間が生ずると露付の原因になります)

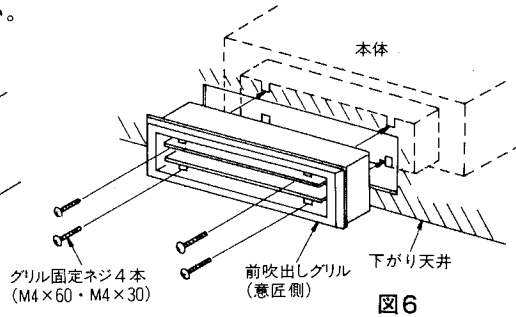
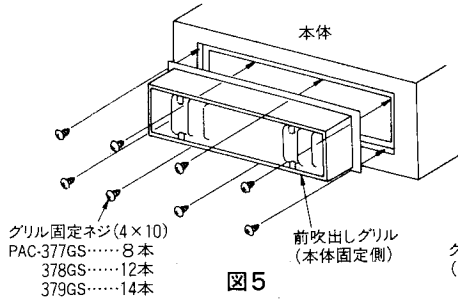
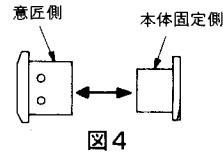
3 本体の据付

本体付属の据付説明書に従って本体を据付けてください。

※ゲージ⑦は本体と天井の間隔(12mm)をチェックするものです。ご使用方法はゲージ⑦に印刷してありますので参照ください。

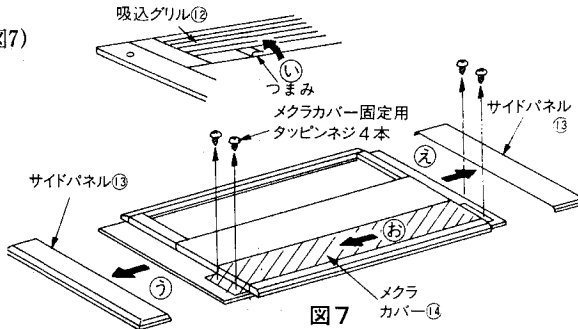
4 前吹き出しグリルの取付け (図4.5.6)

- 1) 一体になっている前吹き出しグリルを分割してください。
- 2) 前吹き出しグリルの本体固定側を付属のグリル固定ネジ(4×10)で、前吹き出しグリル取付穴より本体に固定してください。
- 3) 前吹き出しグリルの意匠側を本体固定側に押込みネジ(M4×30)またはM4×60)4本で固定してください。



5 前吹き出し専用化粧パネルの準備 (図7)

- 1) 吸込グリル⑫のつまみを矢印⑪の方向に引いて吸込グリルを開き、ヒンジ部から取外してください。
- 2) サイドパネル⑬を矢印⑭⑮の方向にスライドして取外してください。
- 3) メクラカバー固定用タッピンネジ4本を外しメクラカバー⑭を矢印⑯の方向にスライドして取外してください。



6 前吹き出し専用化粧パネルの取付け (図8.9)

- 1) 付属のパネル固定ネジ(仮固定用M4×40)2本を本体中央部に、図8に従って取付けてください。
- 2) 本体に取付けたパネル固定ネジ(M4×40)に化粧パネル吹出口中央部のダルマ穴(A部)と吸込口中央部のUミゾ(B部)を引掛けてください。
- 3) 化粧パネルは、天井目地と合うように調整し、パネル固定ネジ(固定用M4×20)4本で本体と固定してください。固定後パネル固定ネジ(仮固定用M4×40)2本も締込んでください。
- 4) 固定用ネジ(仮固定用M4×40)2本を締込んだ後、付属の断熱材(厚さ5mm)をA部に貼付し、A部を完全に塞いでください。
- 5) 付属のサポート⑦で化粧パネル後部部(C部)を本体後部(D部)にパネル固定ネジ(サポート固定用4×10)1本で図9に従って固定してください。

※本体と化粧パネル、化粧パネルと天井面に隙間が生ずると風もれが発生し、露タレ等の原因になりますので隙間がないよう必ずチェックしてください。

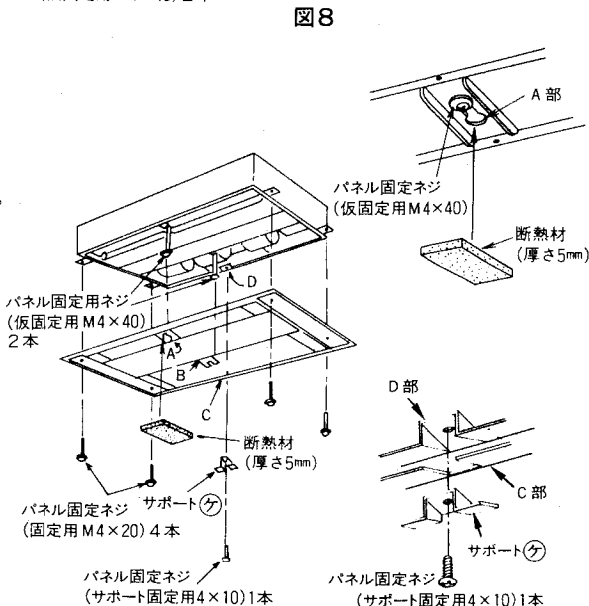
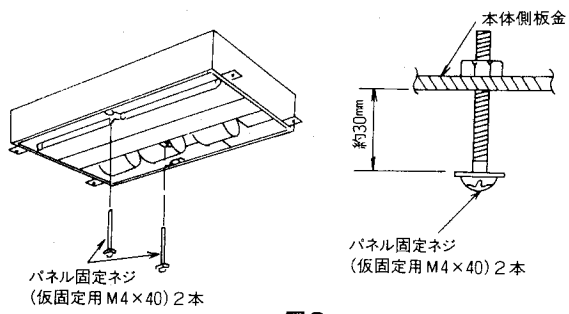


図9

7 部品取付け (図10)

- 1) 5項で取外した部品を逆手順にて取付けてください。
取外した部品は次の通りです。
 - ・吸込グリル⑫(1set)
 - ・サイドパネル⑬(左右各1ヶ)
 - ・メクラカバー⑭(1ヶ)
 - ・メクラカバー固定用タッピンネジ(4本)
 - 2) サイドパネル⑬を付属のパネル固定ネジ(サイドパネル固定用4×10)4本で固定してください。
 - 3) 付属のブッシュ⑮4ヶをサイドパネル⑬を固定したネジ部にはめ込んでください。
- ※予備用としてブッシュ1ヶを化粧パネル右側に付属しています。
以上の作業で前吹き出し専用化粧パネルの取付けは完了です。

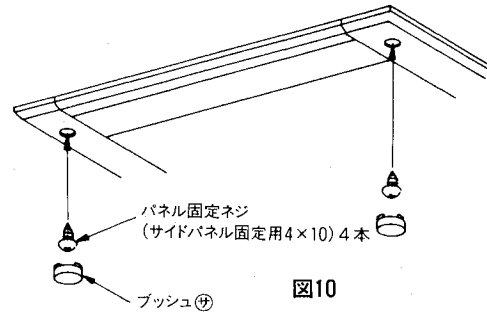


図10

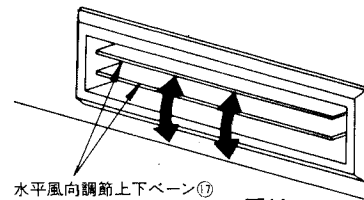
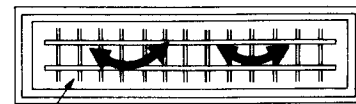


図11

8 風向調節 (図11.12)

- 1) 上下方向の風の調節は前吹き出しグリルの水平風向調節上下ベーン⑰で温度分布が最適になる方向に向けてください。
 - 2) 左右方向の風の調節は前吹き出しグリル内部の左右風向調節ベーン⑱により温度分布が最適になるよう調節してください。
- ※風向調節ベーンを風の流れを妨げるような急な曲げ方をしますと、露タレ等の原因になりますので注意してください。



左右風向調節ベーン⑱

図12

9 前吹き出しグリル対応のリモコン設定 (図13)

※前吹き出しグリルを使用した場合、オートベーン、スイングルーバーの作動はありませんのでリモコンのスイングルーバー表示を消します。

- 1) リモコンのカバーを外してください。
 - 2) リモコン下部のディップスイッチ(SW17)⑲を図13のようにセットしてください。
- (ディップスイッチ⑲を図13のように操作することによってスイングルーバーの表示は消えます。)

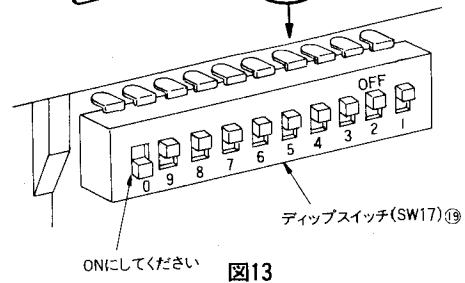
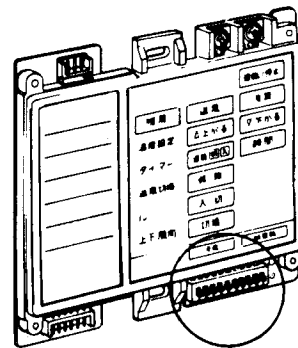


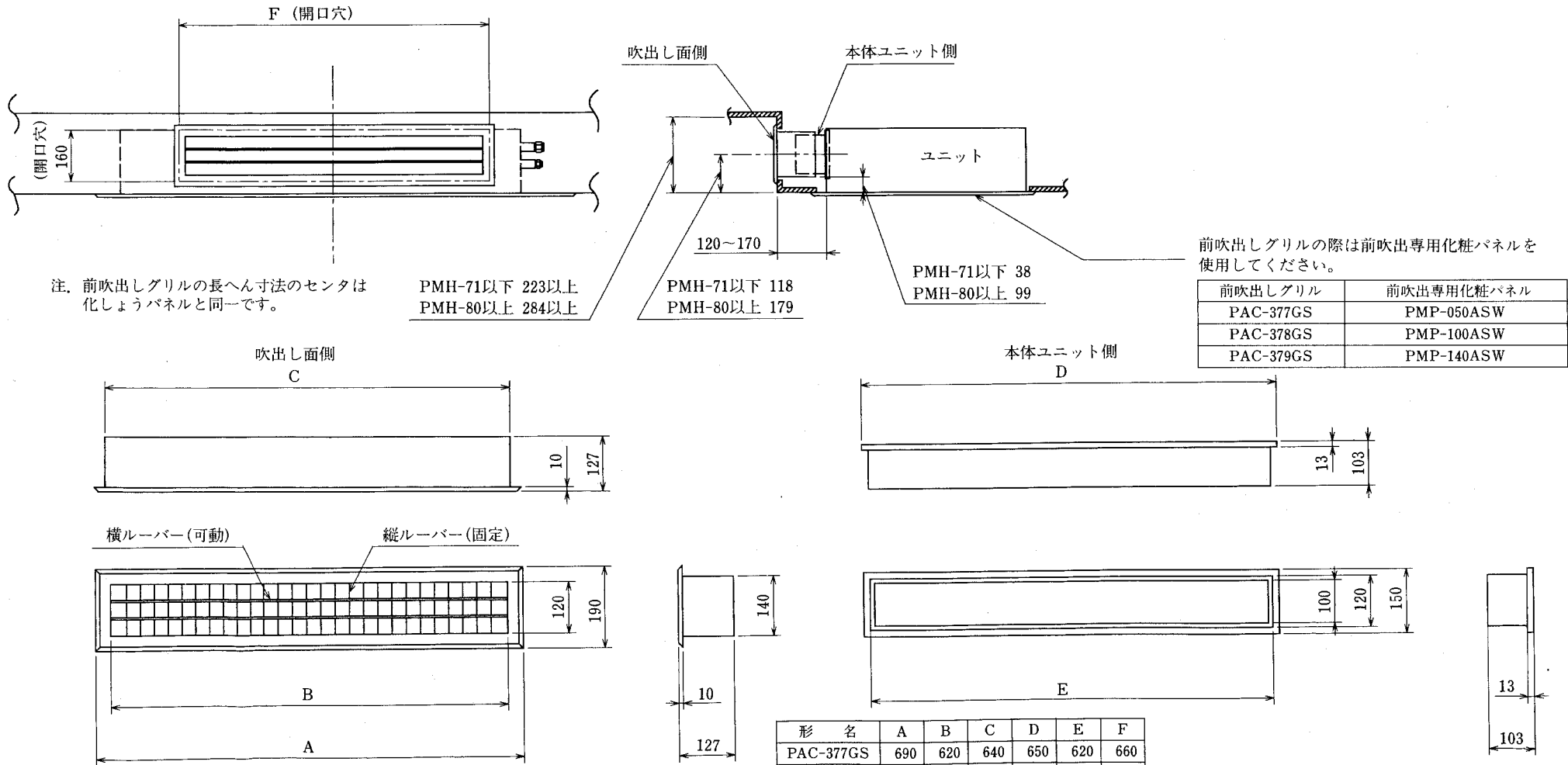
図13

10 お客様へ次の事項をお伝えください

前吹き出しグリルを取付けることによりリモコンのルーバー・上下風向はなくなりますのでリモコンのスイッチを押しても風向の調節はできません。風向調節は、前吹き出しグリルの風向調節ベーン(手動)によって行なってください。

三菱電機パッケージエアコン用前吹出しグリル外形図

形名PAC-377・378・379GS 適用機種PMH-45～140(S)EK(H)D



| 形名 | A | B | C | D | E | F |
|-----------|------|------|------|------|------|------|
| PAC-377GS | 690 | 620 | 640 | 650 | 620 | 660 |
| PAC-378GS | 990 | 920 | 940 | 950 | 920 | 960 |
| PAC-379GS | 1290 | 1220 | 1240 | 1250 | 1220 | 1260 |

フレキシブルダクト (PDH用)




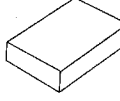

形名 PAC-SA14・15FD

1 適用機種

パッケージエアコン……………PDH形全機種
霧ヶ峰……………MEH, MEZ形全機種

| | |
|------------|----------|
| PAC-SA14FD | φ 200.1m |
| PAC-SA15FD | φ 200.2m |

2 付属部品

| ①フレキシブルダクト | ②継手 | ③バンド | ④断熱材 | ⑤ビニールテープ |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| 1本 | 1ヶ | 2本 | 1枚 | 1ヶ |

3 取付要領

1. フレキシブルダクトと室内ユニット及び吹出口ボックスの接続方法

- (1)フレキシブルダクト①を接続するフランジにはめ込み、バンド③で締め付けてください。(図1 図2参照)
- (2)断熱材④でバンド③を覆うように巻き付けてください。この場合、断熱材④は長手方向で半分に切断して、室内ユニット側と吹出口ボックス側の両端にご使用ください。(図3参照)
- (3)断熱材④を覆うようにビニールテープ⑤ですきまなく巻き付けてください。

(注) この場合、断熱材④を圧縮しますと、断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

図1 フレキシブルダクト①の接続図

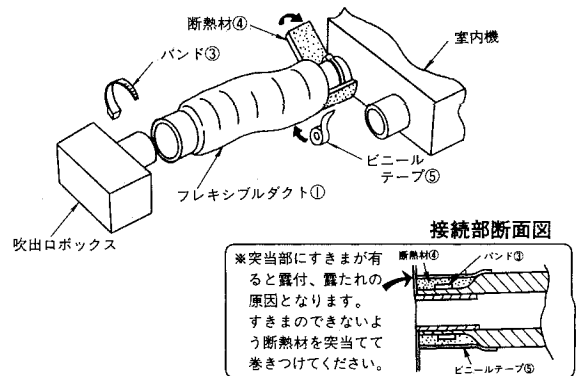


図2 バンド③の締め付方 図3 断熱材④の切断方法

2. フレキシブルダクトどうしを接続する場合

- (1)継手②にフレキシブルダクト①をはめ込み、バンド③で締め付けてください。(図4参照)
- (2)断熱材④でバンド③を覆うように巻き付けてください。(断熱材④は切断しないでご使用ください。)
- (3)断熱材④を覆うようにビニールテープ⑤で、すきまなく巻き付けてください。

(注) この場合、断熱材④を圧縮しますと、断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

図4 フレキシブルダクトどうしの接続図

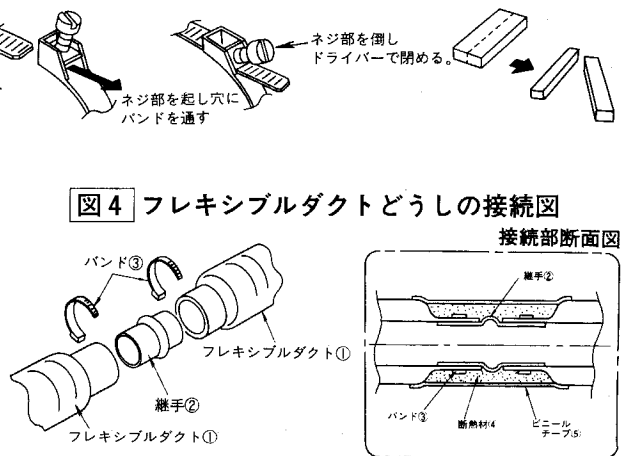
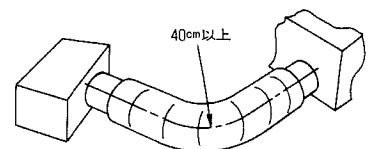


図5 フレキシブルダクトの小最小曲げ取付図



ご注意

- フレキシブルダクト①を曲げて取り付ける場合は、フレキシブルダクト①の曲げ半径が40cm以上になるように、できるだけゆるやかなカーブを持たせて施工してください。(図5参照)
(曲げ半径が小さいと、風量低下の原因となります。)

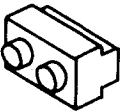

吹出口円形フランジ (PDH用)

形名 PAC-SA16・17・18・19HF

1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|--------------------|
| PAC-SA16HF | PDH(Y)-20~35EK(D) |
| PAC-SA17HF | PDH(Y)-40~50EK(D) |
| PAC-SA18HF | PDH(Y)-56~71EK(D) |
| PAC-SA19HF | PDH(Y)-80~125EK(D) |

2 付属部品

| ①円形フランジ | ②タッピンネジ |
|--|---|
|  1ヶ | 4×10  PAC-SA16, 17HF-8本 PAC-SA18HF-10本 PAC-SA19HF-12本 |

(注)円形フランジ①の吹出口数は下記の通りです。

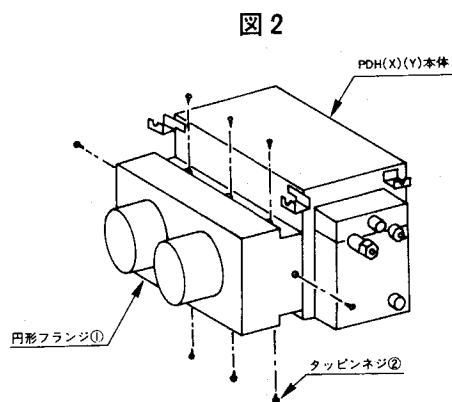
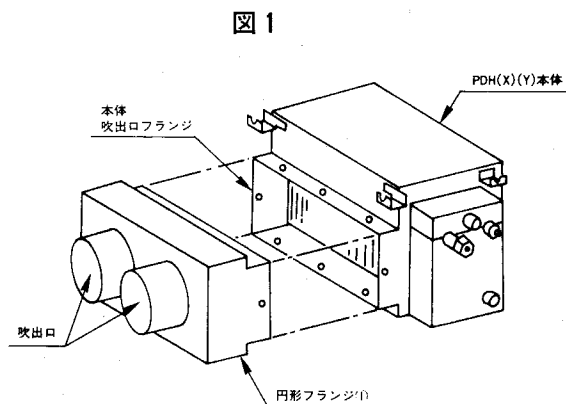
| | |
|------------|----|
| PAC-SA16HF | 2ヶ |
| PAC-SA17HF | 2ヶ |
| PAC-SA18HF | 3ヶ |
| PAC-SA19HF | 4ヶ |

3 取付要領

1. 取付方法

(1)PDH本体の吹出部のフランジに、被せるようにはめ込んでください。(図1参照)

(2)付属のタッピンネジ②(4×10)でネジ止めしてください。(図2参照)



2. ダクトの取付方法

(1)円形フランジ①にダクト内径φ200(現地手配品)を、ネジまたは、バンドで固定して接続してください。

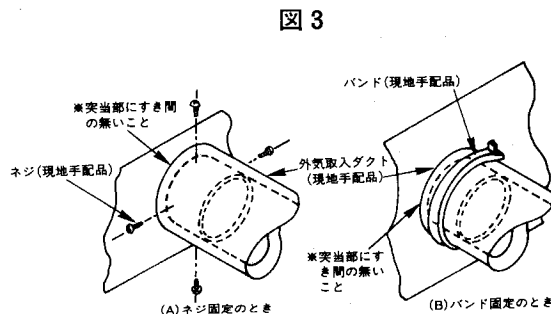
(図3参照)

(注1) ネジ取付のときは、ダクトフランジ取付用の下穴加工を施してください。

(注2) 円形フランジ①とダクト(現地手配品)を先に取り付けて組込むことはできません。

(注3) 接続部の断熱は、十分に施工してください。

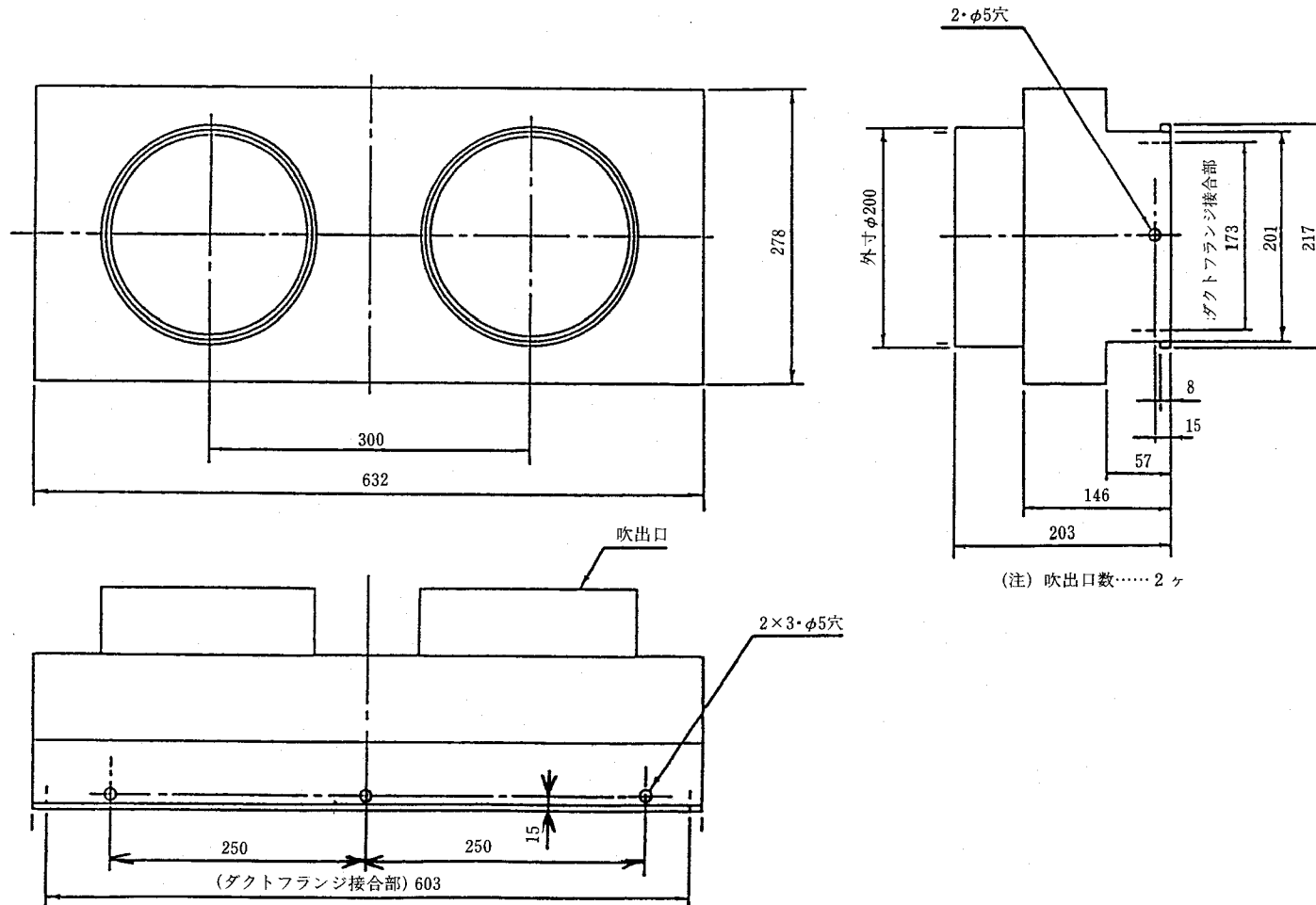
(突当部にすき間があると露付・露たれの原因となります。すき間ができないよう断熱処理をしてください。)



三菱電機パッケージエアコン用吹出口円形フランジ外形図

形名 PAC-SA16HF

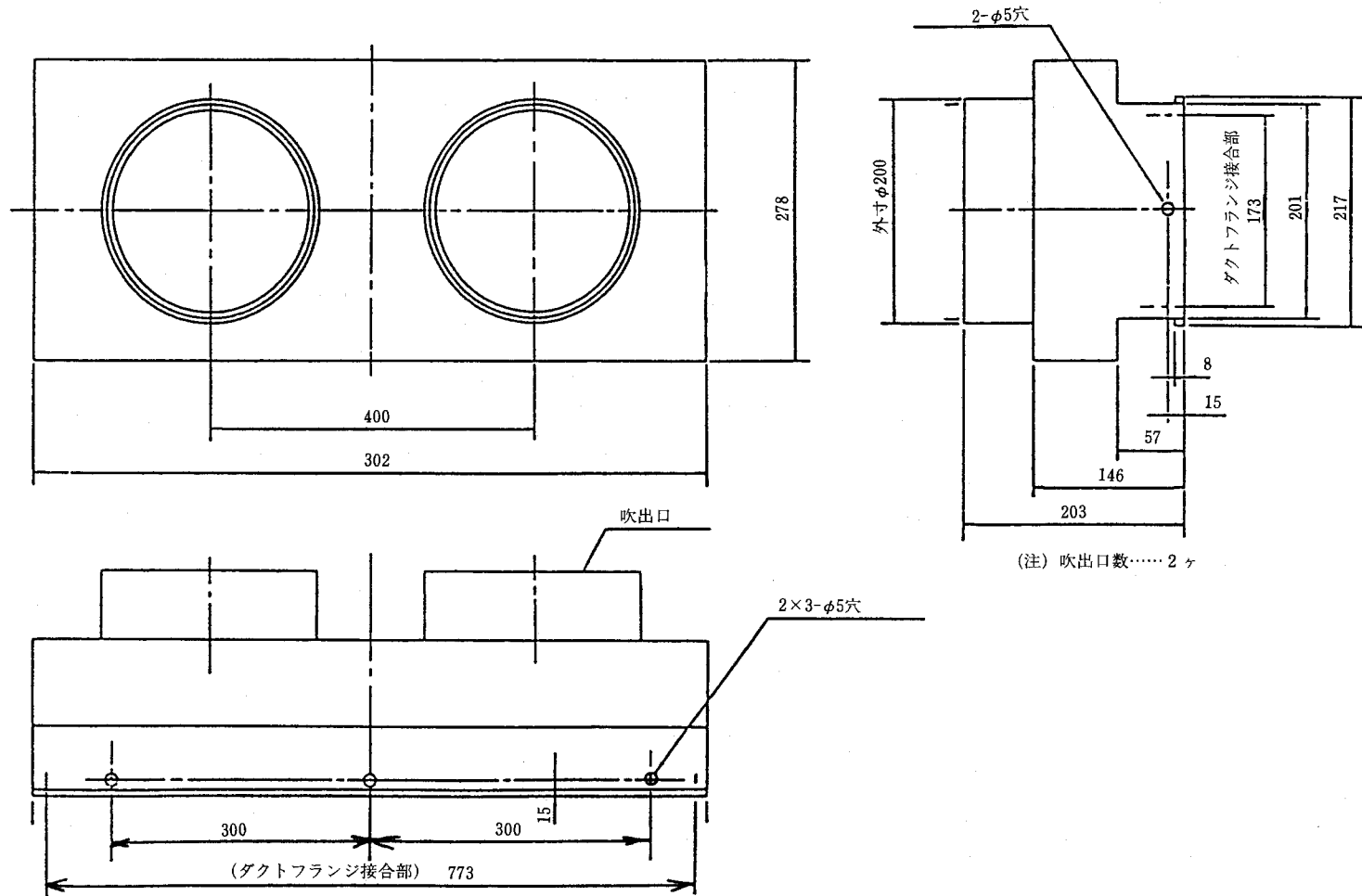
適用機種 PDH-35EKD, PDHY-20~32EK



三菱電機パッケージエアコン用吹出口円形フランジ外形図

形名 PAC-SAI7HF

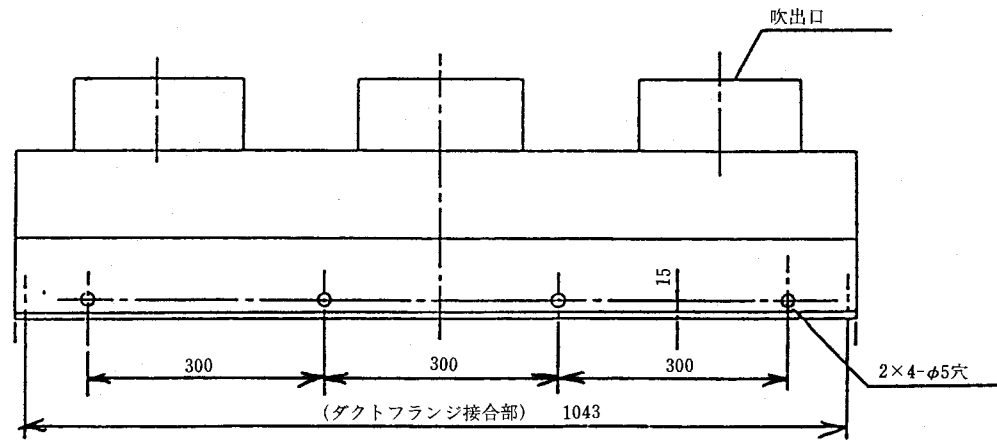
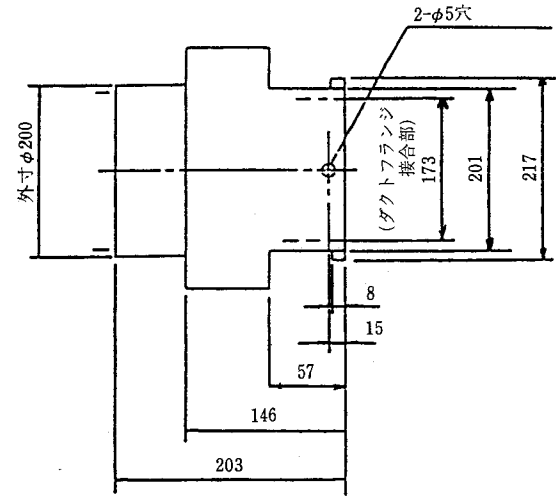
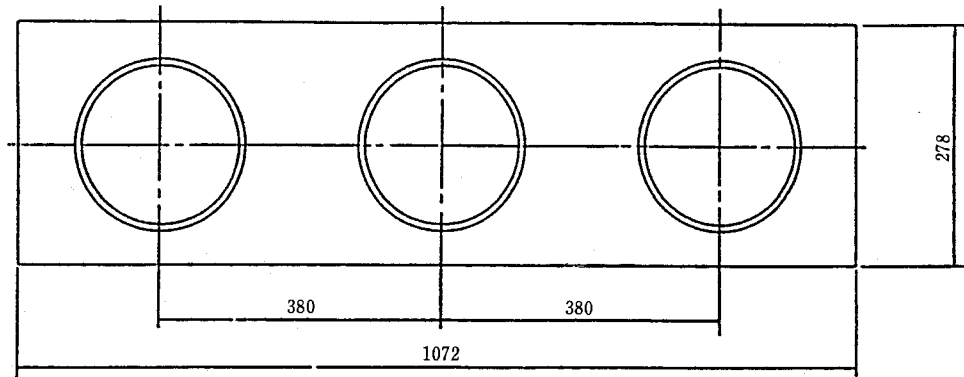
適用機種 PDH-45・50EKD, PDHY-40・50EK



三菱電機パッケージエアコン用吹出口円形フランジ外形図

形名 PAC-SAI8HF

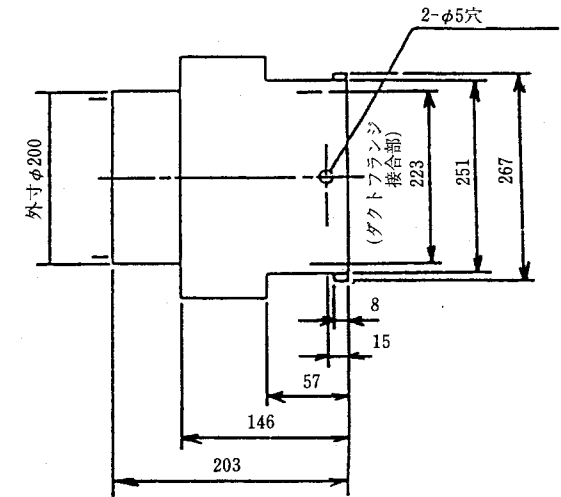
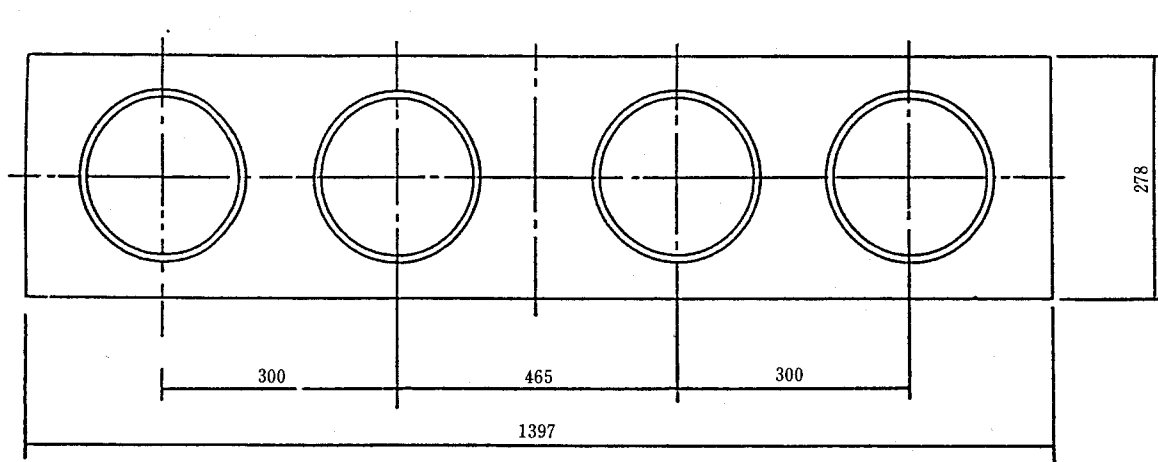
適用機種 PDH-56~71EKD, PDHY-56~71EK



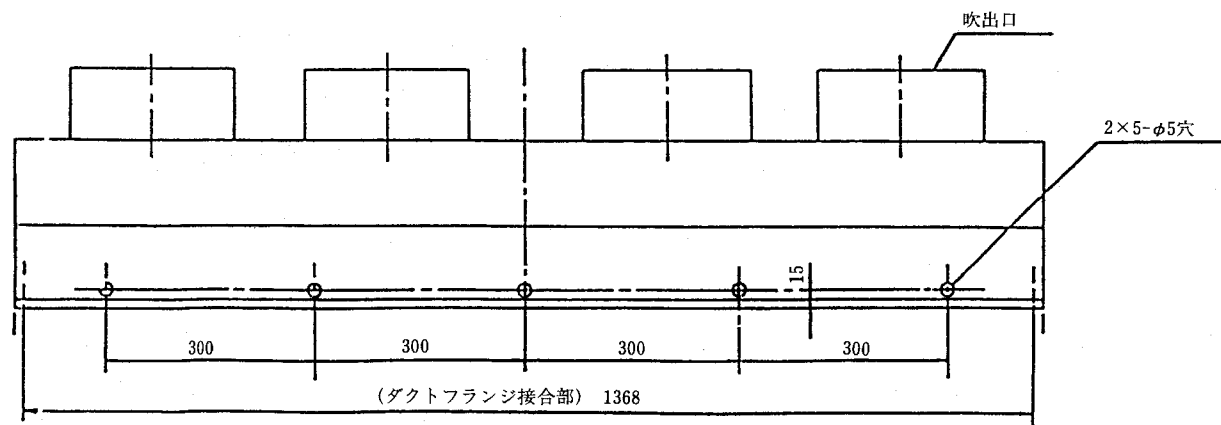
(注) 吹出口数……3ヶ

三菱電機パッケージエアコン用吹出口円形フランジ外形図

形名 PAC-SA19HF 適用機種 PDH-80~I25EKD, PDHY-80~I25EK



(注) 吹出口数……4ヶ



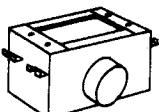
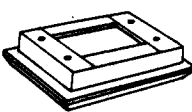

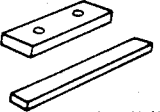
吹出口ユニット (PDH用)

形名 PAC-SA20UN

1 適用機種

PDH(Y)-EK(D)全機種

2 付属部品

| ①吹出口ボックス | ②吹出口パネル | ③座付ネジ | ④シール材 |
|---|---|--|---|
|  1セット |  1セット | M4×0.7  4本 |  各2枚(計4枚) |

3 取付要領

1. 取付前に

(注1) 吹出口ユニット据付場所は、温度分布を考え決定してください。

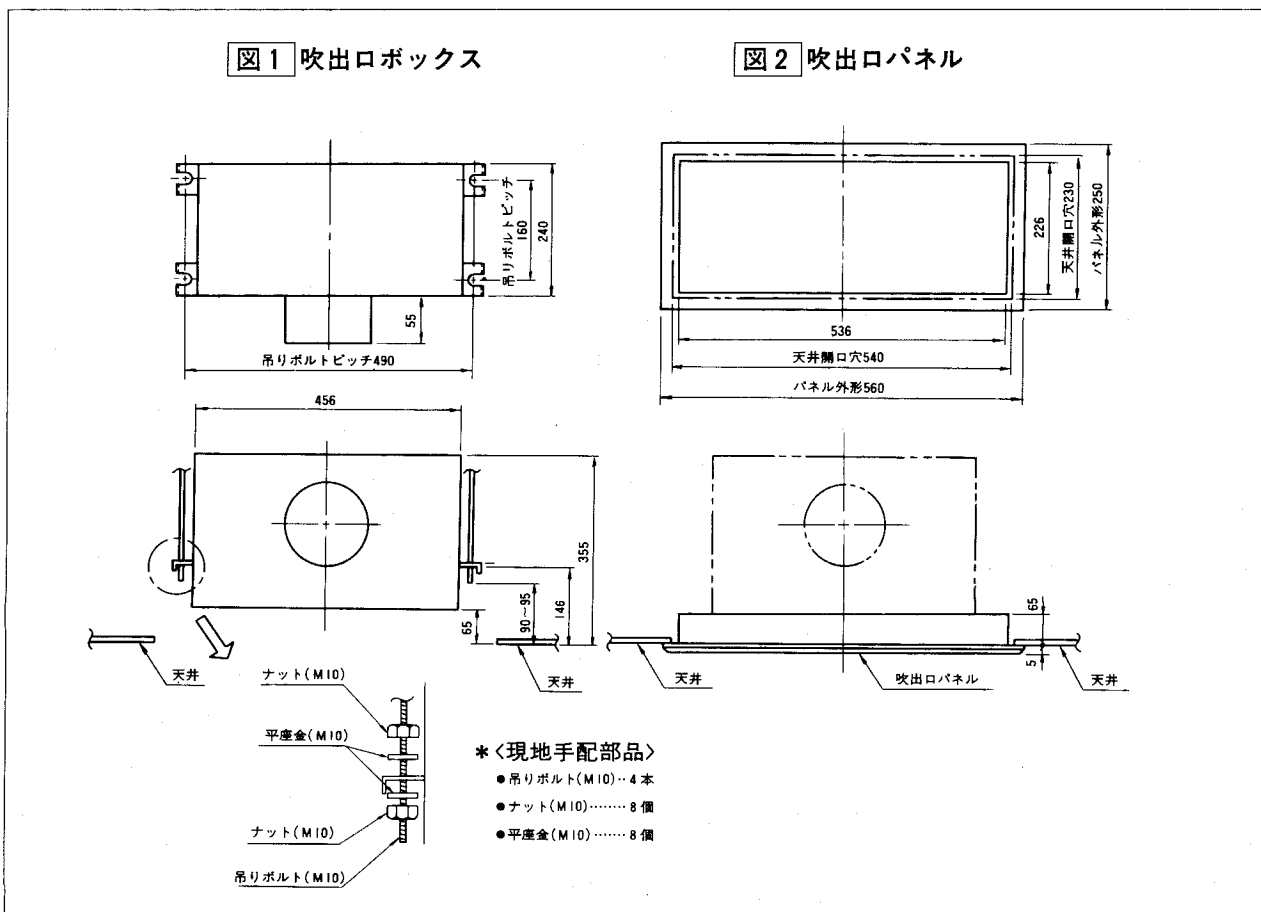
(注2) 吹出口ボックス①は、天井張り作業前に取り付けてください。天井張り後は、取付けられません。

2. 吹出口ユニット据付

(1)吹出口ユニットの取付用吊りボルト及び天井開口部は、**図1** **図2**の通りです。

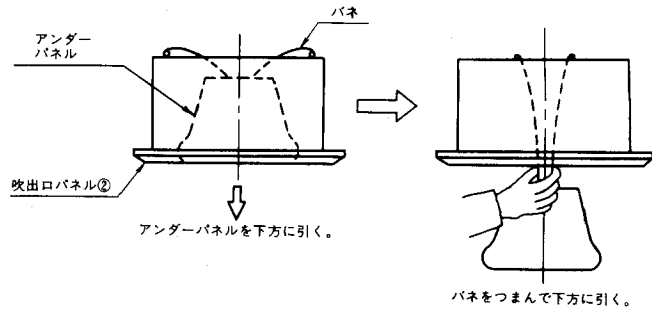
(2)吹出口ボックス①を取付けてください

この場合、天井下面と、吹出口ボックス①の下部との間が65mmになるように調整してください。



(3)吹出口パネル②のアンダーパネルを
図3に従い取外してください。

図3 アンダーパネルの取外し方



(4)吹出口パネル②を **図4** に従って吹出口ボックス①に座付ネジ③(4本)で取付けてください。

この場合、吹出口ボックス①と吹出口パネル②の間、及び天井と吹出口パネル②との間にすきまがありますと風もれによる露付、露たれの原因となりますので、絶対にすきまがないようにしてください。(**図5** 参照)

(注) 吹出口ボックス①と吹出口パネル②の間にすきまのある場合はシール材④を吹出口ボックス①に貼りシールしてください。

図4 吹出口パネル②の取付図

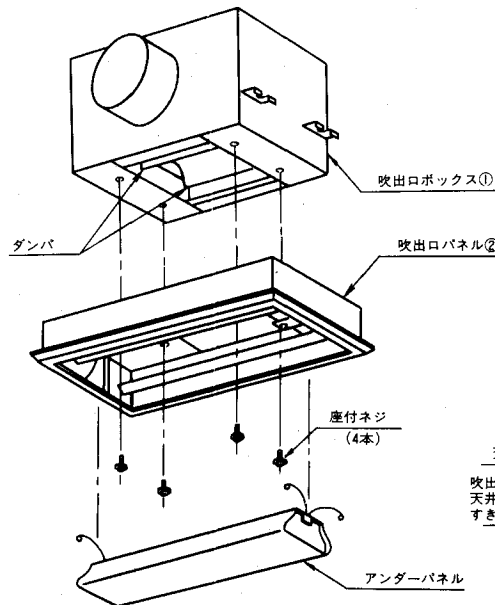
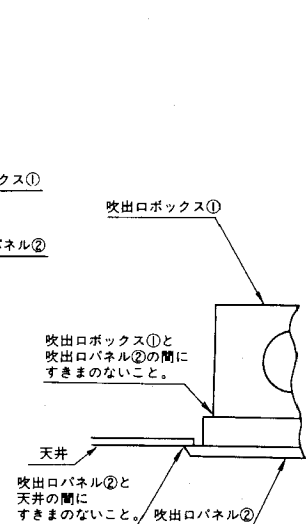


図5 吹出口ユニット取付け



(5)風量調整を **図6** に従い行ってください。

風量調整は、吹出口ボックス①内のダンパを回転させて調整します。通常は **図6** の位置でご使用ください。左右のバランスをとる時は、ダンパを回転させて調整してください。

図6 風量調整

(6)アンダーパネルを(3)項の逆手順で取付けてください。

以上で作業は終了です。

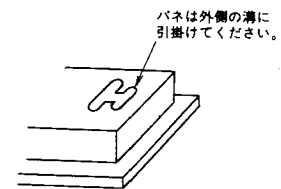
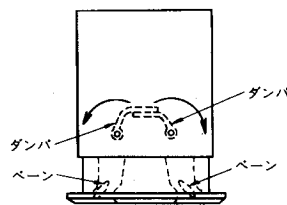
図6 風量調整

図7 パネ引掛位置

3. ダクトの取付方法

- 吹出口ボックス①にダクト(内径φ200)をバンドで固定してください。

(**図8** 参照)



(注1) この時空気が漏れない様しっかり固定してください。

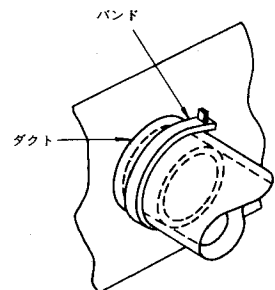
(注2) 吹出口ボックス①とダクトの接続は、天井張り前に施工してください。

(注3) 接続部の断熱は、十分に施工してください。

図8 ダクト取付

ご注意

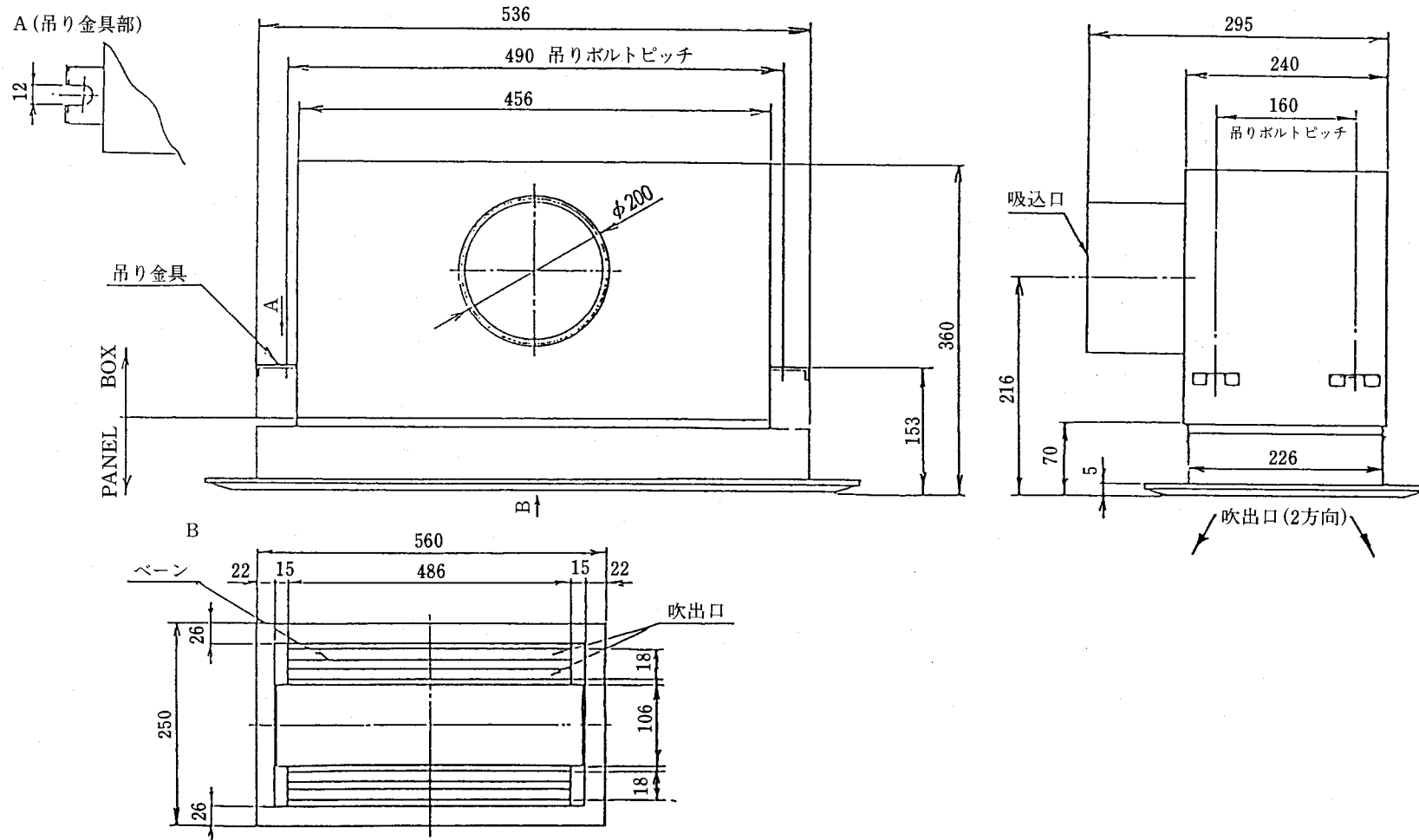
1. 吹出口ユニット用のダクトは、下記別売部品をご使用ください。
 ・PAC-SA14FD(1m)、PAC-SA15FD(2m)
2. 市販のダクトをご使用の場合は、断熱がしっかりしたダクトをご使用ください。(適合ダクト径は、内径φ200mmです)
3. PDH-100、125タイプにてご使用の際は、本体ユニット内ファン用の配線の特強タップに切り換えてご使用ください。くわしくは本体配線図をごらんください。又、71以下にて使用時でダクト系圧損が大きい時も同様にタップ切り換えをしてください。



三菱電機パッケージエアコン用吹出口ユニット外形図

形名 PAC-SA20UN

適用機種 PDH-EKD, PDHY-EK



集中排水用ドレンパン

形名 PAC-SA44・45DP

(PU(H)用)

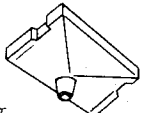

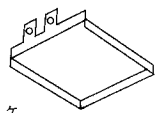

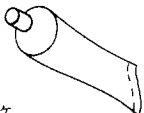
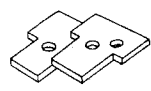
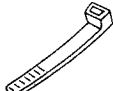
1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|------------------------|
| PAC-SA44DP | PU(H)-35~100(S)EKD・EGD |
| PAC-SA45DP | PU(H)-112~140EKD・EGD |

2 使用方法

このドレンパンは、上記室外ユニットを通路上などの架台に据付けた場合のドレン処理を行なうものです。

3 付属部品

| ①ドレンパン | ②ドレンキャップ | ③排水防止板 | ④ネジ | ⑤接着剤 | ⑥断熱材 | ⑦バンド |
|---|---|---|---|--|---|---|
|  1ヶ |  2ヶ |  1ヶ |  1本 |  1ヶ |  2枚 |  8本 |

4 取付要領

1. ドレンパン取付け上の注意

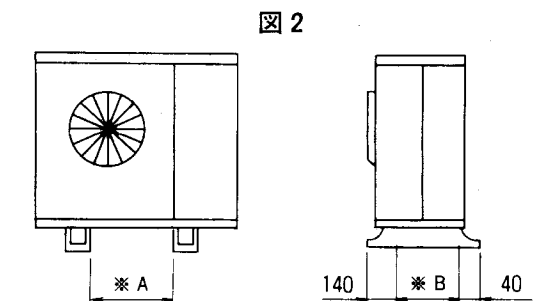
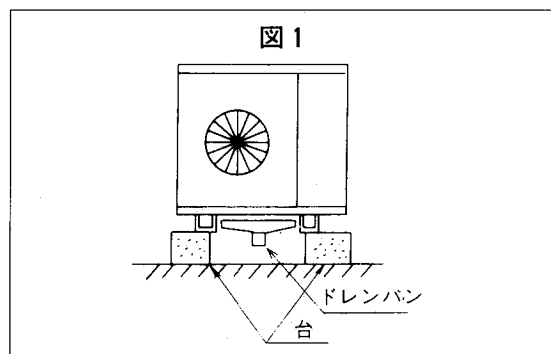
- 本品は寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
- 本品は、室外ユニットの据付足間に取付けて使用します。取付けに際しては、下記のように制約がありますので、注意してください。

(1)ドレンパンの取付けは、室外ユニット据付け前に室外ユニット据付足の下に、図1のように台を置き取付けてください。なお、ドレンパン取付け後は、配管接続部が据付足より突出しますので、直接室外ユニットを地面に置かないでください。

(2)ドレンパンの配管接続部は、ドレンパンの長手方向中央部にありますので、架台製作時には、配管接続部と架台部材が干渉しないように注意してください。

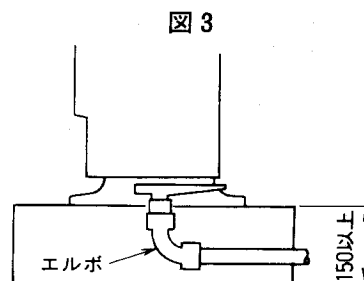
(3)室外ユニット据付け後、ドレンパンを取付ける場合は図2の寸法を必ず確保してください。

(4)ドレン集中処理が必要で基礎に据付ける場合、基礎の地上部高さは、図3のように150mm以上としてください。これ以下ですとドレン配管施工ができなくなります。



※部分に架台部分材又は、基礎を設けないでください。

| 形名 | A | B |
|------------|-----|-----|
| PAC-SA44DP | 450 | 202 |
| PAC-SA45DP | 550 | 232 |



2. ドレンパン取付け方法

- (1) ドレンパンのUカット部を室外ユニットの据付足に設けられた切起し部に合わせ室外ユニット下面にドレンパンを密着させてください。
- (2) ドレンパンを室外ユニット下面に密着させながら、後方にスライドさせます。
ドレンパンが動かなくなるまでスライドさせてください。
- (3) 《排水口が丸穴の場合》(図4)

室外ユニット下面の左端に設けられた丸穴2ヶ所に付属のドレンキャップに接着剤を塗付し、取付けてください。接着剤はシールもかねていますので、必ずご利用ください。

《排水口が角穴の場合》(図5)

付属の排水防止板を室外ユニットの左側据付足に設けられた切起し部と、室外ユニット下面との間にさし込みます。さし込み後、排水防止板中央を押しえながら、室外ユニット左側面にネジで固定します。

※ネジ止め位置は室外ユニットタイプにより異なりますので、注意してください。

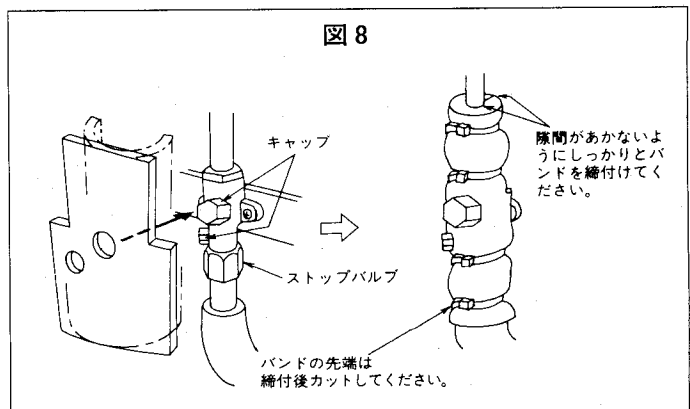
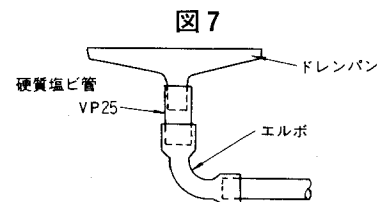
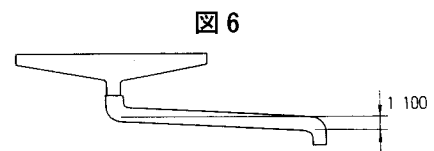
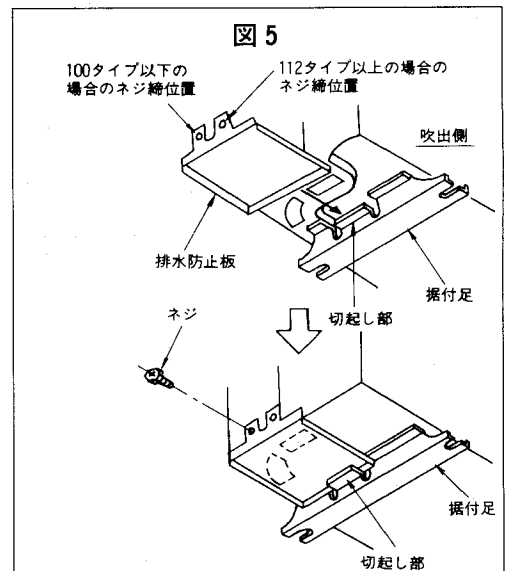
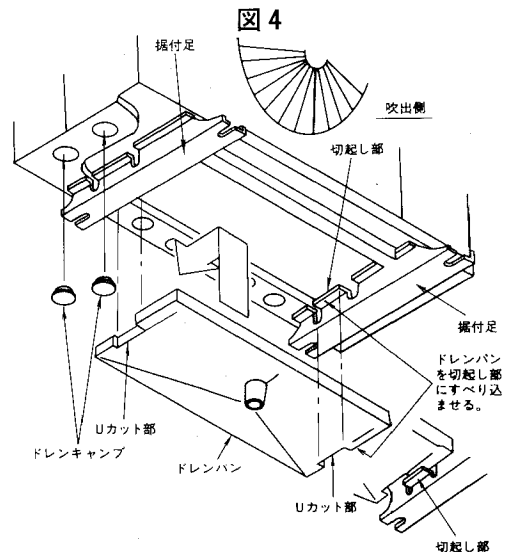
3. ドレンパン配管工事

- ドレンパンの配管接続部はφ25ですので内径25mmのビニールホース又は、硬質塩ビ管VP25をご使用ください。また配管接続口は、ホースバンド又は接着剤等を使用し、確実に固定してください。
- ドレン配管施工時はドレン配管が必ず1/100以上の下り勾配となるように施工してください。(図6)
また、ドレン配管接続部に力がかからないように配管は壁面等に固定してください。配管接続部が破損するおそれがあります。
- ドレンパンのドレン配管接続口には直接エルボの取付けはできません。エルボを使用する場合は、硬質塩ビ管VP25を取付けVP25専用のエルボにて配管接続してください。(図7)

4. 断熱材の取付け

ストップバルブに断熱材を取付けてください。
※断熱材は配管接続後に取付けてください。

- (1) 穴が2つあいている断熱材を液管側に取付けます。穴をバルブのキャップに合わせて、配管接続部全体を覆うように取付けてください。
- (2) バンドで断熱材を固定してください。(図8)
…以下同様にもう一枚の断熱材をガス管側に取付けてください。

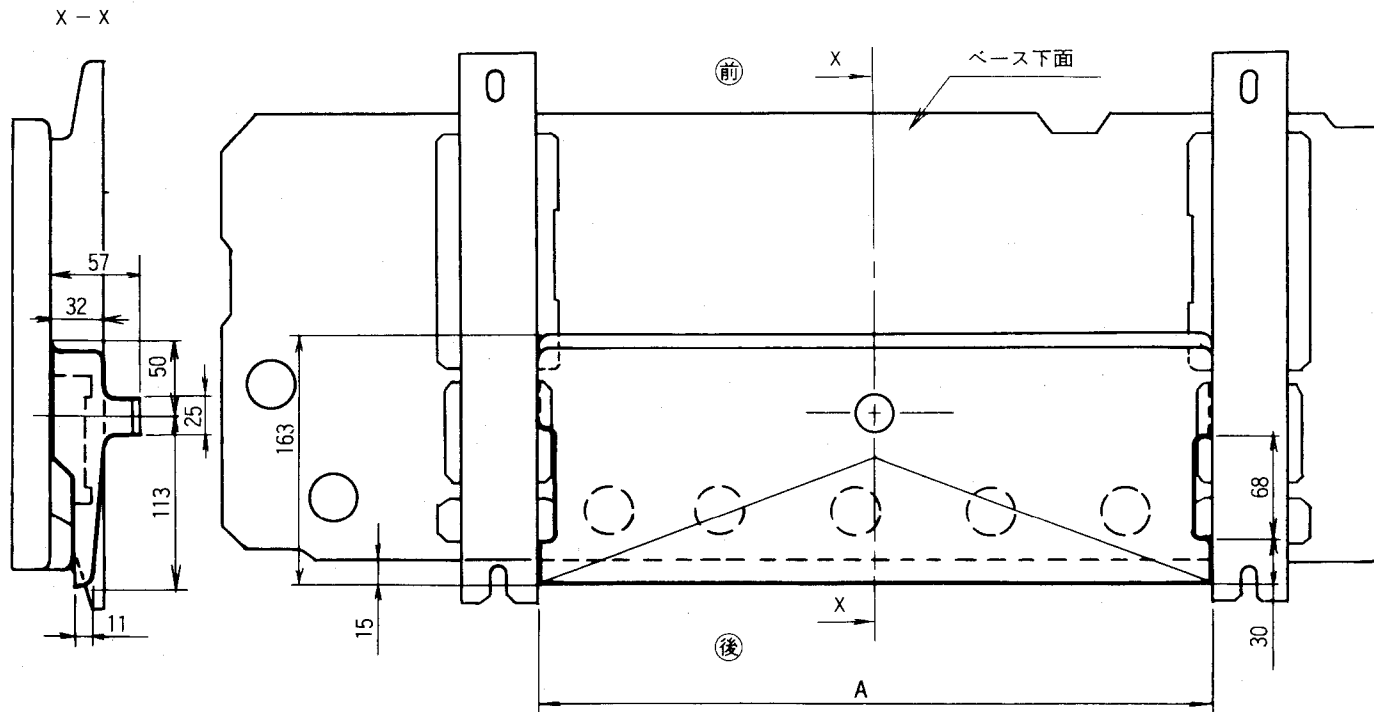


三菱電機パッケージエアコン用集中排水ドレンパン外形図

形名 PAC-SA44・45DP

適用機種 PU(H)-35~140(S)EKD・EGD

| 形名 | A |
|------------|-----|
| PAC-SA44DP | 449 |
| PAC-SA45DP | 549 |



集中排水用ドレンパン (PU(H)用)

形名 PAC-928・929DP

1 適用機種

| | | |
|------|-------------------------|-----------------------|
| 形名 | PAC-928DP | PAC-929DP |
| 適用機種 | PU(H)-35~100(S)EKD, EGD | PU(H)-112~140EKD, EGD |

2 使用方法

上記室外ユニットを通路の上などの、架台に据付けた場合のドレン処理を行なうものです。

3 取付要領

1. 据付上の注意

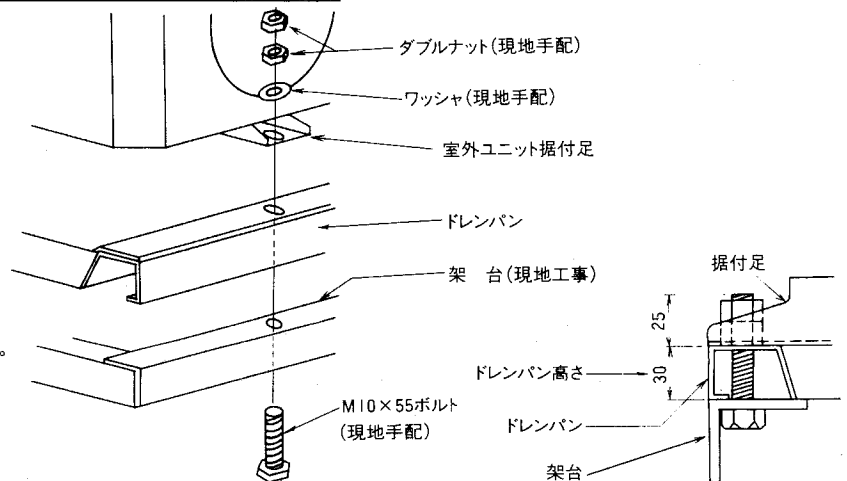
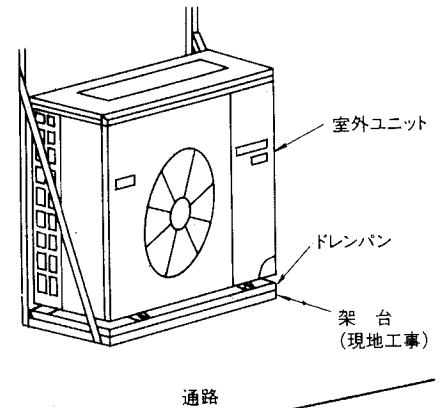
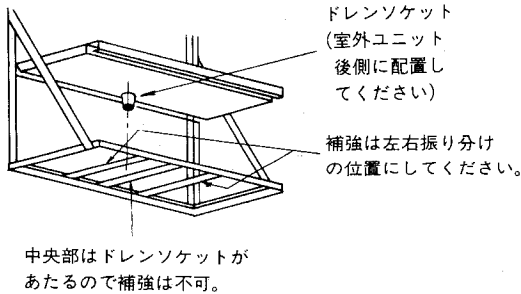
- 本品は、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
- 本品を取付けた場合は、冷媒配管の下向き接続はできませんので、これ以外の方向で冷媒配管を接続してください。
- 一般的な室外ユニット据付に関する内容は、室外ユニット本体に添付の据付説明書に従ってください。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが30mm高くなります。
- 本品は、ドレンソケット側が室外ユニットの後側となるようにしてください。

2. ドレンパンの設置

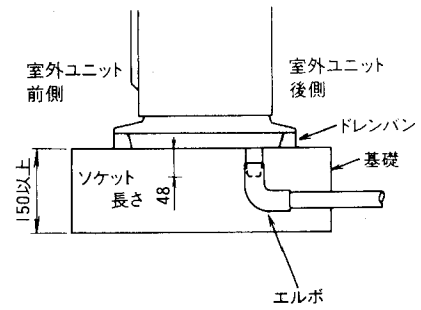
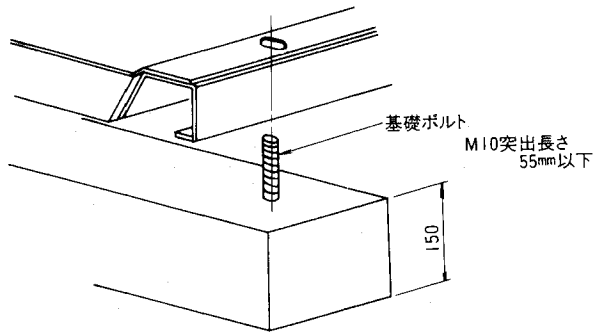
本品は、室外ユニット据付用架台と室外ユニット本体の間に設置して使用します。現地側で手配する据付用架台は以下の注意事項を守ってください。

1. 据付用架台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に充分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
2. ドレンパンの据付は、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用架台には室外ユニット本体据付用ピッチにてφ13程度の穴あけ加工を施してください。
3. 架台とドレンパン、室外ユニット本体を下図のように共締めにて強固に締結してください(4ヶ所)。ボルトの長さは下図のように55mm以下としてください。

注) ドレンパンのドレンソケットは長手方向中央部にありますので、架台の製作時にはソケットと架台部材が干渉しないよう注意してください。

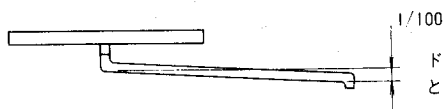
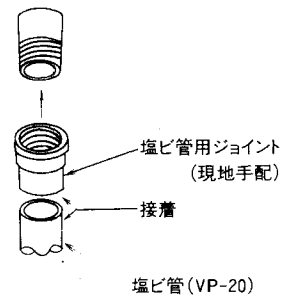
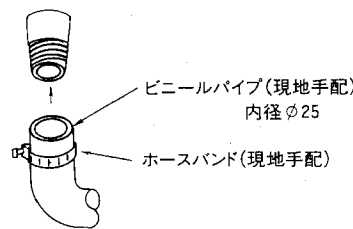
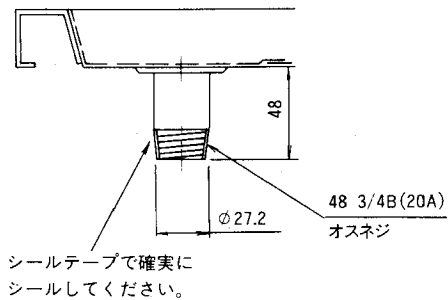


4. ドレン集中処理が必要で、基礎に据付ける場合、基礎の地上部高さは下図のように150mm以上としてください。これ以下ですとドレン排水用ソケットの突出長さが48mmですので、ドレン配管施工ができなくなります。



3. ドレン配管工事

ドレンパンのドレンソケットは、3/4B(20A)オスネジとなっています。配管は鉄管の場合は3/4Bメネジ加工にて接続してください。また、ビニールパイプの場合は、内径25mmを使用し、接続部は、ホースバンド等でパイプを確実に固定してください。塩ビ管(VP20)を使用する場合は、塩ビ管用ジョイントにて接続が可能です。いずれの場合でも、ソケットのネジ部はシールテープ等で確実にシールを施してください。

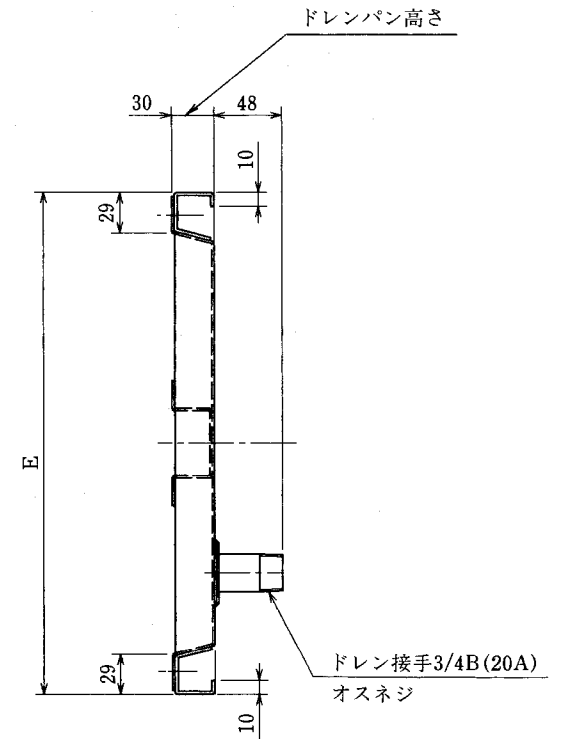
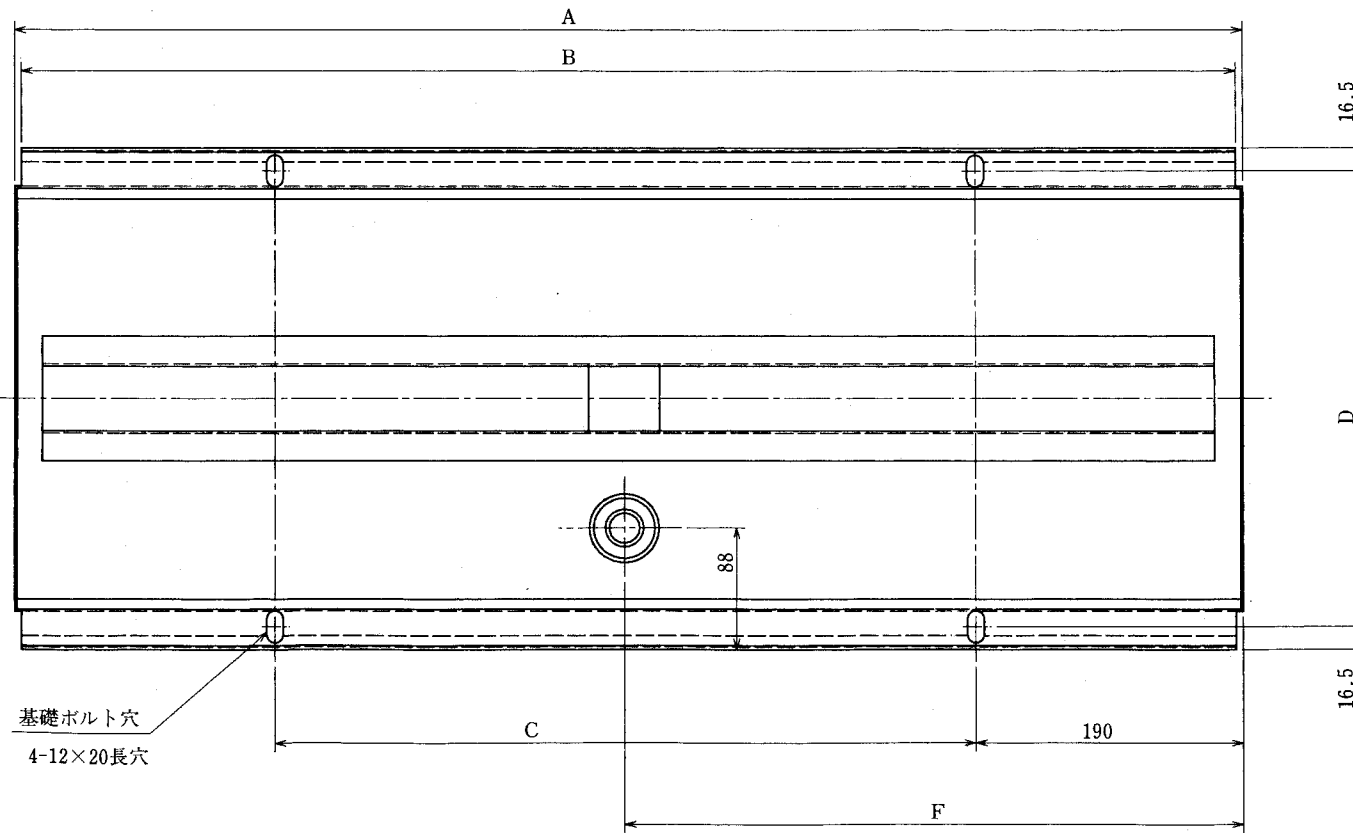


ドレン配管施工時は、ドレン配管が必ず1/100以上の下り勾配となるように施工してください。

三菱電機パッケージエアコン用集中排水用ドレンパン

形名PAC-928・929DP 適用機種PU(H)-35～140(S)EKD・EGD形

| 形名 | A | B | C | D | E | F |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| PAC-928DP | 880 | 870 | 500 | 329 | 362 | 440 |
| PAC-929DP | 980 | 970 | 600 | 379 | 412 | 490 |



ドレンソケットセット (PU(H)用) 形名 PAC-SA46・47DS




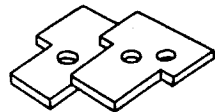
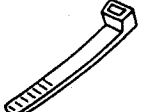
1 適用機種

| 形名 | 適用機種 |
|------------|----------------------|
| PAC-SA46DS | PU(H)-35~100EKD・EGD |
| PAC-SA47DS | PU(H)-112~140EKD・EGD |

2 使用方法

室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴を数箇所あけてあります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットセットは、設置場所によりドレンホースで排水する場合に、余分な穴をふさぎ、1ヶ所より集中排水するための部品です。

3 付属部品

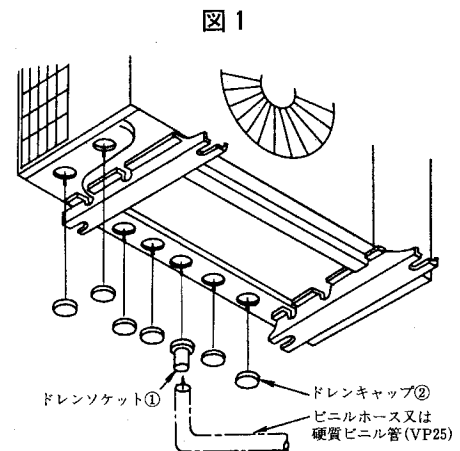
| ①ドレンソケット | ②ドレンキャップ | ③接着剤 | ④断熱材 | ⑤バンド |
|--|--|--|---|--|
|  |  |  |  |  |
| 1ヶ | 6(7)ヶ | 2ヶ | 2枚 | 8本 |

(注) ()内はPAC-SA47DSを示します。

4 取付要領

1. ドレンソケット取付要領

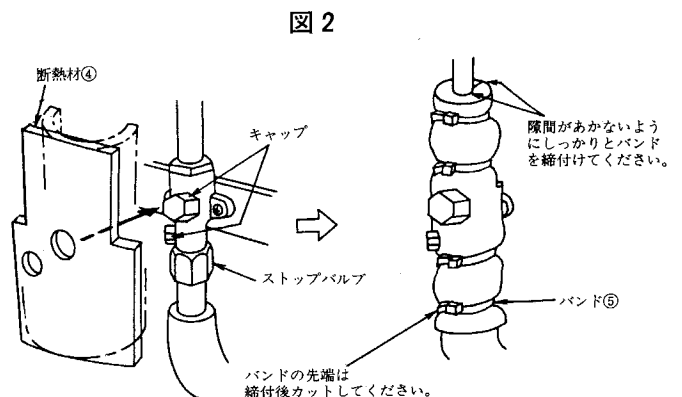
- ユニット底部にある数箇所穴のうち、ドレン排水に使用する穴にドレンソケット①を接着剤③をつけて取付ける。
- ドレンキャップ②に接着剤③をつけて残りの穴をふさぐ。
(注)接着剤は水洩れを防ぐシールを兼ねるので確実に塗布してください。
- ドレンソケット①に市販の内径25mmのビニルホース、または硬質ビニル管VP25によりドレン排水工事を行なってください。



2. 断熱材取付方法

ストップバルブに断熱材④を取付けてください。
※断熱材は配管接続後に取付けてください。

- 穴が2つあいている断熱材④を液管側に取付けます。穴をバルブのキャップに合わせて、配管接続部全体を覆うように取付けてください。
- バンド⑤で断熱材④を固定してください。
…以下同様にもう一枚の断熱材④をガス管側に取付けてください。



エアーガイド (PU(H)用)

形名 PAC-SA52AG

1 適用機種

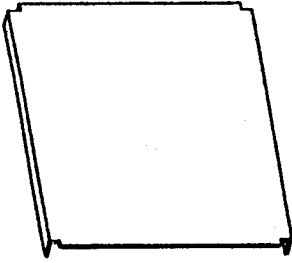
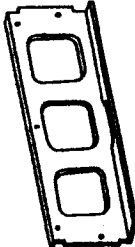



PU-EK・PUH-EKD

2 使用方法

この“エアーガイド”は室外ユニット送風機が、ファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける据付場所での送風機の保護をする場合などにご使用ください。

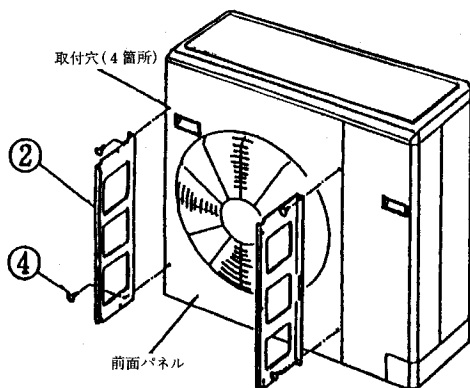
なお、PU(H)-80タイプ以上にご使用の場合、本品は2セット必要となりますので、ご注意ください。

3 付属部品

| ① 前パネル | ② 側板 | ③ 補強 | ④ 取付ネジ M5×10 | ⑤ 取付ネジ 4×10 (タッピンネジ) |
|--|--|--|---|---|
|  |  |  |  |  |
| 1枚 | 2枚 | 2本 | 4本 | 10本 |

4 取付要領

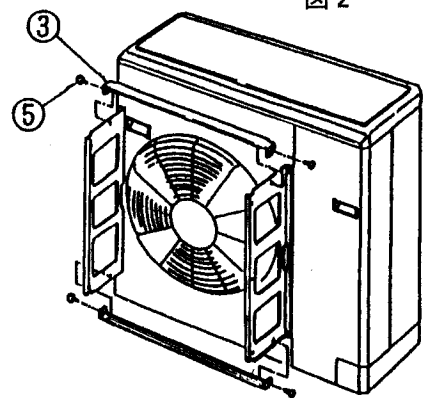
図1



(1) 室外ユニット本体の前面パネルに設けてある取付穴に、側板②を取付ネジ④4本で左右各々取付けてください。
(各2箇所)

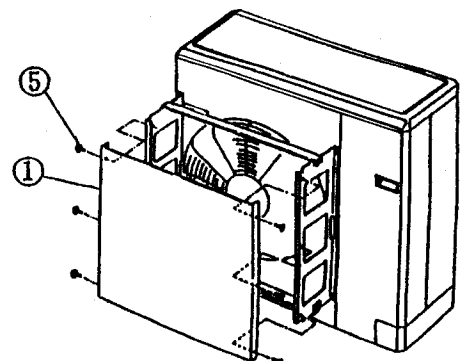
(2) 側板②の上下2箇所に補強③を取付ネジ⑤にて取付けてください。
(各2箇所)

図2



(3) 前パネル①を側板②に取付ネジ⑤にて取付けてください。
(6箇所)

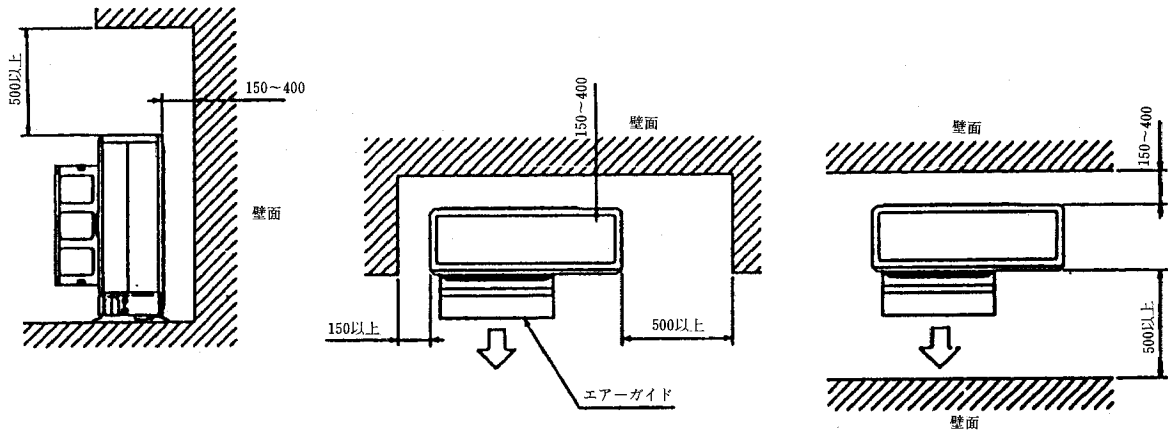
図3



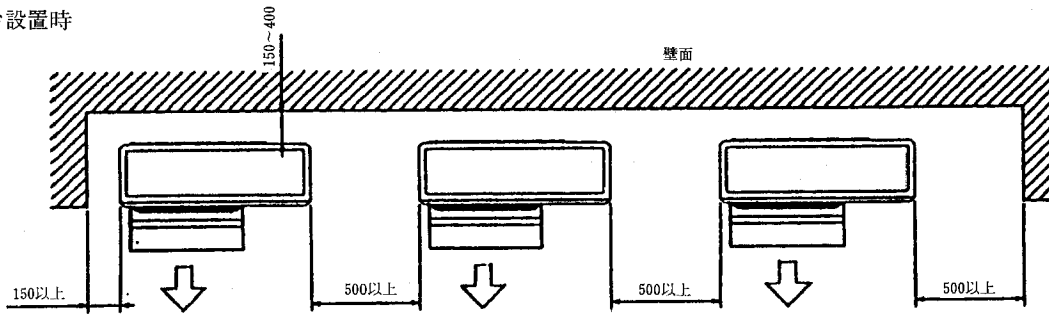
ご注意

- 外風の影響を避ける為、ユニットの背面を必ず壁面側に向けて設置してください。
- ユニットの背面に直接外風が当たる向き、場所には絶対に設置しないでください。

単独設置時



複数台設置時

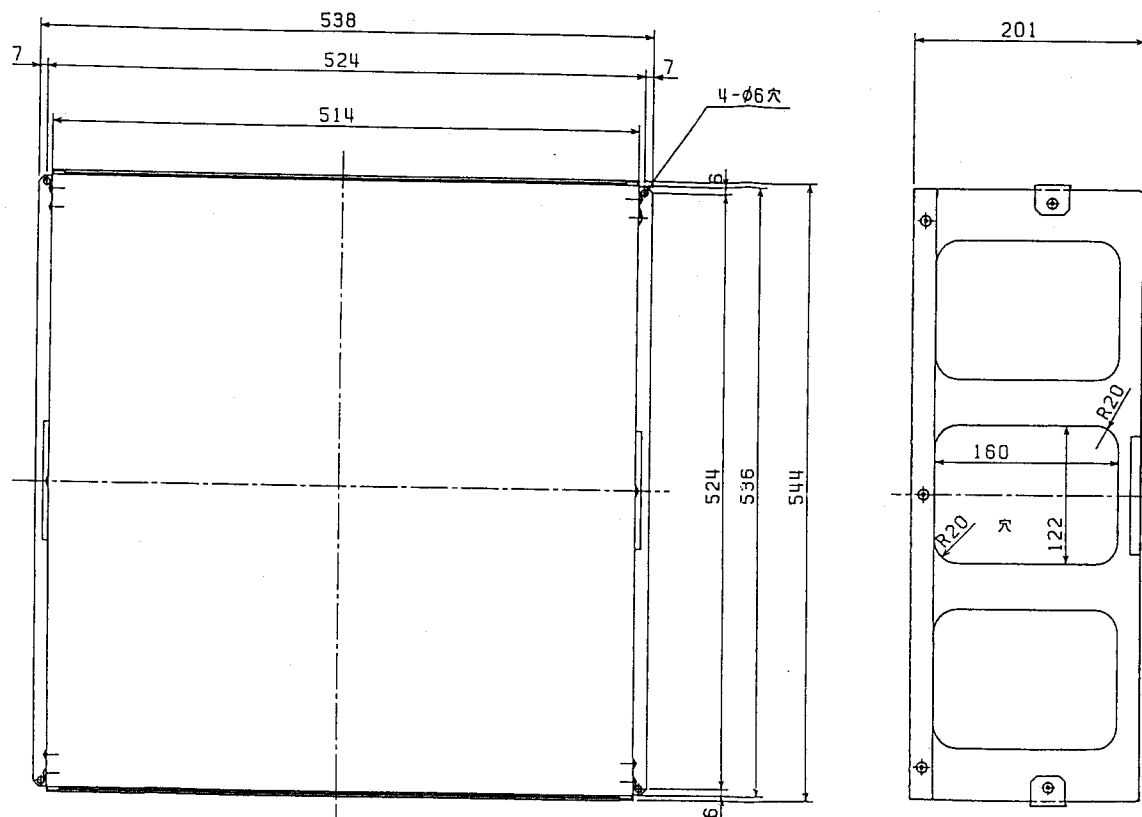


連続設置は5台以内としてください。

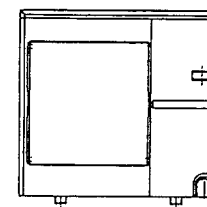
三菱電機パッケージエアコン用エアーガイド外形図

形名 PAC-SA52AG

適用機種 PU-EK・PUH-EKD



PU(H)-80~140に使用する
場合は2個必要になります。



防雪ダクト(PU(H)用)

形名 PAC-319・326
329・336BD

1 適用機種

| | | | | |
|------|------------------------|---------------------|----------------------|---|
| 形名 | PAC-319BD | PAC-326BD | PAC-329BD | PAC-336BD |
| 適用機種 | PU(H)-35~50(S)EKD, EGD | PU(H)-56~71EKD, EGD | PU(H)-80~100EKD, EGD | PU(H)-112~140EKD, EGD PUHZ-112~140EK |

2 使用方法

降雪地域で雪が室外ユニットに吹き込むのを防止する部品です。60cmの架台も付属しています。

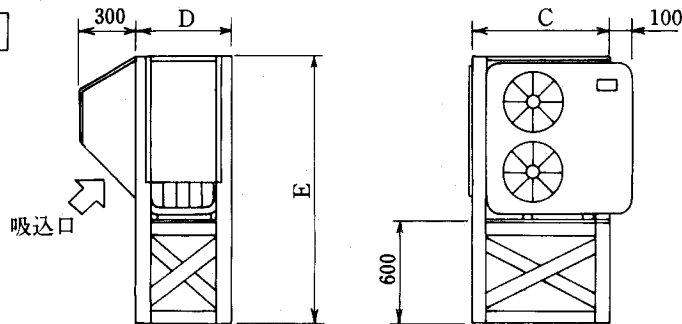
3 付属部品

| 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 |
|----|---------|----|----|-----------|----|----|-----------|----|
| ① | 縦 枠 (大) | 3 | ⑦ | フード側板 (右) | 1 | ⑬ | バネ座金 | 15 |
| ② | 縦 枠 (小) | 1 | ⑧ | フード側板 (左) | 1 | ⑭ | ナット (M10) | 15 |
| ③ | ベース | 2 | ⑨ | 横フード板 | 1 | ⑮ | ナベネジ | 17 |
| ④ | 上部横板 | 1 | ⑩ | 後フード板 | 1 | ⑯ | バネ座金 | 17 |
| ⑤ | 補強板 (大) | 2 | ⑪ | 後フード板 | 1 | ⑰ | タッピンネジ | 8 |
| ⑥ | 補強板 (小) | 2 | ⑫ | ボルト (M10) | 35 | ⑱ | 平座金 | 4 |

※ネジ類は予備用として若干多く入っています。

4 取付要領

1. 完成図



寸法表 (mm)

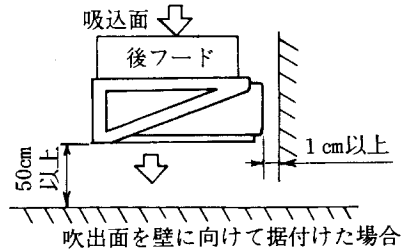
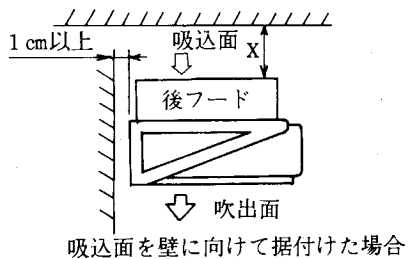
| 機種 | C | D | E |
|-----------|-----|-----|------|
| PAC-319BD | 800 | 387 | 1262 |
| PAC-326BD | 800 | 387 | 1465 |
| PAC-329BD | 800 | 387 | 1871 |
| PAC-336BD | 900 | 437 | 1871 |

2. 据付場所の選定

- ① 直射日光や他の熱源から、直接熱を受けない所。
- ② 室外ユニットから発生する騒音が隣家の迷惑にならない所。
- ③ 電源及び室内側ユニットとの配線、配管に便利な所。
- ④ 雪の吹きだまりになる所は避けてください。
- ⑤ 据付上・機能上・サービス上必要なスペースを確保してください。
- ⑥ ショートサイクルを起こさないよう周囲の障害物を除いてください。

PUH-35~71の場合
X = 10cm以上

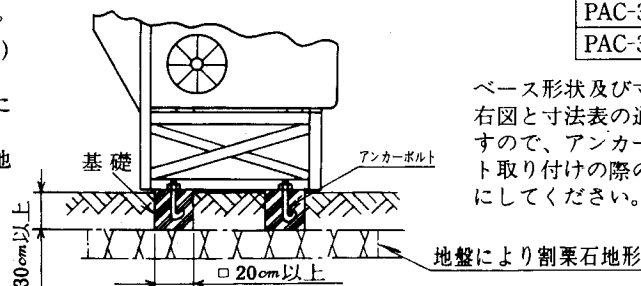
PUH-80~140の場合
X = 15cm以上



3. 防雪ダクト固定方法

強風・地震等で転倒する恐れがありますので、必ずアンカーボルトで固定してください。

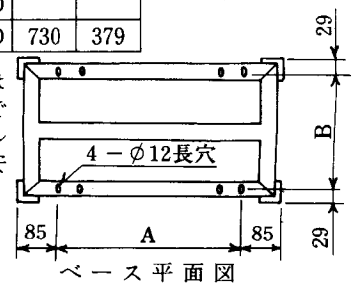
アンカーボルト(φ10)とベースの穴(φ12長穴)を利用して基礎に固定してください。(アンカーボルトは現地でご手配願います。)



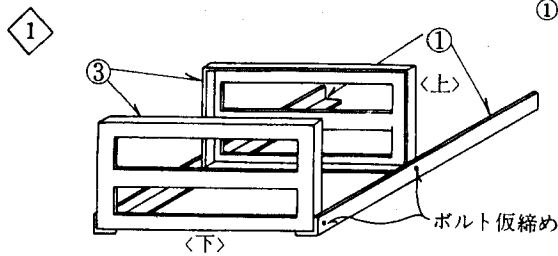
寸法表 (mm)

| 機種 | A | B |
|-----------|-----|-----|
| PAC-319BD | 630 | 329 |
| PAC-326BD | 630 | 329 |
| PAC-329BD | 730 | 379 |
| PAC-336BD | 730 | 379 |

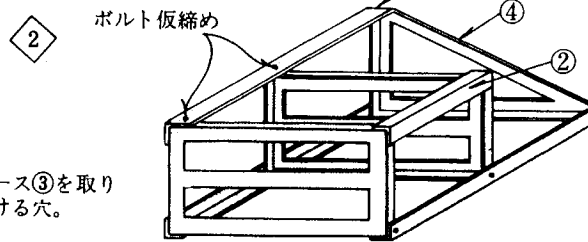
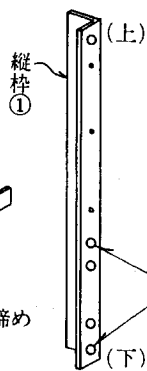
ベース形状及び寸法は右図と寸法表の通りですので、アンカーボルト取り付けの際の目安にしてください。



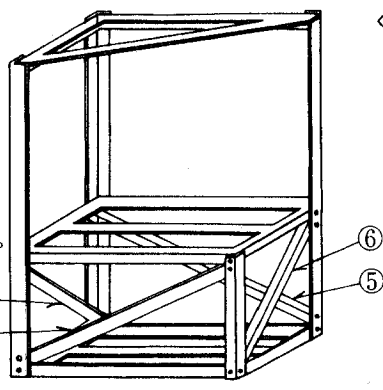
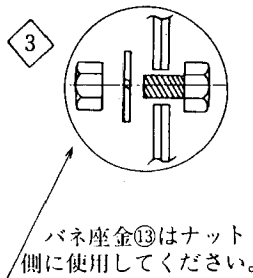
4. 防雪ダクト組立方法



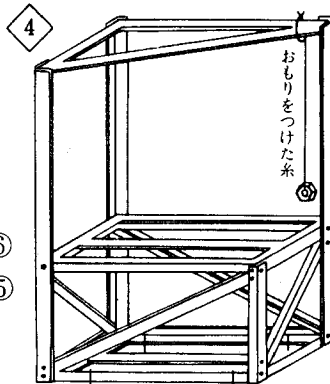
縦枠(大)①を2本横にして置きます。
 ベース③2個をボルト⑫にて取り付けます。
 この時ボルトは「仮締め」にしておきます。
 注：ベース2個は互いに向かい合せて取り付け
 ます。縦枠の上下に注意してください。



その上に縦枠(大)①と縦枠(小)②及び上部横
 枠④をボルト⑫にて取り付けてください。
 この時ボルトは「仮締め」にしておきます。

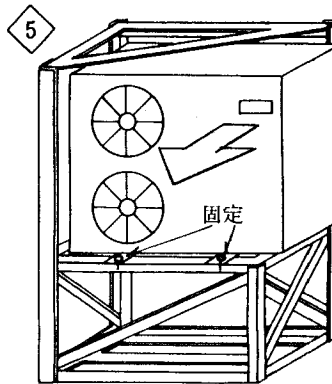


ボルト仮締め

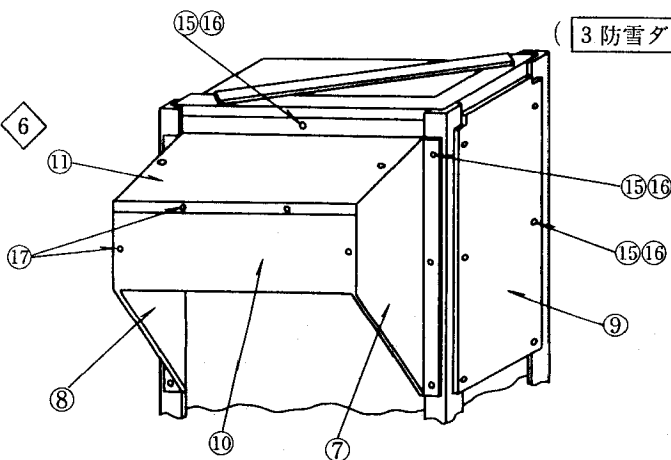


アンカーボルト

おもりを付けた糸を垂らすなど
 して架台が垂直に立っているか
 調べた上で「本締め」にしてくだ
 さい。アンカーボルトでベース
 を地面に固定してください。



室外ユニットを載せてくださ
 い。そして室外ユニットの固
 定足をこの架台にボルト⑫と
 バネ座金⑬とナット⑭と平座
 金⑱で確実に固定してくだ
 さい。



フード側板⑦⑧を後面にナベネジ⑮とバネ座
 金⑯で固定し、フード側板の上に、後フード
 板⑩⑪をSTネジ⑰で取り付けてください。

- 側面に横フード板⑨をナベネジ⑮と
 バネ座金⑯で固定してください。

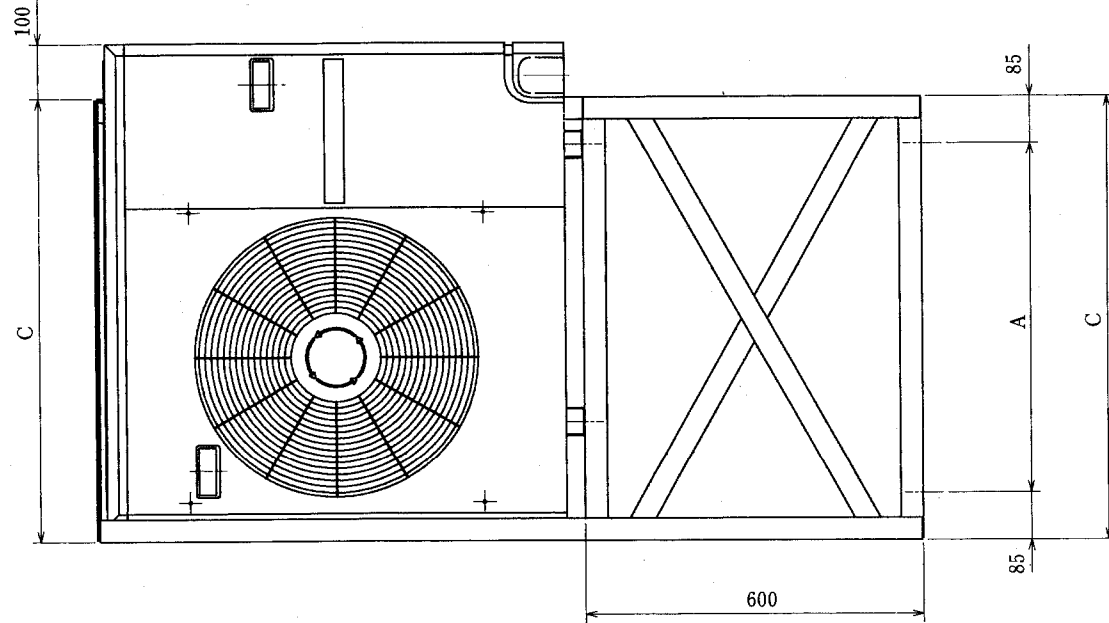
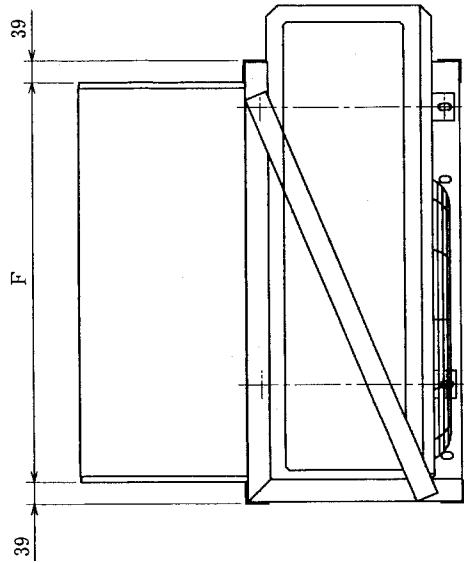
(3 防雪ダクト固定方法 参照)

注：ベースの固定穴は長穴になっ
 ていますので、ユニットを前方(矢
 印の方向)に寄せて据付けてく
 ださい。

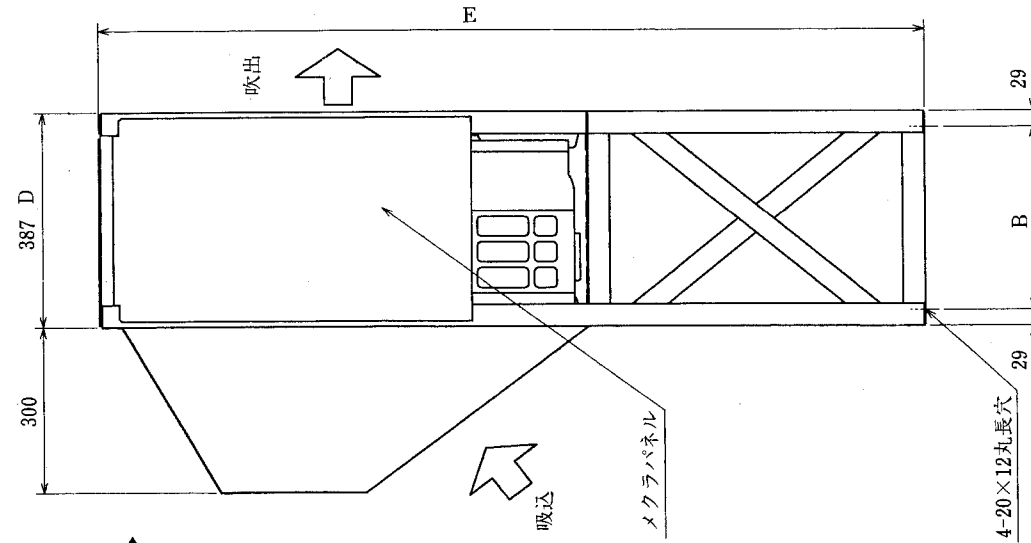
- ⑦ 組み立て設置完了後に配線・配
 管工事を行なってください。
 ・配線・配管工事の方法は据付説
 明書を参照してください。

三菱電機パッケージエアコン用防雪ダクト外形図

形名PAC-319・326・329・336BD 適用機種 PU(H)-35～140(S)EKD・EGD形



| 形名 | A | B | C | D | E | F |
|-----------|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| PAC-319BD | 630 | 329 | 800 | 387 | 1262 | 722 |
| PAC-326BD | 630 | 329 | 800 | 387 | 1465 | 722 |
| PAC-329BD | 630 | 329 | 800 | 387 | 1871 | 722 |
| PAC-336BD | 730 | 379 | 900 | 437 | 1871 | 822 |





















防雪ダクト (PUHZ用)

形名 PAC-SB35・36BD

1 適用機種

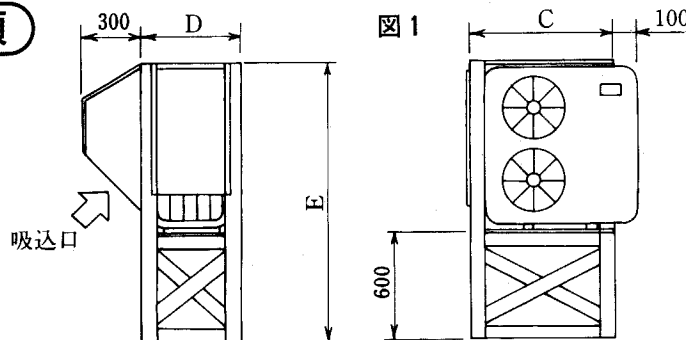
| 形名 | 適用機種 |
|------------|------------------|
| PAC-SB35BD | PUHZ-50・56(S)EK |
| PAC-SB36BD | PUHZ-71~100(S)EK |

2 付属部品

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|--|---|--|--|
| ①縦 棒(大)  3本 | | ②縦 棒(小)  1本 | | ③ベース  2個 | | ④上部横板  1個 | | | |
| ⑤補 強(大)  2本 | | ⑥補 強(小)  2本 | | ⑦フード側板(右)  1枚 | | ⑧フード側板(左)  1枚 | | | |
| ⑨横フード板  1枚 | ⑩後フード板  1枚 | ⑪後フード板  1枚 | ⑫ボルト (M10)  35本 | ⑬バネ空金  15コ | ⑭ナット (M10)  15コ | ⑮ナベネジ  17本 | ⑯バネ座金  17コ | ⑰STネジ  8本 | ⑱平座金  17コ |

3 取付要領

《完成図》



寸法表 (mm)

| 機種 | C | D | E |
|------------|-----|-----|------|
| PAC-SB35BD | 800 | 437 | 1465 |
| PAC-SB36BD | 800 | 437 | 1871 |

《据付場所の選定》

- ①直射日光や他の熱源から、直接熱を受けない所。
- ②室外ユニットから発生する騒音が隣家の惑にならない所。
- ③電源及び室内側ユニットとの配線、配管に便利な所。
- ④雪の吹きだまりになる所は避けてください。
- ⑤据付上・機能上・サービス上必要なスペースを確保してください。
- ⑥ショートサイクルを起こさないよう周囲の障害物を除いてください。

図2 吸込面を壁に向けて据付けた場合

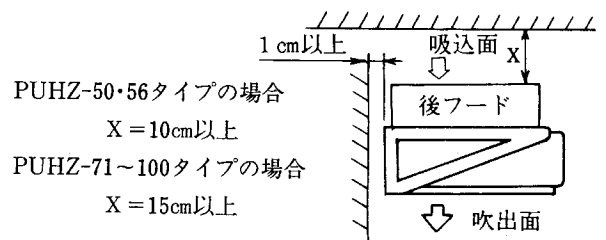
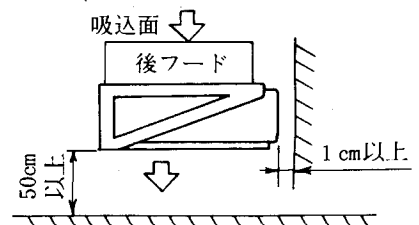


図3 吹出面を壁に向けて据付けた場合



《防雪ダクト固定方法》

- ①強風・地震等で転倒する恐れがありますので、必ずアンカーボルトで固定してください。
- ②アンカーボルト (φ10) とベースの穴 (φ12長穴) を利用して基礎に固定してください。
(アンカーボルトは現地で手配願います。)

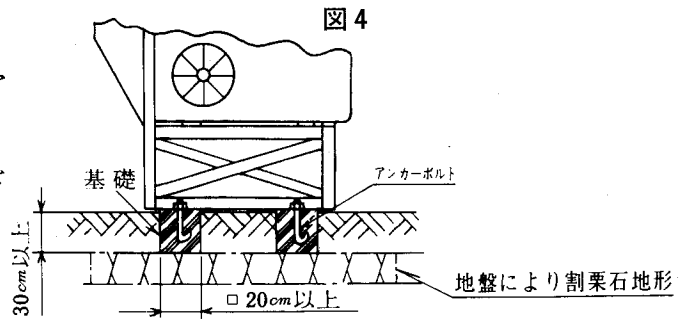


図4

- ③ベース形状及び寸法は、図5の通りですのでアンカーボルト取り付けの際の目安にしてください。

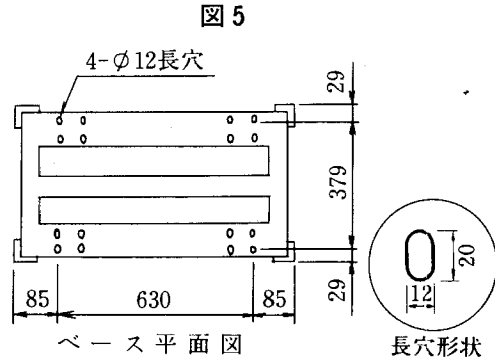


図5

《防雪ダクト組立方法》

- ①縦枠(大)①を2本横にして置きます。
ベース③2個をボルト⑫にて取り付けます。
この時ベルトは「仮締め」にしておきます。
(注)ベース2個は互いに向かい合わせで取り付けます。
縦枠の上下に注意してください。

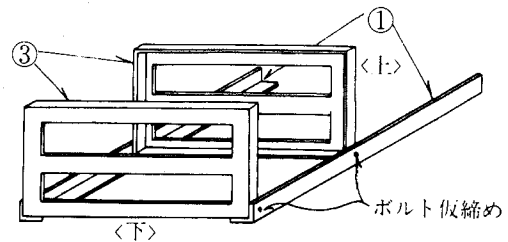


図6

- ②その上に縦枠(大)①と縦枠(小)②及び上部構
枠④をボルト⑫にて取り付けてください。
この時ボルトは「仮締め」にしておきます。

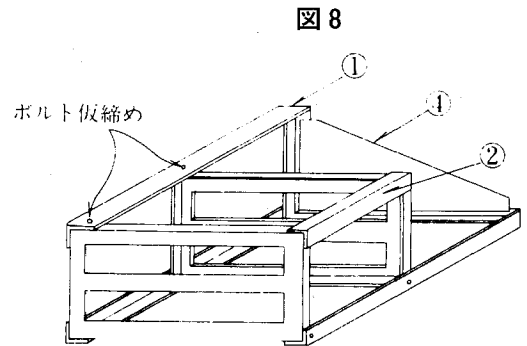
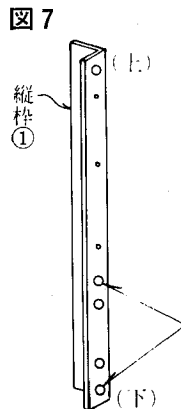


図8

- ③図8を立てて補強(大)⑤補強(小)⑥をボルト⑫とバネ座金⑬とナット⑭で取り付けてください。この時ボルトは「仮締め」にしておきます。

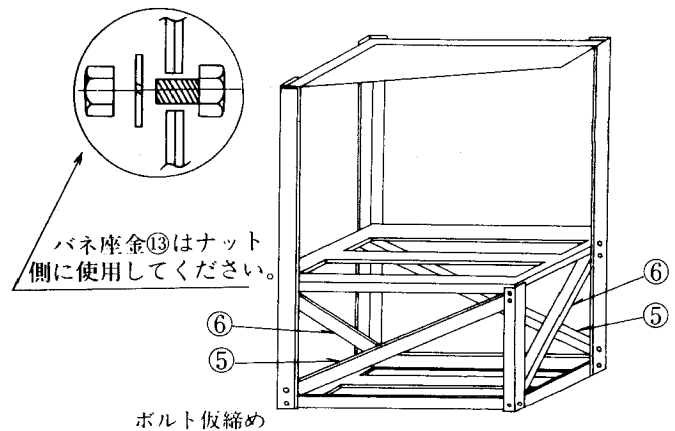
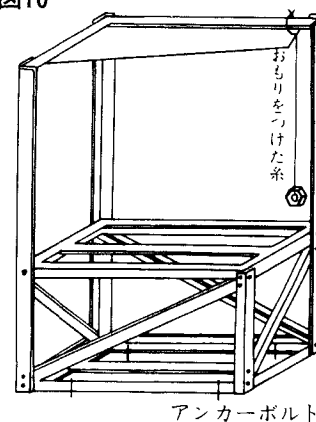


図9

- ④おもりを付けた糸を垂らすなどして架台が垂直に立っているか調べた上で **本締め** にしてください。アンカーボルトでベースを地面に固定してください。

(《防雪ダクト固定方法》参照)

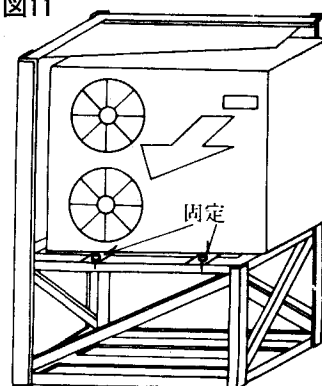
図10



- ⑤室外ユニットを載せてください。そして室外ユニットの固定足をこの架台にボルト⑫とバネ座金⑬とナット⑭と平座金⑩で確実に固定してください。

(注)ベースの固定穴は長穴になっていますので、ユニットを前方(矢印の方向)に寄せて据付けてください。

図11



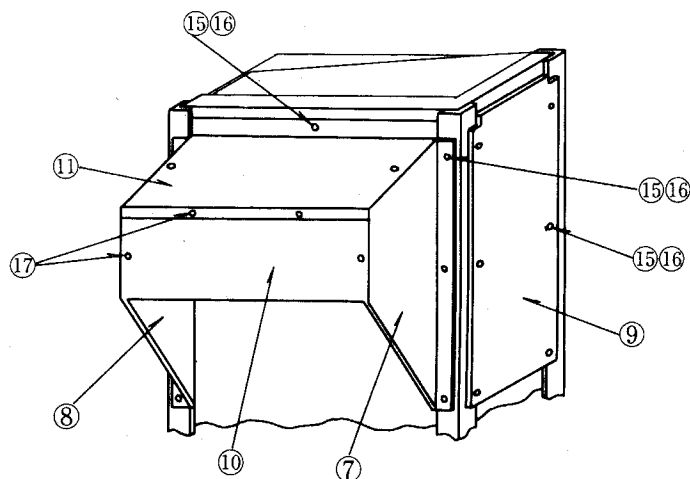
- ⑥フード側板⑦⑧後面にナベネジ⑮とバネ座金⑯で固定し、フード側板の上に、後フード板⑩⑪をSTネジ⑰で取り付けてください。

●側面に横フード板⑨をナベネジ⑮とバネ座金⑯で固定してください。

- ⑦組み立て設置完了後に配線・配管工事を行なってください。

●配線・配管工事の方法は据付説明書を参照してください。

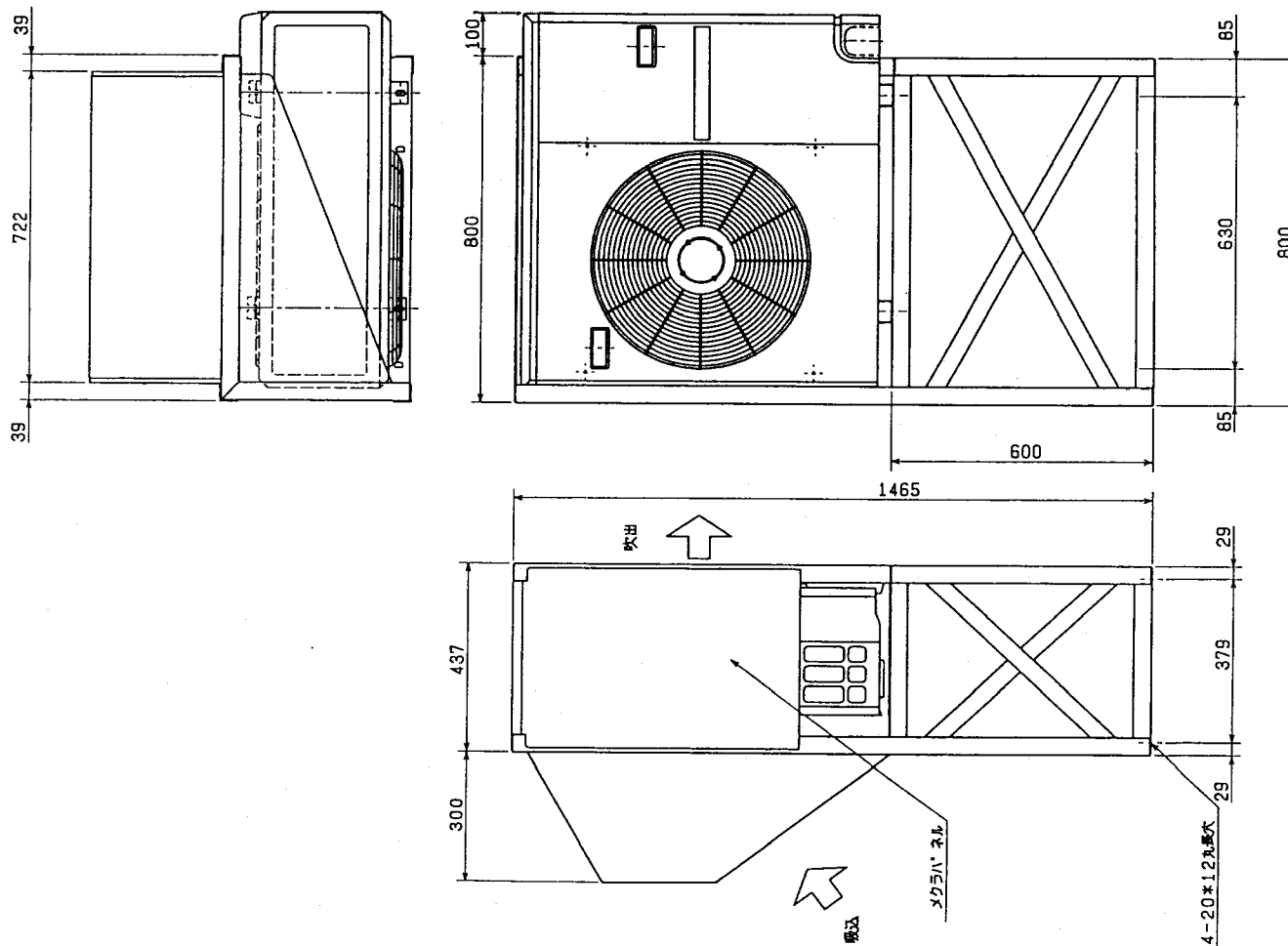
図12



三菱電機パッケージエアコン用防雪ダクト外形図

形名 PAC-SB35BD

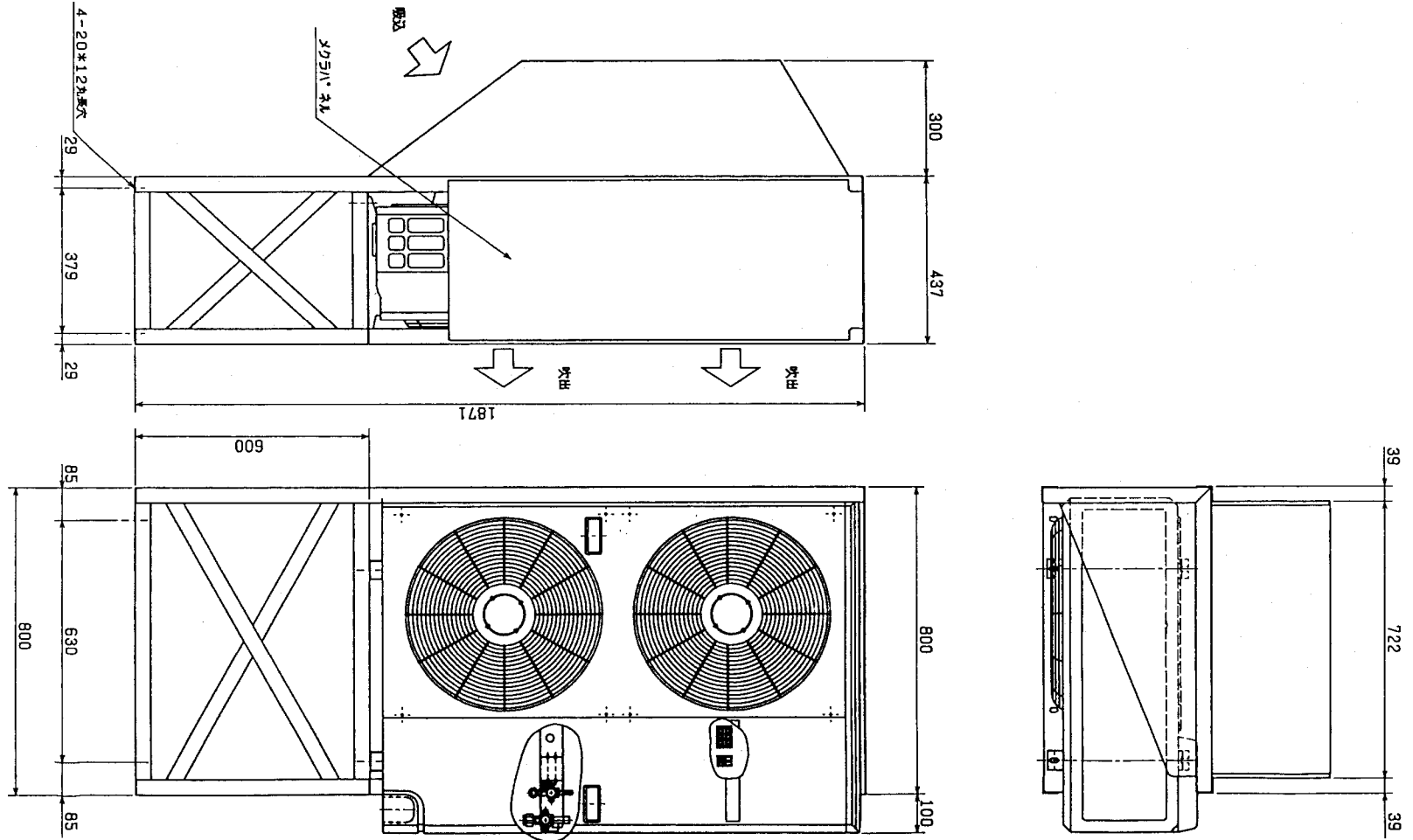
適用機種 PUHZ-50・56(S)EK



三菱電機パッケージエアコン用防雪ダクト外形図

形名 PAC-SB36BD

適用機種 PUHZ-71~100(S)EK



吹出ガイド (PU(H)形用)

形名 PAC-291・393・294・292SG

1 適用機種

| 形名 | PAC-291SG | PAC-393SG | PAC-294SG | PAC-292SG |
|------|------------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 適用機種 | PU(H)-35~63G6・GF | PUHM-71EK PUHMZ-80AK | PUHM-100~140EK PUHMZ-105AK | PU(H)(Z)-35~140(S)EK(D)・EGD |

2 使用方法

室外ユニットの吹出空気の風向を、上・下・左・右(PAC-291・292・294SG)上・下(PAC-393SG)いずれかに変更する部品です。室外ユニットの周囲にスペースがあまりない場合にお使いください。

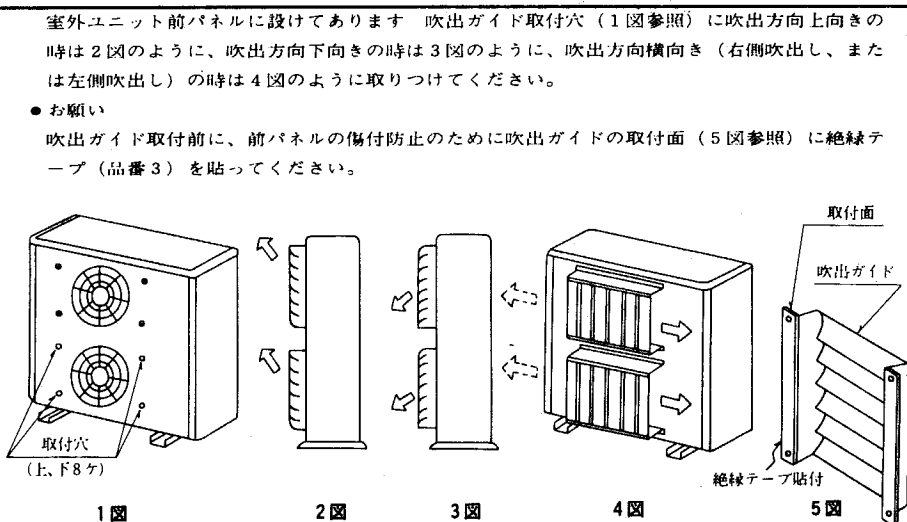
3 付属部品

| 品番 | 品名 | 個数 | | | |
|----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | PAC-291SG | PAC-393SG | PAC-294SG | PAC-292SG |
| ① | 吹出ガイド | 1 | 1 | 2 | 1 |
| ② | 取付用ネジ ST4×10 | 4 | 4 | 8 | 4 |
| ③ | 絶縁テープ | 2 | 2 | 4 | 0 |

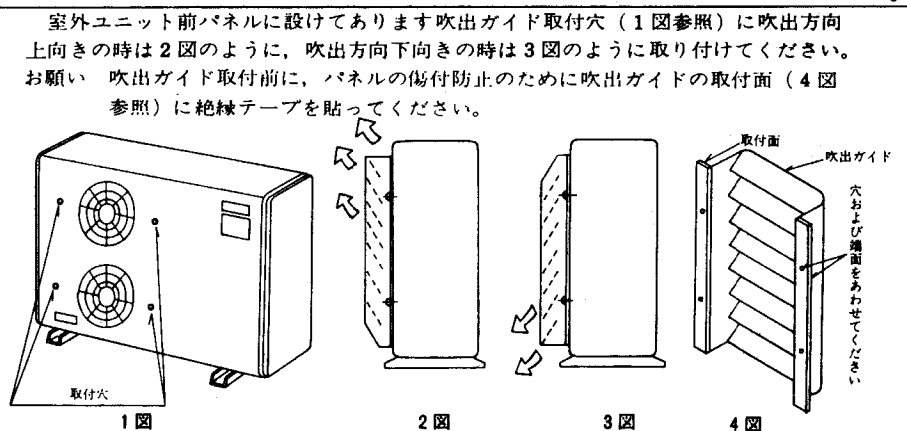
4 取付要領

注) PAC-292SGを使用する場合、PU(H)-35~71タイプは1個使い、80~140形は2個使い、PUHZ-50・56形は1個使い、71~140形は2個使いとなります。

PAC-291・294・292SGの場合

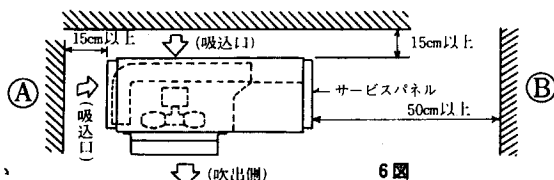


PAC-393SGの場合



設置スペース

室外ユニットの標準的設置スペースを6図に示します。



●お願い

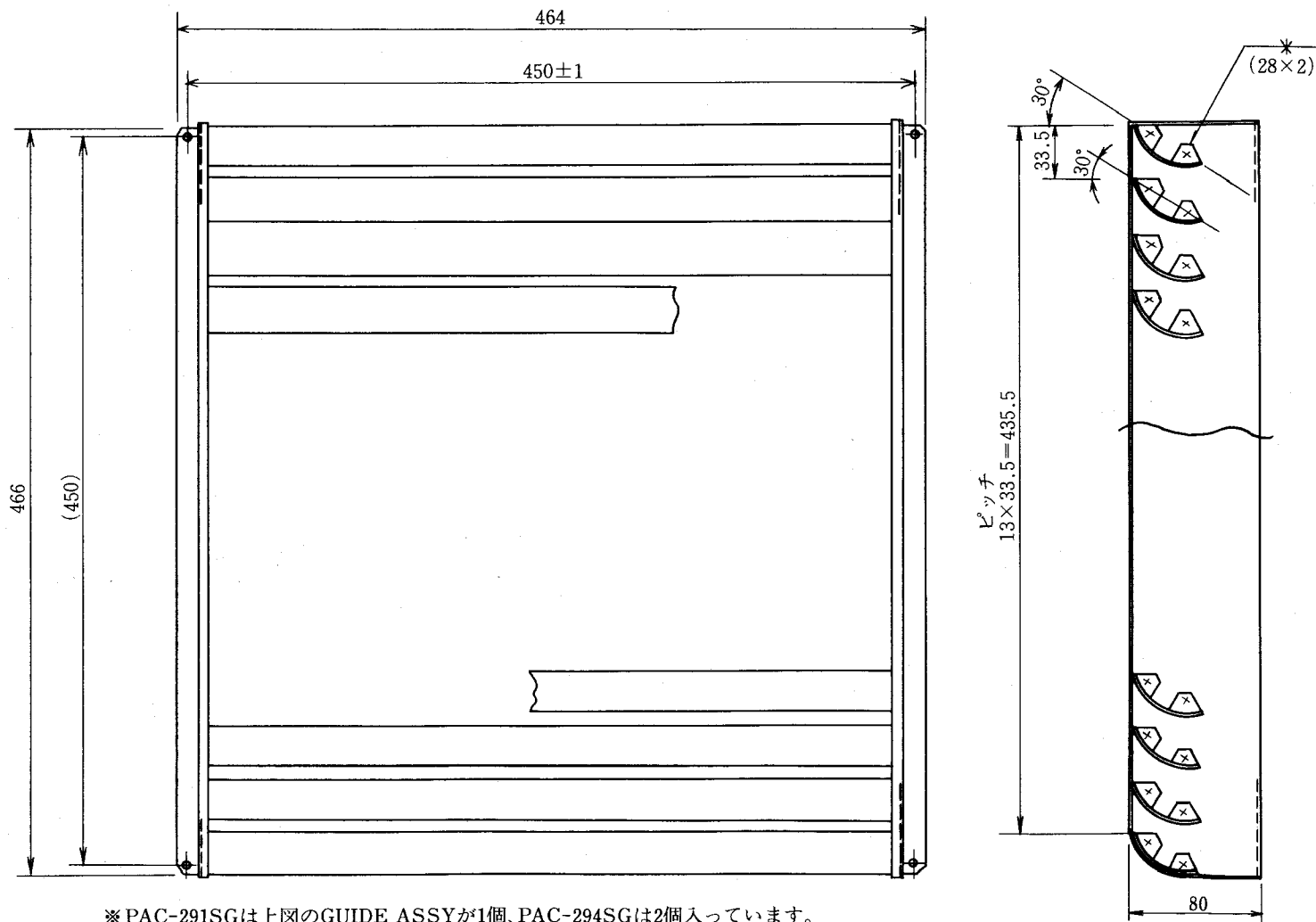
- ショートサイクルをおこさないよう可能な限り障害物のない場所をお選びください。
例、左側吹出しの時はA面、右側吹出しの時はB面、上向き吹出しの時は上部の障害物が無いこと。
- 積雪のある場所でのご使用は絶対やめてください。ガイド内に雪が溜まりファンが凍りつく恐れがあります。

三菱電機スリムエアコン用吹出ガイド外形図

形名 PAC-291SG
294SG

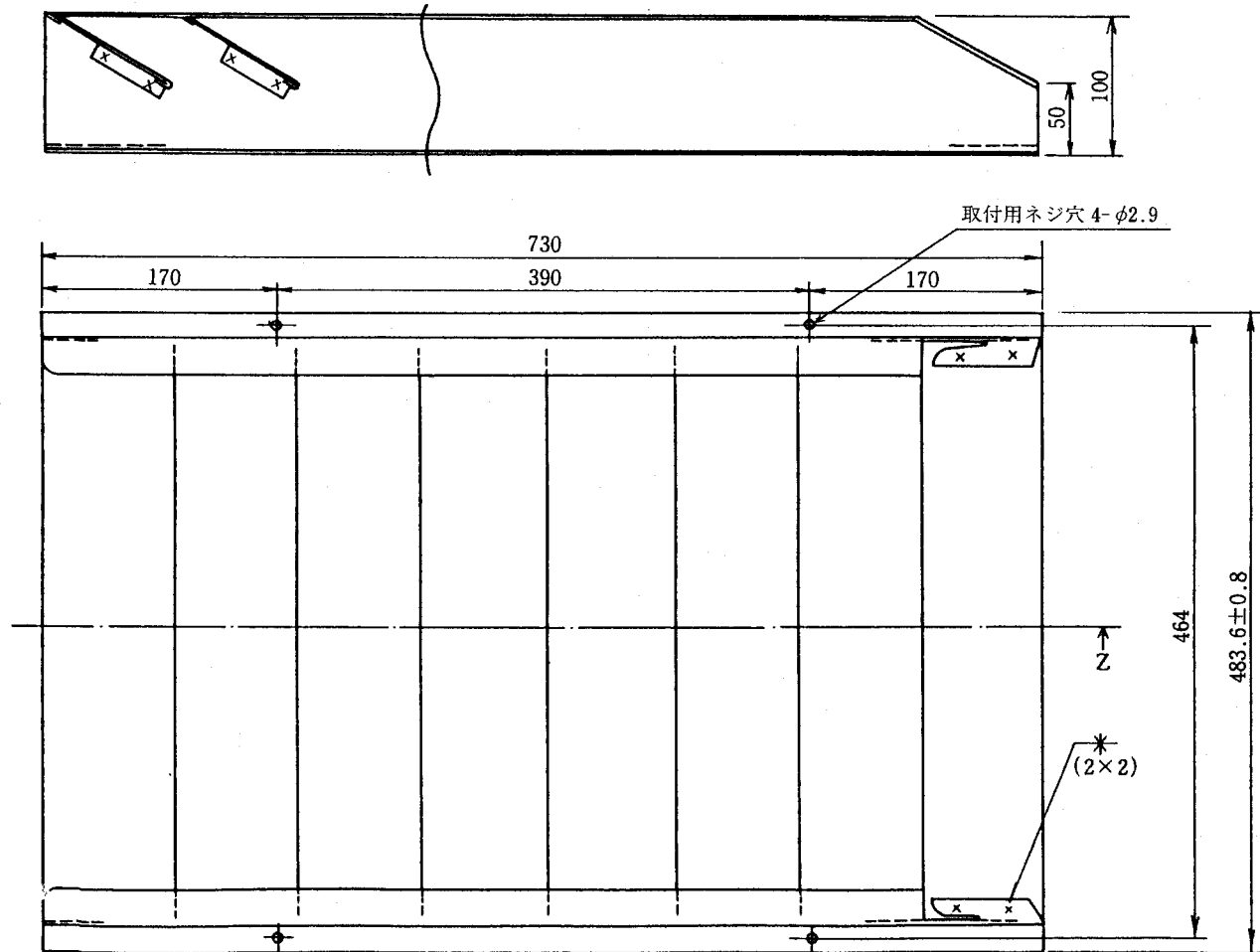
適用機種

| | |
|-------|-----------------------------|
| 291SG | PU(H)-35~63G6. GF |
| 294SG | PUHM-100~140EK, PUHMZ-105AK |



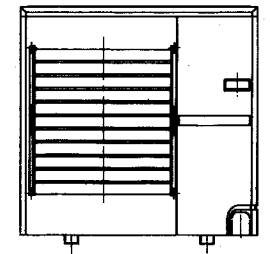
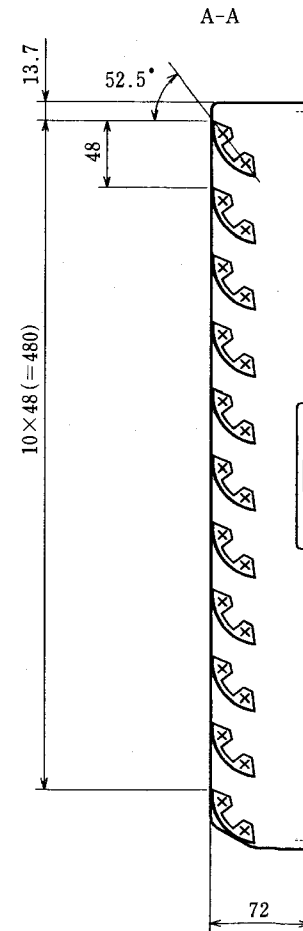
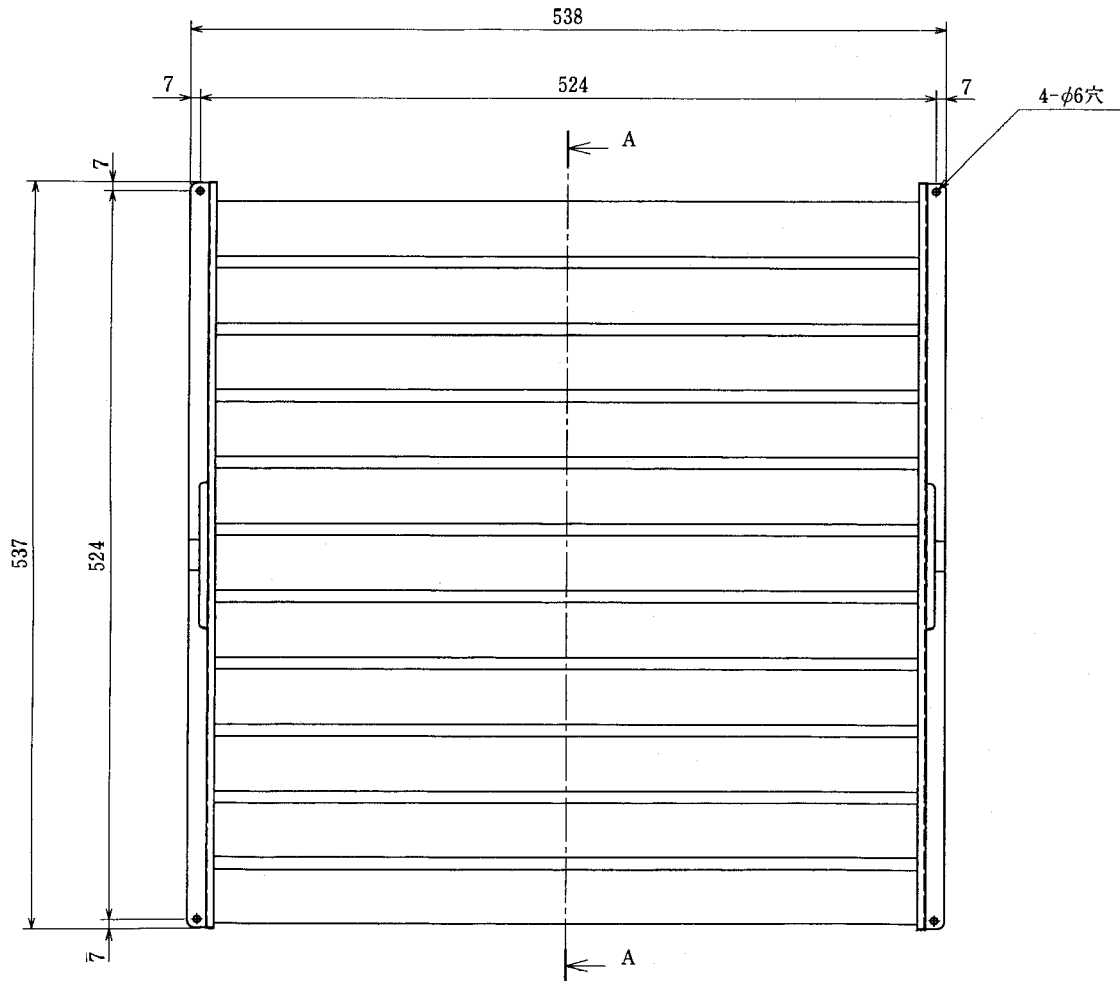
三菱電機パッケージエアコン用吹出ガイド外形図

形名 PAC-393SG 適用機種PUHM-71EK, PUHMZ-80AK



三菱電機パッケージエアコン用吹出ガイド外形図

形名PAC-292SG 適用機種PU(H)(Z)-35~140EK(D)・EGD

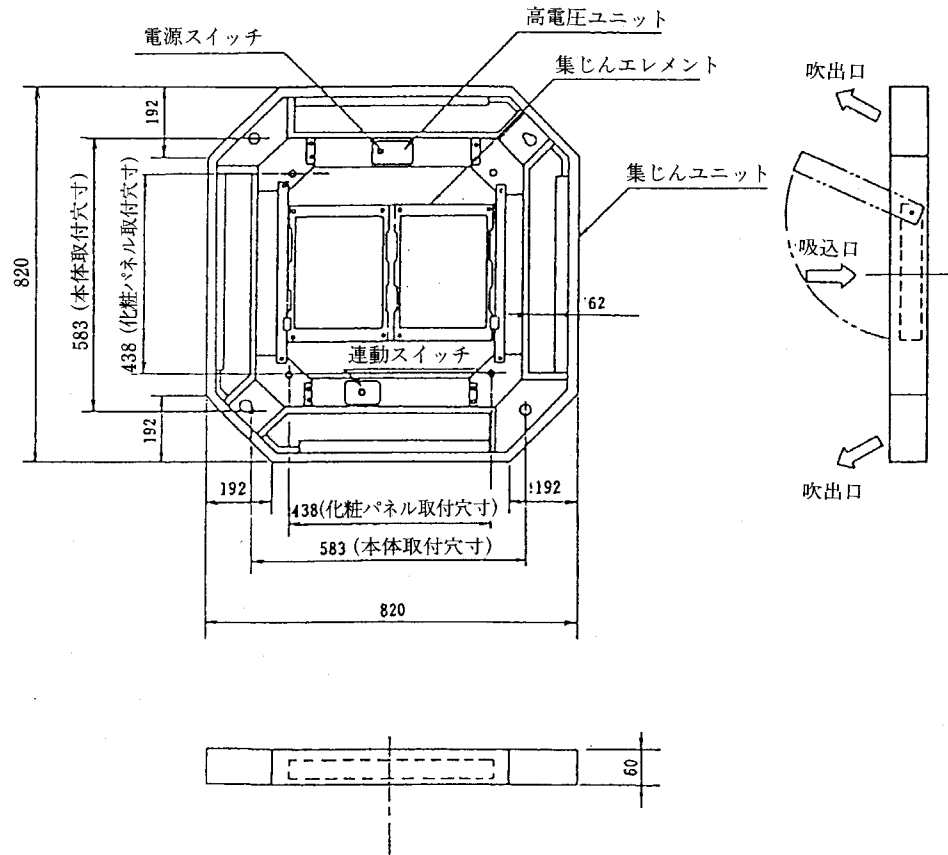


取付図

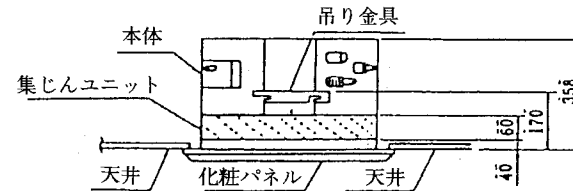
- ※PU(H)-EKD・EGD 35~71形1個使い
80~140形2個使い
- PUHZ-EK 50・56形1個使い
71~140形2個使い

三菱電機パッケージエアコン用空気清浄器外形図

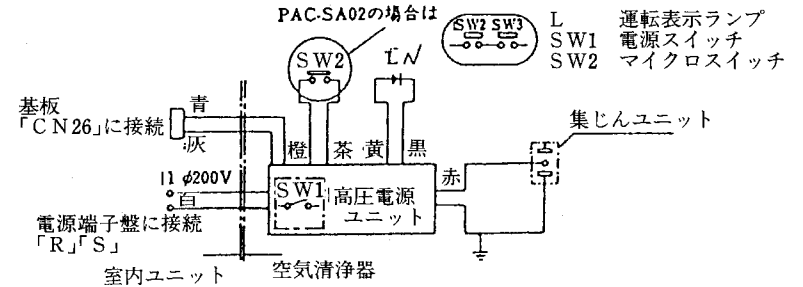
形名 PAC-SA01AC 適用機種 PLH-35~80FK(H)D, PLHY-32~80FK



取付寸法図



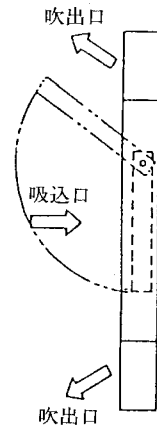
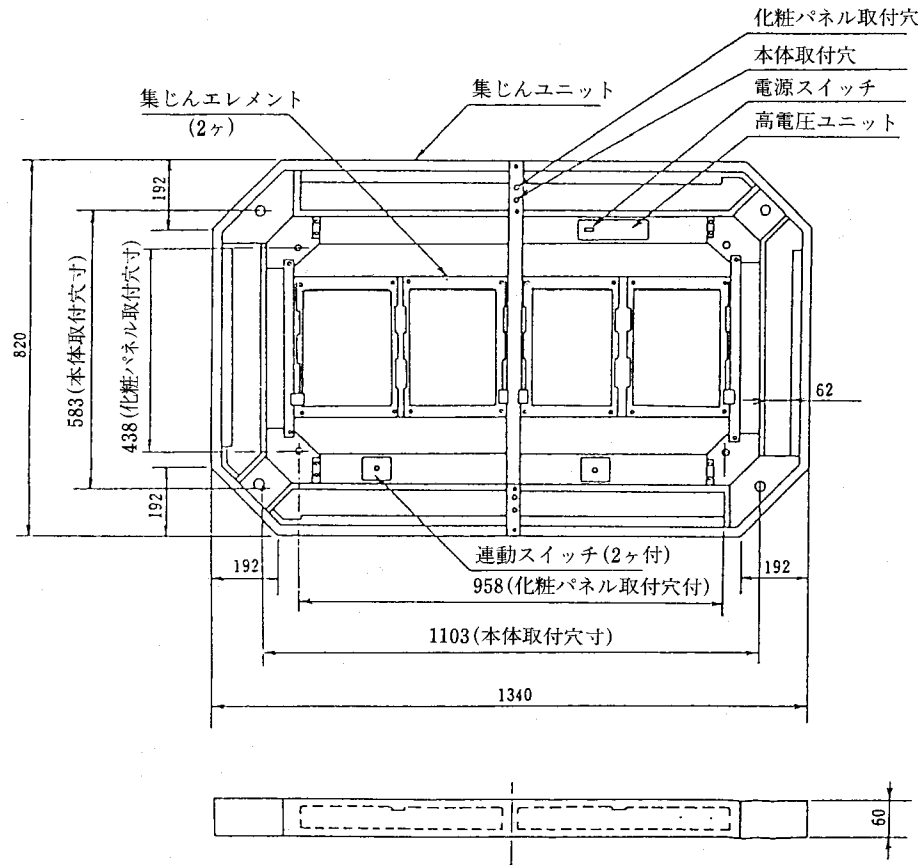
電気配線図



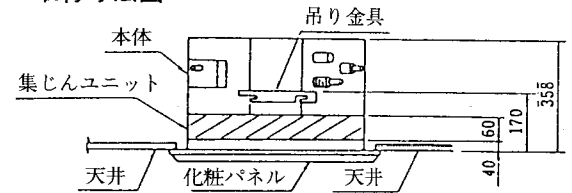
三菱電機パッケージエアコン用空気清浄器外形図

形名 PAC-SA02AC

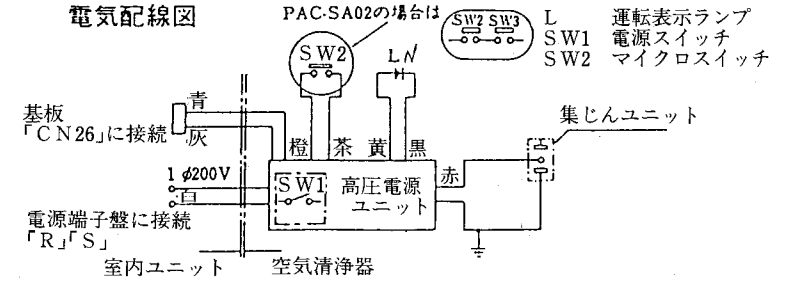
適用機種 PLH-90~140FK(H)D, PLHY-100・125FK



取付寸法図



電気配線図




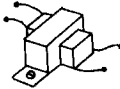







ファンコントローラ (PU-EGD用)

形名 PAC-SA31CT

1 適用機種

PU-35~140(S)EGD

2 付属部品

| | | | |
|--|---|---|--|
| ①ファンコントローラ (リード線付)  1セット | ②トランス  1ヶ | ③サーミスタ  1ヶ | ④タッピンネジ  2ヶ |
| ⑤アルミテープ  8枚 | ⑥スプリング  1ヶ | ⑦タイラップ  1ヶ | ⑧バンド  3ヶ |
| ⑨配線名板  1ヶ | | | |

3 取付要領

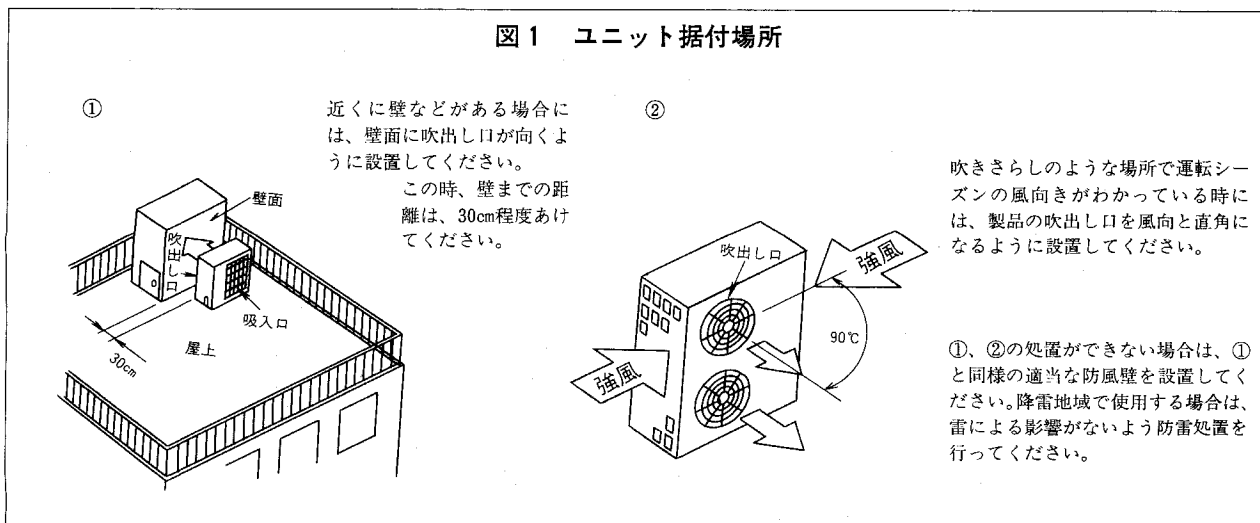
ご注意

- この別売部品は冷房専用の機種で年間冷房運転を行なうためのファンコントローラです。
(取付は室外ユニットになります。)
- 運転可能範囲：外気温 $-5^{\circ}\text{C} \sim 43^{\circ}\text{C}$ DB 室内温度設定範囲 $19^{\circ}\text{C} \sim 30^{\circ}\text{C}$ DB
- 外気温 -5°C 以下で運転するとファンコントロールだけでは、凝縮温度を一定温度以上に保つことができなくなり、凝縮温度が低下して、これに伴ない蒸発温度も低下し室内ユニットの凍結防止機能が働きやすくなります。
- この別売部品の取り付けは、ユニットの据付前に行なっていただく方が容易にできます。

1. 据付場所の選定

ファンコントローラは、室外ユニットのプロペラファンの回転数を変化させますので、プロペラファンに向って、強い風が当たると、制御特性に悪影響を及ぼします。従って周囲に建物が無い場所や、屋上などに据付ける場所で、このようなケースが心配される場合には、次の図1-①、②の点に注意して設置願います。

図1 ユニット据付場所



2. 取付準備

室外ユニットのパネルを取り外します。

(図2参照)

《35~71タイプの場合》

①サービスパネルを取り外してください。

(⑦のネジ2本を取り外し、下方へスライドさせると外れます。)

②上面パネルを取り外してください。

(①のネジ4本を取り外し、上方へ持ち上げると外れます。)

《90~140タイプの場合》

①サービスパネルを取り外してください。

(⑦のネジ2本を取り外し、下方へスライドさせると外れます。)

②上面パネルを取り外さなくても作業できます。

図2 パネル分解要領図 (図はPU-71EGを示します)

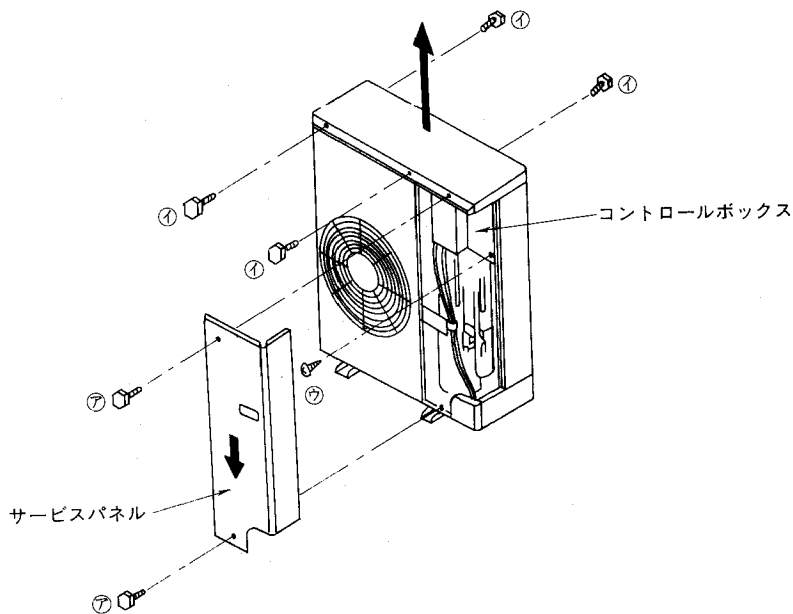


図3 ファンコントローラ取付位置図 (35~50タイプの場合)

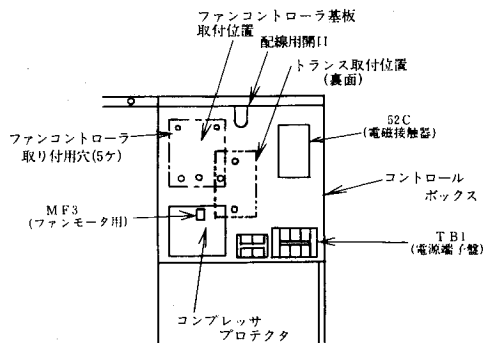


図4 ファンコントローラ取付位置図 (56~140タイプの場合)

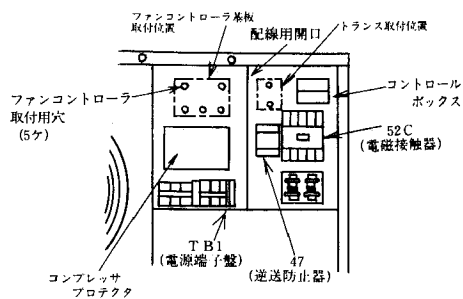
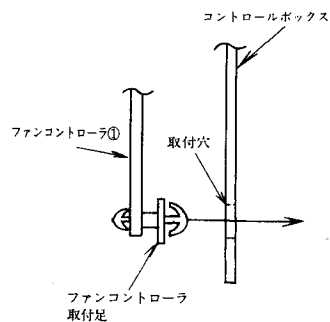


図5 ファンコントローラ取付詳細図



3. ファンコントローラ取付

(1)室外ユニットのコントロールボックスにファンコントローラ並びにトランスを取り付けます。

《35~50タイプの場合》(図3参照)

①コントロールボックスを室外ユニットより取り外します。

●コントロールボックス内のコンプレッサプロテクタ基板のMF3に入っているリード線(ファンモータ用)を取り外してください。

●図2のウのネジ1本を外しコントロールボックスを上方に持ち上げるようにして取り外してください。

②ファンコントローラ①の取付足をコントロールボックス表面より差し込み取り付けます。(図5参照)

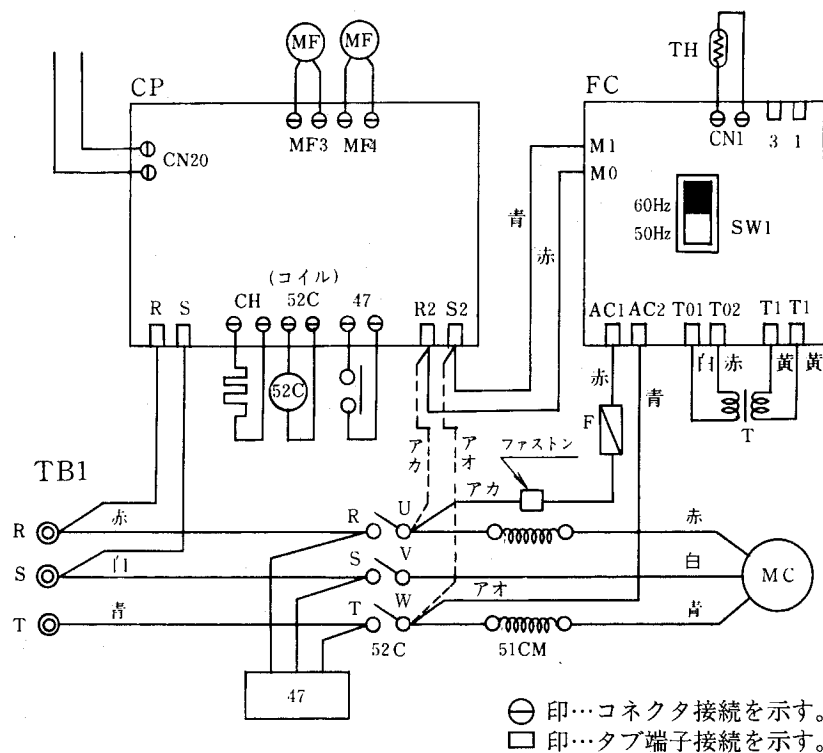
③トランス②をコントロールボックス裏面にタッピンネジ④2本にて取り付けます。

《56~140タイプの場合》(図4参照)

①ファンコントローラ①の取付足をコントロールボックス表面より差し込み取り付けます。(図5参照)

②トランス②をコントロールボックス表面にタッピンネジ④2本にて取り付けます。

図6 配線図



| | | | |
|------|-------------|-----|-----------|
| CP | コンプレッサプロテクタ | 47 | 逆相防止器 |
| MC | 圧縮機用電動機 | FC | ファンコントローラ |
| MF | 送風機用電動機 | TH | サーミスタ③ |
| CH | クランクケースヒータ | T | トランス |
| 51CM | 過電流継電器 | F | ヒューズ |
| 52C | 電磁接触器 | SW1 | 周波数切替スイッチ |
| TB1 | 端子盤(電源) | | |

4. 配線

- (1)電磁接触器(52C)からコンプレッサプロテクタ(R2, S2)へ入る赤、青色のリード線をコンプレッサプロテクタ(R2, S2)から取り外し(図6破線部)、この電磁接触器(W)の青色のリード線をファンコントローラの(AC2)へ接続してください。又、電磁接触器(U)の赤色のリード線とファンコントローラ①(AC1)からの赤色のリード線(ヒューズ付)をファストン端子にて接続してください。
- (2)ファンコントローラ①(M0, M1)の赤、青色のリード線をコンプレッサプロテクタ(R2, S2)に接続してください。
- (3)トランス②のリード線をファンコントローラ①に接続してください。(白色をT01へ、赤色をT02へ、黄色をT1へ接続してください。)この時35~50タイプは、コントロールボックス中央上部配線用開口より表側にリード線を取り出してください。
- (4)サーミスタ③をファンコントローラ①にある“CN1”のコネクタに接続してください。この時35~71タイプはコントロールボックス中央上部配線用開口より裏面へ配線してください。
- (5)50Hz地区でご使用になる場合は、ファンコントローラの中央上部にある周波数切替スイッチ(SW1)を50Hz側に切替えてください。

5. サーミスタ取付

サーミスタ③を図7の位置に図8(又は図9)の方法で確実に固定してください。

※ユニットによりサーミスタ用のホルダ付のものとホルダ無しのものがあります。サーミスタ用ホルダの無いものは、図9の方法で固定してください。

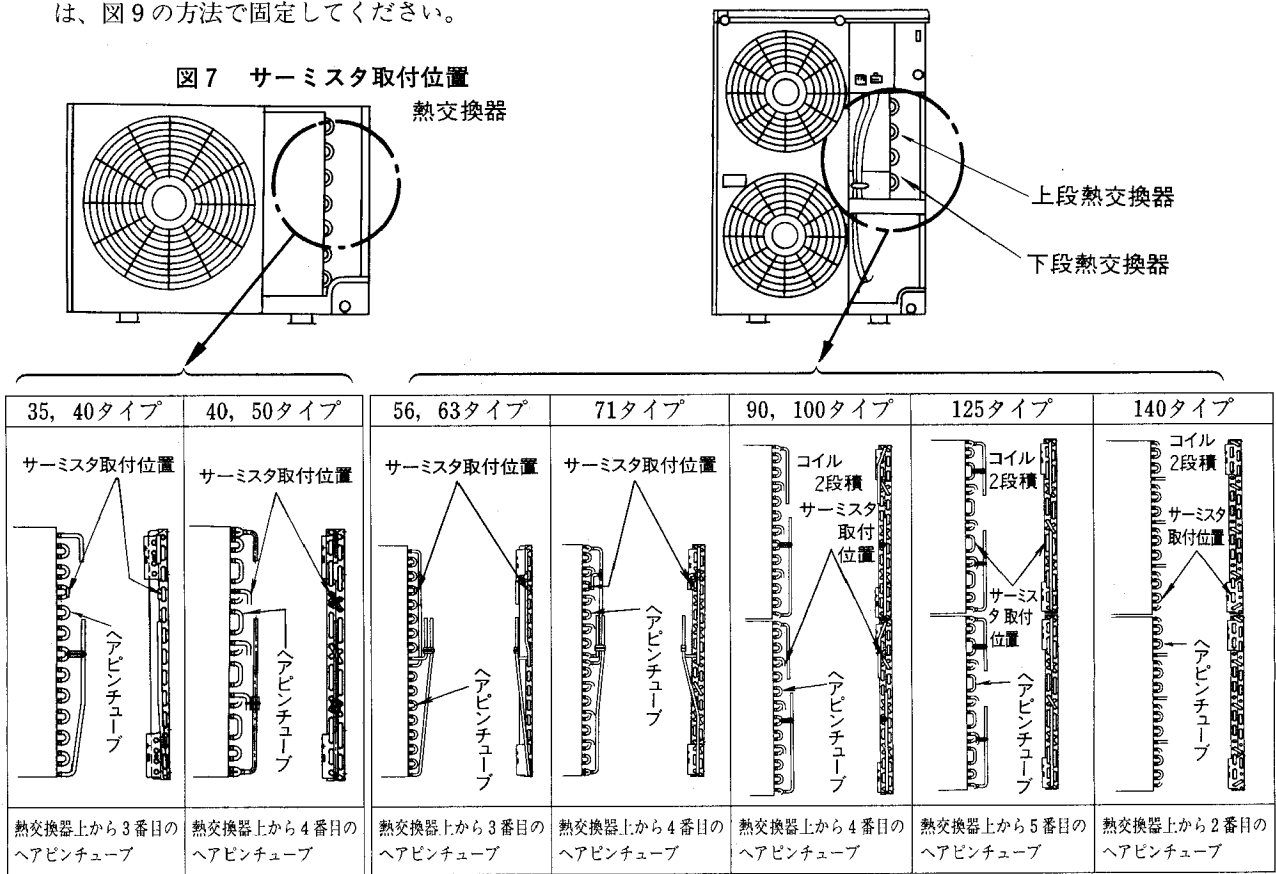


図8 サーミスタホルダの固定方式

- 1.) ヘアピンチューブに取り付けられているセンサーホルダにスプリング⑥を挿入する。
- 2.) スプリング⑥が装着されたセンサーホルダにサーミスタ③を止まるまで確実に押し込む。

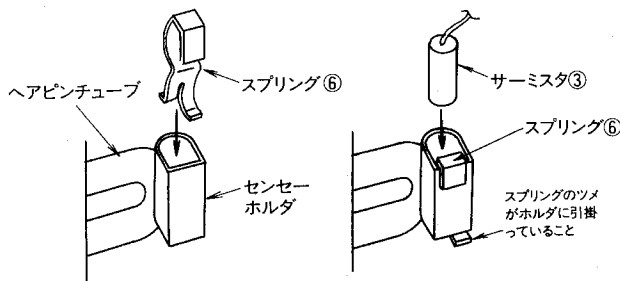
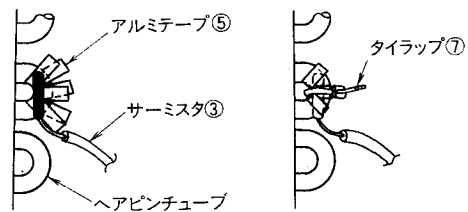


図9 サーミスタのアルミテープ固定方式

- 1.) アルミテープ⑤を、パイプの内側に通してサーミスタ③が銅パイプに密着するように固定しタイラップ⑦を使用して、アルミテープ⑤の上から、サーミスタ③を確実に固定してください。



- (1)サーミスタ③のリード線をたるみのないようバンド⑧にて適宜室外ユニットに固定してください。(網管は高温になりますのでリード線を固定しないでください。)
- (2)コントロールボックス内の余ったリード線は、バンド⑧にて束ね固定してください。
- (3)サービスパネルの裏側の標準の電気配線図の付近に結線変更通知用配線名板⑨を貼ってください。
- (4)以上でファンコントローラの取り付けは終わりです。元通りにコントロールボックス、トップパネル、サービスパネルを組付けてください。この時、特に35~50タイプの場合はファンモータのリード線の取り付けを確実に行ってください。

試運転

- リモコンの運転切換スイッチを「冷房」にセットし、運転します。室温が低い場合は、リモコンの試運転スイッチを試運転の位置に合わせます。(元電源を入れ試運転のボタンを2度押し)
- 室外送風機が機動時は低速で回転し、徐々に回転が上がり安定することを確認してください。(約5分間で安定します。) 起動後3分間ぐらいは、回転数が多少上下することがあります。

防雪架台 (PUB-95・165EK用)

形名 PAC-SA37BK

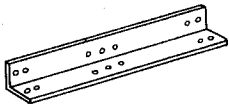
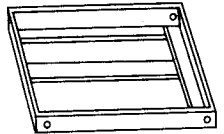






1 適用機種

PUB-95EK・165EK

2 使用方法

降雪地域で室外ユニット及びバーナーユニットが積雪に埋もれないようにする架台です。

3 付属部品

| ①縦枠 | ②ベース | ③補強(大) | ④補強(小) | ⑤ボルト | ⑥ナット |
|---|---|---|--|--|--|
|  |  |  |  |  (M10) 28本 |  (M10) 12個 |
| 4本 | 2個 | 2本 | 2本 | ⑦バネ座金  | ⑧平座金  |
| | | | | 12個 | 4個 |

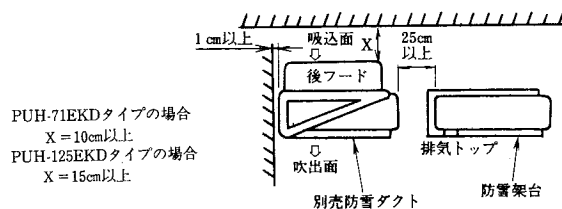
4 取付要領

1. 据付場所の選定

- ①直射日光や他の熱源から、直接熱を受けない所。
- ②バーナーユニット及び、室外ユニットから発生する騒音が隣家の迷惑にならない所。
- ③電源及び室内側ユニットとの配線、配管に便利な所。
- ④雪の吹きだまりになる所は避けてください。
- ⑤据付上・機能上・サービス上必要なスペースを確保してください。
- ⑥ショートサイクルを起こさないよう周囲の障害物を除いてください。

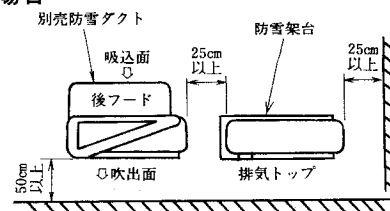
(注) ★据付スペース、設置場所の制限についてはバーナーユニットの据付説明書に従ってください。

図1 室外ユニットの吸込面を壁に向けて据付けた場合



室外ユニットの吸込面を壁に向けて据付けた場合

図2 バーナーユニットの排気トップ、室外ユニットの吹出面を壁に向けて据付けた場合



バーナーユニットの排気トップ、室外ユニットの吹出面を壁に向けて据付けた場合

2. 防雪架台固定方法

- 強風・地震等で転倒する恐れがありますので、必ずアンカーボルトで固定してください。
- アンカーボルト(φ10)とベースの穴(φ12長穴)を利用して基礎に固定してください。(アンカーボルトは現地で手配願います。)
- ベース形状及び寸法は右図の通りですので、アンカーボルト取り付けの際の目安にしてください。

図 3

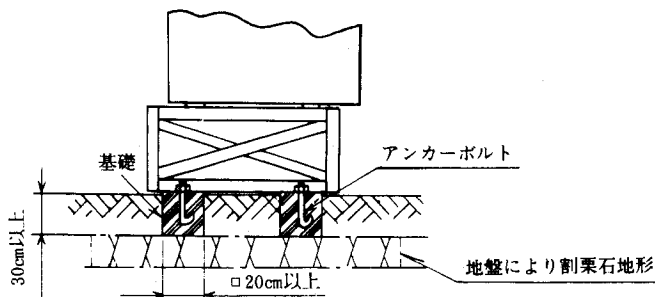
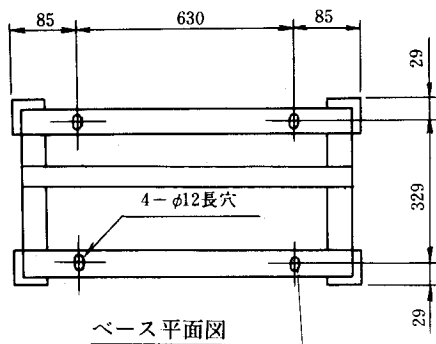
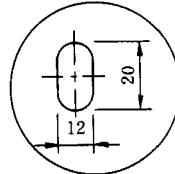


図 4



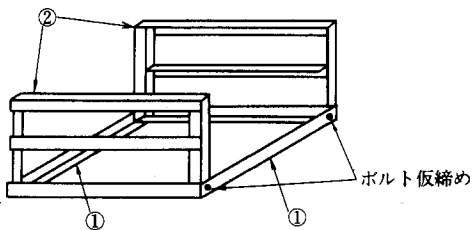
取付穴詳細



3. 防雪架台組立方法

①

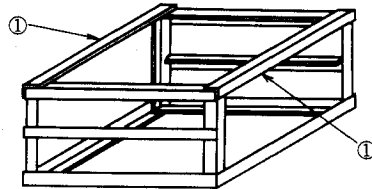
図 5



縦枠 ①を2本横にして置きます。
 ベース②2個をボルト⑤にて取り付けます。
 この時ボルトは「仮締め」にしておきます。
 (注) ベース2個は互いに向かい合わせで取り付けます。

②

図 6

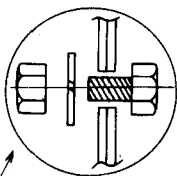


その上に縦枠①2本をボルト⑤にて取り付けてください。この時もボルトは「仮締め」にしておきます。

③

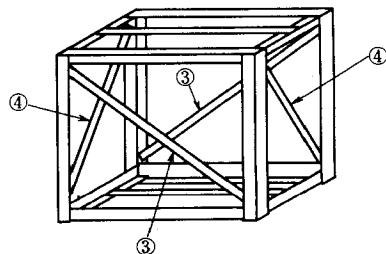
図 7

注：



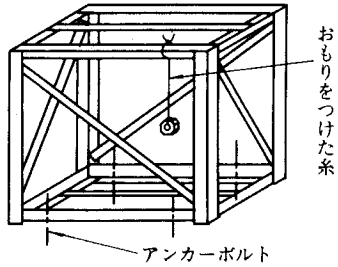
②を立てて補強(大)③補強(小)④をボルト⑤とバネ座金⑦とナット⑥で取り付けてください。この時もボルトは「仮締め」にしておきます。

バネ座金⑦はナット側で使用してください。



4

図 8

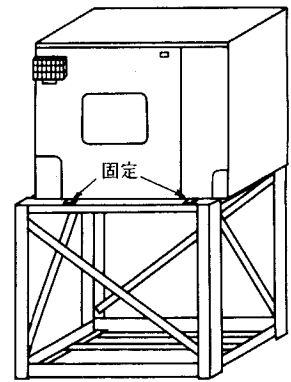


おもりをつけた糸を垂らすなどして架台が垂直になっているか調べた上で本締めにしてください。アンカーボルトでベースを地面に固定してください。

(2. 防雪架台固定方法参照)

5

図 9



バーナーユニットを載せてください。そしてバーナーユニットの固定足をこの架台にボルト⑤とバネ座金⑦とナット⑥と平座金⑧で確実に固定してください。

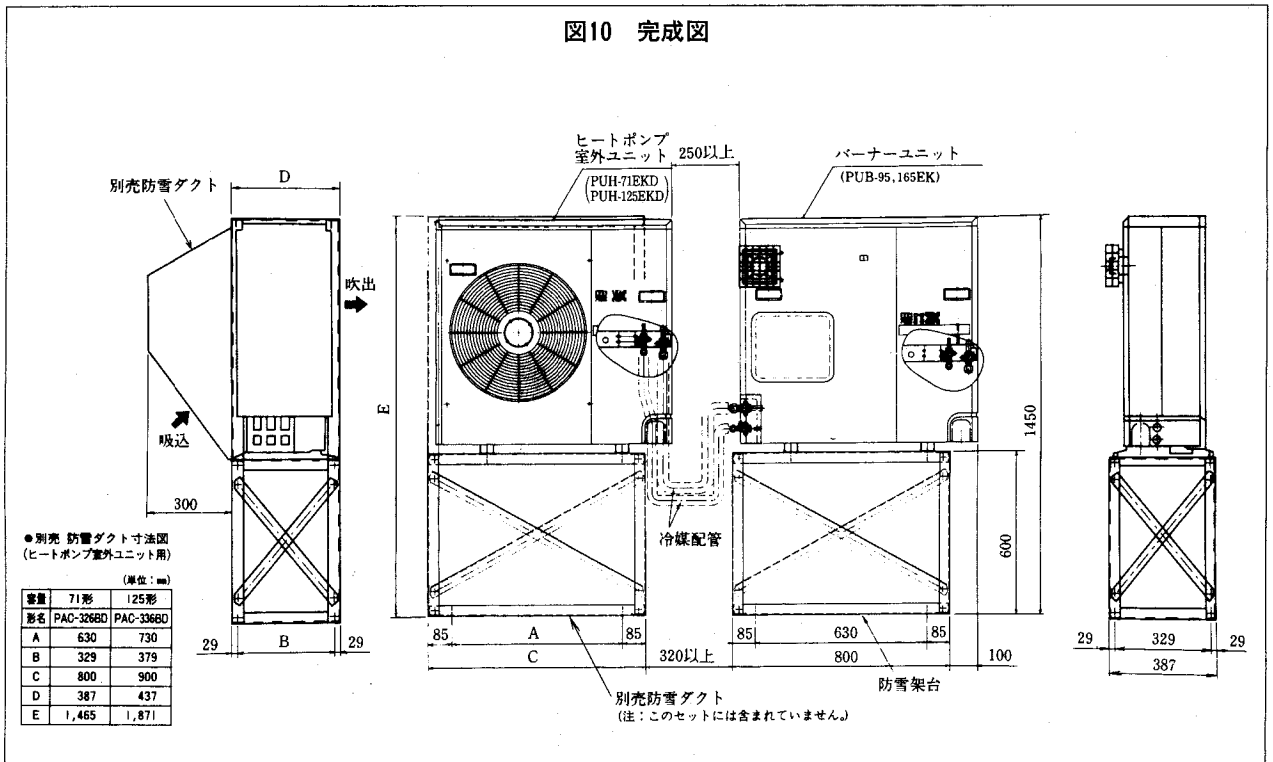
6

組み立て設置完了後に配線・配管工事を行なってください。

配線・配管工事の方法は製品添付の据付説明書を参照してください。

5. 完成図

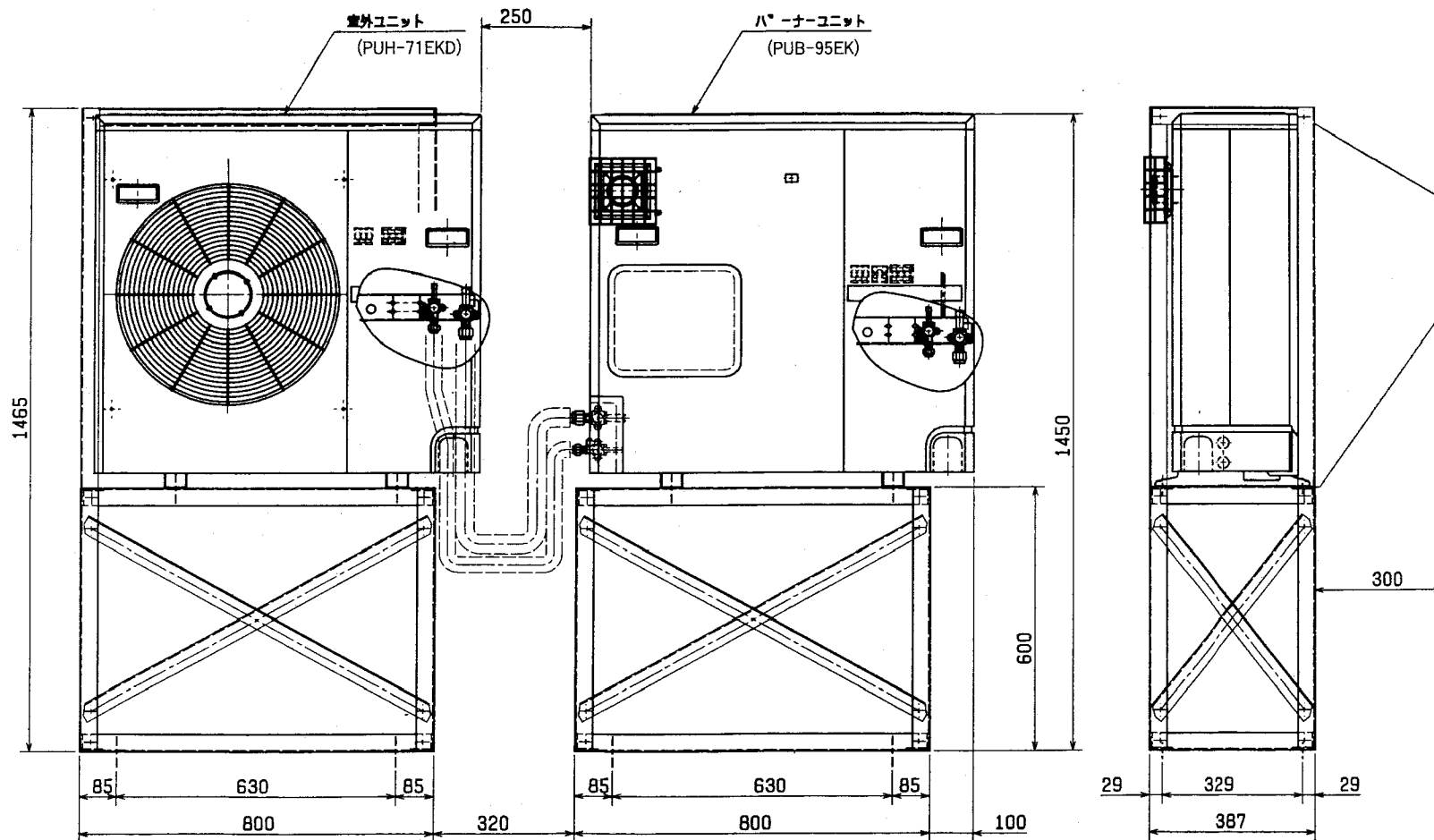
図10 完成図



三菱電機パッケージエアコン用防雪架台外形図

形名 PAC-SA37BK

適用機種 PUB-95・165EK



2段積用架台 (PUB-95EK用)

形名 PAC-SA38TK

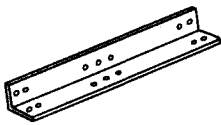
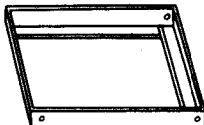
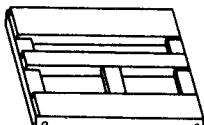




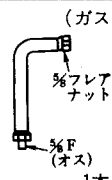
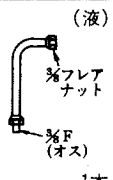







1 適用機種

PUB-95EK + PUH-71EKD

2 使用方法

室外ユニットとバーナーユニットを上下に2段積みできる架台です。降雪地域や設備場所の狭い所をご利用ください。

3 付属部品

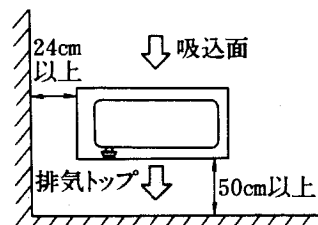
| | | | | | | |
|--|---|---|--|---|--|---|
| ①縦 枠  4本 | ②下段ベース  1個 | ③中・上段ベース  2個 | ④補強(大)  1本 | | | |
| ⑤補強(大)  2本 | ⑥補強(中)  2本 | ⑦補強(小)  2本 | ⑧接続パイプ (ガス)  1本 | ⑨接続パイプ (液)  1本 | | |
| ⑩パイプバンド  2本 | ⑪冷凍機油  1個 | ⑫ボルト (M10)  46本 | ⑬バネ座金  22個 | ⑭ナット (M10)  22個 | ⑮P T ネジ  4本 | ⑯平座金  8個 |

4 取付要領

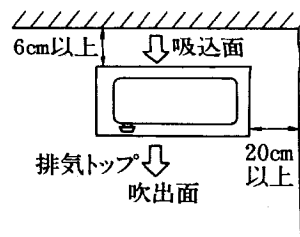
1. 据付場所の選定

- (1) 直射日光や他の熱源から、直接熱を受けない所。
- (2) バーナーユニット及び、室外ユニットから発生する騒音が隣家の迷惑にならない所。
- (3) 電源及び室内側ユニットとの配線、配管に便利な所。
- (4) 雪の吹きだまりになる所は避けてください。
- (5) 据付上・機能上・サービス上必要なスペースを確保してください。
- (6) ショートサイクルを起こさないよう周囲の障害物を除いてください。

図1 架台と壁面との据付スペース



バーナーユニットの排気トップ、室外ユニットの吹出面を壁に向けて据付けた場合

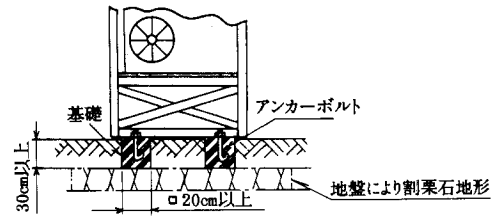


室外ユニットの吸込面を壁に向けて据付けた場合

2. 2段積用架台固定方法

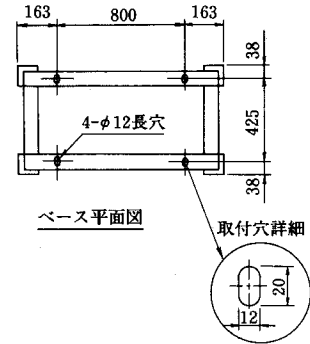
強風・地震等で転倒する恐れがありますので、必ずアンカーボルトで固定してください。
アンカーボルト(φ10)とベースの穴(φ12長穴)を利用して基礎に固定してください。
(アンカーボルトは現地で手配願います。)

図2

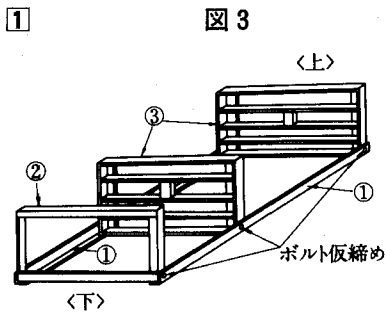


- ベース形状及び寸法は右図の通りですので、アンカーボルト取り付けの際の目安にしてください。

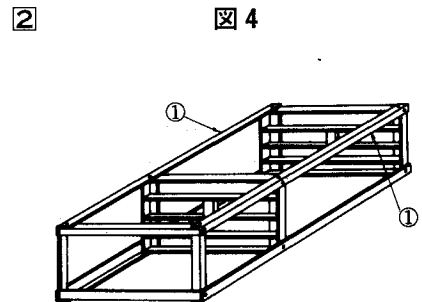
図3 ベース平面図



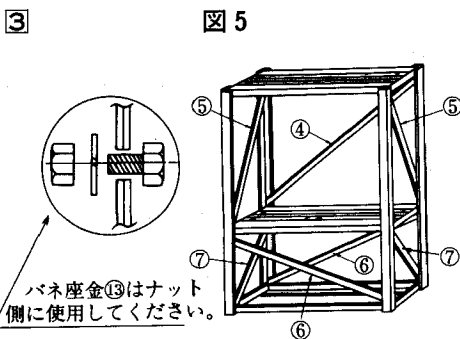
3. 2段積用架台組立方法



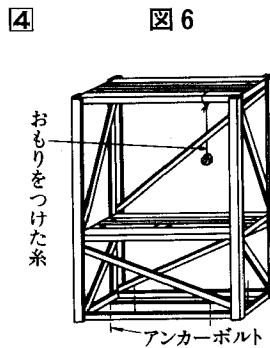
縦枠①を2本横にして置きます。
ベース②、ベース③2個をボルト⑫にて取り付けます。
この時ボルトは「仮締め」にしておきます。
注: ベースの向きと縦枠の上下に注意してください。



その上に縦枠①2本をボルト⑫にて取り付けてください。この時もボルトは「仮締め」にしておきます。

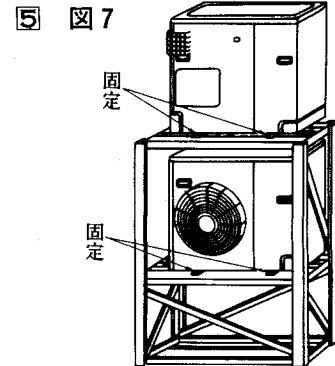


②を立てて補強④⑤⑥⑦をボルト⑫とバネ座金⑬とナット⑭で取り付けてください。この時もボルトは「仮締め」にしておきます。



おもりを付けた糸を垂らすなどして架台が垂直に立っているか調べた上で「本締め」にしてください。アンカーボルトでベースを地面に固定してください。

2. 2段積用架台固定方法



メットを下段に載せてください。バーナーユニットを上段に、室外ユニットを下段に載せてください。そして各ユニットの固定足をこの架台にボルト⑫とバネ座金⑬とナット⑭と平座金⑯で確実に固定してください。

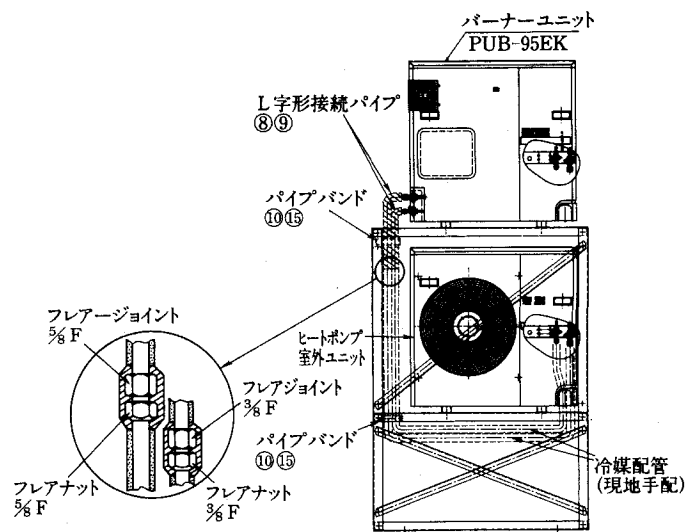
4. バーナーユニットと室外ユニットの配管接続方法

バーナーユニットと室外ユニットの配管接続は図8の様に行なってください。詳細は各ユニットの据付説明書を参照してください。バーナーユニットの配管接続口(室外ユニット側)に付属のL字形接続パイプ⑧⑨(ガス、液)を使用してください。(図中斜線部分)

付属のL字形接続パイプは一端がフレアナット、他端がフレアジョイントとなっています。L字形接続パイプ～室外機配管接続口までは現地手配配管です。(図中破線部分)別売の延長パイプ(3 m)、あるいは市販の銅管を現地にて調達、加工願います。

配管接続後、付属のパイプバンド⑩とネジ⑮で配管を上段、及び中段のベースに固定してください。配管接続部分は必ずリークディテクター、または石けん水でガス漏れのないことをチェックしてください。

図 8

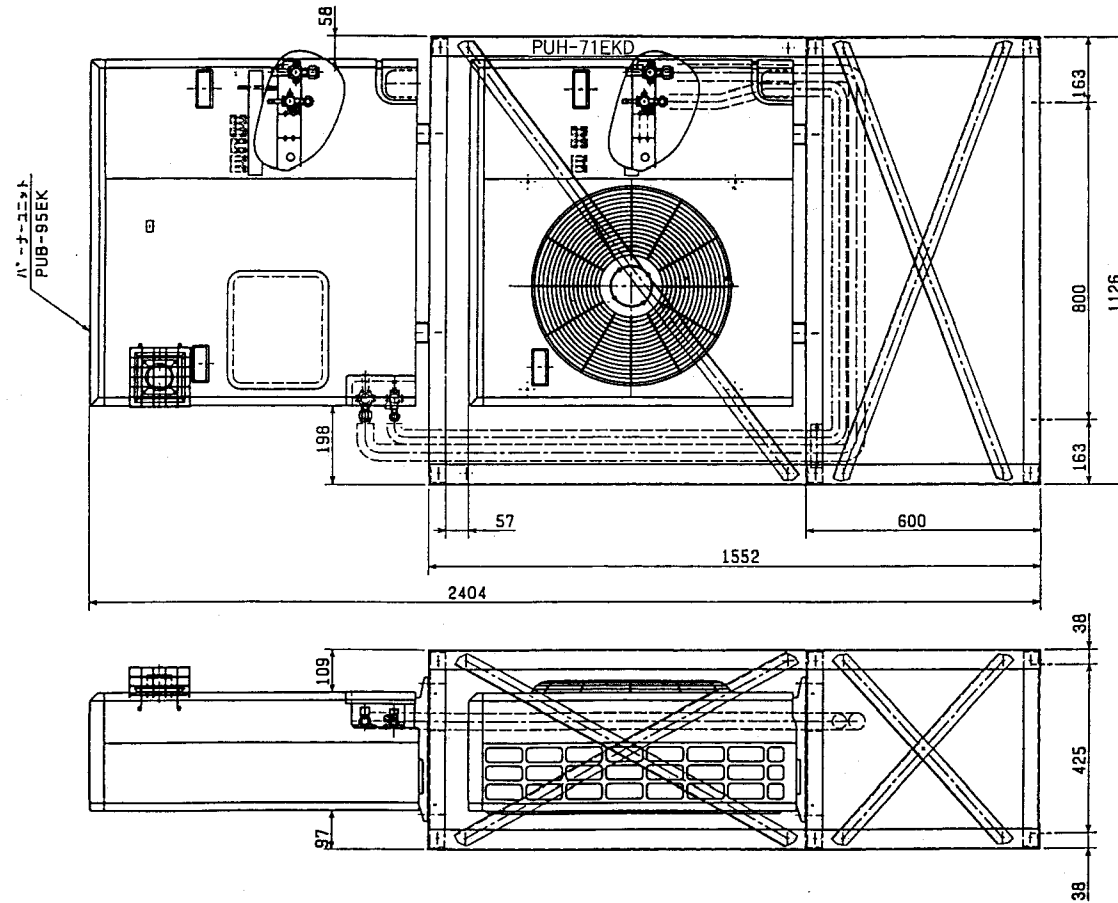
**ご注意**

1. パイプの切断及びフレア加工を行なう際、パイプ内部に切粉などが入らないように充分注意してください。
2. フレア接続を行なう前に、ボールバルブ及び接続パイプのフレアシート面に付属の冷凍機油を薄く塗布してください。

三菱電機パッケージエアコン用2段積用架台外形図

形名 PAC-SA38TK

適用機種 PUB-95EK+PUH-71EKD



集中管理リモコンセット

形名 PAC-SA70NR

1 適用機種

K制御機種

2 使用方法

最大50台までのエアコンをコントロール。(個別運転用のリモコンは、25個まで取付可能です)次のような運転ができます。

1. 個別制御
集中管理リモコンから各ユニットごとに・運転/停止・冷房/送風/(冷暖自動)/暖房運転の切替・温度設定ができます。
2. 各ユニットをグループ編成し、グループ毎の運転制御
グループ単位で〔1〕と同じ制御が可能です。
3. 各ユニットのリモコン運転の許可/禁止を選択
許可：集中管理リモコンとの併用運転
禁止：集中管理のみの運転
4. 全ユニットを一斉にON(順次起動)、一斉にOFF
5. 全ユニットの運転/停止/点検モニター機能
全ユニットの現在の運転状態が表示されます。
6. 別売の「プログラムタイマー」と組合わせて、グループ単位で人手を省いたタイマー運転機能

3 取付要領

集中管理リモコンセットには「集中管理リモコン」と「データメモリー」が入っています。集中管理リモコンセットは、盤用ボックスに取付けることを標準としています。付属のデータメモリーはボックス内に取付け集中管理リモコンは扉に取付けてください

1. 使用可能な盤用ボックス

有効寸法 320×250×115mm以上

(例)

| 株内外電機制作所製 | 日東工業製 |
|------------------|--------------|
| 露出タイプ MW-440-14 | 露出タイプ B4-44 |
| 埋込タイプ MBW-440-14 | 埋込タイプ BF4-44 |

2. (データメモリーの取付け(図1))

木ネジ(4.1×16) 4本で盤用ボックス内に固定します。

3. 集中管理リモコンの取付け

(標準リモコンと同じ外形) (図2)

盤用ボックス扉に固定します。

図1. データメモリー外形図(詳細は図面参照)

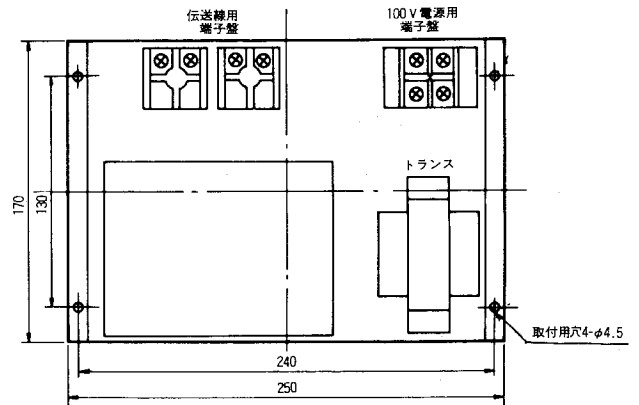
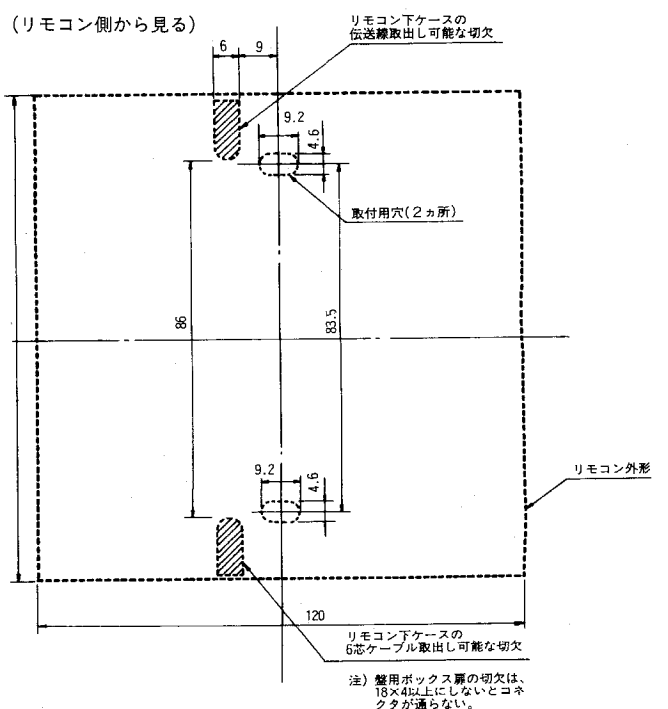
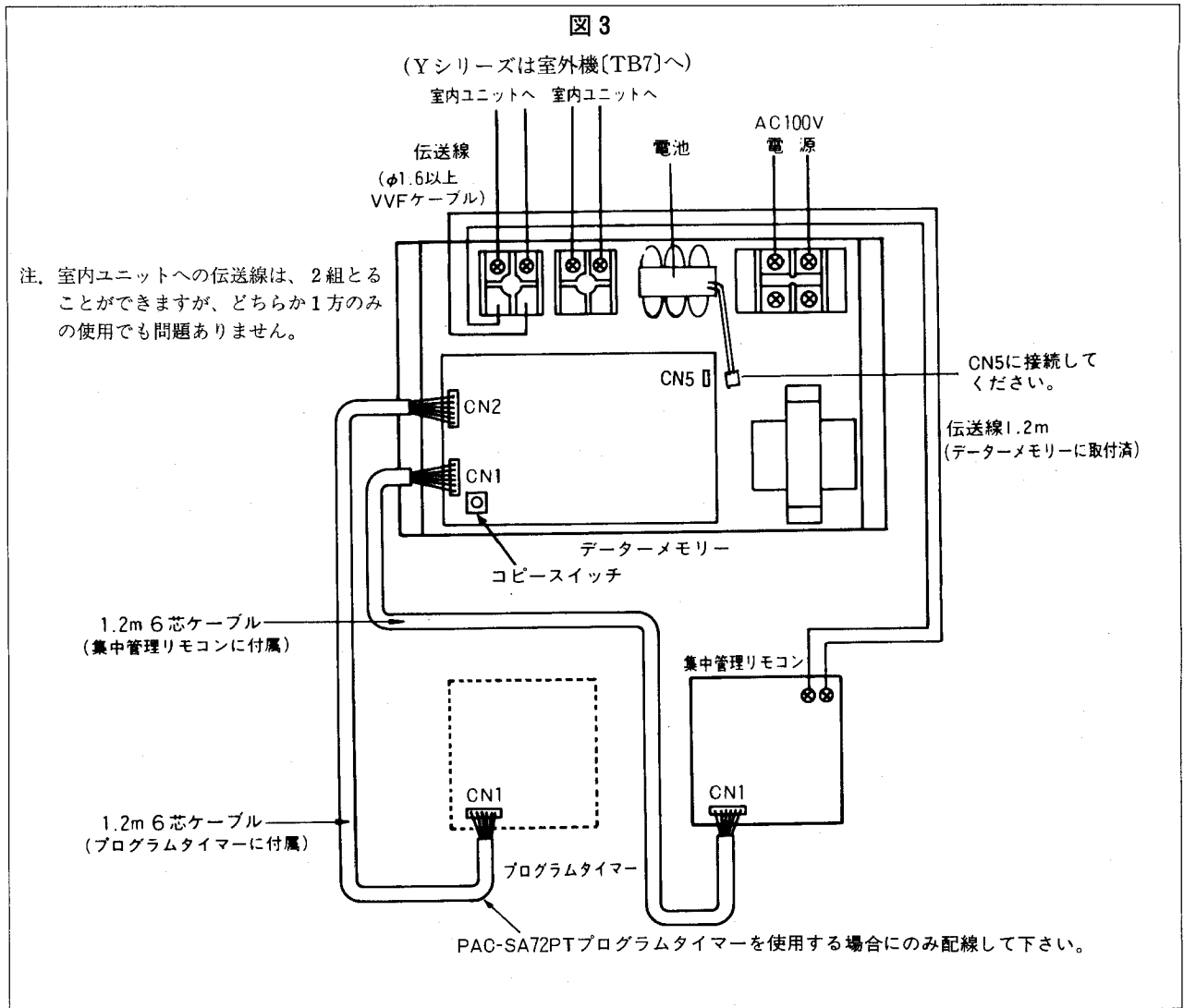


図2. リモコン取付穴、伝送線・6芯ケーブル取出し穴用の配置



4. データーメモリーへの配線接続方法



①データーメモリーの伝送線端子板から集中管理リモコン端子板に伝送線を接続します。(0.8mm以上2芯)

②データーメモリー基板上コネクタCN1と集中管理リモコンCN1とを付属6芯ケーブルで接続します。

(別売プログラムタイマーPAC-SA72PTを取付ける場合は、データーメモリー基板上コネクタCN2とプログラムタイマーCN1とを付属6芯ケーブルで接続します。)

③AC100V電源用端子板にAC100V電源配線をしてください。

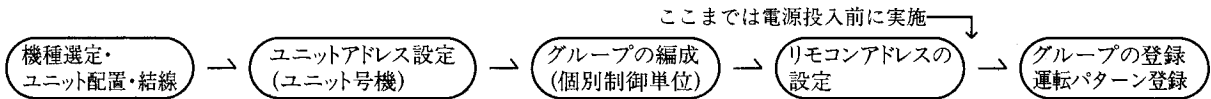
※ここでは集中管理リモコンセット部の配線接続方法のみ説明していますが、この他、データーメモリーと各室内ユニットとの伝送線配線が必要となります。

※付属6芯ケーブル(1.2m)の延長はできません。集中管理リモコン又はプログラムタイマーを盤用ボックス扉以外の場所を取付ける場合は、付属6芯ケーブルの配線可能な範囲に取付けてください。

4 取扱方法

① 集中管理システムの組み方

集中管理システムを組むには次の順序に従って設計、配線を行なってください。



1. ユニットアドレスの設定(室内ユニットの背番号)

集中管理システムとして使う為には必ずすべての室内ユニットは、個々に異なるアドレス(番号)を設定登録しなければなりません。但しツイン室内ユニットのみ2台同じアドレスとなります。これは、集中管理リモコンが室内ユニットを個々に区別するのに必要な為です。

次のような場合にはシステムは働かず、運転しませんので注意してください。

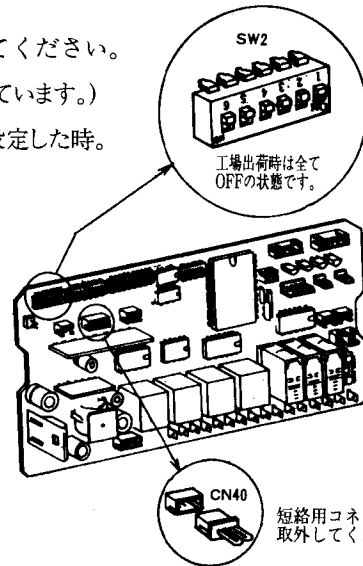
- ユニットアドレスを設定しない時(工場出荷時はすべてアドレス0となっています。)
- 同じユニットアドレスを2台以上の室内ユニット(ツイン2号機除く)に設定した時。

《アドレスの設定方法》

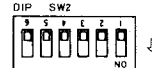
①システムを組む全ユニットに1から順番にアドレス(番号)を決めてください。(グループ編成を先にした方が判りやすい場合もあります。)この時なるべく運転制御パターンが似ているユニットを連続させると、後のグループ編成が楽になります。このアドレスは同時に集中管理リモコン上のモニター表示の番号と一致します。

②全ユニットの室内マイコンボードを次のようにセットしてください。

- 1) マイコンボード上の短絡用コネクタCN40を取りはずします。
- 2) マイコンボード上のSW2のディップスイッチにより、ユニットアドレスを登録します。



(6極の場合)



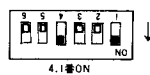
1-6番全てのスイッチを使います。

1～6番のスイッチは、それぞれ2進法で次のアドレス設定ができます。

| スイッチ | 6番ON | 5番ON | 4番ON | 3番ON | 2番ON | 1番ON |
|------|------|------|------|------|------|------|
| アドレス | 32 | 16 | 8 | 4 | 2 | 1 |

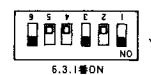
(例-1)アドレス9登録

$$9 = 8 + 1$$



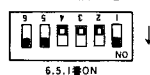
(例-2)アドレス37登録

$$37 = 32 + 4 + 1$$



(例-3)アドレス49登録

$$49 = 32 + 16 + 1$$



2. グループの編成

個別運転管理するユニットごとに全ユニットをグループ編成してください。

- 1台でも1グループと考えます。集中管理側より個別の運転指令、冷/暖切替をしたい単位を1グループとしてください。(基本的には、トータルのリモコン数がグループ数と一致します。)
- 1リモコンで複数台グループ制御をしている時は、このグループが集中管理システムのグループと考えてください。
- 1グループには2個までリモコンをつけることが可能です。グループ内のユニットはどちらのリモコンの指令でも反応しグループ内全ユニットが設定変更します。

ご注意

集中管理リモコンに表示されるグループNoは、グループの順番(1、2、3、4～)ではなく、該当するグループ内の最小のユニットアドレスと同じ数を表示することになりますのでご注意ください。グループ編成時には、最初にアルファベットでグループ分けしてからグループNoを決定するとわかりやすくなります。(例 アドレス4～8のユニットを1グループと設定すると、グループNoは「4」となり、次のグループNoは「9」以上となります。)

3. リモコンアドレスの設定

システムを組む全ユニットについたリモコンにリモコンアドレス(番号)を設定します。

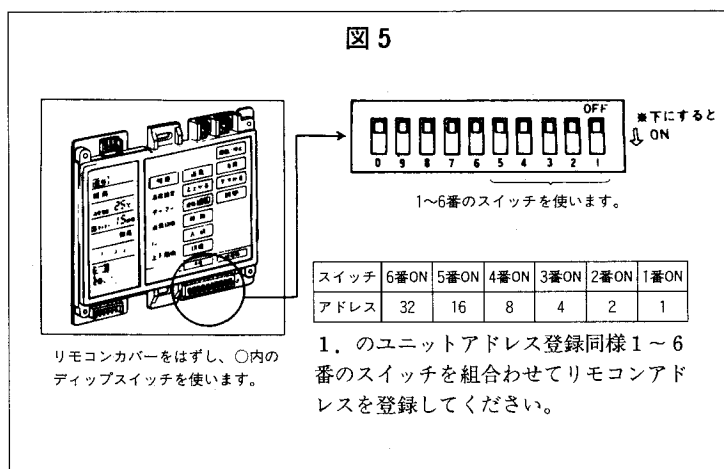
《アドレスの設定方法》

① 2. で決定したグループ単位に設定します。

グループ内ユニットの最小のユニットアドレスがリモコンアドレスとなります。

② グループ内にリモコンが2コある時は、同じリモコンアドレスとなります。

③ 右図のようにリモコンアドレスを登録してください。



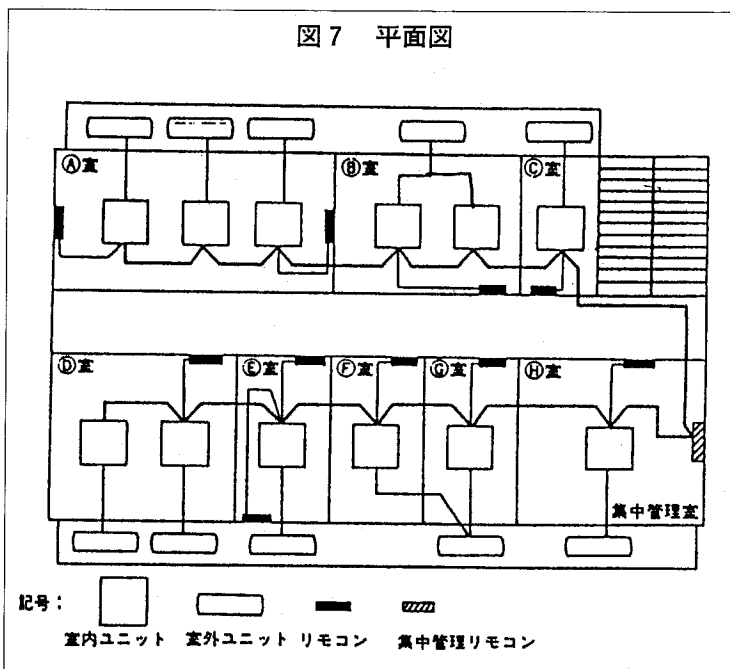
リモコンカバーをはずし、○内のディップスイッチを使います。

4. アドレス設定・グループ編成の実例

1. ~ 3. の設定方法を例を使って説明します。

例) 某病院、フロア単位で集中管理室より各病室のエアコンをコントロールします。

| | 機種 | 内容 |
|----|-----------------|------------------------|
| Ⓐ室 | PLH-40GKD×3台 | 3台のエアコンを2個のリモコンでコントロール |
| Ⓑ室 | PLHX-125GKD | 同時ツイン(2台)タイプ |
| Ⓒ室 | PLH-35GKD | 1リモコン 1エアコン |
| Ⓓ室 | PLH-40GKD×2台 | 2台のエアコンを1個のリモコンでコントロール |
| Ⓔ室 | PLH-35GKD | 1台のエアコンを2個のリモコンでコントロール |
| Ⓕ室 | PLHM-71GKD(1号機) | 個別ツイン(2台)タイプ |
| Ⓖ室 | PLHM-71GKD(2号機) | 個別ツイン(2台)タイプ |
| Ⓗ室 | PLH-71GKD | 集中管理室 |



①ユニットアドレスを設定します。

- A室から順番に1~11までアドレスを決めます。このアドレスNo.は一斉ON時に順次起動の遅延秒数と一致します。

- B室はツインですので、同一アドレスです。

②グループ編成を行いません。

- 上表にて、各部屋単位で、運転管理させるとします。各部屋が1グループです。

③リモコンアドレスを設定します。

- グループ内ユニットの最も小さいユニットアドレスを抜き、これがリモコンアドレスとなります。

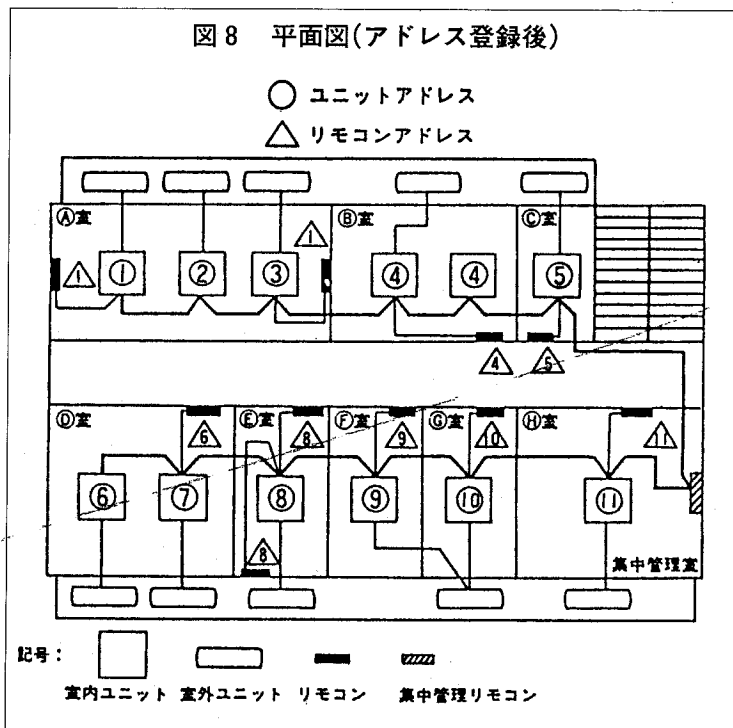
A室→1 B室→6

- 1グループで2個リモコンを使っているA室、E室は、同一のリモコンアドレスとなります。

④グループNo.を決定します。

- 3. で決定したリモコンアドレスがそのグループのグループNo.となります。

- 集中管理リモコンでの個別制御は、このグループNo.により指定されます。



※システム設計する際は、次のような表を作成すると便利です。

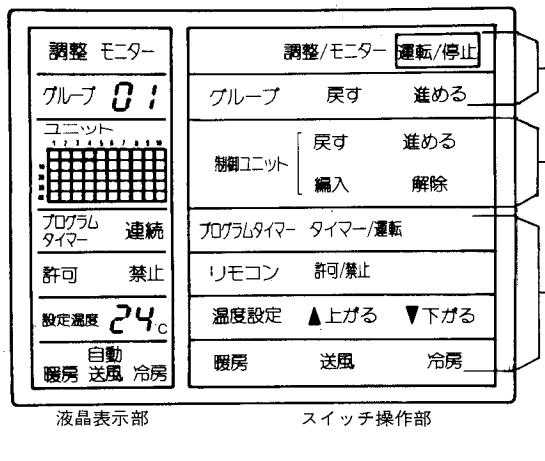
| 部屋名 | A室 | | | B室 | | C室 | D室 | | E室 | F室 | G室 | H室 |
|------------|-----------|------|------|-------------|--------|-----------|-----------|------|-----------|------------|--------|-----------|
| 機種名 | PLH-40GKD | ← | ← | PLHX-125GKD | | PLH-35GKD | PLH-40GKD | ← | PLH-35GKD | PLHM-71GKD | | PLH-71GKD |
| 通し No. | AC-1 | AC-2 | AC-3 | AC-4-1 | AC-4-2 | AC-5 | AC-6 | AC-7 | AC-8 | AC-9-1 | AC-9-2 | AC-10 |
| ④ グループNo. | 1 | | | 4 | | 5 | 6 | | 8 | 9 | 10 | 11 |
| ③ リモコンアドレス | 1×2コ | | | 4 | | 5 | 6 | | 8×2コ | 9 | 10 | 11 |
| ① ユニットアドレス | 1 | 2 | 3 | 4 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 備考 | 西側 | 中 | 東側 | 西側 | 東側 | — | 西側 | 東側 | — | — | — | — |

集中管理リモコンへの運転パターンの設定

各ユニット間の配線作業、集中管理システム設計・登録作業が終了したら、電源を投入したのち(100V系-集中管理システム、200V系各ユニット)集中管理リモコンに、各ユニットのグループ編成、運転パターンを登録します。

1. 各スイッチの名称と機能：はスイッチを「」は液晶表示を表わしています。

各スイッチは、有効キーインの時(ビッ)という音を発します。



A モード切替、グループ指定スイッチ部

調整/モニター：モード切替スイッチ(「モニター」モードの状態はグループNo「00」の時使えません)。「モニター」モード時-ユニットの運転状態(運転/停止/点検)運転パターンへの表示及び、運転/停止指令が可能です。

「調整」モード時-グループ編成の変更、ユニット運転パターン変更が可能です。

運転/停止：運転/停止スイッチ

ユニットの運転/停止スイッチです。「モニター」モードでのみ有効です。

グループ00指定時-全ユニットの一括ON/OFF指令

グループ01~50指定時-指定されたグループのON/OFF指令

△戻す **▽進める**：グループ指定スイッチ

集中管理するグループを指定します。それぞれのスイッチによりグループNoが変化します。

グループ00指定時-全ユニット対象

グループ01~50指定-指定されたグループNoのユニット対象

C 運転パターン設定スイッチ部

「調整」モードでのみ有効です。指定されたグループ単位の運転パターンを設定します。

タイマー/連続：プログラムタイマー切替スイッチ

プログラムタイマーでのタイマー運転を選択するスイッチです。プログラムタイマーを接続しない場合は必ず「連続」でご使用下さい。

許可/禁止：リモコン運転許可/禁止切替スイッチ

「許可」-リモコン・集中管理リモコンどちらの指令も有効(後指令優先)

(「許可」の状態から「禁止」に変更した場合、その時の運転パターンが集中管理リモコンに表示されます。)

「禁止」-リモコンでのON/OFF、温度設定、運転モード切替が禁止され、集中管理リモコンでのみ管理されます。(この時リモコンは、「集中管理中」の表示が出ます。)

温度設定・運転モード切替スイッチ

指定されたグループ内ユニットの温度設定、冷房/送風/暖房切替を行ないます。

B グループ編成登録・変更スイッチ

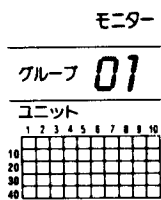
「調整」モードでのみ有効です。グループ編成登録・変更時のみ使用します。通常のご使用の時には、さわらないようにしてください。

2. グループ編成の登録(編入)方法

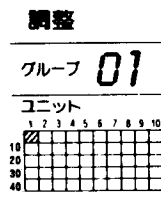
編入操作は、システム設計により決定した各グループを集中管理リモコンに登録する操作です。集中管理するユニットは以下の手順にて初期に全数集中管理リモコンに登録する必要があります。配線作業を行なっていない場合、集中管理リモコンに登録されていないユニットは全く集中管理リモコンの指令を受けつけませんので、必ず登録作業は行なって下さい。

記号 ■：点灯 ◻：点滅 □：消灯

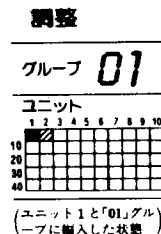
①グループ指定スイッチ(戻す)進めるを押して、グループNoを指定します。通常は「01」グループから始めます。



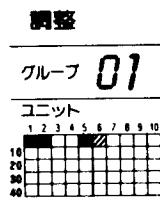
②モード切替スイッチ(調整/モニター)を押し「調整」モードにします。この時ユニット表示部は、グループNoと同じユニット番号のブロックが点滅します。このユニット番号はユニットアドレスに一致します。



③点滅しているブロックのユニットを編入する場合は、B部のスイッチ(編入)を押して下さい。編入の登録を完了するまでに、約15秒かかります。編入中は、グループNoが点滅し、グループ指定スイッチ(戻す)進める)及びB部のスイッチ(戻す)進める)編入)解除)は無効となります。編入の登録が完了すると点滅していたユニット番号のブロックが点灯し、点滅は、次のユニット番号のブロックに移動します。これで点灯したユニット番号(ユニットアドレス)のユニットは、そのグループに編入されたこととなります。

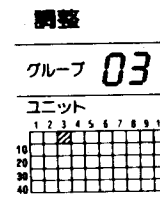


④同様にして、そのグループに属するユニットをB部スイッチ(編入)を押し登録して下さい。



(ユニット1, 2を「01」グループに編入後、ユニット5も「01」グループに編入した状態)

⑤グループ内の全ユニットの編入登録が完了したら、グループ指定スイッチ(進める)を押し、次のグループナンバーにかえます。この時のグループNoは今まで登録していないユニットアドレスと同じ数にして下さい。グループNoと同じ数のユニットアドレスのブロックが点滅します。登録は上記と同様に実施します。



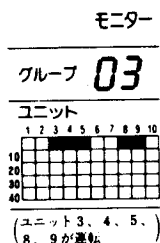
⑥すべてのグループ登録が完了し、システム内の全ユニットをグループ登録させたら、モード切替スイッチ(調整/モニター)を押し、「モニター」モードにもどして下さい。

(ユニット1と「01」グループに編入した状態)

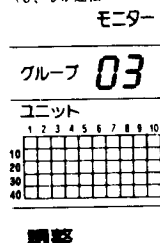
3. 解除の方法

解除操作は、グループ編成の変更時(そのグループの配下からはずす)に行います。解除されたユニットは、集中管理のシステムからはずれません。集中管理リモコンの指令には従いません。通常は一度解除した場合再度登録(編入)作業が必要になります。

①グループ指定スイッチ **戻す**、**進める** を押し、グループNoを指定します。解除したいユニットの存在するグループNoを指定下さい。



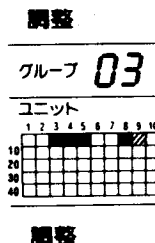
②モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「モニター」モードにします。この時運転しているユニット(点灯しているブロック)がある場合、**運転/停止** スイッチを押して、そのグループ内のユニットを全て停止させて下さい。



ユニット表示部が全ブロック消灯したのを確認してから次の操作に移して下さい。

③モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し「調整」モードにします。この時ユニット表示部は、グループNoと同じユニットの番号ブロックが点滅し、そのグループの配下となっているユニット番号のブロックが点灯します。

④B部スイッチ **戻す**、**進める** により点滅のブロックを解除するユニット番号まで移動します。ユニット表示の点滅ブロックの移動は、グループNoと同じ数から50までの範囲で可能です。「03」グループの場合は、ユニット番号3～50の範囲)



⑤B部スイッチ **解除** を押しして下さい。解除が完了するまでは、約15秒かかります。解除中は、グループ表示が点滅し、グループ指定スイッチ **戻す**、**進める** 及びB部スイッチ **戻す**、**進める**、**編入**、**解除** は、無効となります。解除が完了すると点滅していたユニット番号のブロックは消灯し、点滅の次のユニット番号のブロックに移動します。これで消灯したユニット番号(ユニットアドレス)のユニットは、解除されたことになります。

⑥解除の操作を終えましたら、モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「モニター」モードにもどして下さい。

解除操作における注意事項

1. ユニットの解除する時は、必ず停止状態で行ってください。運転中に解除すると、表示が残ることがあります。
2. 親機(グループNoと等しいユニットアドレスのユニット)を解除した場合は、そのグループの全ての子機も解除されます。グループ内配下ユニットすべて登録(編入)作業を行なってください。
3. 解除されたユニットは、集中管理リモコンの指令には従いません。必ず何らかのグループに編入登録してください。

4. 各グループ単位での運転パターンの設定 (A、B部のスイッチ)

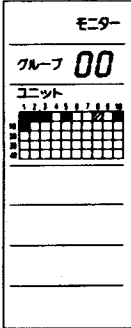
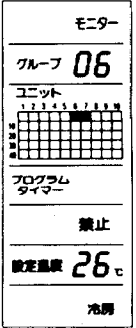
2. で決定したグループ単位で、集中管理リモコンからの運転パターン指令を設定します。一度設定すれば、グループ単位でデータメモリーに記憶され、以後そのパターンにて各ユニットは運転します。設定は「調整」モードにて行ないます。

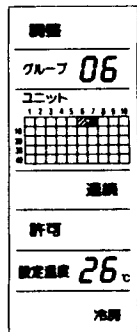
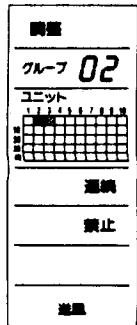
| スイッチ | プログラムタイマー切替スイッチ タイマー/連続 | | リモコン運転 許可/禁止スイッチ 許可/禁止 | | 温度設定スイッチ △上がる ▼下がる | 運転モード切替スイッチ 暖房 送風 冷房 |
|------|--|---|---|---|---|---|
| 液晶表示 | 「プログラムタイマー」 | 「連続」 | 「許可」 | 「禁止」 | 「温度設定 00℃」 | 選択された運転モード表示 |
| 機能 | ●プログラムタイマーの運転指令により、そのグループは自動的に運転/停止/セットバック運転。 (別売プログラムタイマーと接続した時) | ●集中管理リモコンのスイッチにより各グループは運転/停止。 ●タイマー運転はできません。 | ●リモコンのスイッチ機能は有効。 ●集中管理リモコンとリモコンどちらの指令も併用できます。 (後入力優先) | ●リモコンの次のスイッチは無効となり、集中管理側でのみ制御します。 ○運転/停止 ○冷房/送風/暖房切替 ○室温設定○タイマー切替 ●その他のスイッチは有効です。 | 冷房 17～28℃ 暖房 19～30℃ 冷房自動 19～28℃ の範囲で1度ごとに温度設定可能。 | 室内ユニットが冷暖自動運転を選択している時には、 ●送風が冷暖自動スイッチとなり、 自動 自動 暖房 又は 冷房 と表示されます。 |

② 集中管理リモコンの操作方法

① ③部のスイッチを使用します。「モニター」モードの時には、①部のスイッチしか使えません。

③の(4)のシステム例により、ご説明します。

| | モード | 操作方法 | 液晶表示 |
|--|------|--|---|
| (1)全ユニットの運転状態確認 | モニター | <p>①モード切替スイッチ 調整/モニター を押し、「モニター」モードにします。</p> <p>②グループ指定スイッチ 戻す、進める によりグループNoを「00」にします。この時、ユニット表示部は次のように全ユニットの運転状態が表示されます。</p> <p>運転中 点灯 ■ 停止中 消灯 □ (ユニットの存在しない番号も含む) 点検中 点滅 □</p> <p>右図は、1~11番のユニットのうち、 1, 2, 3, 5, 10, 11 は 運転中 8 は 点検中 他は停止状態を表わしています。</p> |  |
| (2)全ユニットの一斉ON/OFF | モニター | <p>(1)と同様「モニター」モード、グループNo「00」にします。この状態で 運転/停止 スイッチを押せば、全ユニットの一斉ON/OFFができます。ONかOFFかはユニット番号1の運転状態により決まります。</p> <p>ユニット番号1運転中：運転/停止 スイッチキーイン→全ユニット一斉OFF ユニット番号1停止中：運転/停止 スイッチキーイン→全ユニット一斉ON</p> <p>ユニット表示部のユニット番号1のブロックは 運転/停止 スイッチに同期して表示しますが、他のユニット番号のブロックは各ユニットからの信号により表示しますので、表示には若干の時間遅れが生じます。</p> | |
| (3)グループ単位の運転状態・運転パターンの確認 (グループ06を指定した場合で説明) | モニター | <p>①モード切替スイッチ 調整/モニター を押し、「モニター」モードにします。</p> <p>②グループ指定スイッチ 戻す、進める を押し、グループNoを指定します。(右図は「06」グループ) この時、指定されたグループの運転状態、運転パターンが表示されます。(グループ指定後約2秒後)</p> <p>右図(「06」グループ)の場合 運転状態 ユニット番号6, 7運転中 運転パターン プログラムタイマーで運転中 リモコン運転禁止 冷房運転・設定温度26℃</p> <p>③他のグループも確認したい場合は、グループ指定スイッチによりグループNoを指定すれば、同様に表示されます。</p> |  |
| (4)グループ単位でのON/OFF | モニター | <p>(3)と同様、「モニター」モードで、グループNoを指定します。この状態で 運転/停止 スイッチを押せば、グループ内のユニットのON/OFFができます。ONかOFFかは、親機(グループNoと等しいユニット番号のユニット)の運転状態によって決まります。</p> <p>親機運転中：運転/停止 スイッチキーイン→グループ内ユニット停止 親機停止中：運転/停止 スイッチキーイン→グループ内ユニット運転</p> <p>ユニット表示部の親機のブロックは、運転/停止 スイッチに同期して表示しますが、子機のブロックは各ユニットからの信号により表示しますので、表示には若干の時間遅れが生じます。</p> | |

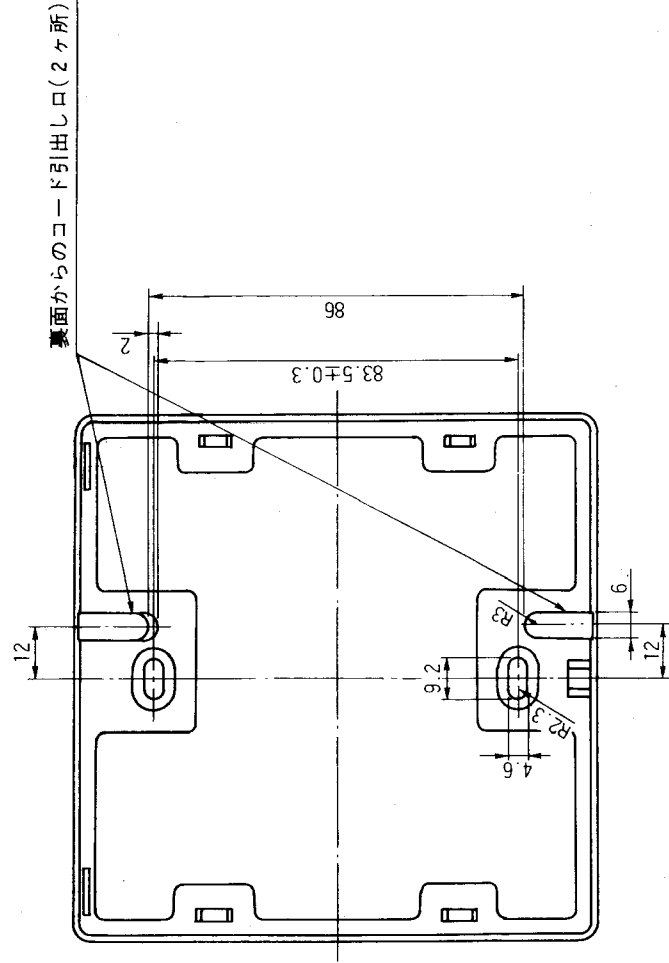
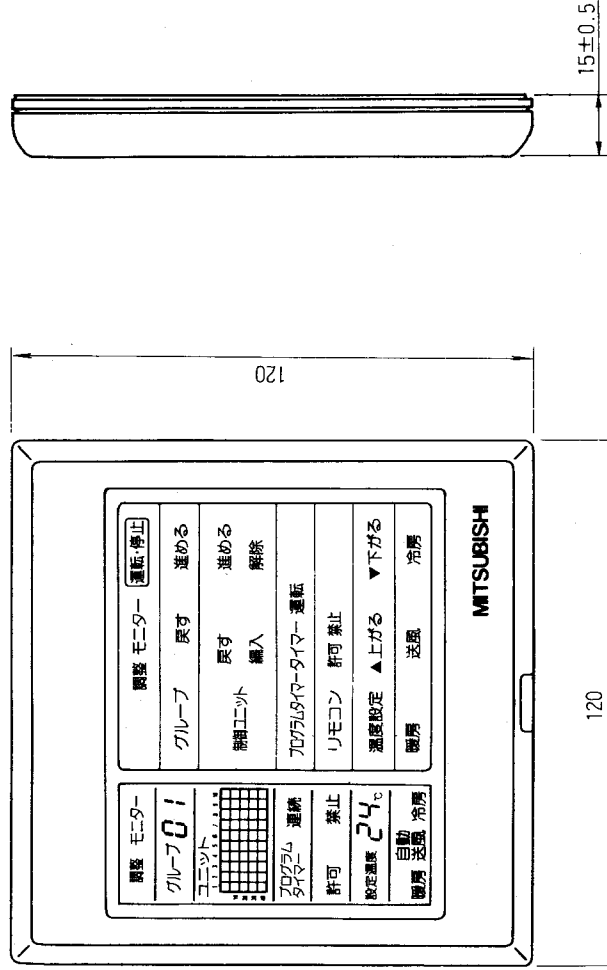
| | モード | 操作方法 | 液晶表示 |
|--|-----------|---|---|
| <p>(5)グループ単位での運転パターンの変更</p> <p>グループ単位で、プログラムタイマー運転の選択(プログラムタイマーで運転か、集中管理リモコンでの運転かの選択)、リモコン運転の許可/禁止、設定温度、運転モードの選択ができます。</p> | <p>調整</p> | <p>①グループ指定スイッチ 戻す、進める により、グループNoを指定します。この時、記憶されている前設定が表示されます。(グループ指定後、通常約2秒後) ただし、そのグループに編入されているユニットがない場合、運転パターンは表示されません。</p> <p>②モード切替スイッチ 調整/モニター を押し、「調整」モードにします。「モニター」モードでは、運転パターンの変更はできません。</p> <p>③プログラムタイマー運転の選択を変更する場合は、タイマー/連続 スイッチを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連続」の場合 集中管理リモコンの 運転/停止 スイッチにより運転/停止します。プログラムタイマーを接続しない場合は必ず、「連続」でご使用下さい。 ・「プログラムタイマー」の場合 別売プログラムタイマーを接続した時、有効となります。プログラムタイマーによるグループ単位の設定パターンに基づき、自動的に運転/停止/セットバック運転を行います。 <p>④標準リモコンでの運転の許可/禁止を変更する場合は、許可/禁止 スイッチを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「許可」の場合 標準リモコンの各スイッチは有効です。標準リモコンと集中管理リモコンのどちらの指令も併用できます。(後指令優先) ・「禁止」の場合 標準リモコンの運転/停止、冷房/送風/暖房、室温調節、タイマー切替の各スイッチは無効となり、集中管理リモコンの指令で動作します。この時、標準リモコンは「集中管理中」を表示します。その他のスイッチは有効です。 <p>⑤設定温度を変更する場合は、温度設定スイッチ ▲上がる、▼下がる を押します。冷房時19～30℃、暖房時17～28℃。冷暖房時19～28℃の範囲で1℃ごとに温度設定できます。</p> <p>⑥運転モードを変更する場合は、暖房、送風、冷房 の各スイッチを押して、運転モードを選択します。</p> <p>⑦運転パターンの変更が完了したら、モード切替スイッチ 調整/モニター を押して、「モニター」モードにもどします。</p> <p>※運転パターンの変更を行った場合、グループNoが点滅する場合があります。これは、送信待ちの状態となっており、この間、グループ指定スイッチは無効となります。</p> |  |
| <p>(6)グループ編成を変更する場合</p> <p>注意この例の場合「グループNo=グループ内最小のユニットアドレス=リモコンアドレス」の原則に合わせ、グループ1内のリモコン2個のうち1個をリモコンアドレス1から2に変更しませんが、2号機をリモコンで運転することはできません。</p> | <p>調整</p> | <p>③の[4]システム中、A室の2号機(ユニットアドレス2)をグループ1からはずし、単独運転させる場合、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 調整/モニター スイッチを押し「調整」モードにします。 ②グループ指定スイッチでグループ「01」を呼び出します。(この時ユニット表示部は、1番点滅、2、3番が点灯) ③制御ユニットスイッチの 進める を1回押して、点滅部分を2番に移動させます。 ④ 解除 スイッチを押すと2番がグループ「01」より解除され、ユニット表示部は消灯します。 ⑤グループ指定スイッチ △進める を押し、グループNoを「01」から「02」に変更します。 ⑥2番が点滅しているのを確認してから 編入 スイッチを押し、編入が完了すると2番が点灯し、グループ編成の変更終了です。 <p>※このようにグループ内のユニットアドレスは必ずしも連番である必要はなく、自由に選択することは可能ですが、システム設計段階では、管理が複雑になりますので、連番で探ることをお勧めします。</p> |  <p>上図は、グループ「02」に2番を編入した状態</p> |

三菱電機パッケージエアコン用集中管理リモコンセット外形図

形名 PAC-SA70NR

適用機種 K制御機種

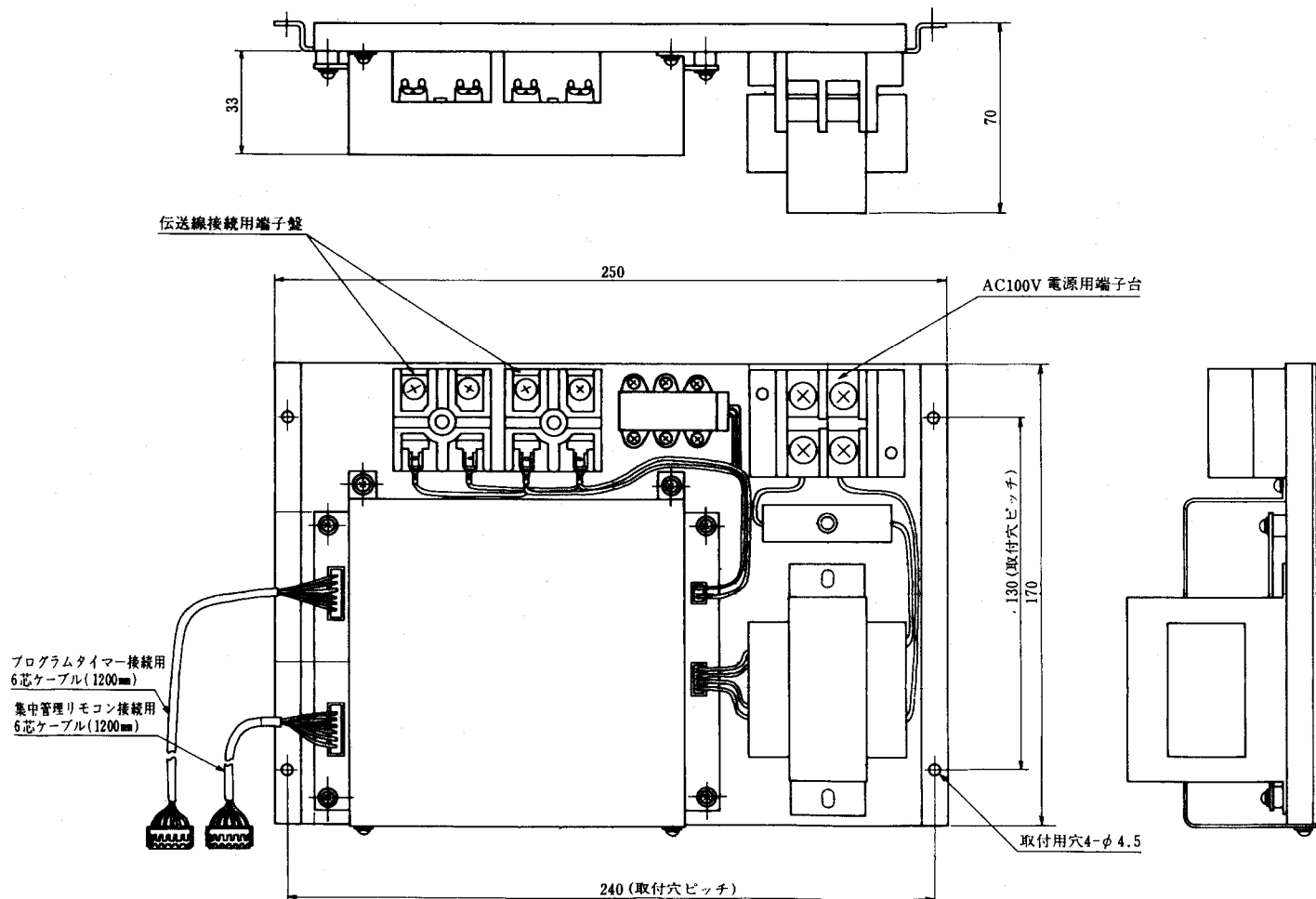
※上の液晶表示部はすべて表示させていますが
実際には該当部分のみ表示します。



三菱電機パッケージエアコン用集中管理リモコンセット(データメモリ部)外形図

形名 PAC-SA70NR

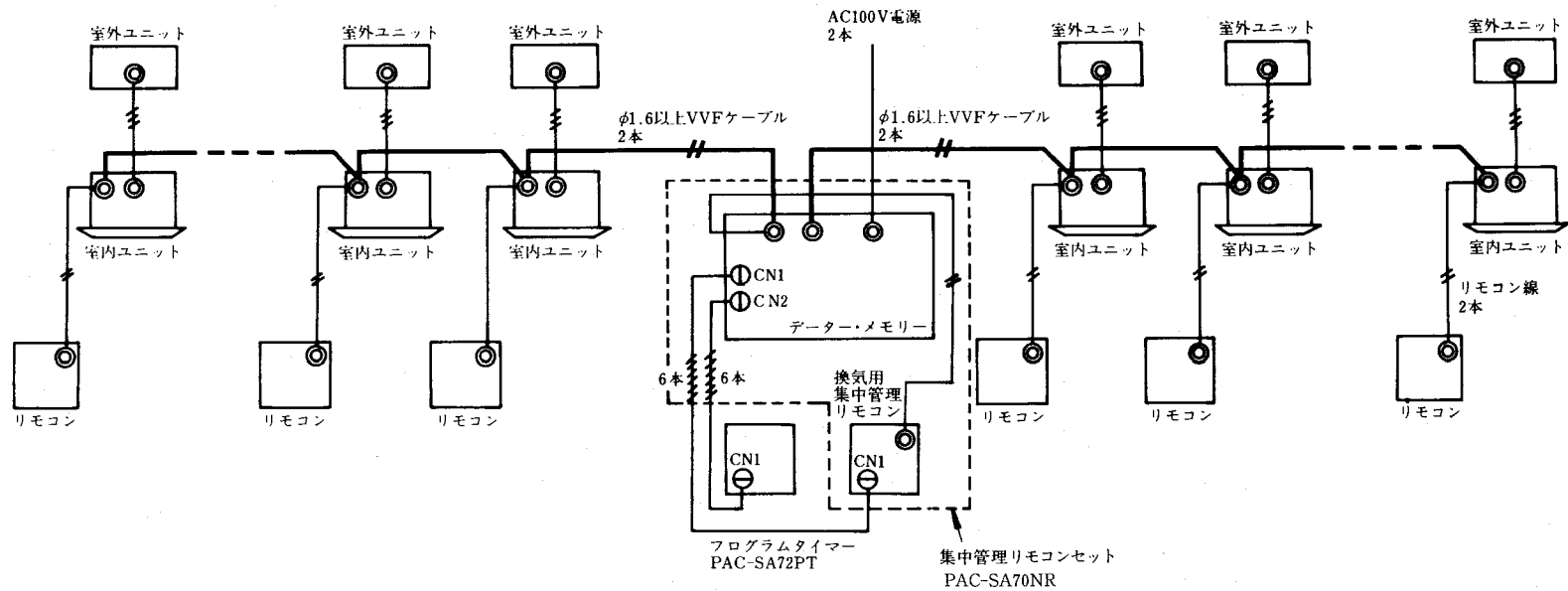
適用機種 K制御機種



三菱電機パッケージエアコン用集中管理リモコンセット配線系統図

形名 PAC-SA70NR

適用機種 K制御機種



- (i) データメモリー・室内ユニット間および室内ユニット同士間は、φ1.6以上の2芯VVFケーブルでわたり配線してください。伝送線端子盤は2コあり、2方向に取り出し可能ですが、ケーブル総延長は、200m以内としてください。室内ユニットは順不同。わたり配線の極性はありません。(端子接続)
- (ii) 集中管理リモコンにはAC100V、室内外ユニットにはAC200V電源が必要です。
- (iii) 室内ユニットマイコンボード上の短絡用コネクタCN40は全ユニットについて取りはずしてください。さらにユニットアドレスを各ユニット毎に、リモコンアドレス(グループアドレス)を各リモコンに設定したのち上記100V及び200V電源投入してください。

モニターキット

形名 PAC-SA73MK

1 適用機種

K制御機種

2 使用方法

集中管理リモコンと併用して、最大50台(本モニターキット1台につき最大12台、本モニターキット5台で最大50台)のエアコンのON/OFF指令スイッチ用接点、及び運転/点検表示用接点を取り出せます。

1. ON/OFF指令パルス信号(無電圧)

①個別操作

各室内ユニットにON/OFF指令を出すことができます。

②グループ操作(グループ編成をしてある各々のエアコンに対して)

各グループにON/OFF指令(順次起動)を出すことができます。

③一括操作(グループ編成を問わず全てのエアコンに対して)

全室内ユニットに一斉ON/OFF指令(順次起動)を出すことができます。

2. 運転/点検表示

①個別表示

各室内ユニットの運転表示及び点検表示を出すことができます。

②一括表示

全室内ユニットの内、1台でも運転していれば運転表示を、また室内ユニットの内、1台でも点検状態になったら、点検表示を出すことができます。

3. システム例

右図のシステムの場合、フロントから、各部屋のエアコンを簡単に発停操作ができ、その運転状態(運転・異常)を常に監視することができます。

また、万一切り忘れがあっても、管理室からでも、フロントからでもOFF操作が可能です。大変フレキシビリティの高い管理/制御システムを、容易に組むことができます。

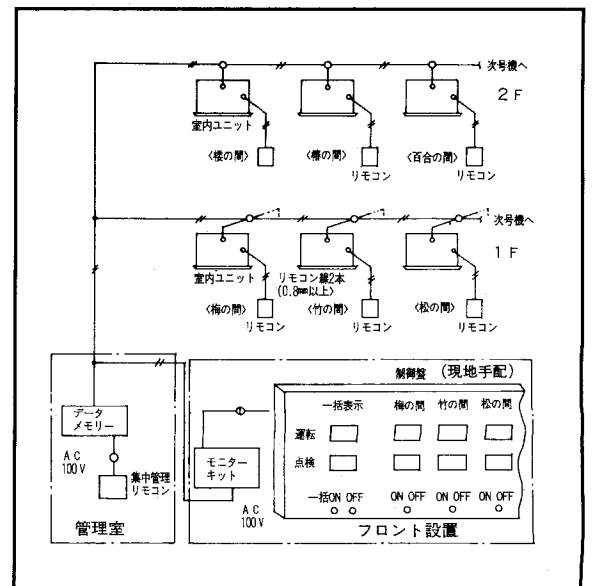
《操作・工事上のメリット》

- (1)各室内ユニットごとの外部表示の取り出し工事がわずか2本の配線工事ですみ、誤配線の心配がありません。
(今までのように各室内ユニットから遠方表示用アダプターを使っての現地制御板までの配線工事が必要ありません。)
- (2)一括及び各ユニット毎のON/OFFが手軽にできるようになりました。

《仕様用表》

| 仕様 | 内容 |
|---------------|---|
| 形名 | モニターキット(PAC-SA73MK) |
| 電源 | AC100V |
| 消費電力 | 25W |
| 配線本数 サイズ | (集中管理システム-モニターキット間) 2芯φ1.6以上 VVFケーブル・無極性 (モニターキット-現地制御板間) コネクター接続(5芯/1ユニット当り) 極性有 |
| ケーブル 総延長制限 | モニターキットまでの伝送線長さは、集中管理システムの総延長制限に含まれる。 〈上図システムの場合〉 室内ユニット リモコン 総延長 ●50台……25個まで→ $\Sigma L_1 + L_2 \leq 200\text{m}$ ●20台……10個まで→ $\Sigma L_1 + L_2 \leq 500\text{m}$ |

《システム例(旅館の場合)》



ご注意

●システムを組む際に、集中管理リモコンと併用する必要があります。

但し、Yシリーズのみで構成されたシステムはその限りではありません。

3 付属部品

- モニターキット……………1個
- 木ネジ……………10本
- タイラップ……………6本

ご注意

上記以外に、必要に応じ、次の部品を手配してください。

- ①集中管理リモコン(形名 PAC-SA70NR)……………前頁のご注意を参照ください。
- ②中継ボード(形名 PAC-SA74RB)……………1システムに1台必要です。
- ③遠方表示用アダプター(形名 PAC-SA88HA)……………モニターキットから信号を取り出し、指令を入力するため。
- ④押しボタンスイッチ(現地調達)……………ON/OFF操作を行う。a接点・モーメンタリースイッチ。
- ⑤表示器(現地調達)……………表示はランプ(補助継電器が必要)か発光ダイオードで行えます。
- ⑥盤用ボックス(現地調達)……………モニターキットは盤用ボックスに取付けることを標準としています。モニターキット1台を収納する場合有効寸法300mm×500mm×120mm以上のものをご用意ください。

4 取付要領

1. モニターキット取付け

付属の木ネジ(4.1×16)4本で板用ボックス内に固定します。

2. 配線工事

配線は6のシステム配線図に従い行なってください。この時、リード線の取出しに際しては、電源線及びアース線と伝送線を接触しないよう付属のタイラップで固定し、各々の電線取出口も離して設けてください。

また盤用ボックスの外においても電源線及びアース線と伝送線が接触しないように注意してください。

(電源線に入ったノイズが伝送線に移るのを防ぐためです。)

安定化電源器とモニターキット基板上の放熱部品に電線が接触しないように注意してください。

3. 操作スイッチ、表示器取付け

ON/OFF操作スイッチや運転/点検表示器は盤用ボックス扉等に取付けてください。

ご注意

表示器には次のふたつの方式があります。

①継電器を介しランプを使う場合

- 継電器—コイル定格DC12V、消費電力0.9W以下のもの。例)立石電機(株) LY-1FDC12V用
- ランプ—現地での電源仕様に合わせて用意してください。(AC200V以下、またはDC)

②発光ダイオードを使う場合(抵抗で電流を制限して使います。)

- 発光ダイオード(LED)

例) 赤 色……………シャープGL3AR1またはGL3AR2

黄緑色……………シャープGL3NG1またはGL3NG2

緑 色……………シャープGL3PG1またはGL3PG2

- 抵抗器—発光ダイオードでの消費電流を順方向電流の絶対最大定格値以下に制限するための抵抗です。上記例に示した発光ダイオードを使用する場合は1kΩ(1/4W)のものを選定してください。(また電流定格制限内で抵抗値を変えることにより明るさを調整することもできます。ご使用になる発光ダイオードの規格値をお調べの上で抵抗値を選定してください。なおこのモニターキットのコネクタポスト(CNM0、CNM00、CNM1~12)からの出力電圧はDC12Vで供給でき、電流量は各出力端子に付き最大75mAなので、全てのコネクタからの電流消費量は、1.95A以下となるようにしてください。)

4. アドレス設定

室内ユニット数が12台を越える場合は、モニターキットのアドレス設定用ディップスイッチSWを操作すると下表の通り13~50の個別操作/表示用コネクタの番号の読み換えを行ないます。

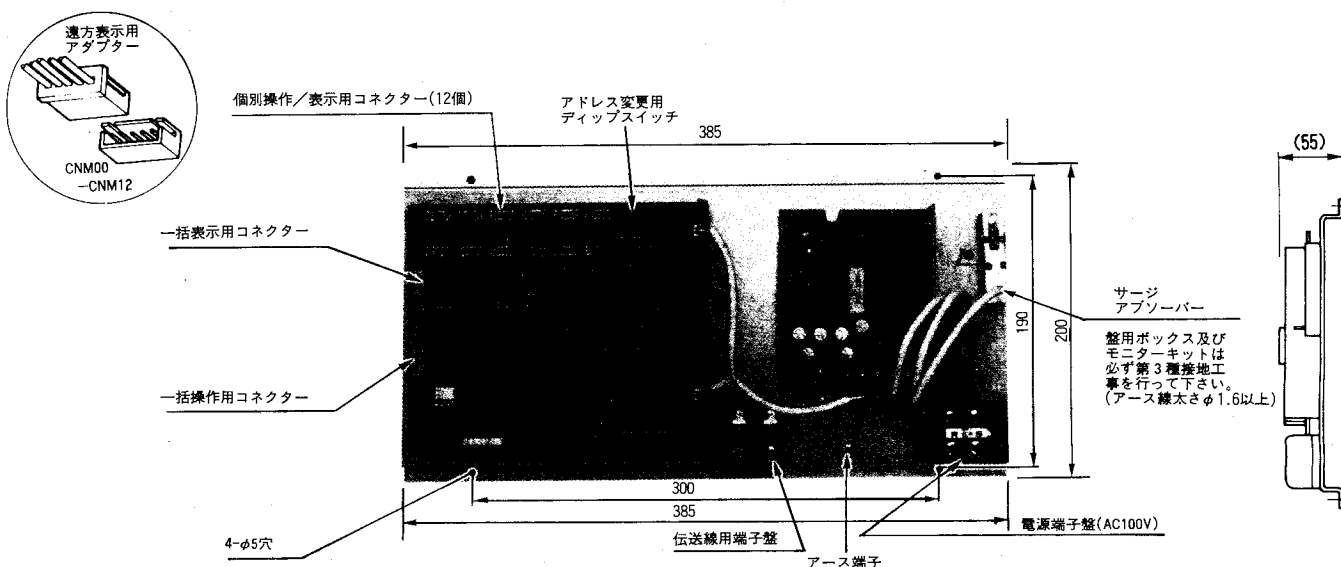
《ユニットアドレス読み換え表》

| MS ON OFF ON OFF | モニターキット アドレス設定用ディップスイッチ | | | | 操作/表示用コネクタ番号 | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|----------------------------|-----|-----|-----|--------------|------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | CNM00 | CNM0 | CNM1 | CNM2 | CNM3 | CNM4 | CNM5 | CNM6 | CNM7 | CNM8 | CNM9 | CNM10 | CNM11 | CNM12 | |
| | OFF | OFF | OFF | OFF | 一括表示 | 一括表示 | データメモリ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | ON | OFF | OFF | OFF | 未使用 | 未使用 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 24 |
| | OFF | ON | OFF | OFF | 未使用 | 未使用 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 36 |
| | ON | ON | OFF | OFF | 未使用 | 未使用 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 48 |
| | OFF | OFF | ON | OFF | 未使用 | 未使用 | 49 | 50 | 未使用 | 未使用 | 未使用 | 未使用 | 未使用 | 未使用 | 未使用 | 未使用 | 未使用 | 未使用 | 未使用 |

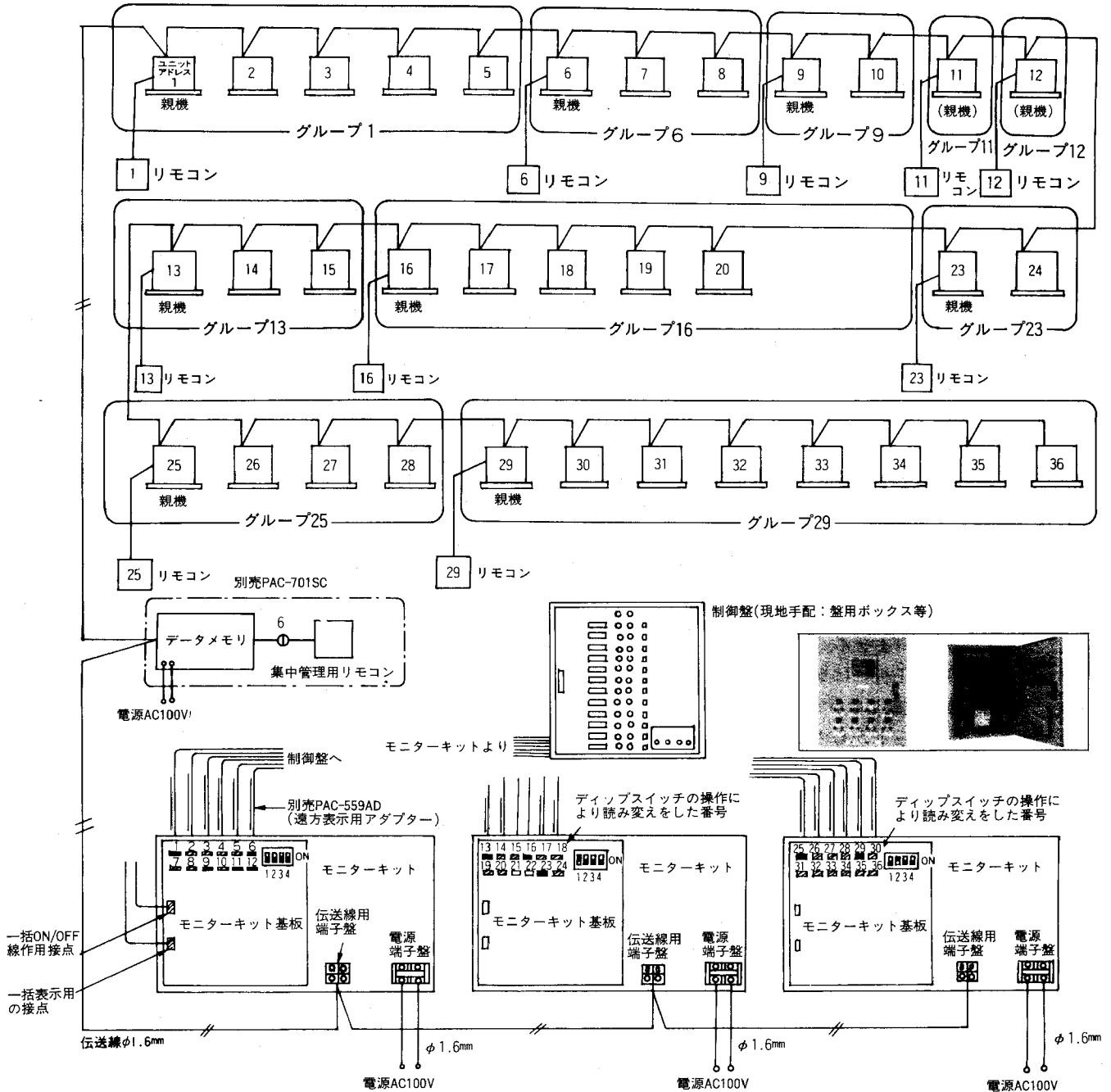
▲操作/表示を担当する室内ユニットアドレスに応じ、上図のようにモニターキットのアドレス設定用ディップスイッチをセットしてください。

5. 配線

- 電源端子板にはAC100V50/60Hzを接続します(φ1.6mm)。集中管理用リモコンの電源(AC100V)線と同一の分岐線でもかまいません。
- 伝送線用端子板には集中管理リモコンのデータメモリの伝送線用端子板からの伝送線を接続します。AC100V電源は絶対に接続しないでください。
- モニターキットからの操作/表示用の接点取り出しは、遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)をご使用ください。





6. システム配線図




《モニターキットよりの信号内容》

モニターキット基板のコネクタから別売遠方表示用アダプター)を使い操作用/表示用の接点を取ります。

この図ではコネクタ  は親機に対応する番号なのでグループのON/OFF操作作用と運転/点検表示用の接点を取ります。

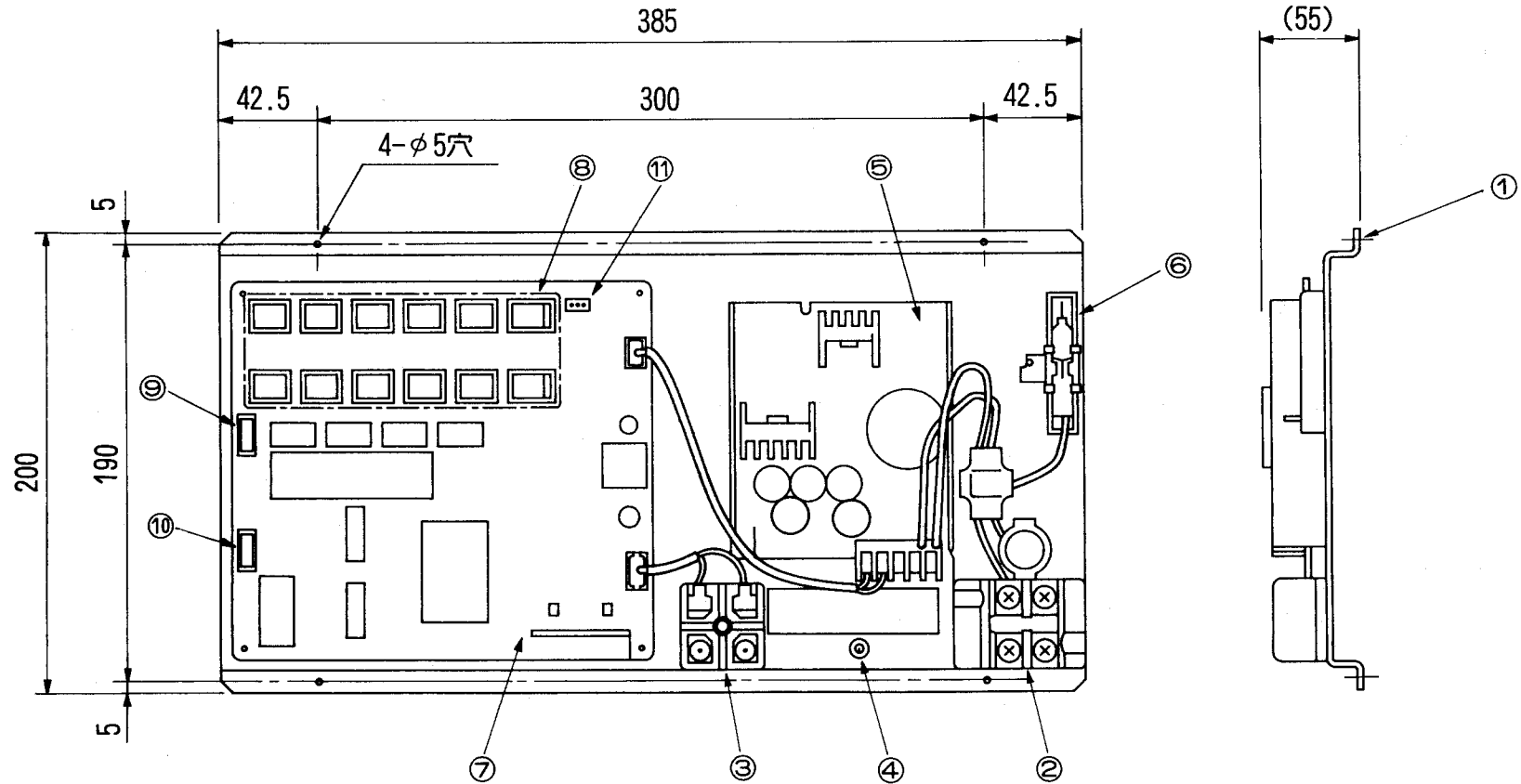
 は子機に対応する番号なので運転/点検表示用の接点を取ります。

 は接続しません(該当機器がないため)

三菱電機パッケージエアコン用モニターキット外形図

形名 PAC-SA73MK

適用機種 K制御機種



- | | | | |
|-----------------|-----------|-----------------|------------------|
| ①モニターキットベース(板金) | ④アース端子 | ⑦モニターキット基板 | ⑩一括表示用コネクタポスト |
| ②電源端子台-AC100V | ⑤安定化電源器 | ⑧個別操作表示用コネクタポスト | ⑪アドレス変更用ディップスイッチ |
| ③伝送線用端子台 | ⑥サージアブソーバ | ⑨一括操作用コネクタポスト | |

中継ボード

形名 PAC-SA74RB

1 適用機種

K制御機種

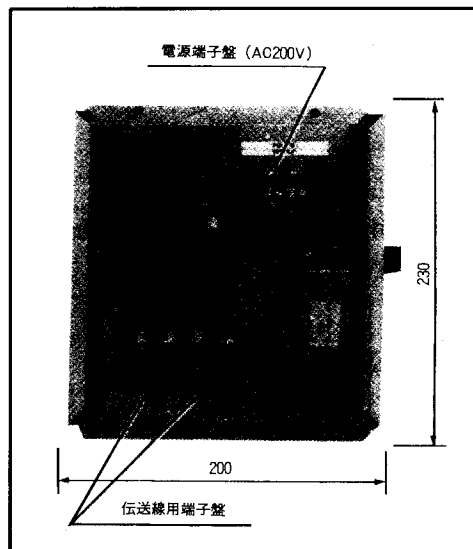
2 使用方法

K制御機種の集中管理システムの制御配線に挿入し、その配線長さ制約を解消します。これにより大規模なシステムの設計に対応いたします。

《仕様表》

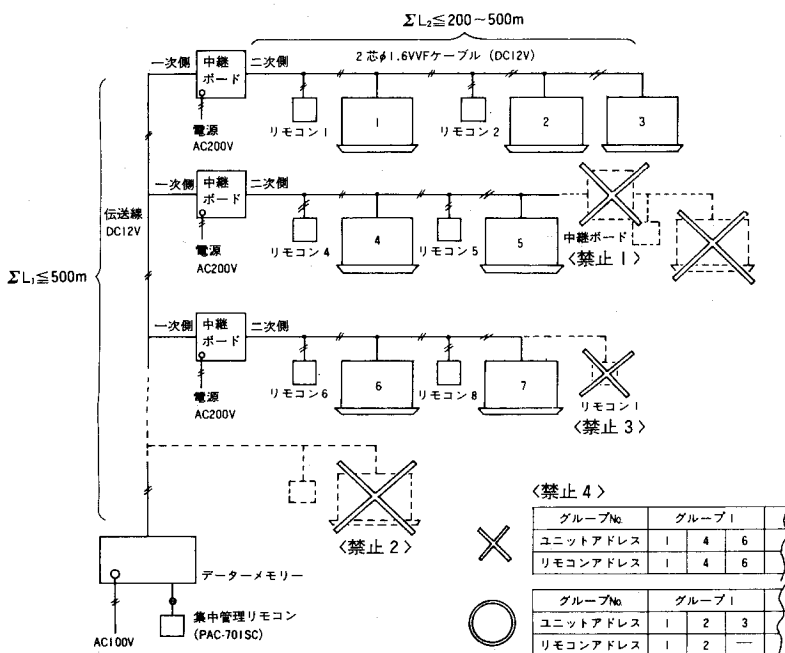
| | |
|--------------------------------|---|
| 仕様 | 内容 |
| 形名 | PAC-SA74RB |
| 電源 | AC200V (単相) |
| 消費電力 | 30W |
| 制御配線 | 2芯 φ1.6以上 VVFケーブル |
| 接続台数 | 最大13台まで但し、データメモリーに対して全て並列に接続してください。 |
| ユニット接続台数 (中継ボード) (1系統当り) | 中継ボードの2次側に接続できるユニット数は、 室内ユニット リモコン 総延長 ● 50台……………25個まで → 200m以内 ● 20台……………10個まで → 500m以内 |
| システム全体として接続可能なユニット台数 | 室内ユニット リモコン ● 50台……………50個 (ツイン機種の場合100台) |

《外形図》



《システム構成上の制約事項》

中継ボードを用いた集中管理システム例



(1) 制御配線の制限長さ

- 中継ボード伝送ケーブル総延長 → $\Sigma L_1 \leq 500m$
- 中継ボード2次側配線
室内ユニット リモコン 総延長
● 50台……………25個まで → $\Sigma L_2 \leq 200m$
● 20台……………10個まで → $\Sigma L_2 \leq 500m$

(2) 中継ボード接続上の制約 ———— <禁止1>

- 中継ボードを直列に2台以上繋がないでください。

(3) ユニット接続上の制約 ———— <禁止2>

- 集中管理リモコン+中継ボードの拡大システムの場合、室内ユニットをすべて中継ボードの2次側に接続してください。

(4) リモコンの接続位置について ———— <禁止3>

- リモコンは、同一アドレスを有する室内ユニットと同じ中継ボードの2次側に必ず接続してください。

(5) グループ運転パターンについて ———— <禁止4>

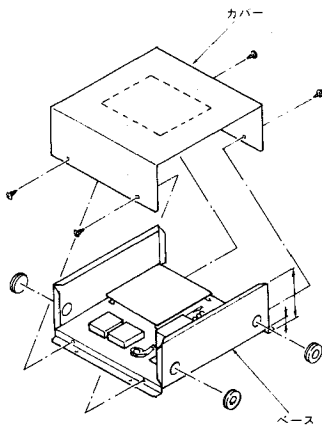
- グループ毎の運転制御をしたい場合、同一中継ボードの2次側に接続した室内ユニットのみグループ編成ができます。(中継ボードの系統が異なるユニットを、同一グループにて発停はできません。)

(6) 中継ボードの数の制約

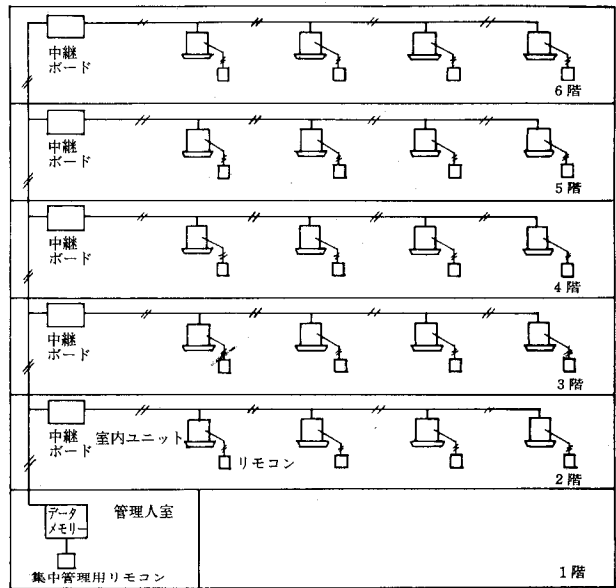
- ひとつのシステムに使用できる中継ボードは最大13台までです。

3 取付要領

中継ボードは、従来の集中管理システムの制御配線制限を拡大しますが中小ビル等での集中管理用リモコンと併用する際、制御系統をシンプルにし、且つ保守・メンテナンスを容易にするために、各階に設置することをお奨めします。



システム例 (中小ビル)



《集中管理システム制御配線上の注意事項》

※現地にて、配線する際、下記事項に注意し、最短になるように施工してください。

| 伝送線の接続 | 接続経路の注意ポイント | 要領図 |
|---|---|-----|
| 集中管理用リモコンー室内ユニット VVFケーブルφ1.6以上 | 集中管理用リモコンから、室内ユニットへの接続は、 最短距離 で接続してください。 | |
| 室内ユニットー室内ユニット VVFケーブルφ1.6以上 | 据付整列順に、 最短距離 で接続してください。 | |
| 室内ユニットーリモコン 12m以内は、φ0.8以上 又はケーブル 12m超過分は、VVFケーブルφ1.6以上 | 該当室内ユニットから 最短距離 で接続してください。 | |

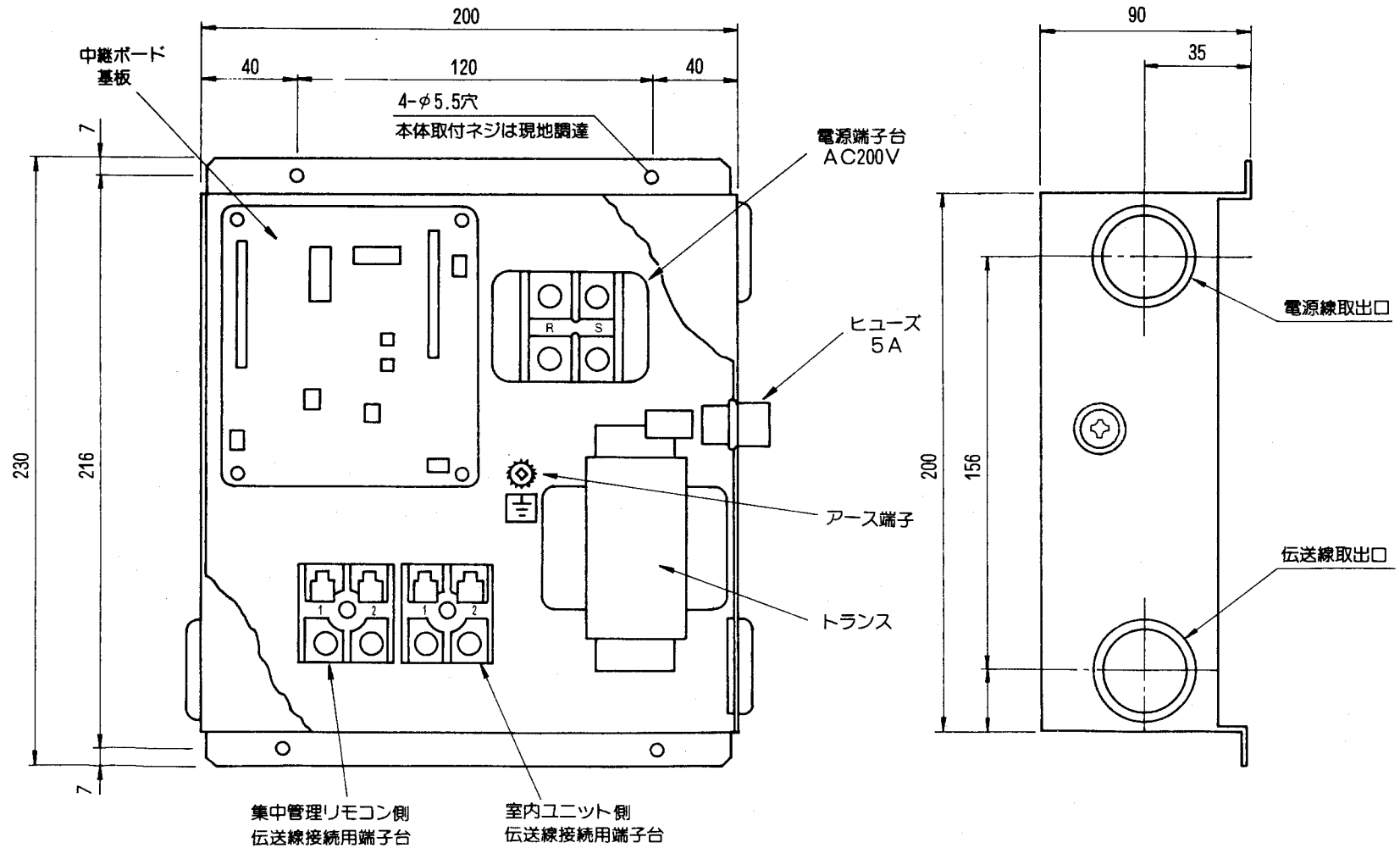
《シティマルチYシリーズ接続時の注意事項》

- (1) Yシリーズとミスタースリムが混在するシステムでは、ミスタースリムはすべて中継ボードの2次側に接続してください。
- (2) (Yシリーズの室外ユニットの数) + (中継ボードの数) + (モニターキットの数) が13台以内になるようにシステム設計してください。
- (3) Yシリーズの室外ユニットの数が多くなり、上記(2)の制限数を越える場合、超過分を中継ボードの2次側に配置して、制約内にシステムを構築することができます。

三菱電機パッケージエアコン用中継ボード外形図

形名 PAC-SA74RB

適用機種 K制御機種



スケジュールタイマー

形名 PAC-SA71ST

1 適用機種

K制御機種

2 使用方法

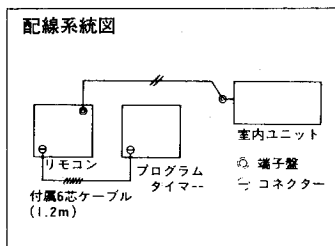
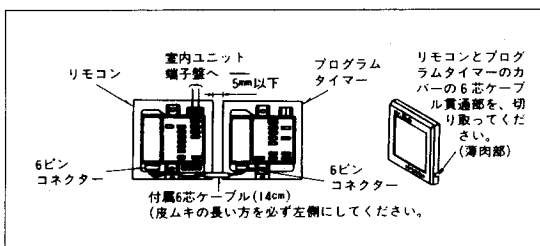
K制御機種の標準液晶リモコン、又は集中管理リモコンとデータメモリーを介在させて接続させることにより、次のようなタイマー運転が可能になります。

- (1) 1日24時間を30分単位でエアコンのON/OFFが設定できます。(ディリータイマー機能) また、24時間の運転パターンは独立して2つまで登録できます。(Aモード、Bモード)
- (2) 曜日ごとに(1)のディリータイマー運転パターン、Aモード及びBモードを選択できます。(ウィークリータイマー機能)
- (3) 集中管理リモコンを組み合わせ使用すると、集中管理システムのタイマー設定ができます。
(集中管理リモコンセットPAC-SA70NRをご使用ください。)

3 取付要領

1. 標準液晶リモコンとの接続

標準液晶リモコンとスケジュールタイマーを付属6芯ケーブルで1.2m以内に接続します。

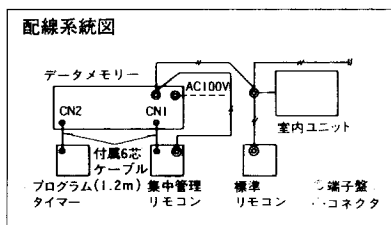
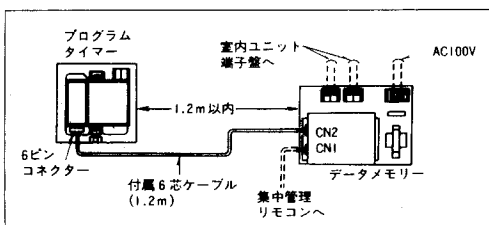


スケジュールタイマー仕様

| 名称 | スケジュールタイマー |
|-----------|------------|
| 形名 | PAC-SA71ST |
| 適用機種 | K制御機種 |
| 外形寸法 (mm) | 120×120×15 |
| 取付方式 | 壁面取付 |
| 時計方式 | 水晶時計 |
| 時計精度 | ±50秒/月 |
| 時刻表示 | 液晶表示 |
| 曜日表示 | 液晶表示 |
| タイマー設定表示 | 液晶表示 |
| プログラム周期 | 24時間 |
| タイマー設定単位 | 30分 |
| セットポイント数 | 48点/日 |
| 電源定格 | DC5V |

2. 集中管理リモコンとの接続

集中管理リモコンに付属しているデータメモリーと接続します。



■ 停電時も電池のバックアップにより、登録されたタイマー設定を記憶しています。

＜交換用電池＞

アルカリボタン電池×3個 (LR44)

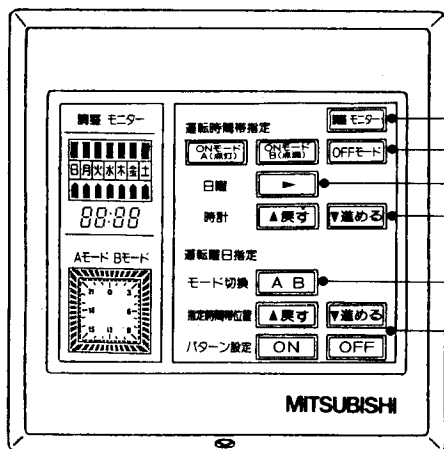
(注) スケジュールタイマーと標準液晶リモコンもしくは、データメモリーとを接続する際には、必ず付属コネクタ付ケーブルを使用してください。(配線長さは1.2m以内)

3. 取付方法

| スイッチボックスを使用する場合 | 操作盤面に集中管理リモコンと併設する場合 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 1個用スイッチボックス (JIS C 8337カバーなし) をご使用ください。 ● カバーを外し6芯ケーブルをコネクタに接続してください。付属の電池で、停電時の時計のバックアップを行なう場合は、電池のコネクタを本体にある2ピンコネクタに接続してください。 ● 6芯ケーブルと電池を取付けたら右図のようにプログラムタイマー本体とボックスで電池の取付け金具をはさみ込むようにして、本体と電池を同時にボックスにネジ止めしてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ● スケジュールタイマー本体と電池で操作盤面をはさむようにし、付属のネジ、ナットで固定してください。 <p>(注) 盤用ボックスは、有効深さ115mm以上のものをご使用ください。浅い場合、電池ケースがトランスにあたり、扉が締まらなくなるケースがあります。</p> |

4 取扱方法

1. 各スイッチのなまえと機能



□内はスイッチ 「」内は表示を表わします。

●モード切替スイッチ：このスイッチで「モニター」と「調整」を切替えます。「モニター」現在のタイマー設定状態を表示します。この時「調整/モニター」以外のスイッチはすべて無効です。通常はこの状態になっています。「調整」時計の調整、曜日の変更、ディリー、ウィークリータイマー設定の際には、調整モードにしてください。

以下「調整」モードでのスイッチ操作を示します。

●時計調整スイッチ：現在時刻を調整する際に使います。

▼進める 時刻を進める時に押します。1度押すと1分進み、連続して押した場合0.5秒毎に1分単位で進み、さらに分下桁が0になった時から10分単位で進みます。

▲戻す 時刻を戻す時に使います。1度押すと1分戻り、連続して押した場合0.5秒毎に1分単位で戻り、さらに分下桁が0になった時から10分単位で戻ります。

●曜日設定スイッチ：曜日を調整する際に使います。

▶ を押すと、日→月→火→水…の順に点灯表示がかわり、調整できます。

●ウィークリータイマースイッチ：曜日単位でのタイマーを設定します。

●A・Bモード切替スイッチ：運転時間指定の際Aモード及びBモードの設定を行います。

●ディリータイマースイッチ：30分単位のタイマー設定を行いません。

2. ディリータイマーの設定方法

(1)表示方法

右図の通り、24時間が48分割され1つのブロックが30分を表わしています。

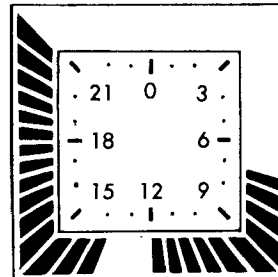
この1つのブロック毎に空調機のON/OFFを設定できます。

点灯中—エアコン運転ON指令

消灯中—エアコン運転OFF指令

右図の場合 7:00～12:00 13:30～21:00 点灯→エアコン運転ON

21:00～ 7:00 12:00～13:30 消灯→エアコン運転OFF



(2)ディリータイマー設定の方法

①モード切替スイッチ「調整モニター」を押し「調整」モードに切替えます。

②モード「A/B」によって、モードの選択をします。

③この時、現在時刻に該当するブロックが点滅しています。この点滅しているブロックを「▲戻す」又は、「▲進める」スイッチを押し設定したい時刻に移動させます。移動させますと、その時間帯の始点時間が現時刻表示部に表示されます。

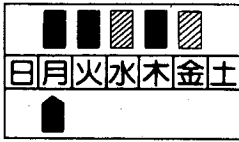
④設定パターンを次の通り指定します。

〔運転ONとしたい〕→「ON」を押す→そのブロックが点灯します→点滅ブロックが次に移動

〔運転OFFとしたい〕→「OFF」を押す→そのブロックが消灯します→点滅ブロックが次に移動

⑤A、B両モードについて設定が終了したら、モード切替スイッチ「調整/モニター」を押し「モニター」にもどします。

3. ウィークリタイマーの設定方法



2-(2)で設定した1日の運転パターンを曜日単位で適用させるかどうかを選択します。曜日の下段現在曜日、上段は1日の運転パターンがAモード、Bモード運転OFFのうちのどれであるかを表示します。対応は下記のようになります。

点灯-Aモード 点滅-Bモード 消滅-転OFF

(左図では、月・火・木がAモード運転、水・金がBモード運転、土・日はタイマー運転しない状態を表わしています。)

(1)ウィークリタイマー設定の方法

- ①モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し「調整」モードに切替えます。
- ②このとき、現在曜日の所の上段部分が点滅します。ディリタイマー運転Aモードを選択した場合は、**ONモード A (点灯)** を、Bモードを選択した場合は **ONモード B (点滅)** を選択しない場合は、**OFFモード** を押します。
(連続して設定したい場合はスイッチを押し続けることにより可能です。)
- ③選択が終わったらモード切替スイッチ **調整/モニター** を押し「モニター」モードにもどします。

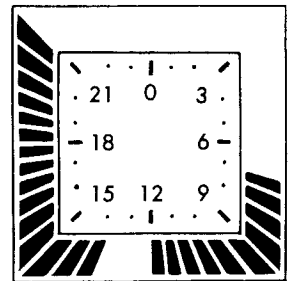
4. タイマー運転動作説明

下記設定パターンの例を使って説明します。

点灯中-エアコン運転ON指令

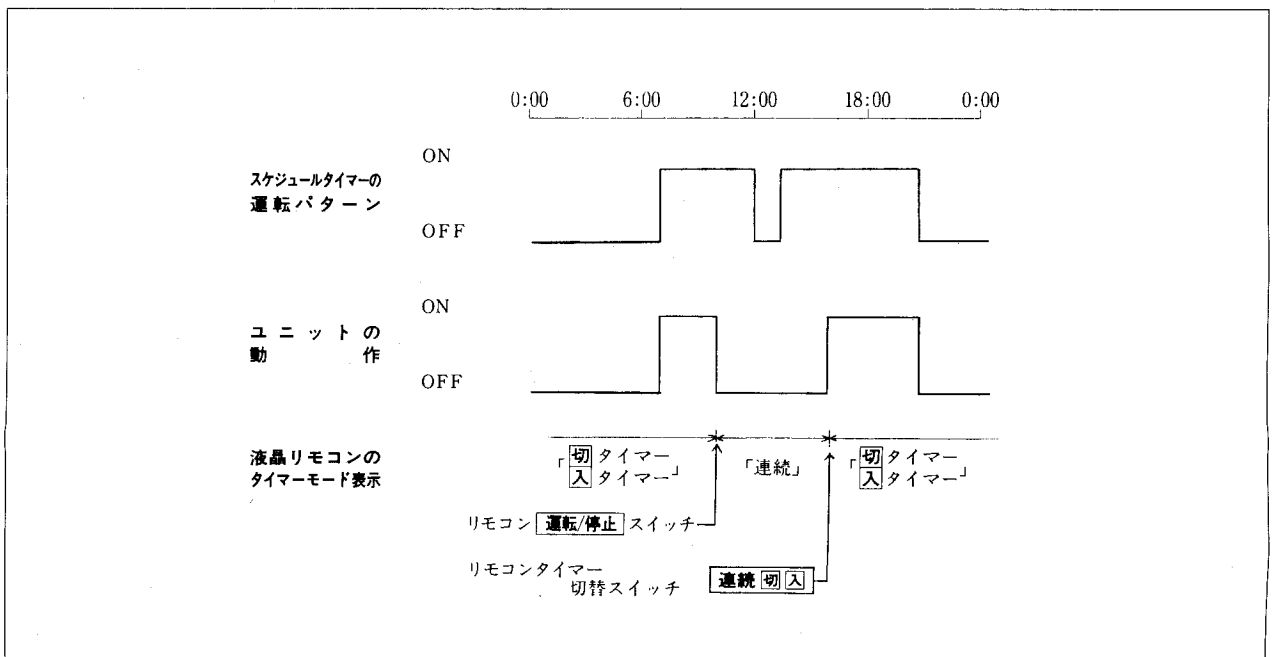
消灯中-エアコン運転OFF指令

右図の場合 7:00~12:00, 13:30~21:00 点灯→エアコン運転ON
21:00~ 7:00, 12:00~13:30 消灯→エアコン運転OFF



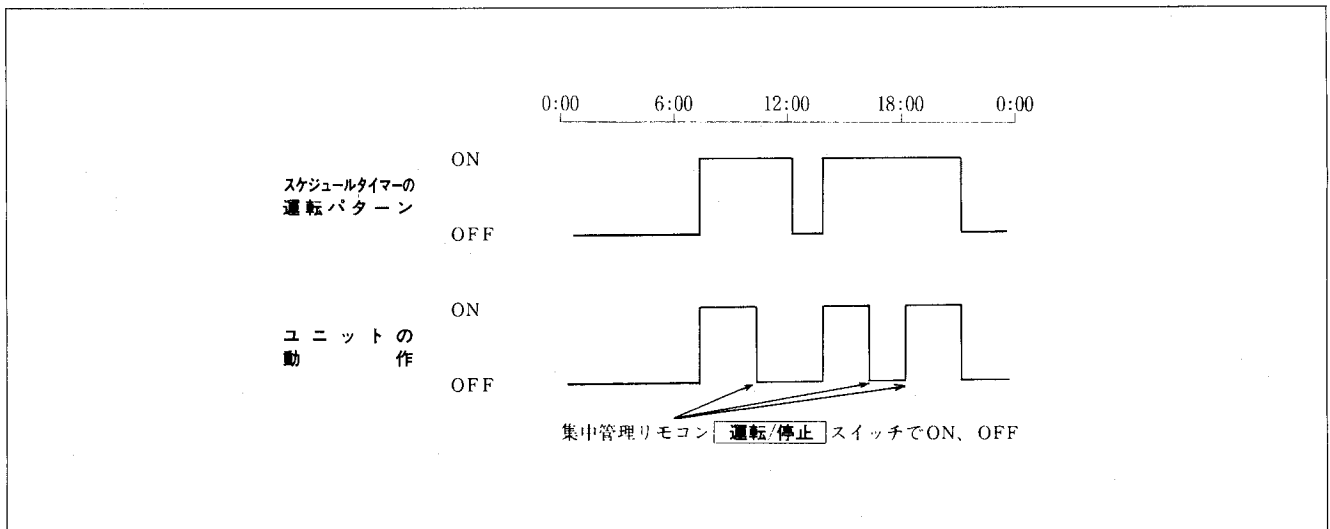
(1)液晶リモコンと接続した場合

- i) 液晶リモコンのタイマー切替スイッチ **連続切込** を押して「**切込タイマー**」モードにします。
「連続」モードの場合はスケジュールタイマーの運転パターンは無効となります。
スケジュールタイマーが接続されている場合、液晶リモコンの24時間入・切タイマーは使用できません。
- ii) 液晶リモコンを「**切タイマー**」モードで使用時、**運転/停止** スイッチを押すと「連続」モードとなり、停止状態となります。再度スケジュールタイマーで運転する場合は、タイマー切替スイッチ **連続切込** を押し「**切タイマー**」モードにしてください。



(2)集中管理リモコンと接続した場合

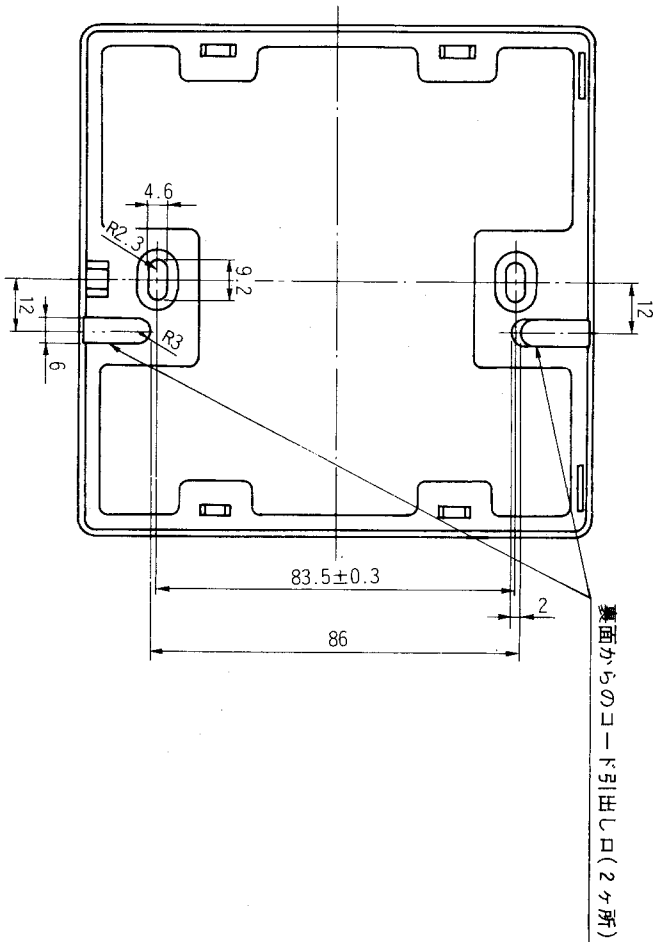
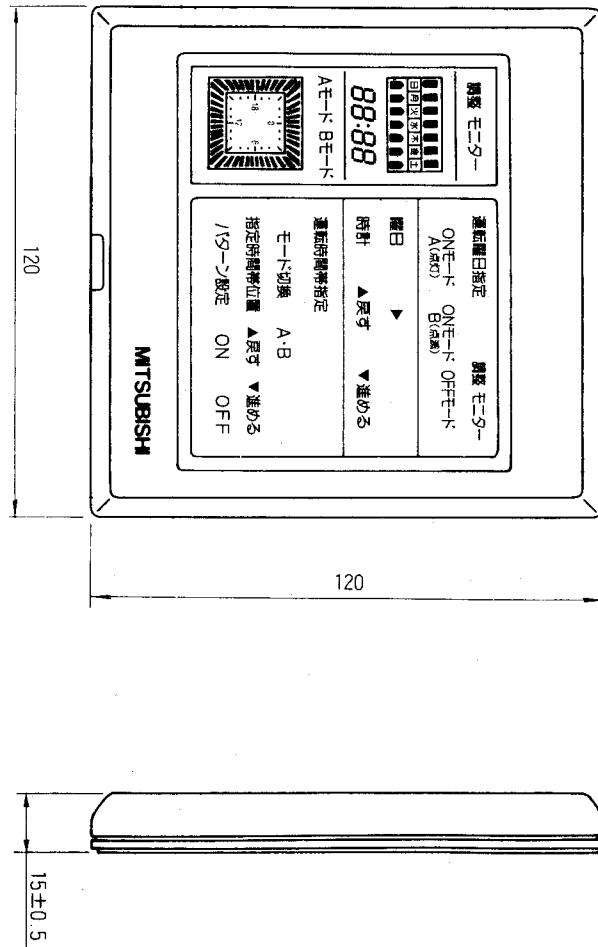
- i) 集中管理リモコンを調整モードにし、グループNoを指定した後、スケジュールタイマー切替スイッチ **タイマー／連続** を押して、「スケジュールタイマー」モードにします。「連続」モードの場合は、スケジュールタイマーの運転パターンは無効となります。
- ii) 集中管理リモコンと接続されている場合は、「スケジュールタイマー」モードの設定及びスケジュールタイマーの運転パターンの設定は、グループ単位、独立に有効です。
スケジュールタイマーに表示されている運転パターンは、その時集中管理リモコンに表示されているグループNoに対応します。
全てのグループNoについて運転パターンを設定した後、集中管理リモコンを「モニター」モードにしてから、スケジュールタイマーを「モニター」モードにしてください。
- iii) 「スケジュールタイマー」モードで使用中でも、集中管理リモコンでグループ単位、全数一括のON/OFFは可能です。(**運転／停止** スイッチ)その後運転パターンが変化した時点から、設定された運転パターンに従って運転します。(下図参照)



三菱電機パッケージエアコン用スケジュールタイマー外形図

形名 PAC-SA71ST

適用機種 K制御機種



※上の液晶表示部はすべて表示させていますが
実際には該当部分のみ表示します。

プログラムタイマー

形名 PAC-SA72PT

1 適用機種

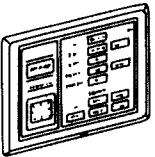

K制御機種

2 使用方法

K制御機種の標準液晶リモコン、又は集中管理リモコンとデータメモリーを介在させて接続させることにより、次のようなタイマー運転が可能になります。

- (1) 1日24時間を30分単位でエアコンをON/OFF/セットバックの3パターンからタイマー運転選択可能（ディリタイマー機能）
- (2) 曜日ごとに(1)のディリタイマー運転パターンを選択できます。（ウィークリタイマー機能）
- (3) 集中管理リモコンと組み合わせると、集中管理システムグループ単位で個々にディリ/ウィークリタイマー設定ができ人手を省いた時間管理運転ができます。

3 付属部品

| | | | | |
|---|--|--|--------------------------|--------------------------|
| ①プログラムタイマー | ②6芯ケーブル | ③ネジ | ④ナット | ⑥電池 |
|  |  長さ1.2m……(1本) 14cm……(1本) 2本 | ①M3×6皿ネジ ……(1本) ②4.1×16木ネジ ……(2本) ③M4×0.7×16小ネジ ……(2本) 5本 | M4ナット 2個 ⑤取扱説明書 1冊 | ⑥電池 ……1個 ⑦ネジカバー 1個 |

4 取付方法

1. 標準液晶リモコンとの接続

- (1) リモコンの隣にプログラムタイマーを取付けてください。取付寸法はリモコンと同一です。プログラムタイマーの外形寸法はリモコンと共通です。
- (2) プログラムタイマーに付属されているケーブル(6芯)にて、リモコン及びプログラムタイマーをコネクタ接続すれば完了です。

ご注意

- プログラムタイマーはリモコンのすぐ近くに取付けてください。付属のケーブルの長さに制限があります。(配線長さは1.2m以内)
- プログラムタイマーと接続しているときは、リモコン標準装備の24時間入・切タイマーは使えません。

《仕様表》

| | | |
|--------------|------------|------|
| 名 称 | プログラムタイマー | |
| 形 名 | PAC-SA72PT | |
| 適 用 機 種 | K制御機種 | |
| 外 形 寸 法 (mm) | 120×120×15 | |
| 取 付 方 式 | 壁面取付 | |
| 時 計 方 式 | 水晶時計 | |
| 時 計 精 度 | ±50秒/月 | |
| 表 示 | 時刻表示 | 液晶表示 |
| | 曜日表示 | 液晶表示 |
| | タイマー設定表示 | 液晶表示 |
| プログラム周期 | 24時間 | |
| タイマー設定単位 | 30分 | |
| セットポイント数 | 48点/日 | |
| 電 源 定 格 | DC5V | |
| 停電保障期間 | 延べ30日 | |

図 1

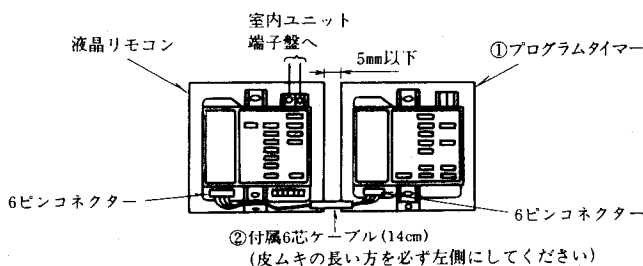
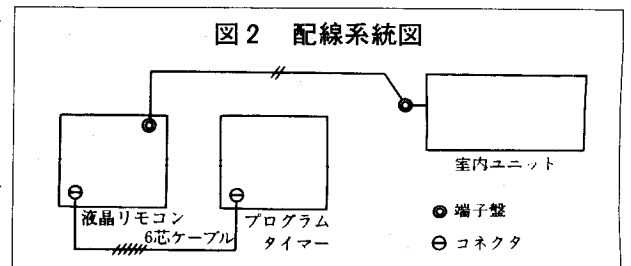
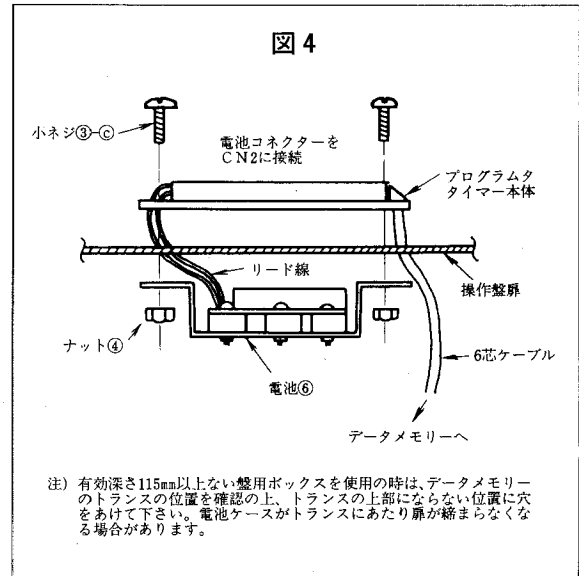
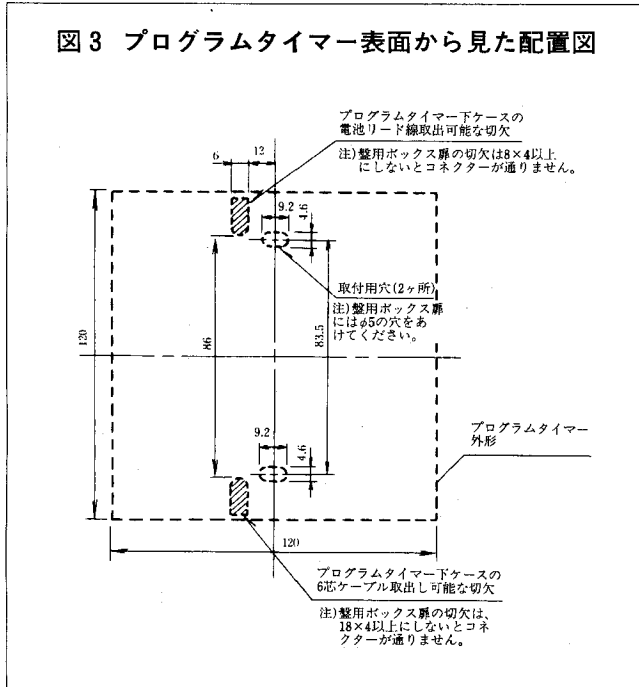


図 2 配線系統図



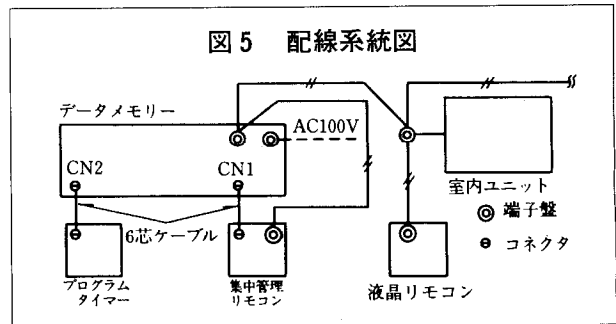
《プログラムタイマーバックアップ用電池取付け方法》

- (1)プログラムタイマー本体を取りはずし以下に示す穴を盤用ボックス扉にあけてください。
- (2)電池のリード線取出し用の穴を盤用ボックス扉の右上図(A)に示す位置にあけてください。ただし、穴はφ4×8以上にししないとコネクターが通りません。
また右上図(B)に示す位置に取付け用のネジ穴φ5を2カ所あけてください。
- (3)付属のネジとナットでプログラムタイマー本体と電池を盤用ボックス扉に右下図の要領で取付けてください。



2. 集中管理リモコンとの接続

- (1)集中管理リモコンの隣にプログラムタイマーを取付けてください。外形寸法及び取付寸法は集中管理リモコン、標準リモコン、プログラムタイマーとも共通です。
- (2)プログラムタイマーに付属されているケーブル（6芯）にて、プログラムタイマーとデータメモリーをコネクター接続してください。（1.2m以内）

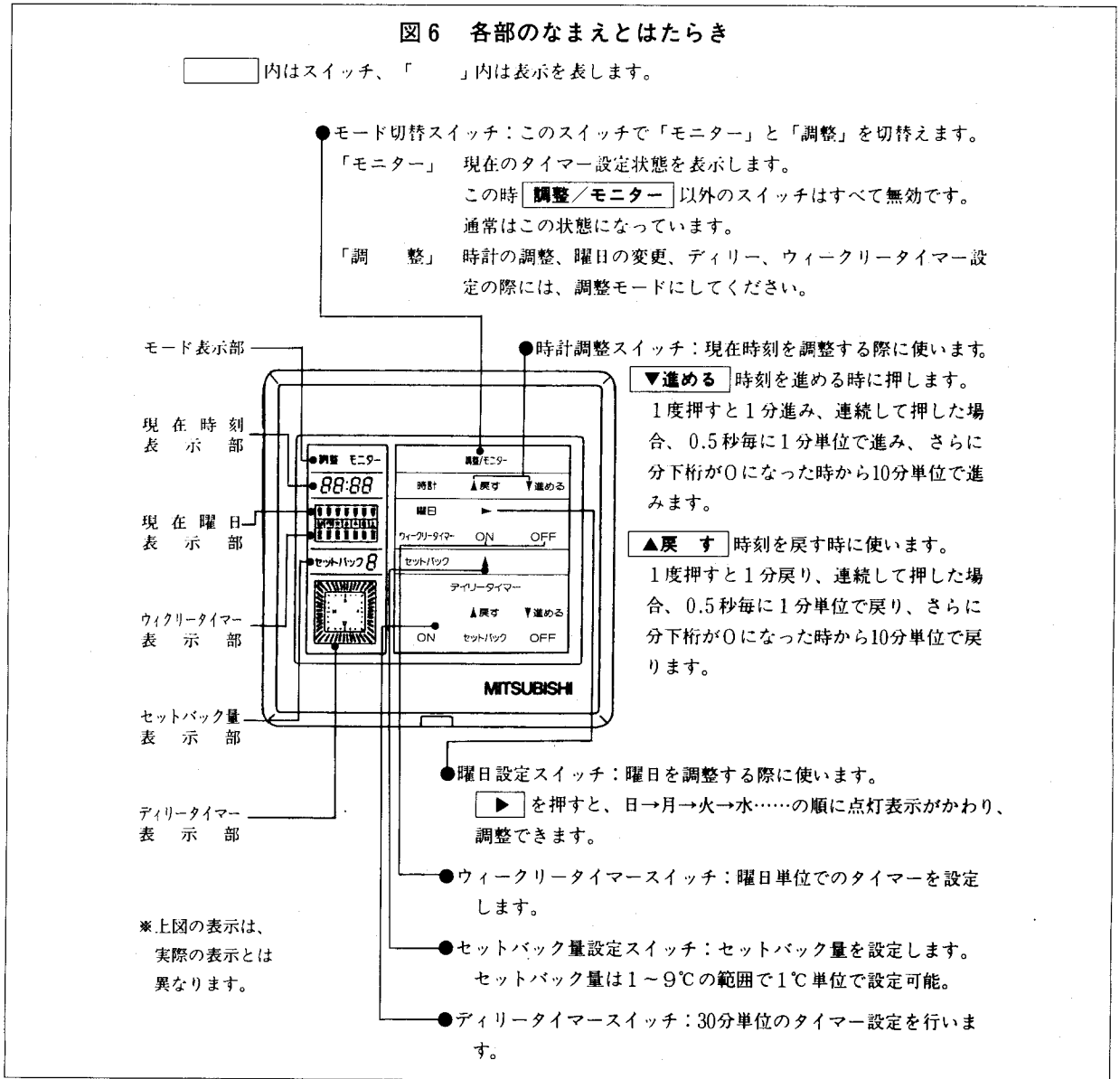


《プログラムタイマー接続時の使用上の注意》

| 標準リモコンとの接続 | 集中管理リモコンとの接続 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●リモコンはタイマーモードでお使いください。リモコンの表示は「入タイマー」となります。 ●この時リモコンの24時間入・切タイマーは使えません。 ●プログラムタイマーで運転中、リモコンの「運転/停止」スイッチを押しますとタイマー運転はキャンセルされ「連続」モードとなります。その後リモコンでのみON/OFFしますので、再度タイマー運転する場合リモコンの「タイマー/連続」スイッチを押して「入タイマー」の状態にしてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ●集中管理リモコンを必ず「プログラムタイマー」モードにしてください。 ●プログラムタイマーで運転中でも、集中管理リモコンで、グループ単位、全数一括のON/OFFは可能です。その後も、「プログラムタイマー」モードであれば、タイマーの運転パターンは有効で、タイマーの指令でON/OFFします。 |

5 取扱方法

1. 各部のなまえとはたらき



2. 時刻調整の方法

- ①モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「調整」モードに切替えます。
- ②時刻を進める場合は、時計調整スイッチ **▲進める** を押ししてください。
 1度押すと、1分進みます。連続して押すと0.5秒毎に1分単位で進み、分下1桁が0になった時から10分単位で進みます。時刻表示は24時間表示です。
- ③時刻を戻す場合は、時計調整スイッチ **▲戻す** を押ししてください。
 1度押すと、1分戻ります。連続して押すと0.5秒毎に1分単位で戻り、分下1桁が0になった時から10分単位で戻ります。
- ④秒の設定はできませんが、時計調整スイッチ **▲進める** **▲戻す** が押された時点で秒は0秒にセットされ、時計は動作を開始します。
- ⑤設定が終了したら、モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「モニター」にもどします。
- ⑥モード表示が「調整」となっている場合、時計調整スイッチ **▲進める** **▲戻す** を押さない限り、時をカウントしていますので、時刻は正確です。

3. 曜日調整の方法

- ①モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「調整」モードに切替えます。
- ②曜日設定スイッチ **▶** を押ししてください。1度押すと曜日が1つ進みます。
現在曜日表示部の液晶表示を確認しながら、指定曜日に合わせてください。
- ③設定が終了したら、モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「モニター」にもどします。
- ④モード表示が「調整」となっている場合、時計調整スイッチ **▼進める** **▲戻す** を押さない限り、時をカウントしていますので、時刻は正確です。

図7 デイリータイマー表示部分拡大

4. タイマー運転設定の方法

(1) デイリータイマーの設定方法

i) 表示方法

右図の通り、24時間が48分割され1つのブロックが30分を表わしています。この1つのブロックの表示は次の3つのパターンにわかれます。

点灯中—エアコン運転ON指令

点滅中—エアコンセットバック運転指令

消灯中—エアコン運転OFF指令

右図の場合 7:00~12:00・13:30~21:00

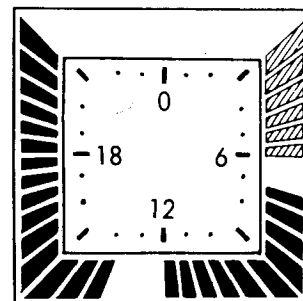
3:00~6:00 (斜線部)

21:00~3:00・6:00~7:00・12:00~13:30

■：点灯中

▨：点滅中

□：消灯中



点灯 → エアコン運転ON

点滅 → セットバック運転

消灯 → エアコン運転OFF

ii) デイリータイマー設定の方法

- ①モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「調整」モードに切替えます。
- ②この時、現在時刻に該当するブロックが点滅しています。(0.25秒ON、0.25秒OFF) この点滅しているブロックを **▲戻す** 又は **▲進める** スイッチを押し設定したい時刻に移動させます。
(すでにセットバック運転を設定してある場合、そのブロックも点滅していますが、こちらはゆっくりと点滅しています。(1秒ON、1秒OFF))
- ③設定パターンを次の通り指定します。
〔運転ONとしたい〕→ **ON** を押す→そのブロックが点灯します→点滅ブロックが次のブロックに移動
〔セットバック運転させたい〕→ **セットバック** を押す→そのブロックが点滅します→点滅ブロックが次のブロックに移動
〔運転OFFとしたい〕→ **OFF** を押す→そのブロックが消灯します→点滅ブロックが次のブロックに移動
連続してパターン設定をしたい時は、スイッチを押し続けることにより可能です。
- ④③をくりかえし設定が終了したら、モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「モニター」にもどします。

(2) セットバック量の設定方法

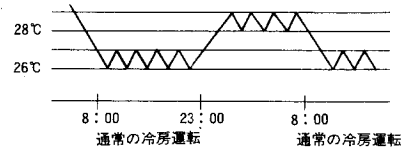
- ①モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「調整」モードに切替えます。
- ②セットバック量設定スイッチ **▲** を押ししてください。1度押すとセットバック量が1deg大きくなります。
セットバック量は1~9degの範囲で1deg単位で設定可能です。
- ③設定が終了したら、モード切替スイッチ **調整/モニター** を押し、「モニター」にもどします。「モニター」モードでは、(1-ii)の設定で、セットバック運転が設定されていない場合は、セットバック量は表示しません。

《セットバック運転》

空調負荷が少なくなる時間帯を指定し、この時間帯を冷房時には設定温度より数度高く、暖房時には数度低くエアコンを運転コントロールすることにより、ランニングコストを低減させる運転方法です。1~9degの範囲でセットバック量を指定できます。

- 例) 24時間運転のホテル空調など
- 8:00~23:00 冷房運転 設定26℃
- 23:00~8:00 セットバック運転
- セットバック量 2deg

図8 セットバック冷房運転

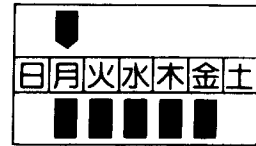


右図の通り、サーモの設定がセットバック指定時間中は自動的に2度上昇します。時間終了後は通常の設定にもどります。

(3)ウィークリタイマーの設定方法

(1-ii)で設定した1日のタイマー運転パターンを曜日単位で適用させるかどうかを選択します。曜日の上段は現在曜日、下段は運転選択された曜日を液晶が点灯して表示します。(右図では月~金曜が選択、土日は、タイマー運転しない状態を表わしています)

図9



●ウィークリタイマー設定の方法

- ①モード切換スイッチ **調整/モニター** を押し、「調整」モードに切換えます。
- ②この時、現在曜日の所の下段部分が点滅します。ディリータイマー運転を選択する場合は **ON** を、選択しない場合は **OFF** を押します。すると次の曜日の液晶が点滅しますので同様な操作を行ないます。(右図の場合 **ON** を5回、**OFF** を2回押すことになります)
- ③選択が終わったらモード切換スイッチ **調整/モニター** を押し、「モニター」モードにもどします。

(4)集中管理リモコンと接続されている場合は、各グループ毎独立に上記(1)・(2)・(3)項の設定が可能です。

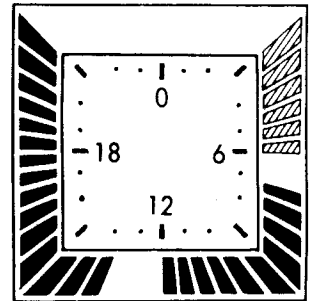
図10 ディリータイマー表示部分拡大

5. タイマー運転動作説明

- : 点灯中
- : 点滅中
- : 消灯中

下記設定パターンの例を使って説明します。

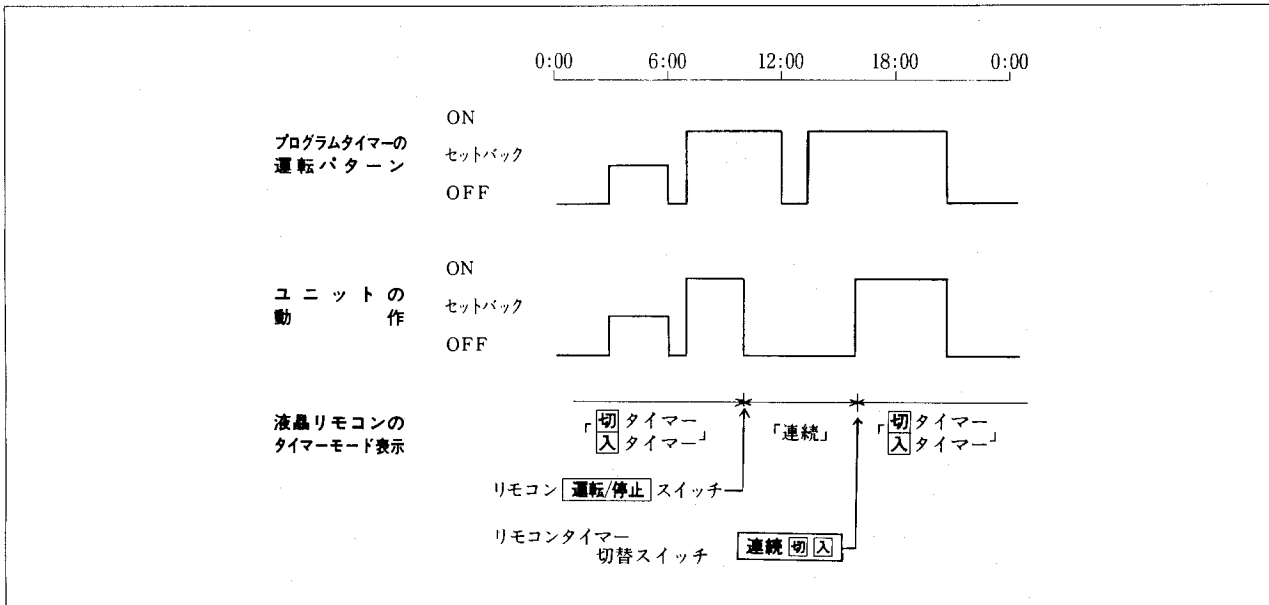
- 点灯中—エアコン運転ON指令
- 点滅中—エアコンセットバック運転指令
- 消灯中—エアコン運転OFF指令



- | | | |
|-------|------------------------------------|----------------|
| 右図の場合 | 7:00~12:00, 13:30~21:00 | 点灯 → エアコン運転ON |
| | 3:00~6:00 (斜線部) | 点滅 → セットバック運転 |
| | 21:00~3:00, 6:00~7:00, 12:00~13:30 | 消灯 → エアコン運転OFF |

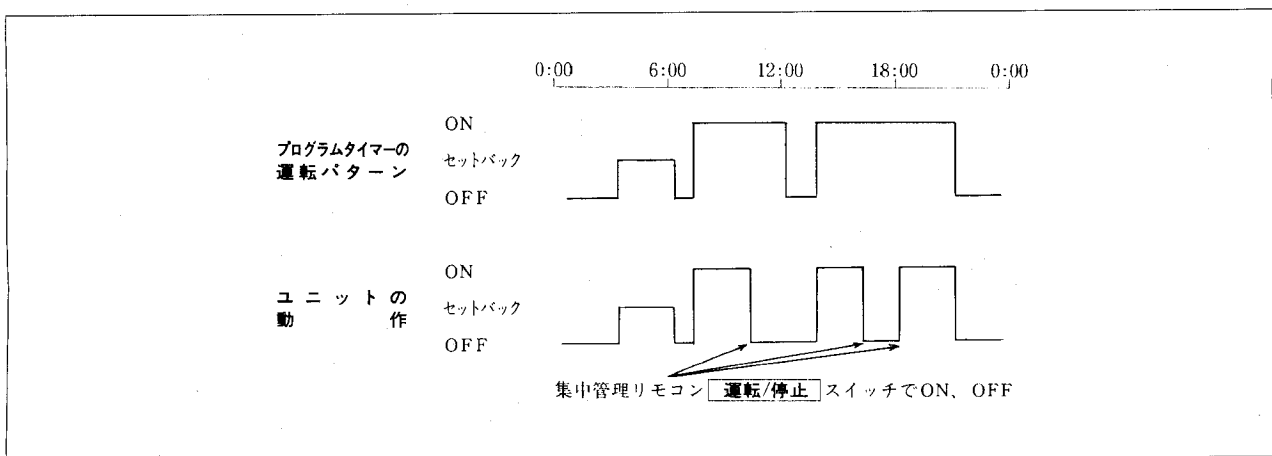
(1)標準液晶リモコンと接続している場合

- i) 標準液晶リモコンのタイマー切換スイッチ **「連続・切・入」** を押して「**切**タイマー / **入**タイマー」モードにします。
「連続」モードの場合は、プログラムタイマーの運転パターンは無効となります。プログラムタイマーが接続されている場合、標準液晶リモコンの24時間入・切タイマーは使用できません。
- ii) 標準液晶リモコンを「**切**タイマー / **入**タイマー」モードで使用(タイマー運転中)、**「運転/停止」** スイッチを押すと「連続」モードに変更され、停止状態となります。タイマー運転に戻りたい場合は、タイマー切換スイッチ **「連続・切・入」** を押し、「**切**タイマー / **入**タイマー」モードにしてください。



(2)集中管理リモコンと接続している場合

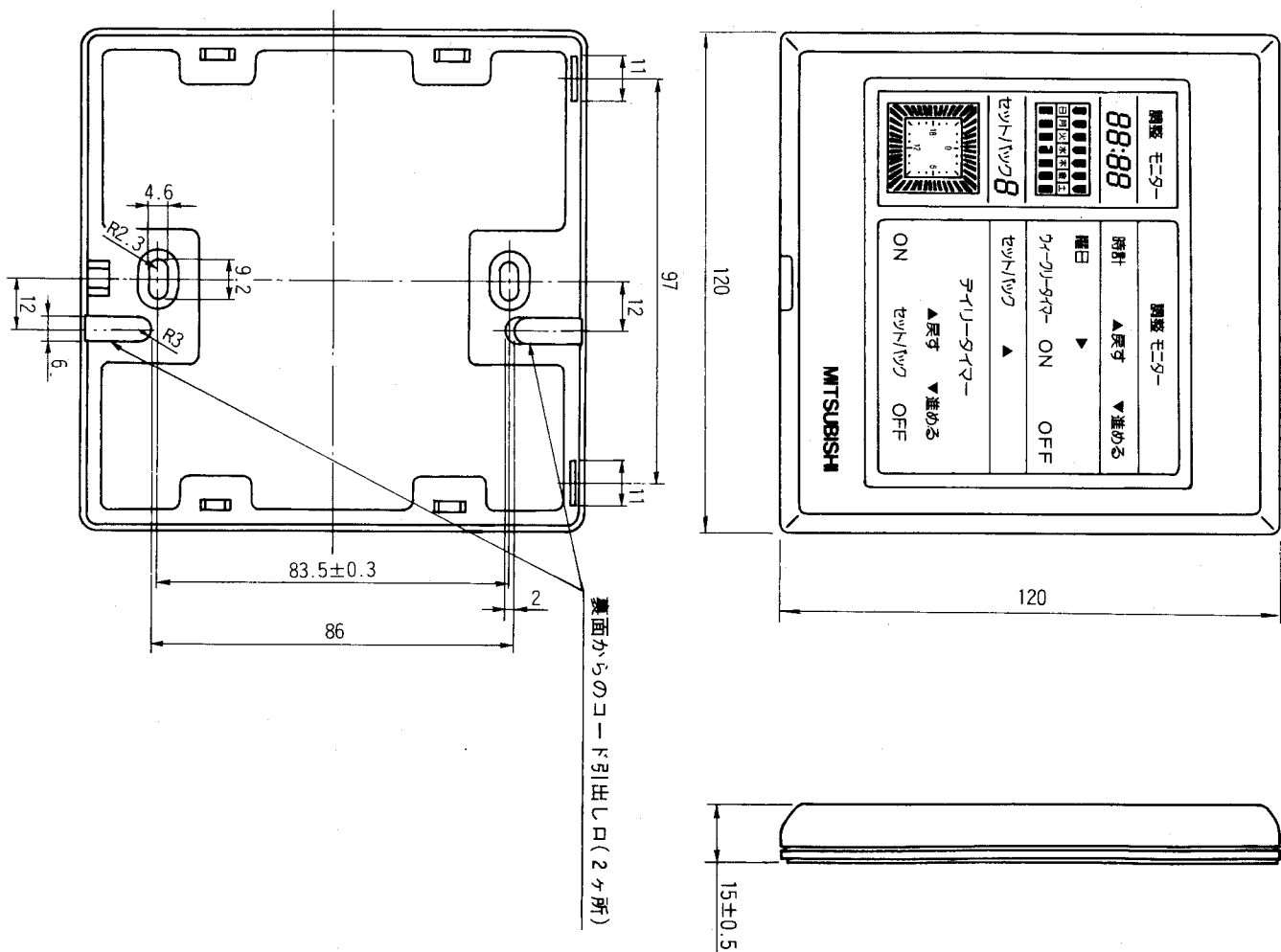
- i) 集中管理リモコンのプログラムタイマー切換スイッチ **「タイマー/連続」** を押して、「調整」モードでのみ有効「プログラムタイマー」モードにします。「連続」モードの場合は、プログラムタイマーの運転パターンは無効となります。
- ii) 集中管理リモコンと接続されている場合は、「プログラムタイマー」モードの設定及びプログラムタイマーの運転パターンの設定は、グループ単位独立に有効です。(たとえば、20グループ登録されていますと、20通りのタイマー設定が可能になるわけです)
- iii) 「プログラムタイマー」モードで使用中でも、集中管理リモコンでグループ単位、全数一括のON/OFFは可能です。**「運転/停止」** スイッチ)。この時、プログラムタイマー運転は継続され、その後もプログラムタイマーの指令に従って運転します。



三菱電機パッケージエアコン用プログラムタイマー外形図

形名 PAC-SA72PT

適用機種 K制御機種



※上の液晶表示部はすべて表示させていますが
実際には該当部分のみ表示します。

三菱電機パッケージエアコン用別売部品

(テレコントロール)

遠方表示用アダプター

形名 PAC-SA88HA

1 適用機種

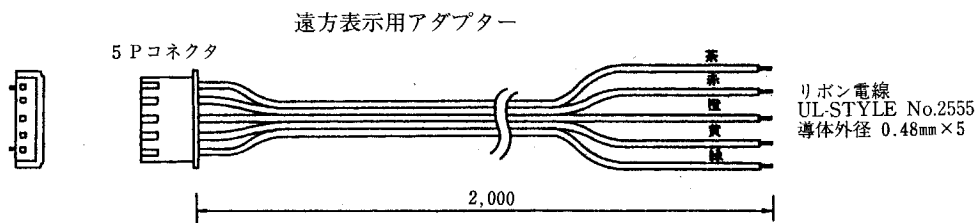
K制御機種

2 使用方法

K制御機種で次のコントロールをしたい場合この部品と現地工事を組合わせてご使用ください。

- (1) 運転表示・異常表示信号を外部に取り出したい場合
- (2) テレコントローラーと組合わせて、電話を使ってエアコンを運転/停止させたい場合
- (3) 遠方よりのパルス(瞬時a接点)信号により、エアコンを遠方からコントロールさせたい場合

3 付属部品



4 取付要領

| | テレコン用アダプターとして使用する場合 | 遠方表示用アダプターとして使用する場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---------------------|---------|-----|----|------|---|---|---------|---|---|---------|---|---|---|---|---------|---|---|--|
| 使用 方法 | <p>エアコンの室内制御基板(インドアボード)上のコネクタ(CN51)に接続し、テレコントローラーのアダプター等に接続します。</p> <p>●PAC-SA88HAの接続線の色</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>信号</th> <th>電位</th> <th>被覆色</th> <th>線径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">制御信号</td> <td>⊕</td> <td>茶</td> <td rowspan="4">0.4mm以上</td> </tr> <tr> <td>⊖</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運転モニタ信号</td> <td>⊕</td> <td>橙</td> </tr> <tr> <td>⊖</td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>点検モニタ信号</td> <td>⊖</td> <td>緑</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) テレコントローラー側のアダプターの接続線と意味を合わせて接続してください。</p> <p>●三菱テレコントローラー-BL-10TCとアダプター-BL-200Rを介して接続する例</p> <p>接続部は露出しないよう確実に絶縁処理を行なってください。</p> | 信号 | 電位 | 被覆色 | 線径 | 制御信号 | ⊕ | 茶 | 0.4mm以上 | ⊖ | 赤 | 運転モニタ信号 | ⊕ | 橙 | ⊖ | 黄 | 点検モニタ信号 | ⊖ | 緑 | <p>エアコンの室内制御基板(インドアボード)上のコネクタ(CN51)に出力される信号を受けて、リレーを駆動させるための中継アダプターとなります。</p> <p>L1: 運転表示ランプ L2: 点検表示ランプ X1, X2, L1, L2は現地手配</p> <p>注1) X1, X2のコイル側はDC12Vのものを手配してください。 注2) 電源はAC200V以下でDC電源でもかまいません。</p> |
| | 信号 | 電位 | 被覆色 | 線径 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 制御信号 | ⊕ | 茶 | 0.4mm以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⊖ | 赤 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転モニタ信号 | ⊕ | 橙 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⊖ | 黄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 点検モニタ信号 | ⊖ | 緑 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取付 方法 | <p>PAC-SA88HAのコネクタ(メス)を室内制御基板(インドアボード)上のコネクタ(オス, CN51)に接続します。コネクタには極性があり、逆取付けはできませんので、ご注意ください。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

タイマー接続用アダプター 形名 PAC-SA89TA

1 適用機種

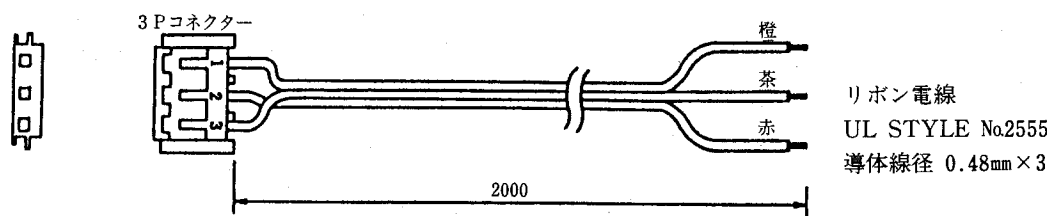
K制御機種

2 使用方法

この部品はエアコンをタイマー運転、遠方操作運転、電源発停等で操作する場合に、外部に取り付けるタイマー回路またはスイッチ回路とリモートコントローラとを接続するための接続用電線です。外部回路（現地配線）の接続方法によりいろいろな運転形式がとれます。

3 付属部品

図1 タイマー接続用アダプター (PAC-SA89TA)



4 取付要領

1. 現地手配部品

接続用電線以外の部品(タイマー、スイッチ、リレー等)はすべて現地手配となります。

部品仕様 (1)タイマー……………無電圧接点出力タイマー(電源回路とスイッチ回路が別回路のもの)

(例) TSQ-1DKP(三菱)、H2Eオールディタイマ(立石電機)

(2)スイッチ……………単極単投スイッチ

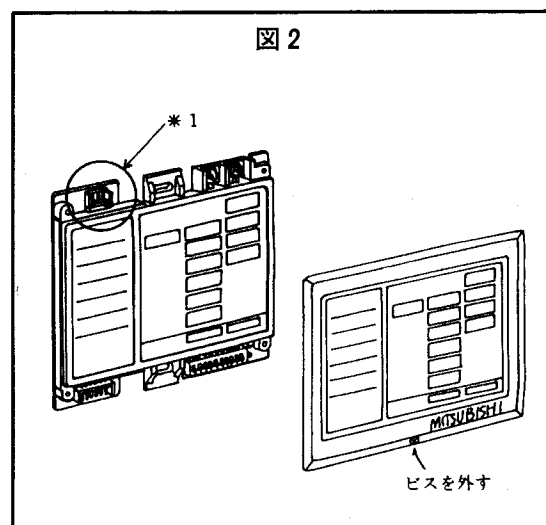
(注) タイマー及びスイッチの接点にはDC15V 1mA程度の負荷しかかかりません。できる限り微少電流用接点のものを選定してください。

(3)中継用リレー……………(例) LY-1F(立石電機)

(注) 4.「配線上の注意」による配線工事のとき使用

2. リモートコントローラ側の接続

- (1)リモートコントローラの表カバーを取り外します。
- (2)接続用電線のコネクタ側をリモートコントローラの3ピンコネクタ(*1)に差し込んでください。コネクタには、方向性があり逆差込はできませんので注意してください。
- (3)表カバーを取り付けます。



3. 現地配線方法

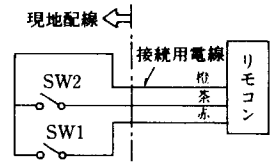
(1) 基本的な接続方法と動作

このタイマー接続用アダプターは現地配線側の接続回路方法によりタイマー運転、遠方操作運転、電源発停等の運転操作ができます。

- いずれの場合も右図の接続が基本となります。ここでSW1は運転スイッチです。SW2はリモコンの運転スイッチと外部運転スイッチ(SW1)の切り換えスイッチです。
- 切り換えスイッチ(SW2)が開いている時はリモコンの運転スイッチが使用でき、外部運転スイッチ(SW1)は使用できません。すなわち外部運転スイッチ(SW1)の状態がON/OFFいずれの場合でもリモコンの運転スイッチによりユニット運転、停止が行なえます。
- 切り換えスイッチ(SW2)が閉じている時はリモコンの運転スイッチは使用できず、外部運転スイッチ(SW1)が使用できます。ここで外部運転スイッチ(SW1)がONであれば運転、OFFであれば停止となります。この場合、リモコンでの運転停止はできません。

以上の基本動作を応用して次のような使用例があります。

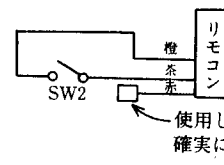
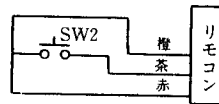
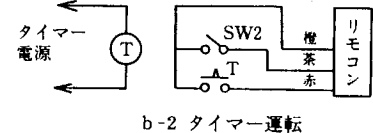
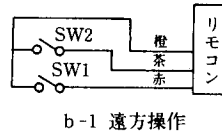
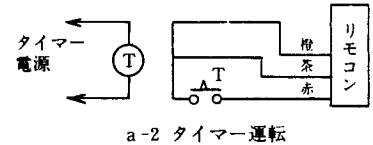
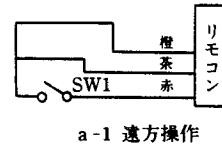
図3



| | SW2 | |
|--------------|--------------|--------------|
| | ON | OFF |
| リモコン 運転SW | — | 運転操作 できます |
| SW1 | 運転操作 できます | — |

(2) 使用例

- 遠方操作またはタイマーのみで運転・停止を行ない、リモートコントローラによる運転・停止を禁止したい場合。
- 遠方操作またはタイマーによる運転・停止とリモートコントローラによる運転・停止を使い分ける場合。
- 遠方操作により運転を開始させ、以後はリモートコントローラによる運転・停止を自由にしたい場合。
- リモートコントローラによる運転の許可・禁止を遠方で行う場合。
- 手元開閉器による運転停止を行う場合。(電源発停)



注) SW2はモーメンタリースイッチ(手動操作自動復帰スイッチ)を使用してください。SW2を押すと運転を開始します。以後はリモートコントローラによる停止または再運転が行なえます。

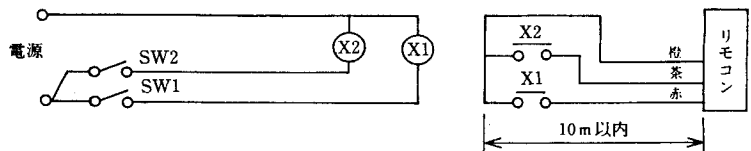
SW2がONであればリモートコントローラによる運転を禁止し、OFFであれば許可となります。

使用しませんのでテープ等で確実に絶縁処理してください。

(注) いずれの場合も運転指令が出てからユニットが運転するまで5~6秒の時間遅れがあります。

4. 配線上の注意

リモートコントローラからの配線の長さは10m以内としてください。特に遠方操作等で配線を延長する場合は中継用リレーを使用してください。



リモートセンサー

形名 PAC-554RS

1 適用機種

K制御機種

2 使用方法

リモートセンサはマイコン制御機種において、空調する部屋の温度が適格に検知できない場合に、部屋の温度が適格に検知できる場所に取付けていただくものです。

部屋の平均的な温度を検知できる場所で、直射日光や熱源、エアコンの吹出空気が直接当たらないところをお選びください。

3 付属部品

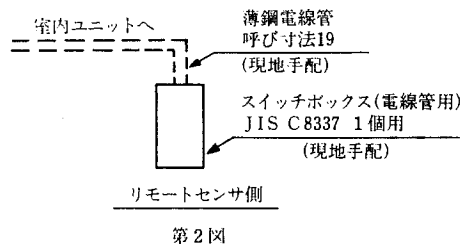
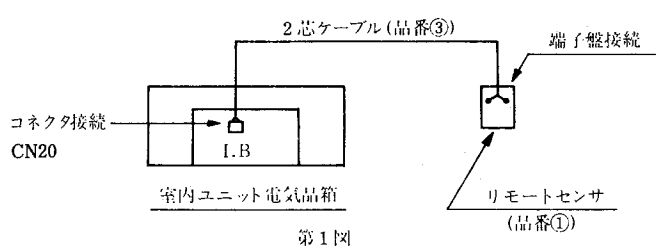
この箱の中には、次の部品が入っていますので、ご確認ください。

| 品名 | 品名 | 個数 | 品番 | 品名 | 個数 |
|----|-------------|----|----|----------|----|
| ① | リモートセンサー | 1 | ④ | 両面テープ | 1 |
| ② | デザインラベル | 1 | ⑤ | 木ネジ 4×16 | 2 |
| ③ | 2芯ケーブル(12m) | 1 | ⑥ | STネジ 3×8 | 2 |

4 取付要領

配線接続方法

室内ユニットの電気品箱とリモートセンサとの配線接続は、第1図のようになります。2芯ケーブルの電気品箱への接続はコネクタ接続です。I.B(インドアボード)内にあります既設の吸込センサ用コネクタを外し、その位置に2芯ケーブルのコネクタを接続してください。また2芯ケーブルを壁埋込にする場合は第2図のようになります。



リモートセンサ(品番①)の取付方法

(イ) リモートセンサは、最初にビス(A)をはずしカバーとボックスとを分割してください。(第3図参照)
 (ロ) 2芯ケーブル(品番③)の取出し方向は上及び背面の2方向となっております。上方向取出しの際は第3図の斜線部がロックアウト形状となっておりますので、ナイフ等で切取ってください。

(ハ) -1) リモートセンサを壁に直付する場合

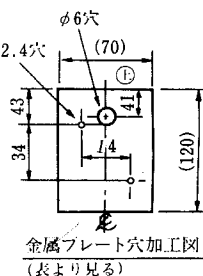
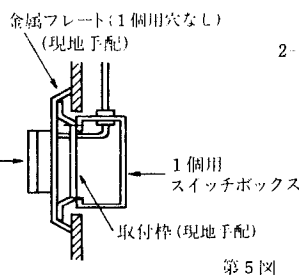
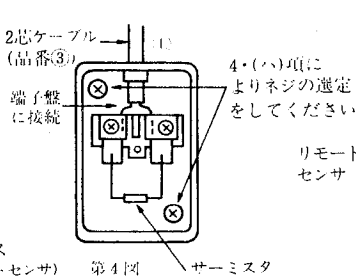
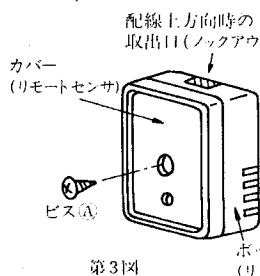
付属の木ネジ(品番⑤)か両面テープ(品番④)により取付けてください。ただし両面テープの場合は壁の材質や表面に凹凸がありますとはがれやすいので、できる限り木ネジを使用してください。(第4図参照)

-2) 2芯ケーブルを壁埋込にする場合

第5図参照の上付属のSTネジ(品番⑥)により金属プレートに固定してください。

(ニ) リモートセンサを壁に取付けましたら、2芯ケーブル(品番③)の先端を皮ムキしてからリモートセンサの端子盤に確実に接続してください。(極性はございません)

以上の作業が完了しましたらリモートセンサのカバーをビス(A)にて取付けて付属のデザインラベル(品番②)を貼付けてください。



現地配線方法

(1)基本的な接続方法と動作

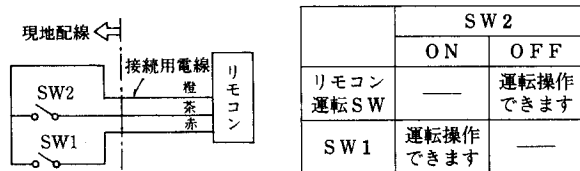
このタイマー接続用アダプターは現地配線側の接続回路方法によりタイマー運転、遠方操作運転、電源発停等の運転操作ができます。

■いずれの場合も下図の接続が基本となります。ここでSW1は運転スイッチです。SW2はリモコンの運転スイッチと外部運転スイッチ(SW1)の切換を行う切換スイッチです。

■切換スイッチ(SW2)が開いている時はリモコンの運転スイッチが使用でき、外部運転スイッチ(SW1)は使用できません。すなわち外部運転スイッチ(SW1)の状態がON/OFFいずれの場合でもリモコンの運転スイッチによりユニット運転、停止が行なえます。

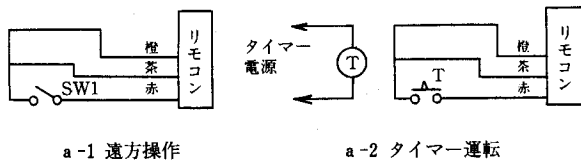
■切換スイッチ(SW2)が閉じている時はリモコンの運転スイッチは使用できず、外部運転スイッチ(SW1)が使用できます。ここで外部運転スイッチ(SW1)がONであれば運転、OFFであれば停止となります。この場合、リモコンでの運転停止はできません。

以上の基本動作を応用して次のような使用例があります。

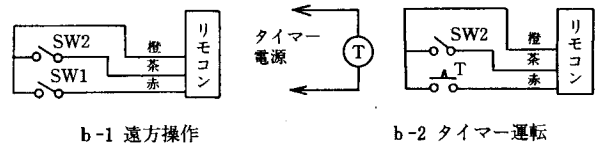


(2)使用例

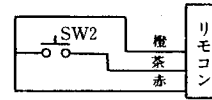
a) 遠方操作またはタイマーのみで運転・停止を行ない、リモートコントローラによる運転・停止を禁止したい場合。



b) 遠方操作またはタイマーによる運転・停止とリモートコントローラによる運転・停止を使い分ける場合。

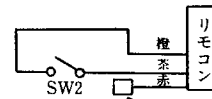


c) 遠方操作により運転を開始させ、以後はリモートコントローラによる運転・停止を自由にしたい場合。



注)SW2はモーメンタリースイッチ(手動操作自動復帰スイッチ)を使用してください。SW2を押すと運転を開始します。以後はリモートコントローラによる停止または再運転が行なえます。

d) リモートコントローラによる運転の許可・禁止を遠方で行う場合。



注)SW2がONであればリモートコントローラによる運転を禁止し、OFFであれば許可となります。

使用しませんのでテープ等で確実に絶縁処理してください。

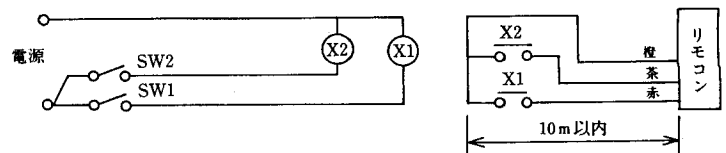
e) 手元開閉器による運転停止を行う場合。(電源発停)



(注)いずれの場合も運転指令が出てからユニットが運転するまで5~6秒の時間遅れがあります。

配線上の注意

リモートコントローラからの配線の長さは10m以内としてください。特に遠方操作等で配線を延長する場合は中継用リレーを使用してください。



お 願 い

リモートセンサを取付ける時、下記事項を必ず実施してください。

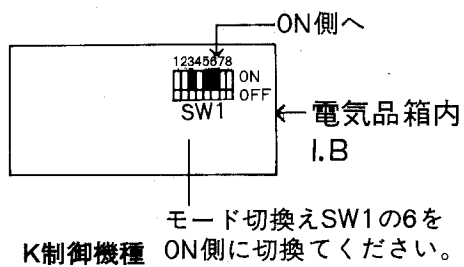
1. 適用機種

ミスタースリムK制御機種のヒートポンプ機種は工場出荷時、暖房設定温度をあらかじめ高め(4 deg up) にセットしてありますので解除の状態に切換えてください。

※PSH-FKD, EKHDタイプは工場出荷時より4deg upを解除してありますので、切換は不用です。

2. 切換方法

ユニット電気品箱内のI.B(インドアボード) にあります切換スイッチを下図のように切換えてください。



※注意

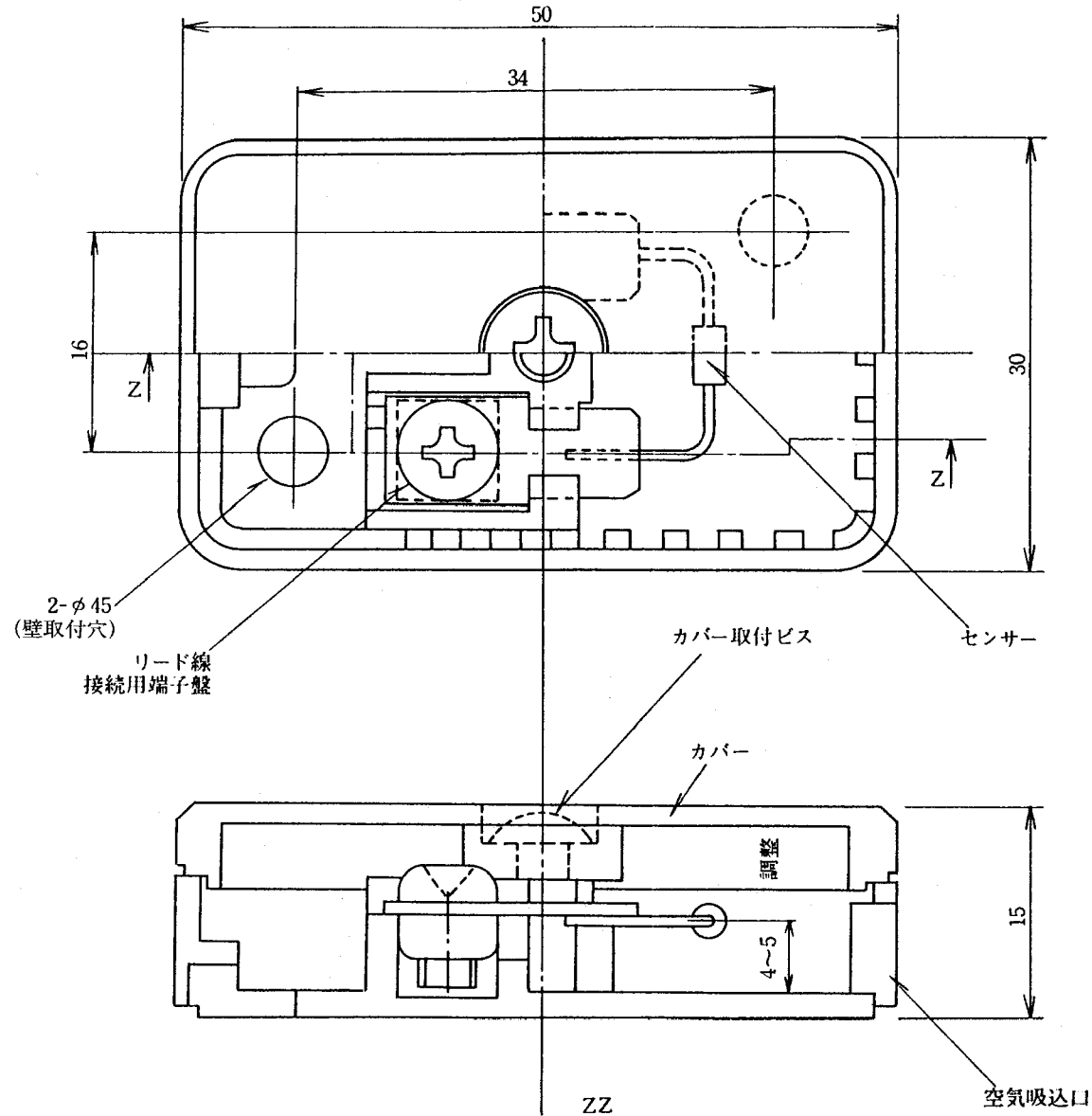
K制御機種は、モード切換スイッチSW1を工場出荷時にいくつかON側にセットして出荷しています。

(上図はPCH-EKDでSW1-3と5がON)SW1-6以外のディップスイッチは触れないようにしてください。

三菱電機スリムエアコン用リモートセンサー外形図

形名 PAC-554RS(センサーボックス)

適用機種 K制御機種



デジタルワイヤレス (K制御機種)

形名 PAC-SB18~20WL
PAR-L240K共通

ワイヤレスリモコン(PLH-GKD用)

1 適用機種

| 形名 | 適用機種 | 形名 | 適用機種 |
|------------|---|------------|----------------------|
| PAC-SB18WL | PLH-FKD・PLHY-FK・PLHZ-FK | PAC-SB20WL | PL-FKD |
| PAC-SB19WL | PCH(Y)-EK(D)・PKH(Y)-EK(D) PLH(Y)-EK(D)・PSH-FKD PMH-EKD・PEH-FKD・PEH-EKD PDH(Y)-EK(D)・PCHZ-EK PKHZ-EK・PSHZ-EK | PAC-SB21WL | PC-EKD・PK-EKD・PE-FKD |
| | | PAR-L240K | PLH-GKD |

2 使用方法

K制御機種をワイヤレスで操作できます。

パッケージエアコン室内ユニットから無極性2線で配線された受光アダプタ(壁面または天井面に取付)で信号を受信させます。

(注1) PLH-GKDはワイヤレス仕様パネル(PLP-090・140GL)に受光部を内蔵しています。

(注2) 受光アダプタの使用法、取付要領などはE-9⑨以降を参考にしてください。

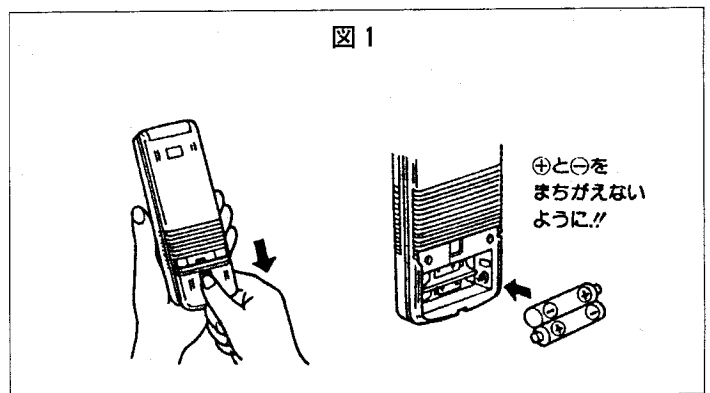
3 付属部品

| 番号 | 品名 | 個数 | 番号 | 品名 | 個数 |
|----|---------------|----|----|-----------|----|
| ① | 受光アダプタ | 1 | ⑤ | ワイヤレスリモコン | 1 |
| ② | リモコンコード 2芯 3m | 1 | ⑥ | 電池 | 2 |
| ③ | M4×30 ネジ | 2 | ⑦ | 取扱説明書 | 1 |
| ④ | 4.1×16 木ネジ | 4 | ⑧ | リモコンホルダー | 1 |

4 取付要領

1. 電池を入れます。

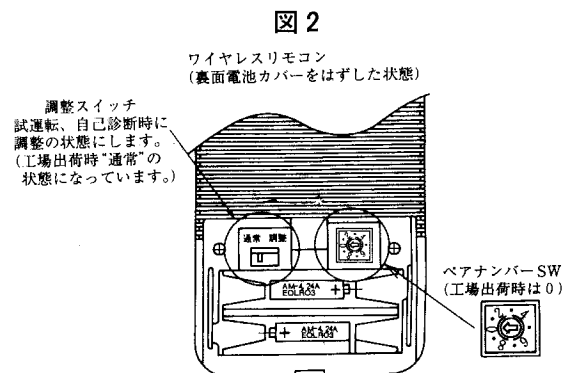
裏面のフタをはずして新しい電池を入れます。
単四乾電池(三菱アルカリ乾電池LR03(AM4)などを2本使用します。



2. ペアナンバーの設定

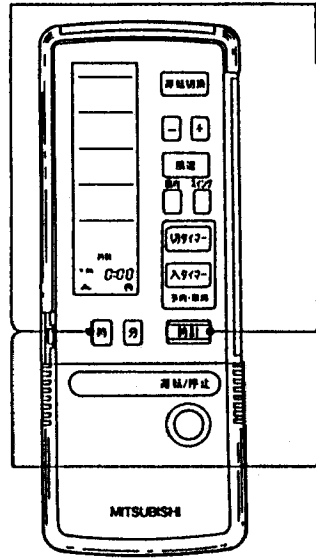
対応する受光アダプタとペアナンバーをあわせてください。

ペアナンバーはワイヤレスリモコンで操作する室内ユニットを指定するための番号で、0~9まで10種の設定が可能です。



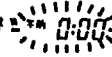
3. 時刻設定

図 3



電池を交換したとき

①電池を交換すると、リモコンの全部の表示が約3秒間点灯します。

②現在時刻モニター部だけが  で点滅します。

③時刻調整ボタン(時および分)を押して、現在の時刻にあわせてください。

④これで設定完了です。(約1分後に全ての表示は自動的に消えます。)

現在時刻の変更のしかた

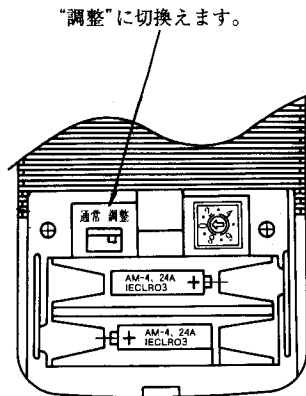
①時計合わせボタンを押す。(▲が点灯します。)

②時刻調整ボタン(時および分)を押して、現在の時刻にあわせてください。

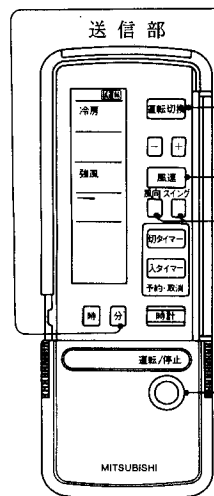
③これで設定完了です。(約1分後に▲は消えます。)

4. 試運転

図 4



(裏面電池カバーをはずした状態)



上図は冷房時の表示を表します。

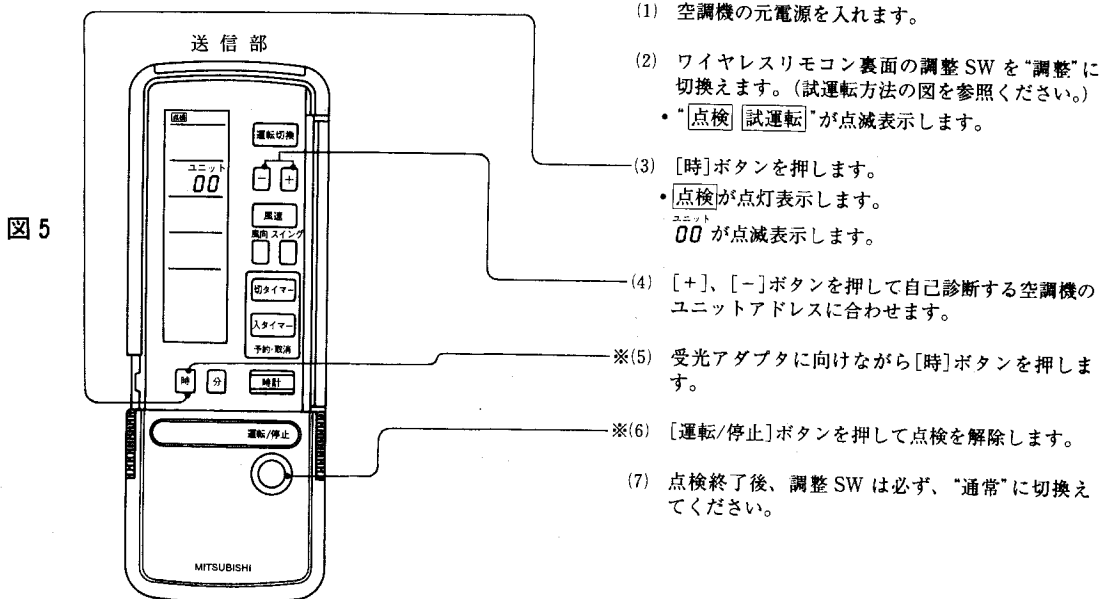
- (1) 空調機の元電源を入れます。
- (2) ワイヤレスリモコン裏面(左図参照)の調整SWを“調整”に切換えます。
 - ・“点検 試運転”が点滅表示します。

- ※(3) [分]ボタンを押します。
 - ・試運転、および運転内容を表示します。(左図表示例参照)
- ※(4) [運転切換]ボタンを押し、“送風”にして風が吹き出すことを確認します。
- ※(5) [運転切換]ボタンを押し、“冷房”(または暖房)にして、冷風(または温風)が吹き出すことを確認します。(暖房時、温風が出るまで少し時間がかかります。)
- ※(6) [風速]ボタンを押し、強風(または弱風)にして、風速が変わることを確認します。
- ※(7) [風向]、[スイング]ボタンを押し、オートベンの作動を確認します。
PAC-SB19WL、PAC-SB21WLの場合[ルーバー]ボタンを押して、ルーバーの作動を確認します。
- ※(8) [運転/停止]ボタンを押して試運転を解除します。
- (9) 試運転終了後、調整SWは必ず、“通常”に切換えてください。

※印の操作の際は送信部を受光アダプタに向けてください。(受光アダプタからピッという音がすることを確認してください。)

5. 自己診断

※印の操作の際は送信部を受光アダプタに向けてください。
(受光アダプタからピッという音がすることを確認してください。)



●(5)の操作をしたとき、空調機に異常がある場合は受光アダプタからブザー断続音と、運転ランプ点滅により点検コードを出します。
(操作してから点検コードが出るまで最大約12秒かかります。)

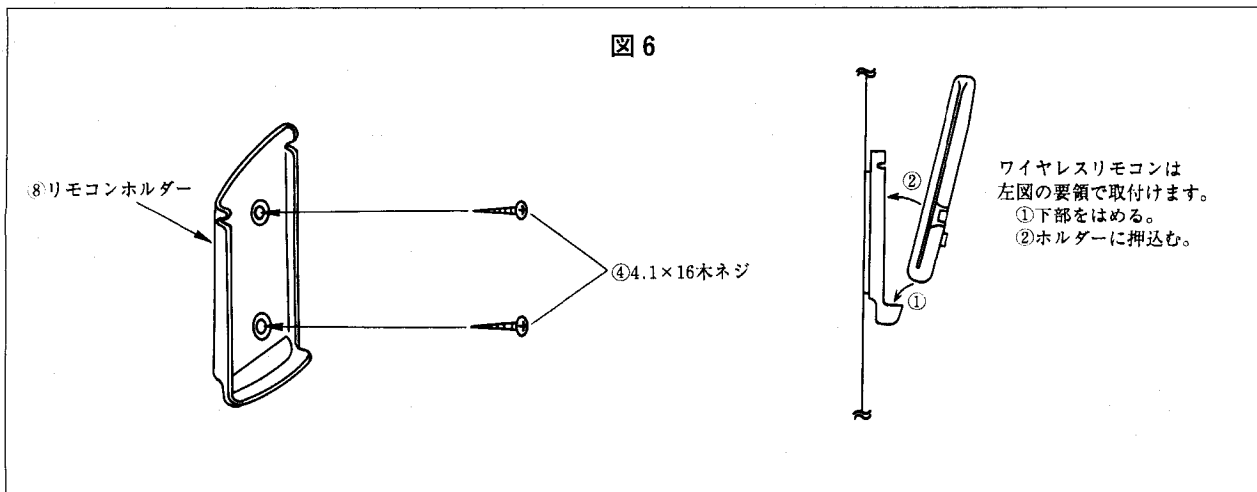
| 点検コード | ブザー断続音、運転ランプ点滅時間 | ブザー音 |
|-----------|---------------------------------|----------|
| E 0 | 0.4秒間(0.2秒間隔) 3回 | ピッ、ピッ、ピッ |
| P 1 ~ P 8 | 1秒間(0.5秒間隔) 点検コードの数字の分だけくり返す | ピー、ピー、… |

●自己診断する空調機のユニットアドレス

- (a) 個別…“00”に合わせます。
(b) グループ…親機を“00”としてユニットアドレスが増えるごとに“01”、“02”と合わせます。
(c) 集中管理…各グループごと(b)のように合わせます。

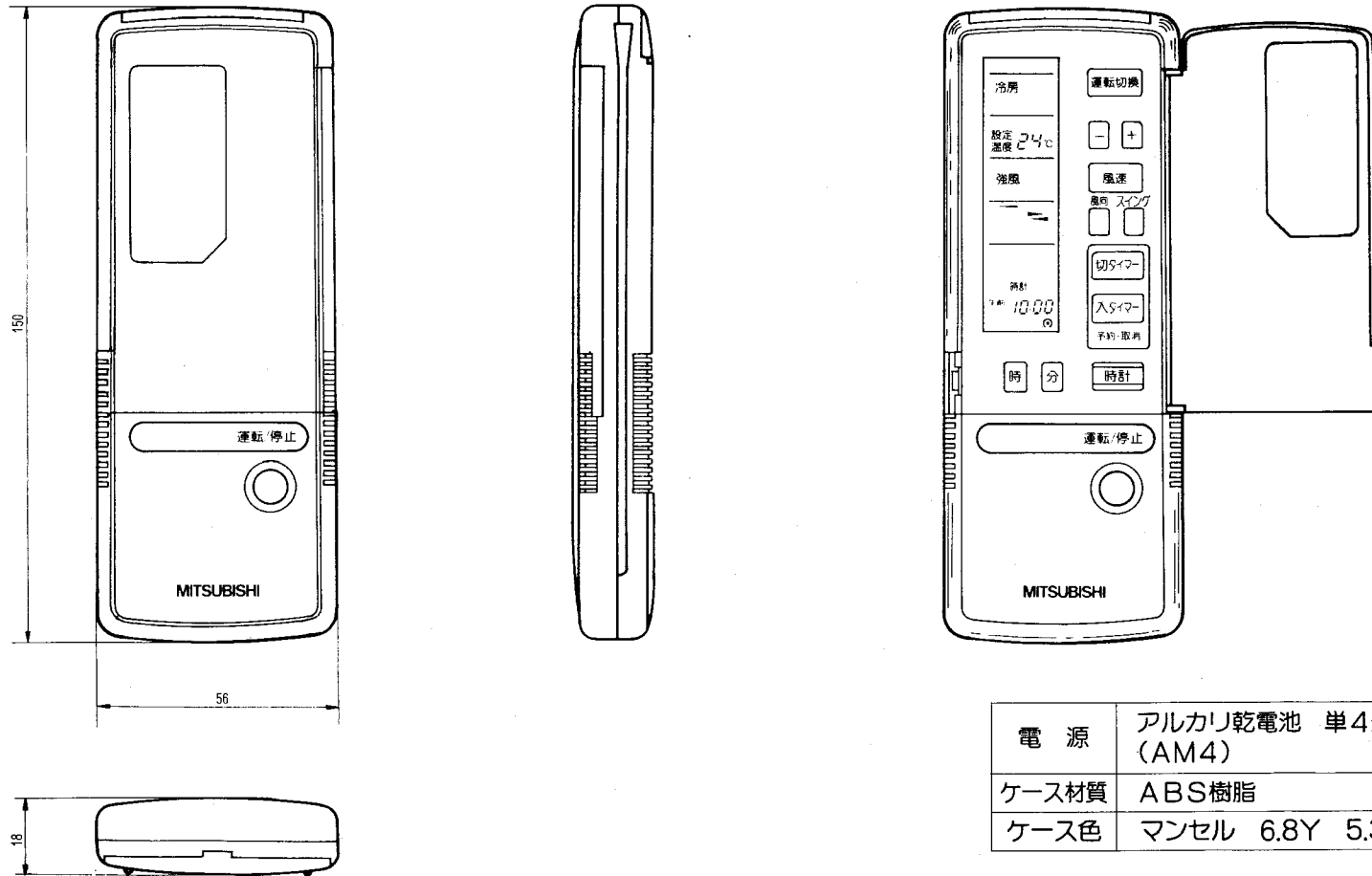
6. リモコンホルダーの取付

ワイヤレスリモコンを壁面などに設置する場合、リモコンホルダーを取付けます。



三菱電機パッケージエアコン用デジタルワイレスリモコン外形図

形名 PAC-SB18WL 適用機種 PLH(Z)-FK(D), PLHY-FK

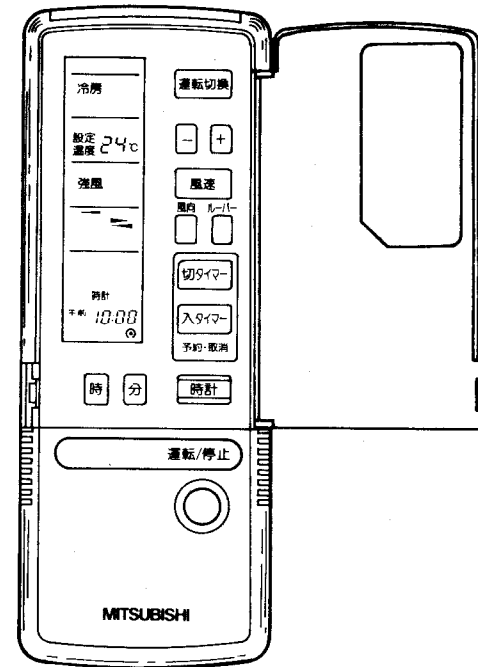
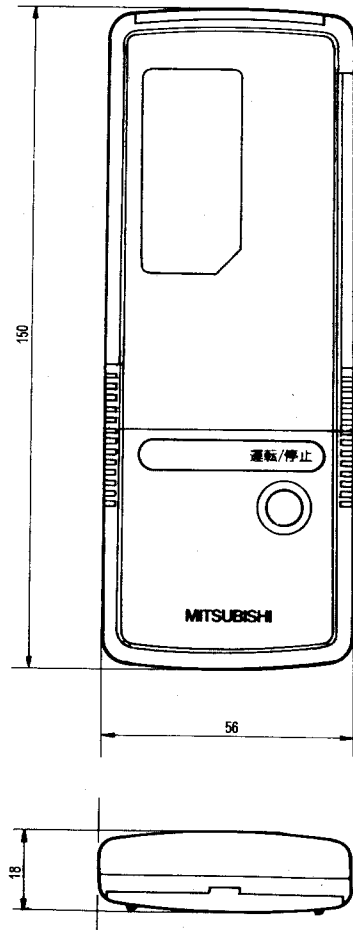


| | |
|-------|---------------------|
| 電源 | アルカリ乾電池 単4形2本 (AM4) |
| ケース材質 | ABS樹脂 |
| ケース色 | マンセル 6.8Y 5.3/0.6 |

三菱電機パッケージエアコン用デジタルワイヤレスリモコン外形図

形名 PAC-SB19WL

適用機種 K制御機種 (PLH-GKD形,FKD形以外のヒートポンプ機種)

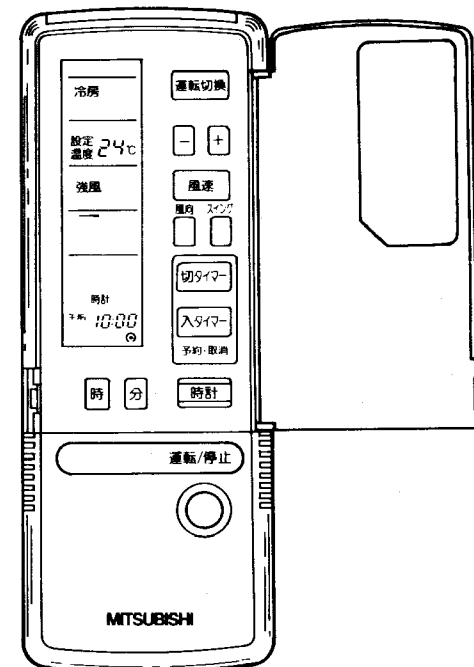
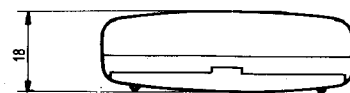
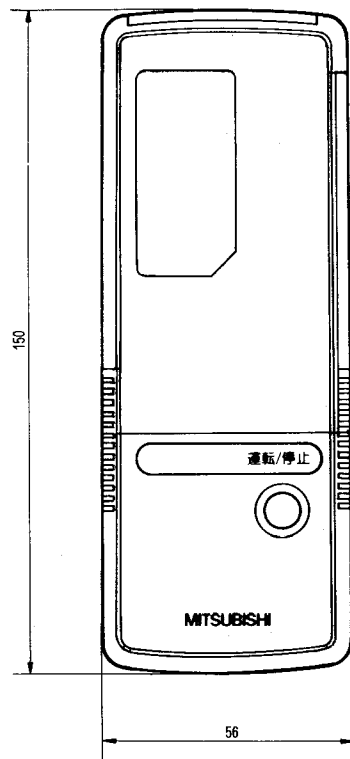


| | |
|-------|---------------------|
| 電源 | アルカリ乾電池 単4形2本 (AM4) |
| ケース材質 | ABS樹脂 |
| ケース色 | マンセル 6.8Y 5.3/0.6 |

三菱電機パッケージエアコン用デジタルワイヤレスリモコン外形図

形名 PAC-SB20WL

適用機種 PL-FKD

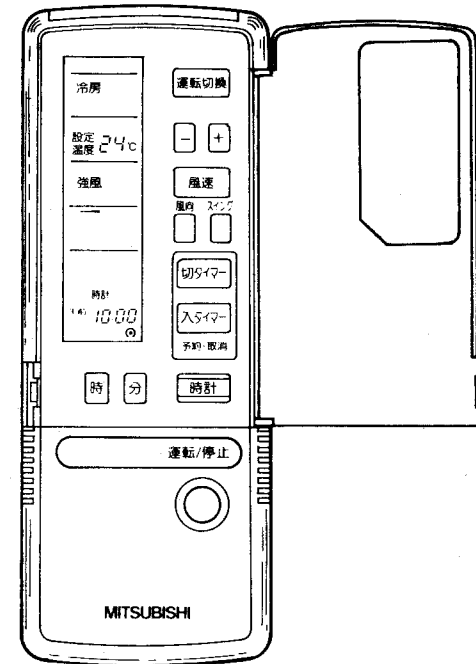
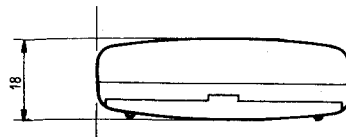
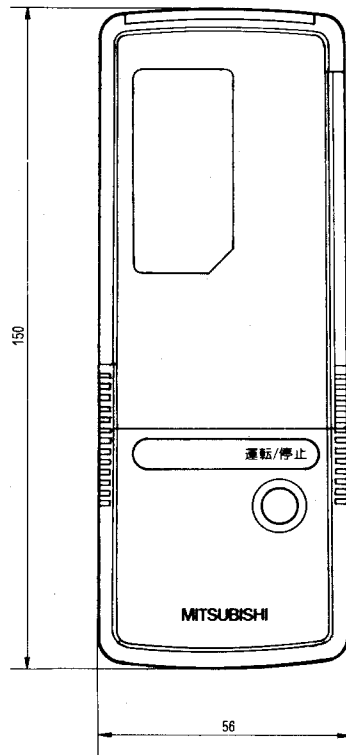


| | |
|-------|---------------------|
| 電源 | アルカリ乾電池 単4形2本 (AM4) |
| ケース材質 | ABS樹脂 |
| ケース色 | マンセル 6.8Y 5.3/0.6 |

三菱電機パッケージエアコン用デジタルワイレスリモコン外形図

形名 PAC-SB21WL

適用機種 PC-EKD, PK-EKD, PE-FKD

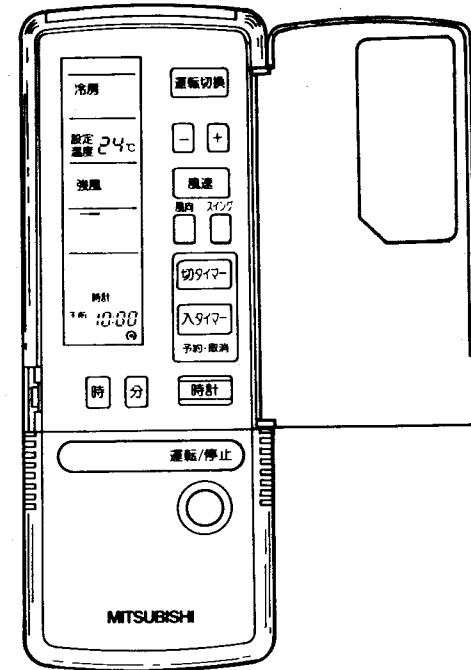
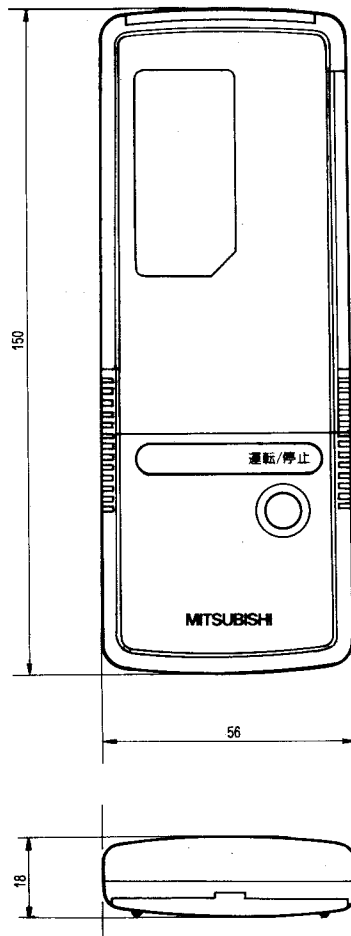


| | |
|-------|---------------------|
| 電源 | アルカリ乾電池 単4形2本 (AM4) |
| ケース材質 | ABS樹脂 |
| ケース色 | マンセル 6.8Y 5.3/0.6 |

三菱電機パッケージエアコン用ワイヤレスリモコン外形図

形名 PAR-L240K

適用機種 PLH-GKD



| | |
|-------|---------------------|
| 電源 | アルカリ乾電池 単4形2本 (AM4) |
| ケース材質 | ABS樹脂 |
| ケース色 | マンセル 6.8Y 5.3/0.6 |

受光アダプタ

形名 PAC-SB22JA

(※デジタルワイヤレスリモコン共通)
PAC-SB18~21WL

1 適用機種

K制御機種

2 使用方法

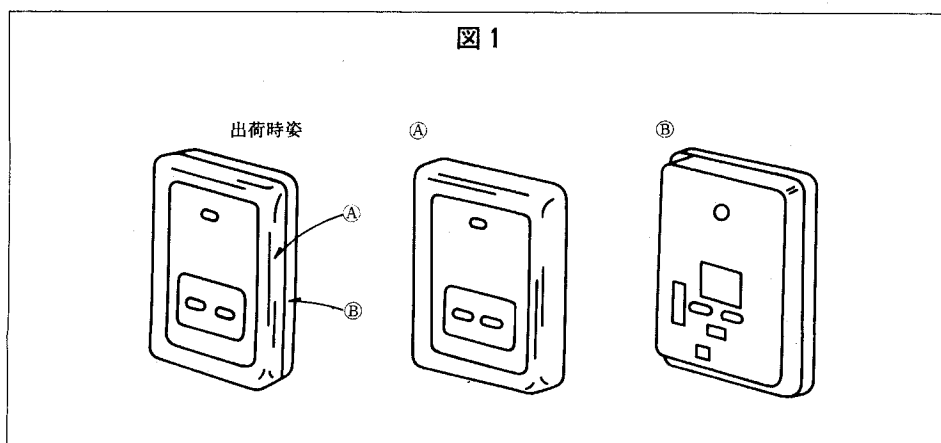
K制御機種にデジタルワイヤレスリモコンを使用する際、信号を受信する為に設置します。ワイヤレスリモコンとペアナンバーを合わせて使用します。(0~9まで設定可能)グループ制御をする場合はアドレスの設定も必要です。また、受光アダプタには応急運転スイッチが付いています。

3 付属部品

| PAC-SB22JA | | |
|------------|---------------|----|
| 番号 | 品名 | 個数 |
| ① | 受光アダプタ | 1 |
| ② | リモコンコード 2芯 3m | 1 |
| ③ | M4×30 ネジ | 2 |
| ④ | 4.1×16 木ネジ | 2 |

| PAC-SB18~21WL | | |
|---------------|---------------|----|
| 番号 | 品名 | 個数 |
| ① | 受光アダプタ | 1 |
| ② | リモコンコード 2芯 3m | 1 |
| ③ | M4×30 ネジ | 2 |
| ④ | 4.1×16 木ネジ | 4 |
| ⑤ | ワイヤレスリモコン | 1 |
| ⑥ | 電池 | 2 |
| ⑦ | リモコンホルダー | 1 |

※下図のように受光アダプタ①はカバー(A)と本体(B)の2部品で構成されています。



4 取付要領

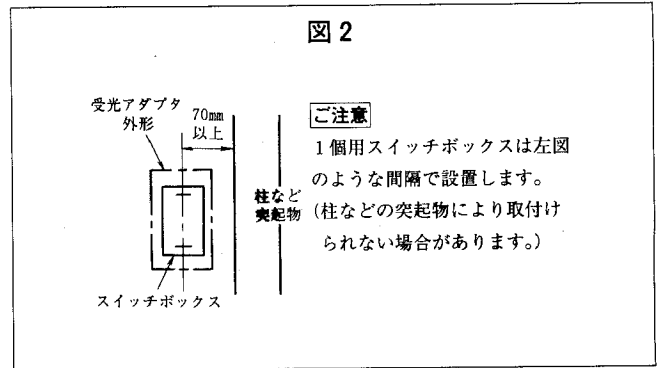
1. 現地手配部品

- (1) 個用スイッチボックス (JIS C8337カバーなし) を用意してください。
- (2) スwitchボックスに適合する薄網電線管 (JIS C8305) を用意してください。
- (3) 電線管に合うロックナット、ブッシングを用意してください。

(注) 電線管の取出し方向はボックスの上下のみです。

(左右方向はできません。)

- (4) その他：パテを用意してください。

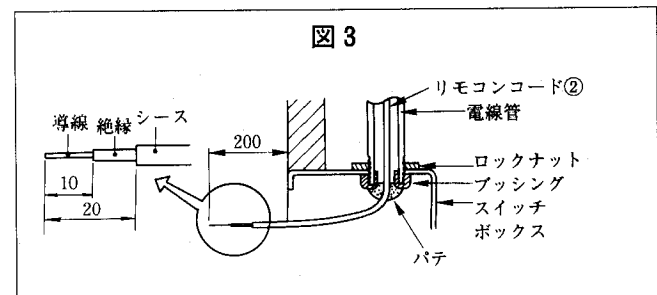


2. 取付方法

- (1) リモコンコード②を電線管に通します。リモコンコードは壁面より約200mm出して先端の被覆をはがします。

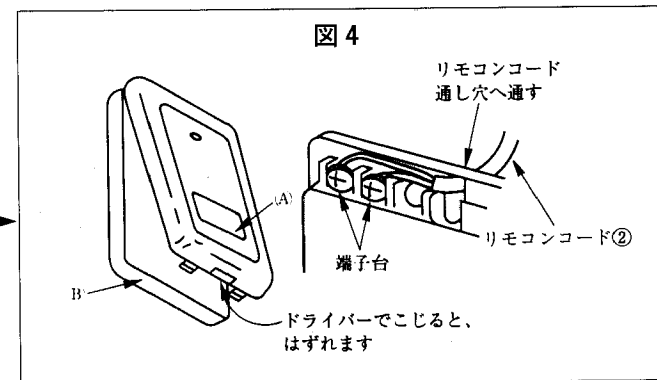
- (2) 電線管からの電線取出し部分はパテで確実にシールします。

(外気が侵入し受光アダプタ内部の基板に結露することがあります。)



- (3) カバー④を取外しリモコンコード②を端子台に接続します。

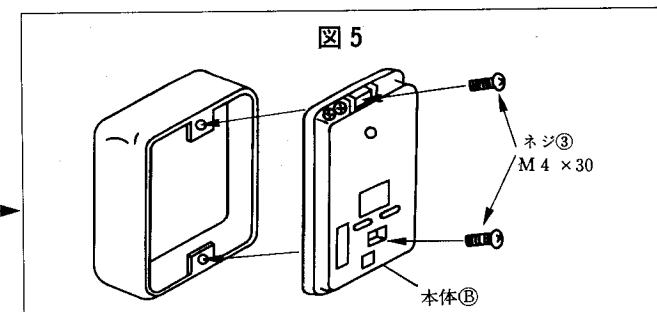
(端子台は極性はありません。)



- (4) 受光アダプタ本体⑤を③M4×30ネジでスイッチボックスに固定します。

※スイッチボックスを使わずに壁に直接取付ける場合は④4.1×16木ネジを使用します。

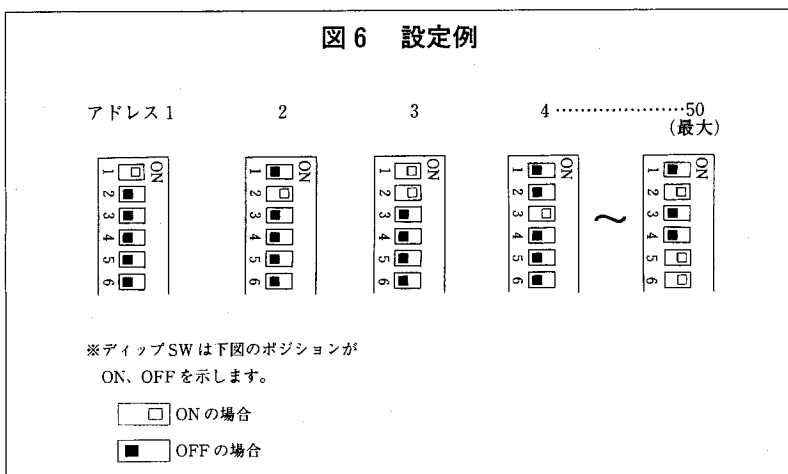
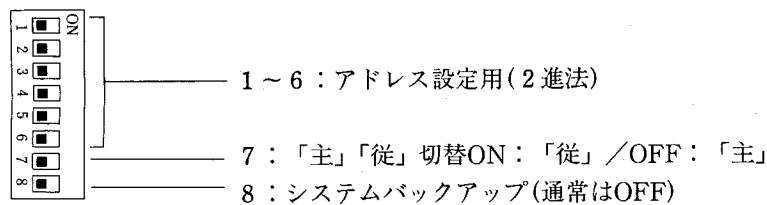
- (5) カバー④を取付けます。



3. スイッチ設定

(1)アドレスを設定します。

受光アダプタSWを操作します。

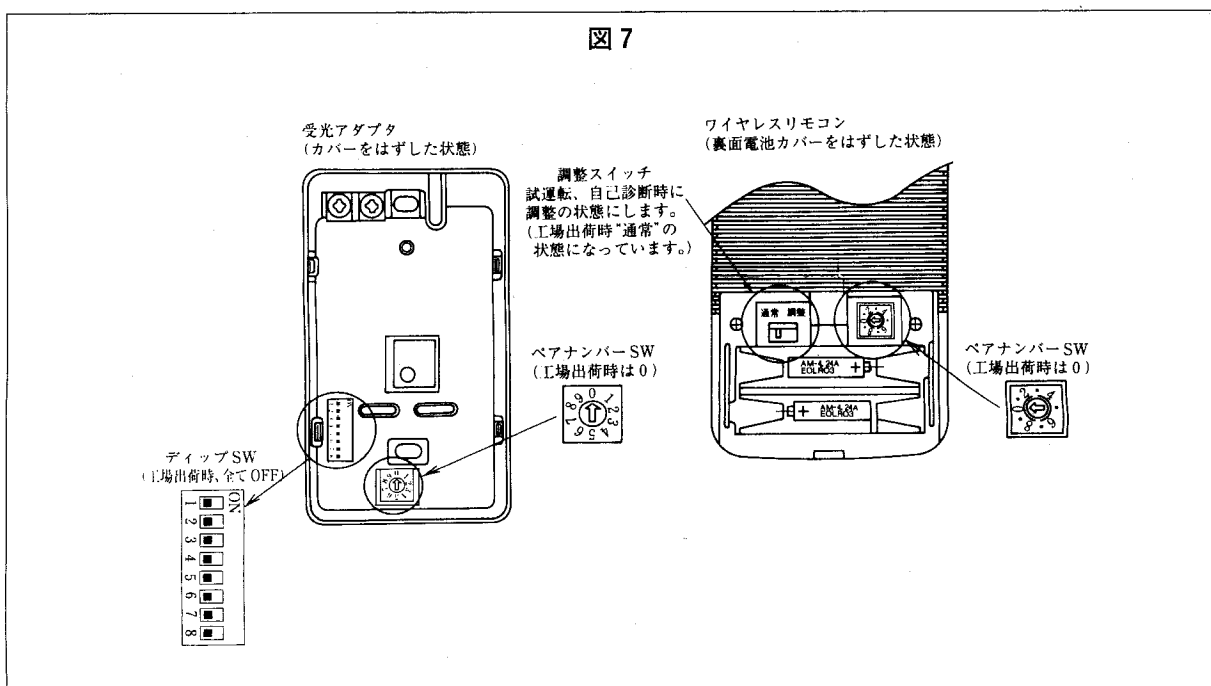


(2)ペアナンバーを設定します。

ペアナンバーSWは使用するワイヤレスリモコンと合わせてください。

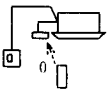
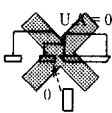
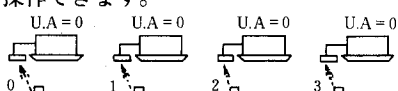
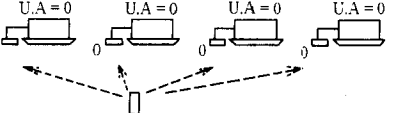
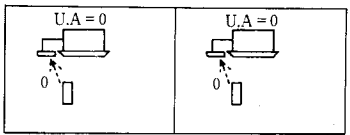
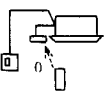
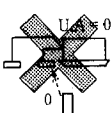
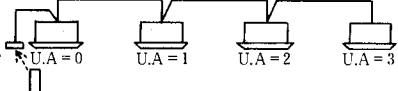
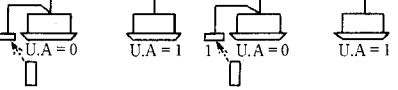
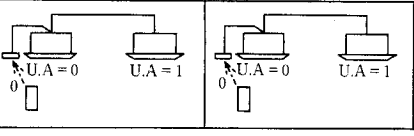
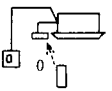
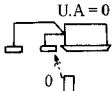
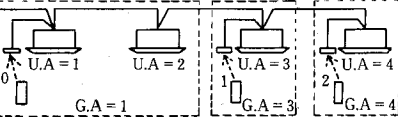
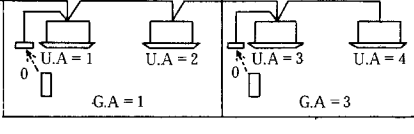
(ペアナンバー.....ワイヤレスリモコンで操作する受光アダプタを指定するための番号です。
ワイヤレスリモコン、受光アダプタ共に0~9まで10種類の設定が可能です。)

(3)各スイッチの位置は下図のようになっています。



(4)スイッチの設定例

※U.Aはユニットアドレスの意味です。G.Aはグループアドレスの意味です。

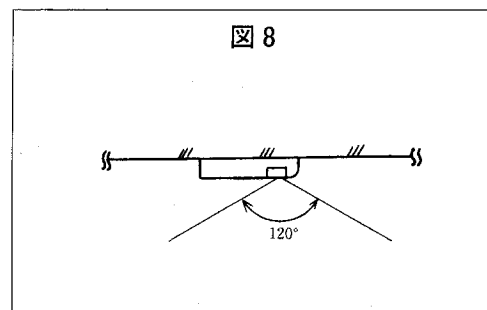
| | 同一空間 | 異空間 |
|---|--|--|
| <p>〈個別〉</p>  <p>1 リモコン 1 受光アダプタ</p>  <p>2 受光アダプタ 使用不可 (注1)</p> | <p>●個別設定 各空調機は固有のワイヤレスリモコンでのみ操作できます。</p>  <p>各受光アダプタとワイヤレスリモコンは異なるペアナンバーに設定します。</p> <p>●同一設定 各空調機は同一のワイヤレスリモコンで操作できます。</p>  <p>各受光アダプタとワイヤレスリモコンは同一のペアナンバーに設定します。 各受光アダプタは受光範囲に設置するか、または操作者が移動します。</p> |  <p>各受光アダプタとワイヤレスリモコンは同一のペアナンバーに設定します。</p> |
| <p>〈グループ〉</p>  <p>1 リモコン 1 受光アダプタ</p>  <p>2 受光アダプタ 使用不可</p> | <p>●1グループ</p>  <p>K制御室内ユニット側でグループ接続し、受光アダプタは1台設置します。</p> <p>●複数グループ</p>  <p>各受光アダプタとワイヤレスリモコンはグループごとに異なるペアナンバーに設定します。</p> |  <p>各受光アダプタとワイヤレスリモコンはグループごとに同一のペアナンバーに設定します。</p> |
| <p>〈集中管理〉</p>  <p>1 リモコン可 1 受光アダプタ可</p>  <p>2 受光アダプタ可</p> | <p>●集中管理リモコンへ</p>  <p>各受光アダプタとワイヤレスリモコンはグループごとに異なるペアナンバーに設定します。 受光アダプタ設置台数は、25台までです。</p> | <p>●集中管理リモコンへ</p>  <p>各受光アダプタとワイヤレスリモコンはグループごとに同一のペアナンバーに設定します。</p> |

注1：Yシリーズの場合は、1リモコン、1アダプタ及び2アダプタも可能です。

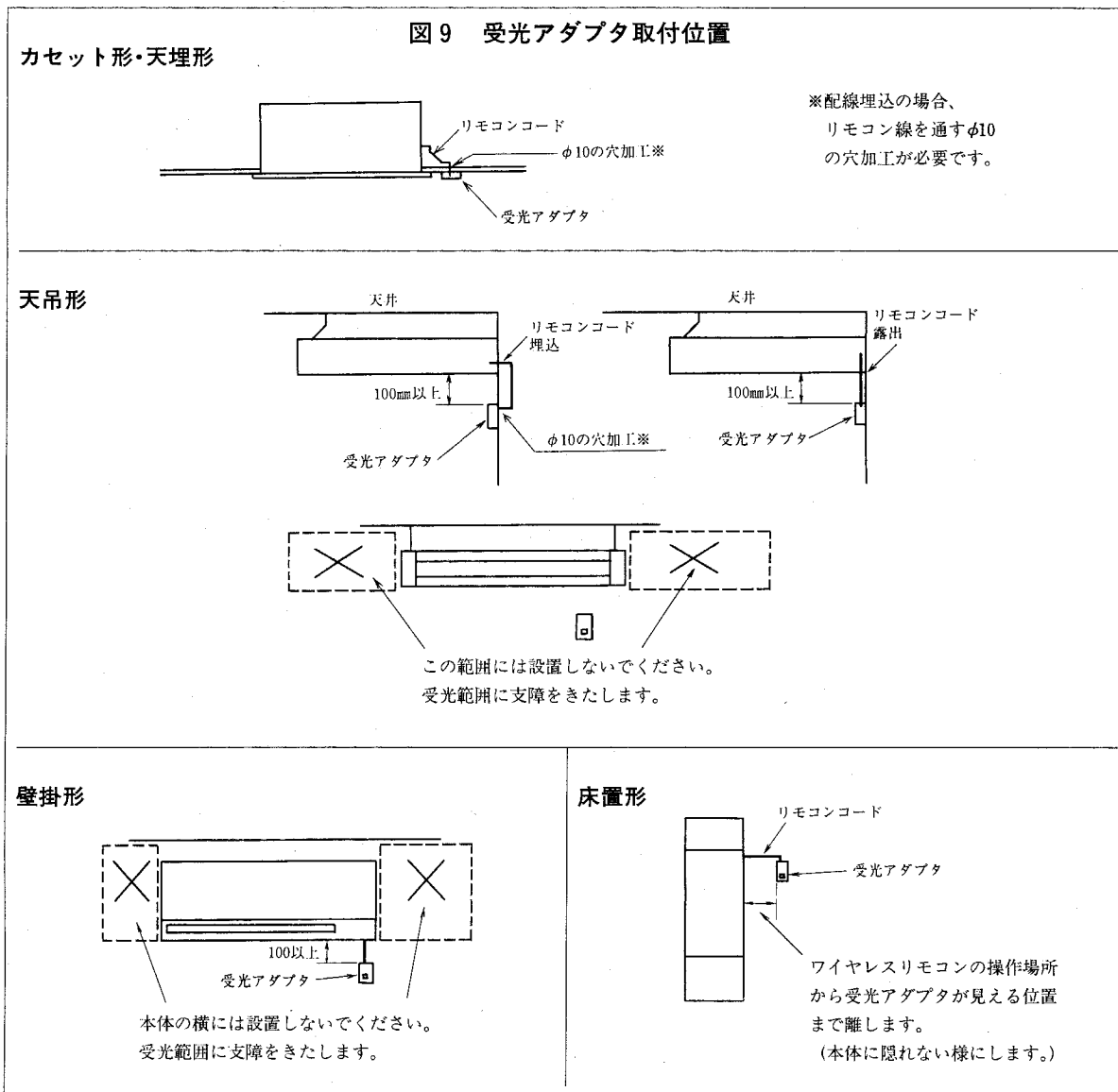
(5) 取付位置

- ① 壁面または天井面でワイヤレスリモコンから受光が可能な位置に取付けます。(図8参照)

受光範囲は図8のようになります。この場合、リモコン操作は受光アダプタから7m以内です。



- ② 各機種別に下記に示す位置に取付けます。



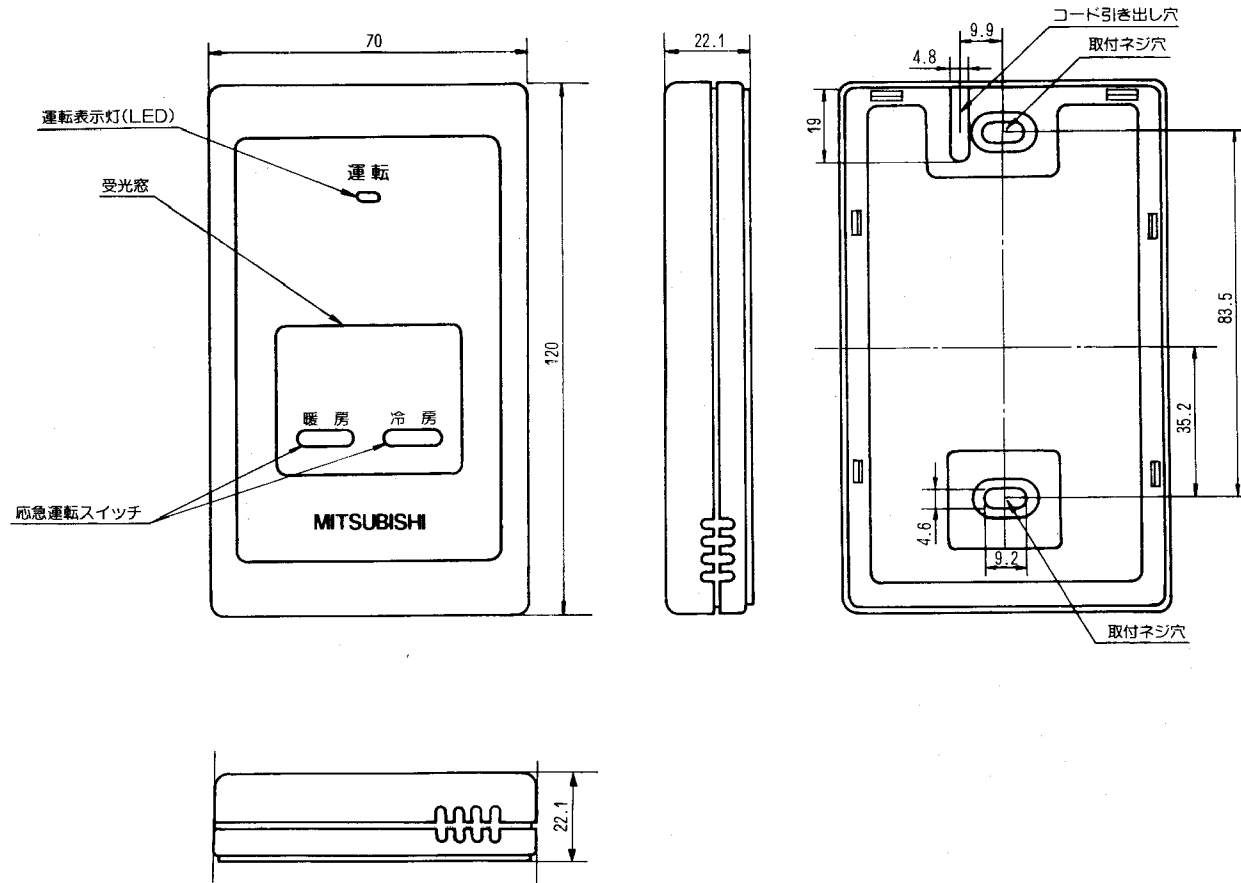
③ 設置上の注意

蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くに受光アダプタを設置すると、信号を受信できないことがありますので、受光アダプタ設置時、蛍光灯買替時などには注意してください。

三菱電機パッケージエアコン用受光アダプタ外形図

形名 PAC-SB22JA

適用機種 K制御機種



コンパクトリモコン

形名 PAC-SB32CR

1 適用機種

K制御機種

2 使用方法

運転停止、室温調整、風速強弱の操作だけに機能を絞ったコンパクトサイズのリモコンです。標準の液晶リモコンと同等の配線とアドレスの設定が必要です。但し、運転モードの切替などができませんので、集中管理リモコン(PAC-SA70NR)又は標準の液晶リモコンと併用することをお奨めします。

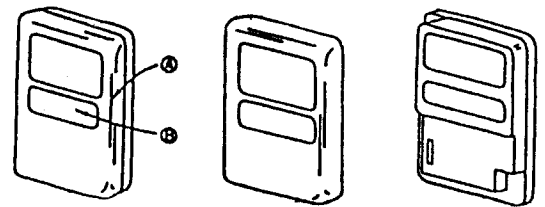
3 付属部品

| 番号 | 品名 | 個数 |
|----|----------------|----|
| ① | リモコン | 1 |
| ② | リモコンコード 2芯 12m | 1 |
| ③ | M4×16 ネジ | 2 |
| ④ | 4.1×16 木ネジ | 2 |

※図1のようにリモコン①はカバー①と本体②の2部品で構成されています。

図1

出荷時姿 ①リモコンカバー ②リモコン本体



4 取付要領

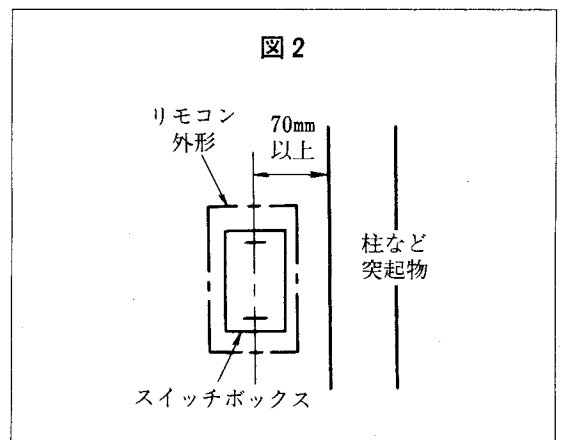
1. 現地手配部品

- (1) 1個用スイッチボックス (JIS C8337カバーなし) を用意してください。

ご注意 1個用スイッチボックスを設置の際、必ず図2のような間隔をとってください。(柱などの突起物により取付けられない場合があります。)

- (2) 電線管：スイッチボックスに適合する薄鋼電線管 (JIS C8305) を用意してください。
- (3) 電線管に合うロックナット、ブッシングを用意してください。
(注) 電線管の取出し方向はボックスの上下のみです。
(左右方向はできません。)
- (4) その他：パテを用意してください。

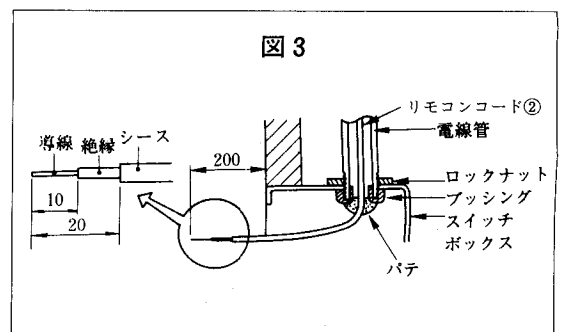
図2



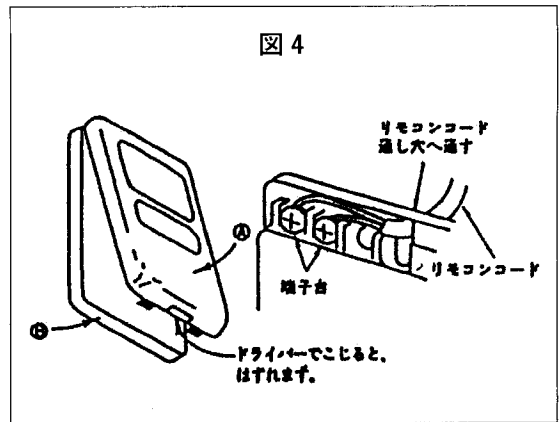
2. 取付方法

- (1) リモコンコード②を電線管に通します。リモコンコードは壁面より約 200mm出して先端の被覆をはがしてください。
- (2) 電線管からの電線取出し部分はパテで確実にシールしてください。(外気が侵入しリモコン内部の基板に結露することがあります。)

図3



(3)リモコンカバーを取外しリモコンコードを端子台に接続してください。(端子台は極性がありません。)

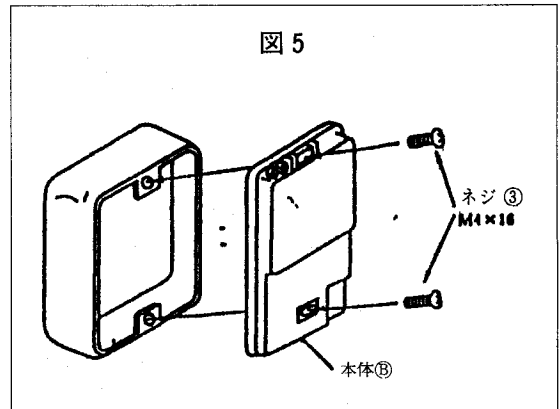


(4)リモコン本体⑧を③M4×16ネジでスイッチボックスに固定してください。

※スイッチボックスを使わずに壁に直接取付ける場合は④4.1×16本ネジを使用してください。

(5)ディップスイッチにて、アドレスの設定をしてください。(設定については次項を参照ください。)

(6)リモコンカバーを取付けてください。



3. ディップスイッチの操作

リモコンカバー①をはずすと図6に示すスイッチがあります。

ディップスイッチ1～6でアドレスを設定してください。

※集中管理リモコンに接続する場合は集中管理リモコンの取扱説明書を参照ください。

図6

※ディップスイッチは下図のポジションがON、OFFを示します。

| | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | ONの場合 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | OFFの場合 |

アドレス 1 2 3 4 50 (最大)

| | | | | |
|---|---|---|--|--|
| 1 <input type="checkbox"/> ON | 1 <input checked="" type="checkbox"/> ON | 1 <input type="checkbox"/> ON | 1 <input checked="" type="checkbox"/> ON | 1 <input checked="" type="checkbox"/> ON |
| 2 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 2 <input type="checkbox"/> ON | 2 <input type="checkbox"/> ON | 2 <input checked="" type="checkbox"/> ON | 2 <input type="checkbox"/> ON |
| 3 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 3 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 3 <input type="checkbox"/> ON | 3 <input type="checkbox"/> ON | 3 <input type="checkbox"/> ON |
| 4 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 4 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 4 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 4 <input checked="" type="checkbox"/> ON | 4 <input type="checkbox"/> ON |
| 5 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 5 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 5 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 5 <input checked="" type="checkbox"/> ON | 5 <input type="checkbox"/> ON |
| 6 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 6 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 6 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | 6 <input checked="" type="checkbox"/> ON | 6 <input type="checkbox"/> ON |

試験運転スイッチ } 点検、試験運転時に使用します。(通常は使用しないでください。)
点検スイッチ }

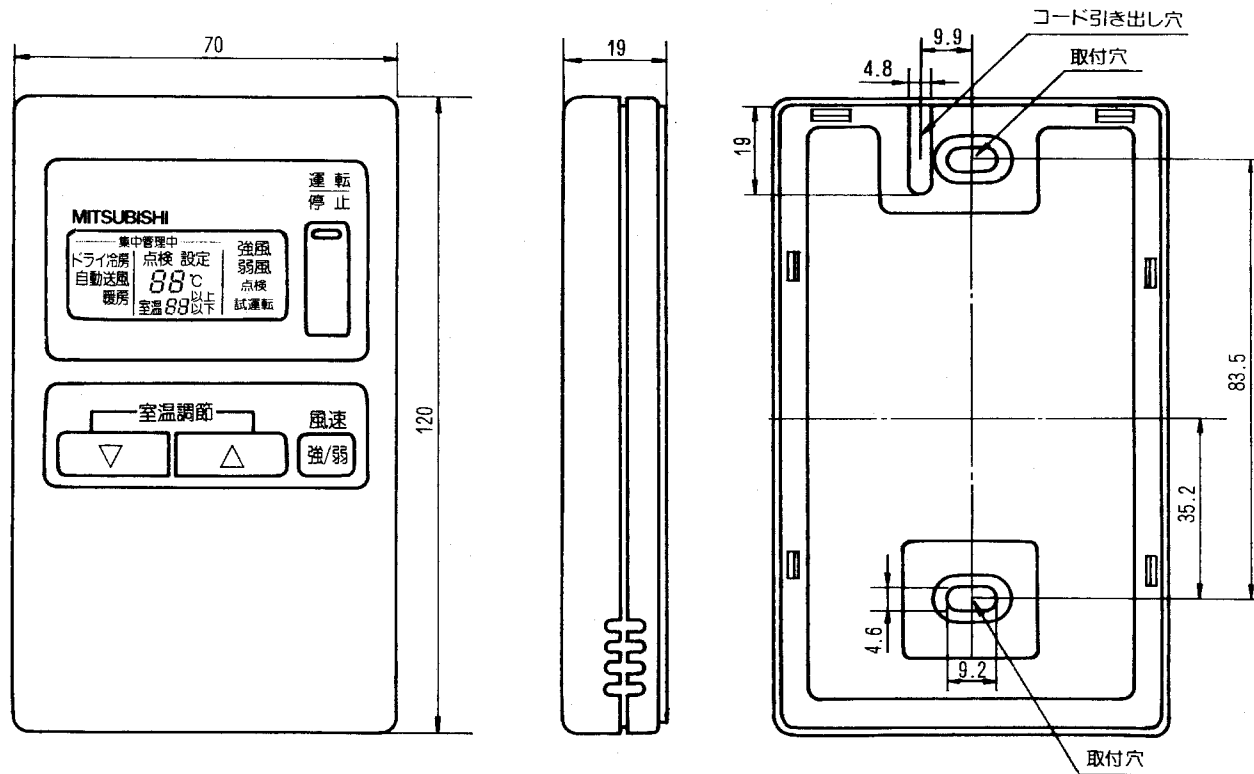
ディップスイッチ

| | |
|---|---|
| 1 <input checked="" type="checkbox"/> ON | 7 : 「主」「従」切替 ON : 「従」 / OFF : 「主」 8 : システムバックアップ(通常はOFF) 1～6 : アドレス設定用(2進法) |
| 2 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | |
| 3 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | |
| 4 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | |
| 5 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | |
| 6 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | |
| 7 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | |
| 8 <input checked="" type="checkbox"/> OFF | |

三菱電機パッケージエアコン用コンパクトリモコン外形図

形名 PAC-SB32CR

適用機種 K制御機種



リモコン外付キット

形名 PAC-SB33RS

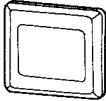




1 適用機種

PS(H)-FKD形

2 使用方法

この外付キットはユニット本体に内蔵されているコントローラを外付（リモコンとして使用）したい場合お使いください。

3 付属部品

| ①化粧カバー | ②化粧パネル | ③リモコンコード | ④ネジカバー | ⑤ネジ | ⑥コードクランプ |
|---|---|---|---|--|---|
|  |  |  |  |  木ネジ4.1×16…5本  皿ネジM3×6…1本 |  |
| 1個 | 1個 | 1本 | 1個 | | 3個 |

4 取付要領

1. コントローラ取外し及び化粧パネル取付要領

(1)コントローラ本体の取外し要領

(イ)化粧パネル固定用タッピンネジを外し化粧パネル、化粧カバーを取外してください。

(化粧パネル下部は引掛となっております。)

(ロ)端子固定ネジを外しコントローラリード線を外してください。尚コントローラリード線は端子同志が接触しない様各々に絶縁テープを必ず施してください。

(ハ)コントローラ固定用タッピンネジを外しユニット本体からコントローラ、コントローラケースを取外してください。

(2)化粧パネルの取付要領

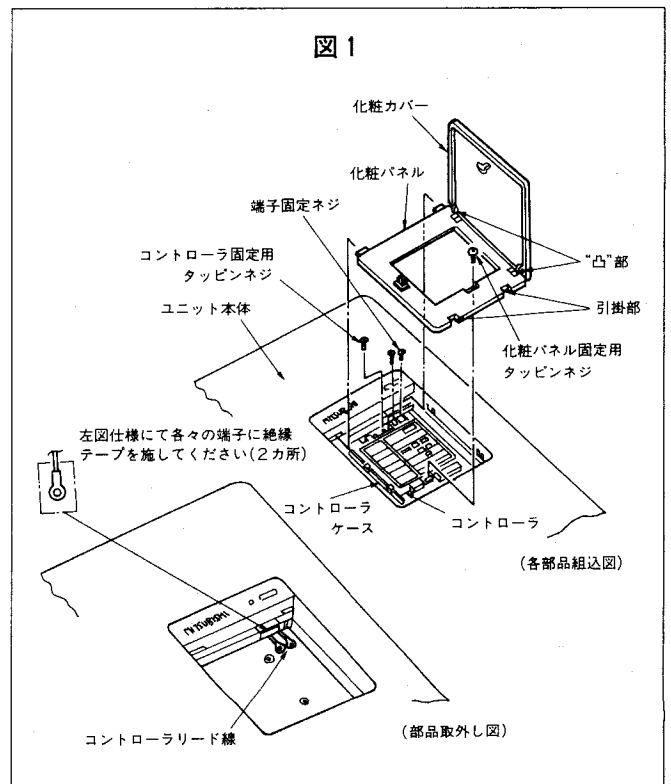
(イ)(1)の(イ)項で取外した化粧パネルの“凸”部2カ所から化粧カバーを外し、付属の化粧パネル②に付替えてください。

(無理に引きますと化粧カバーが破損する恐れがありますので化粧カバーを多少たるませて取付け、取外しを行ってください。)

(ロ)化粧カバーを取付けた化粧パネル②をユニット本体のコントローラ取外し部に取付けてください。

((1)項で取外した化粧パネル固定用タッピンネジをご使用ください。)

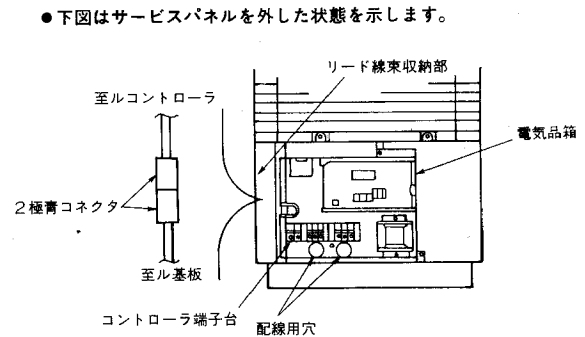
※ユニット本体に取付いていた化粧パネルは不要となります。



2. リモコンコード結線要領

- (1)電気品箱裏側よりリモコンコード③を配線用穴に通してから電気品箱内のコントローラ端子台に結線してください。
 - (2)リード線束収納部にあるコントローラリード線（2極の青コネクタ）の接続を取外してください。
- ※リモコンコード③は確実に室内ユニットのコントローラ端子台に接続してください。尚リモコンコードは極性がありません。
- ※リモコンコード③は12m付属されておりますがこれ以上の長さが必要な場合は0.3mm以上の電線、又はケーブルを使用してください。リモコンコードは最大500mまで延長できます。

図2



3. コントローラ本体外付要領 ※コントローラ本体は①で取外したコントローラ(コントローラケース付)をお使いください。

| 配線埋込方式 | 配線露出方式 |
|--|---|
| <p>1. 現地手配部品</p> <p>(イ) 1個用スイッチボックス (JIS C8337カバーなし) をご使用ください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>リモコン外形 70mm以上</p> <p>柱など突起物</p> <p>スイッチボックス</p> </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>ご注意</p> <p>1個用スイッチボックスを設置の際、柱などの突起物がある場所に隣接して設置しますと、コントローラが取付けられない場合がありますので必ず左図のような間隔をとってください。</p> </div> </div> <p>(ロ) 電線管：薄鋼電線管 (JIS C8305) 呼び径15～25を使用してください。</p> <p>(ハ) 電線管にあうロックナット、プッシング ご注意：電線管の取出し方向はボックスの上下のみで左右方向はできません。</p> <p>2. 取付方法</p> <p>(イ) リモコンコード③を電線管に通します。リモコンコードは壁面より約20cm出して先端の被覆をはがしてください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>リモコンコード③</p> <p>電線管</p> <p>20cm</p> <p>ボックス</p> <p>20</p> <p>パテでシール</p> <p>切欠部に通す。端子台</p> </div> <div style="margin-left: 10px;"> </div> </div> <p>(ロ) 電線管より外気が侵入し、コントローラ内部の基板表面に結露することがありますので、パテで確実にシールしてください。</p> <p>(ハ) リモコンコードを端子台に接続してください。(端子台は極性ありません)</p> <p>(ニ) リモコンコードを接続しましたら下図のようにコントローラ本体をボックスに取付け、化粧カバー①を皿ネジ⑤でコントローラ本体に取付けてください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>上部爪を引掛ける。</p> <p>化粧カバー①</p> <p>皿ネジ⑤ (あまり強く締めないでください)</p> <p>M4(現地手配)…2本</p> </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>ロックナット</p> <p>プッシング</p> <p>リモコンコード③</p> <p>ボックス</p> <p>コントローラ本体</p> </div> </div> <p>(ホ) 化粧カバー①を皿ネジ⑤で固定しましたら、同梱のネジカバー④を取付けてください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>化粧カバー①</p> <p>ネジカバー④</p> <p>コントローラ本体</p> <p>皿ネジ⑤で固定</p> </div> </div> | <p>1. 準備</p> <p>リモコンコードの配線取出し方向は下図のように5方向可能ですので配線取出し方向を決めてください。化粧カバー①の配線取出し方向となる位置の側面下端リブ（薄肉部）をナイフ、ニッパー等で切り取ってください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>化粧カバー① 切り取る</p> </div> </div> <p>2. 取付方法</p> <p>(イ) コントローラ本体を壁面に付属の木ネジ⑤にて2ヶ所固定してください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <p>(ロ) リモコンコード③を端子台に接続してください。(端子台は極性ありません) リモコンコードは、下図のように、配線取出し位置までコントローラ本体操作部の線に沿わせ、配線取出し位置の切欠部より取出します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <p>(ハ) 化粧カバー①を皿ネジ⑤でコントローラ本体に取付けてください。(左図参照) このとき、リモコンコードが、化粧カバーにかみ込まれないように注意してください。</p> <p>(ニ) コードクランプ⑥を木ネジ⑤で壁に取付けリモコンコードを下図のように固定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> |

換気用K制御リモコン

形名 PAC-SA75SR

1 適用機種

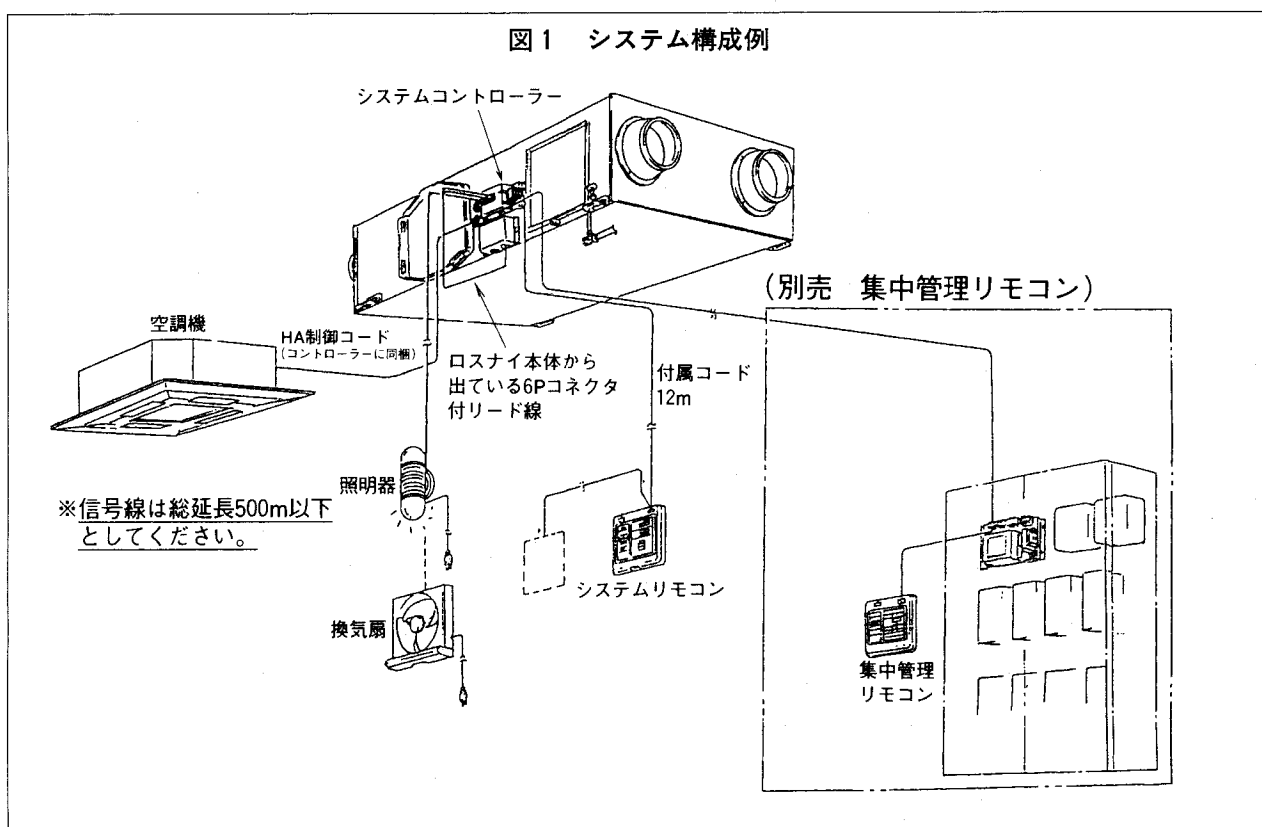
換気用K制御キット(PAC-SA76KK)

2 使用方法

換気用K制御キットに接続して、1リモコンでロスナイ、空調機(HA端子付)及び接点開閉制御機器(2台)の計4台の機器をコントロールできます。

また、アドレスの設定により、1リモコンで換気用K制御キットを50台まで接続できます。

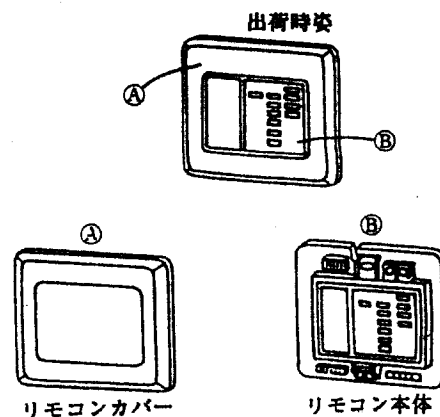
(注) アドレスの設定については、別紙・換気用K制御キット(PAC-SA76KK)をご参照ください。



3 付属部品

| 番号 | 品名 | 個数 |
|----|----------------|----|
| ① | 換気用K制御リモコン | 1 |
| ② | リモコンコード 2芯 12m | 1 |
| ③ | 皿ネジ M3×6 | 1 |
| ④ | 木ネジ 4.1×16 | 5 |
| ⑤ | リモコンコードクランプ | 3 |
| ⑥ | ネジカバー | 1 |

※右図のように換気用K制御リモコン①は、カバーAと本体Bの2部品で構成されています。

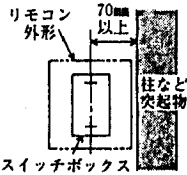


4 取付要領

配線埋込方式

1. 現地手配部品

(イ) 1個用スイッチボックス (JIS C8337カバーなし) を用意してください。



【注意】

1個用スイッチボックスを設置の際、必ず左図のような間隔をとってください。(柱などの突起物により取付られない場合があります。)

(ロ) 電線管：スイッチボックスに適合する薄鋼電線管 (JIS C8305) を用意してください。

(ハ) 電線管に合うロックナット、ブッシング (JIS C8330) を用意してください。

(ニ) その他：パテ、M4×16ネジ2本を用意してください。

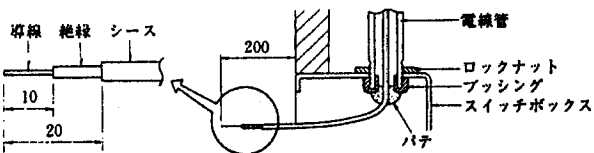
ご注意：電線管の取出し方向はボックスの上下のみです。

(左右方向はできません。)

2. 取付方法

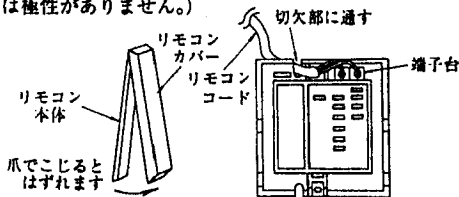
(イ) リモコンコード②を電線管に通します。リモコンコードは壁面より200mm出して先端の被覆をはがします。

(ロ) 電線管からの電線取出し部分はパテで確実にシールします。(外気が侵入し、リモコン内部の基板表面に結露することがあります。)



(ハ) リモコンカバーを取外しリモコンコードを端子台に接続します。

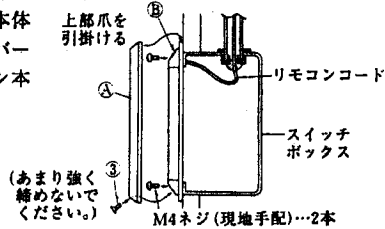
(端子台は極性がありません。)



(ニ) ディップスイッチの設定をします。

(設定については、取扱説明書を参照ください。)

(ホ) 右図のようにリモコン本体を取付け、リモコンカバー④を皿ネジ③でリモコン本体⑤に取付けます。



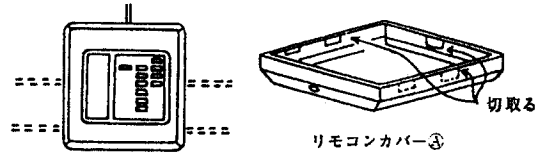
(ヘ) ネジカバー⑥を取付けます。



配線露出方式

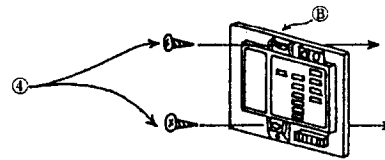
1. 準備

リモコンコードの配線取出し方向は下図のように5方向可能ですので配線取出し方向を決めてください。リモコンカバー④を取外し、リモコンカバー④の配線取出し方向となる位置の側面下端リブ(薄肉部)をナイフ、ニッパー等で切取ります。

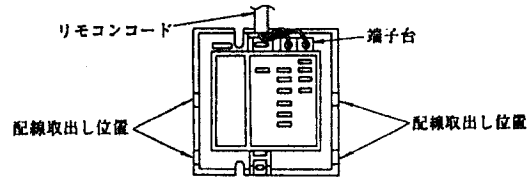


2. 取付方法

(イ) リモコン本体⑤を壁面に木ネジ④で固定します。



(ロ) リモコンコード②を端子台に接続します。(端子台は極性がありません。) リモコンコードは、下図のように、配線取出し位置までリモコン本体操作部の線に沿わせ、配線取出し位置の切欠部より取出します。



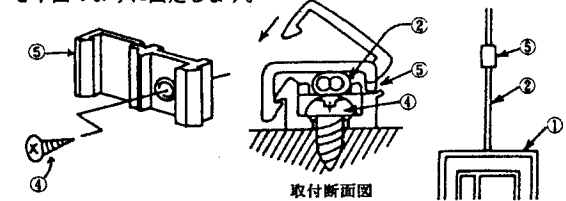
(ハ) ディップスイッチの設定をします。

(設定については、取扱説明書を参照ください。)

(ニ) リモコンカバー④を皿ネジ③でリモコン本体に取付けます。(左図参照。) このとき、リモコンコードが、リモコンカバーにかみ込まれないように注意してください。

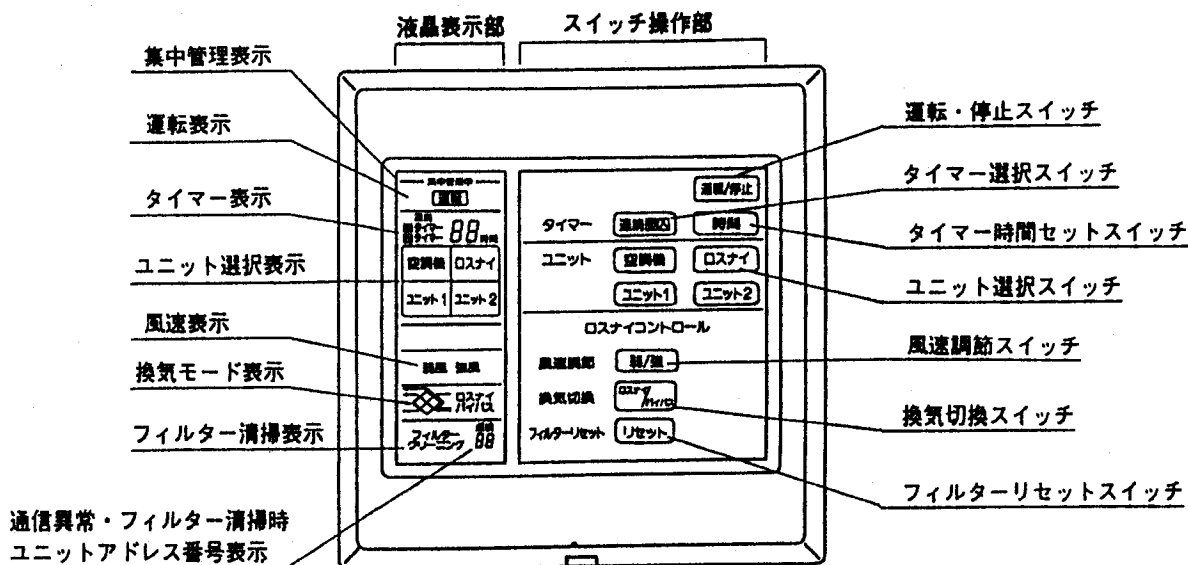
以上が終了したらネジカバー⑥を取付けます。

(ホ) リモコンコードクランプ⑤を木ネジ④で壁に取付けリモコンコードを下図のように固定します。



5 取扱方法

1. 各部のなまえ



2. 接続機器を個別に運転・停止する場合

- (1) 運転したいユニットのユニット選択スイッチを押します。
- (2) 運転・停止スイッチを押します。

| 表示部 | 操作部 | | | | | | | | |
|--|-------|------|-------|-------|--|-----|------|-------|-------|
| <table border="1"> <tr> <td>空調機</td> <td>ロスナイ</td> </tr> <tr> <td>ユニット1</td> <td>ユニット2</td> </tr> </table> | 空調機 | ロスナイ | ユニット1 | ユニット2 | <table border="1"> <tr> <td>空調機</td> <td>ロスナイ</td> </tr> <tr> <td>ユニット1</td> <td>ユニット2</td> </tr> </table> | 空調機 | ロスナイ | ユニット1 | ユニット2 |
| 空調機 | ロスナイ | | | | | | | | |
| ユニット1 | ユニット2 | | | | | | | | |
| 空調機 | ロスナイ | | | | | | | | |
| ユニット1 | ユニット2 | | | | | | | | |
| 運転 | 運転/停止 | | | | | | | | |

3. ロスナイの制御方法

- (1) ユニット選択スイッチ「ロスナイ」を押します。
- (2) 運転・停止スイッチを押します。
- (3) 風速調節スイッチで強風、弱風を選択します。
- (4) 換気切換スイッチで、ロスナイ運転がバイパス運転を選択します。

| 表示部 | 操作部 |
|------------------------|-----------|
| 運転 | |
| ロスナイ | ロスナイ |
| 強風または弱風 | 弱/強 |
| ロスナイの場合 バイパスの場合 | ロスナイ/バイパス |

4. タイマー運転

- (1) 運転したいユニットのユニット選択スイッチを押します。
- (2) タイマー選択スイッチで \square タイマーまたは \square タイマーを選び押します。
- (3) 時間をセットします。
 - \square タイマーの場合
セットした時間後に運転開始します。
 - \square タイマーの場合
セットした時間後に運転停止します。

| 表示部 | 操作部 | | | | | | | | |
|--|---------------|------|-------|-------|--|-----|------|-------|-------|
| <table border="1"> <tr> <td>空調機</td> <td>ロスナイ</td> </tr> <tr> <td>ユニット1</td> <td>ユニット2</td> </tr> </table> | 空調機 | ロスナイ | ユニット1 | ユニット2 | <table border="1"> <tr> <td>空調機</td> <td>ロスナイ</td> </tr> <tr> <td>ユニット1</td> <td>ユニット2</td> </tr> </table> | 空調機 | ロスナイ | ユニット1 | ユニット2 |
| 空調機 | ロスナイ | | | | | | | | |
| ユニット1 | ユニット2 | | | | | | | | |
| 空調機 | ロスナイ | | | | | | | | |
| ユニット1 | ユニット2 | | | | | | | | |
| \square タイマー または \square タイマー | 連続切 \square | | | | | | | | |
| (例) 3 時間 | 時間 | | | | | | | | |

5. フィルタークリーニングが表示された場合

(1)ロスナイのフィルターが汚れてきますと、フィルタークリーニングが表示されその横に数字が表示されます。表示された数字(アドレス番号)のグループのロスナイのフィルターを清掃してください。

(清掃のしかたはロスナイの取扱説明書をご参照ください。)

(2)清掃後フィルターリセットスイッチを押します。

| 表示部 | 操作部 |
|------------------------|------|
| (例) フィルター クリーニング | リセット |

上例：3台目と同一グループのロスナイのフィルターを清掃します。

6. 空調機については空調機のリモコンと換気用K制御リモコンにより運転操作することができます。(後押優先)

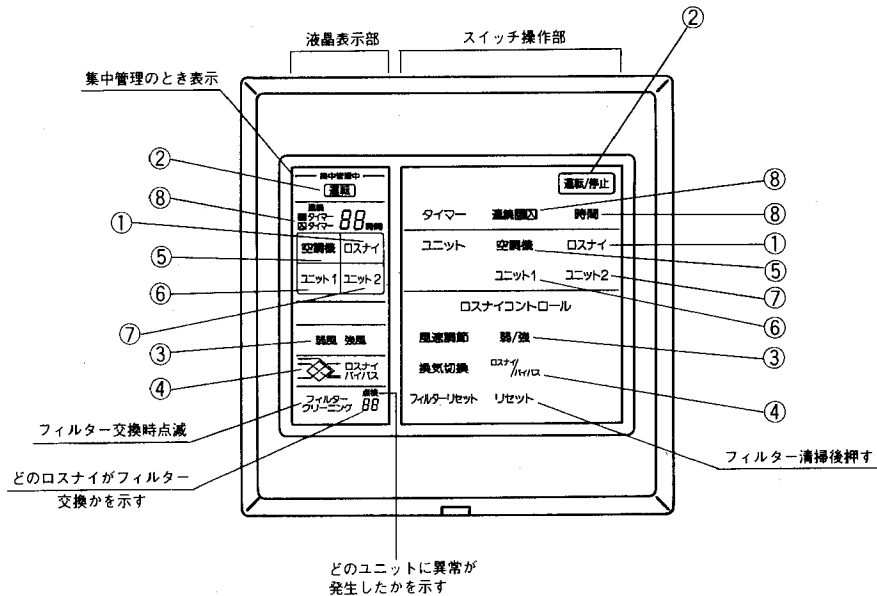
(1)換気用K制御リモコンで入タイマー設定時、空調機のリモコンで運転スイッチを押すと、接続機器全ての入タイマーが解除され、空調機のみ運転表示となります。

(2)他の接続機器を運転したい場合は、ユニット選択スイッチを押してください。引続き入タイマー運転をする場合は、再度設定しなおしてください。

6 試運転

全ての取付工事が終了した後に下記の確認を行ってください。

図 4

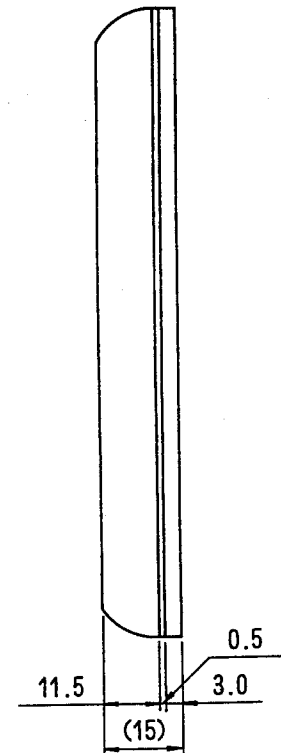
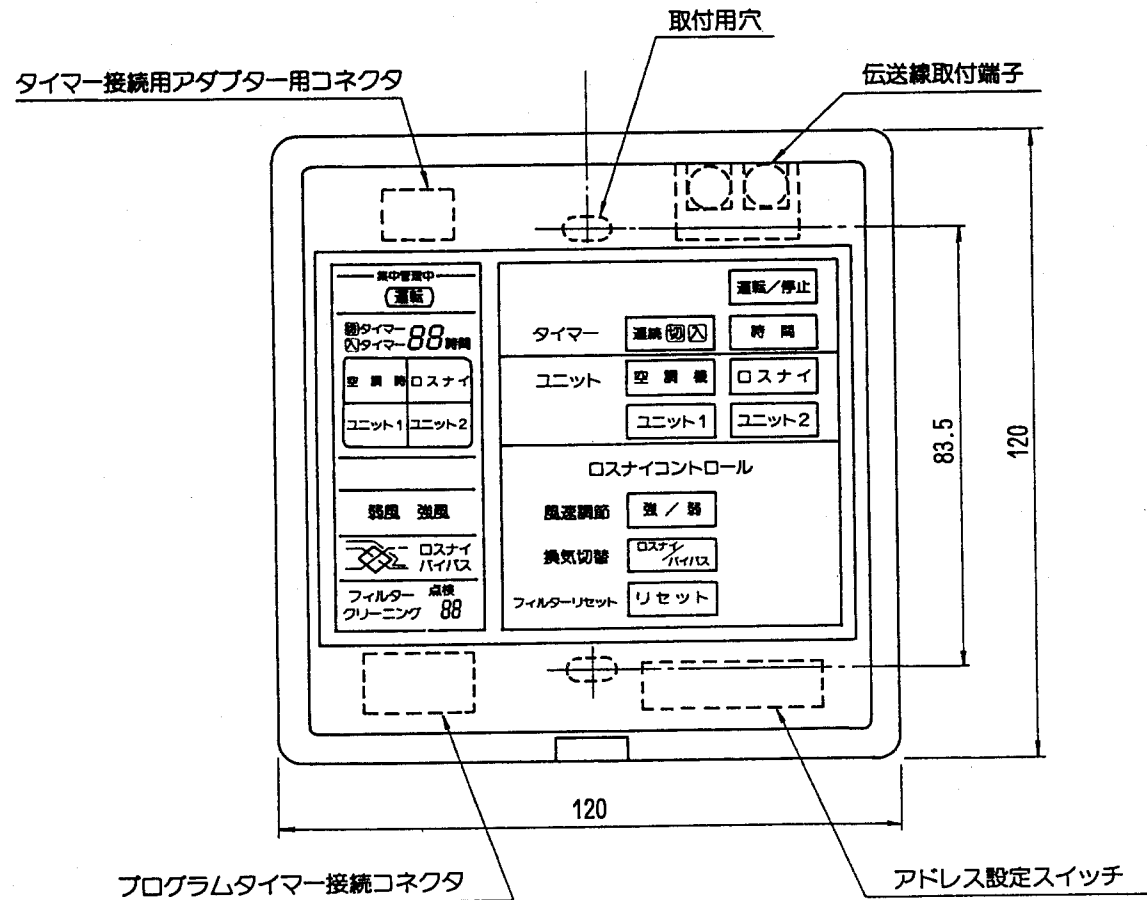


| 順序 | 操 作 | 確 認 |
|----|---------------------------|------------------------------------|
| ① | ロスナイを押す | 「ロスナイ」が表示される。 |
| ② | 運転/停止を押す | 「運転」が表示される。 |
| ③ | 風速調節 弱/強を押す | 「弱風」または「強風」が表示されロスナイの風量が強・弱に切換わる。 |
| ④ | 換気切換 ロスナイ/バイパスを押す | 「ロスナイ」または「バイパス」が表示され、ロスナイの運転が切換わる。 |
| ⑤ | 空調機を押す | 「空調機」が表示され、運転開始。 |
| ⑥ | ユニット1を押す | ユニット1が表示される。接続機器の運転開始。 |
| ⑦ | ユニット2を押す | ユニット2が表示される。接続機器の運転開始。 |
| ⑧ | タイマー連続切・入を押し、時間を押してセットする。 | 「切タイマー」または「入タイマー」と時間が表示される。 |

三菱電機パッケージエアコン用換気用K制御リモコン外形図

形名 PAC-SA75SR

適用機種 換気用K制御キット



換気用K制御キット

形名 PAC-SA76KK

1 適用機種

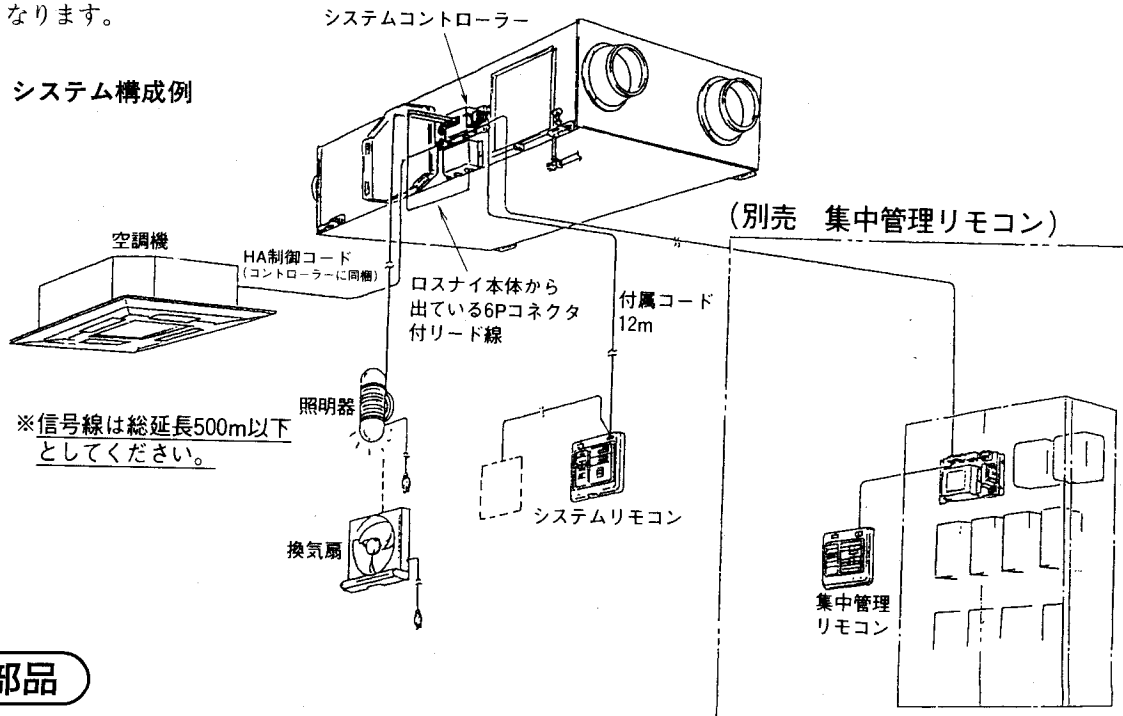
| 品名 | 形名 | 品名 | 形名 | 品名 | 形名 |
|------------------------|-----------------------------------|----------------------------|----------------------|-------------|----------|
| カセット形 ロスナイ | LGH-15C LGH-25C-S LGH-50C-S | 天吊埋込形 ロスナイ | LGH-15R ₄ | 加湿付 ロスナイ | LGH-15RK |
| | | | LGH-25R ₄ | | LGH-25RK |
| | | | LGH-35R | | LGH-35RK |
| LGH-50R ₆ | LGH-50RK | | | | |
| LGH-65R | LGH-65RK | | | | |
| LGH-80R ₂ Z | LGH-80RK-50 | | | | |
| 天吊露出形 ロスナイ | LGH-50E ₆ | LGH-100R ₂ Z-50 | LGH-100RK-50 | | |
| | | LGH-100R ₂ Z-60 | LGH-100RK-60 | | |

2 使用方法

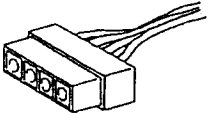
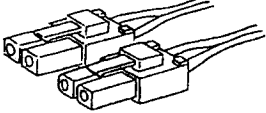
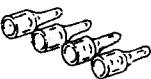
換気用K制御キットはロスナイを、ミスタースリム・シティマルチインバータYシリーズなどのパッケージエアコンと同じ制御方式(K制御)に組み込む際に使用します。

別売部品の換気用K制御リモコン(PAC-SA75SR)と組み合わせて、ロスナイと空調機、照明などの連動が可能です。また、別売部品の換気用集中管理リモコン(PAC-SA92LS)と組み合わせると、最大50台までのロスナイの一括集中管理が可能となります。

図1 システム構成例



3 付属部品

| ①HA接続コード 長さ5m | ②ユニット接続コード 長さ25cm | ③カシメ端子 |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 1本 | 2本 | 4個 |

4 取付要領

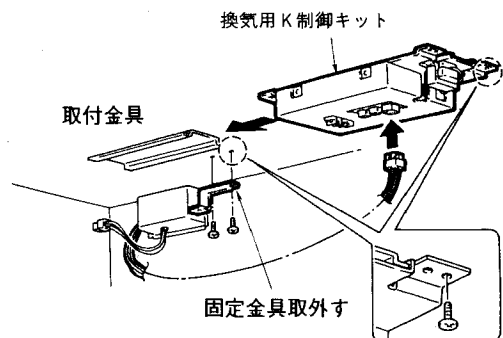
1. 換気用K制御キットをロスナイ本体に取付けます。
取付方法は機種によって異なります。詳しくは《補足1》をご参照ください。
2. ロスナイ本体の端子ボックス内の6極コネクタ付リード線を換気用K制御キットに接続します。
(注) LGH-RKタイプは2極コネクタも接続してください。
3. 換気用K制御リモコンに付属のコードを換気用K制御キットに接続します。

《補足1》ロスナイ本体への取付けは、機種ごとに次の様に行ってください。

(LGH-Cタイプの場合)

- (1)ロスナイエレメントを本体より取りはずします。
(詳細はロスナイ本体の取扱説明書を参照)
- (2)固定金具を取付けているネジ2本をはずし、固定金具を取りはずします。(固定金具は不要)
- (3)換気用K制御キット背面の溝を取付金具にスライドさせて差込みます。
- (4)換気用K制御キット取付用穴1ヶ所と固定金具が取付けてあった穴を合わせてはずしたネジのうち1本を使用して固定します。

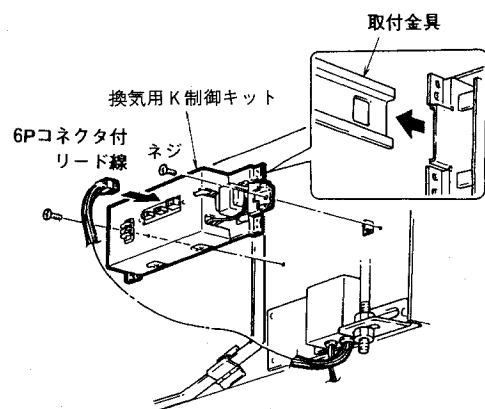
図 2



(LGH-8OR2Zの場合)

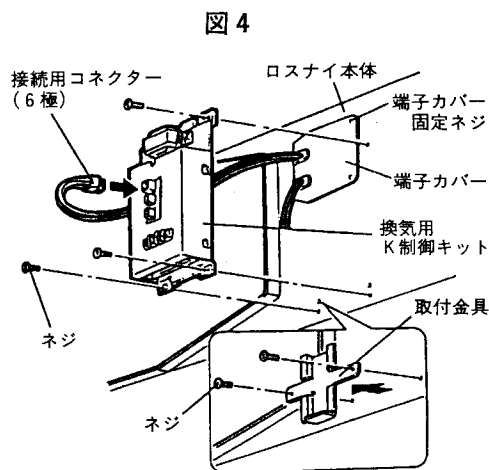
- (1)ロスナイ本体に取付金具が取付けてありますので2本のネジをはずします。
- (2)換気用K制御キット背面の溝を取付金具の右端からスライドさせてストッパーに当たるまで差込みます。
- (3)取付金具をはずした2本のネジでロスナイ本体に再度取付けます。

図 3



(LGH-Rタイプの場合)

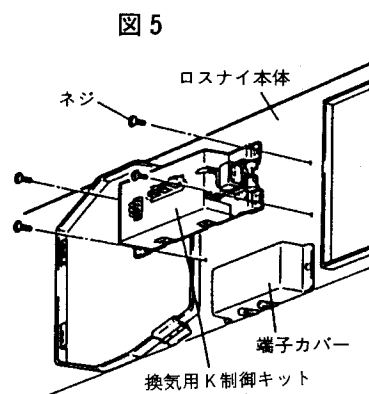
- (1)ロスナイ本体の取付けられている取付金具をはずし、風漏れ防止のためネジ2本は再度締付けます。
- (2)ロスナイ本体に換気用K制御キット取付用のネジ3本がありますので取りはずします。
- (3)換気用K制御キットの取付穴3ヶ所を利用して取りはずしたネジでロスナイ本体に換気用K制御キットを取付けます。



- (注1) LGH-15R₄・LGH-65Rは右上のネジが端子カバー固定ネジと共用になっています。
- (注2) ロスナイ本体に捨てネジがない場合は、取付位置にφ3mmの穴をあけ、市販のM4タッピングネジでロスナイ本体に固定してください。

(LGH-RKタイプの場合)

- (1)ロスナイ本体端子カバーの取付け用のネジ4本がありますので取りはずします。
- (2)換気用K制御キットの取付け穴4ヶ所を利用して取りはずしたネジでロスナイ本体に固定します。



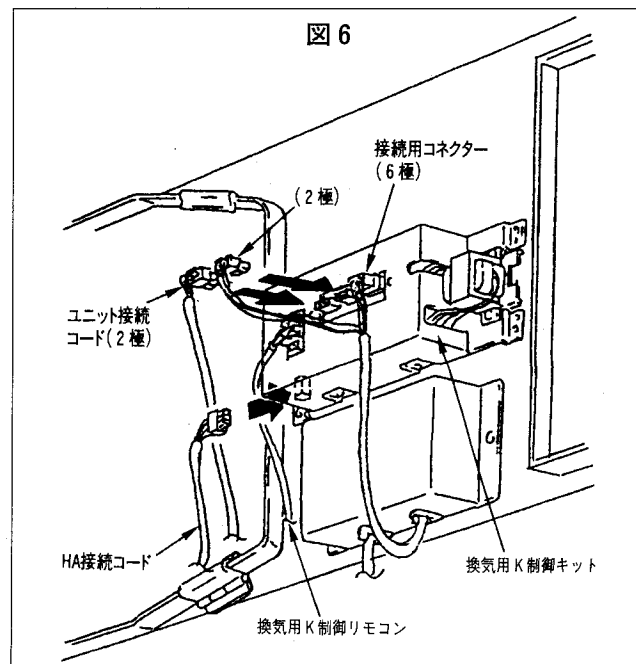
《補足2》 ロスナイ以外に、空調機や加湿器・照明器などを接続する場合は、次の様に行ってください。

空調機の接続 (JEMA規格HA端子付空調機のみ)

換気用K制御キットに付属のHA接続コードをHA接続コネクタに接続し、コードのもう一方を空調機のHA端子に接続します。

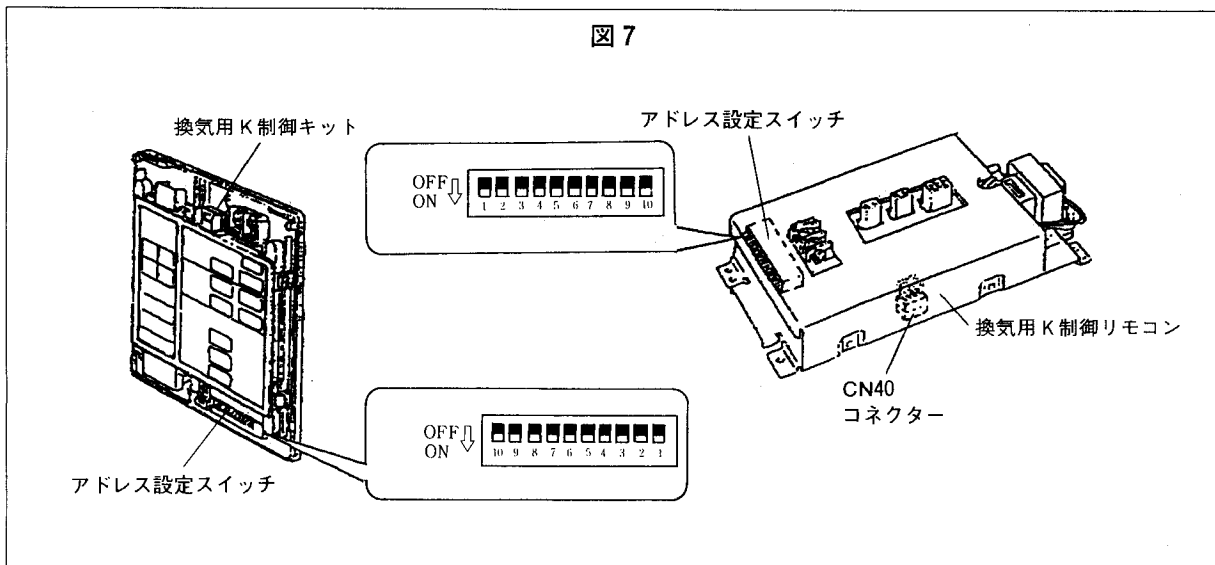
ユニット1・ユニット2の接続

換気用K制御キットに付属のユニット接続コード(2極)を使用して、加湿器・照明器などを接続してください。ユニット1、ユニット2の電源は外部から供給する必要があります。(但し、LGH-RKタイプのロスナイに内蔵の加湿器を制御する場合には外部電源は不要です。)



4. アドレスの設定

- 換気用K制御キットに通し番号(アドレス)を付けることにより、通信異常・フィルタークリーニングなどが発生した場合、換気用K制御リモコンにそのアドレスを表示し、異常を知らせます。



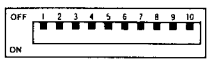
ご注意 ●換気用K制御キットのアドレス設定スイッチの10極目は常時OFFにしてください。ONにされますと、正常な運転ができません。


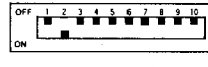

《例1》 換気用K制御リモコン1台+換気用K制御キット1台

- アドレス設定不要(工場出荷時のまま、スイッチは全てOFF状態でよい。)

《例2》 換気用K制御リモコン1台+換気用K制御キット最大50台(複数台運転)

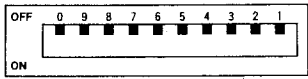
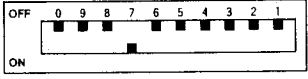
- 換気用K制御キットについて、アドレスを設定する。
- 換気用K制御リモコンのアドレス設定スイッチは全てOFF。

| | |
|-------------------------|---|
| | 換気用K制御キット1台目 |
| アドレス番号 | 0(親機) |
| 設定方法 コントローラー内 SW1 |  1~6をOFFにする |
| CN40コネクタ の処置 | 取付けたまま |

| | | | |
|-------------------------|---|--|---|
| | 換気用K制御キット2台目 | 換気用K制御キット3台目 | 換気用K制御キット50台目 |
| アドレス番号 | 1(子機) | 2(子機) | 49(子機) |
| 設定方法 コントローラー内 SW1 |  1のみONにする |  2のみONにする |  1, 5, 6のみONにする |
| CN40コネクタ の処置 | はずす | はずす | はずす |

《例3》 換気用K制御リモコン2台+換気用K制御1キット(2リモコン運転)

- アドレス設定不要
- 換気用K制御リモコンについて、「主」リモコン・「従」リモコンの設定を行う。


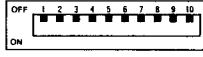
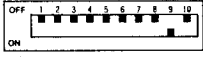
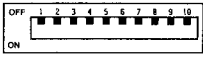
| 「主」リモコン | 「従」リモコン |
|--|--|
|  <p>〔工場出荷通り全てOFF〕</p> |  <p>〔7のみONにする〕</p> |

《例4》 換気用K制御リモコン2台+換気用K制御キット最大50台

- 換気用K制御リモコンについては上記(例3)と同一操作を行う。
- 換気用K制御キットについては上記(例2)と同一操作を行う。

5. フィルタークリーニング・停電後自動復帰の設定

換気用K制御キットのアドレス設定スイッチの(7)と(9)で次の様に設定してください。

| | 選 択 内 容 | 操 作 |
|-----------------------------|--|--|
| フィルター のリーニ ング有 効期間 | <ul style="list-style-type: none"> ● ロスナイ運転積算時間3000時間にてシステムリモコンのフィルタークリーニングが点灯 (積算時間は親機に対応) |  <p>〔7をONにする〕</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● ロスナイ運転積算時間600時間にてシステムリモコンのフィルタークリーニングが点灯 (積算時間は親機に対応) |  <p>〔7をOFFにする〕</p> |
| 停電 復帰 後の 状 況 | <ul style="list-style-type: none"> ● 停電後復帰、接続機器は停電前の運転状態にもどる。 |  <p>〔9をONにする〕</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 停電復帰後、接続機器は全て停止 |  <p>〔9をOFFにする〕</p> |

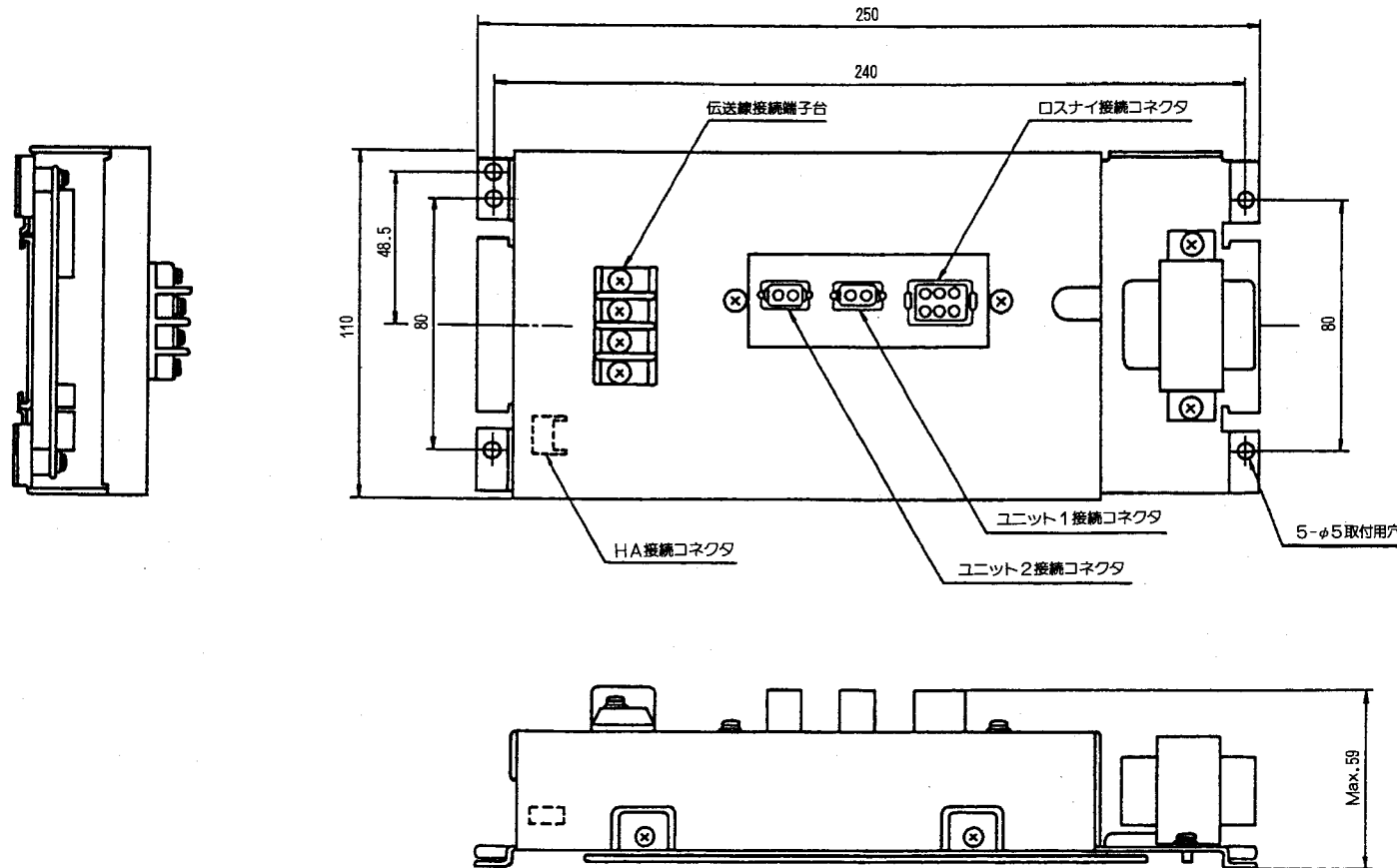
8, 10番のスイッチは常時OFFとしてください。

三菱電機パッケージエアコン用換気用K制御キット外形図

形名 PAC-SA76KK

適用機種

ロスナイ(LHG形)



本機の取付けはロスナイ本体への取付けを基本としますが、単独の設置も可能です。